



【最終報告書】

まちづくり戦略ビジョン市民評価の結果等を踏まえた
効果的な施策の検討に向けた調査・研究等業務

2026年3月31日

合同会社デロイト トーマツ

目次

1.業務実施概要	P3
<hr/>	
2.調査結果の詳細	
- 回収結果および基本情報	
- 問1 まちづくり戦略ビジョンについて	
- 問2 基本目標について	P8
- 問3 まちづくりの重要概念に関する取組について	
- 問4 人口減少について	
- 問5 まちづくりの総合満足度について	
<hr/>	
3.調査結果の分析	
- 基本目標の評価および事業進捗の概観	
- 総合満足度の分析	P209
- 基本目標の概況	
- 基本目標の深堀分析	
<hr/>	
4. 今後のまちづくり戦略ビジョンや施策の方向性に関する提言	P310
<hr/>	
Appendix	P317

1.業務実施概要

● 1.業務実施概要

本業務は、貴市「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン」に基づき実施する市民意識調査アンケートの結果を多角的に分析し、今後の効果的な施策の在り方を検討・構築するための基礎資料を作成することを目的に実施した。

業務の背景・目的

業務の背景

- 貴市では、まちづくりの基本的な指針として「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン（以下「第2次戦略ビジョン」という。）」を策定し、これに基づき計画的なまちづくりを進めている。第2次戦略ビジョン策定以降、第2次戦略ビジョンで定めるまちづくりの基本目標等に対し、貴市の現状を分析するため、毎年度市民の意識調査を行っている。
- 昨今、国が主体となり新たな制度や考え方が生まれ、他自治体における取組も多種多様なものとなっているほか、物価高騰やデジタル社会の発展等、社会情勢の影響による市民マインドや生活様式の変化も著しい状況にある。
- こうした中で、まちづくりを推進するにあたっては、市民ニーズ等を的確に捉えるとともに、日々変化する社会情勢や複雑化・高度化する課題へ対応するため、複雑に絡み合うさまざまな要因が市民評価に与える影響や、全国における傾向等も併せて分析することが必要である。
- 今後の施策の推進に当たっては、個々の施策がどのような効果を示しているのかといった調査・分析を行い、札幌市の強みとして伸ばすべき部分や施策の在り方を見直す部分等を明確化することで、今後の効果的な施策の構築につなげていくことが重要である。
- これらの調査・分析に当たっては、行政課題の把握はもとより、市民等のニーズやマインドのほか、国や他都市における同様の調査との比較を行うことで、地域特性や経年変化等も的確に捉え、より確度の高い調査・分析を行う必要がある。

業務の目的

- 本業務の目的は、これまでの貴市におけるあらゆる施策の検討にあたって、市民評価の結果をもとに分析を行うほか、国の方針や社会情勢、全国的な傾向等より導き出される新たな視点の分析も行うことで、今後の効果的な施策の在り方を検討・構築するための基礎資料を作成することである。

本業務では市民意識調査アンケートの実施（調査・集計）と各種分析を通じて、調査結果から見えてくる現在の貴市のまちづくりに関する課題を特定し、今後の市民評価改善に向けた示唆・提言を取りまとめた。

本業務の全体像および分析アプローチ

本業務の全体像

1. 調査・集計

従来の設問内容に沿って設問を設計し、Google Formを活用したWEBアンケート調査を実施（一部不足年代への郵送調査あり）。回答結果はExcelにて集計。

2. 調査結果の分析

- 集計結果をもとに、各種分析を実施。貴市から受領した過年度の調査結果データおよび事業進捗データを統合し、経年変化と貴市事業進捗の関係性を捉えながら、今回の調査結果を多角的に分析。
- 今回調査より新設した総合満足度（P213-220）に関する分析・他都市比較を行い、総合満足度向上に寄与する基本目標を特定。
- さらに、上記分析データをもとに、基本目標ごとの概況整理を実施。市民評価が悪化したものを中心に、深掘分析が必要な基本目標を選定。深掘対象の基本目標は、全国・他都市の動向を調査の上、貴市状況と比較。市民評価結果の要因を考察し、今後の方向性に関する示唆を導出。

3. 今後への提言

調査結果の分析を踏まえ、貴市の今後のまちづくり戦略ビジョンや施策の方向性に関する示唆・提言を整理。市民評価改善に向けて、課題・要注力領域を取りまとめ、貴市の次に取るべきアクションに関して取りまとめた。

本報告書にて実施した主な分析アプローチ

単純集計・クロス集計

単純集計に加えて、属性別（年代・居住区・性別・18歳以下の子供の有無）のクロス集計によるギャップ分析を実施

ドライバー分析（重回帰分析）

総合満足度指標（暮らしやすさ・定住意向）の向上に対する影響度が高い基本目標を特定すべく重回帰分析を実施

重要度・市民評価ギャップ分析

総合満足度指標（暮らしやすさ・定住意向）の向上に対する影響度が高い基本目標を特定すべく重回帰分析を実施

経年変化分析

過去3か年の各設問の回答結果から、単純集計＋クロス集計でスコア化し、計4か年の推移の分析を実施

基本目標評価・事業進捗平均マトリクス

「20の基本目標に対する評価と、貴市の事業進捗データの相関関係の分析・分類を実施

基本目標評価・事業予算額マトリクス

「20の基本目標に対する評価と、貴市の事業進捗データの相関関係の分析・分類を実施

市民の回答負荷の軽減、分析の幅の拡張、WEBアンケート形式の定着を見据え、アンケート全体の総合指標となりうる「総合満足度（≒KGI）」の追加、「目指す姿の重要度」の追加、そして設問順番の変更などを行った。

過年度市民意識調査アンケートからの主な変更点

変更項目	変更概要
<p>総合満足度 設問の追加</p>	<ul style="list-style-type: none"> 現在の20の基本目標に加え、本設問を追加することで、「市民の総合満足度（≒KGI）」を測定できるように再設計。 本設問を追加することで、20の基本目標と市民の総合満足度の因果関係の可視化、他都市との比較を行い、データに基づいた施策提言を試みた。 追加した設問 「あなたにとって、札幌市は暮らしやすいまちだと思いますか。」（回答選択肢：そう思う～全くそう思わないの5段階評価＋分からない） 「あなたはこれからも札幌市に住み続けたいと思いますか。」（回答選択肢：そう思う～全くそう思わないの5段階評価＋分からない）
<p>重要度に関する 設問の追加</p>	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの基本目標を構成する目指す姿のなかで、市民が実際に重要だと捉えているものを把握できるように設問を追加。 目指す姿ごとに評価と重要度をマトリクス形式で可視化し、重点的に取り組むべき目指す姿を基本目標ごとに分析した。 追加した設問 「基本目標①「安心して子どもを産み育てることができる、子育てに優しいまち」に関連する札幌市の目指す姿のなかで、あなたが重要だと思うものすべてを選択してください。」 （以降他の基本目標も同様。回答選択肢は各目指す姿にチェックボックスを配置し複数回答可で聴取）
<p>基本目標実現度と 目指す姿の評価の設 問順番の変更</p>	<ul style="list-style-type: none"> これまでの調査票では、基本目標の実現度合い → その回答理由としての「各目指す姿の評価」を聴取していたが、回答負荷を削減するため、 各目指す姿への評価 → 基本目標の実現度合いの順番に変更を実施。
<p>目指す姿の評価方法 の変更</p>	<ul style="list-style-type: none"> WEBアンケートフォームの仕様上、各基本目標の目指す姿に対する評価として、過年度まで「○（プラス評価）」、「×（マイナス評価）」、「無回答」で回答を聴取していたものを「○（プラス評価）」、「△（どちらとも言えない・わからない）」、「×（マイナス評価）」に記載を変更。各目指す姿にいずれかの回答を選択する設計に変更。 なお、分析においては、○ = +1点、△ = 0点、× = -1点として評価点を算出した。

今回の市民意識調査アンケートでは、WEBフォームおよび一部郵送調査を活用し、6,862人の有効回答を得た。

調査概要

調査対象	札幌市内在住の16歳以上の男女
サンプル数	有効回答数 6,862人
調査方法	WEBフォームを作成し、貴市公式LINEにて回答を求めたほか、一部不足年代に対して郵送調査を実施
調査期間	令和7年12月29日(月)～令和8年2月18日(水)
抽出手法	【郵送調査分】貴市電算システムによる無作為抽出
その他	以下の方法でも本調査への回答協力を告知・依頼を実施した <ul style="list-style-type: none">• 貴市公式Instagram、X、Facebookでの告知• 北海道新聞社が有するIDを用いた配信• 市内高等学校での告知

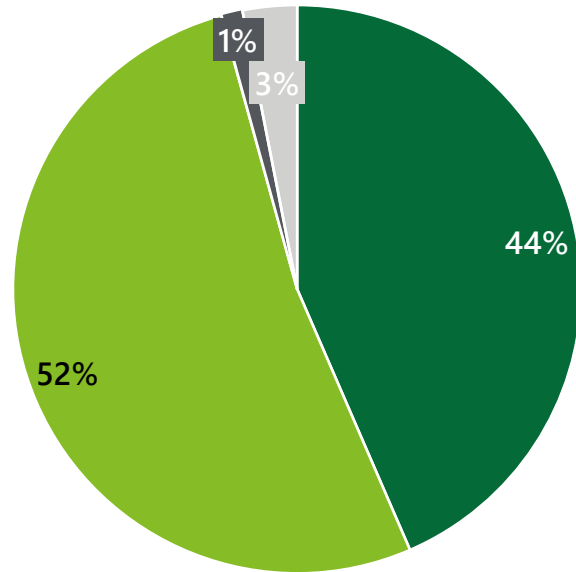
2.調査結果の詳細

- 回収結果および基本情報
- 問1 まちづくり戦略ビジョンについて
- 問2 基本目標について
- 問3 まちづくりの重要概念に関する取組について
- 問4 人口減少について
- 問5 まちづくりの総合満足度について

アンケート回答者の基本情報 (1/3)

性別

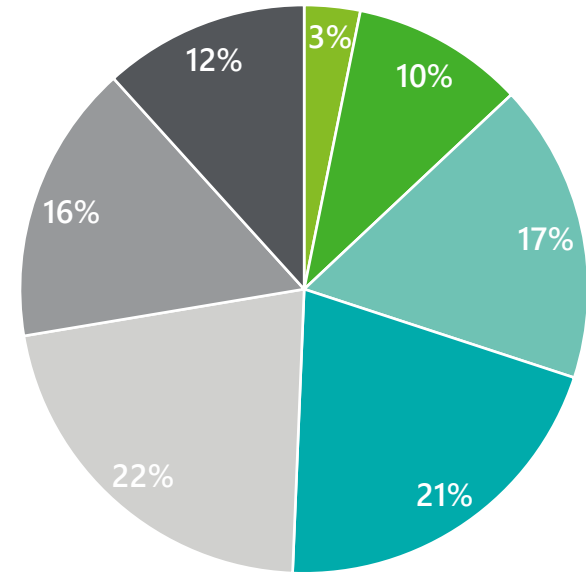
(n = 6,862)



■ 男性 ■ 女性 ■ その他 ■ 回答なし

年代

(n = 6,862)

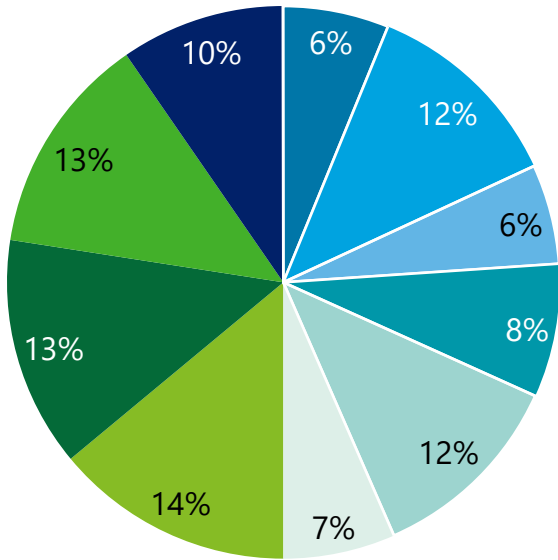


■ 10代 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代以上

アンケート回答者の基本情報 (2/3)

居住区

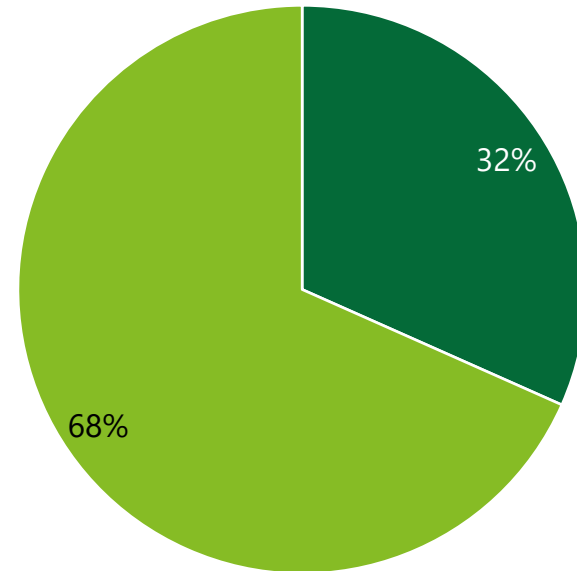
(n = 6,862)



- 中央区
- 白石区
- 清田区
- 手稲区
- 北区
- 厚別区
- 南区
- 東区
- 豊平区
- 西区

18歳以下の子ども有無

(n = 6,862)

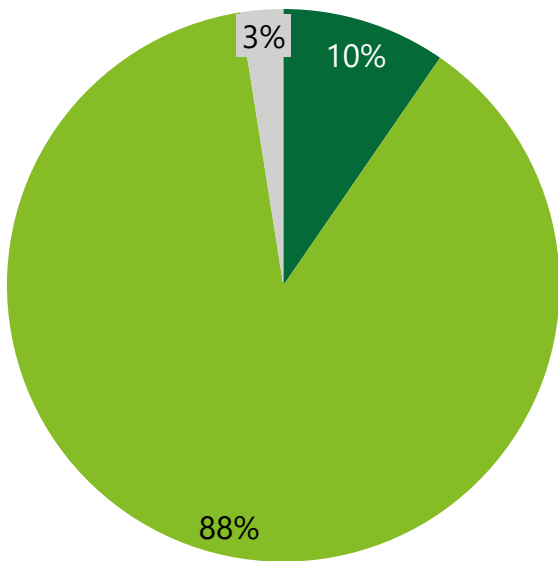


- いる
- いない

アンケート回答者の基本情報 (3/3)

障がいの有無

(n = 6,862)



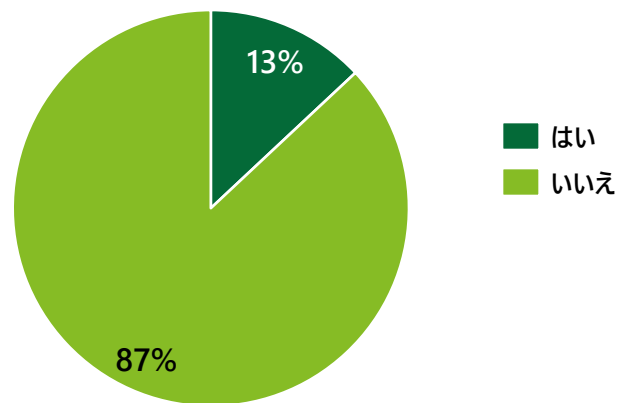
■ はい ■ いいえ ■ 回答なし

2.調査結果の詳細

- 回収結果および基本情報
- 問1 まちづくり戦略ビジョンについて
- 問2 基本目標について
- 問3 まちづくりの重要概念に関する取組について
- 問4 人口減少について
- 問5 まちづくりの総合満足度について

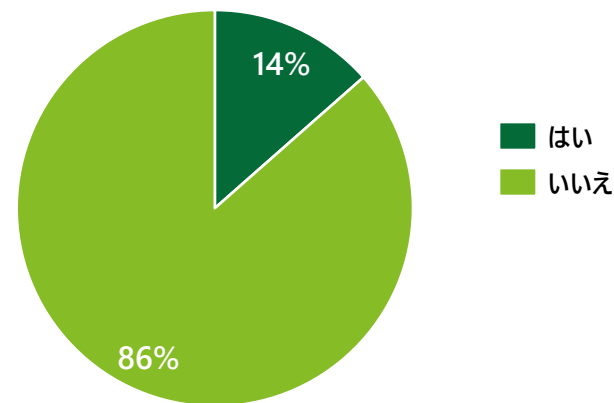
問1.1 認知率 | 第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン

(n = 6,862) あなたは、「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン」を知っていましたか。



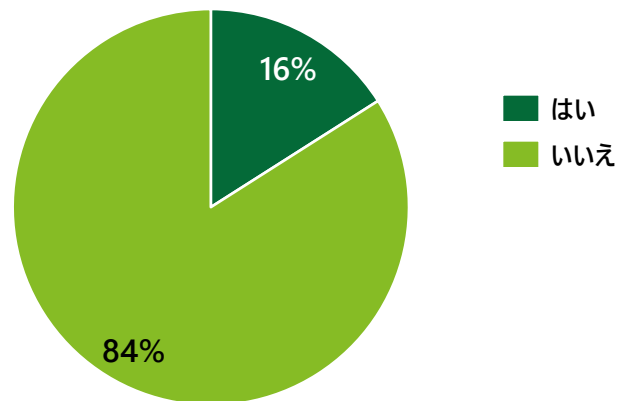
問1.2 ① 認知率 | 目指すべき都市像

(n = 6,862) あなたは、「目指すべき都市像」を知っていましたか。



問1.2 ② 認知率 | まちづくりの重要概念

(n = 6,862) あなたは、「まちづくりの重要概念」を知っていましたか。



2.調査結果の詳細

- 回収結果および基本情報
- 問1 まちづくり戦略ビジョンについて
- 問2 基本目標について
- 問3 まちづくりの重要概念に関する取組について
- 問4 人口減少について
- 問5 まちづくりの総合満足度について

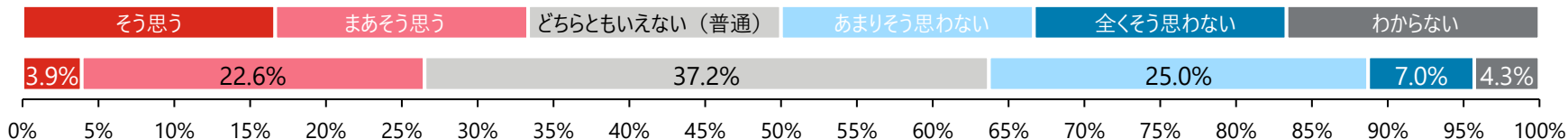
子ども・若者分野

基本目標①「安心して子どもを産み育てることができる、子育てに優しいまち」

全体評価点* (前年比)	R4	R5	R6
2.91 (±0.00)	2.95	2.85	2.91

基本目標の評価

(n = 6,862) 基本目標①「安心して子どもを産み育てることができる、子育てに優しいまち」が実現していると思いますか。

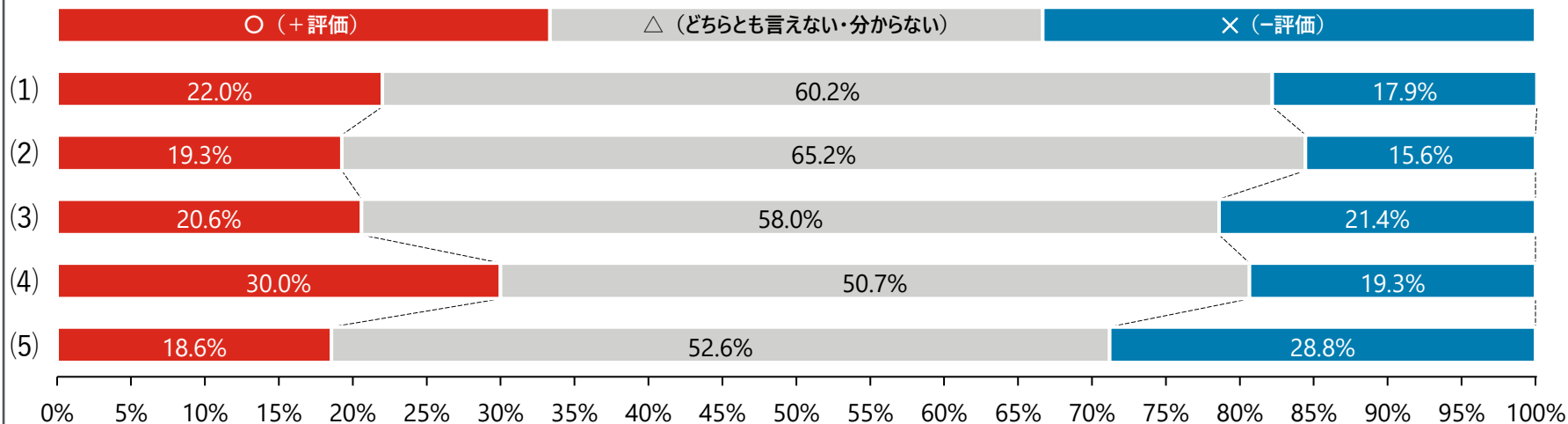


*そう思う=5点、まあそう思う=4点、どちらともいえない (普通) =3点、あまりそう思わない=2点、全くそう思わない=1点として回答の平均値で算出。(わからないは除外)

目指す姿の評価

目指す姿	内容
目指す姿	(1)社会全体が、妊娠期を含めて子どもと子育てを支えている。
	(4)児童が放課後に過ごす安全で心地よい居場所が整っている。
	(2)子育てする人同士の交流が進んでいる。
	(5)ワーク・ライフ・バランスが広く定着し、性別を問わず、働きながら安心して子育てができる環境が整っている。
	(3)多様なニーズに応じた保育サービスが充実している。

(n = 6,862) 基本目標①「安心して子どもを産み育てることができる、子育てに優しいまち」に関する下記の札幌市の目指す姿に対して、「○ (+評価)」、「△ (どちらとも言えない・わからない) 」または「× (-評価) 」のいずれかあてはまるものを選択してください。



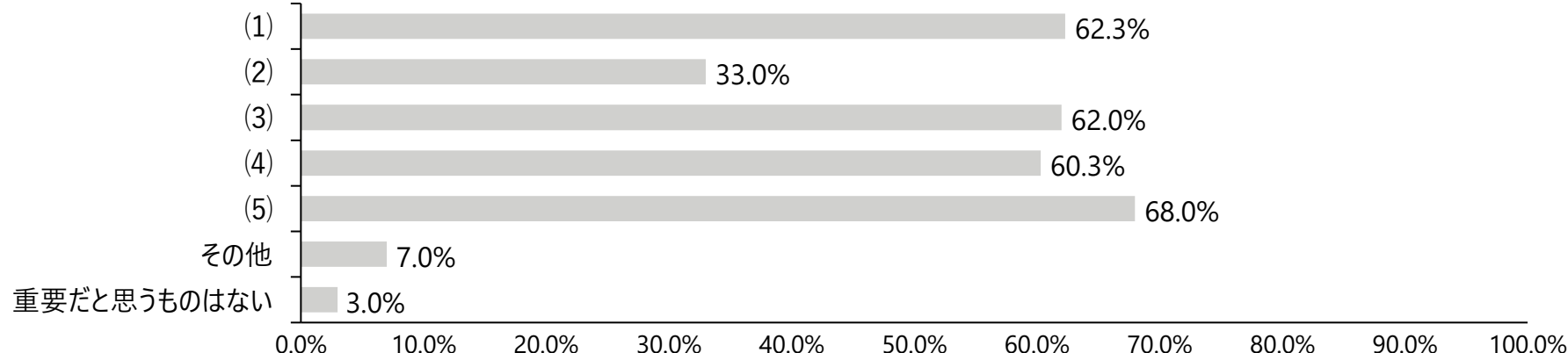
子ども・若者分野

基本目標①「安心して子どもを産み育てることができる、子育てに優しいまち」

重要度の評価

目指す姿	(1)社会全体が、妊娠期を含めて子どもと子育てを支えている。	(2)子育てする人同士の交流が進んでいる。	(3)多様なニーズに応じた保育サービスが充実している。
	(4)児童が放課後に過ごす安全で心地よい居場所が整っている。	(5)ワーク・ライフ・バランスが広く定着し、性別を問わず、働きながら安心して子育てができる環境が整っている。	

(n = 6,862) 基本目標①「安心して子どもを産み育てることができる、子育てに優しいまち」に関連する下記の札幌市の目指す姿のなかで、あなたが重要だと思うものすべてを選択してください。



上記以外に重要だと思うもの (FA)

カテゴリ	記述内容抜粋
経済的支援の拡充	<ul style="list-style-type: none"> 現在の出産育児費用では足りず、出産にかかった費用は全額支給すべきだ。 物価高で支出が増えており、オムツやミルクなど消耗品を含む金銭的な補助を拡充してほしい。
保育環境・人材強化	<ul style="list-style-type: none"> 保育士や児童支援員の待遇を改善し、基本給を税でカバーして引き上げてほしい。 保育園に入れない、保育料が高い、24時間保育や病児保育が少なすぎるという課題がある。
働き方・育休改善	<ul style="list-style-type: none"> 男性の育児意識を高め、育休を認める職場環境の整備が求められる。 保育園と就学後の預かり時間の差が大きく、ワーク・ライフバランスの維持が難しい。
安全・防犯と冬対策	<ul style="list-style-type: none"> 除雪が遅く歩道が歩けず車道を歩く状況があり、冬季の歩行の安全確保を徹底すべきだ。 通学路に合わせて横断歩道や信号機を設置し、登下校時の交通安全を整えてほしい。
遊び場・公園充実	<ul style="list-style-type: none"> 乳児から高校生まで楽しめる室内の遊び場を整備し、いつでも行ける料金設定にしてほしい。 乳幼児連れでも出かけやすいよう、ベビーカー対応やおむつ替え台・授乳室を充実させてほしい。

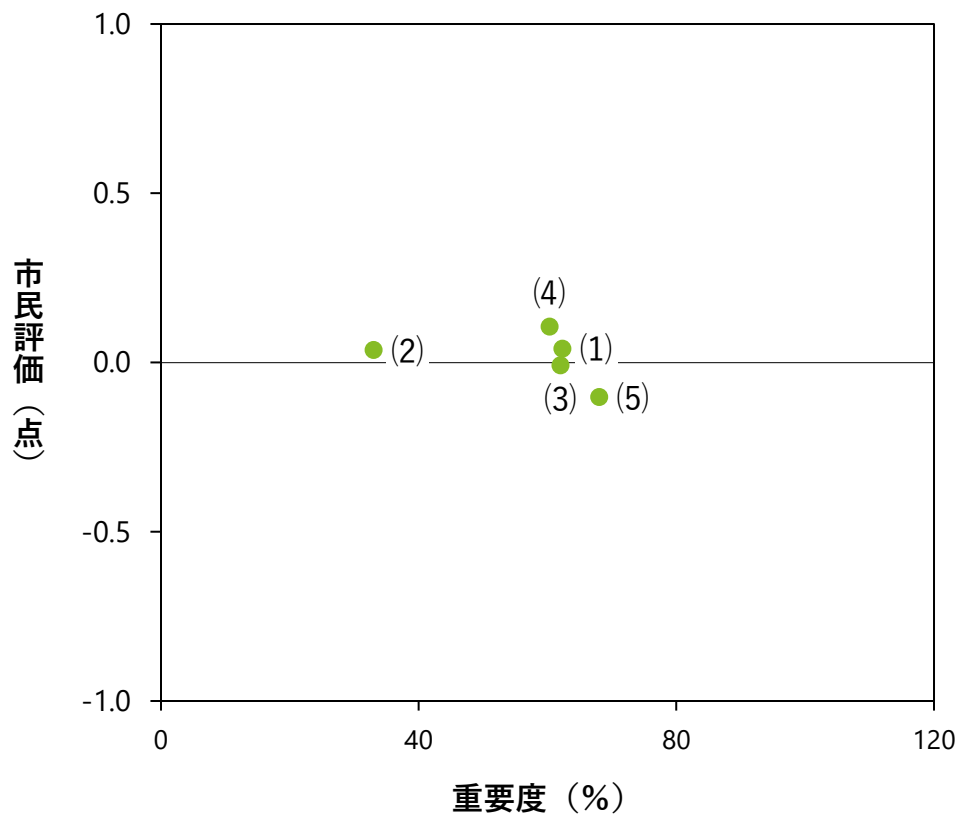
* 回答の多い内容を集約し、カテゴライズ。実際の回答を記載（弊社にて必要に応じて文言調整）

子ども・若者分野

基本目標①「安心して子どもを生き育てることができる、子育てに優しいまち」

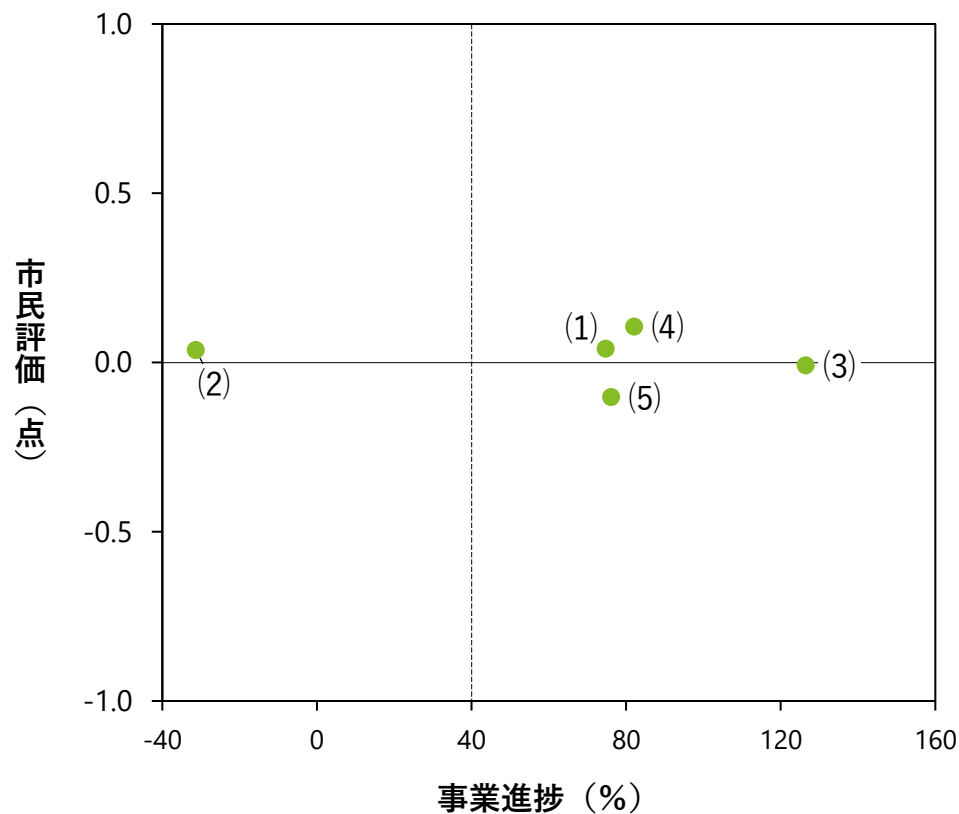
目指す姿の市民評価×重要度

(n = 6,862)



目指す姿の市民評価×事業進捗

(n = 6,862)



目指す姿

(1)社会全体が、妊娠期を含めて子どもと子育てを支えている。

(2)子育てする人同士の交流が進んでいる。

(3)多様なニーズに応じた保育サービスが充実している。

(4)児童が放課後に過ごす安全で心地よい居場所が整っている。

(5)ワーク・ライフ・バランスが広く定着し、性別を問わず、働きながら安心して子育てができる環境が整っている。

子ども・若者分野

基本目標①「安心して子どもを生み育てることができる、子育てに優しいまち」

基本目標に
対する評価
【詳細版】

(n = 6,862)

		R4 (n=3,292)	R5 (n=2,013)	R6 (n=2,494)	R7 (n=6,862)	R7-R6
全体		2.95	2.85	2.91	2.91	0.00
年代別	10代	3.19	3.05	3.23	3.43	0.20
	20代	2.95	2.93	2.87	2.99	0.12
	30代	2.76	2.67	2.66	2.83	0.17
	40代	2.90	2.83	2.80	2.82	0.02
	50代	2.99	2.89	2.96	2.89	-0.07
	60代	2.83	2.79	2.98	2.83	-0.15
	70代以上	3.06	2.92	3.00	2.93	-0.07
性別	男性	2.93	2.89	2.90	2.93	0.03
	女性	3.00	2.84	2.93	2.87	-0.06
	その他	2.64	2.59	2.51	2.56	0.05
区別	中央区	2.92	2.93	2.99	2.87	-0.12
	北区	3.02	2.76	2.89	2.89	0.00
	東区	2.87	2.87	2.76	2.83	0.07
	白石区	2.94	2.75	2.87	2.82	-0.05
	厚別区	2.99	2.98	2.92	2.97	0.05
	豊平区	2.89	2.78	3.05	2.87	-0.18
	清田区	2.99	2.89	2.93	2.90	-0.03
	南区	2.88	2.84	2.90	2.95	0.05
	西区	2.96	2.79	2.88	2.99	0.11
	手稲区	3.05	2.91	2.91	2.82	-0.09
18歳以下の子ども有無	有	2.96	2.81	2.86	2.88	0.02
	無	2.94	2.87	2.93	2.89	-0.04

基本目標① | 目指す姿の経年変化 全体・年代別

		基本目標①「安心して子どもを生み育てることができる、子育てに優しいまち」											
		サンプル数	社会全体が、妊娠期を含めて子どもと子育てを支えている。	R7-R6	子育てする人同士の交流が進んでいる。	R7-R6	多様なニーズに応じた保育サービスが充実している。	R7-R6	児童が放課後に過ごす安全で心地よい居場所が整っている。	R7-R6	ワーク・ライフ・バランスが広く定着し、性別を問わず、働きながら安心して子育てができる環境が整っている。	R7-R6	
全体	R4	3,292	-0.20		-0.08		-0.16		0.03		-0.33		
	R5	2,013	-0.21		-0.08		-0.19		0.04		-0.34		
	R6	2,494	-0.19		-0.05		-0.15		-0.02		-0.31		
	R7	6,862	0.04	0.23	0.04	0.09	-0.01	0.14	0.11	0.13	-0.10	0.21	
年代別	10代	R4	306	-0.08		0.03		0.04		0.29		-0.12	
		R5	146	-0.05		-0.01		0.01		0.32		-0.10	
		R6	210	-0.03		0.11		0.04		0.33		-0.03	
		R7	218	0.21	0.24	0.31	0.20	0.28	0.24	0.42	0.09	0.27	0.30
	20代	R4	435	-0.23		-0.09		-0.14		0.04		-0.23	
		R5	253	-0.20		0.00		-0.13		0.15		-0.23	
		R6	438	-0.25		-0.04		-0.15		-0.05		-0.23	
		R7	674	0.01	0.26	0.03	0.07	0.07	0.22	0.16	0.21	0.05	0.28
	30代	R4	468	-0.32		-0.21		-0.18		-0.06		-0.45	
		R5	301	-0.28		-0.17		-0.22		-0.05		-0.37	
		R6	362	-0.26		-0.12		-0.16		-0.09		-0.36	
		R7	1,169	-0.03	0.23	0.00	0.12	-0.01	0.15	0.05	0.14	-0.15	0.21
	40代	R4	469	-0.22		-0.06		-0.16		0.07		-0.36	
		R5	303	-0.23		-0.06		-0.21		-0.01		-0.41	
		R6	303	-0.24		-0.12		-0.26		-0.08		-0.43	
		R7	1,414	0.01	0.25	0.01	0.13	-0.06	0.20	0.06	0.14	-0.20	0.23
	50代	R4	510	-0.17		-0.06		-0.22		0.02		-0.33	
		R5	234	-0.24		0.03		-0.27		0.09		-0.41	
		R6	376	-0.15		-0.03		-0.14		-0.01		-0.35	
		R7	1,490	0.04	0.19	0.07	0.10	-0.01	0.13	0.10	0.11	-0.13	0.22
	60代	R4	402	-0.26		-0.12		-0.28		-0.09		-0.44	
		R5	298	-0.25		-0.14		-0.29		-0.07		-0.40	
		R6	355	-0.21		-0.10		-0.23		-0.08		-0.34	
		R7	1,093	0.01	0.22	0.00	0.10	-0.08	0.15	0.06	0.14	-0.15	0.19
	70代以上	R4	682	-0.14		-0.04		-0.12		0.04		-0.32	
		R5	465	-0.16		-0.14		-0.17		0.03		-0.33	
		R6	423	-0.11		-0.02		-0.12		-0.03		-0.32	
		R7	804	0.10	0.21	0.02	0.04	-0.02	0.10	0.11	0.14	-0.11	0.21

● 2.調査結果の詳細 | 問2 基本目標について

基本目標① | 目指す姿の経年変化 区別

		基本目標①「安心して子どもを生み育てることができる、子育てに優しいまち」											
区別		R	サンプル数	社会全体が、妊娠期を含めて子どもと子育てを支えている。	R7-R6	子育てする人同士の交流が進んでいる。	R7-R6	多様なニーズに応じた保育サービスが充実している。	R7-R6	児童が放課後に過ごす安全で心地よい居場所が整っている。	R7-R6	ワーク・ライフ・バランスが広く定着し、性別を問わず、働きながら安心して子育てができる環境が整っている。	R7-R6
区別	中央区	R4	351		-0.20		-0.07		-0.22		0.00		-0.34
		R5	206		-0.19		-0.02		-0.14		0.12		-0.26
		R6	247		-0.15		-0.09		-0.20		-0.05		-0.20
		R7	959		0.04	0.19	0.02	0.11	0.02	0.22	0.06	0.11	-0.08
	北区	R4	314		-0.15		0.00		-0.13		0.06		-0.32
		R5	196		-0.24		-0.09		-0.22		0.01		-0.38
		R6	246		-0.22		0.00		-0.11		-0.06		-0.35
		R7	925		0.03	0.25	0.05	0.05	-0.03	0.08	0.07	0.13	-0.12
	東区	R4	318		-0.23		-0.10		-0.22		-0.03		-0.37
		R5	199		-0.22		-0.10		-0.20		-0.10		-0.32
		R6	245		-0.23		-0.05		-0.17		-0.03		-0.31
		R7	887		0.00	0.23	0.02	0.07	-0.03	0.14	0.09	0.12	-0.14
	白石区	R4	276		-0.14		-0.12		-0.08		0.05		-0.28
		R5	176		-0.32		-0.16		-0.30		-0.06		-0.42
		R6	226		-0.20		-0.11		-0.18		-0.04		-0.36
		R7	659		0.01	0.21	0.03	0.14	-0.04	0.14	0.07	0.11	-0.16
	厚別区	R4	339		-0.26		-0.04		-0.12		0.07		-0.33
		R5	205		-0.18		-0.03		-0.14		0.10		-0.30
		R6	260		-0.15		-0.02		-0.17		-0.02		-0.29
		R7	425		0.04	0.19	0.08	0.10	0.00	0.17	0.10	0.12	-0.14
	豊平区	R4	310		-0.25		-0.08		-0.17		0.00		-0.31
		R5	196		-0.17		-0.11		-0.21		-0.04		-0.34
		R6	231		-0.07		-0.03		-0.05		-0.01		-0.23
		R7	817		0.02	0.09	0.00	0.03	-0.03	0.02	0.08	0.09	-0.08
	清田区	R4	346		-0.23		-0.10		-0.14		0.06		-0.36
		R5	199		-0.21		-0.09		-0.18		0.03		-0.37
		R6	217		-0.26		-0.05		-0.19		-0.02		-0.40
		R7	401		-0.01	0.25	0.05	0.10	0.00	0.19	0.14	0.16	-0.15
南区	R4	352		-0.19		-0.07		-0.14		0.11		-0.31	
	R5	188		-0.14		-0.06		-0.18		0.05		-0.32	
	R6	256		-0.20		-0.07		-0.19		0.02		-0.30	
	R7	536		0.10	0.30	0.09	0.16	0.00	0.19	0.13	0.11	-0.11	0.19
西区	R4	346		-0.20		-0.07		-0.12		0.04		-0.31	
	R5	236		-0.23		-0.08		-0.22		0.08		-0.36	
	R6	277		-0.20		-0.09		-0.16		-0.01		-0.30	
	R7	803		0.04	0.24	0.03	0.12	0.01	0.17	0.15	0.16	-0.11	0.19
手稲区	R4	309		-0.19		-0.18		-0.24		-0.02		-0.36	
	R5	197		-0.22		-0.11		-0.16		0.17		-0.35	
	R6	246		-0.18		0.00		-0.13		0.01		-0.36	
	R7	450		0.02	0.20	-0.01	-0.01	-0.06	0.07	0.09	0.08	-0.15	0.21

基本目標① | 目指す姿の経年変化 性別・子ども有無別

		基本目標①「安心して子どもを生き育てることができる、子育てに優しいまち」										
		サンプル数	社会全体が、妊娠期を含めて子どもと子育てを支えている。	R7-R6	子育てする人同士の交流が進んでいる。	R7-R6	多様なニーズに応じた保育サービスが充実している。	R7-R6	児童が放課後に過ごす安全で心地よい居場所が整っている。	R7-R6	ワーク・ライフ・バランスが広く定着し、性別を問わず、働きながら安心して子育てができる環境が整っている。	R7-R6
18歳以下の子供	有	R4	922	-0.21		-0.11		-0.13		0.09		-0.35
		R5	574	-0.25		-0.13		-0.24		0.03		-0.43
		R6	643	-0.15		-0.08		-0.17		-0.01		-0.37
		R7	2,172	0.00	0.15	0.00	0.08	-0.02	0.15	0.09	0.10	-0.19
	無	R4	2,326	-0.20		-0.07		-0.17		0.01		-0.32
		R5	1,420	-0.20		-0.07		-0.18		0.04		-0.31
		R6	1,804	-0.20		-0.04		-0.15		-0.02		-0.28
	R7	4,690	0.04	0.24	0.05	0.09	-0.01	0.14	0.10	0.12	-0.08	0.20

基本目標① | 目指す姿の重要度 属性別

		基本目標①「安心して子どもを育てることができる、子育てに優しいまち」					
		サンプル数	社会全体が、妊娠期を含めて子どもと子育てを支えている。	子育てする人同士の交流が進んでいる。	多様なニーズに応じた保育サービスが充実している。	児童が放課後に過ごす安全で心地よい居場所が整っている。	ワーク・ライフ・バランスが広く定着し、性別を問わず、働きながら安心して子育てができる環境が整っている。
全体		6,862	62.3%	33.0%	62.0%	60.3%	68.0%
年代別	10代	218	69.7%	40.8%	58.3%	60.1%	74.3%
	20代	674	71.8%	29.8%	59.8%	57.1%	72.1%
	30代	1,169	66.7%	31.3%	57.1%	54.3%	73.7%
	40代	1,414	61.6%	30.8%	61.1%	61.1%	70.2%
	50代	1,490	56.6%	30.3%	61.0%	58.1%	67.4%
	60代	1,093	59.3%	34.7%	64.5%	60.3%	65.5%
	70代以上	804	61.4%	37.6%	66.0%	66.7%	62.8%
性別	男性	2,985	63.3%	31.8%	57.7%	54.3%	62.9%
	女性	3,581	61.7%	32.9%	64.5%	63.6%	73.8%
区別	中央区	959	57.8%	32.1%	59.5%	59.1%	69.6%
	北区	925	60.9%	31.7%	64.1%	59.1%	70.1%
	東区	887	61.4%	31.1%	61.9%	60.2%	67.6%
	白石区	659	60.7%	32.0%	58.4%	56.4%	69.0%
	厚別区	425	60.7%	29.1%	58.6%	54.0%	68.0%
	豊平区	817	59.1%	33.2%	64.0%	60.5%	68.0%
	清田区	401	62.1%	30.2%	59.9%	59.1%	68.5%
	南区	536	63.8%	33.7%	61.6%	61.1%	71.1%
	西区	803	66.2%	38.1%	63.1%	61.0%	68.8%
	手稲区	450	65.1%	34.1%	60.0%	60.1%	70.5%
18歳以下の子供	有	2,172	66.9%	32.6%	60.3%	63.7%	69.5%
	無	4,690	60.1%	32.3%	61.8%	57.4%	68.6%

● 2.調査結果の詳細 | 問2 基本目標について

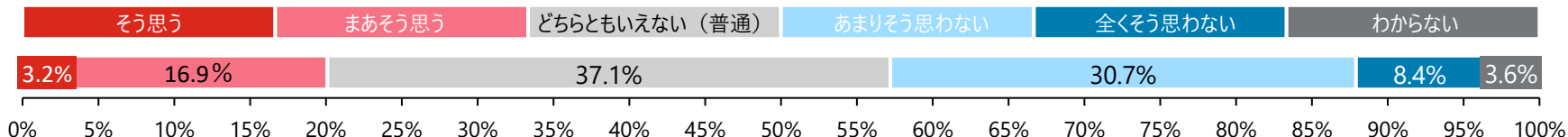
子ども・若者分野

基本目標②「誰一人取り残されずに、子どもが伸び伸びと成長し、若者が希望を持って暮らすまち」

全体評価点* (前年比)	R4	R5	R6
2.75 (+0.18)	2.66	2.59	2.57

基本目標の評価

(n = 6,862) 基本目標②「誰一人取り残されずに、子どもが伸び伸びと成長し、若者が希望を持って暮らすまち」が実現していると思いますか。

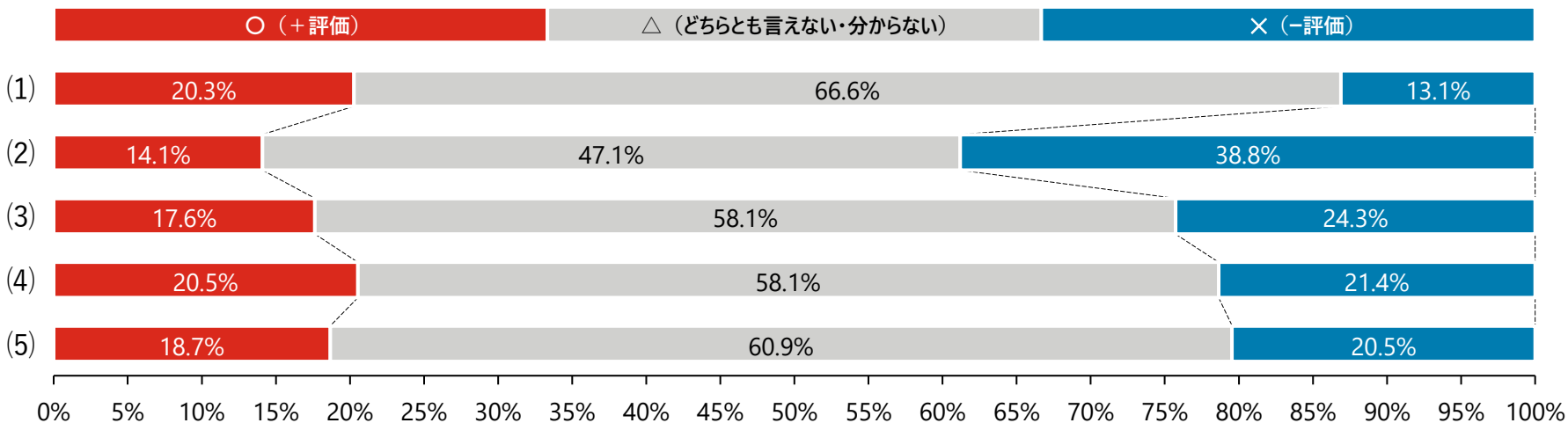


*そう思う=5点、まあそう思う=4点、どちらともいえない (普通) =3点、あまりそう思わない=2点、全くそう思わない=1点として回答の平均値で算出。(わからないは除外)

目指す姿の評価

目指す姿	内容
(1)	子どもの権利の保障が進み、子ども一人一人が自分らしく伸び伸びと過ごしている。
(2)	虐待やいじめなど、権利が侵害される事態が未然に防がれ、事態が起きても迅速かつ適切な対応が行われている。
(3)	支援や配慮が必要となる子どもや家庭が、困難な状況に応じた適切なサポートを受け、安心して過ごしている。
(4)	若者が、質の高い教育などを通して成長している。
(5)	若者が安心して過ごせる居場所 (家庭・学校・その他の場所) をよりどころに社会とつながっている。

(n = 6,862) 基本目標「誰一人取り残されずに、子どもが伸び伸びと成長し、若者が希望を持って暮らすまち」に関連する下記の札幌市の目指す姿に対して、「○ (+評価)」、「△ (どちらとも言えない・わからない) 」または「× (-評価) 」のいずれかあてはまるものを選択してください。



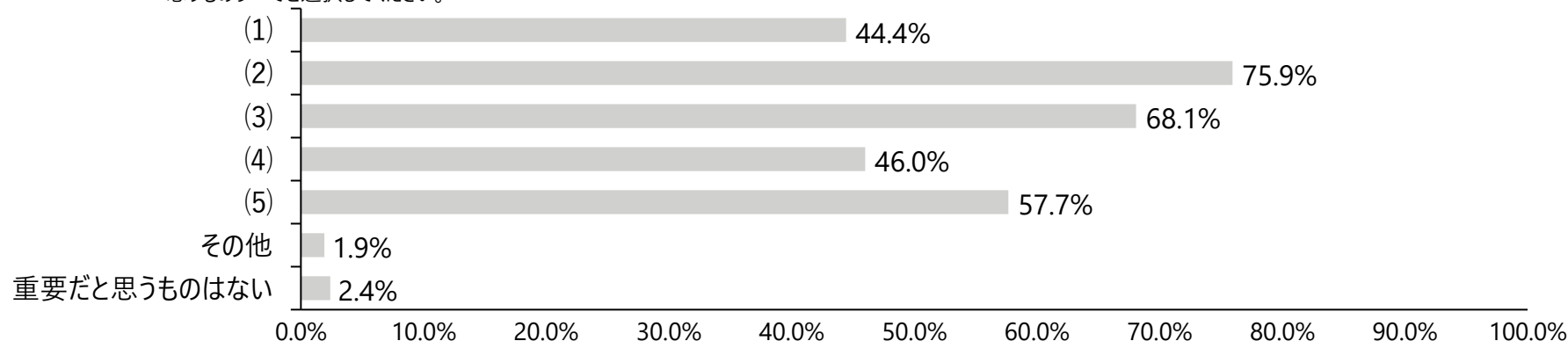
子ども・若者分野

基本目標②「誰一人取り残されずに、子どもが伸び伸びと成長し、若者が希望を持って暮らすまち」

重要度の評価

目指す姿	(1)子どもの権利の保障が進み、子ども一人一人が自分らしく伸び伸びと過ごしている。	(2)虐待やいじめなど、権利が侵害される事態が未然に防がれ、事態が起きても迅速かつ適切な対応が行われている。	(3)支援や配慮が必要となる子どもや家庭が、困難な状況に応じた適切なサポートを受け、安心して過ごしている。
	(4)若者が、質の高い教育などを通して成長している。	(5)若者が安心して過ごせる居場所（家庭・学校・その他の場所）をよりどころに社会とつながっている。	

(n = 6,862) 基本目標②「誰一人取り残されずに、子どもが伸び伸びと成長し、若者が希望を持って暮らすまち」に関連する下記の札幌市の目指す姿のなかで、あなたが重要だと思うものすべてを選択してください。



上記以外に重要だと思うもの (FA)

カテゴリ	記述内容抜粋
いじめ虐待の防止迅速対応	・虐待やいじめへの対応は迅速とは言えず、第三者機関の設置など実効性ある仕組みが必要だ。 ・被害者の支援はもちろん、加害者の更生プログラムや専門施設の整備も必要だ。
教育現場の質と人員強化	・小中学校教育の質向上には、教員の質の向上が最も重要だ。 ・先生の保護者対応が過重であるため、副担任やスクールカウンセラーの配置を充実させるべきだ。
経済支援と教育格差是正	・貧困家庭の子どもでも自然体験や習い事、学習の機会が確保され、経験格差が生まれない仕組みが必要だ。 ・最低賃金の独自上乘せなど、若者の所得改善につながる施策が必要だ。
不登校・居場所と相談充実	・いじめや虐待で悩む子どもが駆け込める場所や、第三者に気軽に相談できる窓口の拡充が必要だ。 ・不登校になった親子が気軽に利用できる居場所や、精神疾患を抱える若者が安心して過ごせる場の整備が不足している。
地元就業機会創出と教育連携	・若者が札幌に住み続けたいと思えるよう、魅力的な企業誘致やインターンシップ、講師派遣など学校との連携を強化すべきだ。 ・若者が安心して働ける職場を増やし、地元での就業機会を拡大する必要がある。

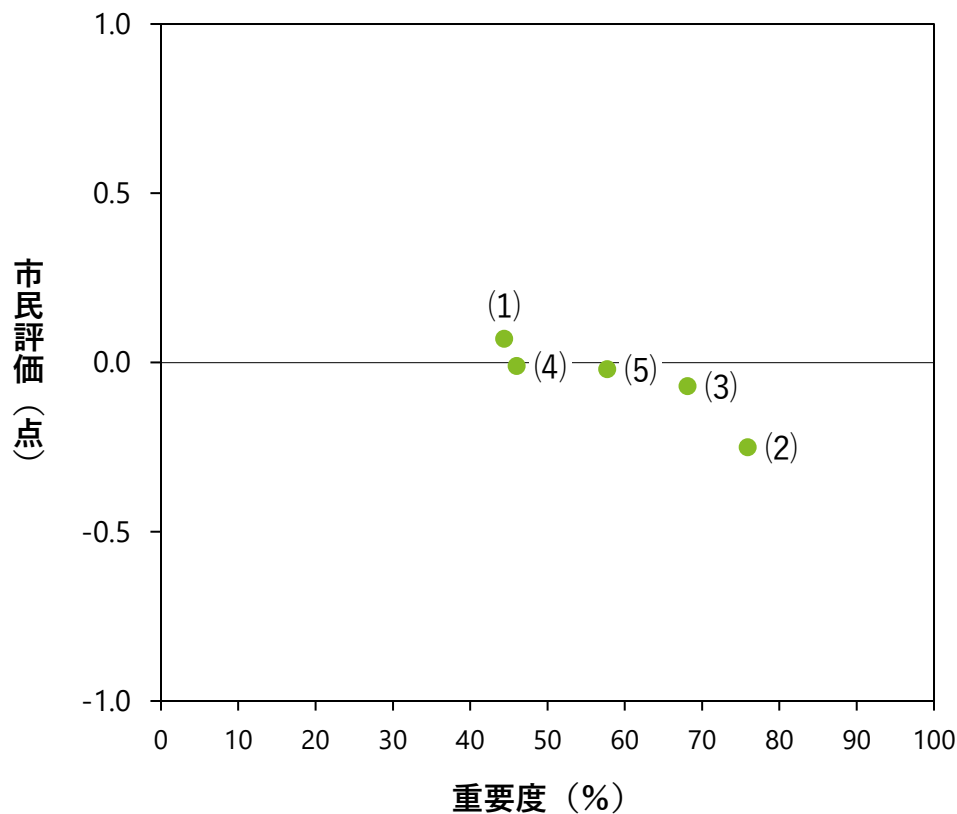
* 回答の多い内容を集約し、カテゴライズ。
実際の回答を記載（弊社にて必要に応じて文言調整）

子ども・若者分野

基本目標②「誰一人取り残されずに、子どもが伸び伸びと成長し、若者が希望を持って暮らすまち」

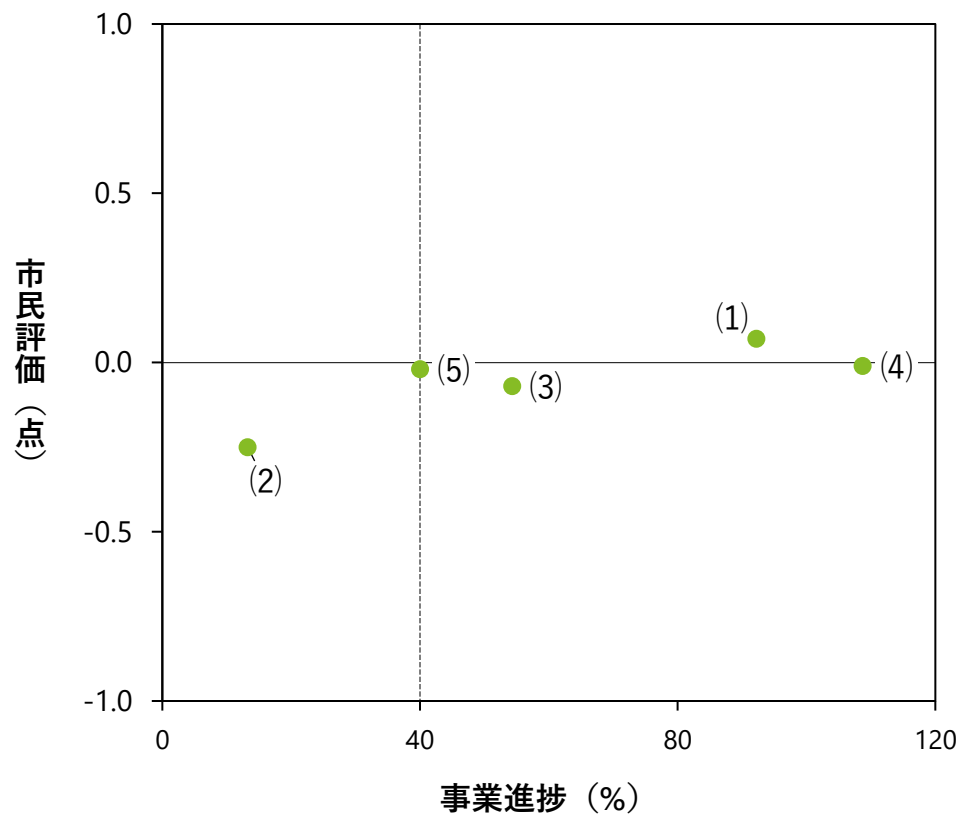
目指す姿の市民評価×重要度

(n = 6,862)



目指す姿の市民評価×事業進捗

(n = 6,862)



目指す姿	(1)子どもの権利の保障が進み、子ども一人一人が自分らしく伸び伸びと過ごしている。	(2)虐待やいじめなど、権利が侵害される事態が未然に防がれ、事態が起きても迅速かつ適切な対応が行われている。	(3)支援や配慮が必要となる子どもや家庭が、困難な状況に応じた適切なサポートを受け、安心して過ごしている。
	(4)若者が、質の高い教育などを通して成長している。	(5)若者が安心して過ごせる居場所（家庭・学校・その他の場所）をよりどころに社会とつながっている。	

子ども・若者分野

基本目標②「誰一人取り残されずに、子どもが伸び伸びと成長し、若者が希望を持って暮らすまち」

基本目標に
対する評価
【詳細版】

(n = 6,862)

		R4 (n=3,292)	R5 (n=2,013)	R6 (n=2,494)	R7 (n=6,862)	R7-R6
全体		2.66	2.59	2.57	2.75	0.18
年代別	10代	2.96	2.82	2.93	3.38	0.45
	20代	2.72	2.67	2.55	2.95	0.40
	30代	2.50	2.48	2.48	2.73	0.25
	40代	2.64	2.54	2.45	2.61	0.16
	50代	2.60	2.55	2.58	2.67	0.09
	60代	2.55	2.45	2.50	2.67	0.17
	70代以上	2.72	2.69	2.64	2.74	0.10
性別	男性	2.67	2.63	2.58	2.78	0.20
	女性	2.67	2.58	2.58	2.70	0.12
	その他	2.48	2.11	2.23	2.36	0.13
区別	中央区	2.73	2.71	2.74	2.73	-0.01
	北区	2.72	2.50	2.50	2.74	0.24
	東区	2.64	2.66	2.52	2.67	0.15
	白石区	2.64	2.51	2.47	2.67	0.20
	厚別区	2.75	2.65	2.59	2.81	0.22
	豊平区	2.62	2.55	2.63	2.73	0.10
	清田区	2.67	2.61	2.51	2.74	0.23
	南区	2.60	2.64	2.60	2.74	0.14
	西区	2.59	2.53	2.60	2.80	0.20
	手稲区	2.63	2.51	2.55	2.63	0.08
18歳以下の子ども有無	有	2.67	2.54	2.57	2.72	0.15
	無	2.65	2.60	2.57	2.73	0.16

基本目標② | 目指す姿の経年変化 全体・年代別

		基本目標②「誰一人取り残されずに、子どもが伸び伸びと成長し、若者が希望を持って暮らすまち」										
		サンプル数	子どもの権利の保障が進み、子ども一人一人が自分らしく伸び伸びと過ごしている。	R7-R6	虐待やいじめなど、権利が侵害される事態が未然に防がれ、事態が起きても迅速かつ適切な対応が行われている。	R7-R6	支援や配慮が必要となる子どもや家庭が、困難な状況に応じた適切なサポートを受け、安心して過ごしている。	R7-R6	若者が、質の高い教育などを通して成長している。	R7-R6	若者が安心して過ごせる居場所（家庭・学校・その他の場所）をよりどころに社会とつながっている。	R7-R6
全体	R4	3,292	-0.05		-0.43		-0.21		-0.14		-0.16	
	R5	2,013	-0.05		-0.52		-0.25		-0.12		-0.20	
	R6	2,494	-0.05		-0.51		-0.24		-0.17		-0.17	
	R7	6,862	0.07	0.12	-0.25	0.26	-0.07	0.17	-0.01	0.16	-0.02	0.15
年代別	10代	R4	306	0.21		-0.38		0.05		0.07		0.09
		R5	146	0.18		-0.47		0.01		0.10		0.11
		R6	210	0.08		-0.38		0.04		0.08		0.07
		R7	218	0.41	0.33	-0.07	0.31	0.31	0.27	0.35	0.27	0.48
	20代	R4	435	0.04		-0.41		-0.13		-0.14		-0.01
		R5	253	0.06		-0.51		-0.15		0.00		-0.05
		R6	438	0.04		-0.51		-0.21		-0.20		-0.07
		R7	674	0.23	0.19	-0.14	0.37	0.10	0.31	0.09	0.29	0.15
	30代	R4	468	-0.04		-0.42		-0.21		-0.30		-0.25
		R5	301	-0.05		-0.49		-0.29		-0.24		-0.21
		R6	362	0.04		-0.50		-0.22		-0.23		-0.18
		R7	1,169	0.10	0.06	-0.21	0.29	-0.04	0.18	-0.06	0.17	-0.02
	40代	R4	469	-0.10		-0.36		-0.21		-0.21		-0.19
		R5	303	-0.08		-0.49		-0.22		-0.26		-0.24
		R6	303	-0.11		-0.49		-0.28		-0.30		-0.27
		R7	1,414	0.01	0.12	-0.27	0.22	-0.10	0.18	-0.12	0.18	-0.08
	50代	R4	510	-0.07		-0.45		-0.29		-0.15		-0.20
		R5	234	-0.13		-0.51		-0.28		-0.20		-0.28
		R6	376	-0.14		-0.55		-0.28		-0.16		-0.19
		R7	1,490	0.01	0.15	-0.27	0.28	-0.09	0.19	-0.04	0.12	-0.06
	60代	R4	402	-0.19		-0.55		-0.40		-0.13		-0.29
		R5	298	-0.18		-0.66		-0.40		-0.16		-0.31
		R6	355	-0.15		-0.57		-0.32		-0.19		-0.29
		R7	1,093	0.00	0.15	-0.29	0.28	-0.15	0.17	-0.06	0.13	-0.12
	70代以上	R4	682	-0.08		-0.43		-0.21		-0.09		-0.21
		R5	465	-0.04		-0.50		-0.27		-0.03		-0.21
		R6	423	-0.08		-0.54		-0.29		-0.08		-0.21
		R7	804	0.05	0.13	-0.28	0.26	-0.13	0.16	0.03	0.11	-0.06

基本目標② | 目指す姿の経年変化 区別

		基本目標②「誰一人取り残されずに、子どもが伸び伸びと成長し、若者が希望を持って暮らすまち」											
区別	区	R	サンプル数	子どもの権利の保障が進み、子ども一人一人が自分らしく伸び伸びと過ごしている。		虐待やいじめなど、権利が侵害される事態が未然に防がれ、事態が起きているにも迅速かつ適切な対応が行われている。		支援や配慮が必要となる子どもや家庭が、困難な状況に応じた適切なサポートを受け、安心して過ごしている。		若者が、質の高い教育などを通して成長している。		若者が安心して過ごせる居場所（家庭・学校・その他の場所）をよりどころに社会とつながっている。	
				R7-R6	R7-R6	R7-R6	R7-R6	R7-R6	R7-R6				
区別	中央区	R4	351	-0.07		-0.40		-0.26		-0.04		-0.09	
		R5	206	0.03		-0.50		-0.17		-0.08		-0.24	
		R6	247	-0.03		-0.48		-0.23		-0.09		-0.17	
		R7	959	0.06	0.09	-0.20	0.28	-0.02	0.21	0.02	0.11	-0.03	0.14
	北区	R4	314	-0.02		-0.45		-0.23		-0.04		-0.13	
		R5	196	-0.07		-0.65		-0.19		-0.10		-0.21	
		R6	246	-0.05		-0.45		-0.21		-0.17		-0.14	
		R7	925	0.06	0.11	-0.26	0.19	-0.07	0.14	-0.02	0.15	-0.03	0.11
	東区	R4	318	-0.05		-0.48		-0.21		-0.18		-0.16	
		R5	199	-0.01		-0.52		-0.27		-0.10		-0.13	
		R6	245	-0.09		-0.53		-0.29		-0.22		-0.18	
		R7	887	0.04	0.13	-0.28	0.25	-0.08	0.21	-0.05	0.17	-0.05	0.13
	白石区	R4	276	-0.11		-0.47		-0.14		-0.16		-0.15	
		R5	176	-0.14		-0.60		-0.37		-0.20		-0.32	
		R6	226	-0.05		-0.59		-0.30		-0.18		-0.19	
		R7	659	0.04	0.09	-0.26	0.33	-0.10	0.20	-0.10	0.08	-0.06	0.13
	厚別区	R4	339	-0.04		-0.38		-0.15		-0.19		-0.21	
		R5	205	0.03		-0.45		-0.18		-0.14		-0.15	
		R6	260	-0.06		-0.53		-0.20		-0.20		-0.21	
		R7	425	0.08	0.14	-0.25	0.28	-0.06	0.14	0.00	0.20	0.00	0.21
	豊平区	R4	310	-0.06		-0.43		-0.24		-0.12		-0.21	
		R5	196	-0.02		-0.44		-0.31		-0.19		-0.16	
		R6	231	0.02		-0.48		-0.25		-0.14		-0.13	
		R7	817	0.05	0.03	-0.23	0.25	-0.06	0.19	-0.02	0.12	-0.01	0.12
	清田区	R4	346	0.01		-0.42		-0.23		-0.16		-0.18	
		R5	199	-0.10		-0.54		-0.28		-0.14		-0.27	
		R6	217	-0.07		-0.54		-0.19		-0.18		-0.16	
		R7	401	0.05	0.12	-0.27	0.27	-0.09	0.10	-0.06	0.12	-0.06	0.10
南区	R4	352	-0.05		-0.38		-0.21		-0.22		-0.15		
	R5	188	-0.04		-0.48		-0.21		-0.10		-0.09		
	R6	256	-0.10		-0.46		-0.23		-0.16		-0.19		
	R7	536	0.10	0.20	-0.26	0.20	-0.08	0.15	-0.01	0.15	0.00	0.19	
西区	R4	346	-0.06		-0.42		-0.17		-0.15		-0.19		
	R5	236	-0.10		-0.54		-0.30		-0.12		-0.21		
	R6	277	-0.01		-0.55		-0.27		-0.21		-0.16		
	R7	803	0.09	0.10	-0.22	0.33	-0.04	0.23	-0.02	0.19	0.00	0.16	
手稲区	R4	309	-0.02		-0.49		-0.24		-0.19		-0.19		
	R5	197	-0.10		-0.48		-0.21		-0.10		-0.18		
	R6	246	-0.08		-0.54		-0.22		-0.11		-0.20		
	R7	450	0.04	0.12	-0.31	0.23	-0.12	0.10	-0.05	0.06	-0.05	0.15	

基本目標② | 目指す姿の経年変化 性別・子ども有無別

		基本目標②「誰一人取り残されずに、子どもが伸び伸びと成長し、若者が希望を持って暮らすまち」											
		サンプル数	子どもの権利の保障が進み、子ども一人一人が自分らしく伸び伸びと過ごしている。	R7-R6	虐待やいじめなど、権利が侵害される事態が未然に防がれ、事態が起きても迅速かつ適切な対応が行われている。	R7-R6	支援や配慮が必要となる子どもや家庭が、困難な状況に応じた適切なサポートを受け、安心して過ごしている。	R7-R6	若者が、質の高い教育などを通して成長している。	R7-R6	若者が安心して過ごせる居場所（家庭・学校・その他の場所）をよりどころに社会とつながっている。	R7-R6	
性別	男性	R4	1,429	-0.04		-0.43		-0.21		-0.13		-0.18	
		R5	895	-0.07		-0.51		-0.26		-0.09		-0.18	
		R6	1,087	-0.05		-0.52		-0.25		-0.13		-0.17	
		R7	2,985	0.08	0.13	-0.20	0.32	-0.03	0.22	0.01	0.14	0.01	0.18
	女性	R4	1,651	-0.04		-0.42		-0.19		-0.15		-0.14	
		R5	1,053	-0.02		-0.52		-0.23		-0.13		-0.20	
		R6	1,326	-0.05		-0.51		-0.22		-0.19		-0.17	
18歳以下の子供	有	R7	3,581	0.05	0.10	-0.28	0.23	-0.09	0.13	-0.06	0.13	-0.05	0.12
		R4	922	0.00		-0.38		-0.17		-0.22		-0.15	
		R5	574	-0.07		-0.50		-0.27		-0.26		-0.18	
		R6	643	-0.03		-0.49		-0.22		-0.25		-0.18	
	無	R7	2,172	0.06	0.09	-0.24	0.25	-0.05	0.17	-0.08	0.17	-0.02	0.16
		R4	2,326	-0.07		-0.45		-0.23		-0.11		-0.17	
		R5	1,420	-0.04		-0.53		-0.24		-0.07		-0.20	
		R6	1,804	-0.06		-0.52		-0.25		-0.14		-0.17	
		R7	4,690	0.06	0.12	-0.25	0.27	-0.08	0.17	0.00	0.14	-0.04	0.13

基本目標② | 目指す姿の重要度 属性別

		基本目標②「誰一人取り残されずに、子どもが伸び伸びと成長し、若者が希望を持って暮らすまち」					
		サンプル数	子どもの権利の保障が進み、子ども一人一人が自分らしく伸び伸びと過ごしている。	虐待やいじめなど、権利が侵害される事態が未然に防がれ、事態が起きても迅速かつ適切な対応が行われている。	支援や配慮が必要となる子どもや家庭が、困難な状況に応じた適切なサポートを受け、安心して過ごしている。	若者が、質の高い教育などを通して成長している。	若者が安心して過ごせる居場所（家庭・学校・その他の場所）をよりどころに社会とつながっている。
全体		6,862	44.4%	75.9%	68.1%	46.0%	57.7%
年代別	10代	218	60.1%	78.9%	65.1%	59.6%	62.8%
	20代	674	51.2%	72.8%	63.8%	54.3%	59.9%
	30代	1,169	48.5%	76.6%	65.2%	50.2%	60.7%
	40代	1,414	46.1%	75.2%	66.1%	51.6%	60.0%
	50代	1,490	37.3%	73.8%	66.4%	44.7%	56.2%
	60代	1,093	38.3%	77.0%	69.1%	41.0%	53.1%
	70代以上	804	44.4%	78.4%	74.1%	38.8%	57.6%
性別	男性	2,985	40.6%	73.5%	61.7%	44.8%	52.6%
	女性	3,581	46.8%	77.5%	71.3%	49.3%	62.6%
区別	中央区	959	47.0%	75.7%	72.3%	45.3%	57.1%
	北区	925	44.2%	76.0%	67.6%	49.1%	59.6%
	東区	887	46.9%	75.0%	68.0%	46.2%	58.3%
	白石区	659	44.1%	74.3%	65.7%	44.8%	56.6%
	厚別区	425	39.6%	73.7%	62.7%	46.1%	52.4%
	豊平区	817	40.9%	76.2%	70.6%	44.2%	57.2%
	清田区	401	43.0%	74.9%	66.6%	46.4%	57.2%
	南区	536	44.9%	76.6%	69.6%	47.9%	58.9%
	西区	803	46.8%	79.1%	67.0%	49.6%	59.7%
	手稲区	450	46.3%	76.3%	68.4%	50.4%	58.9%
18歳以下の子供	有	2,172	50.2%	77.1%	66.9%	52.4%	61.8%
	無	4,690	41.3%	75.0%	67.3%	44.8%	56.2%

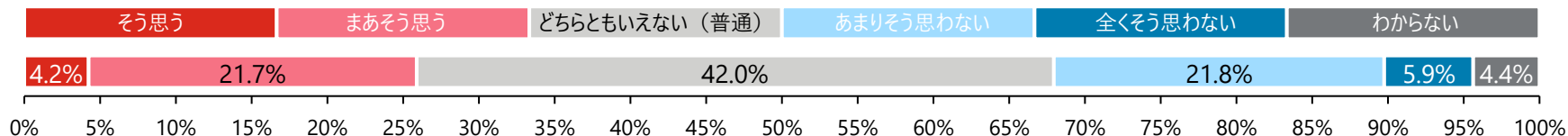
子ども・若者分野

基本目標③「一人一人の良さや可能性を大切に教育を通して、子どもが健やかに育つまち」

全体評価点* (前年比)	R4	R5	R6
2.97 (+0.01)	2.96	2.93	2.96

基本目標の評価

(n = 6,862) 基本目標③「一人一人の良さや可能性を大切に教育を通して、子どもが健やかに育つまち」が実現していると思いますか。

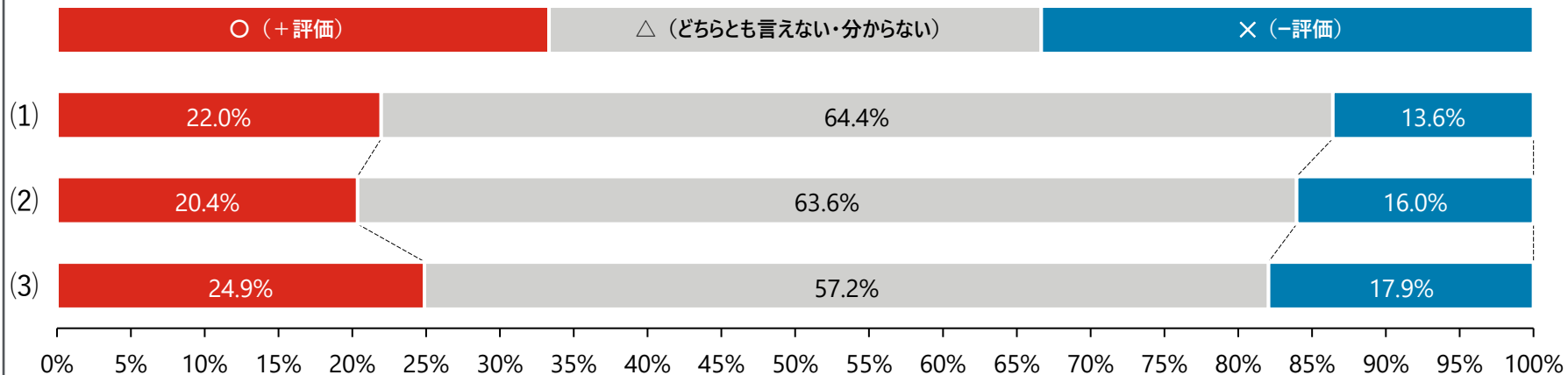


*そう思う=5点、まあそう思う=4点、どちらともいえない (普通) =3点、あまりそう思わない=2点、全くそう思わない=1点として回答の平均値で算出。(わからないは除外)

目指す姿の評価

目指す姿	内容
(1)	多様性が尊重された環境で、子どもが各々の関心に応じた学びと協働的な学びを通して成長している。
(2)	子どもは、生涯にわたって心身の健康の保持増進を図る資質や能力を身に付けている。
(3)	地域社会での体験活動など、多様な学びの機会が提供され、学校、家庭、地域、企業等が連携して子どもの成長を支えている。

(n = 6,862) 基本目標③「一人一人の良さや可能性を大切に教育を通して、子どもが健やかに育つまち」に関連する下記の札幌市の目指す姿に対して、「○ (+評価)」、「△ (どちらとも言えない・わからない) 」または「× (-評価) 」のいずれかあてはまるものを選択してください。



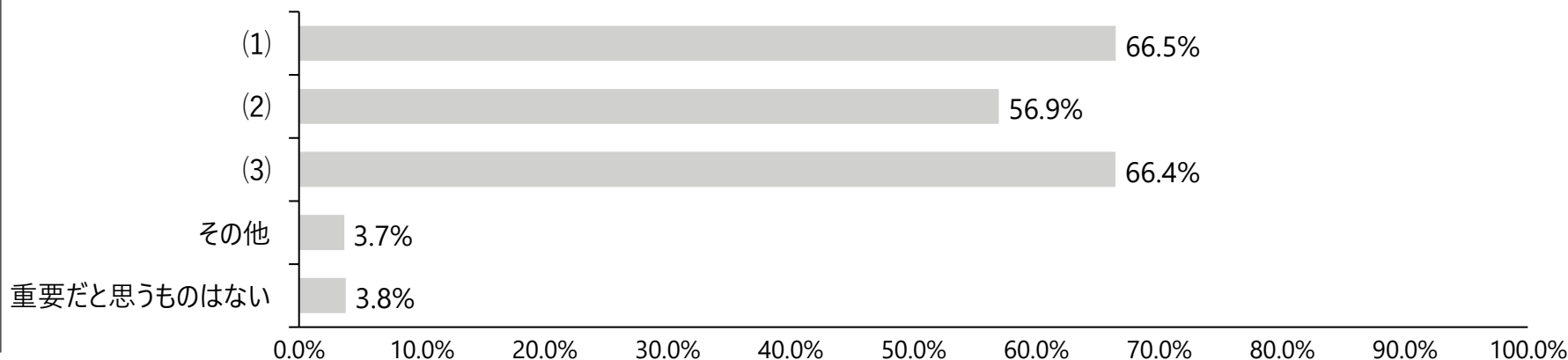
子ども・若者分野

基本目標③「一人一人の良さを大切に教育を通して、子どもが健やかに育つまち」

重要度の評価

目指す姿	(1)多様性が尊重された環境で、子どもが各々の関心に応じた学びと協働的な学びを通して成長している。	(2)子どもは、生涯にわたって心身の健康の保持増進を図る資質や能力を身に付けている。	(3)地域社会での体験活動など、多様な学びの機会が提供され、学校、家庭、地域、企業等が連携して子どもの成長を支えている。
------	---	--	--

(n = 6,862) 基本目標③「一人一人の良さを大切に教育を通して、子どもが健やかに育つまち」に関連する下記の札幌市の目指す姿のなかで、あなたが重要だと思うものすべてを選択してください。



上記以外に重要だと思うもの (FA)

カテゴリ	記述内容抜粋
教員増員・待遇改善と質向上	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の労働環境を改善し、やりがいを感じられる教員のあり方と、質の向上を図るべきだ。 ・学校は抱え込まない支援体制を整え、不登校対策や居場所づくりに人員と予算を配分するべきだ。
教育格差是正と機会保障	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的に厳しい家庭の子どもでも、才能や努力によって将来を選べる環境を整えるべきだ。 ・貧富の差によらず高度な教育環境を受けられるようにし、平等にチャンスがある社会を目指すべきだ。
多様性尊重と規律基礎の両立	<ul style="list-style-type: none"> ・多様性の尊重と自立・協調のバランスをとり、基礎学力と道徳観、社会性をしっかり育てるべきだ。 ・性教育やデートDV予防、カウンセリング体験など、自分の身を守る力を育む教育を充実させるべきだ。
いじめ不登校と心の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめは学校内で処理せず、警察や弁護士とも連携して厳正に対処し、被害者を守るべきだ。 ・子どものメンタルクリニックの拡充と、スクールカウンセラーの一層の配置充実が必要だ。
学校外体験と地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と家庭以外での体験学習やインターンシップの機会を増やし、子どもが自ら学びを選べる環境を整えるべきだ。 ・企業と連携して、子どもが「やってみたいこと」に触れられる機会を設け、社会と学校の学びをつなぐべきだ。

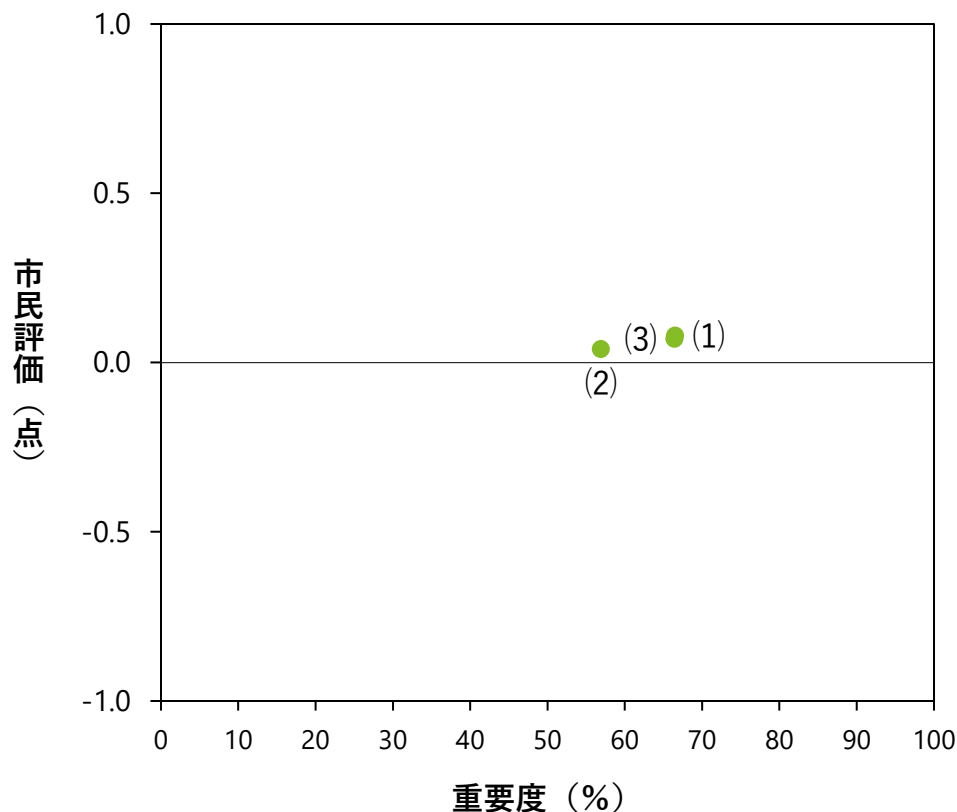
* 回答の多い内容を集約し、カテゴリス。実際の回答を記載（弊社にて必要に応じて文言調整）

子ども・若者分野

基本目標③「一人一人の良さや可能性を大切に教育を通して、子どもが健やかに育つまち」

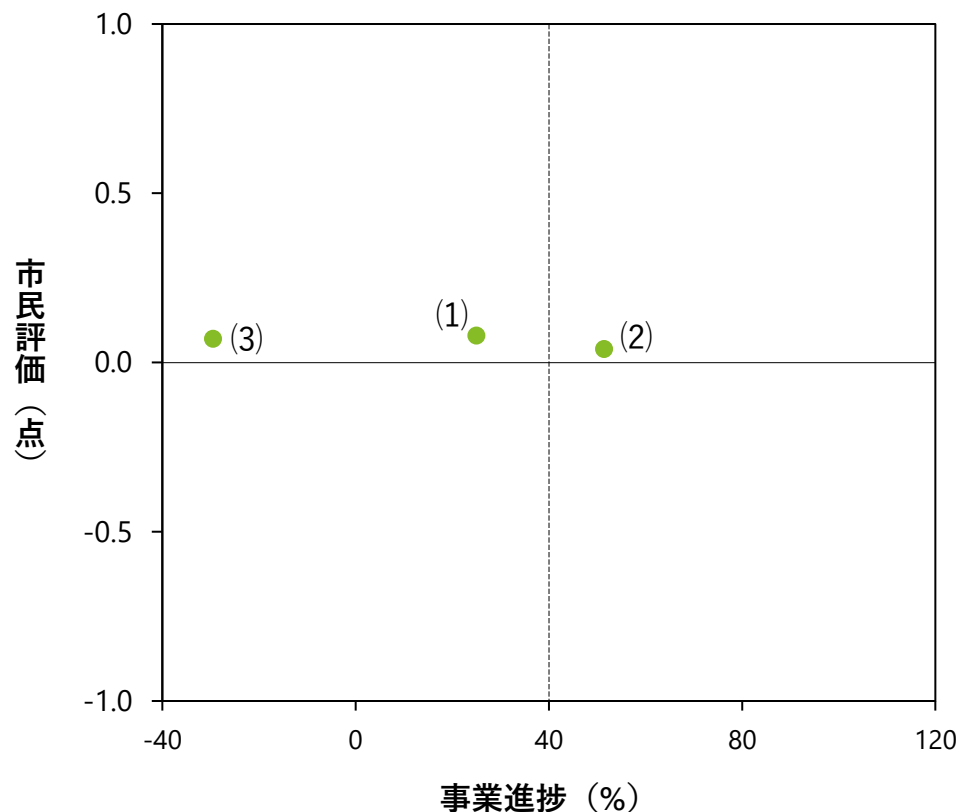
目指す姿の市民評価×重要度

(n = 6,862)



目指す姿の市民評価×事業進捗

(n = 6,862)



目指す姿

(1)多様性が尊重された環境で、子どもが各々の関心に応じた学びと協働的な学びを通して成長している。

(2)子どもは、生涯にわたって心身の健康の保持増進を図る資質や能力を身に付けている。

(3)地域社会での体験活動など、多様な学びの機会が提供され、学校、家庭、地域、企業等が連携して子どもの成長を支えている。

子ども・若者分野

基本目標③「一人一人の良さや可能性を大切に教育を通して、子どもが健やかに育つまち」

基本目標に
対する評価
【詳細版】

(n = 6,862)

		R4 (n=3,292)	R5 (n=2,013)	R6 (n=2,494)	R7 (n=6,862)	R7-R6
全体		2.96	2.93	2.96	2.97	0.01
年代別	10代	3.32	3.28	3.42	3.60	0.18
	20代	3.09	3.13	3.06	3.28	0.22
	30代	2.85	2.82	2.87	3.02	0.15
	40代	2.90	2.92	2.80	2.89	0.09
	50代	2.90	2.80	2.94	2.90	-0.04
	60代	2.83	2.74	2.79	2.79	0.00
	70代以上	2.95	2.96	2.96	2.88	-0.08
性別	男性	2.95	2.92	2.94	2.97	0.03
	女性	3.00	2.94	2.99	2.96	-0.03
	その他	2.68	2.74	2.62	2.58	-0.04
区別	中央区	3.01	3.01	3.11	2.93	-0.18
	北区	3.02	2.80	2.88	2.95	0.07
	東区	2.90	3.01	2.87	2.90	0.03
	白石区	3.03	2.87	2.90	2.94	0.04
	厚別区	2.98	3.07	3.00	3.02	0.02
	豊平区	2.97	2.78	3.04	2.97	-0.07
	清田区	2.93	2.94	2.96	2.95	-0.01
	南区	2.93	2.98	3.04	2.99	-0.05
	西区	2.88	2.84	2.92	3.02	0.10
	手稲区	3.01	2.98	2.89	2.90	0.01
18歳以下の子ども有無	有	3.00	2.95	2.99	3.00	0.01
	無	2.94	2.92	2.95	2.93	-0.02

基本目標③ | 目指す姿の経年変化 全体・年代別

		基本目標③「一人一人の良さや可能性を大切に教育を通して、子どもが健やかに育つまち」						
		サンプル数	多様性が尊重された環境で、子どもが 各々の関心に応じた学びと協働的な学 びを通して成長している。	R7-R6	子どもは、生涯にわたって心身の健康の 保持増進を図る資質や能力を身に付 けている。	R7-R6	地域社会での体験活動など、多様な 学びの機会が提供され、学校、家庭、 地域、企業等が連携して子どもの成長 を支えている。	R7-R6
全体		R4	3,292	0.00		-0.10		0.02
		R5	2,013	0.00		-0.14		0.11
		R6	2,494	-0.01		-0.12		0.07
		R7	6,862	0.08	0.09	0.04	0.16	0.07
0.00								
年代別	10代	R4	306	0.13		0.11		0.32
		R5	146	0.17		0.09		0.45
		R6	210	0.24		0.14		0.29
		R7	218	0.50	0.26	0.39	0.25	0.40
								0.11
	20代	R4	435	0.06		-0.04		0.20
		R5	253	0.15		0.01		0.40
		R6	438	0.05		-0.06		0.17
		R7	674	0.24	0.19	0.19	0.25	0.25
								0.08
	30代	R4	468	0.01		-0.13		-0.03
		R5	301	0.03		-0.19		0.05
		R6	362	0.03		-0.12		0.09
		R7	1,169	0.12	0.09	0.06	0.18	0.12
								0.03
	40代	R4	469	-0.01		-0.10		-0.06
		R5	303	0.03		-0.17		0.16
		R6	303	-0.01		-0.17		-0.01
		R7	1,414	0.04	0.05	-0.01	0.16	0.04
								0.05
	50代	R4	510	-0.05		-0.19		-0.01
R5		234	-0.14		-0.22		-0.01	
R6		376	-0.04		-0.15		0.02	
R7		1,490	0.03	0.07	-0.01	0.14	0.03	
							0.01	
60代	R4	402	-0.15		-0.22		-0.13	
	R5	298	-0.13		-0.27		-0.08	
	R6	355	-0.12		-0.24		-0.04	
	R7	1,093	-0.02	0.10	-0.05	0.19	-0.02	
							0.02	
70代以上	R4	682	0.05		-0.06		-0.04	
	R5	465	-0.02		-0.10		0.05	
	R6	423	-0.09		-0.15		0.04	
	R7	804	0.03	0.12	0.03	0.18	-0.01	
							-0.05	

基本目標③ | 目指す姿の経年変化 区別

		基本目標③「一人一人の良さを大切に教育を通して、子どもが健やかに育つまち」							
		サンプル数	多様性が尊重された環境で、子どもが 各々の関心に応じた学びと協働的な学 びを通して成長している。	R7-R6	子どもは、生涯にわたって心身の健康の 保持増進を図る資質や能力を身に付 けている。	R7-R6	地域社会での体験活動など、多様な 学びの機会が提供され、学校、家庭、 地域、企業等が連携して子どもの成長 を支えている。	R7-R6	
区別	中央区	R4	351	-0.01		-0.12		-0.02	
		R5	206	0.00		-0.14		0.13	
		R6	247	0.06		-0.05		0.06	
		R7	959	0.08	0.02	0.06	0.11	0.09	0.03
	北区	R4	314	-0.02		-0.05		0.05	
		R5	196	0.03		-0.16		0.11	
		R6	246	0.00		-0.13		0.07	
		R7	925	0.08	0.08	0.05	0.18	0.07	0.00
	東区	R4	318	-0.03		-0.15		-0.04	
		R5	199	0.13		-0.15		0.17	
		R6	245	-0.05		-0.11		-0.05	
		R7	887	0.06	0.11	0.03	0.14	0.04	0.09
	白石区	R4	276	0.09		-0.05		0.07	
		R5	176	-0.15		-0.22		-0.02	
		R6	226	-0.06		-0.07		0.05	
		R7	659	0.07	0.13	0.02	0.09	0.08	0.03
	厚別区	R4	339	-0.06		-0.11		0.03	
		R5	205	0.03		-0.06		0.24	
		R6	260	-0.02		-0.14		0.16	
		R7	425	0.07	0.09	0.03	0.17	0.11	-0.05
	豊平区	R4	310	0.02		-0.08		-0.06	
		R5	196	0.09		-0.12		0.03	
		R6	231	0.01		-0.11		0.10	
		R7	817	0.07	0.06	0.02	0.13	0.05	-0.05
	清田区	R4	346	0.02		-0.08		0.07	
		R5	199	-0.05		-0.23		0.05	
		R6	217	0.02		-0.13		0.15	
		R7	401	0.06	0.04	-0.01	0.12	0.02	-0.13
	南区	R4	352	-0.02		-0.08		0.01	
		R5	188	-0.05		-0.02		0.15	
		R6	256	0.01		-0.14		0.10	
		R7	536	0.12	0.11	0.05	0.19	0.09	-0.01
	西区	R4	346	0.02		-0.14		0.02	
		R5	236	-0.06		-0.17		0.13	
		R6	277	-0.01		-0.15		0.03	
		R7	803	0.09	0.10	0.03	0.18	0.09	0.06
	手稲区	R4	309	0.05		-0.08		0.04	
		R5	197	-0.01		-0.13		0.14	
		R6	246	0.00		-0.16		0.06	
		R7	450	0.04	0.04	0.00	0.16	0.06	0.00

基本目標③ | 目指す姿の経年変化 性別・子ども有無別

		基本目標③「一人一人の良さや可能性を大切にする教育を通して、子どもが健やかに育つまち」							
			サンプル数	多様性が尊重された環境で、子どもが 各々の関心に応じた学びと協働的な学 びを通して成長している。	R7-R6	子どもは、生涯にわたって心身の健康の 保持増進を図る資質や能力を身に付 けている。	R7-R6	地域社会での体験活動など、多様な 学びの機会が提供され、学校、家庭、 地域、企業等が連携して子どもの成長 を支えている。	R7-R6
性別	男性	R4	1,429	-0.01		-0.11		-0.01	
		R5	895	-0.01		-0.14		0.06	
		R6	1,087	-0.03		-0.11		0.03	
		R7	2,985	0.08	0.11	0.05	0.16	0.07	0.04
	女性	R4	1,651	0.02		-0.07		0.05	
		R5	1,053	0.02		-0.12		0.16	
		R6	1,326	0.02		-0.12		0.11	
	R7	3,581	0.08	0.06	0.03	0.15	0.08	-0.03	
18歳以下 の子供	有	R4	922	0.05		-0.03		0.04	
		R5	574	0.01		-0.17		0.13	
		R6	643	0.08		-0.09		0.10	
		R7	2,172	0.11	0.03	0.05	0.14	0.10	0.00
	無	R4	2,326	-0.02		-0.12		0.01	
		R5	1,420	-0.01		-0.13		0.10	
		R6	1,804	-0.03		-0.13		0.06	
	R7	4,690	0.06	0.09	0.03	0.16	0.06	0.00	

基本目標③ | 目指す姿の重要度 属性別

		基本目標③「一人一人の良さや可能性を大切に教育を通して、子どもが健やかに育つまち」			
		サンプル数	多様性が尊重された環境で、子どもが各々の関心に応じた学びと協働的な学びを通して成長している。	子どもは、生涯にわたって心身の健康の保持増進を図る資質や能力を身に付けている。	地域社会での体験活動など、多様な学びの機会が提供され、学校、家庭、地域、企業等が連携して子どもの成長を支えている。
全体		6,862	66.5%	56.9%	66.4%
年代別	10代	218	73.4%	61.5%	69.7%
	20代	674	70.6%	62.5%	57.1%
	30代	1,169	64.7%	62.4%	63.0%
	40代	1,414	65.0%	60.4%	65.8%
	50代	1,490	61.0%	54.8%	65.8%
	60代	1,093	64.0%	54.3%	67.7%
	70代以上	804	70.6%	52.2%	73.0%
性別	男性	2,985	61.1%	55.2%	64.2%
	女性	3,581	68.8%	59.6%	67.5%
区別	中央区	959	68.6%	62.5%	61.5%
	北区	925	65.5%	58.6%	66.9%
	東区	887	67.2%	55.9%	63.8%
	白石区	659	63.4%	57.5%	64.3%
	厚別区	425	60.8%	53.6%	62.5%
	豊平区	817	64.7%	57.4%	68.0%
	清田区	401	63.9%	57.5%	64.7%
	南区	536	66.6%	60.6%	69.3%
	西区	803	66.8%	61.8%	67.7%
	手稲区	450	69.7%	60.0%	65.8%
18歳以下の子供	有	2,172	67.8%	63.2%	68.0%
	無	4,690	64.3%	55.4%	64.7%

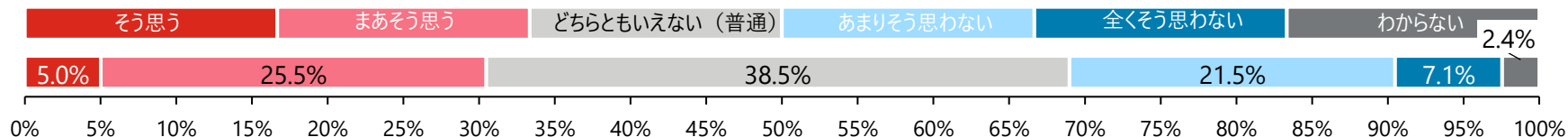
生活・暮らし分野

基本目標④「誰もが健康的に暮らし、生涯活躍できるまち」

全体評価点* (前年比)	R4	R5	R6
3.00 (+0.03)	3.12	3.04	2.97

基本目標
の評価

(n = 6,862) 基本目標④「誰もが健康的に暮らし、生涯活躍できるまち」が実現していると思いますか。

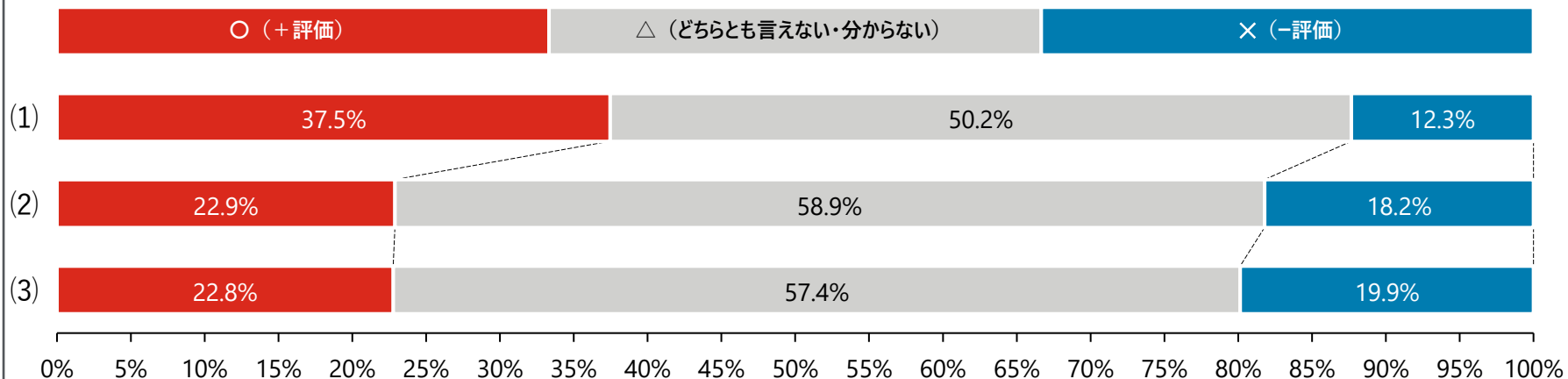


*そう思う=5点、まあそう思う=4点、どちらともいえない (普通) =3点、あまりそう思わない=2点、全くそう思わない=1点として回答の平均値で算出。(わからないは除外)

目指す姿
の評価

目指す姿	内容
(1)	市民や企業の健康への意識が高まっている。
(2)	健康づくりや介護予防の取組などに積極的に参加することで、誰もが生涯元気に過ごしている。
(3)	誰もが生涯にわたって学び、また、学び直しをすることができ、その成果が日々の生活はもとより、まちづくり活動や仕事、ボランティア活動などに生かされている。

(n = 6,862) 基本目標④「誰もが健康的に暮らし、生涯活躍できるまち」に関連する下記の札幌市の目指す姿に対して、「○ (+評価)」、「△ (どちらとも言えない・わからない) 」または「× (-評価) 」のいずれかあてはまるものを選択してください。



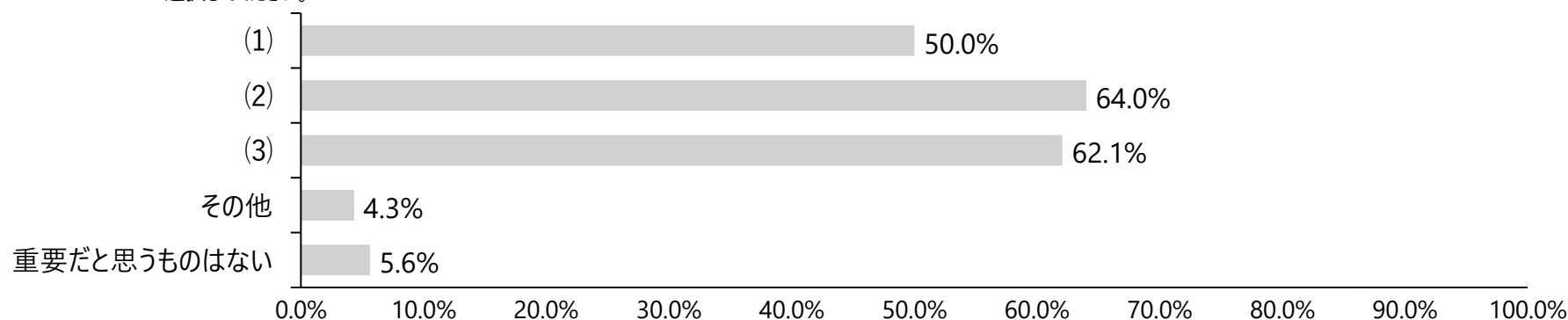
生活・暮らし分野

基本目標④「誰もが健康的に暮らし、生涯活躍できるまち」

重要度の評価

目指す姿	(1)市民や企業の健康への意識が高まっている。	(2)健康づくりや介護予防の取組などに積極的に参加することで、誰もが生涯元気に過ごしている。	(3)誰もが生涯にわたって学び、また、学び直しをすることができ、その成果が日々の生活はもとより、まちづくり活動や仕事、ボランティア活動などに生かされている。
------	-------------------------	--	--

(n = 6,862) 基本目標④「誰もが健康的に暮らし、生涯活躍できるまち」に関連する下記の札幌市の目指す姿のなかで、あなたが重要だと思うものすべてを選択してください。



上記以外に重要だと思うもの (FA)

カテゴリ	記述内容抜粋
予防医療・健診強化と啓発	・健康診断の無償化や、乳がん・子宮がん検診など無料検診の拡充が必要だ。 ・喫煙・受動喫煙対策を強化し、地下通路等での飲食店排気にも対策を講じてほしい。
地域の居場所と心の健康	・健康は身体だけでなく心理面も重要であり、孤独解消につながる居場所づくりが必要だ。 ・ワーク・ライフ・バランスの浸透など、心が休まる生活環境づくりが求められる。
冬季対応・交通整備促進	・高齢者が安全に歩けるよう、冬道対策や外出機会の確保に力を入れるべきだ。 ・公共交通機関の充実が不可欠であり、減便是正や移動手段の改善を進めてほしい。
高齢就労・学び直し支援	・定年後も望めば働ける場を多様化し、地域での役割や生きがいにつなげてほしい。 ・誰もが年齢に応じた適性で活躍できるよう、受け入れ側の体制づくりが必要だ。
情報周知・参加導線整備	・広報不足で施策や機会を知らないという声が多く、わかりやすい周知が必要だ。 ・平日日中に偏らない開催や、誰でも参加・退出しやすい仕組みづくりが求められる。

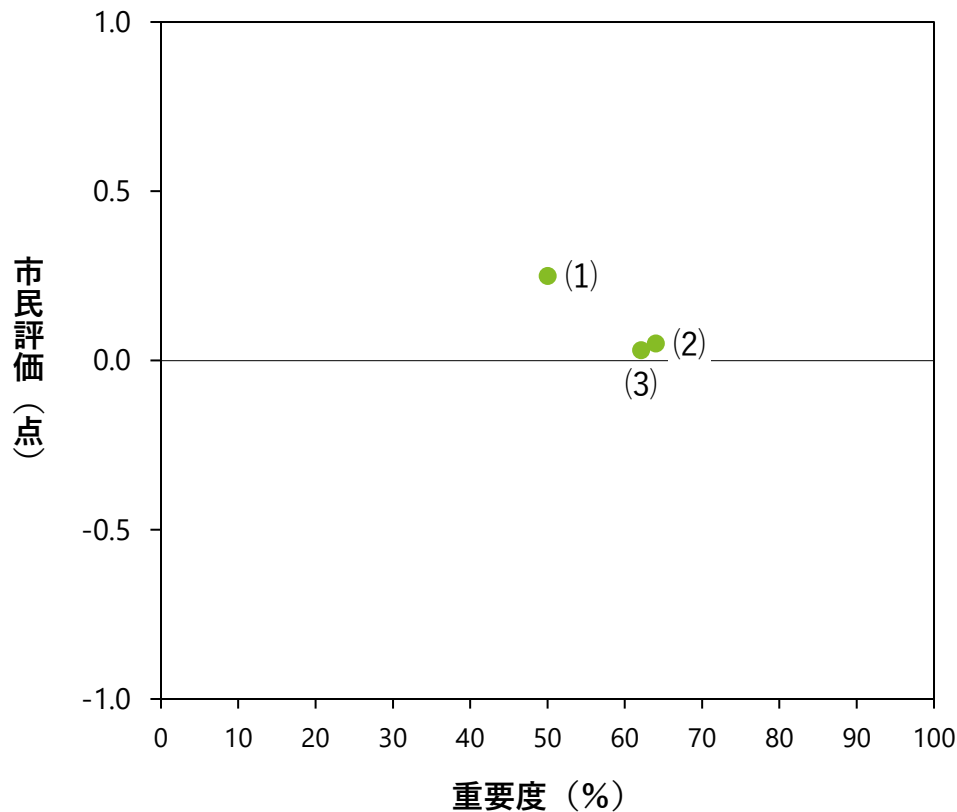
* 回答の多い内容を集約し、カテゴリイズ。
実際の回答を記載（弊社にて必要に応じて文言調整）

生活・暮らし分野

基本目標④「誰もが健康的に暮らし、生涯活躍できるまち」

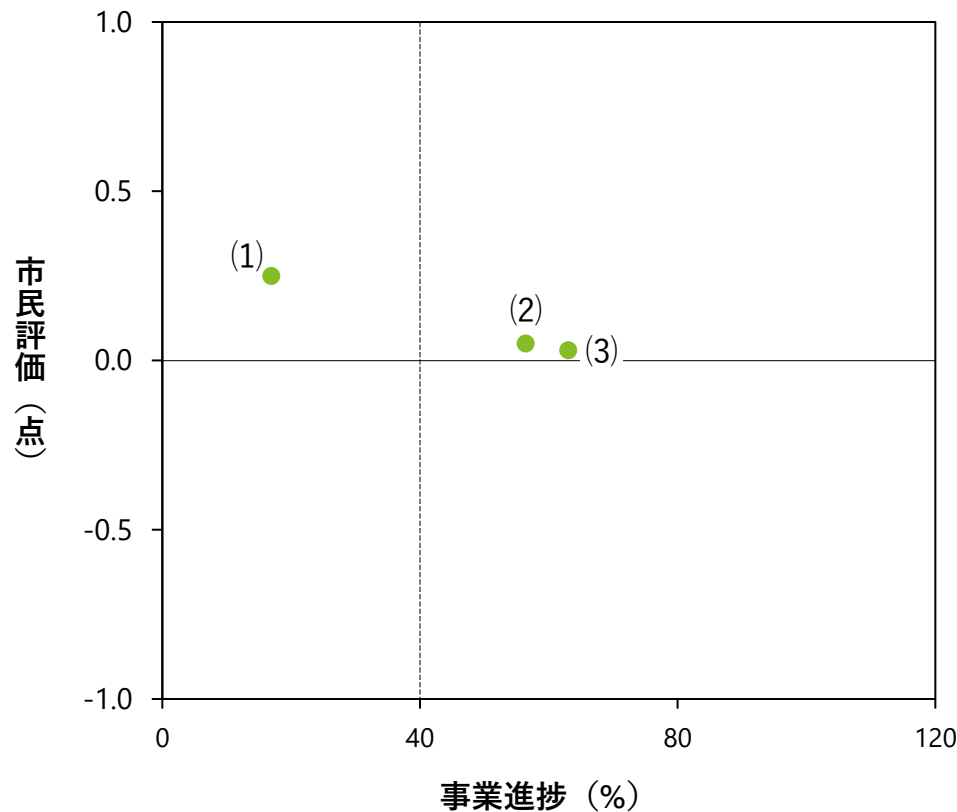
目指す姿の市民評価×重要度

(n = 6,862)



目指す姿の市民評価×事業進捗

(n = 6,862)



目指す姿

(1)市民や企業の健康への意識が高まっている。

(2)健康づくりや介護予防の取組などに積極的に参加することで、誰もが生涯元気に過ごしている。

(3)誰もが生涯にわたって学び、また、学び直しをすることができ、その成果が日々の生活はもとより、まちづくり活動や仕事、ボランティア活動などに生かされている。

生活・暮らし分野

基本目標④「誰もが健康的に暮らし、生涯活躍できるまち」

基本目標に (n = 6,862)

対する評価
【詳細版】

		R4 (n=3,292)	R5 (n=2,013)	R6 (n=2,494)	R7 (n=6,862)	R7-R6
全体		3.12	3.04	2.97	3.00	0.03
年代別	10代	3.52	3.40	3.39	3.50	0.11
	20代	3.24	3.28	3.08	3.27	0.19
	30代	2.98	2.91	2.93	3.00	0.07
	40代	3.06	2.95	2.82	2.87	0.05
	50代	3.02	2.90	2.96	2.93	-0.03
	60代	3.02	2.88	2.85	2.85	0.00
	70代以上	3.18	3.13	2.97	3.02	0.05
性別	男性	3.12	3.08	3.01	3.02	0.01
	女性	3.14	3.03	2.96	2.96	0.00
	その他	2.96	2.67	2.61	2.62	0.01
区別	中央区	3.11	3.06	3.07	2.95	-0.12
	北区	3.21	3.01	2.96	2.98	0.02
	東区	3.00	2.99	3.01	2.94	-0.07
	白石区	3.15	2.89	2.89	2.96	0.07
	厚別区	3.14	3.19	3.01	3.06	0.05
	豊平区	3.13	2.97	3.01	2.97	-0.04
	清田区	3.15	2.99	2.96	2.96	0.00
	南区	3.10	3.07	2.93	3.01	0.08
	西区	3.11	3.08	2.99	3.03	0.04
	手稲区	3.16	3.15	2.96	2.93	-0.03
18歳以下の子ども有無	有	3.14	2.99	2.99	3.01	0.02
	無	3.12	3.06	2.98	2.96	-0.02

基本目標④ | 目指す姿の経年変化 全体・年代別

		基本目標④「誰もが健康的に暮らし、生涯活躍できるまち」						
		サンプル数	市民や企業の健康への意識が高まっている。	R7-R6	健康づくりや介護予防の取組などに積極的に参加することで、誰もが生涯元気に過ごしている。	R7-R6	誰もが生涯にわたって学び、また、学び直しをすることができ、その成果が日々の生活はもとより、まちづくり活動や仕事、ボランティア活動などに生かされている。	R7-R6
全体		R4	3,292	0.30		-0.07		-0.04
		R5	2,013	0.29		-0.11		-0.07
		R6	2,494	0.24		-0.10		-0.09
		R7	6,862	0.25	0.01	0.05	0.15	0.03
年代別	10代	R4	306	0.30		0.10		0.20
		R5	146	0.36		0.03		0.18
		R6	210	0.23		0.05		0.23
		R7	218	0.39	0.16	0.29	0.24	0.35
	20代	R4	435	0.27		0.00		0.09
		R5	253	0.33		-0.07		0.08
		R6	438	0.21		-0.08		-0.02
		R7	674	0.28	0.07	0.11	0.19	0.17
	30代	R4	468	0.24		-0.14		-0.11
		R5	301	0.19		-0.12		-0.14
		R6	362	0.22		-0.08		-0.09
		R7	1,169	0.21	-0.01	0.03	0.11	0.02
	40代	R4	469	0.28		-0.12		-0.07
		R5	303	0.24		-0.17		-0.13
		R6	303	0.22		-0.23		-0.14
		R7	1,414	0.20	-0.02	-0.01	0.22	-0.03
	50代	R4	510	0.31		-0.10		-0.10
		R5	234	0.21		-0.17		-0.15
		R6	376	0.30		-0.19		-0.19
		R7	1,490	0.24	-0.06	0.02	0.21	-0.05
	60代	R4	402	0.32		-0.14		-0.16
R5		298	0.24		-0.23		-0.21	
R6		355	0.22		-0.17		-0.19	
R7		1,093	0.19	-0.03	-0.01	0.16	-0.08	0.11
70代以上	R4	682	0.36		-0.03		-0.01	
	R5	465	0.41		-0.02		-0.03	
	R6	423	0.30		0.00		-0.10	
	R7	804	0.31	0.01	0.07	0.07	0.06	0.16

基本目標④ | 目指す姿の経年変化 区別

		基本目標④「誰もが健康的に暮らし、生涯活躍できるまち」						
区別		サンプル数	市民や企業の健康への意識が高まっている。		健康づくりや介護予防の取組などに積極的に参加することで、誰もが生涯元気に過ごしている。		誰もが生涯にわたって学び、また、学び直しをすることができ、その成果が日々の生活はもとより、まちづくり活動や仕事、ボランティア活動などに生かされている。	
			R7-R6		R7-R6		R7-R6	
区別	中央区	R4	351	0.27		-0.09		-0.12
		R5	206	0.28		-0.02		-0.03
		R6	247	0.26		-0.06		-0.07
		R7	959	0.24	-0.02	0.04	0.10	0.05
	北区	R4	314	0.34		-0.01		0.03
		R5	196	0.38		-0.06		-0.13
		R6	246	0.23		-0.10		-0.06
		R7	925	0.24	0.01	0.03	0.13	0.02
	東区	R4	318	0.20		-0.07		-0.13
		R5	199	0.29		-0.09		-0.01
		R6	245	0.13		-0.12		-0.07
		R7	887	0.21	0.08	0.02	0.14	-0.04
	白石区	R4	276	0.32		-0.11		-0.01
		R5	176	0.28		-0.25		-0.14
		R6	226	0.25		-0.16		-0.15
		R7	659	0.22	-0.03	0.04	0.20	0.01
	厚別区	R4	339	0.35		-0.10		0.00
		R5	205	0.38		-0.08		-0.09
		R6	260	0.28		-0.13		-0.11
		R7	425	0.28	0.00	0.06	0.19	0.03
	豊平区	R4	310	0.32		-0.09		-0.08
		R5	196	0.22		-0.13		-0.07
		R6	231	0.27		-0.04		-0.04
		R7	817	0.22	-0.05	0.02	0.06	-0.01
	清田区	R4	346	0.31		-0.07		0.03
		R5	199	0.25		-0.21		-0.17
		R6	217	0.31		-0.08		-0.07
		R7	401	0.22	-0.09	0.01	0.09	-0.03
南区	R4	352	0.34		-0.05		-0.02	
	R5	188	0.37		-0.09		-0.03	
	R6	256	0.26		-0.11		-0.08	
	R7	536	0.25	-0.01	0.07	0.18	0.04	0.12
西区	R4	346	0.29		-0.09		-0.03	
	R5	236	0.19		-0.11		-0.06	
	R6	277	0.19		-0.14		-0.14	
	R7	803	0.23	0.04	0.03	0.17	0.03	0.17
手稲区	R4	309	0.29		-0.01		-0.01	
	R5	197	0.29		-0.08		-0.02	
	R6	246	0.32		-0.08		-0.09	
	R7	450	0.27	-0.05	0.00	0.08	-0.03	0.06

基本目標④ | 目指す姿の経年変化 性別・子ども有無別

		基本目標④「誰もが健康的に暮らし、生涯活躍できるまち」							
		サンプル数	市民や企業の健康への意識が高まっている。	R7-R6	健康づくりや介護予防の取組などに積極的に参加することで、誰もが生涯元気に過ごしている。	R7-R6	誰もが生涯にわたって学び、また、学び直しをすることができ、その成果が日々の生活はもとより、まちづくり活動や仕事、ボランティア活動などに生かされている。	R7-R6	
性別	男性	R4	1,429	0.28		-0.08		-0.07	
		R5	895	0.31		-0.11		-0.05	
		R6	1,087	0.28		-0.12		-0.09	
		R7	2,985	0.24	-0.04	0.05	0.17	0.03	0.12
	女性	R4	1,651	0.34		-0.04		0.01	
		R5	1,053	0.28		-0.10		-0.08	
		R6	1,326	0.23		-0.08		-0.08	
18歳以下の子供	有	R7	3,581	0.24	0.01	0.03	0.11	0.00	0.08
		R4	922	0.31		-0.06		-0.01	
		R5	574	0.21		-0.16		-0.14	
		R6	643	0.26		-0.09		-0.09	
		R7	2,172	0.22	-0.04	0.03	0.12	0.02	0.11
		無	R4	2,326	0.30		-0.07		-0.04
			R5	1,420	0.32		-0.09		-0.04
	R6		1,804	0.24		-0.10		-0.09	
	R7		4,690	0.24	0.00	0.03	0.13	0.01	0.10

基本目標④ | 目指す姿の重要度 属性別

		基本目標④「誰もが健康的に暮らし、生涯活躍できるまち」			
		サンプル数	市民や企業の健康への意識が高まっている。	健康づくりや介護予防の取組などに積極的に参加することで、誰もが生涯元気に過ごしている。	誰もが生涯にわたって学び、また、学び直しをすることができ、その成果が日々の生活はもとより、まちづくり活動や仕事、ボランティア活動などに生かされている。
全体		6,862	50.0%	64.0%	62.1%
年代別	10代	218	61.5%	72.5%	66.1%
	20代	674	54.5%	61.3%	58.2%
	30代	1,169	53.6%	60.0%	59.8%
	40代	1,414	50.8%	63.4%	63.6%
	50代	1,490	46.1%	65.0%	61.1%
	60代	1,093	45.1%	64.7%	62.4%
	70代以上	804	49.8%	65.2%	64.2%
性別	男性	2,985	50.1%	59.7%	57.6%
	女性	3,581	49.6%	67.2%	65.4%
区別	中央区	959	52.4%	61.1%	61.5%
	北区	925	49.8%	65.5%	62.4%
	東区	887	50.4%	60.6%	62.5%
	白石区	659	49.5%	63.7%	59.2%
	厚別区	425	47.6%	62.1%	55.1%
	豊平区	817	46.1%	64.0%	65.9%
	清田区	401	50.3%	62.2%	61.8%
	南区	536	53.6%	65.1%	61.3%
	西区	803	49.3%	65.1%	64.4%
	手稲区	450	51.9%	67.2%	62.8%
18歳以下の 子供	有	2,172	50.5%	64.0%	63.4%
	無	4,690	49.7%	63.5%	61.1%

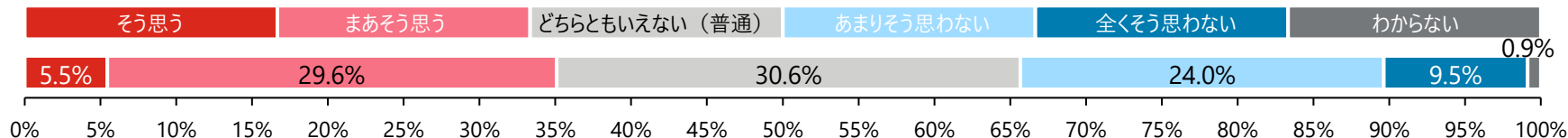
生活・暮らし分野

基本目標⑤「生活しやすく住みよいまち」

全体評価点* (前年比)	R4	R5	R6
2.98 (▲0.25)	3.34	3.28	3.23

基本目標の評価

(n = 6,862) 基本目標④「誰もが健康的に暮らし、生涯活躍できるまち」が実現していると思いますか。

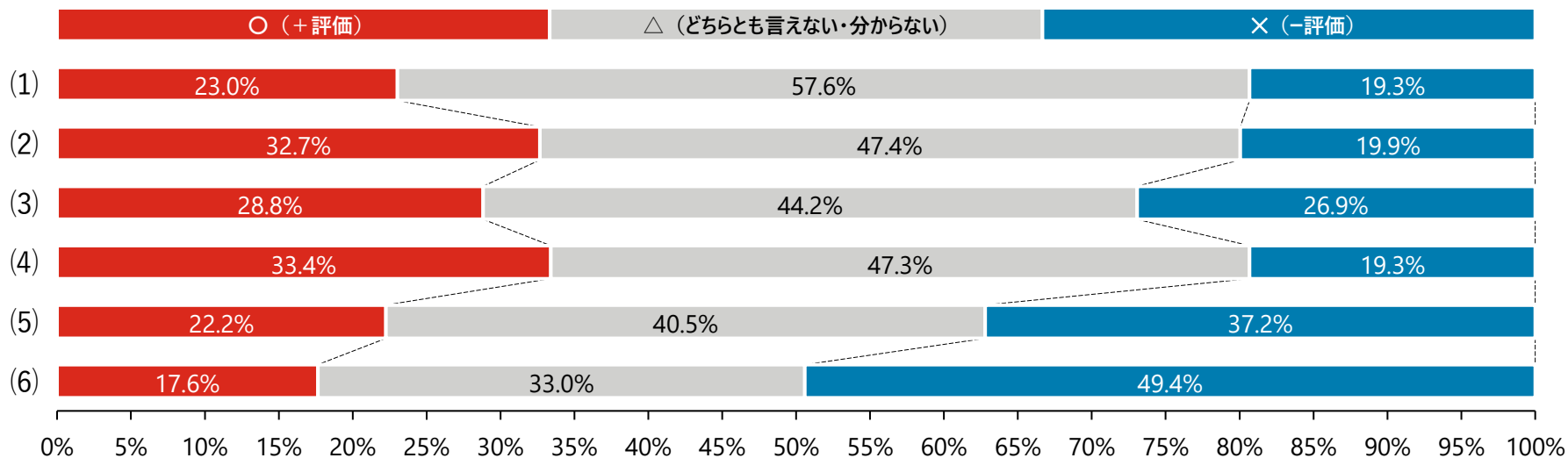


*そう思う=5点、まあそう思う=4点、どちらともいえない (普通) =3点、あまりそう思わない=2点、全くそう思わない=1点として回答の平均値で算出。(わからないは除外)

目指す姿の評価

目指す姿	内容
(1)	多様なニーズに応じた住まいが確保されている。
(2)	在宅医療や身近なかかりつけ医が普及しているなど、医療体制が整っている。
(3)	建物や道路などのバリアフリー化やユニバーサルデザインの導入が進んでいる。
(4)	申請や相談等の手続きをオンラインで完結することができるなど、官民によるサービスの利便性が高まっている。
(5)	市民の多様な暮らしを支える交通環境が確保されている。
(6)	冬期の道路環境が確保されている。

(n = 6,862) 基本目標⑤「生活しやすく住みよいまち」に関連する下記の札幌市の目指す姿に対して、「○ (+評価)」、「△ (どちらとも言えない・わからない) 」または「× (-評価) 」のいずれかあてはまるものを選択してください。



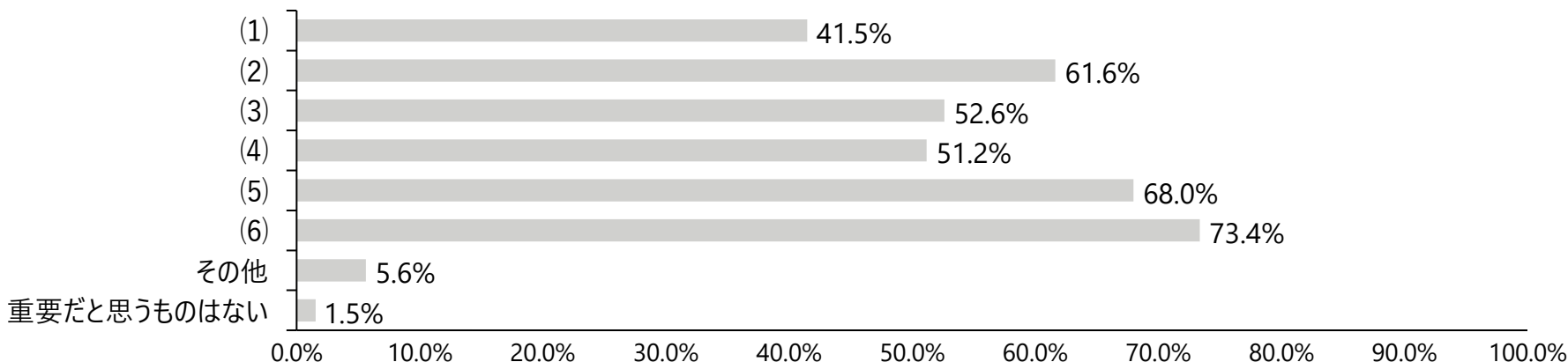
生活・暮らし分野

基本目標⑤「生活しやすく住みよいまち」

重要度の評価

目指す姿	(1)多様なニーズに応じた住まいが確保されている。	(2)在宅医療や身近なかかりつけ医が普及しているなど、医療体制が整っている。	(3)建物や道路などのバリアフリー化やユニバーサルデザインの導入が進んでいる。
	(4)申請や相談等の手続きをオンラインで完結することができるなど、官民によるサービスの利便性が高まっている。	(5)市民の多様な暮らしを支える交通環境が確保されている。	(6)冬期の道路環境が確保されている。

(n = 6,862) 基本目標⑤「生活しやすく住みよいまち」に関連する下記の札幌市の目指す姿のなかで、あなたが重要だと思うものすべてを選択してください。



上記以外に重要だと思うもの (FA)

カテゴリ	記述内容抜粋
冬季除排雪・道路安全強化	・雪山で視界が遮られ道幅も狭くなり、渋滞と危険が増しているため、排雪の頻度と品質を上げてほしい。 ・春先の路面損傷や白線・横断歩道の消えかけが多く、除雪と路面補修を一体で計画的に実施してほしい。
公共交通維持・地下鉄延伸	・バスの減便や廃止が続き、清田区などでは移動が困難なため、路線維持と本数回復が必要だ。 ・運転手不足を賃金改善や転職支援で補い、減便防止を図るべきだ。
バリアフリー動線・歩行安全	・駅や街中でエレベーターやエスカレーターが不足し、車椅子やベビーカーでの移動が困難だ。 ・歩道の段差や傾斜、点字ブロックの破損・埋没が多く、冬季も含め安全に歩ける整備が必要だ。
手続簡素化・周知と配慮	・出生や死亡に伴う手続きをオンラインで一貫処理できるようにし、関連アプリを統合してほしい。 ・マイナンバー以外の手段も含め、誰もが使いやすいオンライン仕様（表示色や操作性）に改善してほしい。
医療アクセス・地域格差是正	・休日・夜間の小児受診が不安であり、診療体制の拡充と病院間連携によるセカンドオピニオン促進が必要だ。 ・高齢者が住み慣れた地域で暮らせるよう、賃貸住宅確保や在宅医療の充実を進めるべきだ。

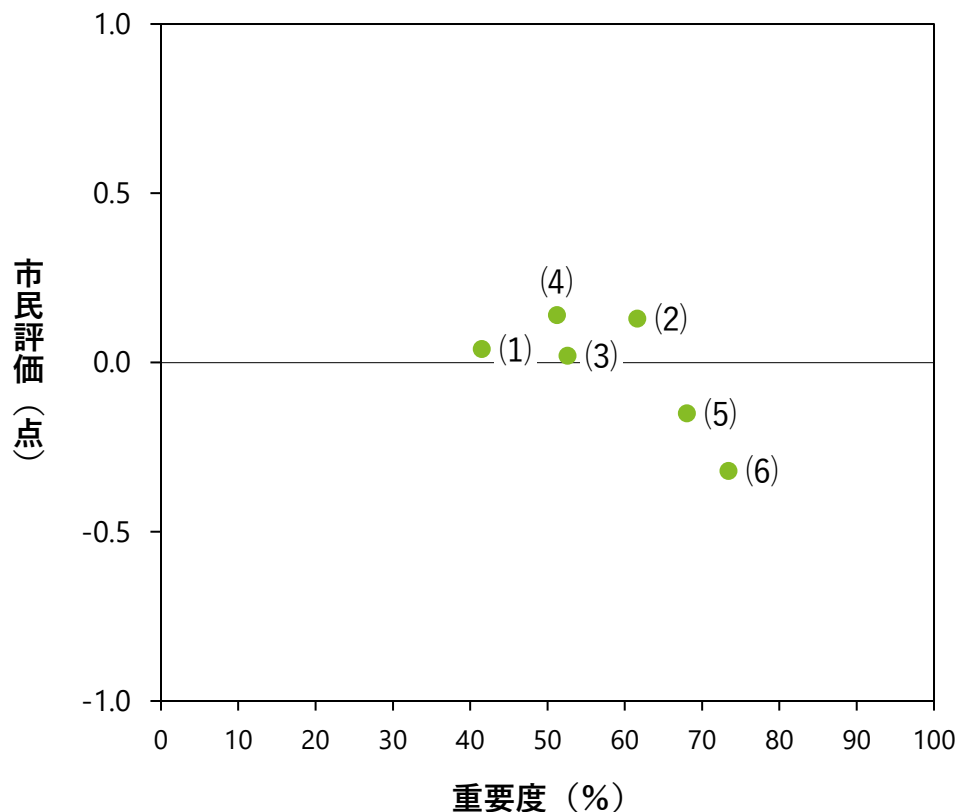
* 回答の多い内容を集約し、カテゴリズ。
実際の回答を記載（弊社にて必要に応じて文言調整）

生活・暮らし分野

基本目標⑤「生活しやすく住みよいまち」

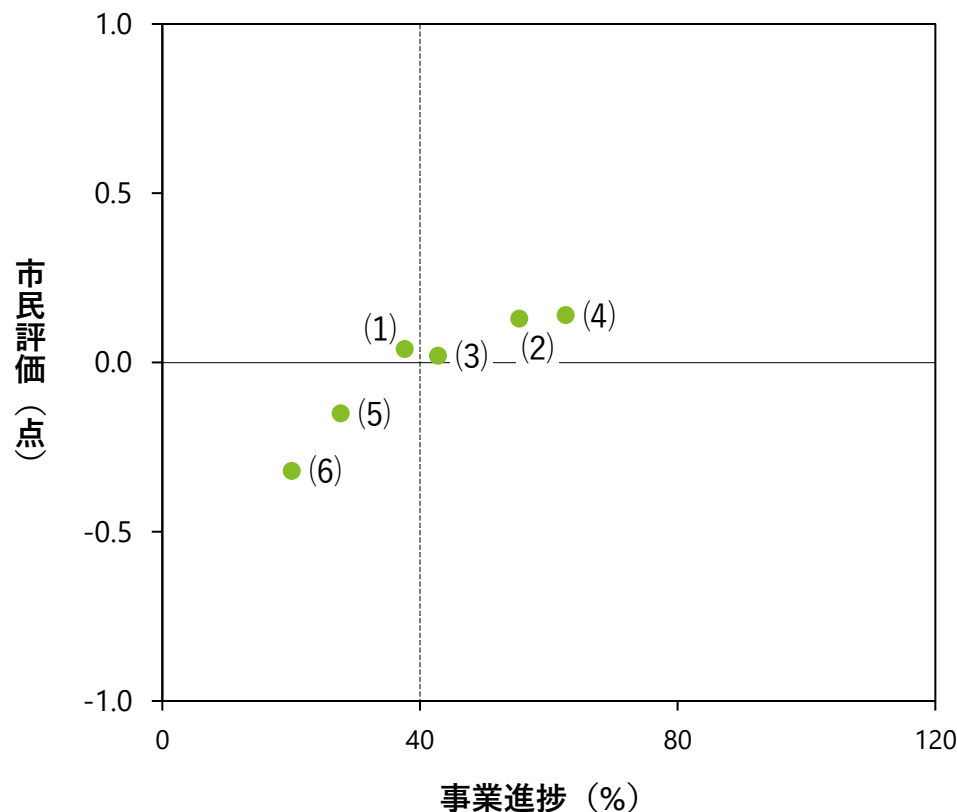
目指す姿の市民評価×重要度

(n = 6,862)



目指す姿の市民評価×事業進捗

(n = 6,862)



目指す姿	(1)多様なニーズに応じた住まいが確保されている。	(2)在宅医療や身近なかかりつけ医が普及しているなど、医療体制が整っている。	(3)建物や道路などのバリアフリー化やユニバーサルデザインの導入が進んでいる。
	(4)申請や相談等の手続きをオンラインで完結することができるなど、官民によるサービスの利便性が高まっている。	(5)市民の多様な暮らしを支える交通環境が確保されている。	(6)冬期の道路環境が確保されている。

生活・暮らし分野

基本目標⑤「生活しやすく住みよいまち」

基本目標に (n = 6,862)

対する評価
【詳細版】

		R4 (n=3,292)	R5 (n=2,013)	R6 (n=2,494)	R7 (n=6,862)	R7-R6
全体		3.34	3.28	3.23	2.98	-0.25
年代別	10代	3.71	3.81	3.55	3.47	-0.08
	20代	3.62	3.57	3.41	3.24	-0.17
	30代	3.17	3.10	3.20	2.99	-0.21
	40代	3.20	3.16	3.10	2.81	-0.29
	50代	3.25	3.22	3.22	2.83	-0.39
	60代	3.26	3.09	3.07	2.84	-0.23
	70代以上	3.36	3.31	3.16	3.04	-0.12
性別	男性	3.32	3.28	3.22	3.00	-0.22
	女性	3.39	3.31	3.26	2.91	-0.35
	その他	3.07	2.78	2.83	2.65	-0.18
区別	中央区	3.46	3.51	3.44	3.00	-0.44
	北区	3.39	3.11	3.20	2.93	-0.27
	東区	3.20	3.22	3.22	2.89	-0.33
	白石区	3.28	3.06	3.14	2.94	-0.20
	厚別区	3.38	3.57	3.29	3.05	-0.24
	豊平区	3.44	3.17	3.29	2.96	-0.33
	清田区	3.29	3.15	3.15	2.77	-0.38
	南区	3.25	3.30	3.24	2.90	-0.34
	西区	3.44	3.29	3.23	3.01	-0.22
	手稲区	3.31	3.37	3.12	2.88	-0.24
18歳以下の子ども有無	有	3.31	3.26	3.23	2.95	-0.28
	無	3.36	3.28	3.23	2.94	-0.29

基本目標⑤ | 目指す姿の経年変化 全体・年代別

		基本目標⑤「生活しやすく住みよいまち」													
		サンプル数	多様なニーズに応じた住まいが確保されている。	R7-R6	在宅医療や身近なかかりつけ医が普及しているなど、医療体制が整っている。	R7-R6	建物や道路などのバリアフリー化やユニバーサルデザインの導入が進んでいる。	R7-R6	申請や相談等の手続きをオンラインで完結することができるなど、官民によるサービスの利便性が高まっている。	R7-R6	市民の多様な暮らしを支える交通環境が確保されている。	R7-R6	冬期の道路環境が確保されている。	R7-R6	
全体	R4	3,292	0.14		0.18		0.04		0.06		0.12		-0.41		
	R5	2,013	0.07		0.22		0.03		0.08		-0.09		-0.34		
	R6	2,494	0.07		0.17		0.01		0.12		-0.14		-0.27		
	R7	6,862	0.04	-0.03	0.13	-0.04	0.02	0.01	0.14	0.02	-0.15	-0.01	-0.32	-0.05	
年代別	10代	R4	306	0.33		0.35		0.29		0.22		0.28		-0.19	
		R5	146	0.38		0.49		0.35		0.34		0.25		-0.08	
		R6	210	0.35		0.39		0.28		0.31		0.15		-0.08	
		R7	218	0.49	0.14	0.44	0.05	0.41	0.13	0.38	0.07	0.28	0.13	-0.13	-0.05
	20代	R4	435	0.28		0.21		0.19		0.26		0.18		-0.28	
		R5	253	0.33		0.39		0.30		0.36		0.09		-0.33	
		R6	438	0.23		0.20		0.19		0.28		-0.01		-0.19	
		R7	674	0.25	0.02	0.28	0.08	0.22	0.03	0.35	0.07	0.11	0.12	-0.17	0.02
	30代	R4	468	0.12		0.09		-0.01		0.09		0.04		-0.55	
		R5	301	0.06		0.12		-0.05		0.10		-0.20		-0.47	
		R6	362	0.10		0.17		0.03		0.25		-0.14		-0.34	
		R7	1,169	0.10	0.00	0.17	0.00	0.06	0.03	0.23	-0.02	-0.09	0.05	-0.28	0.06
	40代	R4	469	0.11		0.08		0.06		0.01		0.04		-0.52	
		R5	303	0.01		0.09		0.04		0.00		-0.15		-0.42	
		R6	303	0.04		0.06		-0.05		0.06		-0.22		-0.38	
		R7	1,414	-0.02	-0.06	0.06	0.00	-0.02	0.03	0.08	0.02	-0.24	-0.02	-0.36	0.02
	50代	R4	510	0.10		0.11		0.02		0.02		0.02		-0.51	
		R5	234	0.02		0.07		0.00		0.00		-0.24		-0.42	
		R6	376	-0.02		0.10		-0.06		0.07		-0.24		-0.29	
		R7	1,490	-0.06	-0.04	0.02	-0.08	-0.02	0.04	0.08	0.01	-0.29	-0.05	-0.39	-0.10
	60代	R4	402	0.04		0.18		-0.09		-0.08		0.00		-0.49	
		R5	298	-0.07		0.15		-0.05		-0.04		-0.21		-0.43	
		R6	355	-0.03		0.10		-0.16		0.01		-0.33		-0.34	
		R7	1,093	-0.09	-0.06	0.03	-0.07	-0.10	0.06	0.03	0.02	-0.29	0.04	-0.35	-0.01
	70代以上	R4	682	0.07		0.30		-0.07		0.01		0.26		-0.30	
		R5	465	0.00		0.33		-0.08		0.00		0.00		-0.20	
		R6	423	-0.06		0.24		-0.09		-0.05		-0.12		-0.21	
		R7	804	-0.01	0.05	0.15	-0.09	-0.05	0.04	0.10	0.15	-0.16	-0.04	-0.33	-0.12

基本目標⑤ | 目指す姿の経年変化 区別

		基本目標⑤「生活しやすく住みよいまち」													
		サンプル数	多様なニーズに応じた住まいが確保されている。	R7-R6	在宅医療や身近なかかりつけ医が普及しているなど、医療体制が整っている。	R7-R6	建物や道路などのバリアフリー化やユニバーサルデザインの導入が進んでいる。	R7-R6	申請や相談等の手続きをオンラインで完結することができるなど、官民によるサービスの利便性が高まっている。	R7-R6	市民の多様な暮らしを支える交通環境が確保されている。	R7-R6	冬期の道路環境が確保されている。	R7-R6	
区別	中央区	R4	351	0.13		0.25		0.03		0.03		0.15		-0.34	
		R5	206	0.08		0.27		0.07		0.18		0.15		-0.24	
		R6	247	0.14		0.21		0.00		0.20		-0.01		-0.23	
		R7	959	0.04	-0.10	0.16	-0.05	0.01	0.01	0.12	-0.08	-0.07	-0.06	-0.25	-0.02
	北区	R4	314	0.14		0.24		0.10		0.04		0.20		-0.36	
		R5	196	0.02		0.19		-0.04		0.03		-0.15		-0.41	
		R6	246	0.03		0.17		0.07		0.12		-0.12		-0.28	
		R7	925	0.05	0.02	0.10	-0.07	0.02	-0.05	0.15	0.03	-0.13	-0.01	-0.34	-0.06
	東区	R4	318	0.12		0.09		-0.06		0.01		0.05		-0.46	
		R5	199	0.09		0.21		0.09		0.13		-0.05		-0.30	
		R6	245	0.10		0.14		0.03		0.11		-0.11		-0.26	
		R7	887	0.01	-0.09	0.08	-0.06	0.01	-0.02	0.09	-0.02	-0.21	-0.10	-0.36	-0.10
	白石区	R4	276	0.09		0.20		0.09		0.10		0.15		-0.49	
		R5	176	-0.13		0.22		-0.07		0.03		-0.15		-0.46	
		R6	226	0.01		0.25		-0.04		0.18		-0.16		-0.36	
		R7	659	0.03	0.02	0.12	-0.13	0.06	0.10	0.17	-0.01	-0.14	0.02	-0.31	0.05
	厚別区	R4	339	0.13		0.22		0.05		0.05		0.14		-0.36	
		R5	205	0.21		0.27		0.19		0.05		0.07		-0.21	
		R6	260	0.03		0.19		0.08		0.21		-0.05		-0.17	
		R7	425	0.06	0.03	0.10	-0.09	-0.01	-0.09	0.15	-0.06	-0.11	-0.06	-0.25	-0.08
	豊平区	R4	310	0.15		0.12		0.07		0.09		0.21		-0.41	
		R5	196	0.05		0.16		-0.04		0.03		-0.10		-0.38	
		R6	231	0.14		0.12		0.04		0.07		-0.05		-0.19	
		R7	817	0.03	-0.11	0.13	0.01	0.03	-0.01	0.13	0.06	-0.17	-0.12	-0.33	-0.14
	清田区	R4	346	0.13		0.20		0.02		0.06		-0.01		-0.45	
		R5	199	0.09		0.21		-0.04		0.05		-0.36		-0.42	
		R6	217	0.06		0.15		-0.07		0.11		-0.35		-0.27	
		R7	401	-0.02	-0.08	0.05	-0.10	-0.09	-0.02	0.15	0.04	-0.43	-0.08	-0.43	-0.16
南区	R4	352	0.15		0.08		0.02		0.08		0.14		-0.44		
	R5	188	0.07		0.18		0.15		0.11		-0.16		-0.32		
	R6	256	0.10		0.16		0.00		0.18		-0.22		-0.21		
	R7	536	0.04	-0.06	0.06	-0.10	0.01	0.01	0.14	-0.04	-0.26	-0.04	-0.27	-0.06	
西区	R4	346	0.16		0.25		0.08		0.11		0.14		-0.36		
	R5	236	0.10		0.23		0.06		0.08		-0.05		-0.37		
	R6	277	0.06		0.16		-0.04		0.03		-0.14		-0.38		
	R7	803	-0.01	-0.07	0.12	-0.04	0.04	0.08	0.14	0.11	-0.13	0.01	-0.32	0.06	
手稲区	R4	309	0.18		0.21		-0.03		0.11		0.02		-0.47		
	R5	197	0.08		0.28		-0.03		0.10		-0.09		-0.32		
	R6	246	0.08		0.18		0.02		0.06		-0.18		-0.33		
	R7	450	0.04	-0.04	0.14	-0.04	-0.03	-0.05	0.15	0.09	-0.25	-0.07	-0.42	-0.09	

基本目標⑤ | 目指す姿の経年変化 性別・子ども有無別

		基本目標⑤「生活しやすく住みよいまち」													
		サンプル数	多様なニーズに応じた住まいが確保されている。	R7-R6	在宅医療や身近なかかりつけ医が普及しているなど、医療体制が整っている。	R7-R6	建物や道路などのバリアフリー化やユニバーサルデザインの導入が進んでいる。	R7-R6	申請や相談等の手続をオンラインで完結することができるなど、官民によるサービスの利便性が高まっている。	R7-R6	市民の多様な暮らしを支える交通環境が確保されている。	R7-R6	冬期の道路環境が確保されている。	R7-R6	
性別	男性	R4	1,429	0.15	0.21	0.01	0.04	0.12	-0.38						
		R5	895	0.11	0.24	0.04	0.08	-0.08	-0.36						
		R6	1,087	0.07	0.21	0.00	0.12	-0.15	-0.26						
		R7	2,985	0.04	-0.03	0.15	-0.06	0.05	0.16	0.04	-0.11	0.04	-0.27	-0.01	
	女性	R4	1,651	0.14	0.19	0.08	0.12	0.13	-0.43						
		R5	1,053	0.06	0.22	0.03	0.09	-0.08	-0.32						
		R6	1,326	0.08	0.15	0.02	0.13	-0.12	-0.26						
18歳以下の 子供	有	R7	3,581	0.02	-0.06	0.09	-0.06	-0.01	-0.03	0.13	0.00	-0.21	-0.09	-0.36	-0.10
		R4	922	0.17	0.14	0.06	0.11	0.09	-0.48						
		R5	574	0.07	0.18	0.06	0.07	-0.15	-0.39						
		R6	643	0.10	0.19	0.00	0.25	-0.16	-0.31						
		R7	2,172	0.05	-0.05	0.11	-0.08	0.02	0.16	-0.09	-0.18	-0.02	-0.37	-0.06	
		無	R4	2,326	0.12	0.20	0.03	0.05	0.13	-0.38					
			R5	1,420	0.07	0.24	0.02	0.08	-0.06	-0.33					
	R6		1,804	0.07	0.17	0.01	0.08	-0.13	-0.25						
	R7		4,690	0.01	-0.06	0.11	-0.06	0.01	0.00	0.12	0.04	-0.17	-0.04	-0.30	-0.05

基本目標⑤ | 目指す姿の重要度 属性別

		基本目標⑤「生活しやすく住みよいまち」						
		多様なニーズに応じた住まいが確保されている。	在宅医療や身近なかかりつけ医が普及しているなど、医療体制が整っている。	建物や道路などのバリアフリーやユニバーサルデザインの導入が進んでいる。	申請や相談等の手続きをオンラインで完結することができるなど、官民によるサービスの利便性が高まっている。	市民の多様な暮らしを支える交通環境が確保されている。	冬期の道路環境が確保されている。	
全体	6,862	41.5%	61.6%	52.6%	51.2%	68.0%	73.4%	
年代別	10代	218	52.8%	56.9%	62.4%	63.3%	75.7%	
	20代	674	44.2%	51.5%	54.6%	64.5%	73.7%	
	30代	1,169	41.1%	53.7%	50.8%	65.6%	78.0%	
	40代	1,414	42.4%	58.9%	51.7%	69.3%	78.2%	
	50代	1,490	40.0%	60.2%	51.7%	69.1%	75.0%	
	60代	1,093	39.8%	65.1%	54.3%	68.6%	71.5%	
	70代以上	804	39.9%	72.8%	51.4%	70.3%	68.0%	
性別	男性	2,985	38.2%	55.8%	48.4%	62.7%	69.6%	
	女性	3,581	43.8%	63.4%	55.3%	72.0%	78.9%	
区別	中央区	959	47.0%	64.5%	60.5%	73.0%	75.3%	
	北区	925	42.9%	61.2%	54.4%	69.9%	71.8%	
	東区	887	41.7%	57.6%	50.2%	65.2%	76.1%	
	白石区	659	42.2%	58.2%	49.6%	67.2%	73.8%	
	厚別区	425	40.8%	55.2%	49.8%	64.0%	71.3%	
	豊平区	817	40.0%	61.2%	55.1%	69.2%	72.5%	
	清田区	401	41.7%	56.9%	51.9%	66.2%	75.0%	
	南区	536	39.7%	62.3%	54.1%	74.3%	77.3%	
	西区	803	42.5%	65.1%	54.5%	70.5%	78.5%	
	手稲区	450	41.5%	63.9%	54.7%	67.5%	76.0%	
18歳以下の子供	有	2,172	40.1%	57.9%	52.6%	66.6%	77.5%	
	無	4,690	42.1%	61.2%	52.5%	68.6%	73.4%	

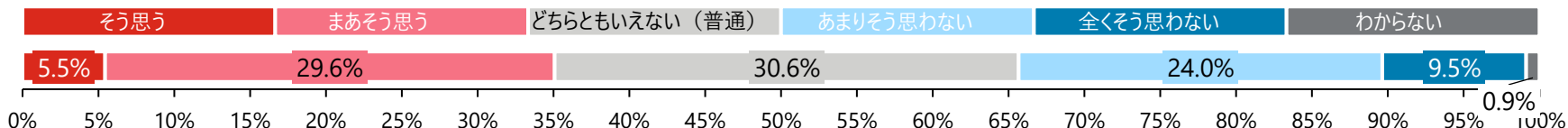
地域分野

基本目標⑥「互いに認め合い、支え合うまち」

全体評価点* (前年比)	R4	R5	R6
2.88 (▲0.04)	2.99	2.89	2.92

基本目標
の評価

(n = 6,862) 基本目標⑥「互いに認め合い、支え合うまち」が実現していると思いますか。

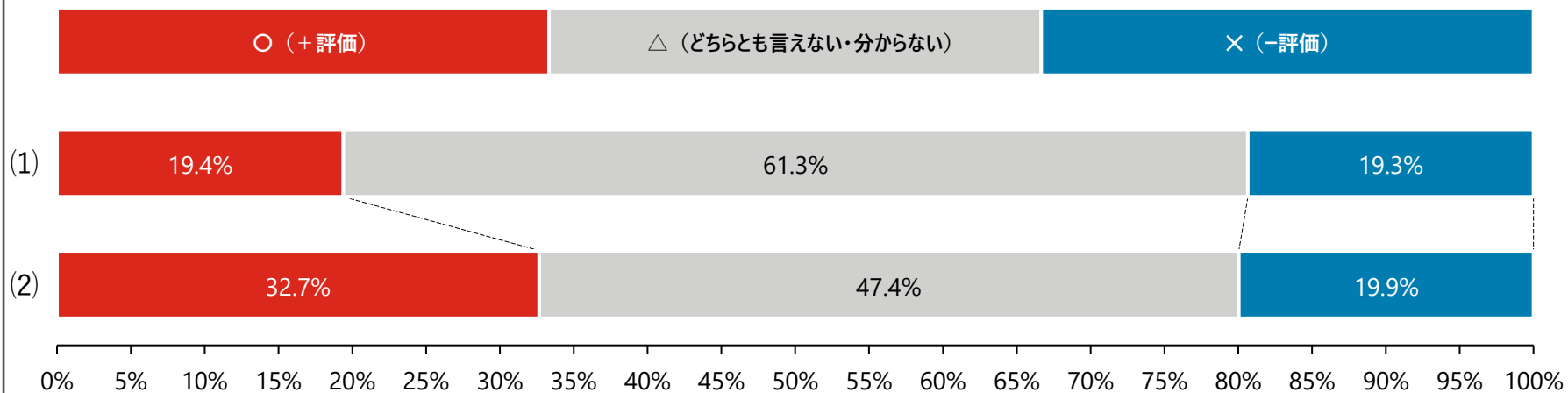


*そう思う=5点、まあそう思う=4点、どちらともいえない (普通) =3点、あまりそう思わない=2点、全くそう思わない=1点として回答の平均値で算出。(わからないは除外)

目指す姿
の評価

目指す姿	内容
(1)	(1)年齢・性別・障がいの有無・国籍・民族・宗教・文化などの違いを互いに認め合い、尊重し合う、平和で包摂的な社会となっている。
(2)	(2)世代や国籍を超えた交流や趣味を通じた交流などにより、市民のつながりが深まり、相互の信頼や協力が得られる社会が形成されている。

(n = 6,862) 基本目標⑥「互いに認め合い、支え合うまち」に関連する下記の札幌市の目指す姿に対して、「○ (+評価)」、「△ (どちらとも言えない・わからない) 」または「× (-評価) 」のいずれかあてはまるものを選択してください。



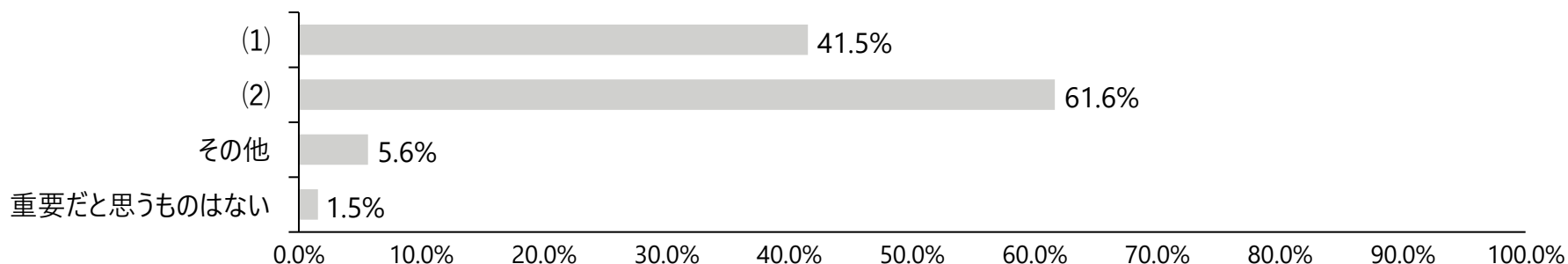
地域分野

基本目標⑥「互いに認め合い、支え合うまち」

重要度の評価

目指す姿	(1)年齢・性別・障がいの有無・国籍・民族・宗教・文化などの違いを互いに認め合い、尊重し合う、平和で包摂的な社会となっている。	(2)世代や国籍を超えた交流や趣味を通じた交流などにより、市民のつながりが深まり、相互の信頼や協力が得られる社会が形成されている。
------	---	---

(n = 6,862) 基本目標⑥「互いに認め合い、支え合うまち」に関連する下記の札幌市の目指す姿のなかで、あなたが重要だと思うものすべてを選択してください。



上記以外に重要だと思うもの (FA)

カテゴリ	記述内容抜粋
ルール共有と相互尊重	<ul style="list-style-type: none"> ・違う国籍や民族の方と暮らす上で、認め合うとは双方の歩み寄りが必要だ。 ・外国籍の方にも、ゴミ出しなど地域ルールを多言語で分かりやすく周知してほしい。
参加機会・情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・目指すだけでなく、市民が参加できる機会と情報提供をもっと増やしてほしい。 ・民間のコミュニティへのサポートをさらに進め、交流の機会を広げるべきだ。
障害者包摂・就労支援	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者が排除されており、社会参加の難易度を下げる対策が必要だ。 ・障害者雇用の職種の幅を広げ、企業への支援を充実させるべきだ。
マナー・人権教育強化	<ul style="list-style-type: none"> ・差別や多様性に関する教育を学校や社会で提供してほしい。 ・「お互いさま」の精神で、席を譲るなど日常の思いやりを広げたい。
安全安心と治安確保	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客や在住者のマナー違反に対し、指導とルールの徹底が必要だ。 ・市民の安全と安心を最優先に、過度な負担が生じない受け入れ体制を整備すべきだ。

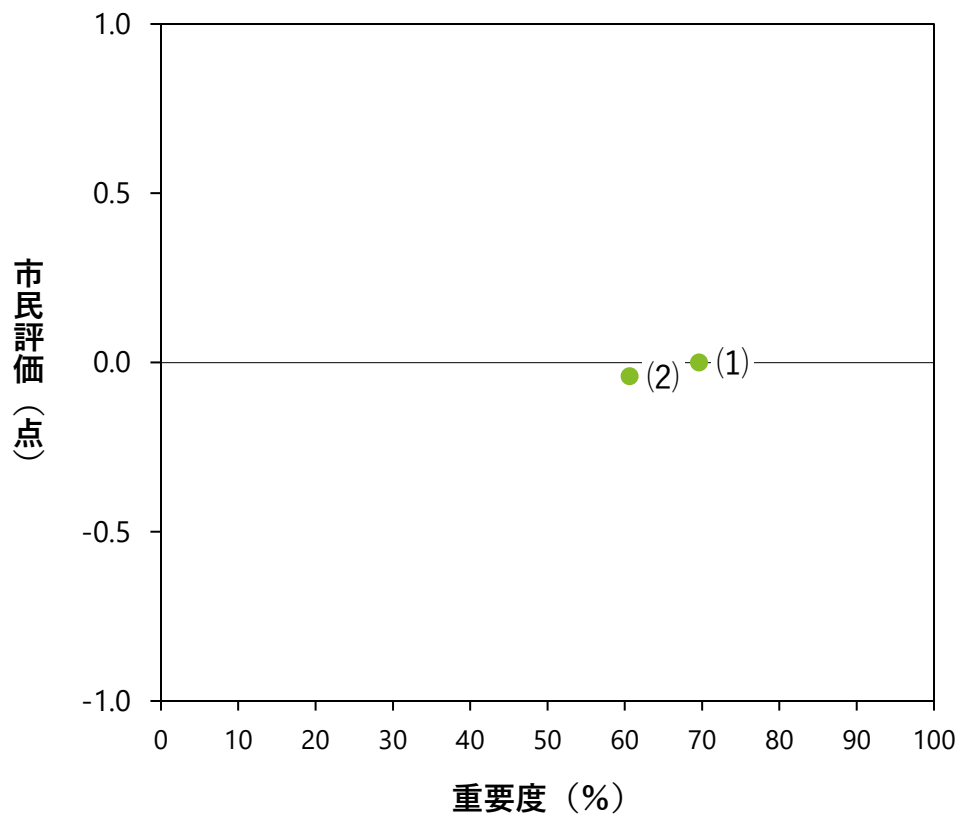
* 回答の多い内容を集約し、カテゴライズ。
実際の回答を記載（弊社にて必要に応じて文言調整）

地域分野

基本目標⑥「互いに認め合い、支え合うまち」

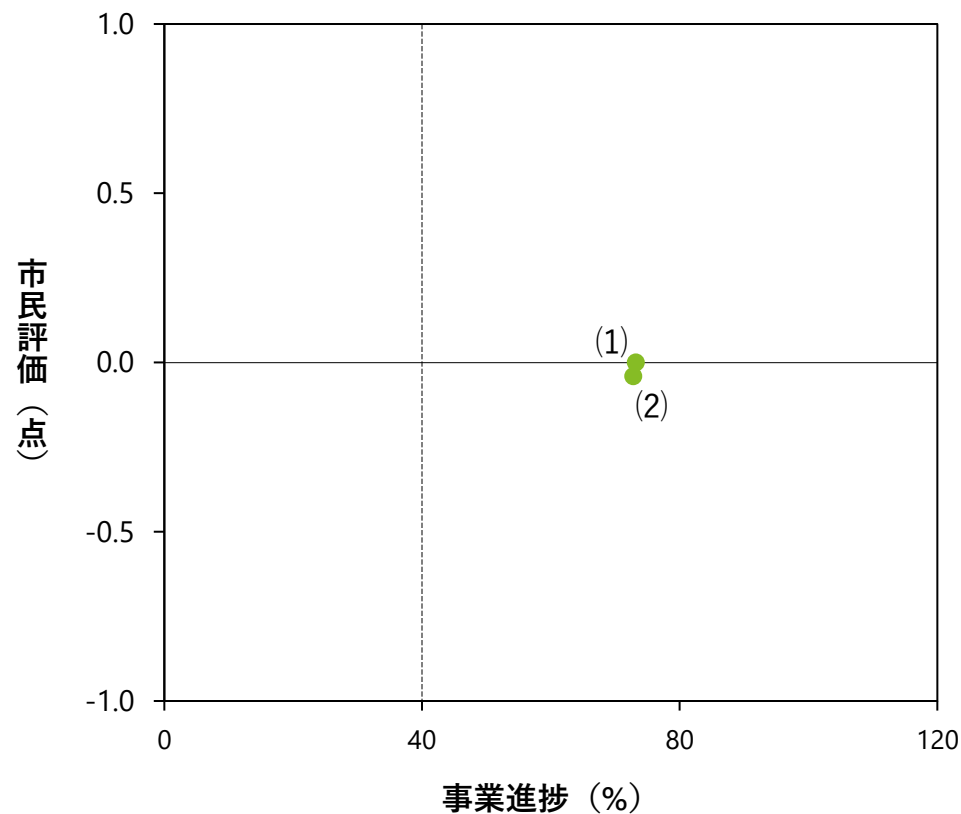
目指す姿の市民評価×重要度

(n = 6,862)



目指す姿の市民評価×事業進捗

(n = 6,862)



目指す姿

(1)年齢・性別・障がいの有無・国籍・民族・宗教・文化などの違いを互いに認め合い、尊重し合う、平和で包摂的な社会となっている。

(2)世代や国籍を超えた交流や趣味を通じた交流などにより、市民のつながりが深まり、相互の信頼や協力が得られる社会が形成されている。

地域分野

基本目標⑥「互いに認め合い、支え合うまち」

基本目標に (n = 6,862)

対する評価
【詳細版】

		R4 (n=3,292)	R5 (n=2,013)	R6 (n=2,494)	R7 (n=6,862)	R7-R6
全体		2.99	2.89	2.92	2.88	-0.04
年代別	10代	3.30	3.22	3.29	3.50	0.21
	20代	3.11	3.09	3.00	3.08	0.08
	30代	2.92	2.75	2.83	2.87	0.04
	40代	2.99	2.84	2.78	2.74	-0.04
	50代	2.93	2.79	2.83	2.77	-0.06
	60代	2.83	2.73	2.82	2.73	-0.09
	70代以上	3.00	2.96	3.05	2.90	-0.15
性別	男性	2.97	2.90	2.92	2.87	-0.05
	女性	3.03	2.90	2.95	2.84	-0.11
	その他	2.81	2.48	2.51	2.47	-0.04
区別	中央区	2.99	3.01	2.99	2.87	-0.12
	北区	3.01	2.82	2.92	2.88	-0.04
	東区	2.92	3.01	2.87	2.78	-0.09
	白石区	3.02	2.70	2.93	2.83	-0.10
	厚別区	3.09	2.94	3.05	2.92	-0.13
	豊平区	3.04	2.89	2.87	2.84	-0.03
	清田区	2.98	2.81	2.94	2.78	-0.16
	南区	2.95	2.92	2.96	2.84	-0.12
	西区	2.89	2.82	2.87	2.85	-0.02
	手稲区	3.08	2.95	2.87	2.84	-0.03
18歳以下の子ども有無	有	3.04	2.90	2.92	2.88	-0.04
	無	2.97	2.88	2.92	2.82	-0.10

● 2.調査結果の詳細 | 問2 基本目標について

基本目標⑥ | 目指す姿の経年変化 全体・年代別

		基本目標⑥「互いに認め合い、支え合うまち」				
		サンプル数	年齢・性別・障がいの有無・国籍・民族・宗教・文化などの違いを互いに認め合い、尊重し合う、平和で包摂的な社会となっている。	R7-R6	世代や国籍を超えた交流や趣味を通じた交流などにより、市民のつながりが深まり、相互の信頼や協力が得られる社会が形成されている。	R7-R6
全体		R4	3,292	0.00		-0.05
		R5	2,013	-0.05		-0.05
		R6	2,494	-0.04		-0.07
		R7	6,862	0.00	0.04	-0.04
						0.03
年代別	10代	R4	306	0.18		0.16
		R5	146	0.12		0.12
		R6	210	0.24		0.12
		R7	218	0.34	0.10	0.34
	20代	R4	435	0.09		0.05
		R5	253	0.08		0.21
		R6	438	0.02		0.03
		R7	674	0.09	0.07	0.08
	30代	R4	468	-0.04		-0.09
		R5	301	-0.07		-0.12
		R6	362	-0.06		-0.08
		R7	1,169	0.01	0.07	-0.04
	40代	R4	469	0.00		-0.07
		R5	303	-0.07		-0.13
		R6	303	-0.07		-0.18
		R7	1,414	-0.04	0.03	-0.08
	50代	R4	510	-0.06		-0.07
		R5	234	-0.14		-0.06
		R6	376	-0.09		-0.14
		R7	1,490	-0.06	0.03	-0.09
	60代	R4	402	-0.10		-0.16
		R5	298	-0.19		-0.15
		R6	355	-0.07		-0.06
		R7	1,093	-0.06	0.01	-0.13
	70代以上	R4	682	0.00		-0.06
		R5	465	-0.02		-0.08
		R6	423	-0.09		-0.10
		R7	804	0.00	0.09	-0.04

● 2.調査結果の詳細 | 問2 基本目標について

基本目標⑥ | 目指す姿の経年変化 区別

		基本目標⑥「互いに認め合い、支え合うまち」					
		サンプル数	年齢・性別・障がいの有無・国籍・民族・宗教・文化などの違いを互いに認め合い、尊重し合う、平和で包摂的な社会となっている。	R7-R6	世代や国籍を超えた交流や趣味を通じた交流などにより、市民のつながりが深まり、相互の信頼や協力が得られる社会が形成されている。	R7-R6	
区別	中央区	R4	351	0.04		-0.11	
		R5	206	0.00		0.01	
		R6	247	0.07		-0.03	
		R7	959	0.03	-0.04	0.00	0.03
	北区	R4	314	0.02		0.04	
		R5	196	-0.10		-0.08	
		R6	246	0.00		-0.03	
		R7	925	0.02	0.02	-0.04	-0.01
	東区	R4	318	-0.05		-0.10	
		R5	199	-0.03		0.01	
		R6	245	-0.04		-0.05	
		R7	887	-0.05	-0.01	-0.07	-0.02
	白石区	R4	276	-0.03		-0.04	
		R5	176	-0.19		-0.06	
		R6	226	-0.09		-0.05	
		R7	659	-0.02	0.07	-0.06	-0.01
	厚別区	R4	339	0.11		0.02	
		R5	205	-0.01		-0.09	
		R6	260	-0.02		-0.08	
		R7	425	0.05	0.07	-0.01	0.07
	豊平区	R4	310	-0.01		-0.04	
		R5	196	-0.02		0.01	
		R6	231	-0.05		-0.02	
		R7	817	-0.02	0.03	-0.03	-0.01
	清田区	R4	346	-0.05		-0.02	
		R5	199	-0.04		-0.16	
		R6	217	-0.04		-0.12	
		R7	401	-0.06	-0.02	-0.10	0.02
南区	R4	352	-0.06		-0.08		
	R5	188	0.02		-0.01		
	R6	256	0.04		-0.02		
	R7	536	-0.01	-0.05	-0.06	-0.04	
西区	R4	346	-0.01		-0.12		
	R5	236	-0.12		-0.08		
	R6	277	-0.08		-0.09		
	R7	803	-0.02	0.06	-0.08	0.01	
手稲区	R4	309	0.03		0.01		
	R5	197	-0.04		-0.05		
	R6	246	-0.12		-0.16		
	R7	450	-0.03	0.09	-0.10	0.06	

基本目標⑥ | 目指す姿の経年変化 性別・子ども有無別

		基本目標⑥「互いに認め合い、支え合うまち」					
			サンプル数	年齢・性別・障がいの有無・国籍・民族・宗教・文化などの違いを互いに認め合い、尊重し合う、平和で包摂的な社会となっている。	R7-R6	世代や国籍を超えた交流や趣味を通じた交流などにより、市民のつながりが深まり、相互の信頼や協力が得られる社会が形成されている。	R7-R6
性別	男性	R4	1,429	0.00		-0.05	
		R5	895	-0.03		-0.06	
		R6	1,087	-0.02		-0.06	
		R7	2,985	0.02	0.04	-0.02	0.04
	女性	R4	1,651	0.01		-0.02	
		R5	1,053	-0.06		-0.03	
		R6	1,326	-0.04		-0.07	
		R7	3,581	-0.02	0.02	-0.07	0.00
18歳以下の 子供	有	R4	922	0.02		-0.02	
		R5	574	-0.06		-0.05	
		R6	643	0.00		-0.07	
		R7	2,172	0.00	0.00	-0.03	0.04
	無	R4	2,326	-0.01		-0.05	
		R5	1,420	-0.05		-0.05	
		R6	1,804	-0.05		-0.07	
		R7	4,690	-0.01	0.04	-0.06	0.01

基本目標⑥ | 目指す姿の重要度 属性別

		基本目標⑥「互いに認め合い、支え合うまち」		
		サンプル数	年齢・性別・障がいの有無・国籍・民族・宗教・文化などの違いを互いに認め合い、尊重し合う、平和で包摂的な社会となっている。	世代や国籍を超えた交流や趣味を通じた交流などにより、市民のつながりが深まり、相互の信頼や協力が得られる社会が形成されている。
全体		6,862	69.6%	60.6%
年代別	10代	218	79.4%	72.9%
	20代	674	66.2%	59.2%
	30代	1,169	62.7%	56.2%
	40代	1,414	65.2%	59.1%
	50代	1,490	67.0%	56.7%
	60代	1,093	70.9%	58.2%
	70代以上	804	76.9%	66.3%
性別	男性	2,985	64.5%	59.0%
	女性	3,581	71.0%	59.7%
区別	中央区	959	65.9%	56.1%
	北区	925	69.1%	61.6%
	東区	887	67.6%	57.8%
	白石区	659	67.2%	56.9%
	厚別区	425	64.5%	55.5%
	豊平区	817	69.6%	63.8%
	清田区	401	67.6%	59.1%
	南区	536	70.3%	62.1%
	西区	803	67.4%	64.2%
	手稲区	450	70.2%	58.3%
18歳以下の子供	有	2,172	66.4%	61.1%
	無	4,690	68.7%	58.4%

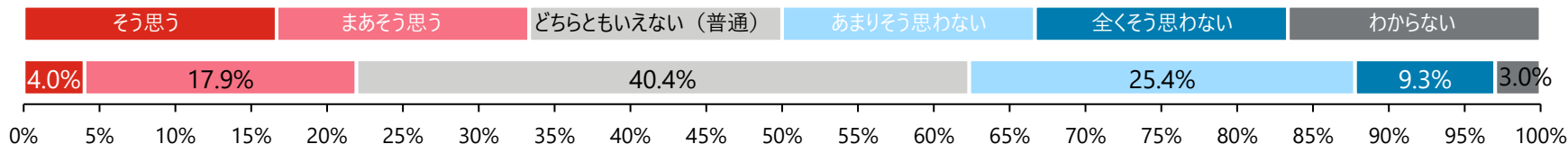
地域分野

基本目標⑦「誰もがまちづくり活動に参加でき、コミュニティを育むまち」

全体評価点* (前年比)	R4	R5	R6
2.82 (▲0.06)	2.87	2.83	2.88

基本目標
の評価

(n = 6,862) 基本目標⑦「誰もがまちづくり活動に参加でき、コミュニティを育むまち」が実現していると思いますか。

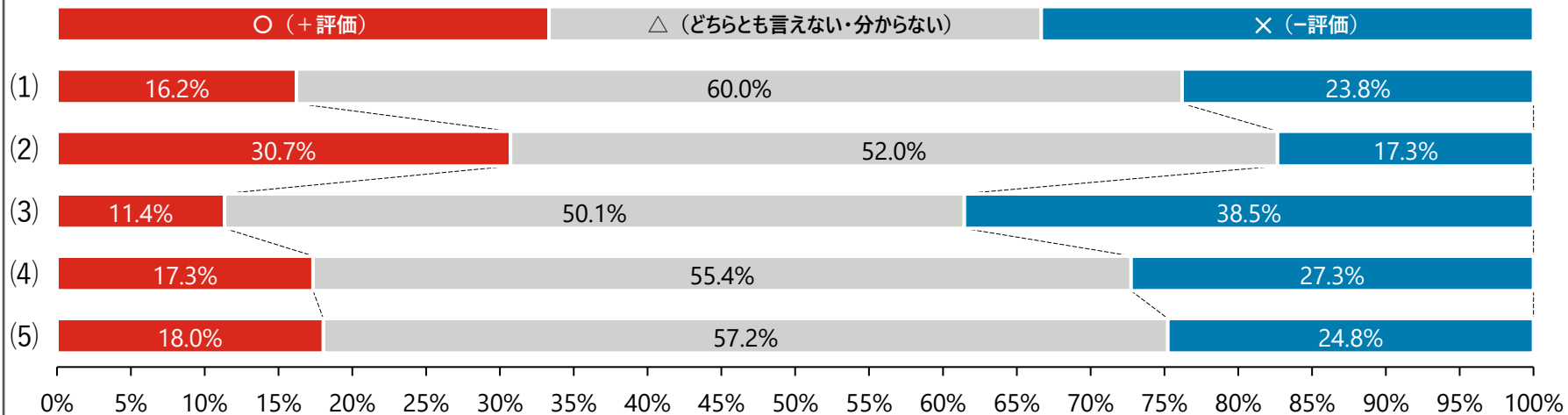


*そう思う=5点、まあそう思う=4点、どちらともいえない (普通) =3点、あまりそう思わない=2点、全くそう思わない=1点として回答の平均値で算出。(わからないは除外)

目指す姿
の評価

目指す姿	(1)誰もが自身のライフスタイルに合わせながらまちづくり活動に参加し、支え合いながら地域の課題を解決している。	(2)区役所やまちづくりセンターが拠点となり、様々な活動が推進されている。	(3)誰もが市政を身近なものに感じ、計画の立案段階などから積極的に参加している。
	(4)良好な生活環境の維持につながる地域コミュニティの中核として、地縁による団体 (町内会・自治会) が生き生きと活動している。	(5)地縁による団体 (町内会・自治会)、福祉のまち推進センター、NPO、商店街、企業などの多様な主体が参画し、地域に密着したまちづくり活動が進んでいる。	

(n = 6,862) 基本目標⑦「誰もがまちづくり活動に参加でき、コミュニティを育むまち」に関する下記の札幌市の目指す姿に対して、「○ (+評価)」、「△ (どちらとも言えない・分からない) 」または「× (-評価) 」のいずれかあてはまるものを選択してください。



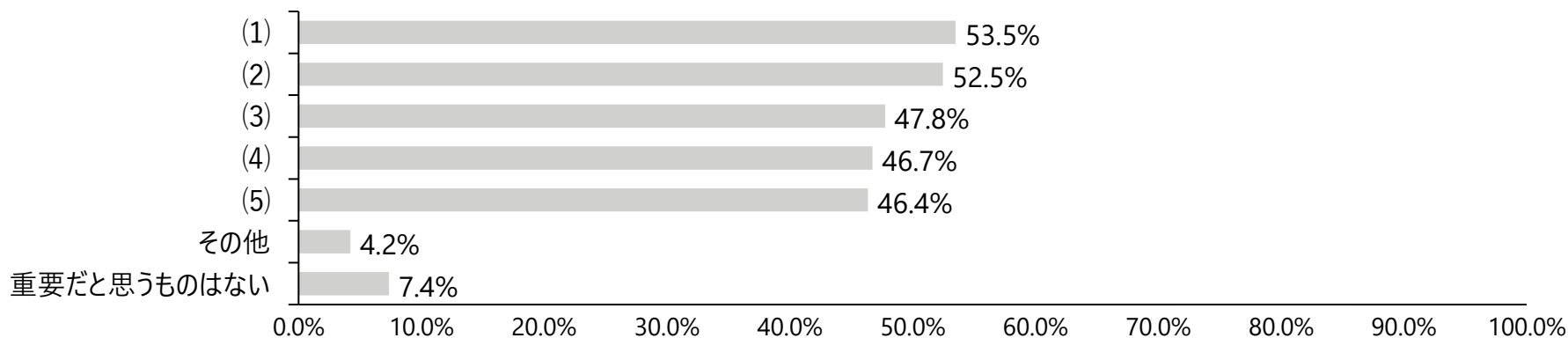
地域分野

基本目標⑦「誰もがまちづくり活動に参加でき、コミュニティを育むまち」

重要度の評価

目指す姿	(1)誰もが自身のライフスタイルに合わせながらまちづくり活動に参加し、支え合いながら地域の課題を解決している。	(2)区役所やまちづくりセンターが拠点となり、様々な活動が推進されている。	(3)誰もが市政を身近なものに感じ、計画の立案段階などから積極的に参加している。
	(4)良好な生活環境の維持につながる地域コミュニティの中核として、地縁による団体（町内会・自治会）が生き生きと活動している。	(5)地縁による団体（町内会・自治会）、福祉のまち推進センター、NPO、商店街、企業などの多様な主体が参画し、地域に密着したまちづくり活動が進んでいる。	

(n = 6,862) 基本目標⑦「誰もがまちづくり活動に参加でき、コミュニティを育むまち」に関連する下記の札幌市の目指す姿のなかで、あなたが重要だと思うものすべてを選択してください。



上記以外に重要だと思うもの (FA)

カテゴリ	記述内容抜粋
町内会改革と代替仕組み	・町内会は高齢化や年功序列で若い世代が参加しづらく、運営の見直しと代替の仕組みづくりが必要だ。 ・町内会という枠にこだわらず、広域の単位や新しい形のコミュニティ運営を検討すべきだ。
参加機会拡大・周知	・LINEやSNS、YouTube広告、ポスター等を活用し、活動情報や意見募集を広くわかりやすく周知すべきだ。 ・「どこで何をやっているのか分からない」という声が多く、まちづくりの内容や参加方法を明確に示すべきだ。
官民協働と制度整備	・NPOや地域団体の活動は、毎年ゼロベースで要否を見直し、透明性を高めるべきだ。 ・まちづくりセンターの企画力と発信力を強化し、ワンストップで相談・参画できる機能を充実させるべきだ。
居場所・交流拠点充実	・まちづくりセンターや公民館の講座・イベント、人員を増やし、参加しやすい出会いの場を広げるべきだ。 ・子ども・親・高齢者が交わる地域イベントを支援し、世代間交流を促進すべきだ。
包摂と無理のない参加	・「誰もが」を強制せず、参加できない人を排除しない無理のない参画を目指すべきだ。 ・病気や障害、介護等で参加が難しい世帯に対し、情報提供や見守り、代替手段を整えるべきだ。

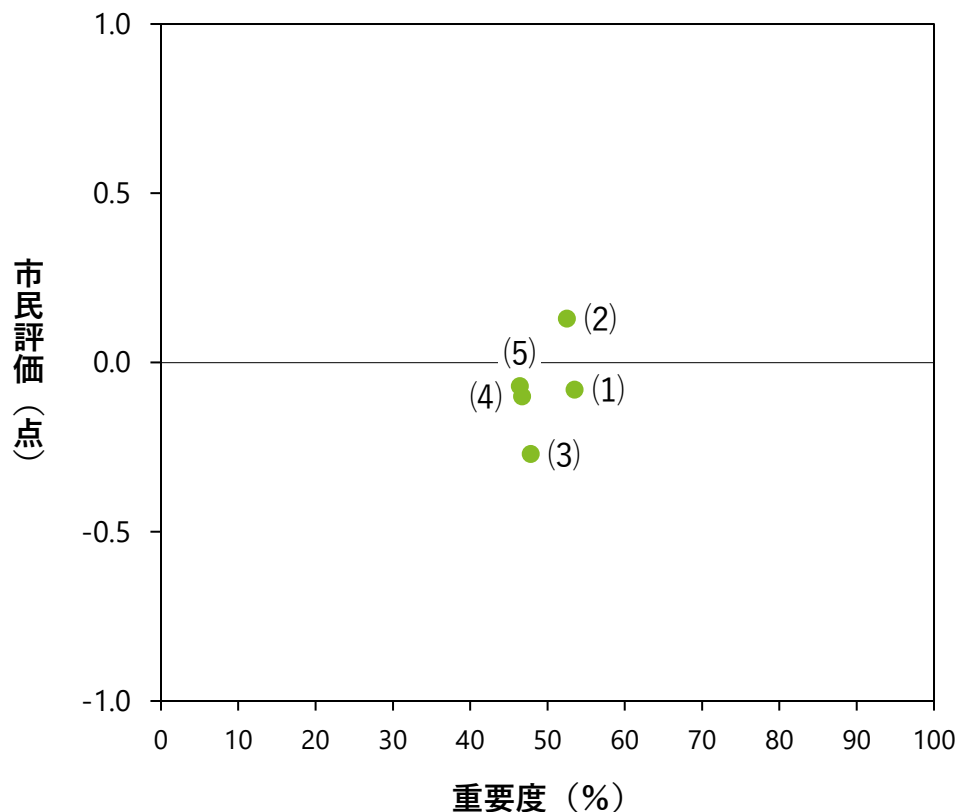
* 回答の多い内容を集約し、カテゴリライズ。
実際の回答を記載（弊社にて必要に応じて文言調整）

地域分野

基本目標⑦「誰もがまちづくり活動に参加でき、コミュニティを育むまち」

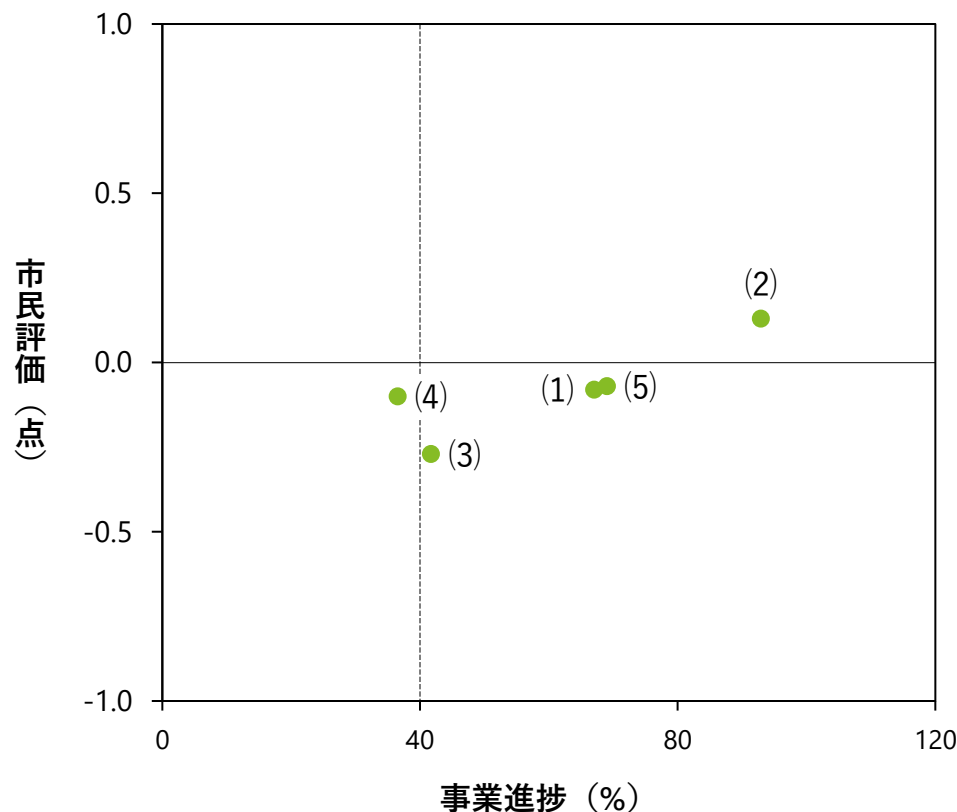
目指す姿の市民評価×重要度

(n = 6,862)



目指す姿の市民評価×事業進捗

(n = 6,862)



目指す姿	(1)誰もが自身のライフスタイルに合わせながらまちづくり活動に参加し、支え合いながら地域の課題を解決している。	(2)区役所やまちづくりセンターが拠点となり、様々な活動が推進されている。	(3)誰もが市政を身近なものと感じ、計画の立案段階などから積極的に参加している。
	(4)良好な生活環境の維持につながる地域コミュニティの中核として、地縁による団体（町内会・自治会）が生き生きと活動している。	(5)地縁による団体（町内会・自治会）、福祉のまち推進センター、NPO、商店街、企業などの多様な主体が参画し、地域に密着したまちづくり活動が進んでいる。	

地域分野

基本目標⑦「誰もがまちづくり活動に参加でき、コミュニティを育むまち」

基本目標に (n = 6,862)

対する評価
【詳細版】

		R4 (n=3,292)	R5 (n=2,013)	R6 (n=2,494)	R7 (n=6,862)	R7-R6
全体		2.87	2.83	2.88	2.82	-0.06
年代別	10代	3.10	3.07	3.12	3.26	0.14
	20代	2.92	2.93	2.93	2.97	0.04
	30代	2.70	2.66	2.82	2.82	0.00
	40代	2.82	2.74	2.73	2.74	0.01
	50代	2.84	2.81	2.86	2.71	-0.15
	60代	2.74	2.68	2.75	2.63	-0.12
	70代以上	3.02	2.96	2.97	2.88	-0.09
性別	男性	2.82	2.81	2.85	2.79	-0.06
	女性	2.94	2.84	2.91	2.80	-0.11
	その他	2.67	2.71	2.67	2.41	-0.26
区別	中央区	2.83	2.83	2.90	2.77	-0.13
	北区	2.96	2.83	2.88	2.78	-0.10
	東区	2.81	2.89	2.84	2.74	-0.10
	白石区	2.82	2.66	2.80	2.80	0.00
	厚別区	2.90	2.88	2.88	2.80	-0.08
	豊平区	2.85	2.75	2.91	2.76	-0.15
	清田区	2.94	2.76	2.97	2.78	-0.19
	南区	2.84	2.85	2.94	2.82	-0.12
	西区	2.85	2.87	2.77	2.83	0.06
	手稲区	2.92	2.91	2.91	2.79	-0.12
18歳以下の子ども有無	有	2.92	2.76	2.93	2.87	-0.06
	無	2.86	2.85	2.86	2.74	-0.12

基本目標⑦ | 目指す姿の経年変化 全体・年代別

		基本目標⑦「誰もがまちづくり活動に参加でき、コミュニティを育むまち」											
		サンプル数	誰もが自身のライフスタイルに合わせながらまちづくり活動に参加し、支え合いながら地域の課題を解決している。	R7-R6	区役所やまちづくりセンターが拠点となり、様々な活動が推進されている。	R7-R6	誰もが市政を身近なものと感じ、計画の立案段階などから積極的に参加している。	R7-R6	良好な生活環境の維持につながる地域コミュニティの中核として、地縁による団体（町内会・自治会）が生き生きと活動している。	R7-R6	地縁による団体（町内会・自治会）、福祉のまち推進センター、NPO、商店街、企業などの多様な主体が参画し、地域に密着したまちづくり活動が進んでいる。	R7-R6	
全体	R4	3,292		-0.20		0.18		-0.44		-0.13		-0.07	
	R5	2,013		-0.24		0.12		-0.53		0.14		-0.10	
	R6	2,494		-0.21		0.14		-0.42		0.08		-0.08	
	R7	6,862		-0.08	0.13	0.13	-0.01	-0.27	0.15	-0.10	-0.18	-0.07	0.01
年代別	10代	R4	306		-0.05		0.25		-0.30		0.03		0.03
		R5	146		-0.18		0.26		-0.49		0.21		-0.01
		R6	210		0.00		0.26		-0.30		0.15		0.08
		R7	218		0.29	0.29	0.31	0.05	-0.04	0.26	0.19	0.04	0.22
	20代	R4	435		-0.16		0.19		-0.41		-0.09		0.05
		R5	253		-0.17		0.16		-0.51		0.10		-0.03
		R6	438		-0.16		0.18		-0.38		0.06		0.00
		R7	674		0.07	0.23	0.22	0.04	-0.13	0.25	0.03	-0.03	0.06
	30代	R4	468		-0.27		0.07		-0.51		-0.21		-0.15
		R5	301		-0.34		-0.05		-0.59		-0.01		-0.11
		R6	362		-0.26		0.16		-0.43		0.07		-0.02
		R7	1,169		-0.05	0.21	0.13	-0.03	-0.30	0.13	-0.08	-0.15	-0.04
	40代	R4	469		-0.23		0.17		-0.47		-0.15		-0.06
		R5	303		-0.30		0.08		-0.57		0.09		-0.10
		R6	303		-0.29		0.09		-0.51		0.00		-0.17
		R7	1,414		-0.14	0.15	0.06	-0.03	-0.35	0.16	-0.13	-0.13	-0.10
	50代	R4	510		-0.24		0.14		-0.46		-0.21		-0.13
		R5	234		-0.19		0.14		-0.53		0.11		-0.07
		R6	376		-0.25		0.10		-0.45		0.03		-0.13
		R7	1,490		-0.14	0.11	0.08	-0.02	-0.32	0.13	-0.18	-0.21	-0.13
	60代	R4	402		-0.25		0.09		-0.51		-0.19		-0.18
		R5	298		-0.33		0.03		-0.59		0.10		-0.15
		R6	355		-0.27		0.07		-0.48		0.10		-0.12
		R7	1,093		-0.17	0.10	0.04	-0.03	-0.34	0.14	-0.21	-0.31	-0.17
	70代以上	R4	682		-0.17		0.30		-0.41		-0.06		-0.03
		R5	465		-0.19		0.23		-0.46		0.30		-0.12
		R6	423		-0.20		0.17		-0.39		0.14		-0.15
		R7	804		-0.09	0.11	0.20	0.03	-0.25	0.14	-0.08	-0.22	-0.07

● 2.調査結果の詳細 | 問2 基本目標について

基本目標⑦ | 目指す姿の経年変化 区別

		基本目標⑦「誰もがまちづくり活動に参加でき、コミュニティを育むまち」												
区別	区	R	サンプル数	誰もが自身のライフスタイルに合わせながらまちづくり活動に参加し、支え合いながら地域の課題を解決している。	R7-R6	区役所やまちづくりセンターが拠点となり、様々な活動が推進されている。	R7-R6	誰もが市政を身近なものと感じ、計画の立案段階などから積極的に参加している。	R7-R6	良好な生活環境の維持につながる地域コミュニティの中核として、地縁による団体（町内会・自治会）が生き生きと活動している。	R7-R6	地縁による団体（町内会・自治会）、福祉のまち推進センター、NPO、商店街、企業などの多様な主体が参画し、地域に密着したまちづくり活動が進んでいる。	R7-R6	
区別	中央区	R4	351	-0.22		0.11		-0.49		-0.24		-0.09		
		R5	206	-0.26		0.13		-0.51		0.04		-0.09		
		R6	247	-0.19		0.17		-0.43		0.02		-0.14		
		R7	959	-0.07	0.12		0.12	-0.05	-0.25	0.18		-0.11	-0.13	-0.06
	北区	R4	314	-0.22		0.18		-0.42		-0.06		0.02		
		R5	196	-0.25		0.12		-0.61		0.13		-0.14		
		R6	246	-0.22		0.07		-0.41		0.02		-0.12		
		R7	925	-0.09	0.13		0.08	0.01	-0.29	0.12		-0.13	-0.15	-0.08
	東区	R4	318	-0.22		0.18		-0.48		-0.19		-0.15		
		R5	199	-0.19		0.22		-0.50		0.21		-0.07		
		R6	245	-0.24		0.10		-0.41		0.01		-0.11		
		R7	887	-0.10	0.14		0.12	0.02	-0.30	0.11		-0.14	-0.15	-0.11
	白石区	R4	276	-0.16		0.19		-0.41		-0.17		-0.12		
		R5	176	-0.30		0.03		-0.53		-0.02		-0.19		
		R6	226	-0.23		0.15		-0.42		0.00		-0.10		
		R7	659	-0.06	0.17		0.14	-0.01	-0.27	0.15		-0.13	-0.13	-0.09
	厚別区	R4	339	-0.26		0.19		-0.44		-0.14		-0.04		
		R5	205	-0.27		0.16		-0.49		0.19		-0.06		
		R6	260	-0.23		0.24		-0.43		0.17		-0.05		
		R7	425	-0.08	0.15		0.16	-0.08	-0.27	0.16		-0.10	-0.27	-0.09
	豊平区	R4	310	-0.25		0.13		-0.45		-0.17		-0.09		
		R5	196	-0.30		0.04		-0.57		0.11		-0.07		
		R6	231	-0.20		0.12		-0.38		0.04		-0.12		
		R7	817	-0.11	0.09		0.08	-0.04	-0.30	0.08		-0.10	-0.14	-0.08
	清田区	R4	346	-0.21		0.25		-0.45		-0.03		-0.18		
		R5	199	-0.29		0.10		-0.56		0.17		-0.12		
		R6	217	-0.21		0.24		-0.47		0.18		-0.12		
		R7	401	-0.13	0.08		0.08	-0.16	-0.39	0.08		-0.10	-0.28	-0.07
南区	R4	352	-0.15		0.20		-0.42		-0.09		-0.10			
	R5	188	-0.26		0.12		-0.52		0.21		-0.11			
	R6	256	-0.20		0.13		-0.38		0.11		-0.01			
	R7	536	-0.06	0.14		0.13	0.00	-0.30	0.08		-0.11	-0.22	-0.04	-0.03
西区	R4	346	-0.21		0.22		-0.41		-0.12		-0.02			
	R5	236	-0.19		0.08		-0.51		0.10		-0.06			
	R6	277	-0.25		0.09		-0.47		0.05		-0.09			
	R7	803	-0.09	0.16		0.13	0.04	-0.31	0.16		-0.11	-0.16	-0.08	0.01
手稲区	R4	309	-0.14		0.13		-0.44		-0.10		-0.08			
	R5	197	-0.17		0.17		-0.54		0.27		-0.03			
	R6	246	-0.16		0.16		-0.43		0.17		0.05			
	R7	450	-0.12	0.04		0.11	-0.05	-0.26	0.17		-0.10	-0.27	-0.08	-0.13

基本目標⑦ | 目指す姿の経年変化 性別・子ども有無別

		基本目標⑦「誰もがまちづくり活動に参加でき、コミュニティを育むまち」											
		サンプル数	誰もが自身のライフスタイルに合わせながらまちづくり活動に参加し、支え合いながら地域の課題を解決している。	R7-R6	区役所やまちづくりセンターが拠点となり、様々な活動が推進されている。	R7-R6	誰もが市政を身近なものに感じ、計画の立案段階などから積極的に参加している。	R7-R6	良好な生活環境の維持につながる地域コミュニティの中核として、地縁による団体（町内会・自治会）が生き生きと活動している。	R7-R6	地縁による団体（町内会・自治会）、福祉のまち推進センター、NPO、商店街、企業などの多様な主体が参画し、地域に密着したまちづくり活動が進んでいる	R7-R6	
性別	男性	R4	1,429	-0.21	0.14	-0.47	-0.16	-0.10					
		R5	895	-0.25	0.07	-0.52	0.13	-0.13					
		R6	1,087	-0.23	0.10	-0.45	0.05	-0.14					
		R7	2,985	-0.04	0.19	0.11	0.01	-0.25	0.20	-0.10	-0.15	-0.08	0.06
	女性	R4	1,651	-0.19	0.23	-0.41	-0.08	-0.03					
		R5	1,053	-0.23	0.16	-0.53	0.16	-0.06					
		R6	1,326	-0.20	0.18	-0.40	0.10	-0.04					
18歳以下の子供	有	R7	3,581	-0.12	0.08	0.13	-0.05	-0.31	0.09	-0.11	-0.21	-0.06	-0.02
		R4	922	-0.18	0.20	-0.46	-0.08	-0.05					
		R5	574	-0.33	0.06	-0.59	0.12	-0.13					
		R6	643	-0.21	0.17	-0.47	0.13	-0.07					
	無	R7	2,172	-0.08	0.13	0.14	-0.03	-0.31	0.16	-0.08	-0.21	-0.05	0.02
		R4	2,326	-0.21	0.17	-0.44	-0.15	-0.08					
		R5	1,420	-0.21	0.14	-0.51	0.14	-0.08					
		R6	1,804	-0.21	0.13	-0.41	0.06	-0.08					
		R7	4,690	-0.10	0.11	0.10	-0.03	-0.28	0.13	-0.13	-0.19	-0.09	-0.01

基本目標⑦ | 目指す姿の重要度 属性別

		基本目標⑦「誰もがまちづくり活動に参加でき、コミュニティを育むまち」							
		サンプル数	誰もが自身のライフスタイルに合わせながらまちづくり活動に参加し、支え合いながら地域の課題を解決している。	区役所やまちづくりセンターが拠点となり、様々な活動が推進されている。	誰もが市政を身近なものと感じ、計画の立案段階などから積極的に参加している。	良好な生活環境の維持につながる地域コミュニティの中核として、地縁による団体（町内会・自治会）が生き生きと活動している。	地縁による団体（町内会・自治会）、福祉のまち推進センター、NPO、商店街、企業などの多様な主体が参画し、地域に密着したまちづくり活動が進んでいる。		
全体		6,862	53.5%	52.5%	47.8%	46.7%	46.4%		
年代別	10代	218	61.0%	56.9%	57.3%	56.0%	54.1%		
	20代	674	53.7%	49.9%	48.2%	41.5%	40.1%		
	30代	1,169	51.7%	46.4%	45.2%	42.5%	38.9%		
	40代	1,414	53.9%	49.7%	49.2%	47.5%	47.2%		
	50代	1,490	52.1%	49.4%	47.2%	43.4%	45.8%		
	60代	1,093	50.0%	55.1%	45.8%	44.6%	46.7%		
	70代以上	804	55.8%	59.3%	47.5%	53.7%	52.0%		
性別	男性	2,985	51.9%	48.8%	47.1%	43.8%	42.0%		
	女性	3,581	53.6%	53.3%	47.4%	47.4%	48.4%		
区別	中央区	959	55.4%	52.7%	52.0%	45.3%	44.3%		
	北区	925	53.0%	53.7%	50.6%	46.5%	48.5%		
	東区	887	53.3%	49.3%	45.3%	43.4%	44.3%		
	白石区	659	50.1%	53.0%	46.7%	44.6%	43.6%		
	厚別区	425	47.3%	44.9%	45.4%	41.0%	40.2%		
	豊平区	817	54.4%	51.5%	44.5%	49.2%	45.4%		
	清田区	401	51.3%	48.8%	48.6%	45.4%	46.3%		
	南区	536	56.9%	56.4%	49.1%	46.9%	46.4%		
	西区	803	55.4%	55.0%	50.7%	52.6%	50.0%		
	手稲区	450	55.9%	52.7%	49.1%	46.0%	44.7%		
18歳以下の子供	有	2,172	53.6%	49.9%	47.1%	47.7%	45.9%		
	無	4,690	52.6%	52.0%	47.7%	44.8%	45.2%		

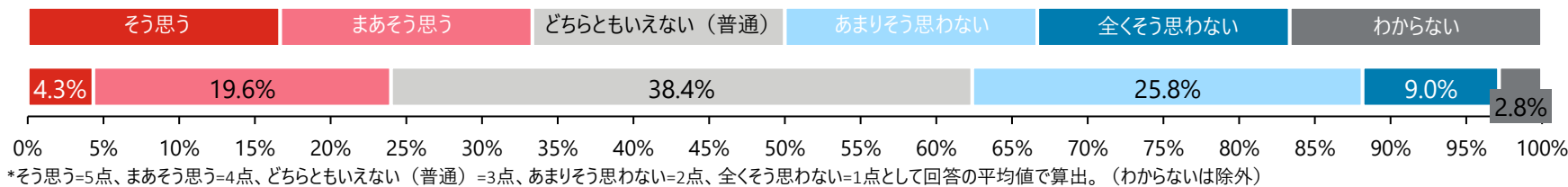
安全・安心分野

基本目標⑧「誰もが災害に備え、迅速に回復し、復興できるまち」

全体評価点* (前年比)	R4	R5	R6
2.84 (▲0.07)	2.94	2.83	2.91

基本目標
の評価

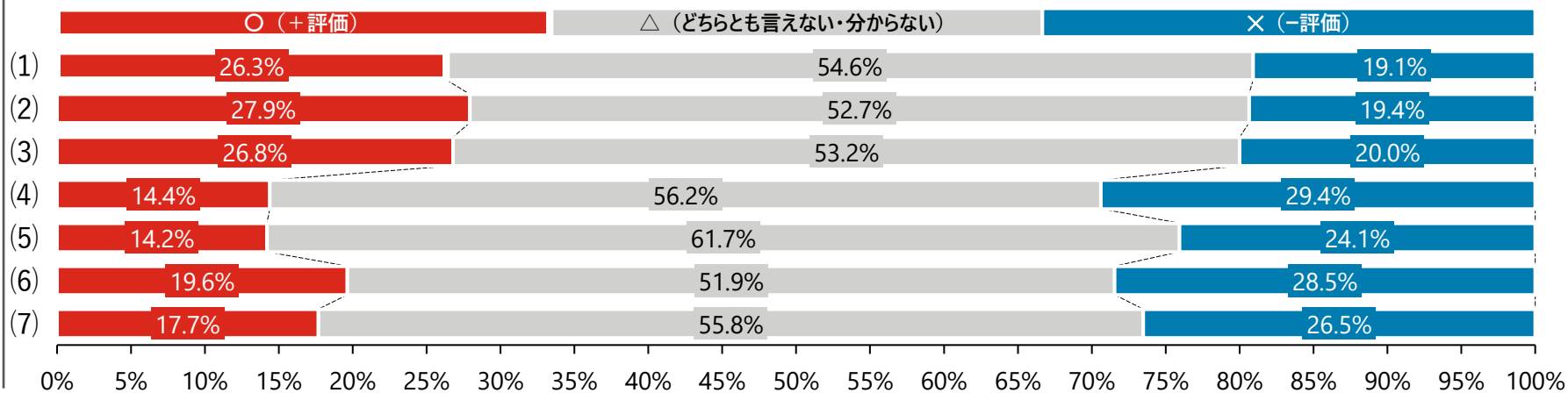
(n = 6,862) 基本目標⑧「誰もが災害に備え、迅速に回復し、復興できるまち」が実現していると思いますか。



目指す姿
の評価

目指す姿	(1)地震災害や風水害・雪害といった自然災害や感染症の感染拡大などが起きて、生活や経済への影響が最小化されている。	(2)感染症の感染拡大を早期に抑えることができている。	(3)災害時や感染症の感染拡大時においても、誰もが安心して医療や介護を受けることができている。
	(4)一人で避難することが難しい方への細かな配慮がなされているなど、被災者の安全が確保されている。	(5)復旧復興に向けて誰一人取り残さずに市民に寄り添った支援が行われている。	(6)防災への意識が向上し、誰もが冬季の災害も想定した備えを行っている。
	(7)有事の際には一人一人が主体的に行動し、協力し合うなど、地域の防災力が高まっている。		

(n = 6,862) 基本目標⑧「誰もが災害に備え、迅速に回復し、復興できるまち」に関連する下記の札幌市の目指す姿に対して、「○ (+評価)」、「△ (どちらとも言えない・わからない) 」または「× (-評価) 」のいずれかあてはまるものを選択してください。



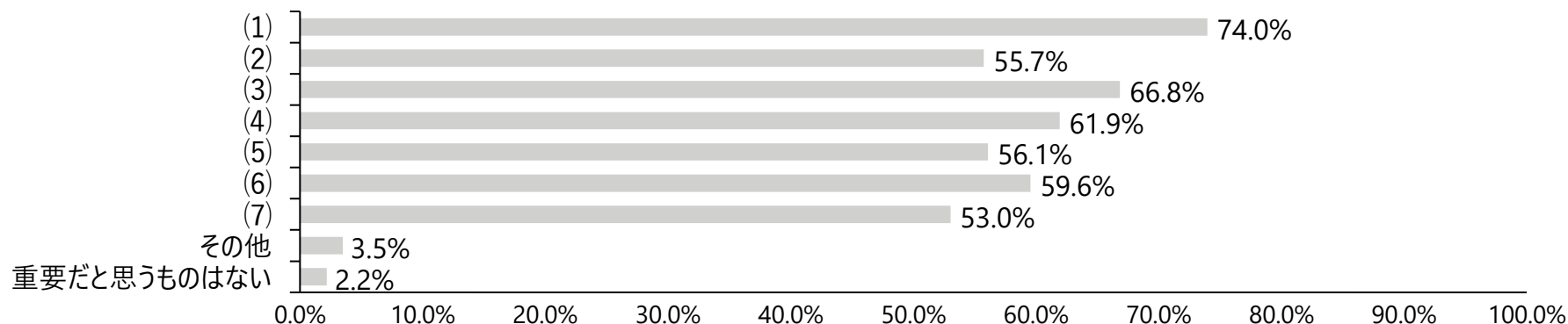
安全・安心分野

基本目標⑧「誰もが災害に備え、迅速に回復し、復興できるまち」

重要度の評価

目指す姿	(1)地震災害や風水害・雪害といった自然災害や感染症の感染拡大などが起きて、生活や経済への影響が最小化されている。	(2)感染症の感染拡大を早期に抑えることができている。	(3)災害時や感染症の感染拡大時においても、誰もが安心して医療や介護を受けることができている。
	(4)一人で避難することが難しい方への細かな配慮がなされているなど、被災者の安全が確保されている。	(5)復旧復興に向けて誰一人取り残さずに市民に寄り添った支援が行われている。	(6)防災への意識が向上し、誰もが冬季の災害も想定した備えを行っている。
	(7)有事の際には一人一人が主体的に行動し、協力し合うなど、地域の防災力が高まっている。		

(n = 6,862) 基本目標⑧「誰もが災害に備え、迅速に回復し、復興できるまち」に関連する下記の札幌市の目指す姿のなかで、あなたが重要だと思うものすべてを選択してください。



上記以外に重要だと思うもの (FA)

カテゴリ	記述内容抜粋
冬季災害・除排雪強化	<ul style="list-style-type: none"> ・冬季の対策が重要で、除排雪の徹底と狭い道路の改善を急いでほしい（東区はスクールゾーンすら歩くスペースがない）。 ・冬季間の避難経路の確保と、冬の災害に特化した訓練を実施してほしい。
医療提供体制・感染対策強化	<ul style="list-style-type: none"> ・発熱に対応する病院が少なく受診が難しいため、医療体制の弱さが不安だ。 ・感染症の拠点病院を早期に整備してほしい。
情報周知徹底・避難訓練体制	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災訓練を増やし、どの地域の人がどこに逃げるかを明確にしてほしい。 ・広報さっぽろや市のLINEでの迅速な通知が備えの見直しに役立っている。
要配慮者支援・避難所環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所でのプライバシー確保のため、パーティションや段ボールベッドの備えが必要だ。 ・要介護者や障害者の名簿把握と安否確認の仕組みが弱く、見守りの強化が必要だ。
自助共助促進・地域連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・近所付き合いが希薄で、災害時に協力できる体制が整っていない。 ・最低限の備え（3日分）を各自で行うことを明確にし、家庭備蓄を促してほしい。

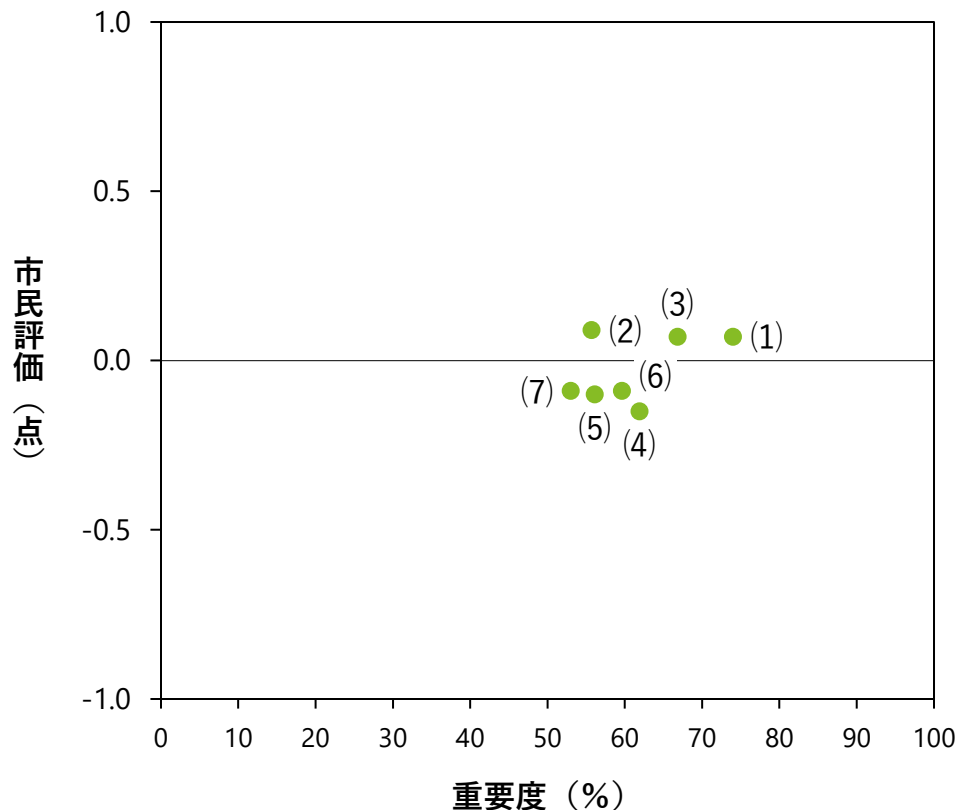
* 回答の多い内容を集約し、カテゴリ化。実際の回答を記載（弊社にて必要に応じて文言調整）

安全・安心分野

基本目標⑧「誰もが災害に備え、迅速に回復し、復興できるまち」

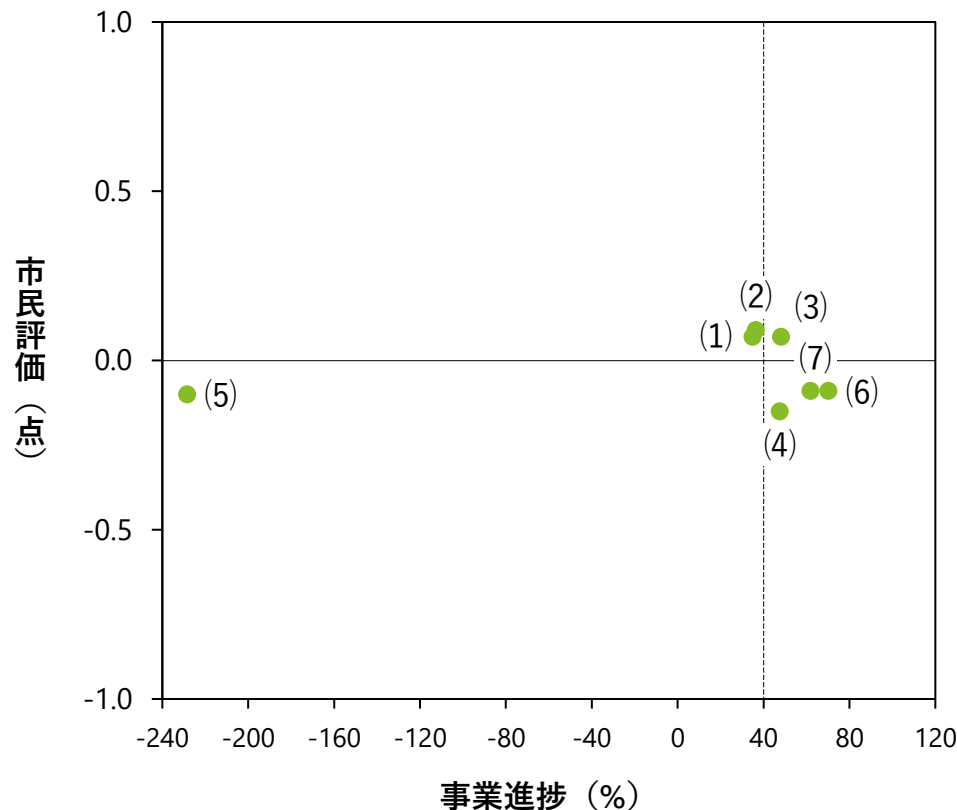
目指す姿の市民評価×重要度

(n = 6,862)



目指す姿の市民評価×事業進捗

(n = 6,862)



目指す姿

(1)地震災害や風水害・雪害といった自然災害や感染症の感染拡大などが起きても、生活や経済への影響が最小化されている。

(4)一人で避難することが難しい方への細かな配慮がなされているなど、被災者の安全が確保されている。

(7)有事の際には一人一人が主体的に行動し、協力し合うなど、地域の防災力が高まっている。

(2)感染症の感染拡大を早期に抑えることができる。

(5)復旧復興に向けて誰一人取り残さずに市民に寄り添った支援が行われている。

(3)災害時や感染症の感染拡大時においても、誰もが安心して医療や介護を受けることができる。

(6)防災への意識が向上し、誰もが冬季の災害も想定した備えを行っている。

安全・安心分野

基本目標⑧「誰もが災害に備え、迅速に回復し、復興できるまち」

基本目標に (n = 6,862)

対する評価
【詳細版】

		R4 (n=3,292)	R5 (n=2,013)	R6 (n=2,494)	R7 (n=6,862)	R7-R6
全体		2.94	2.83	2.91	2.84	-0.07
年代別	10代	3.26	3.07	3.31	3.44	0.13
	20代	3.07	2.93	2.92	3.12	0.20
	30代	2.83	2.66	2.89	2.92	0.03
	40代	2.87	2.74	2.84	2.79	-0.05
	50代	2.87	2.81	2.93	2.75	-0.18
	60代	2.83	2.68	2.76	2.63	-0.13
	70代以上	2.99	2.96	2.94	2.79	-0.15
性別	男性	2.96	2.81	2.94	2.89	-0.05
	女性	2.94	2.84	2.91	2.80	-0.11
	その他	2.77	2.71	2.60	2.49	-0.11
区別	中央区	2.99	2.83	2.91	2.82	-0.09
	北区	2.96	2.83	2.91	2.81	-0.10
	東区	2.89	2.89	2.88	2.78	-0.10
	白石区	2.98	2.66	2.90	2.82	-0.08
	厚別区	3.05	2.88	2.97	2.88	-0.09
	豊平区	2.99	2.75	2.97	2.92	-0.05
	清田区	2.95	2.76	2.88	2.82	-0.06
	南区	2.85	2.85	3.00	2.83	-0.17
	西区	2.91	2.87	2.91	2.84	-0.07
	手稲区	2.89	2.91	2.83	2.76	-0.07
18歳以下の子ども有無	有	2.91	2.76	2.96	2.89	-0.07
	無	2.96	2.85	2.90	2.80	-0.10

基本目標⑧ | 目指す姿の経年変化 全体・年代別

		基本目標⑧「誰もが災害に備え、迅速に回復し、復興できるまち」															
		サンプル数	地震災害や風水害・雪害といった自然災害や感染症の感染拡大などが起きて、生活や経済への影響が最小化されている。	R7-R6	感染症の感染拡大を早期に抑えることができる。	R7-R6	災害時や感染症の感染拡大時においても、誰もが安心して医療や介護を受けることができる。	R7-R6	一人で避難することが難しい方への細かな配慮がなされているなど、被災者の安全が確保されている。	R7-R6	復旧復興に向けて誰一人取り残さずに市民に寄り添った支援が行われている。	R7-R6	防災への意識が向上し、誰もが冬季の災害も想定した備えを行っている。	R7-R6	有事の際には一人一人が主体的に行動し、協力し合うなど、地域の防災力が高まっている。	R7-R6	
全体	R4	3,292		-0.05		-0.17		-0.15		-0.23		-0.20		-0.15		-0.11	
	R5	2,013		-0.06		-0.04		-0.10		-0.30		-0.27		-0.28		-0.17	
	R6	2,494		-0.06		-0.01		-0.05		-0.26		-0.21		-0.21		-0.15	
	R7	6,862		0.07	0.13	0.09	0.10	0.07	0.12	-0.15	0.11	-0.10	0.11	-0.09	0.12	-0.09	0.06
年代別	10代	R4	306		0.08		-0.21		-0.01		0.06		0.04		-0.02		0.12
		R5	146		0.03		-0.12		0.14		-0.04		0.01		-0.06		0.09
		R6	210		0.13		0.00		0.15		0.06		0.05		-0.02		0.12
		R7	218		0.28	0.15	0.19	0.19	0.42	0.27	0.17	0.11	0.30	0.25	0.23	0.25	0.26
	20代	R4	435		0.00		-0.25		-0.14		-0.10		-0.08		-0.06		-0.01
		R5	253		0.01		-0.13		0.00		-0.17		-0.10		-0.19		-0.04
		R6	438		-0.08		-0.09		-0.03		-0.13		-0.16		-0.13		-0.13
		R7	674		0.16	0.24	0.11	0.20	0.21	0.24	0.06	0.19	0.09	0.25	0.06	0.19	0.08
	30代	R4	468		-0.13		-0.27		-0.27		-0.21		-0.19		-0.17		-0.12
		R5	301		-0.24		-0.21		-0.30		-0.33		-0.29		-0.33		-0.28
		R6	362		-0.05		-0.03		-0.09		-0.21		-0.18		-0.23		-0.08
		R7	1,169		0.10	0.15	0.06	0.09	0.08	0.17	-0.08	0.13	-0.04	0.14	-0.02	0.21	-0.02
	40代	R4	469		-0.12		-0.20		-0.21		-0.25		-0.19		-0.19		-0.14
		R5	303		-0.08		-0.12		-0.20		-0.30		-0.32		-0.37		-0.27
		R6	303		-0.11		-0.09		-0.18		-0.32		-0.22		-0.26		-0.23
		R7	1,414		0.03	0.14	0.01	0.10	0.00	0.18	-0.18	0.14	-0.14	0.08	-0.10	0.16	-0.11
	50代	R4	510		-0.10		-0.19		-0.24		-0.30		-0.26		-0.21		-0.19
		R5	234		-0.06		0.02		-0.15		-0.32		-0.25		-0.29		-0.15
		R6	376		-0.12		-0.01		-0.10		-0.34		-0.26		-0.21		-0.18
		R7	1,490		0.01	0.13	0.03	0.04	-0.03	0.07	-0.21	0.13	-0.15	0.11	-0.14	0.07	-0.15
	60代	R4	402		-0.09		-0.12		-0.22		-0.38		-0.33		-0.21		-0.21
		R5	298		-0.15		-0.03		-0.18		-0.42		-0.43		-0.34		-0.24
		R6	355		-0.06		0.05		-0.05		-0.33		-0.32		-0.27		-0.29
		R7	1,093		0.02	0.08	0.07	0.02	-0.03	0.02	-0.26	0.07	-0.21	0.11	-0.19	0.08	-0.19
	70代以上	R4	682		0.06		0.00		0.00		-0.31		-0.26		-0.17		-0.13
		R5	465		0.05		0.14		0.02		-0.33		-0.32		-0.29		-0.16
		R6	423		-0.03		0.09		0.03		-0.39		-0.28		-0.25		-0.19
		R7	804		0.09	0.12	0.17	0.08	0.11	0.08	-0.21	0.18	-0.15	0.13	-0.14	0.11	-0.14

● 2.調査結果の詳細 | 問2 基本目標について

基本目標⑧ | 目指す姿の経年変化 区別

		基本目標⑧「誰もが災害に備え、迅速に回復し、復興できるまち」															
区別		サンプル数	地震災害や風水害・雪害といった自然災害や感染症の感染拡大などが起きて、生活や経済への影響が最小化されている。	R7-R6	感染症の感染拡大を早期に抑えることができている。	R7-R6	災害時や感染症の感染拡大時においても、誰もが安心して医療や介護を受けることができている。	R7-R6	一人で避難することが難しい方への細かな配慮がなされているなど、被災者の安全が確保されている。	R7-R6	復旧復興に向けて誰一人取り残さずに市民に寄り添った支援が行われている。	R7-R6	防災への意識が向上し、誰もが冬季の災害も想定した備えを行っている。	R7-R6	有事の際には一人一人が主体的に行動し、協力し合うなど、地域の防災力が高まっている。	R7-R6	
中央区	R4	351	-0.03		-0.13		-0.10		-0.18		-0.18		-0.15		-0.12		
	R5	206	-0.02		-0.01		-0.03		-0.33		-0.28		-0.26		-0.17		
	R6	247	-0.05		-0.02		-0.08		-0.28		-0.19		-0.20		-0.21		
	R7	959	0.09	0.14	0.07	0.09	0.06	0.14	-0.14	0.14	-0.08	0.11	-0.08	0.12	-0.10	0.11	
	北区	R4	314	-0.11		-0.17		-0.15		-0.23		-0.18		-0.17		-0.11	
		R5	196	-0.20		-0.14		-0.13		-0.42		-0.32		-0.27		-0.24	
		R6	246	-0.07		-0.02		-0.07		-0.21		-0.22		-0.16		-0.10	
		R7	925	0.06	0.13	0.06	0.08	0.06	0.13	-0.14	0.07	-0.11	0.11	-0.09	0.07	-0.08	0.02
	東区	R4	318	-0.07		-0.12		-0.12		-0.21		-0.19		-0.11		-0.13	
		R5	199	0.02		0.00		-0.06		-0.21		-0.30		-0.32		-0.07	
		R6	245	-0.04		-0.08		-0.09		-0.25		-0.24		-0.20		-0.16	
		R7	887	0.01	0.05	0.00	0.08	-0.01	0.08	-0.20	0.05	-0.14	0.10	-0.12	0.08	-0.12	0.04
	白石区	R4	276	-0.03		-0.13		-0.19		-0.27		-0.22		-0.15		-0.14	
		R5	176	-0.19		-0.09		-0.20		-0.38		-0.31		-0.31		-0.23	
		R6	226	-0.08		-0.04		-0.09		-0.28		-0.23		-0.24		-0.23	
		R7	659	0.03	0.11	0.06	0.10	0.05	0.14	-0.14	0.14	-0.10	0.13	-0.09	0.15	-0.07	0.16
	厚別区	R4	339	-0.02		-0.15		-0.12		-0.22		-0.26		-0.17		-0.06	
		R5	205	-0.07		-0.06		-0.14		-0.30		-0.25		-0.33		-0.11	
		R6	260	-0.06		-0.05		0.01		-0.26		-0.22		-0.22		-0.15	
		R7	425	0.14	0.20	0.12	0.17	0.07	0.06	-0.13	0.13	-0.09	0.13	-0.09	0.13	-0.07	0.08
	豊平区	R4	310	-0.07		-0.14		-0.15		-0.31		-0.23		-0.10		-0.15	
		R5	196	-0.04		-0.01		-0.12		-0.28		-0.28		-0.30		-0.18	
		R6	231	0.03		0.07		0.02		-0.28		-0.21		-0.19		-0.13	
		R7	817	0.09	0.06	0.11	0.04	0.09	0.07	-0.13	0.15	-0.06	0.15	-0.04	0.15	-0.06	0.07
	清田区	R4	346	-0.05		-0.21		-0.19		-0.19		-0.17		-0.16		-0.09	
		R5	199	-0.05		-0.08		-0.09		-0.27		-0.31		-0.33		-0.20	
		R6	217	-0.10		0.01		-0.03		-0.22		-0.23		-0.22		-0.07	
		R7	401	0.07	0.17	0.09	0.08	0.08	0.11	-0.15	0.07	-0.11	0.12	-0.12	0.10	-0.10	-0.03
南区	R4	352	-0.04		-0.16		-0.20		-0.27		-0.20		-0.19		-0.14		
	R5	188	0.02		-0.04		-0.01		-0.18		-0.19		-0.20		-0.20		
	R6	256	-0.01		0.02		0.00		-0.25		-0.17		-0.21		-0.14		
	R7	536	0.11	0.12	0.10	0.08	0.05	0.05	-0.15	0.10	-0.10	0.07	-0.09	0.12	-0.10	0.04	
西区	R4	346	0.02		-0.19		-0.11		-0.18		-0.15		-0.12		-0.11		
	R5	236	-0.06		-0.06		-0.20		-0.30		-0.23		-0.28		-0.21		
	R6	277	-0.08		0.00		-0.04		-0.27		-0.20		-0.21		-0.20		
	R7	803	0.07	0.15	0.08	0.08	0.05	0.09	-0.14	0.13	-0.10	0.10	-0.10	0.11	-0.09	0.11	
手稲区	R4	309	-0.07		-0.25		-0.21		-0.28		-0.22		-0.20		-0.05		
	R5	197	-0.03		0.06		-0.05		-0.31		-0.27		-0.25		-0.13		
	R6	246	-0.09		0.02		-0.08		-0.26		-0.22		-0.19		-0.13		
	R7	450	-0.03	0.06	0.02	0.00	-0.02	0.06	-0.20	0.06	-0.15	0.07	-0.11	0.08	-0.13	0.00	

基本目標⑧ | 目指す姿の経年変化 性別・子ども有無別

		基本目標⑧「誰もが災害に備え、迅速に回復し、復興できるまち」															
			サンプル数	地震災害や風水害・雪害といった自然災害や感染症の感染拡大などが起きてても、生活や経済への影響が最小化されている。	感染症の感染拡大を早期に抑えることができている。	災害時や感染症の感染拡大時においても、誰もが安心して医療や介護を受けることができている。	一人で避難することが難しい方への細かな配慮がなされているなど、被災者の安全が確保されている。	復旧復興に向けて誰一人取り残さず市民に寄り添った支援が行われている。	防災への意識が向上し、誰もが冬季の災害も想定した備えを行っている。	有事の際には一人一人が主体的に行動し、協力し合うなど、地域の防災力が高まっている。							
				R7-R6	R7-R6	R7-R6	R7-R6	R7-R6	R7-R6	R7-R6	R7-R6	R7-R6	R7-R6	R7-R6	R7-R6		
性別	男性	R4	1,429	-0.01	-0.16	-0.10	-0.22	-0.19	-0.14	-0.11							
		R5	895	-0.05	-0.06	-0.10	-0.30	-0.28	-0.25	-0.16							
		R6	1,087	-0.02	-0.01	-0.01	-0.25	-0.23	-0.20	-0.17							
		R7	2,985	0.10	0.12	0.11	0.12	0.13	-0.10	0.15	-0.07	0.16	-0.07	0.13	-0.06	0.11	
	女性	R4	1,651	-0.07	-0.17	-0.18	-0.22	-0.19	-0.16	-0.11							
		R5	1,053	-0.07	-0.02	-0.09	-0.29	-0.27	-0.31	-0.18							
		R6	1,326	-0.08	-0.01	-0.07	-0.26	-0.20	-0.21	-0.14							
18歳以下の子供	有	R7	3,581	0.04	0.12	0.04	0.05	0.01	0.08	-0.19	0.07	-0.12	0.08	-0.10	0.11	-0.11	0.03
		R4	922	-0.11	-0.23	-0.24	-0.20	-0.15	-0.07	-0.07							
		R5	574	-0.17	-0.21	-0.22	-0.31	-0.28	-0.37	-0.24							
		R6	643	-0.05	-0.03	-0.05	-0.25	-0.19	-0.21	-0.12							
	無	R7	2,172	0.07	0.12	0.03	0.06	0.03	0.08	-0.14	0.11	-0.09	0.10	-0.09	0.12	-0.07	0.05
		R4	2,326	-0.02	-0.14	-0.12	-0.24	-0.22	-0.14	-0.13							
		R5	1,420	-0.02	0.02	-0.06	-0.29	-0.28	-0.25	-0.15							
	無	R6	1,804	-0.06	-0.01	-0.04	-0.26	-0.22	-0.20	-0.17							
		R7	4,690	0.06	0.12	0.08	0.09	0.06	0.10	-0.16	0.10	-0.11	0.11	-0.09	0.11	-0.10	0.07

基本目標⑧ | 目指す姿の重要度 属性別

		基本目標⑧「誰もが災害に備え、迅速に回復し、復興できるまち」								
		サンプル数	地震災害や風水害・雪害といった自然災害や感染症の感染拡大などが起きて、生活や経済への影響が最小化されている。	感染症の感染拡大を早期に抑えることができる。	災害時や感染症の感染拡大時においても、誰もが安心して医療や介護を受けることができる。	一人で避難することが難しい方への細かな配慮がなされているなど、被災者の安全が確保されている。	復旧復興に向けて誰一人取り残さずに市民に寄り添った支援が行われている。	防災への意識が向上し、誰もが冬季の災害も想定した備えを行っている。	有事の際には一人一人が主体的に行動し、協力し合うなど、地域の防災力が高まっている。	
全体		6,862	74.0%	55.7%	66.8%	61.9%	56.1%	59.6%	53.0%	
年代別	10代	218	77.1%	58.3%	61.0%	60.1%	61.9%	62.8%	56.4%	
	20代	674	71.8%	56.2%	59.1%	56.8%	51.9%	58.3%	49.3%	
	30代	1,169	75.2%	55.9%	63.2%	56.7%	53.0%	60.0%	54.0%	
	40代	1,414	75.0%	56.6%	66.1%	63.7%	57.1%	62.4%	53.7%	
	50代	1,490	72.3%	53.2%	67.2%	63.0%	57.9%	63.2%	54.3%	
	60代	1,093	71.3%	53.3%	68.0%	64.9%	57.3%	56.9%	52.2%	
	70代以上	804	76.1%	58.0%	72.8%	64.2%	55.5%	57.1%	53.9%	
性別	男性	2,985	71.9%	51.1%	61.0%	55.0%	49.7%	55.0%	49.4%	
	女性	3,581	75.2%	58.6%	70.1%	67.2%	61.0%	64.8%	56.5%	
区別	中央区	959	75.0%	59.5%	68.6%	64.9%	60.1%	59.1%	53.7%	
	北区	925	73.9%	55.6%	66.0%	63.0%	54.8%	62.5%	53.6%	
	東区	887	74.6%	55.4%	64.4%	61.8%	56.2%	59.7%	54.4%	
	白石区	659	71.5%	55.5%	64.6%	60.4%	56.7%	59.0%	51.3%	
	厚別区	425	69.7%	52.5%	63.1%	58.1%	54.2%	56.1%	49.6%	
	豊平区	817	71.5%	51.3%	69.6%	63.1%	56.0%	59.5%	55.5%	
	清田区	401	73.3%	53.4%	65.2%	59.0%	54.5%	60.1%	51.7%	
	南区	536	73.8%	56.6%	67.3%	66.1%	57.1%	60.8%	51.6%	
	西区	803	76.3%	60.3%	68.1%	64.2%	58.2%	62.9%	59.0%	
	手稲区	450	78.0%	58.3%	68.0%	63.5%	57.2%	62.9%	53.5%	
18歳以下の子供	有	2,172	74.7%	54.1%	64.4%	60.4%	55.1%	60.4%	53.5%	
	無	4,690	73.3%	56.0%	66.8%	62.5%	56.5%	60.2%	53.2%	

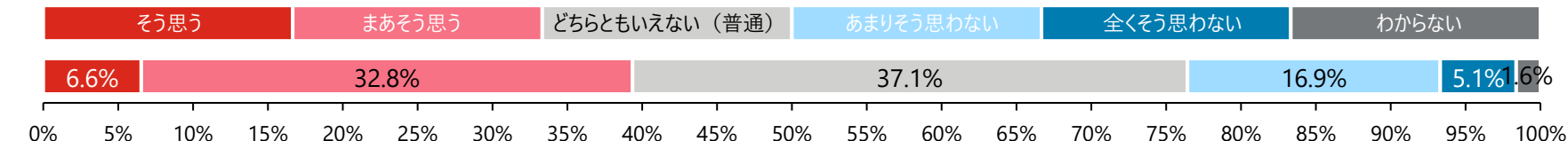
安全・安心分野

基本目標⑨「日常の安全が保たれたまち」

全体評価点* (前年比)	R4	R5	R6
3.20 (+0.01)	3.34	3.27	3.19

基本目標
の評価

(n = 6,862) 基本目標⑨「日常の安全が保たれたまち」が実現していると思いますか。

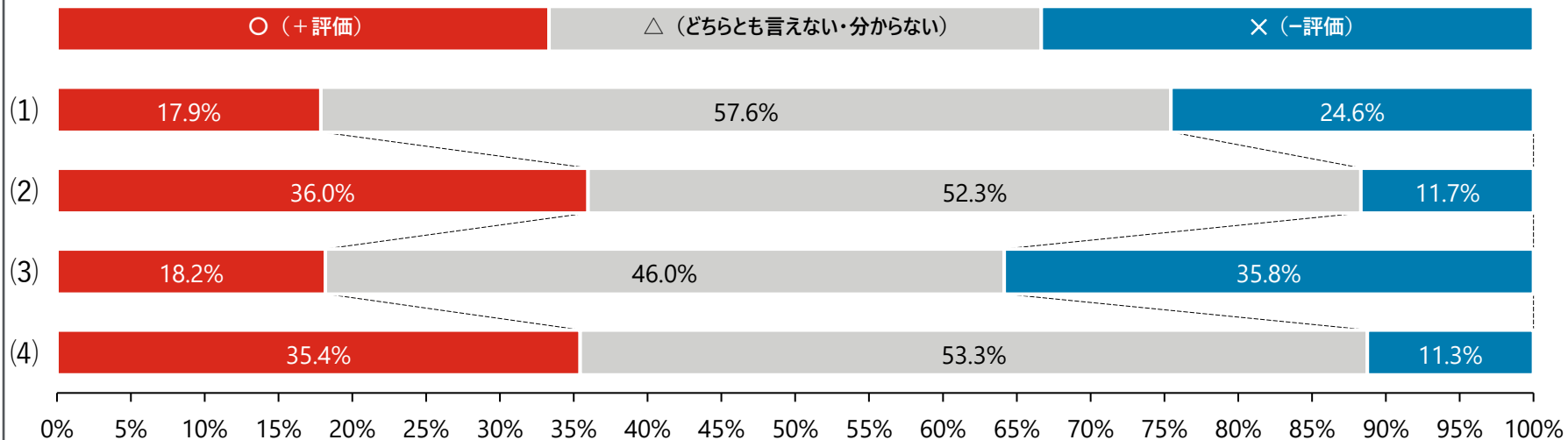


*そう思う=5点、まあそう思う=4点、どちらともいえない (普通) =3点、あまりそう思わない=2点、全くそう思わない=1点として回答の平均値で算出。(わからないは除外)

目指す姿
の評価

目指す姿	目指す姿	
	(1)犯罪や消費生活に関するトラブルの発生が未然に防止されている。	(2)強じんな消防・救急体制が構築され、市民の安全・安心が守られている。
(4)食の安全が守られ、誰もが健やかで豊かな食生活を送っている。		

(n = 6,862) 基本目標⑨「日常の安全が保たれたまち」に関連する下記の札幌市の目指す姿に対して、「○ (+評価)」、「△ (どちらとも言えない・わからない) 」または「× (-評価) 」のいずれかあてはまるものを選択してください。



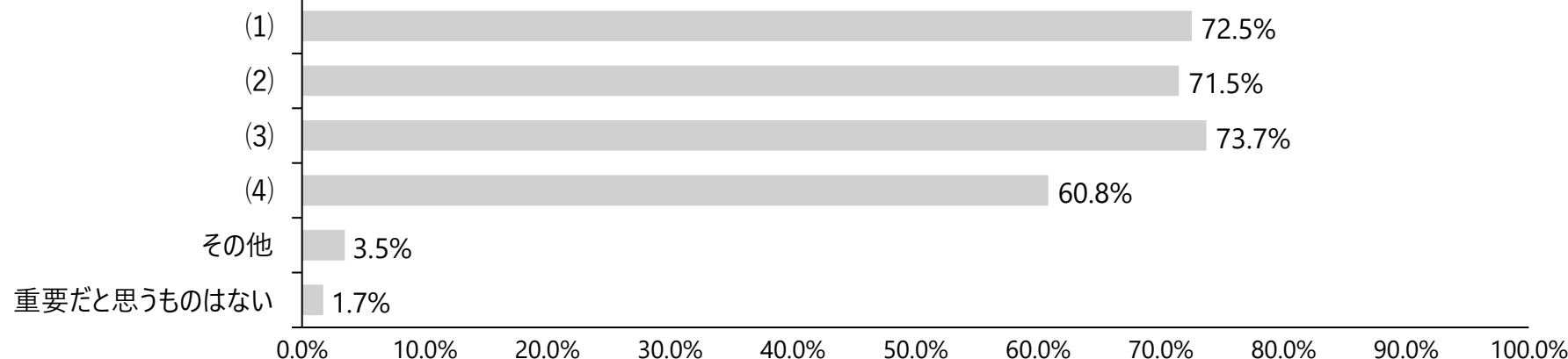
安全・安心分野

基本目標⑨「日常の安全が保たれたまち」

重要度の評価

目標内容	(1)犯罪や消費生活に関するトラブルの発生が未然に防止されている。	(2)強じんな消防・救急体制が構築され、市民の安全・安心が守られている。	(3)交通ルールや自転車マナーが遵守され、事故の少ない安全な交通環境が実現している。
	(4)食の安全が守られ、誰もが健やかで豊かな食生活を送っている。		

(n = 6,862) 基本目標⑨「日常の安全が保たれたまち」に関連する下記の札幌市の目指す姿のなかで、あなたが重要だと思うものをすべてを選択してください。



上記以外に重要だと思うもの (FA)

カテゴリ	記述内容抜粋
自転車・キックボード安全	・自転車や電動キックボード (LUUP) の無秩序な走行が危険であり、購入時講習や学校での指導、許可証の導入など交通教育を徹底すべきだ。 ・自転車専用レーンや路肩の拡幅、駐輪場の不足解消など、ルール遵守が可能なインフラ整備を急ぐべきだ。
冬期道路・交差点安全	・雪山で見通しが悪い交差点や狭窄した生活道路が多く、除排雪と視認性確保を最優先で実行すべきだ。 ・路上駐車や歩道塞ぎ駐車が通学路の安全を損ねており、重点監視と厳格な取り締まりが求められる。
防犯強化・見守り体制	・すすきの等の繁華街での治安対策を強化し、交番・巡回の充実と防犯カメラの増設で未然防止を図るべきだ。 ・熊など野生動物への対策や空き家の適正管理など、地域の不安要因を計画的に除去する取組が求められる。
救急医療・通報体制	・救急車の到着遅延や受入先未定での待機が発生しており、台数増強と統一司令、受入体制の拡充が必要だ。 ・緊急時の相談・通報を簡素化し、誰でも迅速に助けを求められる窓口体制を整えるべきだ。
食の安全・表示徹底	・オンライン販売を含む原材料・アレルギー表示の徹底が不十分であり、統一基準での見える化を進めるべきだ。 ・学校給食のアレルギー対応や窒息リスク食材の見直しなど、子どもの安全を最優先に献立を改善すべきだ。

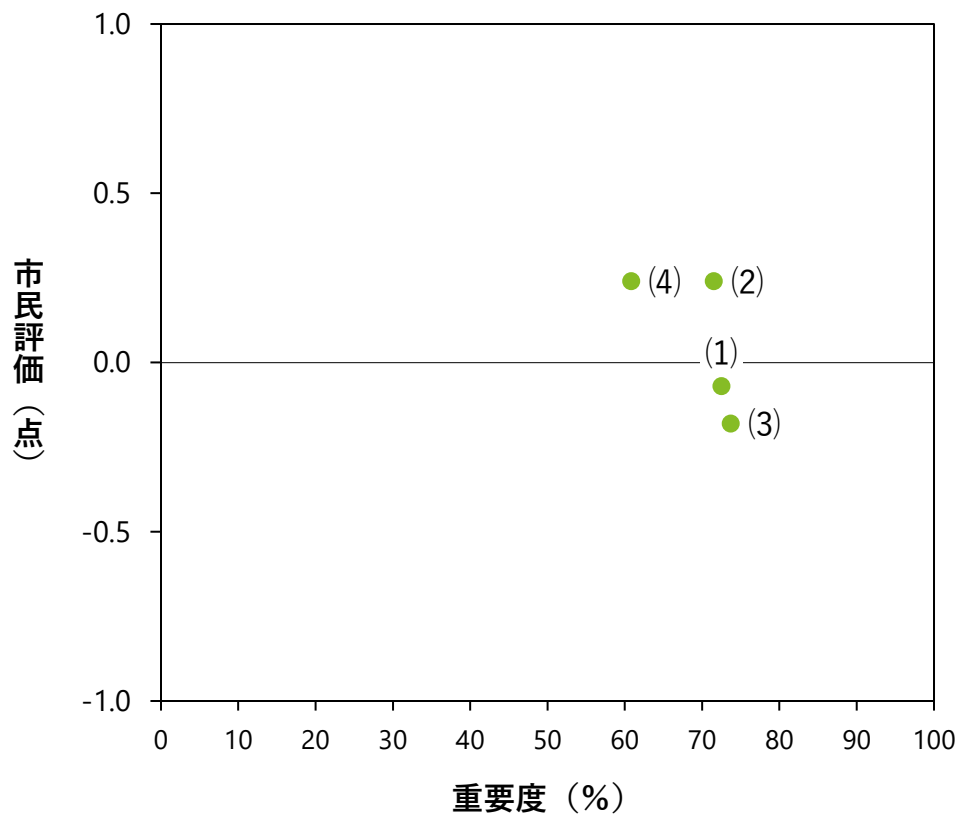
* 回答の多い内容を集約し、カテゴライズ。実際の回答を記載 (弊社にて必要に応じて文言調整)

安全・安心分野

基本目標⑨「日常の安全が保たれたまち」

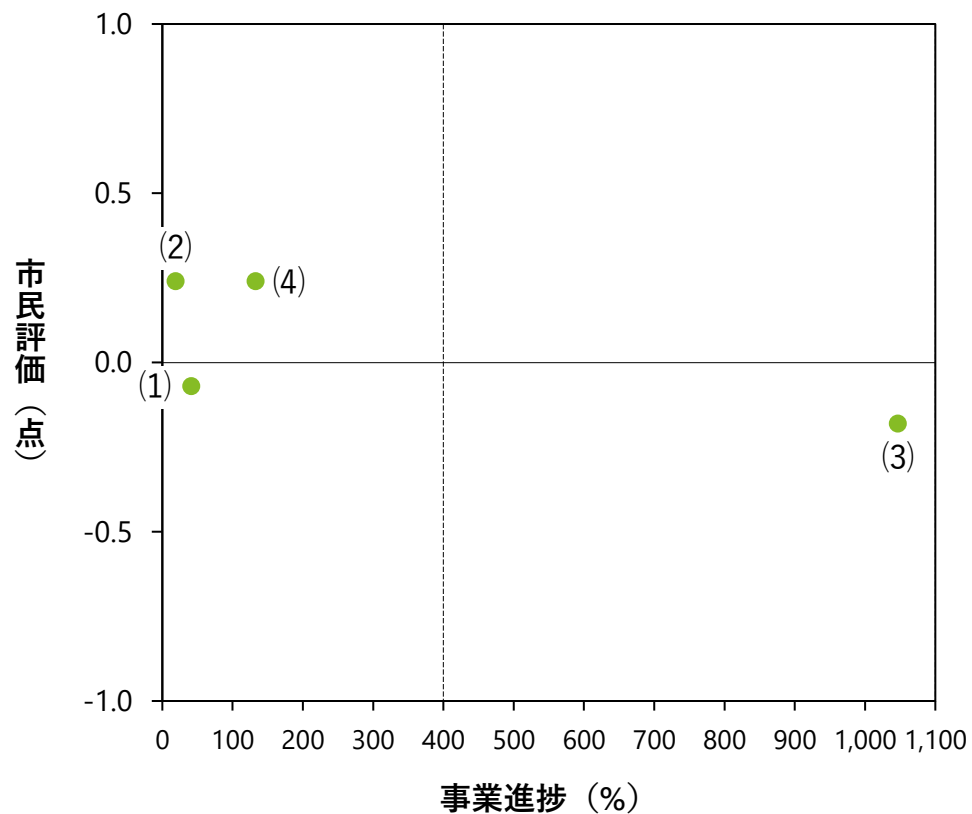
目指す姿の市民評価×重要度

(n = 6,862)



目指す姿の市民評価×事業進捗

(n = 6,862)



目指す姿	(1)犯罪や消費生活に関するトラブルの発生が未然に防止されている。	(2)強じんな消防・救急体制が構築され、市民の安全・安心が守られている。	(3)交通ルールや自転車マナーが遵守され、事故の少ない安全な交通環境が実現している。
	(4)食の安全が守られ、誰もが健やかで豊かな食生活を送っている。		

安全・安心分野

基本目標⑨「日常の安全が保たれたまち」

基本目標に (n = 6,862)

対する評価
【詳細版】

		R4 (n=3,292)	R5 (n=2,013)	R6 (n=2,494)	R7 (n=6,862)	R7-R6
全体		3.34	3.27	3.19	3.20	0.01
年代別	10代	3.70	3.56	3.45	3.76	0.31
	20代	3.48	3.43	3.15	3.36	0.21
	30代	3.26	3.07	3.21	3.17	-0.04
	40代	3.23	3.21	3.13	3.05	-0.08
	50代	3.24	3.25	3.15	3.08	-0.07
	60代	3.17	3.16	3.13	3.07	-0.06
	70代以上	3.39	3.34	3.29	3.27	-0.02
性別	男性	3.35	3.25	3.20	3.19	-0.01
	女性	3.36	3.31	3.21	3.15	-0.06
	その他	3.05	2.86	2.85	2.79	-0.06
区別	中央区	3.39	3.33	3.35	3.15	-0.20
	北区	3.37	3.21	3.22	3.14	-0.08
	東区	3.24	3.28	3.14	3.07	-0.07
	白石区	3.21	3.15	3.06	3.17	0.11
	厚別区	3.42	3.24	3.27	3.28	0.01
	豊平区	3.33	3.34	3.17	3.22	0.05
	清田区	3.39	3.25	3.11	3.12	0.01
	南区	3.33	3.31	3.30	3.20	-0.10
	西区	3.35	3.25	3.20	3.17	-0.03
	手稲区	3.33	3.31	3.13	3.09	-0.04
18歳以下の子ども有無	有	3.36	3.27	3.20	3.19	-0.01
	無	3.33	3.27	3.20	3.15	-0.05

基本目標⑨ | 目指す姿の経年変化 全体・年代別

		基本目標⑨「日常の安全が保たれたまち」									
		サンプル数	犯罪や消費生活に関する トラブルの発生が未然に 防止されている。	R7-R6	強じんな消防・救急体制 が構築され、市民の安 全・安心が守られている。	R7-R6	交通ルールや自転車マ ナーが遵守され、事故の 少ない安全な交通環境 が実現している。	R7-R6	食の安全が守られ、誰も が健やかで豊かな食生活 を送っている。	R7-R6	
全体	R4	3,292	-0.02		0.31		-0.23		0.31		
	R5	2,013	-0.12		0.38		-0.32		0.28		
	R6	2,494	-0.17		0.26		-0.31		0.18		
	R7	6,862	-0.07	0.10	0.24	-0.02	-0.18	0.13	0.24	0.06	
年代別	10代	R4	306	0.11		0.43		0.02		0.44	
		R5	146	-0.05		0.52		-0.18		0.49	
		R6	210	0.00		0.30		-0.10		0.48	
		R7	218	0.23	0.23	0.45	0.15	0.13	0.23	0.64	0.16
	20代	R4	435	0.05		0.30		-0.14		0.49	
		R5	253	-0.09		0.40		-0.27		0.55	
		R6	438	-0.18		0.19		-0.30		0.28	
		R7	674	0.01	0.19	0.29	0.10	-0.07	0.23	0.46	0.18
	30代	R4	468	-0.04		0.16		-0.32		0.36	
		R5	301	-0.26		0.29		-0.42		0.30	
		R6	362	-0.15		0.21		-0.33		0.21	
		R7	1,169	-0.10	0.05	0.24	0.03	-0.22	0.11	0.32	0.11
	40代	R4	469	-0.06		0.21		-0.24		0.30	
		R5	303	-0.20		0.29		-0.37		0.31	
		R6	303	-0.17		0.19		-0.25		0.16	
		R7	1,414	-0.16	0.01	0.16	-0.03	-0.27	-0.02	0.20	0.04
	50代	R4	510	-0.07		0.33		-0.33		0.28	
		R5	234	-0.09		0.34		-0.34		0.26	
		R6	376	-0.26		0.19		-0.39		0.11	
		R7	1,490	-0.14	0.12	0.20	0.01	-0.26	0.13	0.17	0.06
	60代	R4	402	-0.12		0.26		-0.40		0.17	
		R5	298	-0.16		0.33		-0.39		0.13	
		R6	355	-0.21		0.35		-0.42		0.09	
		R7	1,093	-0.09	0.12	0.16	-0.19	-0.24	0.18	0.13	0.04
	70代以上	R4	682	0.04		0.46		-0.14		0.24	
		R5	465	0.01		0.51		-0.23		0.14	
		R6	423	-0.13		0.39		-0.28		0.09	
		R7	804	-0.01	0.12	0.33	-0.06	-0.10	0.18	0.17	0.08

基本目標⑨ | 目指す姿の経年変化 区別

		基本目標⑨「日常の安全が保たれたまち」									
		サンプル数	犯罪や消費生活に関するトラブルの発生が未然に防止されている。	R7-R6	強じんな消防・救急体制が構築され、市民の安全・安心が守られている。	R7-R6	交通ルールや自転車マナーが遵守され、事故の少ない安全な交通環境が実現している。	R7-R6	食の安全が守られ、誰もが健やかで豊かな食生活を送っている。	R7-R6	
区別	中央区	R4	351	0.08		0.35		-0.21		0.34	
		R5	206	-0.15		0.35		-0.31		0.24	
		R6	247	-0.13		0.27		-0.35		0.26	
		R7	959	-0.06	0.07	0.22	-0.05	-0.22	0.13	0.26	0.00
	北区	R4	314	-0.02		0.36		-0.16		0.30	
		R5	196	-0.11		0.40		-0.38		0.24	
		R6	246	-0.11		0.25		-0.32		0.13	
		R7	925	-0.09	0.02	0.23	-0.02	-0.20	0.12	0.25	0.12
	東区	R4	318	-0.02		0.31		-0.31		0.29	
		R5	199	-0.20		0.42		-0.33		0.31	
		R6	245	-0.21		0.23		-0.37		0.16	
		R7	887	-0.17	0.04	0.17	-0.06	-0.27	0.10	0.19	0.03
	白石区	R4	276	-0.07		0.33		-0.31		0.22	
		R5	176	-0.14		0.30		-0.41		0.26	
		R6	226	-0.31		0.27		-0.34		0.17	
		R7	659	-0.09	0.22	0.21	-0.06	-0.21	0.13	0.23	0.06
	厚別区	R4	339	-0.01		0.34		-0.17		0.36	
		R5	205	-0.17		0.42		-0.23		0.29	
		R6	260	-0.15		0.30		-0.24		0.26	
		R7	425	-0.02	0.13	0.26	-0.04	-0.08	0.16	0.27	0.01
	豊平区	R4	310	-0.06		0.35		-0.24		0.29	
		R5	196	-0.04		0.37		-0.27		0.29	
		R6	231	-0.14		0.23		-0.28		0.19	
		R7	817	-0.08	0.06	0.25	0.02	-0.18	0.10	0.25	0.06
	清田区	R4	346	0.03		0.32		-0.16		0.31	
		R5	199	-0.10		0.36		-0.29		0.25	
		R6	217	-0.22		0.31		-0.31		0.19	
		R7	401	-0.07	0.15	0.17	-0.14	-0.19	0.12	0.25	0.06
	南区	R4	352	0.01		0.20		-0.17		0.33	
		R5	188	-0.05		0.42		-0.28		0.34	
		R6	256	-0.07		0.32		-0.26		0.15	
		R7	536	-0.06	0.01	0.27	-0.05	-0.14	0.12	0.24	0.09
	西区	R4	346	-0.05		0.33		-0.26		0.36	
		R5	236	-0.14		0.36		-0.39		0.32	
		R6	277	-0.17		0.23		-0.35		0.17	
		R7	803	-0.08	0.09	0.23	0.00	-0.23	0.12	0.25	0.08
	手稲区	R4	309	-0.06		0.23		-0.33		0.31	
		R5	197	-0.07		0.45		-0.30		0.26	
		R6	246	-0.20		0.20		-0.28		0.19	
		R7	450	-0.13	0.07	0.22	0.02	-0.20	0.08	0.23	0.04

基本目標⑨ | 目指す姿の経年変化 性別・子ども有無別

		基本目標⑨「日常の安全が保たれたまち」									
		サンプル数	犯罪や消費生活に関する トラブルの発生が未然に 防止されている。	R7-R6	強じんな消防・救急体制 が構築され、市民の安 全・安心が守られている。	R7-R6	交通ルールや自転車マ ナーが遵守され、事故の 少ない安全な交通環境 が実現している。	R7-R6	食の安全が守られ、誰も が健やかで豊かな食生活 を送っている。	R7-R6	
性別	男性	R4	1,429	0.03		0.37		-0.26		0.35	
		R5	895	-0.09		0.40		-0.35		0.28	
		R6	1,087	-0.16		0.32		-0.32		0.21	
		R7	2,985	-0.04	0.12	0.26	-0.06	-0.19	0.13	0.25	0.04
	女性	R4	1,651	-0.04		0.28		-0.20		0.30	
		R5	1,053	-0.13		0.38		-0.28		0.29	
		R6	1,326	-0.17		0.22		-0.29		0.17	
18歳以下 の子供	有	R7	3,581	-0.12	0.05	0.21	-0.01	-0.21	0.08	0.24	0.07
		R4	922	0.01		0.26		-0.20		0.37	
		R5	574	-0.15		0.32		-0.34		0.33	
		R6	643	-0.18		0.22		-0.29		0.22	
		R7	2,172	-0.11	0.07	0.22	0.00	-0.21	0.08	0.27	0.05
		無	R4	2,326	-0.02		0.33		-0.24		0.29
			R5	1,420	-0.10		0.41		-0.31		0.26
	R6		1,804	-0.16		0.28		-0.32		0.17	
	R7		4,690	-0.08	0.08	0.23	-0.05	-0.20	0.12	0.23	0.06

基本目標⑨ | 目指す姿の重要度 属性別

		基本目標⑨「日常の安全が保たれたまち」				
		サンプル数	犯罪や消費生活に関するトラブルの発生が未然に防止されている。	強じんな消防・救急体制が構築され、市民の安全・安心が守られている。	交通ルールや自転車マナーが遵守され、事故の少ない安全な交通環境が実現している。	食の安全が守られ、誰もが健やかで豊かな食生活を送っている。
全体		6,862	72.5%	71.5%	73.7%	60.8%
年代別	10代	218	73.4%	68.8%	77.5%	61.9%
	20代	674	73.0%	65.0%	72.7%	59.9%
	30代	1,169	76.4%	67.9%	76.4%	61.0%
	40代	1,414	74.7%	70.2%	76.5%	62.6%
	50代	1,490	71.8%	72.0%	74.4%	59.7%
	60代	1,093	71.9%	70.7%	71.7%	57.8%
	70代以上	804	69.8%	78.1%	71.8%	63.2%
性別	男性	2,985	69.7%	68.6%	70.7%	56.2%
	女性	3,581	75.7%	72.3%	77.4%	64.7%
区別	中央区	959	76.0%	71.3%	75.3%	57.8%
	北区	925	73.5%	71.1%	75.8%	62.5%
	東区	887	71.9%	70.3%	73.1%	58.4%
	白石区	659	71.1%	68.7%	73.1%	59.8%
	厚別区	425	68.7%	66.6%	70.4%	56.3%
	豊平区	817	75.5%	71.3%	70.6%	59.8%
	清田区	401	74.4%	68.4%	74.8%	58.8%
	南区	536	75.3%	71.6%	74.3%	62.6%
	西区	803	73.7%	74.3%	77.1%	64.2%
	手稲区	450	75.3%	72.7%	77.7%	63.9%
18歳以下の子供	有	2,172	74.7%	70.2%	75.9%	61.1%
	無	4,690	72.4%	70.9%	73.7%	60.5%

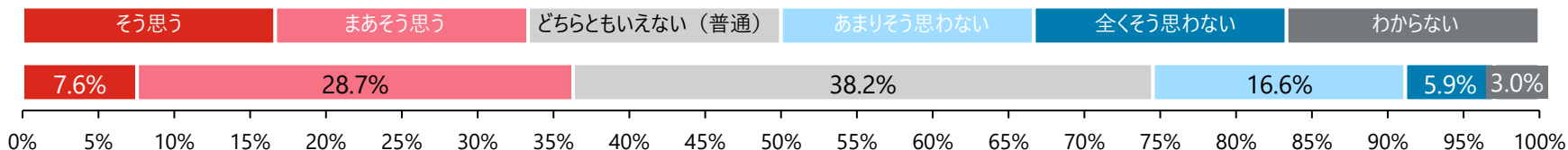
経済分野

基本目標⑩「強みを生かした産業が北海道の経済をけん引しているまち」

全体評価点* (前年比)	R4	R5	R6
3.17 (▲0.09)	3.29	3.23	3.26

基本目標の評価

(n = 6,862) 基本目標⑩「強みを生かした産業が北海道の経済をけん引しているまち」が実現していると思いますか。

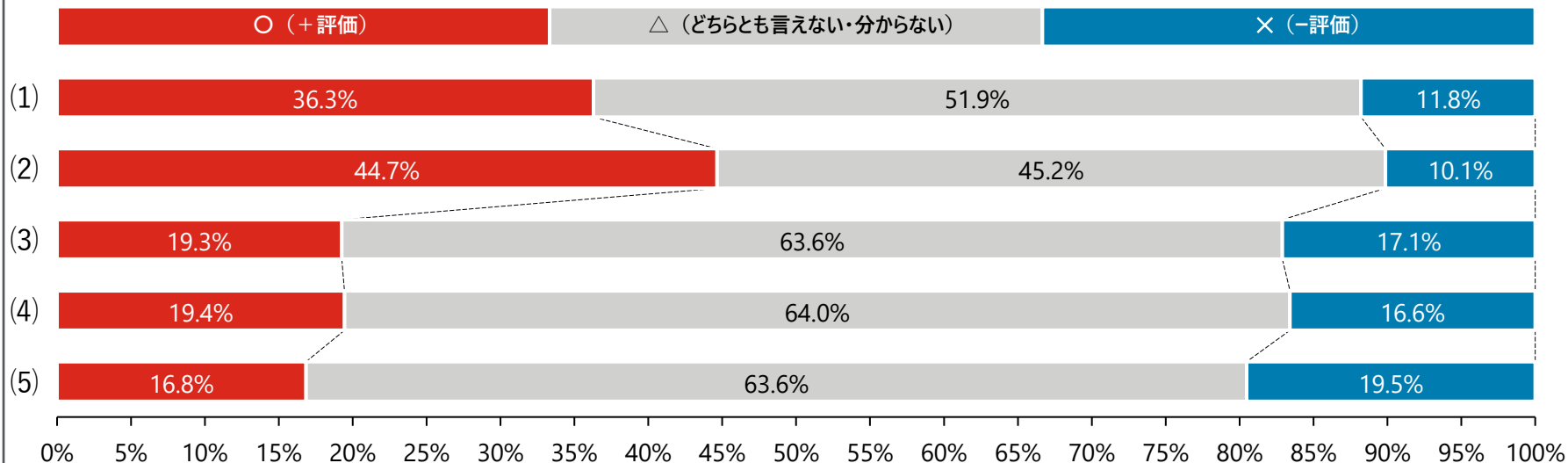


*そう思う=5点、まあそう思う=4点、どちらともいえない (普通) =3点、あまりそう思わない=2点、全くそう思わない=1点として回答の平均値で算出。(わからないは除外)

目指す姿の評価

目指す姿	内容
目指す姿	(1)札幌市の食分野の産業が、新たな消費を生み出している。
	(4)札幌市のクリエイティブ分野の産業が、新たな強みとして成長している。
目指す姿	(2)札幌市の観光分野の産業が、新たな消費を生み出している。
	(5)札幌市の健康福祉・医療分野の産業が、新たな強みとして成長している。
目指す姿	(3)札幌市のIT分野の産業が、新たな強みとして成長している。

(n = 6,862) 基本目標⑩「強みを生かした産業が北海道の経済をけん引しているまち」に関連する下記の札幌市の目指す姿に対して、「○ (+評価)」、「△ (どちらとも言えない・わからない) 」または「× (-評価) 」のいずれかあてはまるものを選択してください。



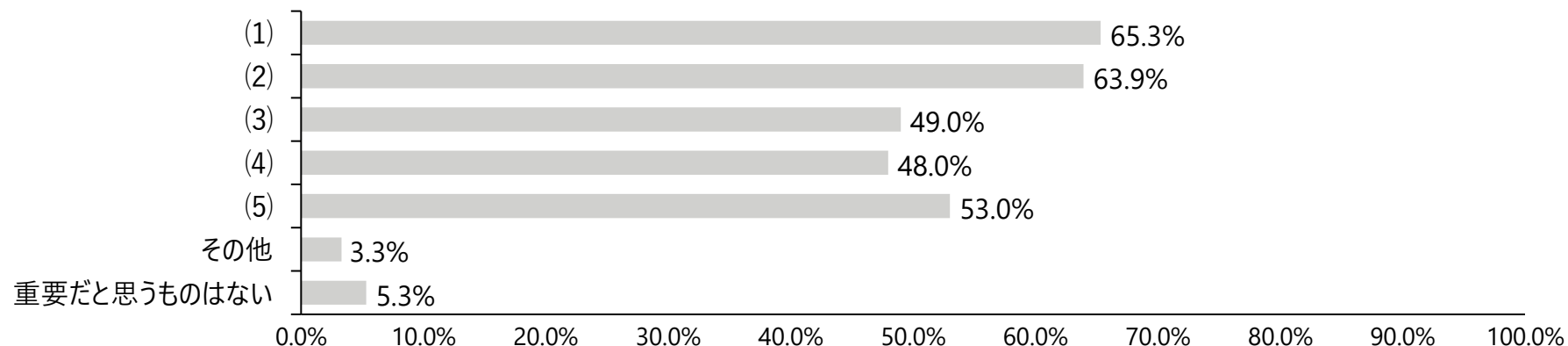
経済分野

基本目標⑩「強みを生かした産業が北海道の経済をけん引しているまち」

重要度の評価

目指す姿	(1)札幌市の食分野の産業が、新たな消費を生み出している。	(2)札幌市の観光分野の産業が、新たな消費を生み出している。	(3)札幌市のIT分野の産業が、新たな強みとして成長している。
	(4)札幌市のクリエイティブ分野の産業が、新たな強みとして成長している。	(5)札幌市の健康福祉・医療分野の産業が、新たな強みとして成長している。	

(n = 6,862) 基本目標⑩「強みを生かした産業が北海道の経済をけん引しているまち」に関連する下記の札幌市の目指す姿のなかで、あなたが重要だと思うものすべてを選択してください。



上記以外に重要だと思うもの (FA)

カテゴリ	記述内容抜粋
食・一次産業と6次化推進	・北海道の第一次産業を活かす取り組みで地域経済を安定させ、6次産業の育成を進めるべきだ。 ・札幌黄など地元ブランドを増やし、一次産業から加工・販売までの価値を高めるべきだ。
IT・クリエイティブ誘致	・札幌市のITは世界の潮流に遅れており、抜本的なデジタル化とIT基盤強化が急務だ。 ・クリエイティブ系企業の誘致や札幌国際アニメーション芸術祭の開催で、発信力とブランド力を高めるべきだ。
観光魅力強化と市民共存	・札幌にしかない観光資源が乏しく、戦略的PRと独自の魅力づくりを急ぐべきだ。 ・インバウンド頼みではなく、国内観光客向けの施策や二重価格・観光税など市民への還元策を検討すべきだ。
人材確保と賃上げ環境整備	・若い人材を惹きつける取り組みを一層強め、流出を防ぐ魅力的な賃金と仕組みを整えるべきだ。 ・補助金は賃上げと生産性向上を条件にし、KPIを公開して未達なら施策を見直す「結果責任」を徹底すべきだ。
交通除雪・GX等基盤整備	・まずは除雪で歩行・物流のロスを減らし、経済の土台となる移動の確実性を高めるべきだ。 ・グリーン・エネルギー分野の産業を育成し、地域熱供給の拡大などGX基盤を強化すべきだ。

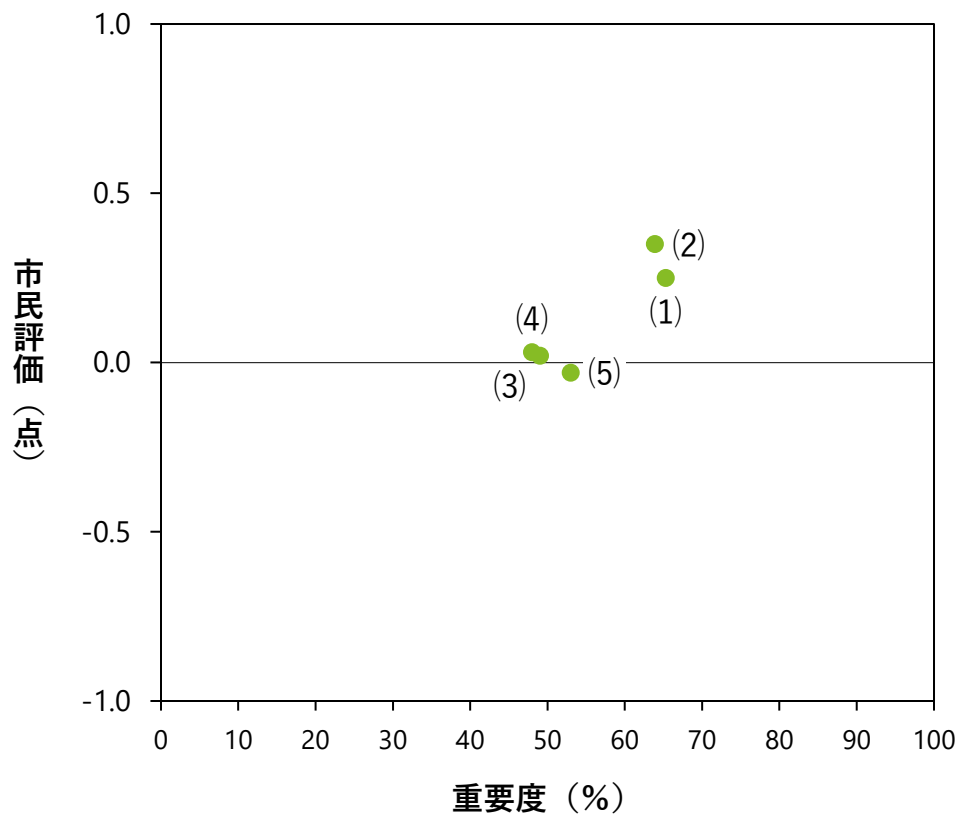
* 回答の多い内容を集約し、カテゴリズ。
実際の回答を記載（弊社にて必要に応じて文言調整）

経済分野

基本目標⑩「強みを生かした産業が北海道の経済をけん引しているまち」

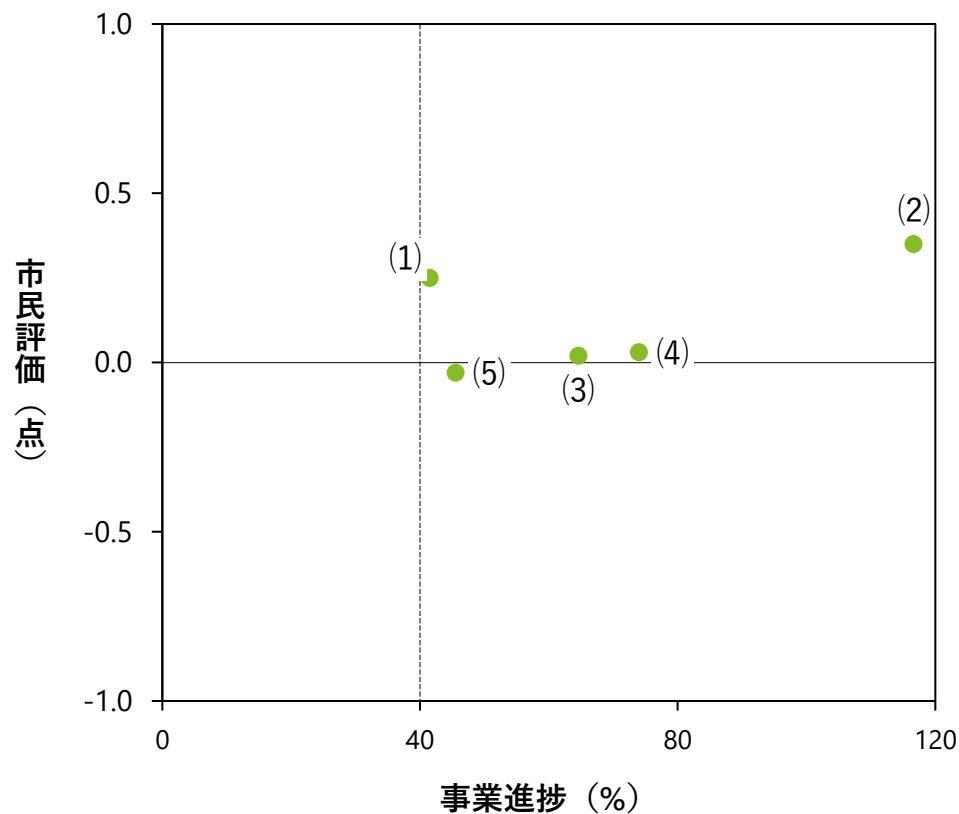
目指す姿の市民評価×重要度

(n = 6,862)



目指す姿の市民評価×事業進捗

(n = 6,862)



目指す姿	(1)札幌市の食分野の産業が、新たな消費を生み出している。	(2)札幌市の観光分野の産業が、新たな消費を生み出している。	(3)札幌市のIT分野の産業が、新たな強みとして成長している。
	(4)札幌市のクリエイティブ分野の産業が、新たな強みとして成長している。	(5)札幌市の健康福祉・医療分野の産業が、新たな強みとして成長している。	

経済分野

基本目標⑩「強みを生かした産業が北海道の経済をけん引しているまち」

基本目標に (n = 6,862)

対する評価
【詳細版】

		R4 (n=3,292)	R5 (n=2,013)	R6 (n=2,494)	R7 (n=6,862)	R7-R6
全体		3.29	3.23	3.26	3.17	-0.09
年代別	10代	3.75	3.75	3.82	3.82	0.00
	20代	3.63	3.60	3.54	3.51	-0.03
	30代	3.26	3.23	3.26	3.25	-0.01
	40代	3.17	3.18	3.13	3.04	-0.09
	50代	3.23	3.24	3.12	3.03	-0.09
	60代	3.07	2.99	2.99	2.96	-0.03
	70代以上	3.11	3.08	3.08	3.12	0.04
性別	男性	3.23	3.14	3.17	3.14	-0.03
	女性	3.37	3.33	3.34	3.17	-0.17
	その他	3.01	3.07	3.06	2.67	-0.39
区別	中央区	3.33	3.38	3.37	3.15	-0.22
	北区	3.35	3.24	3.23	3.12	-0.11
	東区	3.24	3.24	3.30	3.11	-0.19
	白石区	3.25	3.12	3.12	3.16	0.04
	厚別区	3.37	3.24	3.29	3.18	-0.11
	豊平区	3.30	3.24	3.26	3.20	-0.06
	清田区	3.31	3.07	3.21	3.05	-0.16
	南区	3.25	3.36	3.29	3.12	-0.17
	西区	3.27	3.22	3.27	3.13	-0.14
	手稲区	3.18	3.27	3.19	3.12	-0.07
18歳以下の子ども有無	有	3.32	3.24	3.32	3.17	-0.15
	無	3.27	3.23	3.23	3.13	-0.10

基本目標⑩ | 目指す姿の経年変化 全体・年代別

		基本目標⑩「強みを生かした産業が北海道の経済をけん引しているまち」											
		サンプル数	札幌市の食分野の産業が、新たな消費を生み出している。	R7-R6	札幌市の観光分野の産業が、新たな消費を生み出している。	R7-R6	札幌市のIT分野の産業が、新たな強みとして成長している。	R7-R6	札幌市のクリエイティブ分野の産業が、新たな強みとして成長している。	R7-R6	札幌市の健康福祉・医療分野の産業が、新たな強みとして成長している。	R7-R6	
全体	R4	3,292	0.29		0.33		-0.14		-0.11		-0.10		
	R5	2,013	0.27		0.39		-0.11		-0.12		-0.12		
	R6	2,494	0.23		0.36		-0.10		-0.07		-0.10		
	R7	6,862	0.25	0.02	0.35	-0.01	0.02	0.12	0.03	0.10	-0.03	0.07	
年代別	10代	R4	306		0.48		0.42		0.01		0.10		0.06
		R5	146		0.51		0.60		0.03		0.06		0.02
		R6	210		0.47		0.56		0.01		0.09		0.04
		R7	218		0.57	0.10	0.64	0.08	0.22	0.21	0.31	0.22	0.31
	20代	R4	435		0.45		0.51		-0.14		0.01		-0.06
		R5	253		0.45		0.54		-0.01		0.02		-0.07
		R6	438		0.37		0.45		-0.12		-0.03		-0.05
		R7	674		0.42	0.05	0.45	0.00	0.09	0.21	0.15	0.18	0.13
	30代	R4	468		0.34		0.33		-0.21		-0.19		-0.19
		R5	301		0.34		0.43		-0.20		-0.16		-0.27
		R6	362		0.29		0.38		-0.14		-0.09		-0.12
		R7	1,169		0.34	0.05	0.38	0.00	0.01	0.15	0.04	0.13	-0.04
	40代	R4	469		0.32		0.26		-0.20		-0.15		-0.17
		R5	303		0.28		0.43		-0.19		-0.17		-0.23
		R6	303		0.22		0.36		-0.14		-0.12		-0.19
		R7	1,414		0.26	0.04	0.30	-0.06	-0.04	0.10	-0.02	0.10	-0.12
	50代	R4	510		0.31		0.38		-0.12		-0.13		-0.15
		R5	234		0.37		0.38		-0.09		-0.12		-0.12
		R6	376		0.15		0.30		-0.12		-0.08		-0.13
		R7	1,490		0.21	0.06	0.29	-0.01	-0.03	0.09	-0.01	0.07	-0.11
	60代	R4	402		0.15		0.28		-0.20		-0.25		-0.18
		R5	298		0.11		0.31		-0.15		-0.21		-0.21
		R6	355		0.13		0.25		-0.11		-0.13		-0.17
		R7	1,093		0.12	-0.01	0.27	0.02	0.00	0.11	-0.05	0.08	-0.12
	70代以上	R4	682		0.12		0.23		-0.12		-0.11		0.02
		R5	465		0.09		0.24		-0.09		-0.12		0.03
		R6	423		0.08		0.26		-0.06		-0.09		-0.05
		R7	804		0.15	0.07	0.34	0.08	0.06	0.12	0.01	0.10	0.02

基本目標⑩ | 目指す姿の経年変化 区別

		基本目標⑩「強みを生かした産業が北海道の経済をけん引しているまち」									
区別		サンプル数	札幌市の食分野の産業が新たな消費を生み出している。 R7-R6	札幌市の観光分野の産業が、新たな消費を生み出している。 R7-R6	札幌市のIT分野の産業が、新たな強みとして成長している。 R7-R6	札幌市のクリエイティブ分野の産業が、新たな強みとして成長している。 R7-R6	札幌市の健康福祉・医療分野の産業が、新たな強みとして成長している。 R7-R6				
中央区	R4	351	0.40	0.40	-0.20	-0.16					-0.14
	R5	206	0.28	0.44	-0.12	-0.11					-0.13
	R6	247	0.24	0.46	-0.06	-0.06					-0.09
	R7	959	0.28	0.38	0.02	0.02	0.08	0.02	0.08		-0.02
北区	R4	314	0.32	0.36	-0.10	-0.04					-0.07
	R5	196	0.25	0.49	-0.10	-0.11					-0.12
	R6	246	0.24	0.35	-0.11	-0.04					-0.11
	R7	925	0.25	0.36	0.02	0.03	0.07	0.03	0.07		-0.03
東区	R4	318	0.28	0.30	-0.15	-0.07					-0.10
	R5	199	0.31	0.38	-0.09	-0.10					-0.10
	R6	245	0.25	0.38	-0.11	-0.09					-0.14
	R7	887	0.24	0.31	-0.01	0.01	0.10	0.01	0.10		-0.07
白石区	R4	276	0.29	0.27	-0.17	-0.12					-0.06
	R5	176	0.21	0.36	-0.16	-0.13					-0.22
	R6	226	0.16	0.31	-0.12	-0.12					-0.18
	R7	659	0.25	0.32	0.00	0.00	0.12	0.00	0.12		-0.05
厚別区	R4	339	0.29	0.37	-0.17	-0.13					-0.06
	R5	205	0.24	0.43	-0.11	-0.04					-0.04
	R6	260	0.25	0.37	-0.05	-0.03					-0.05
	R7	425	0.23	0.38	0.01	0.06	0.11	0.06	0.09		-0.04
豊平区	R4	310	0.29	0.32	-0.13	-0.14					-0.14
	R5	196	0.26	0.36	-0.11	-0.13					-0.13
	R6	231	0.21	0.30	-0.04	-0.06					-0.10
	R7	817	0.28	0.35	0.05	0.03	0.07	0.05	0.11		-0.06
清田区	R4	346	0.33	0.35	-0.17	-0.14					-0.14
	R5	199	0.16	0.30	-0.16	-0.18					-0.13
	R6	217	0.23	0.32	-0.15	-0.08					-0.06
	R7	401	0.21	0.26	-0.06	-0.05	0.10	-0.01	0.07		-0.08
南区	R4	352	0.25	0.30	-0.14	-0.10					-0.12
	R5	188	0.30	0.36	-0.14	-0.21					-0.11
	R6	256	0.25	0.37	-0.13	-0.06					-0.08
	R7	536	0.24	0.33	-0.04	0.02	0.15	0.02	0.08		-0.03
西区	R4	346	0.27	0.35	-0.10	-0.14					-0.04
	R5	236	0.32	0.38	-0.04	-0.07					-0.12
	R6	277	0.21	0.37	-0.14	-0.13					-0.13
	R7	803	0.25	0.33	-0.04	0.02	0.16	0.02	0.15		-0.04
手稲区	R4	309	0.18	0.29	-0.12	-0.07					-0.12
	R5	197	0.34	0.38	-0.09	-0.13					-0.12
	R6	246	0.28	0.34	-0.11	-0.05					-0.10
	R7	450	0.22	0.32	-0.02	-0.06	0.05	-0.02	0.03		-0.10

基本目標⑩ | 目指す姿の経年変化 性別・子ども有無別

		基本目標⑩「強みを生かした産業が北海道の経済をけん引しているまち」											
		サンプル数	札幌市の食分野の産業が、新たな消費を生み出している。	R7-R6	札幌市の観光分野の産業が、新たな消費を生み出している。	R7-R6	札幌市のIT分野の産業が、新たな強みとして成長している。	R7-R6	札幌市のクリエイティブ分野の産業が、新たな強みとして成長している。	R7-R6	札幌市の健康福祉・医療分野の産業が、新たな強みとして成長している。	R7-R6	
性別	男性	R4	1,429	0.25	0.31	-0.17	-0.13	-0.10					
		R5	895	0.18	0.33	-0.15	-0.17	-0.14					
		R6	1,087	0.19	0.33	-0.11	-0.09	-0.12					
		R7	2,985	0.22	0.03	0.33	0.00	0.02	0.13	0.01	0.10	-0.04	0.08
	女性	R4	1,651	0.34	0.36	-0.12	-0.08	-0.09					
		R5	1,053	0.34	0.44	-0.07	-0.08	-0.09					
		R6	1,326	0.27	0.39	-0.10	-0.05	-0.08					
18歳以下の子供	有	R7	3,581	0.29	0.02	0.36	-0.03	0.01	0.11	0.04	0.09	-0.05	0.03
		R4	922	0.31	0.36	-0.15	-0.10	-0.12					
		R5	574	0.30	0.40	-0.17	-0.16	-0.21					
		R6	643	0.26	0.38	-0.15	-0.10	-0.13					
	無	R7	2,172	0.28	0.02	0.36	-0.02	0.00	0.15	0.02	0.12	-0.05	0.08
		R4	2,326	0.28	0.32	-0.14	-0.12	-0.09					
		R5	1,420	0.26	0.38	-0.09	-0.10	-0.09					
		R6	1,804	0.23	0.35	-0.08	-0.06	-0.09					
		R7	4,690	0.24	0.01	0.33	-0.02	0.01	0.09	0.02	0.08	-0.05	0.04

基本目標⑩ | 目指す姿の重要度 属性別

		基本目標⑩「強みを生かした産業が北海道の経済をけん引しているまち」					
		札幌市の食分野の産業が、新たな消費を生み出している。	札幌市の観光分野の産業が、新たな消費を生み出している。	札幌市のIT分野の産業が、新たな強みとして成長している。	札幌市のクリエイティブ分野の産業が、新たな強みとして成長している。	札幌市の健康福祉・医療分野の産業が、新たな強みとして成長している。	
全体	サンプル数	6,862	65.3%	63.9%	49.0%	48.0%	53.0%
年代別	10代	218	72.5%	72.5%	54.6%	52.3%	44.5%
	20代	674	67.7%	64.8%	47.5%	46.7%	45.8%
	30代	1,169	70.8%	65.4%	44.8%	47.3%	47.8%
	40代	1,414	69.0%	64.2%	48.2%	50.4%	52.5%
	50代	1,490	66.0%	63.0%	46.3%	47.8%	52.6%
	60代	1,093	62.1%	62.3%	46.8%	47.7%	53.9%
	70代以上	804	59.7%	63.3%	55.6%	47.9%	60.8%
性別	男性	2,985	62.9%	62.9%	51.1%	47.1%	47.5%
	女性	3,581	69.1%	65.4%	45.4%	48.9%	55.9%
区別	中央区	959	69.9%	59.8%	48.0%	52.0%	51.0%
	北区	925	66.5%	64.3%	48.4%	52.0%	53.2%
	東区	887	66.3%	60.2%	45.8%	46.4%	50.5%
	白石区	659	64.8%	64.7%	46.8%	47.7%	52.5%
	厚別区	425	64.6%	61.6%	45.5%	44.3%	48.4%
	豊平区	817	65.4%	64.9%	49.2%	49.6%	48.5%
	清田区	401	64.5%	63.3%	47.9%	47.4%	47.6%
	南区	536	67.6%	67.6%	49.9%	49.1%	54.1%
	西区	803	69.2%	67.4%	51.5%	51.5%	56.5%
	手稲区	450	68.1%	66.4%	48.9%	47.1%	55.7%
18歳以下の子供	有	2,172	67.9%	65.9%	47.1%	48.8%	49.9%
	無	4,690	65.8%	63.2%	48.4%	48.0%	53.0%

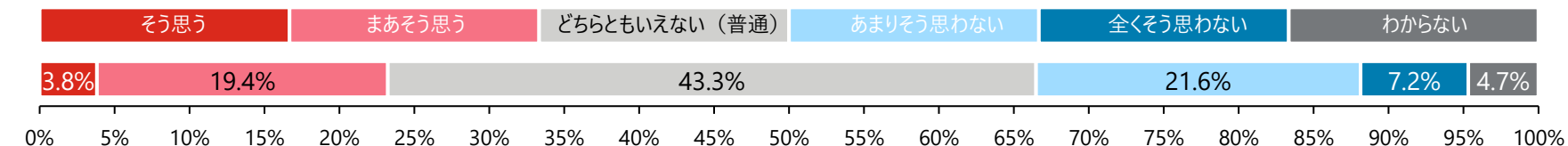
経済分野

基本目標⑪「多様な主体と高い生産性、チャレンジできる文化が経済成長を支えるまち」

全体評価点* (前年比)	R4	R5	R6
2.91 (+0.02)	2.89	2.83	2.89

基本目標の評価

(n = 6,862) 基本目標⑪「多様な主体と高い生産性、チャレンジできる文化が経済成長を支えるまち」が実現していると思いますか。

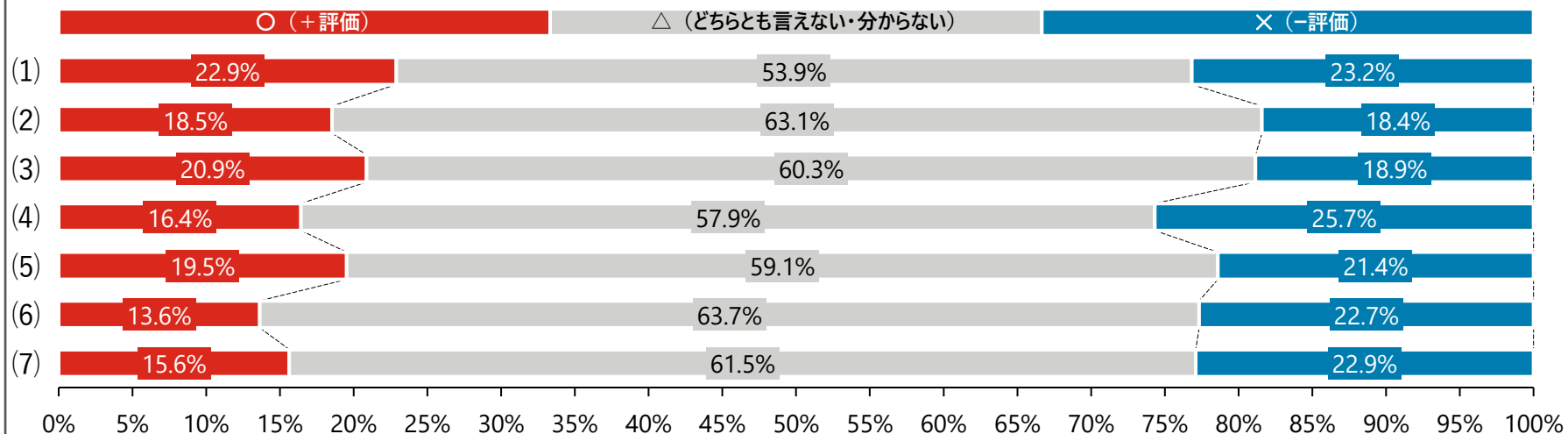


*そう思う=5点、まあそう思う=4点、どちらともいえない(普通)=3点、あまりそう思わない=2点、全くそう思わない=1点として回答の平均値で算出。(わからないは除外)

目指す姿の評価

目指す姿	内容	内容	内容
目指す姿	(1)中小企業・小規模企業や商店街などが、地域のにぎわいや経済を支えている。	(2)データや先端技術の活用などにより生産性が向上している。	(3)行政、大学、民間組織などの関係機関が一体となり、起業家を育成・支援する体制や環境が充実している。
	(4)誰もがチャレンジできる文化が根付き、多くのスタートアップが生まれている。	(5)様々な企業の立地や創業が進んでいる。	(6)海外の企業との交流が活発に行われている。
	(7)ビジネスチャンスや新たな価値が創出されている。		

(n = 6,862) 基本目標⑪「多様な主体と高い生産性、チャレンジできる文化が経済成長を支えるまち」に関連する下記の札幌市の目指す姿に対して、「○ (+評価)」、「△ (どちらとも言えない・わからない) 」または「× (-評価)」のいずれかあてはまるものを選択してください。



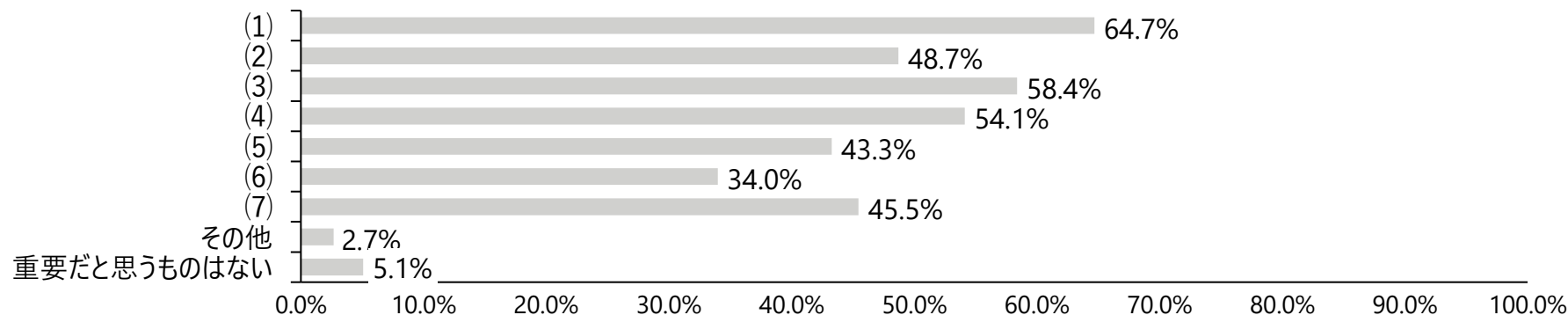
経済分野

基本目標⑪「多様な主体と高い生産性、チャレンジできる文化が経済成長を支えるまち」

重要度の評価

目指す姿	(1)中小企業・小規模企業や商店街などが、地域のにぎわいや経済を支えている。	(2)データや先端技術の活用などにより生産性が向上している。	(3)行政、大学、民間組織などの関係機関が一体となり、起業家を育成・支援する体制や環境が充実している。
	(4)誰もがチャレンジできる文化が根付き、多くのスタートアップが生まれている。	(5)様々な企業の立地や創業が進んでいる。	(6)海外の企業との交流が活発に行われている。
	(7)ビジネスチャンスや新たな価値が創出されている。		

(n = 6,862) 基本目標⑪「多様な主体と高い生産性、チャレンジできる文化が経済成長を支えるまち」に関連する下記の札幌市の目指す姿のなかで、あなたが重要だと思うものすべてを選択してください。



上記以外に重要だと思うもの (FA)

カテゴリ	記述内容抜粋
起業件走と成果責任徹底	<ul style="list-style-type: none"> 支援で終わらず、補助金は賃上げと生産性向上を条件にし、KPIを四半期ごとに公開して未達なら施策を見直すべきだ。 起業家の育成を強化し、行政がスタートアップから実証→本導入で調達する仕組みを整えて事業化まで伴走してほしい。
教育人材育成と挑戦文化	<ul style="list-style-type: none"> 道外・海外への人材流出を防ぎ、逆に人材を招聘できるよう、若者が魅力を感じる賃金と機会を整える必要がある。 学校で起業や資産運用などビジネスの基礎を教え、再チャレンジが容易な仕組みを社会全体で整備すべきだ。
中小企業・商店街底上げ	<ul style="list-style-type: none"> 大規模チェーンの進出一辺倒を見直し、地元商店や中小企業を支える施策を強化してほしい。 中小企業の税や料金負担が重いという声があり、地域のにぎわいと経済活動を阻害しない制度見直しが求められる。
IT・先端産業の強化	<ul style="list-style-type: none"> 札幌のITは遅れており、行政のデジタル化を含めた基盤強化と、市民のITリテラシー向上が急務だ。 AIやITを学び直せる社会人向けスクールやリスキリングの機会を充実させ、転職・人材育成を後押ししてほしい。
冬季対応と生産性基盤	<ul style="list-style-type: none"> 冬の経営を底上げするため、季節イベントやインバウンドの強化など需要創出とセットで支援する必要がある。 北海道の寒冷・積雪環境を逆手に取り、寒冷地サミットなど知見交流とインフラ強化で「冬に強い経済運営モデル」を確立すべきだ。

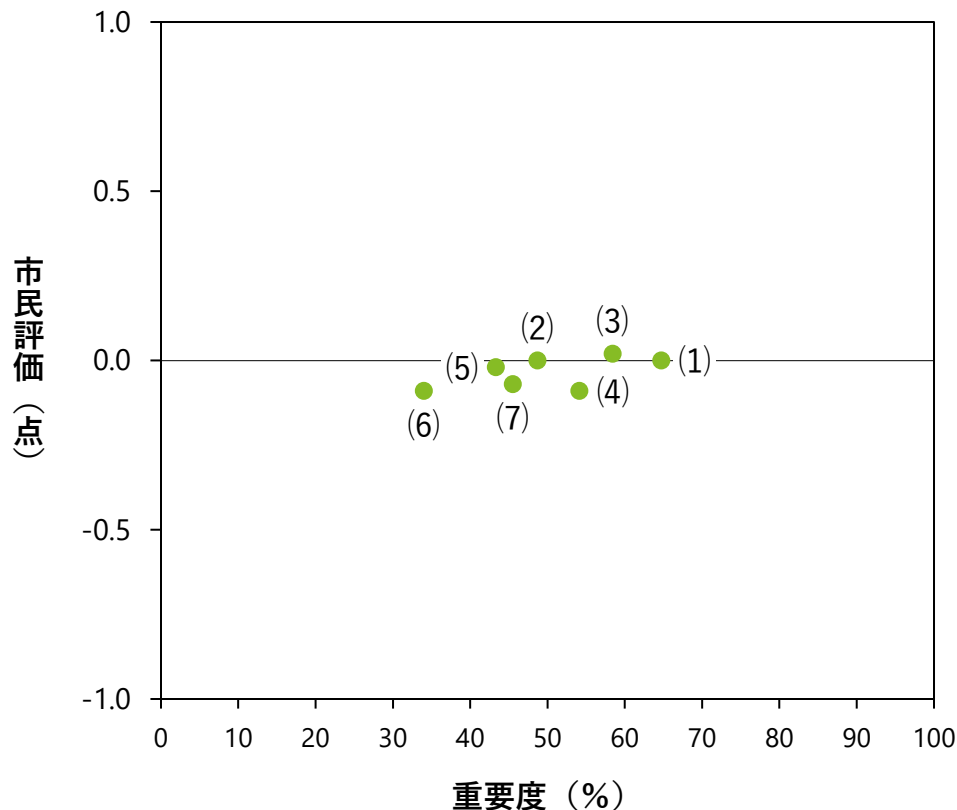
* 回答の多い内容を集約し、カテゴリ化。
実際の回答を記載（弊社にて必要に応じて文言調整）

経済分野

基本目標⑪「多様な主体と高い生産性、チャレンジできる文化が経済成長を支えるまち」

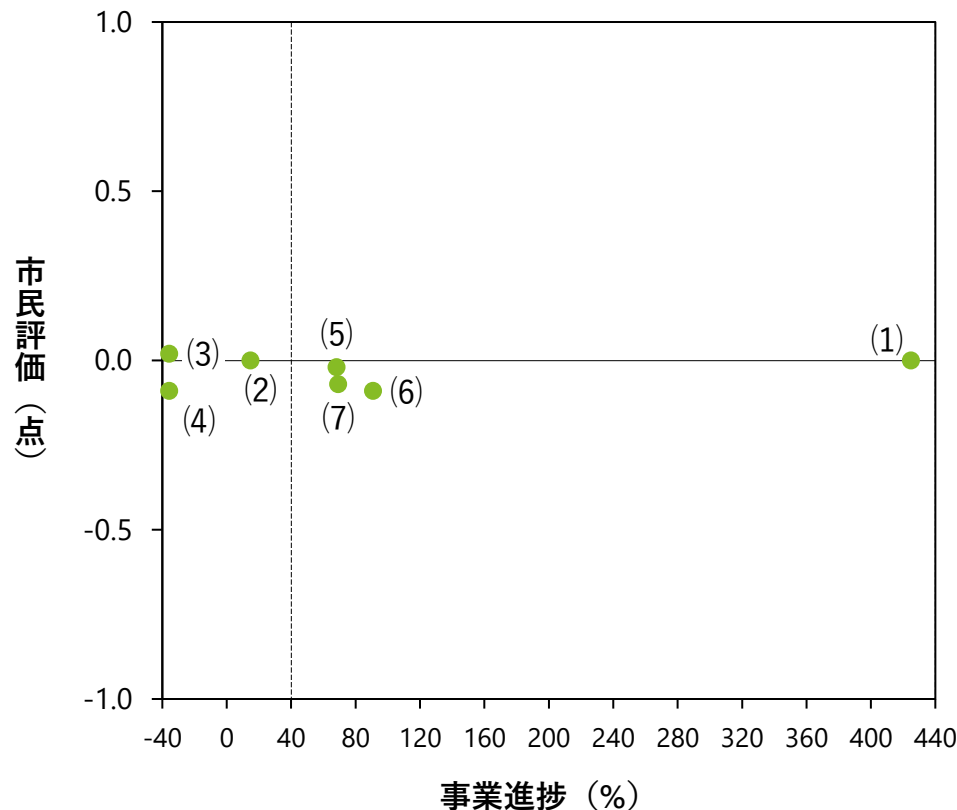
目指す姿の市民評価×重要度

(n = 6,862)



目指す姿の市民評価×事業進捗

(n = 6,862)



目指す姿	(1)中小企業・小規模企業や商店街などが、地域のにぎわいや経済を支えている。	(2)データや先端技術の活用などにより生産性が向上している。	(3)行政、大学、民間組織などの関係機関が一体となり、起業家を育成・支援する体制や環境が充実している。
	(4)誰もがチャレンジできる文化が根付き、多くのスタートアップが生まれている。	(5)様々な企業の立地や創業が進んでいる。	(6)海外の企業との交流が活発に行われている。
	(7)ビジネスチャンスや新たな価値が創出されている。		

経済分野

基本目標⑪「多様な主体と高い生産性、チャレンジできる文化が経済成長を支えるまち」

基本目標に (n = 6,862)

対する評価
【詳細版】

		R4 (n=3,292)	R5 (n=2,013)	R6 (n=2,494)	R7 (n=6,862)	R7-R6
全体		2.89	2.83	2.89	2.91	0.02
年代別	10代	3.18	3.21	3.26	3.45	0.19
	20代	3.04	3.10	2.98	3.13	0.15
	30代	2.75	2.70	2.87	2.92	0.05
	40代	2.81	2.69	2.79	2.77	-0.02
	50代	2.85	2.76	2.84	2.78	-0.06
	60代	2.76	2.68	2.75	2.77	0.02
	70代以上	2.95	2.91	2.86	2.96	0.10
性別	男性	2.85	2.78	2.85	2.88	0.03
	女性	2.96	2.90	2.95	2.89	-0.06
	その他	2.65	2.60	2.60	2.42	-0.18
区別	中央区	2.90	2.91	2.98	2.89	-0.09
	北区	2.97	2.83	2.92	2.86	-0.06
	東区	2.81	2.99	2.95	2.85	-0.10
	白石区	2.99	2.76	2.84	2.87	0.03
	厚別区	2.95	2.94	2.91	2.91	0.00
	豊平区	2.89	2.75	2.92	2.94	0.02
	清田区	2.88	2.67	2.82	2.81	-0.01
	南区	2.78	2.86	2.89	2.85	-0.04
	西区	2.84	2.76	2.87	2.86	-0.01
	手稲区	2.92	2.86	2.81	2.89	0.08
18歳以下の子ども有無	有	2.89	2.76	2.91	2.90	-0.01
	無	2.89	2.86	2.88	2.87	-0.01

基本目標⑪ | 目指す姿の経年変化 全体・年代別

		基本目標⑪「多様な主体と高い生産性、チャレンジできる文化が経済成長を支えるまち」															
		サンプル数	中小企業・小規模企業や商店街などが、地域のにぎわいや経済を支えている。	R7-R6	データや先端技術の活用などにより生産性が向上している。	R7-R6	行政、大学、民間組織などの関係機関が一体となり、起業家を育成・支援する体制や環境が充実している。	R7-R6	誰もがチャレンジできる文化が根付き、多くのスタートアップが生まれている。	R7-R6	様々な企業の立地や創業が進んでいる。	R7-R6	海外の企業との交流が活発に行われている。	R7-R6	ビジネスチャンスや新たな価値が創出されている。	R7-R6	
全体		R4 3,292	-0.09		-0.11		-0.10		-0.18		-0.05		-0.19		-0.13		
		R5 2,013	-0.07		-0.08		-0.08		-0.23		-0.04		-0.18		-0.15		
		R6 2,494	-0.06		-0.07		-0.04		-0.18		-0.02		-0.14		-0.12		
		R7 6,862	0.00	0.06	0.00	0.07	0.02	0.06	-0.09	0.09	-0.02	0.00	-0.09	0.05	-0.07	0.05	
年代別	10代	R4 306	0.11		0.02		0.08		-0.06		0.10		-0.02		0.02		
		R5 146	0.22		0.30		0.16		-0.02		0.16		-0.03		0.07		
		R6 210	0.16		0.15		0.16		0.06		0.19		0.05		0.02		
		R7 218	0.28	0.12	0.33	0.18	0.37	0.21	0.32	0.26	0.35	0.16	0.21	0.16	0.29	0.27	
	20代	R4 435	-0.01		-0.03		-0.05		-0.14		0.01		-0.13		-0.06		
		R5 253	0.06		0.03		0.05		-0.15		0.13		-0.04		-0.04		
		R6 438	0.04		-0.07		-0.03		-0.11		0.09		-0.11		-0.06		
		R7 674	0.16	0.12	0.11	0.18	0.10	0.13	0.02	0.13	0.13	0.04	0.06	0.17	0.07	0.13	
	30代	R4 468	-0.18		-0.18		-0.16		-0.24		-0.07		-0.25		-0.24		
		R5 301	-0.08		-0.20		-0.19		-0.32		-0.11		-0.29		-0.27		
		R6 362	-0.02		-0.04		-0.08		-0.20		0.05		-0.13		-0.10		
		R7 1,169	0.05	0.07	0.04	0.08	-0.02	0.06	-0.09	0.11	0.01	0.04	-0.05	0.08	-0.04	0.06	
	40代	R4 469	-0.13		-0.16		-0.13		-0.19		-0.08		-0.19		-0.16		
		R5 303	-0.18		-0.14		-0.11		-0.26		-0.12		-0.23		-0.22		
		R6 303	-0.15		-0.11		-0.09		-0.28		-0.10		-0.22		-0.19		
		R7 1,414	-0.07	0.08	-0.09	0.02	-0.05	0.04	-0.15	0.13	-0.07	0.03	-0.13	0.09	-0.14	0.05	
	50代	R4 510	-0.15		-0.13		-0.16		-0.25		-0.05		-0.24		-0.20		
		R5 234	-0.17		-0.09		-0.12		-0.34		-0.07		-0.21		-0.24		
		R6 376	-0.14		-0.14		-0.07		-0.20		-0.09		-0.15		-0.18		
		R7 1,490	-0.09	0.05	-0.07	0.07	-0.06	0.01	-0.18	0.02	-0.10	0.01	-0.13	0.02	-0.16	0.02	
60代	R4 402	-0.20		-0.17		-0.12		-0.25		-0.11		-0.26		-0.18			
	R5 298	-0.20		-0.15		-0.14		-0.30		-0.09		-0.25		-0.23			
	R6 355	-0.16		-0.06		-0.08		-0.23		-0.11		-0.18		-0.17			
	R7 1,093	-0.12	0.04	-0.08	0.02	-0.06	0.02	-0.16	0.07	-0.09	0.02	-0.18	0.00	-0.15	0.02		
70代以上	R4 682	-0.01		-0.08		-0.08		-0.12		-0.06		-0.18		-0.08			
	R5 465	-0.01		-0.07		-0.07		-0.15		-0.04		-0.15		-0.08			
	R6 423	-0.08		-0.11		-0.03		-0.20		-0.10		-0.18		-0.10			
	R7 804	0.02	0.10	0.01	0.12	0.09	0.12	-0.07	0.13	-0.03	0.07	-0.14	0.04	-0.07	0.03		

基本目標⑪ | 目指す姿の経年変化 区別

		基本目標⑪「多様な主体と高い生産性、チャレンジできる文化が経済成長を支えるまち」																
		サンプル数	中小企業・小規模企業や商店街などが、地域のにぎわいや経済を支えている	R7-R6	データや先端技術の活用などにより生産性が向上している。	R7-R6	行政、大学、民間組織などの関係機関が一体となり、起業家を育成・支援する体制や環境が充実している。	R7-R6	誰もがチャレンジできる文化が根付き、多くのスタートアップが生まれている。	R7-R6	様々な企業の立地や創業が進んでいる。	R7-R6	海外の企業との交流が活発に行われている。	R7-R6	ビジネスチャンスや新たな価値が創出されている。	R7-R6		
区別	中央区	R4	351	-0.03	-0.13		-0.13		-0.20		-0.06		-0.10		-0.13			
		R5	206	-0.04	-0.08		-0.07		-0.16		0.00		-0.19		-0.09			
		R6	247	-0.02	-0.09		-0.04		-0.13		-0.01		-0.13		-0.06			
	北区	R7	959	0.01	0.03		0.01	0.05		-0.09	0.04	0.01	0.02		-0.07	0.06	-0.06	0.00
		R4	314	-0.06		-0.05		-0.06		-0.16		-0.04		-0.13		-0.10		
		R5	196	-0.11		-0.05		-0.06		-0.24		-0.06		-0.18		-0.19		
	東区	R6	246	-0.08		-0.15		-0.07		-0.16		-0.02		-0.09		-0.10		
		R7	925	-0.03	0.05		0.00	0.15		-0.10	0.06	-0.04	-0.02		-0.07	0.02	-0.08	0.02
		R4	318	-0.13		-0.12		-0.14		-0.19		-0.13		-0.23		-0.15		
	白石区	R5	199	-0.10		-0.04		-0.05		-0.12		0.04		-0.07		-0.07		
		R6	245	-0.13		-0.02		-0.07		-0.21		0.02		-0.13		-0.16		
		R7	887	-0.06	0.07		-0.05	-0.03		-0.14	0.07	-0.07	-0.09		-0.13	0.00	-0.11	0.05
	厚別区	R4	276	-0.11		-0.07		-0.10		-0.13		-0.01		-0.16		-0.08		
		R5	176	-0.10		-0.07		-0.16		-0.23		-0.15		-0.25		-0.22		
		R6	226	-0.11		-0.08		-0.07		-0.22		-0.03		-0.19		-0.15		
	豊平区	R7	659	-0.01	0.10		0.00	0.08		-0.12	0.10	-0.03	0.00		-0.10	0.09	-0.11	0.04
		R4	339	0.00		-0.11		-0.04		-0.23		-0.06		-0.20		-0.16		
		R5	205	0.01		-0.05		0.00		-0.19		0.04		-0.17		-0.12		
	清田区	R6	260	-0.05		-0.03		0.02		-0.26		-0.04		-0.19		-0.08		
		R7	425	0.02	0.07		0.02	0.05		-0.12	0.14	-0.01	0.03		-0.08	0.11	-0.09	-0.01
		R4	310	-0.09		-0.17		-0.11		-0.17		0.03		-0.22		-0.15		
	南区	R5	196	-0.06		-0.13		-0.15		-0.31		-0.09		-0.24		-0.18		
		R6	231	0.00		-0.06		-0.03		-0.17		-0.03		-0.13		-0.10		
		R7	817	0.01	0.01		0.02	0.08		-0.10	0.07	-0.01	0.02		-0.06	0.07	-0.05	0.05
	手稲区	R4	346	-0.12		-0.07		-0.07		-0.17		-0.08		-0.23		-0.13		
		R5	199	-0.08		-0.14		-0.07		-0.29		-0.09		-0.21		-0.17		
		R6	217	-0.06		-0.03		-0.03		-0.19		0.00		-0.17		-0.15		
	西区	R7	401	-0.05	0.01		-0.03	0.00		-0.17	0.02	-0.08	-0.08		-0.17	0.00	-0.11	0.04
R4		352	-0.16		-0.11		-0.09		-0.23		-0.06		-0.22		-0.18			
R5		188	-0.07		-0.07		-0.13		-0.27		-0.04		-0.14		-0.19			
手稲区	R6	256	-0.01		-0.11		-0.02		-0.10		-0.06		-0.12		-0.14			
	R7	536	-0.05	-0.04		-0.03	0.08		-0.07	0.03	-0.05	0.01		-0.11	0.01	-0.10	0.04	
	R4	346	-0.05		-0.12		-0.12		-0.17		-0.01		-0.19		-0.14			
手稲区	R5	236	-0.06		-0.06		-0.03		-0.22		0.02		-0.17		-0.17			
	R6	277	0.00		-0.04		-0.06		-0.18		0.01		-0.16		-0.14			
	R7	803	-0.01	-0.01		-0.03	0.01		-0.11	0.07	0.00	-0.01		-0.10	0.06	-0.11	0.03	
手稲区	R4	309	-0.17		-0.14		-0.11		-0.14		-0.05		-0.22		-0.10			
	R5	197	-0.11		-0.08		-0.10		-0.25		-0.08		-0.21		-0.16			
	R6	246	-0.11		-0.06		-0.04		-0.13		-0.04		-0.10		-0.07			
R7	450	-0.02	0.09		-0.02	0.04		-0.12	0.01	-0.04	0.00		-0.12	-0.02	-0.10	-0.03		

基本目標⑪ | 目指す姿の経年変化 性別・子ども有無別

		基本目標⑪「多様な主体と高い生産性、チャレンジできる文化が経済成長を支えるまち」															
			サンプル数	中小企業・小規模企業や商店街などが、地域のにぎわいや経済を支えている。	R7-R6	データや先端技術の活用などにより生産性が向上している。	R7-R6	行政、大学、民間組織などの関係機関が一体となり、起業家を育成・支援する体制や環境が充実している。	R7-R6	誰もがチャレンジできる文化が根付き、多くのスタートアップが生まれている。	R7-R6	様々な企業の立地や創業が進んでいる。	R7-R6	海外の企業との交流が活発に行われている。	R7-R6	ビジネスチャンスや新たな価値が創出されている。	R7-R6
性別	男性	R4	1,429	-0.11		-0.14		-0.11		-0.20		-0.09		-0.24		-0.15	
		R5	895	-0.13		-0.11		-0.11		-0.26		-0.09		-0.24		-0.20	
		R6	1,087	-0.11		-0.08		-0.05		-0.21		-0.06		-0.17		-0.13	
		R7	2,985	-0.02	0.09	0.00	0.08	0.02	0.07	-0.09	0.12	-0.04	0.02	-0.10	0.07	-0.07	0.06
	女性	R4	1,651	-0.06		-0.07		-0.08		-0.16		0.00		-0.14		-0.10	
		R5	1,053	-0.02		-0.05		-0.05		-0.19		0.01		-0.13		-0.11	
		R6	1,326	-0.01		-0.05		-0.03		-0.14		0.02		-0.11		-0.10	
		R7	3,581	0.00	0.01	-0.01	0.04	-0.01	0.02	-0.12	0.02	-0.01	-0.03	-0.08	0.03	-0.09	0.01
18歳以下の子供	有	R4	922	-0.09		-0.13		-0.10		-0.18		-0.04		-0.18		-0.15	
		R5	574	-0.13		-0.11		-0.13		-0.29		-0.09		-0.23		-0.21	
		R6	643	-0.06		-0.07		-0.07		-0.19		-0.03		-0.17		-0.16	
		R7	2,172	-0.02	0.04	-0.01	0.06	-0.01	0.06	-0.11	0.08	-0.05	0.02	-0.09	0.08	-0.09	0.07
	無	R4	2,326	-0.08		-0.10		-0.10		-0.18		-0.05		-0.19		-0.13	
		R5	1,420	-0.05		-0.06		-0.06		-0.20		-0.02		-0.16		-0.13	
		R6	1,804	-0.06		-0.07		-0.03		-0.17		-0.02		-0.13		-0.10	
		R7	4,690	-0.02	0.04	-0.01	0.06	0.00	0.03	-0.11	0.06	-0.02	0.00	-0.10	0.03	-0.09	0.01

基本目標⑪ | 目指す姿の重要度 属性別

		基本目標⑪「多様な主体と高い生産性、チャレンジできる文化が経済成長を支えるまち」							
		サンプル数	中小企業・小規模企業や商店街などが、地域のにぎわいや経済を支えている。	データや先端技術の活用などにより生産性が向上している。	行政、大学、民間組織などの関係機関が一体となり、起業家を育成・支援する体制や環境が充実している。	誰もがチャレンジできる文化が根付き、多くのスタートアップが生まれている。	様々な企業の立地や創業が進んでいる。	海外の企業との交流が活発に行われている。	ビジネスチャンスや新たな価値が創出されている。
全体		6,862	64.7%	48.7%	58.4%	54.1%	43.3%	34.0%	45.5%
年代別	10代	218	65.6%	56.4%	59.6%	61.0%	48.6%	48.6%	50.5%
	20代	674	59.3%	51.2%	51.6%	54.0%	42.3%	33.2%	45.5%
	30代	1,169	61.8%	50.0%	51.5%	55.4%	39.6%	31.5%	44.2%
	40代	1,414	63.5%	48.4%	56.3%	57.4%	45.1%	36.4%	48.2%
	50代	1,490	64.6%	44.8%	55.9%	55.8%	43.6%	29.9%	46.8%
	60代	1,093	63.4%	46.2%	59.2%	52.5%	42.5%	31.8%	45.7%
	70代以上	804	70.0%	51.0%	67.8%	51.1%	45.3%	36.2%	43.3%
性別	男性	2,985	61.9%	50.9%	55.4%	52.8%	42.8%	32.8%	46.4%
	女性	3,581	65.8%	46.2%	58.3%	56.8%	43.8%	34.2%	45.9%
区別	中央区	959	60.5%	49.7%	54.1%	54.4%	41.9%	31.8%	44.6%
	北区	925	63.5%	52.0%	58.6%	58.1%	45.3%	36.1%	48.4%
	東区	887	61.6%	46.5%	57.9%	52.3%	43.2%	31.8%	44.4%
	白石区	659	63.5%	46.4%	53.6%	53.4%	40.5%	33.6%	44.2%
	厚別区	425	61.8%	45.4%	50.8%	51.1%	36.6%	28.1%	39.0%
	豊平区	817	63.1%	48.9%	60.2%	56.9%	48.9%	32.5%	47.1%
	清田区	401	63.6%	47.9%	55.4%	55.1%	41.9%	33.3%	46.9%
	南区	536	62.6%	48.4%	56.4%	56.9%	41.9%	35.9%	46.1%
	西区	803	67.7%	50.9%	58.2%	58.2%	49.8%	37.9%	51.1%
	手稲区	450	65.6%	51.1%	59.4%	56.3%	44.7%	34.2%	47.7%
	18歳以下の子供	有	2,172	62.3%	48.3%	57.0%	56.4%	43.8%	34.6%
無		4,690	64.6%	48.4%	56.8%	54.3%	43.0%	32.9%	46.0%

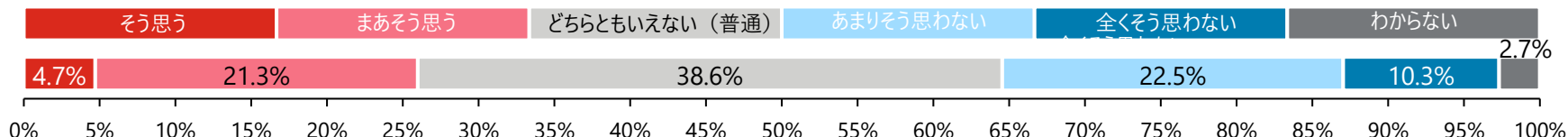
経済分野

基本目標⑫「雇用が安定的に確保され、多様な働き方ができるまち」

全体評価点* (前年比)	R4	R5	R6
2.87 (+0.02)	2.84	2.83	2.85

基本目標
の評価

(n = 6,862) 基本目標⑫「雇用が安定的に確保され、多様な働き方ができるまち」が実現していると思いますか。

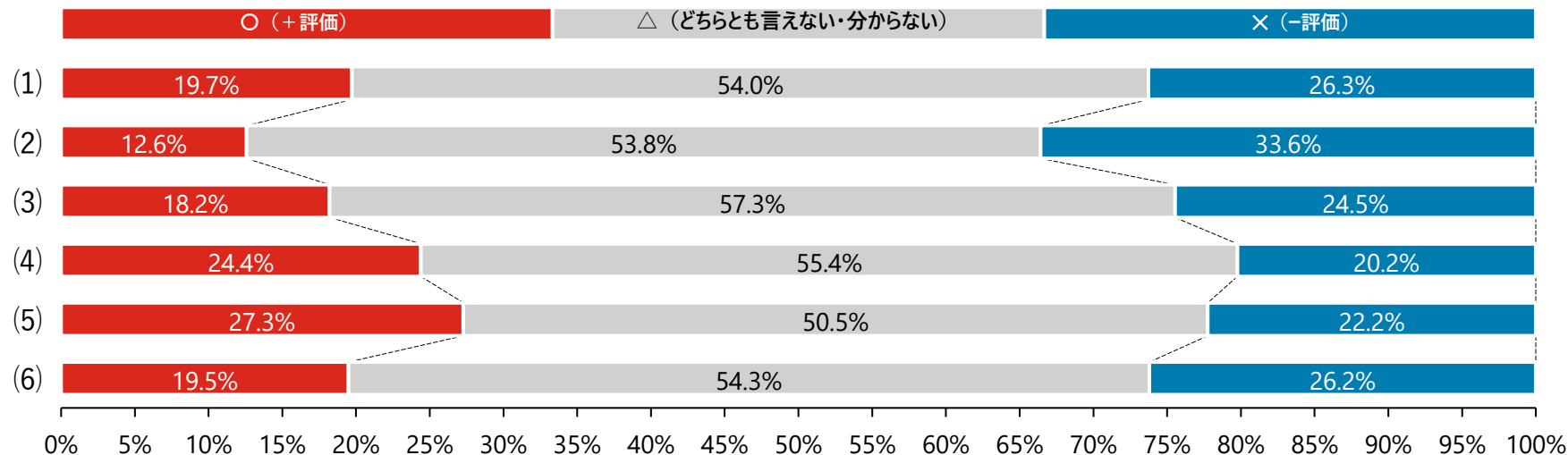


*そう思う=5点、まあそう思う=4点、どちらともいえない (普通) =3点、あまりそう思わない=2点、全くそう思わない=1点として回答の平均値で算出。(わからないは除外)

目指す姿
の評価

目指す姿	内容
(1)	安心して働くことができる魅力的な雇用が安定的に確保されている。
(2)	企業が必要とする人材を確保できている。
(3)	自身の能力を発揮し、やりがいや充実感を得ながら働くことができる。
(4)	高い専門性を生かすことができる職場がある。
(5)	幅広い年代の人材が活躍できている。
(6)	働きやすい職場環境が整備され、多様で柔軟な働き方が実現している。

(n = 6,862) 基本目標⑫「雇用が安定的に確保され、多様な働き方ができるまち」に関連する下記の札幌市の目指す姿に対して、「○ (+評価)」、「△ (どちらとも言えない・わからない) 」または「× (-評価) 」のいずれかあてはまるものを選択してください。



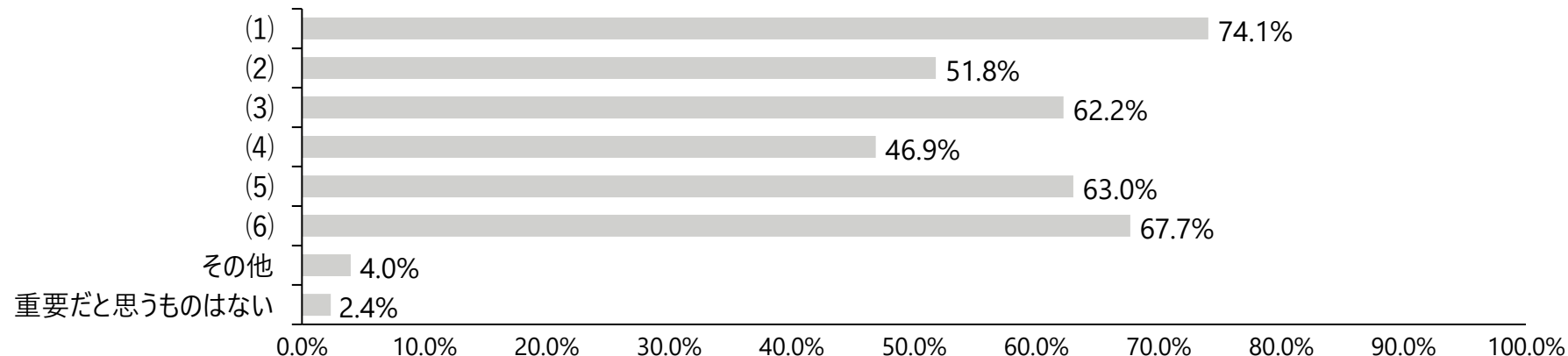
経済分野

基本目標⑫「雇用が安定的に確保され、多様な働き方ができるまち」

重要度の評価

目指す姿	(1)安心して働くことができる魅力的な雇用が安定的に確保されている。	(2)企業が必要とする人材を確保できている。	(3)自身の能力を発揮し、やりがいや充実感を得ながら働くことができる。
	(4)高い専門性を生かすことができる職場がある。	(5)幅広い年代の人材が活躍できている。	(6)働きやすい職場環境が整備され、多様で柔軟な働き方が実現している。

(n = 6,862) 基本目標⑫「雇用が安定的に確保され、多様な働き方ができるまち」に関連する下記の札幌市の目指す姿のなかで、あなたが重要だと思うものすべてを選択してください。



上記以外に重要だと思うもの (FA)

カテゴリ	記述内容抜粋
賃金底上げと処遇改善	・札幌は賃金が物価に見合っておらず、最低賃金の底上げと首都圏並みの水準への引き上げが必要だ。 ・介護・医療・保育などエッセンシャルワーカーの賃金を引き上げ、人材を確保すべきだ。
多様就労と両立支援	・子育てや介護、闘病中でも希望すれば働き続けられる柔軟な勤務やテレワークを標準化すべきだ。 ・産休・育休や病気休暇の取得を中小企業でも受けやすいよう、市の支援と企業体制の整備を進めるべきだ。
人材確保・育成と再チャレンジ	・社会人インターンや職場見学、リスキリングの機会を拡充し、学び直しから就労につなげるべきだ。 ・運転手や建設など人手不足の職種を、市が福利厚生面で重点的に後押しし、人材確保と雇用安定を図るべきだ。
実効性ある施策とガバナンス	・「支援しました」で終わらせず、企業ニーズに合う直接的支援と結果検証を行い、未達なら施策を見直すべきだ。 ・ハローワークや行政の相談機能の質を高め、前職の経験を活かせる仕事に結びつけるべきだ。
テレワーク・AI活用と生産性	・完全在宅やフルリモートの直接雇用を増やし、短時間・週2日など柔軟な働き方を広げるべきだ。 ・AI、IT活用の教育機会を拡充し、未経験者やブランク人材の活躍につながる基盤を整備すべきだ。

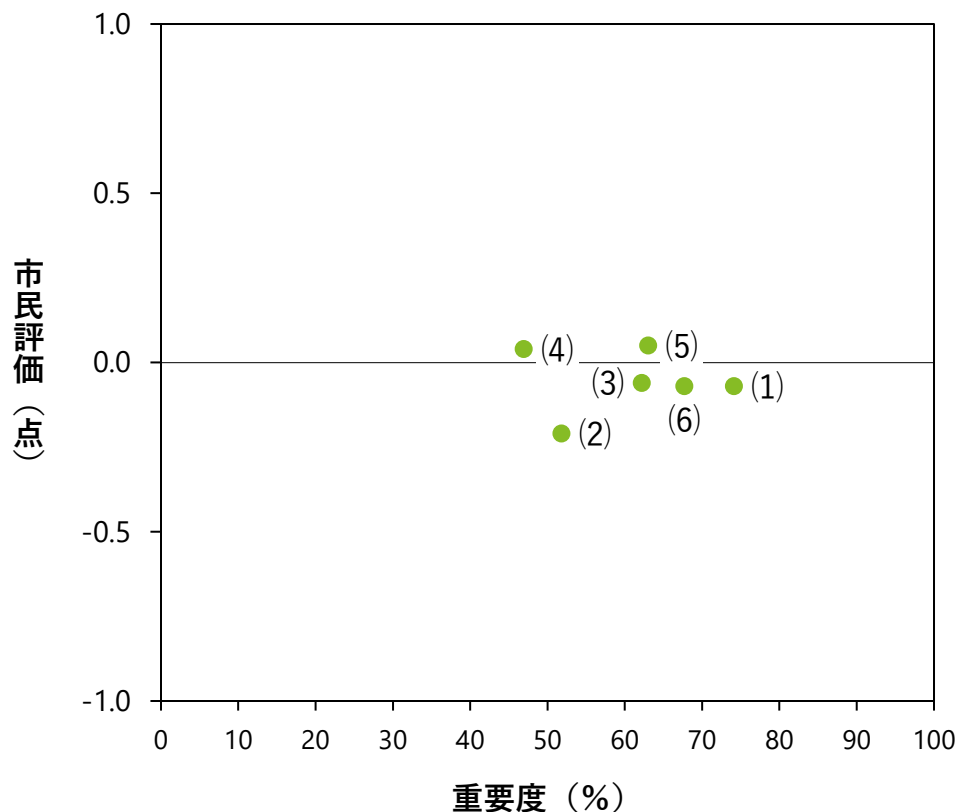
* 回答の多い内容を集約し、カテゴライズ。
実際の回答を記載（弊社にて必要に応じて文言調整）

経済分野

基本目標⑫「雇用が安定的に確保され、多様な働き方ができるまち」

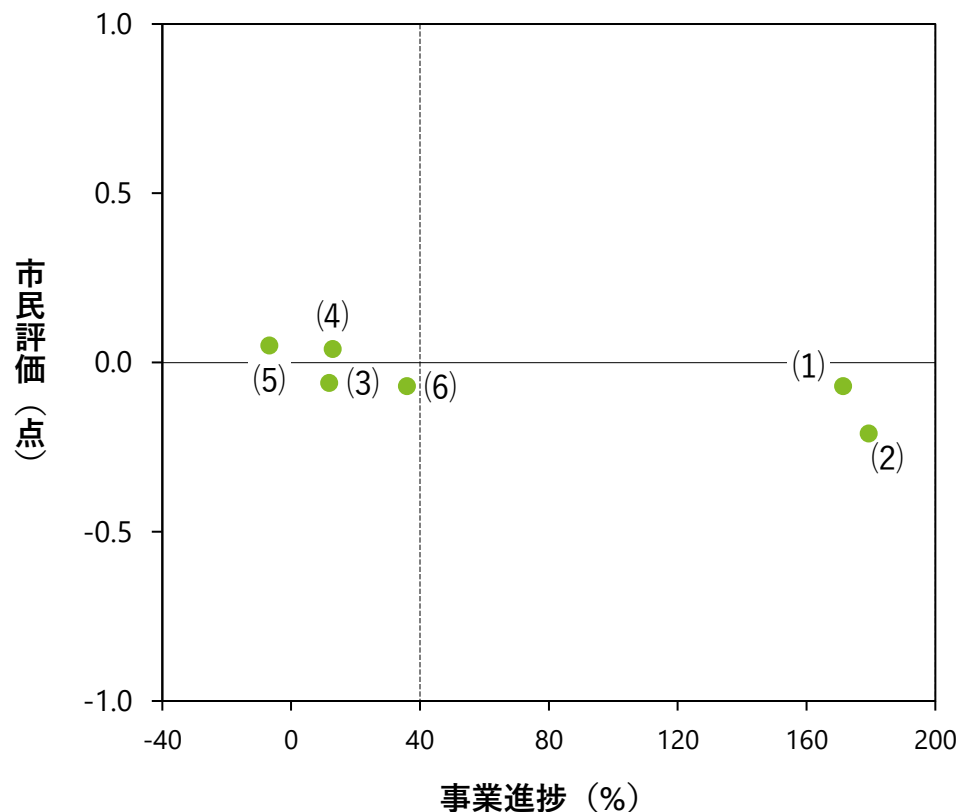
目指す姿の市民評価×重要度

(n = 6,862)



目指す姿の市民評価×事業進捗

(n = 6,862)



目指す姿	(1)安心して働くことができる魅力的な雇用が安定的に確保されている。	(2)企業が必要とする人材を確保できている。	(3)自身の能力を発揮し、やりがいや充実感を得ながら働くことができる。
	(4)高い専門性を生かすことができる職場がある。	(5)幅広い年代の人材が活躍できている。	(6)働きやすい職場環境が整備され、多様で柔軟な働き方が実現している。

経済分野

基本目標⑫「雇用が安定的に確保され、多様な働き方ができるまち」

基本目標に (n = 6,862)

対する評価
【詳細版】

		R4 (n=3,292)	R5 (n=2,013)	R6 (n=2,494)	R7 (n=6,862)	R7-R6
全体		2.84	2.83	2.85	2.87	0.02
年代別	10代	3.39	3.14	3.22	3.46	0.24
	20代	3.06	3.17	3.10	3.24	0.14
	30代	2.74	2.71	2.80	2.90	0.10
	40代	2.77	2.72	2.60	2.71	0.11
	50代	2.79	2.72	2.82	2.72	-0.10
	60代	2.71	2.68	2.73	2.71	-0.02
	70代以上	2.77	2.86	2.81	2.91	0.10
性別	男性	2.84	2.78	2.86	2.92	0.06
	女性	2.87	2.88	2.85	2.80	-0.05
	その他	2.61	2.60	2.65	2.46	-0.19
区別	中央区	2.81	2.89	2.84	2.79	-0.05
	北区	2.89	2.79	2.87	2.84	-0.03
	東区	2.76	2.79	2.89	2.80	-0.09
	白石区	2.87	2.80	2.79	2.85	0.06
	厚別区	2.87	2.89	2.88	2.89	0.01
	豊平区	2.89	2.75	2.82	2.93	0.11
	清田区	2.89	2.82	2.80	2.81	0.01
	南区	2.79	2.81	2.91	2.76	-0.15
	西区	2.83	2.83	2.89	2.85	-0.04
	手稲区	2.87	2.90	2.81	2.88	0.07
18歳以下の子ども有無	有	2.88	2.82	2.86	2.90	0.04
	無	2.83	2.83	2.85	2.81	-0.04

基本目標⑫ | 目指す姿の経年変化 全体・年代別

		基本目標⑫「雇用が安定的に確保され、多様な働き方ができるまち」												
		サンプル数	安心して働くことができる魅力的な雇用が安定的に確保されている。	R7-R6	企業が必要とする人材を確保できている。	R7-R6	自身の能力を発揮し、やりがいや充実感を得ながら働くことができる。	R7-R6	高い専門性を生かすことができる職場がある。	R7-R6	幅広い年代の人材が活躍できている。	R7-R6	働きやすい職場環境が整備され、多様な柔軟な働き方が実現している。	R7-R6
全体		R4 3,292	-0.20		-0.26		-0.12		0.02		0.12		-0.15	
		R5 2,013	-0.23		-0.32		-0.14		0.06		0.14		-0.17	
		R6 2,494	-0.17		-0.30		-0.12		0.02		0.11		-0.14	
		R7 6,862	-0.07	0.10	-0.21	0.09	-0.06	0.06	0.04	0.02	0.05	-0.06	-0.07	0.07
年代別	10代	R4 306	0.07		0.00		0.07		0.19		0.18		0.04	
		R5 146	0.08		0.08		0.10		0.31		0.36		0.10	
		R6 210	0.12		0.03		0.09		0.20		0.28		0.01	
		R7 218	0.27	0.15	0.25	0.22	0.29	0.20	0.42	0.22	0.43	0.15	0.27	0.26
	20代	R4 435	-0.04		-0.12		-0.05		0.14		0.29		-0.02	
		R5 253	0.00		-0.13		0.06		0.30		0.43		0.02	
		R6 438	-0.03		-0.25		-0.06		0.08		0.26		-0.06	
		R7 674	0.15	0.18	-0.06	0.19	0.12	0.18	0.26	0.18	0.32	0.06	0.14	0.20
	30代	R4 468	-0.25		-0.33		-0.12		0.01		0.21		-0.23	
		R5 301	-0.23		-0.44		-0.20		0.03		0.19		-0.29	
		R6 362	-0.15		-0.34		-0.09		0.04		0.17		-0.14	
		R7 1,169	-0.03	0.12	-0.25	0.09	-0.04	0.05	0.10	0.06	0.18	0.01	-0.03	0.11
	40代	R4 469	-0.18		-0.36		-0.08		0.04		0.11		-0.17	
		R5 303	-0.30		-0.47		-0.20		0.08		0.16		-0.22	
		R6 303	-0.32		-0.42		-0.22		-0.02		0.08		-0.24	
		R7 1,414	-0.18	0.14	-0.33	0.09	-0.13	0.09	-0.02	0.00	0.02	-0.06	-0.14	0.10
	50代	R4 510	-0.25		-0.33		-0.21		-0.03		0.14		-0.19	
		R5 234	-0.29		-0.38		-0.23		-0.09		0.04		-0.27	
		R6 376	-0.28		-0.42		-0.14		0.01		0.02		-0.18	
		R7 1,490	-0.18	0.10	-0.32	0.10	-0.16	-0.02	-0.05	-0.06	-0.07	-0.09	-0.16	0.02
	60代	R4 402	-0.34		-0.36		-0.22		-0.08		-0.05		-0.24	
		R5 298	-0.41		-0.47		-0.21		-0.05		-0.04		-0.26	
		R6 355	-0.23		-0.32		-0.17		-0.08		0.00		-0.22	
		R7 1,093	-0.13	0.10	-0.24	0.08	-0.16	0.01	-0.07	0.01	-0.09	-0.09	-0.16	0.06
	70代以上	R4 682	-0.28		-0.25		-0.16		-0.03		0.01		-0.17	
		R5 465	-0.25		-0.23		-0.16		-0.01		0.02		-0.14	
		R6 423	-0.23		-0.28		-0.15		-0.03		0.02		-0.14	
		R7 804	-0.06	0.17	-0.17	0.11	-0.06	0.09	0.01	0.04	-0.02	-0.04	-0.08	0.06

基本目標⑫ | 目指す姿の経年変化 区別

		基本目標⑫「雇用が安定的に確保され、多様な働き方ができるまち」													
区別		サンプル数	安心して働くことができる魅力的な雇用が安定的に確保されている。	R7-R6	企業が必要とする人材を確保できている。	R7-R6	自身の能力を発揮し、やりがいや充実感を得ながら働くことができる。	R7-R6	高い専門性を生かすことができる職場がある。	R7-R6	幅広い年代の人材が活躍できている。	R7-R6	働きやすい職場環境が整備され、多様な柔軟な働き方が実現している。	R7-R6	
			中央区	R4	351	-0.23		-0.25		-0.13		-0.04		0.01	
	R5	206	-0.21		-0.32		-0.17		-0.04		0.15		-0.11		
	R6	247	-0.19		-0.29		-0.06		0.03		0.10		-0.10		
	R7	959	-0.09	0.10	-0.18	0.11	-0.09	-0.03	0.03	0.00	0.01	-0.09	-0.09	0.01	
北区	R4	314	-0.21		-0.23		-0.11		0.03		0.15		-0.10		
	R5	196	-0.26		-0.35		-0.23		0.02		0.15		-0.20		
	R6	246	-0.14		-0.25		-0.04		0.02		0.13		-0.04		
	R7	925	-0.07	0.07	-0.23	0.02	-0.06	-0.02	0.06	0.04	0.05	-0.08	-0.08	-0.04	
東区	R4	318	-0.28		-0.27		-0.10		0.03		0.10		-0.16		
	R5	199	-0.21		-0.29		-0.08		0.04		0.12		-0.15		
	R6	245	-0.19		-0.31		-0.16		0.00		0.13		-0.23		
	R7	887	-0.13	0.06	-0.26	0.05	-0.12	0.04	-0.01	-0.01	0.02	-0.11	-0.10	0.13	
白石区	R4	276	-0.20		-0.26		-0.12		0.07		0.13		-0.13		
	R5	176	-0.23		-0.41		-0.20		-0.05		0.14		-0.24		
	R6	226	-0.25		-0.30		-0.07		-0.02		0.11		-0.23		
	R7	659	-0.08	0.17	-0.24	0.06	-0.07	0.00	0.04	0.06	0.08	-0.03	-0.08	0.15	
厚別区	R4	339	-0.17		-0.26		-0.12		0.10		0.16		-0.10		
	R5	205	-0.23		-0.26		-0.05		0.15		0.19		-0.16		
	R6	260	-0.15		-0.30		-0.13		0.02		0.07		-0.15		
	R7	425	-0.07	0.08	-0.19	0.11	-0.08	0.05	0.02	0.00	0.02	-0.05	-0.07	0.08	
豊平区	R4	310	-0.22		-0.26		-0.14		-0.02		0.12		-0.12		
	R5	196	-0.19		-0.32		-0.21		0.04		0.10		-0.17		
	R6	231	-0.12		-0.27		-0.15		-0.01		0.07		-0.14		
	R7	817	-0.05	0.07	-0.24	0.03	-0.02	0.13	0.07	0.08	0.11	0.04	-0.05	0.09	
清田区	R4	346	-0.18		-0.27		-0.13		0.02		0.15		-0.14		
	R5	199	-0.19		-0.30		-0.09		0.06		0.14		-0.19		
	R6	217	-0.21		-0.32		-0.14		0.10		0.12		-0.17		
	R7	401	-0.10	0.11	-0.23	0.09	-0.12	0.02	0.03	-0.07	0.05	-0.07	-0.12	0.05	
南区	R4	352	-0.22		-0.30		-0.16		-0.03		0.12		-0.20		
	R5	188	-0.27		-0.31		-0.06		0.09		0.07		-0.19		
	R6	256	-0.15		-0.36		-0.12		0.01		0.09		-0.11		
	R7	536	-0.09	0.06	-0.27	0.09	-0.07	0.05	0.00	-0.01	0.05	-0.04	-0.08	0.03	
西区	R4	346	-0.14		-0.24		-0.14		0.06		0.12		-0.16		
	R5	236	-0.21		-0.30		-0.10		0.11		0.14		-0.15		
	R6	277	-0.10		-0.27		-0.14		0.00		0.10		-0.17		
	R7	803	-0.09	0.01	-0.24	0.03	-0.10	0.04	0.00	0.00	0.04	-0.06	-0.08	0.09	
手稲区	R4	309	-0.18		-0.28		-0.09		0.01		0.13		-0.22		
	R5	197	-0.25		-0.34		-0.23		0.17		0.18		-0.18		
	R6	246	-0.26		-0.35		-0.12		0.04		0.16		-0.11		
	R7	450	-0.09	0.17	-0.29	0.06	-0.08	0.04	0.06	0.02	0.02	-0.14	-0.08	0.03	

基本目標⑫ | 目指す姿の経年変化 性別・子ども有無別

		基本目標⑫「雇用が安定的に確保され、多様な働き方ができるまち」													
		サンプル数	安心して働くことができる魅力的な雇用が安定的に確保されている。	R7-R6	企業が必要とする人材を確保できている。	R7-R6	自身の能力を発揮し、やりがいや充実感を得ながら働くことができている。	R7-R6	高い専門性を生かすことができる職場がある。	R7-R6	幅広い年代の人材が活躍できている。	R7-R6	働きやすい職場環境が整備され、多様な柔軟な働き方が実現している。	R7-R6	
性別	男性	R4	1,429	-0.20		-0.28		-0.14		0.04		0.11		-0.17	
		R5	895	-0.25		-0.37		-0.17		0.06		0.07		-0.18	
		R6	1,087	-0.19		-0.33		-0.13		0.03		0.09		-0.14	
		R7	2,985	-0.02	0.17	-0.20	0.13	-0.04	0.09	0.06	0.03	0.05	-0.04	-0.03	0.11
	女性	R4	1,651	-0.19		-0.23		-0.10		0.02		0.14		-0.13	
		R5	1,053	-0.20		-0.27		-0.10		0.06		0.20		-0.15	
		R6	1,326	-0.16		-0.28		-0.10		0.02		0.13		-0.15	
18歳以下の子供	有	R7	3,581	-0.13	0.03	-0.26	0.02	-0.10	0.00	0.01	-0.01	0.05	-0.08	-0.11	0.04
		R4	922	-0.18		-0.26		-0.07		0.06		0.19		-0.12	
		R5	574	-0.23		-0.33		-0.15		0.09		0.21		-0.18	
		R6	643	-0.17		-0.30		-0.10		0.03		0.13		-0.15	
	無	R7	2,172	-0.07	0.10	-0.24	0.06	-0.05	0.05	0.06	0.03	0.10	-0.03	-0.06	0.09
		R4	2,326	-0.21		-0.26		-0.15		0.01		0.09		-0.17	
		R5	1,420	-0.23		-0.31		-0.13		0.05		0.11		-0.17	
		R6	1,804	-0.17		-0.30		-0.12		0.01		0.10		-0.14	
		R7	4,690	-0.09	0.08	-0.23	0.07	-0.09	0.03	0.02	0.01	0.02	-0.08	-0.09	0.05

基本目標⑫ | 目指す姿の重要度 属性別

		基本目標⑫「雇用が安定的に確保され、多様な働き方ができるまち」						
		サンプル数	安心して働くことができる魅力的な雇用が安定的に確保されている。	企業が必要とする人材を確保できている。	自身の能力を発揮し、やりがいや充実感を得ながら働くことができている。	高い専門性を生かすことができる職場がある。	幅広い年代の人材が活躍できている。	働きやすい職場環境が整備され、多様で柔軟な働き方が実現している。
全体		6,862	74.1%	51.8%	62.2%	46.9%	63.0%	67.7%
年代別	10代	218	73.9%	52.3%	61.5%	53.7%	56.9%	68.3%
	20代	674	73.3%	51.5%	58.5%	44.5%	49.1%	65.0%
	30代	1,169	74.3%	52.3%	61.1%	44.0%	54.2%	69.9%
	40代	1,414	74.1%	56.5%	63.4%	47.6%	61.2%	72.6%
	50代	1,490	74.6%	50.9%	61.7%	44.8%	68.3%	68.7%
	60代	1,093	73.6%	49.8%	62.6%	46.8%	70.7%	66.5%
	70代以上	804	74.5%	51.4%	65.2%	51.4%	67.9%	64.8%
性別	男性	2,985	69.3%	52.5%	58.9%	46.8%	57.6%	59.2%
	女性	3,581	78.1%	52.2%	64.6%	46.2%	66.5%	75.8%
区別	中央区	959	74.7%	51.0%	65.5%	48.3%	64.2%	74.0%
	北区	925	72.7%	52.3%	64.9%	51.0%	62.9%	68.6%
	東区	887	73.2%	52.2%	61.2%	45.2%	62.1%	68.4%
	白石区	659	71.3%	50.1%	60.1%	44.9%	61.4%	66.0%
	厚別区	425	69.8%	49.6%	60.2%	38.5%	59.8%	64.6%
	豊平区	817	76.7%	50.6%	60.7%	47.8%	64.2%	69.6%
	清田区	401	74.1%	50.3%	58.9%	46.5%	60.0%	67.6%
	南区	536	75.6%	50.6%	62.1%	45.4%	65.8%	73.1%
	西区	803	76.7%	57.3%	66.4%	52.2%	65.7%	70.1%
	手稲区	450	77.7%	57.0%	63.6%	48.4%	63.3%	68.9%
	18歳以下の子供	有	2,172	73.7%	53.2%	61.3%	45.7%	58.9%
無		4,690	74.3%	51.8%	62.6%	47.0%	64.2%	67.5%

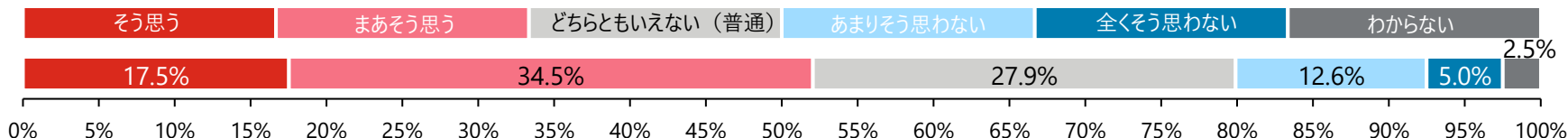
スポーツ・文化分野

基本目標⑬「世界屈指のウィンタースポーツシティ」

全体評価点* (前年比)	R4	R5	R6
3.49 (+0.05)	3.63	3.45	3.44

基本目標
の評価

(n = 6,862) 基本目標⑬「世界屈指のウィンタースポーツシティ」が実現していると思いますか。

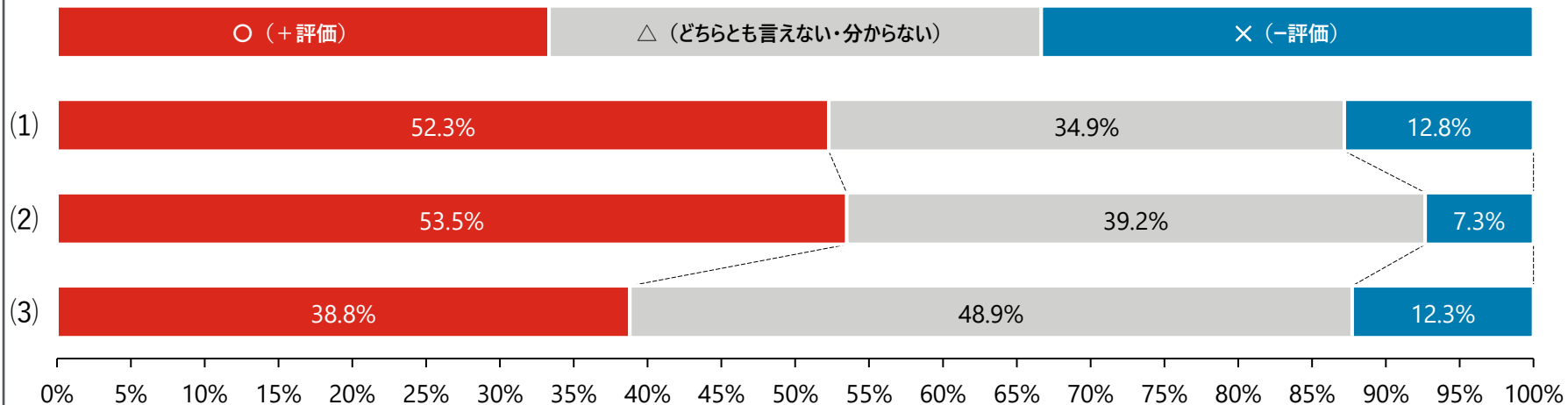


*そう思う=5点、まあそう思う=4点、どちらともいえない (普通) =3点、あまりそう思わない=2点、全くそう思わない=1点として回答の平均値で算出。(わからないは除外)

目指す姿
の評価

目指す姿	内容
(1)	身近なところでウィンタースポーツを楽しむことのできる環境が充実している。
(2)	札幌市で育ったウィンタースポーツのアスリートが国内外で活躍している。
(3)	大規模なウィンタースポーツ大会が誘致・開催されている。

(n = 6,862) 基本目標⑬「世界屈指のウィンタースポーツシティ」関連する下記の札幌市の目指す姿に対して、「○ (+評価)」、「△ (どちらとも言えない・わからない) 」または「× (-評価) 」のいずれかあてはまるものを選択してください。



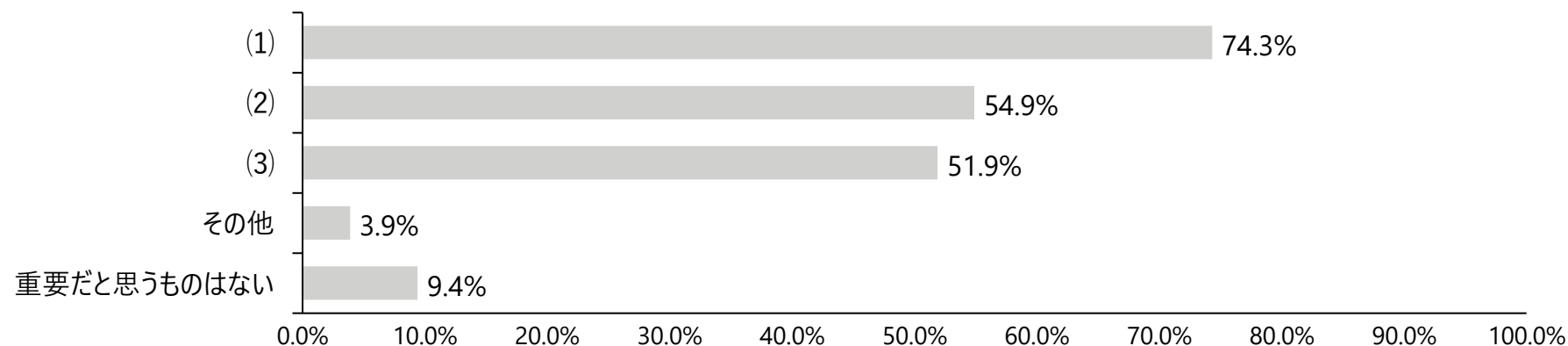
スポーツ・文化分野

基本目標⑬「世界屈指のウィンタースポーツシティ」

重要度の評価

目指す姿	(1)身近なところでウィンタースポーツを楽しむことのできる環境が充実している。	(2)札幌市で育ったウィンタースポーツのアスリートが国内外で活躍している。	(3)大規模なウィンタースポーツ大会が誘致・開催されている。
------	---	---------------------------------------	--------------------------------

(n = 6,862) 基本目標⑬「世界屈指のウィンタースポーツシティ」に関連する下記の札幌市の目指す姿のなかで、あなたが重要だと思うものすべてを選択してください。



上記以外に重要だと思うもの (FA)

カテゴリ	記述内容抜粋
市民身近化・低廉化	・札幌市民が安くスキー場チケットを買えるようにしてほしい、地元民向けの市民割や道民割を充実させるべきだ。 ・スキー学習のためのバス代やリフト代の負担が重いので、費用の公的支援を拡充してほしい。
学校体育と裾野拡大	・学校教育でのウィンタースポーツ授業を拡充し、小学生の頃から多様な競技に触れる機会を増やすべきだ。 ・障害のある子も含め、子どもが触れる機会の多様化と、無料や低額で参加できる環境づくりを進めるべきだ。
施設更新と安全対策	・1972年代の重要施設は老朽化が進んでおり、改修や更新を計画的に進める必要がある。 ・スキー場での子どもの死亡事故があり、安全管理・監視体制の強化と製品の安全基準の徹底が必要だ。
大会誘致と運営力強化	・国際大会や合宿の誘致には、英語対応、ボランティア体制、運営力の強化が不可欠だ。 ・札幌単独ではなく近隣市町村と連携し、ハブ機能を果たしながら効果的な施設配置と誘致を進めるべきだ。
除排雪・環境持続性	・安全・安心な運営を最優先し、ハコモノ偏重や無理なイベント誘致ではなく、日常の基盤整備を重視すべきだ。 ・大会時の渋滞やアクセス不便の解消に向け、公共交通の確保と冬道の運用改善を一体で進めるべきだ。

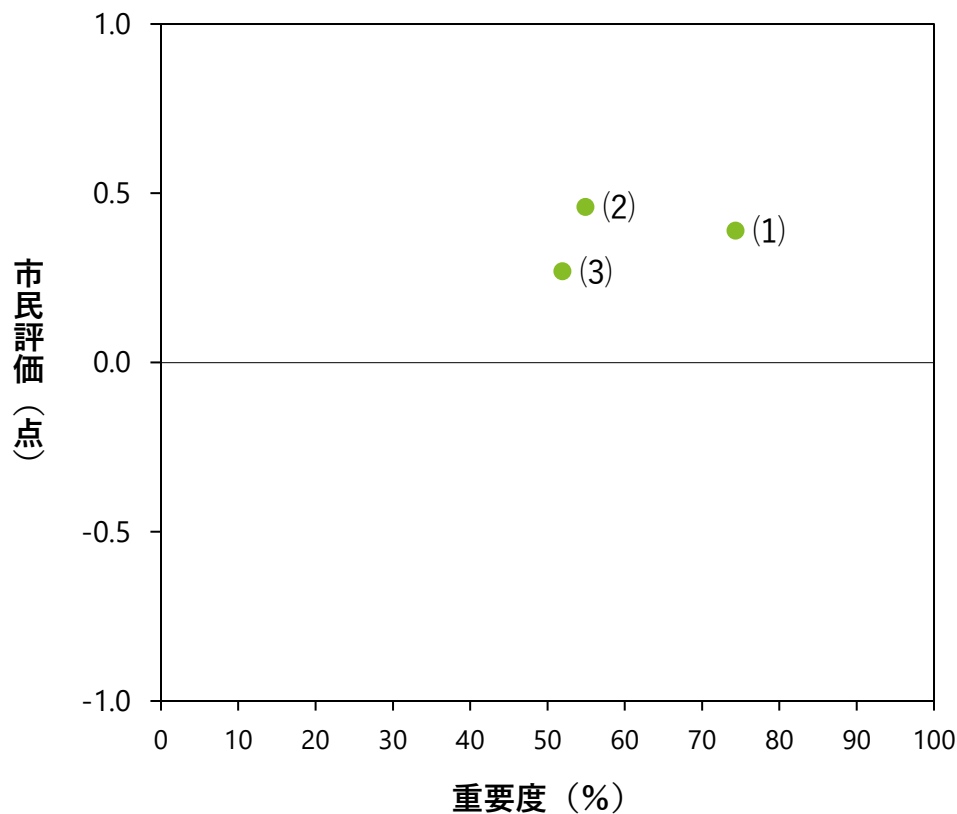
* 回答の多い内容を集約し、カテゴライズ。
実際の回答を記載（弊社にて必要に応じて文言調整）

スポーツ・文化分野

基本目標⑬「世界屈指のウィンタースポーツシティ」

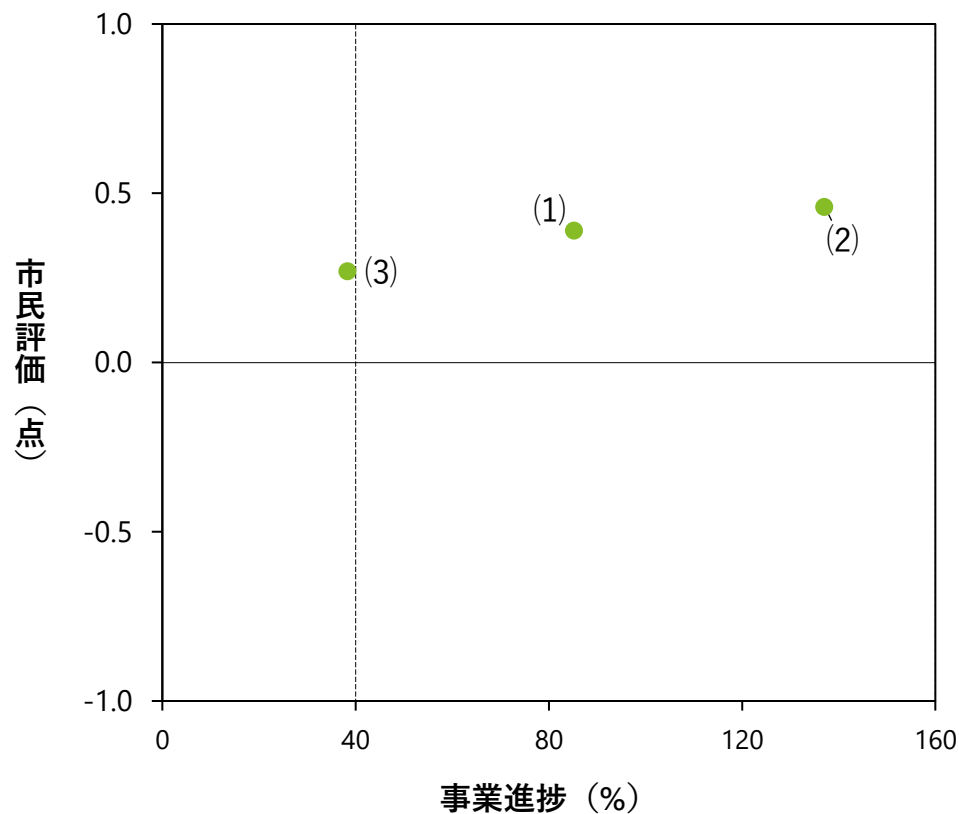
目指す姿の市民評価×重要度

(n = 6,862)



目指す姿の市民評価×事業進捗

(n = 6,862)



目指す姿

(1)身近なところでウィンタースポーツを楽しむことのできる環境が充実している。

(2)札幌市で育ったウィンタースポーツのアスリートが国内外で活躍している。

(3)大規模なウィンタースポーツ大会が誘致・開催されている。

スポーツ・文化分野

基本目標⑬「世界屈指のウインタースポーツシティ」

基本目標に
対する評価
【詳細版】

(n = 6,862)

		R4 (n=3,292)	R5 (n=2,013)	R6 (n=2,494)	R7 (n=6,862)	R7-R6
全体		3.63	3.45	3.44	3.49	0.05
年代別	10代	3.93	3.88	3.72	3.99	0.27
	20代	3.85	3.66	3.62	3.72	0.10
	30代	3.65	3.33	3.44	3.62	0.18
	40代	3.61	3.37	3.25	3.51	0.26
	50代	3.56	3.42	3.44	3.44	0.00
	60代	3.49	3.29	3.34	3.31	-0.03
	70代以上	3.48	3.45	3.33	3.33	0.00
性別	男性	3.59	3.33	3.39	3.43	0.04
	女性	3.69	3.56	3.49	3.57	0.08
	その他	3.39	3.29	3.11	3.02	-0.09
区別	中央区	3.67	3.57	3.50	3.54	0.04
	北区	3.62	3.29	3.43	3.45	0.02
	東区	3.56	3.52	3.40	3.41	0.01
	白石区	3.58	3.21	3.43	3.43	0.00
	厚別区	3.59	3.47	3.41	3.43	0.02
	豊平区	3.63	3.53	3.53	3.56	0.03
	清田区	3.59	3.24	3.30	3.54	0.24
	南区	3.76	3.57	3.47	3.55	0.08
	西区	3.66	3.53	3.45	3.55	0.10
	手稲区	3.62	3.52	3.43	3.49	0.06
18歳以下の子ども有無	有	3.71	3.45	3.49	3.60	0.11
	無	3.60	3.45	3.42	3.45	0.03

基本目標⑬ | 目指す姿の経年変化 全体・年代別

		基本目標⑬「世界屈指のウインタースポーツシティ」							
		サンプル数	身近なところでウインタースポーツを楽しむことのできる環境が充実している。	R7-R6	札幌市で育ったウインタースポーツのアスリートが国内外で活躍している。	R7-R6	大規模なウインタースポーツ大会が誘致・開催されている。	R7-R6	
全体		R4	3,292	0.50		0.43		0.27	
		R5	2,013	0.46		0.43		0.13	
		R6	2,494	0.38		0.38		0.15	
		R7	6,862	0.39	0.01	0.46	0.08	0.27	0.12
年代別	10代	R4	306	0.64		0.51		0.38	
		R5	146	0.64		0.48		0.26	
		R6	210	0.60		0.42		0.19	
		R7	218	0.65	0.05	0.59	0.17	0.42	0.23
	20代	R4	435	0.59		0.46		0.30	
		R5	253	0.60		0.52		0.21	
		R6	438	0.48		0.40		0.21	
		R7	674	0.46	-0.02	0.49	0.09	0.31	0.10
	30代	R4	468	0.53		0.40		0.27	
		R5	301	0.46		0.47		0.17	
		R6	362	0.41		0.32		0.19	
		R7	1,169	0.43	0.02	0.45	0.13	0.29	0.10
	40代	R4	469	0.57		0.42		0.25	
		R5	303	0.53		0.41		0.17	
		R6	303	0.32		0.34		0.09	
		R7	1,414	0.40	0.08	0.44	0.10	0.27	0.18
	50代	R4	510	0.51		0.43		0.26	
		R5	234	0.39		0.41		-0.01	
		R6	376	0.42		0.41		0.17	
		R7	1,490	0.38	-0.04	0.43	0.02	0.26	0.09
	60代	R4	402	0.37		0.43		0.25	
R5		298	0.30		0.41		0.08		
R6		355	0.26		0.39		0.09		
R7		1,093	0.29	0.03	0.45	0.06	0.23	0.14	
70代以上	R4	682	0.38		0.44		0.26		
	R5	465	0.45		0.40		0.10		
	R6	423	0.28		0.42		0.10		
	R7	804	0.38	0.10	0.48	0.06	0.24	0.14	

基本目標⑬ | 目指す姿の経年変化 区別

		基本目標⑬「世界屈指のウインタースポーツシティ」						
		サンプル数	身近なところでウインタースポーツを楽しむことのできる環境が充実している。	R7-R6	札幌市で育ったウインタースポーツのアスリートが国内外で活躍している。	R7-R6	大規模なウインタースポーツ大会が誘致・開催されている。	R7-R6
区別	中央区	R4	351	0.51		0.42		0.31
		R5	206	0.49		0.50		0.18
		R6	247	0.38		0.35		0.22
		R7	959	0.44	0.06	0.46	0.11	0.32
	北区	R4	314	0.47		0.48		0.29
		R5	196	0.34		0.41		0.06
		R6	246	0.29		0.39		0.12
		R7	925	0.32	0.03	0.42	0.03	0.23
	東区	R4	318	0.50		0.41		0.27
		R5	199	0.50		0.54		0.29
		R6	245	0.35		0.42		0.13
		R7	887	0.30	-0.05	0.39	-0.03	0.23
	白石区	R4	276	0.37		0.40		0.19
		R5	176	0.31		0.36		-0.06
		R6	226	0.27		0.29		0.06
		R7	659	0.32	0.05	0.43	0.14	0.23
	厚別区	R4	339	0.39		0.45		0.24
		R5	205	0.44		0.40		0.15
		R6	260	0.34		0.43		0.15
		R7	425	0.28	-0.06	0.46	0.03	0.25
	豊平区	R4	310	0.51		0.45		0.25
		R5	196	0.49		0.41		0.10
		R6	231	0.48		0.45		0.23
		R7	817	0.46	-0.02	0.48	0.03	0.25
	清田区	R4	346	0.52		0.43		0.25
		R5	199	0.33		0.44		0.08
		R6	217	0.27		0.30		0.15
		R7	401	0.42	0.15	0.48	0.18	0.28
	南区	R4	352	0.63		0.43		0.30
		R5	188	0.59		0.41		0.19
		R6	256	0.52		0.41		0.18
		R7	536	0.51	-0.01	0.49	0.08	0.28
	西区	R4	346	0.50		0.47		0.34
		R5	236	0.53		0.43		0.19
		R6	277	0.43		0.43		0.10
		R7	803	0.46	0.03	0.49	0.06	0.32
	手稲区	R4	309	0.58		0.42		0.29
		R5	197	0.62		0.45		0.10
		R6	246	0.46		0.35		0.13
		R7	450	0.42	-0.04	0.50	0.15	0.26

基本目標⑬ | 目指す姿の経年変化 性別・子ども有無別

		基本目標⑬「世界屈指のウィンタースポーツシティ」						
		サンプル数	身近なところでウィンタースポーツを楽しむことのできる環境が充実している。	R7-R6	札幌市で育ったウィンタースポーツのアスリートが国内外で活躍している。	R7-R6	大規模なウィンタースポーツ大会が誘致・開催されている。	R7-R6
性別	男性	R4	1,429	0.48		0.41		0.27
		R5	895	0.41		0.36		0.04
		R6	1,087	0.36		0.38		0.11
		R7	2,985	0.37	0.01	0.41	0.03	0.22
	女性	R4	1,651	0.53		0.47		0.30
		R5	1,053	0.51		0.51		0.20
		R6	1,326	0.42		0.40		0.19
		R7	3,581	0.42	0.00	0.51	0.11	0.32
18歳以下の子供	有	R4	922	0.62		0.48		0.29
		R5	574	0.52		0.47		0.13
		R6	643	0.48		0.38		0.19
		R7	2,172	0.45	-0.03	0.48	0.10	0.29
	無	R4	2,326	0.45		0.42		0.27
		R5	1,420	0.44		0.42		0.13
		R6	1,804	0.35		0.39		0.13
		R7	4,690	0.37	0.02	0.45	0.06	0.26

基本目標⑬ | 目指す姿の重要度 属性別

		サンプル数	基本目標⑬「世界屈指のウインタースポーツシティ」		
			身近なところでウインタースポーツを楽しむことのできる環境が充実している。	札幌市で育ったウインタースポーツのアスリートが国内外で活躍している。	大規模なウインタースポーツ大会が誘致・開催されている。
全体		6,862	74.3%	54.9%	51.9%
年代別	10代	218	78.0%	59.2%	63.8%
	20代	674	74.8%	49.3%	46.6%
	30代	1,169	72.6%	51.9%	45.3%
	40代	1,414	73.8%	54.1%	52.4%
	50代	1,490	71.7%	53.8%	51.8%
	60代	1,093	72.2%	57.4%	54.3%
	70代以上	804	78.7%	59.2%	54.2%
性別	男性	2,985	71.0%	53.7%	51.4%
	女性	3,581	76.3%	55.7%	52.2%
区別	中央区	959	69.6%	48.0%	41.2%
	北区	925	75.6%	57.6%	54.3%
	東区	887	71.4%	50.4%	49.8%
	白石区	659	72.4%	53.3%	48.5%
	厚別区	425	66.8%	53.7%	48.3%
	豊平区	817	75.1%	54.8%	52.9%
	清田区	401	73.4%	53.4%	50.9%
	南区	536	73.8%	55.4%	55.4%
	西区	803	77.1%	56.7%	53.2%
	手稲区	450	75.3%	56.9%	53.2%
18歳以下の子供	有	2,172	77.0%	53.4%	50.1%
	無	4,690	72.2%	55.0%	52.0%

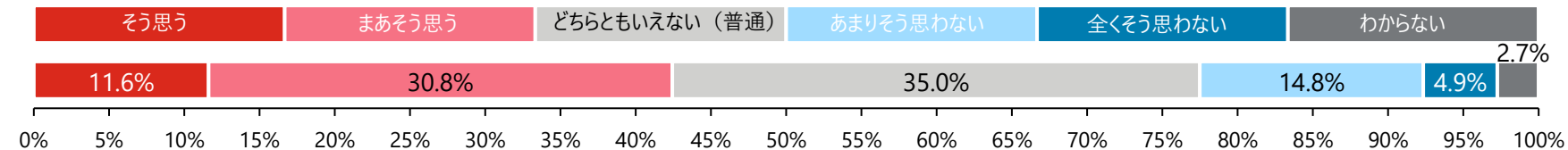
スポーツ・文化分野

基本目標⑭「四季を通じて誰もがスポーツを楽しむことができるまち」

全体評価点* (前年比)	R4	R5	R6
3.31 (▲0.09)	3.57	3.43	3.40

基本目標
の評価

(n = 6,862) 基本目標⑭「四季を通じて誰もがスポーツを楽しむことができるまち」が実現していると思いますか。

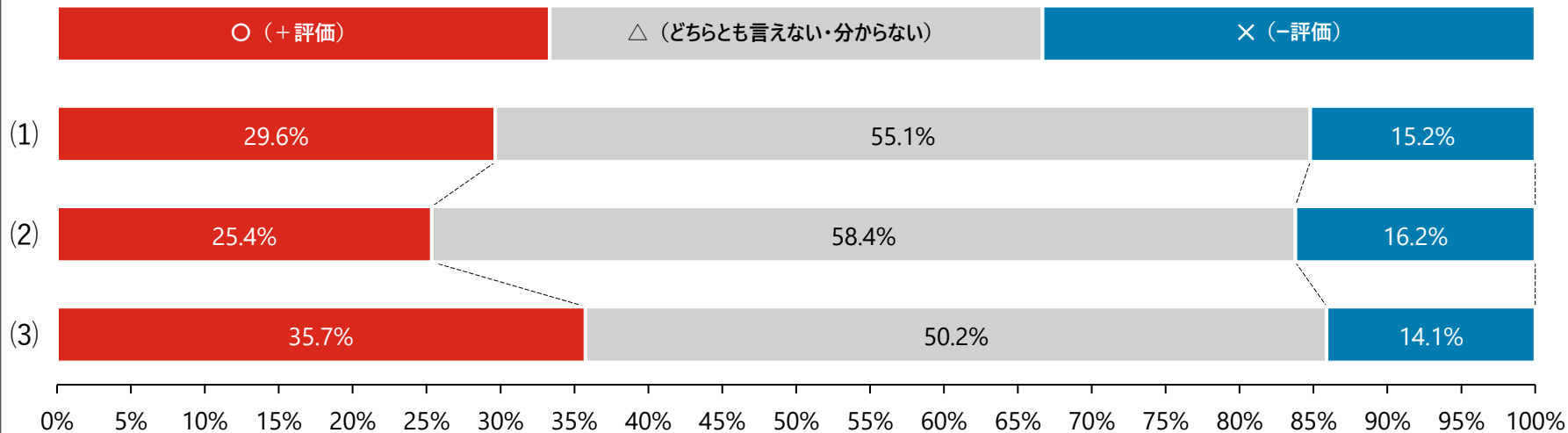


*そう思う=5点、まあそう思う=4点、どちらともいえない (普通) =3点、あまりそう思わない=2点、全くそう思わない=1点として回答の平均値で算出。(わからないは除外)

目指す姿
の評価

目指す姿	内容
(1)	誰もがスポーツを楽しみながら、心身共に健康で充実した生活を送っている。
(2)	スポーツで得られた知見が市民の健康づくりなどに生かされている。
(3)	スポーツをきっかけに国内外から人が訪れている。

(n = 6,862) 基本目標⑭「四季を通じて誰もがスポーツを楽しむことができるまち」に関連する下記の札幌市の目指す姿に対して、「○ (+評価)」、「△ (どちらとも言えない・わからない) 」または「× (-評価) 」のいずれかあてはまるものを選択してください。



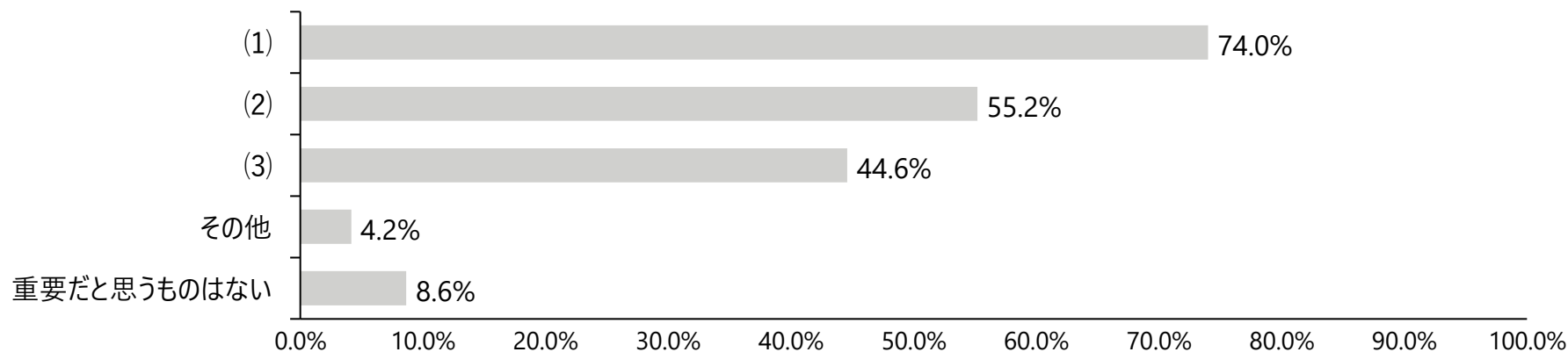
スポーツ・文化分野

基本目標⑭「四季を通じて誰もがスポーツを楽しむことができるまち」

重要度の評価

目指す姿	(1)誰もがスポーツを楽しみながら、心身共に健康で充実した生活を送っている。	(2)スポーツで得られた知見が市民の健康づくりなどに生かされている。	(3)スポーツをきっかけに国内外から人が訪れている。
------	--	------------------------------------	----------------------------

(n = 6,862) 基本目標⑭「四季を通じて誰もがスポーツを楽しむことができるまち」に関連する下記の札幌市の目指す姿のなかで、あなたが重要だと思うものすべてを選択してください。



上記以外に重要だと思うもの (FA)

カテゴリ	記述内容抜粋
低料金化と市民割引	・スキーは道具代やリフト代が高すぎるため、市民割引の充実とスケート場の増設を望む。 ・スポーツ施設の使用料が他の自治体と比べ桁違いに高いので、見直してほしい。
施設不足解消と開放	・体育館の一般開放時間が少なく、特に土日に子どもが使えないので改善してほしい。 ・市立体育館や学校開放の予約が取りづらく、家族や友人で楽しむ時間が確保しづらい。
通年対応・冬季対策強化	・夏季スポーツが冬季にできない、またはその逆の課題への取り組みが必要だ。 ・猛暑の夏に配慮した施設の確保など、季節に応じた対策が不十分だと感じる。
子どもなどの機会拡充・包摂	・子どもの頃からスポーツに親しむ体験を支援し、学校や地域で機会を増やしてほしい。 ・障がい者への配慮が欠けた施設があるため、パラスポーツ対応の体育館や専門施設の拡充が必要だ。
身近な運動空間と自転車道	・公園が充実している一方で、活用している人は少ないので、使いやすい工夫が必要だ。 ・公園に高齢者が筋力トレーニングできる健康遊具を整備してほしい。

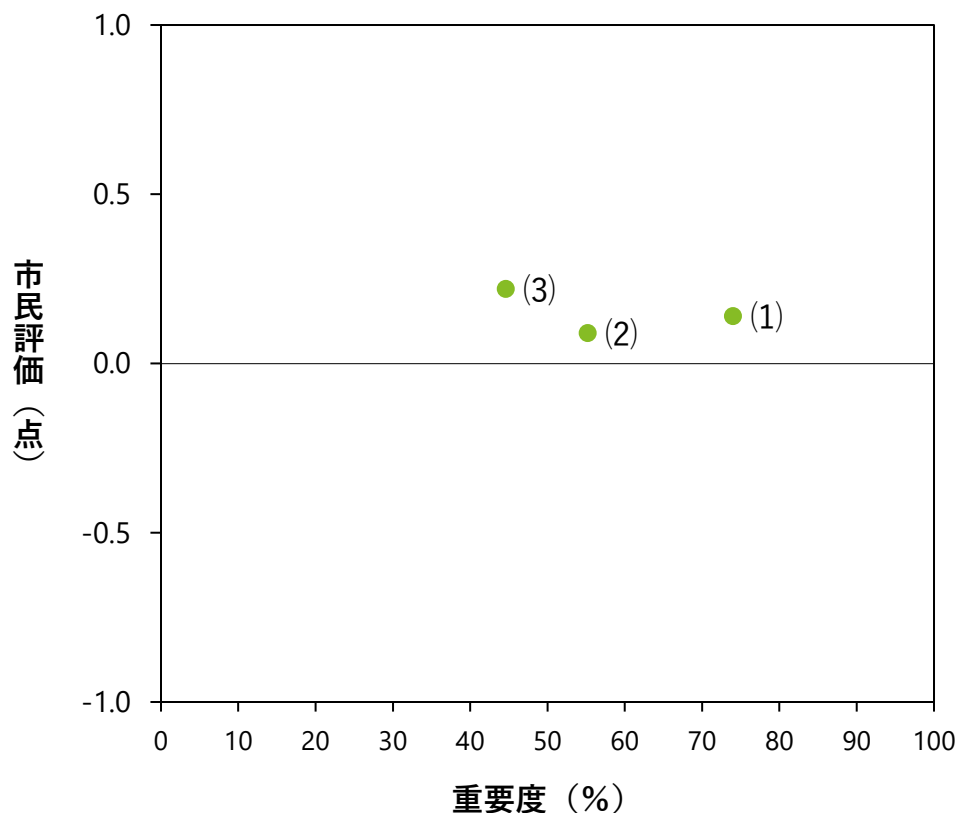
* 回答の多い内容を集約し、カテゴリイズ。
実際の回答を記載（弊社にて必要に応じて文言調整）

スポーツ・文化分野

基本目標⑭「四季を通じて誰もがスポーツを楽しむことができるまち」

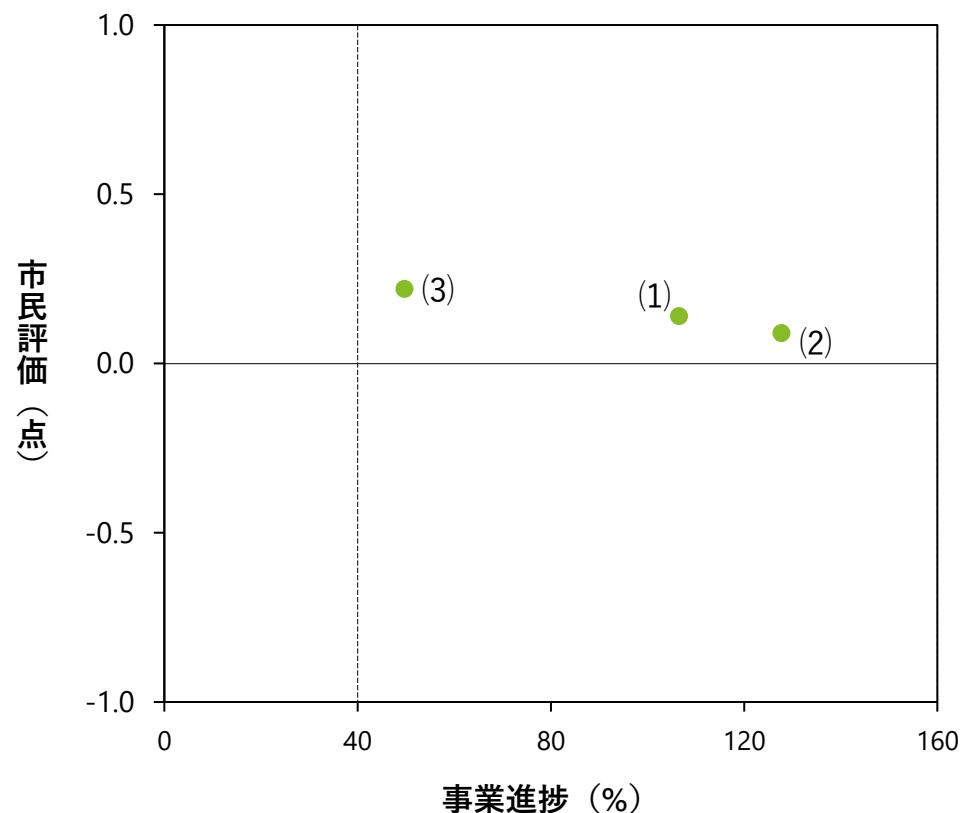
目指す姿の市民評価×重要度

(n = 6,862)



目指す姿の市民評価×事業進捗

(n = 6,862)



目指す姿

(1)誰もがスポーツを楽しみながら、心身共に健康で充実した生活を送っている。

(2)スポーツで得られた知見が市民の健康づくりなどに生かされている。

(3)スポーツをきっかけに国内外から人が訪れている。

スポーツ・文化分野

基本目標⑭「四季を通じて誰もがスポーツを楽しむことができるまち」

基本目標に
対する評価
【詳細版】

(n = 6,862)

		R4 (n=3,292)	R5 (n=2,013)	R6 (n=2,494)	R7 (n=6,862)	R7-R6
全体		3.57	3.43	3.40	3.31	-0.09
年代別	10代	3.92	3.84	3.71	3.87	0.16
	20代	3.69	3.63	3.48	3.55	0.07
	30代	3.52	3.39	3.43	3.35	-0.08
	40代	3.52	3.38	3.19	3.23	0.04
	50代	3.56	3.32	3.43	3.21	-0.22
	60代	3.41	3.27	3.31	3.17	-0.14
	70代以上	3.50	3.44	3.32	3.26	-0.06
性別	男性	3.58	3.36	3.39	3.28	-0.11
	女性	3.59	3.51	3.41	3.32	-0.09
	その他	3.33	3.34	3.26	2.90	-0.36
区別	中央区	3.58	3.48	3.36	3.28	-0.08
	北区	3.55	3.30	3.32	3.24	-0.08
	東区	3.49	3.51	3.36	3.25	-0.11
	白石区	3.55	3.30	3.32	3.25	-0.07
	厚別区	3.54	3.47	3.48	3.31	-0.17
	豊平区	3.63	3.35	3.46	3.39	-0.07
	清田区	3.59	3.35	3.26	3.31	0.05
	南区	3.65	3.59	3.49	3.25	-0.24
	西区	3.55	3.36	3.43	3.36	-0.07
	手稲区	3.57	3.63	3.45	3.28	-0.17
18歳以下の子ども有無	有	3.60	3.45	3.46	3.34	-0.12
	無	3.56	3.43	3.38	3.27	-0.11

基本目標⑭ | 目指す姿の経年変化 全体・年代別

		基本目標⑭「四季を通じて誰もがスポーツを楽しむことができるまち」						
		サンプル数	誰もがスポーツを楽しみながら、心身共に健康で充実した生活を送っている。	R7-R6	スポーツで得られた知見が市民の健康づくりなどに生かされている。	R7-R6	スポーツをきっかけに国内外から人が訪れている。	R7-R6
全体		R4	3,292	0.22	0.12		0.28	
		R5	2,013	0.10	0.06		0.24	
		R6	2,494	0.11	0.07		0.23	
		R7	6,862	0.14	0.09	0.02	0.22	-0.01
年代別	10代	R4	306	0.41	0.20		0.45	
		R5	146	0.37	0.25		0.39	
		R6	210	0.37	0.19		0.37	
		R7	218	0.46	0.38	0.19	0.54	0.17
	20代	R4	435	0.26	0.17		0.38	
		R5	253	0.28	0.09		0.41	
		R6	438	0.20	0.12		0.32	
		R7	674	0.27	0.22	0.10	0.36	0.04
	30代	R4	468	0.24	0.08		0.34	
		R5	301	0.04	-0.06		0.23	
		R6	362	0.12	0.12		0.24	
		R7	1,169	0.19	0.15	0.03	0.24	0.00
	40代	R4	469	0.25	0.07		0.23	
		R5	303	0.05	0.02		0.23	
		R6	303	-0.03	-0.02		0.11	
		R7	1,414	0.10	0.04	0.06	0.18	0.07
	50代	R4	510	0.18	0.14		0.28	
		R5	234	0.03	-0.01		0.18	
		R6	376	0.09	0.01		0.22	
		R7	1,490	0.08	0.04	0.03	0.18	-0.04
	60代	R4	402	0.07	0.05		0.18	
R5		298	-0.06	-0.03		0.15		
R6		355	0.03	0.01		0.17		
R7		1,093	0.06	0.01	0.00	0.12	-0.05	
70代以上	R4	682	0.19	0.15		0.21		
	R5	465	0.14	0.17		0.20		
	R6	423	0.08	0.08		0.19		
	R7	804	0.14	0.07	-0.01	0.19	0.00	

基本目標⑭ | 目指す姿の経年変化 区別

		基本目標⑭「四季を通じて誰もがスポーツを楽しむことができるまち」							
区別	サンプル数	誰もがスポーツを楽しみながら、心身共に健康で充実した生活を送っている		スポーツで得られた知見が市民の健康づくりなどに生かされている。		スポーツをきっかけに国内外から人が訪れている。		R7-R6	
		R7-R6	R7-R6	R7-R6	R7-R6	R7-R6			
中央区	R4	351	0.19		0.12		0.31		
	R5	206	0.17		0.05		0.27		
	R6	247	0.15		0.05		0.14		
	R7	959	0.14	-0.01	0.10	0.05	0.23	0.09	
	北区	R4	314	0.24		0.16		0.30	
		R5	196	0.04		-0.08		0.23	
		R6	246	0.04		0.04		0.23	
	R7	925	0.13	0.09	0.10	0.06	0.21	-0.02	
	東区	R4	318	0.21		0.06		0.31	
		R5	199	0.17		0.17		0.31	
		R6	245	0.01		0.04		0.27	
		R7	887	0.08	0.07	0.05	0.01	0.18	-0.09
	白石区	R4	276	0.27		0.12		0.28	
		R5	176	-0.01		0.01		0.10	
		R6	226	0.10		0.01		0.15	
		R7	659	0.10	0.00	0.08	0.07	0.18	0.03
	厚別区	R4	339	0.20		0.11		0.28	
		R5	205	0.08		0.15		0.27	
		R6	260	0.16		0.13		0.22	
		R7	425	0.16	0.00	0.08	-0.05	0.20	-0.02
	豊平区	R4	310	0.22		0.19		0.27	
		R5	196	0.07		0.04		0.20	
		R6	231	0.18		0.06		0.26	
		R7	817	0.18	0.00	0.11	0.05	0.23	-0.03
	清田区	R4	346	0.23		0.14		0.24	
		R5	199	0.15		-0.04		0.12	
		R6	217	0.01		0.09		0.25	
		R7	401	0.14	0.13	0.08	-0.01	0.19	-0.06
南区	R4	352	0.23		0.12		0.30		
	R5	188	0.16		0.08		0.26		
	R6	256	0.19		0.09		0.29		
	R7	536	0.16	-0.03	0.10	0.01	0.20	-0.09	
西区	R4	346	0.19		0.12		0.27		
	R5	236	0.08		0.04		0.24		
	R6	277	0.12		0.08		0.19		
	R7	803	0.17	0.05	0.09	0.01	0.25	0.06	
手稲区	R4	309	0.20		0.11		0.28		
	R5	197	0.13		0.13		0.34		
	R6	246	0.11		0.08		0.23		
	R7	450	0.12	0.01	0.08	0.00	0.21	-0.02	

基本目標⑭ | 目指す姿の経年変化 性別・子ども有無別

		基本目標⑭「四季を通じて誰もがスポーツを楽しむことができるまち」						
		サンプル数	誰もがスポーツを楽しみながら、心身共に健康で充実した生活を送っている。	R7-R6	スポーツで得られた知見が市民の健康づくりなどに生かされている。	R7-R6	スポーツをきっかけに国内外から人が訪れている。	R7-R6
性別	男性	R4	1,429	0.25		0.14		0.27
		R5	895	0.11		0.06		0.20
		R6	1,087	0.15		0.06		0.17
		R7	2,985	0.17	0.02	0.09	0.03	0.20
	女性	R4	1,651	0.20		0.13		0.31
		R5	1,053	0.11		0.07		0.27
		R6	1,326	0.09		0.07		0.27
		R7	3,581	0.13	0.04	0.09	0.02	0.23
18歳以下の子供	有	R4	922	0.29		0.13		0.33
		R5	574	0.09		0.01		0.26
		R6	643	0.15		0.06		0.22
		R7	2,172	0.16	0.01	0.10	0.04	0.23
	無	R4	2,326	0.19		0.12		0.27
		R5	1,420	0.11		0.07		0.23
		R6	1,804	0.10		0.07		0.23
		R7	4,690	0.13	0.03	0.08	0.01	0.20

基本目標⑭ | 目指す姿の重要度 属性別

		基本目標⑭「四季を通じて誰もがスポーツを楽しむことができるまち」			
		サンプル数	誰もがスポーツを楽しみながら、心身共に健康で充実した生活を送っている。	スポーツで得られた知見が市民の健康づくりなどに生かされている。	スポーツをきっかけに国内外から人が訪れている。
全体		6,862	74.0%	55.2%	44.6%
年代別	10代	218	78.9%	58.7%	57.3%
	20代	674	74.3%	51.3%	41.8%
	30代	1,169	71.0%	51.2%	38.5%
	40代	1,414	73.0%	54.6%	44.1%
	50代	1,490	70.8%	52.1%	44.8%
	60代	1,093	73.4%	54.7%	43.4%
	70代以上	804	78.1%	61.9%	47.9%
性別	男性	2,985	70.5%	52.9%	45.0%
	女性	3,581	75.6%	55.7%	43.8%
区別	中央区	959	71.3%	48.3%	33.4%
	北区	925	75.2%	54.6%	44.5%
	東区	887	73.1%	49.8%	43.2%
	白石区	659	68.7%	52.9%	45.0%
	厚別区	425	68.1%	50.8%	40.5%
	豊平区	817	77.6%	56.2%	42.6%
	清田区	401	73.3%	53.1%	43.7%
	南区	536	71.8%	53.9%	46.9%
	西区	803	74.3%	57.1%	45.9%
	手稲区	450	75.6%	58.8%	45.2%
18歳以下の子供	有	2,172	74.1%	52.6%	43.4%
	無	4,690	72.7%	54.9%	44.1%

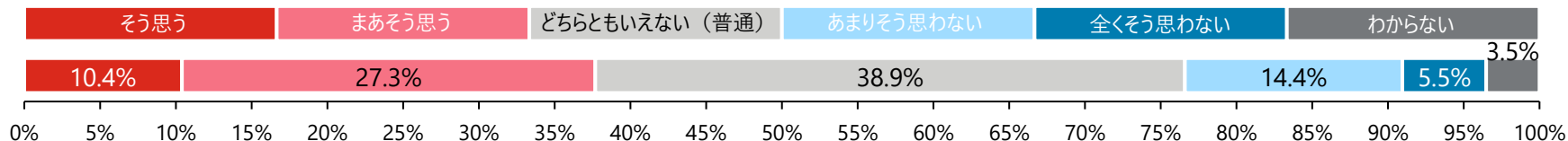
スポーツ・文化分野

基本目標⑮「文化芸術が心の豊かさや創造性を育み、世界とつながるまち」

全体評価点* (前年比)	R4	R5	R6
3.24 (▲0.05)	3.36	3.31	3.29

基本目標
の評価

(n = 6,862) 基本目標⑮「文化芸術が心の豊かさや創造性を育み、世界とつながるまち」が実現していると思いますか。

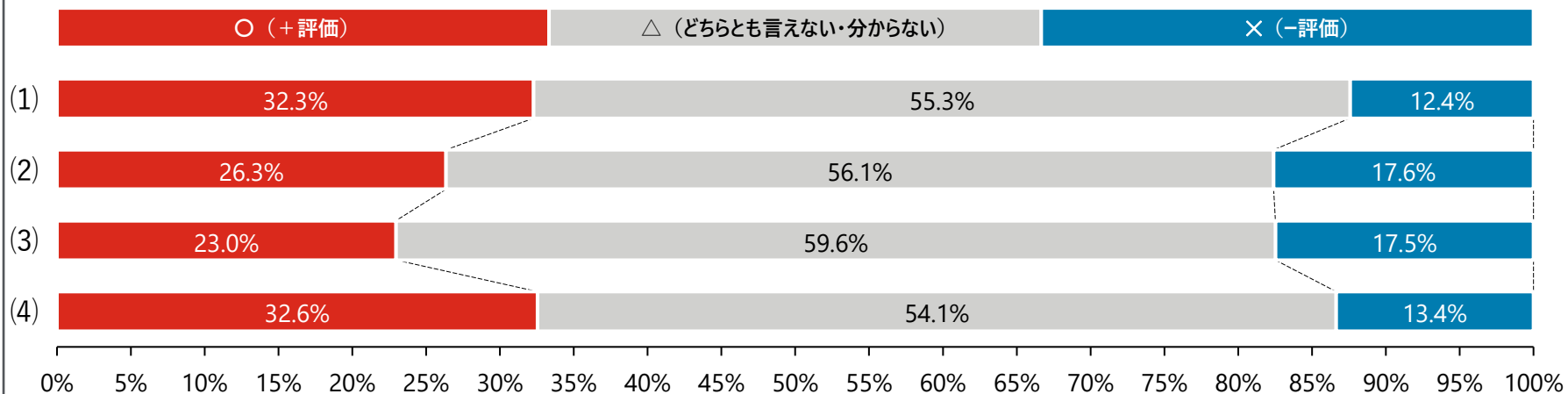


*そう思う=5点、まあそう思う=4点、どちらともいえない (普通) =3点、あまりそう思わない=2点、全くそう思わない=1点として回答の平均値で算出。(わからないは除外)

目指す姿
の評価

目指す姿	内容
	(1)誰もが文化芸術に親しみ、創作や表現ができる環境が整い、多様な価値観が受け入れられている。
	(4)文化・文化財が適切に保存され様々な形で生かされているとともに、札幌市への愛着が深まり、札幌市の自然・歴史・文化が継承されている。
	(2)札幌市ならではの文化が育まれ、世界に発信され、多くの人が集まっている。
	(3)札幌市ならではの文化と様々な分野との連携によって新たな価値が創出されている。

(n = 6,862) 基本目標⑮「文化芸術が心の豊かさや創造性を育み、世界とつながるまち」に関連する下記の札幌市の目指す姿に対して、「○ (+評価)」、「△ (どちらとも言えない・わからない)」または「× (-評価)」のいずれかあてはまるものを選択してください。



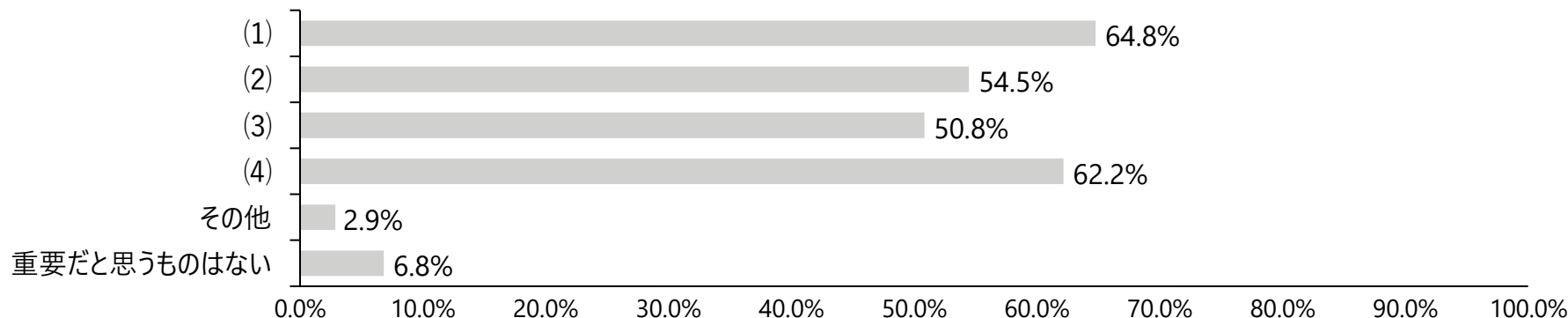
スポーツ・文化分野

基本目標⑮「文化芸術が心の豊かさや創造性を育み、世界とつながるまち」

重要度の評価

目指す姿	(1)誰もが文化芸術に親しみ、創作や表現ができる環境が整い、多様な価値観が受け入れられている。	(2)札幌市ならではの文化が育まれ、世界に発信され、多くの人が集まっている。	(3)札幌市ならではの文化と様々な分野との連携によって新たな価値が創出されている。
	(4)文化・文化財が適切に保存され様々な形で生かされているとともに、札幌市への愛着が深まり、札幌市の自然・歴史・文化が継承されている。		

(n = 6,862) 基本目標⑮「文化芸術が心の豊かさや創造性を育み、世界とつながるまち」に関連する下記の札幌市の目指す姿のなかで、あなたが重要だと思うものすべてを選択してください。



上記以外に重要だと思うもの (FA)

カテゴリ	記述内容抜粋
文化施設充実・利便性向上	・道立近代美術館や芸術の森は公共交通で行きにくいのが気になる。 ・博物館や美術館が少なく、施設が足りないと感じる。
料金負担軽減・参加促進	・老若男女すべての市民が芸術に触れやすい価格で気軽に楽しめる環境が望ましい。 ・チケット代が高騰し、手頃な中規模イベントが少ないと感じる。
子ども文化体験の拡充	・子どもたちが音楽、絵画、演劇に触れられる機会をたくさん作ってほしい。 ・小学校の頃に札幌交響楽団の演奏を聴けた体験が素晴らしかったので、ぜひ続けてほしい。
文化財保存と歴史継承	・歴史の浅い札幌だからこそ、古いものを大切にし歴史を積み重ねるべきだと考える。 ・札幌の歴史をわかりやすくアピールし、時計台の成り立ちや市民の思いを伝えてほしい。
札幌独自文化の明確化	・札幌市ならではの文化が分からないので、まず見直すべきだと感じる。 ・歴史が浅い街で誇れる文化が少ないことを認識し、独自の文化を育ててほしい。

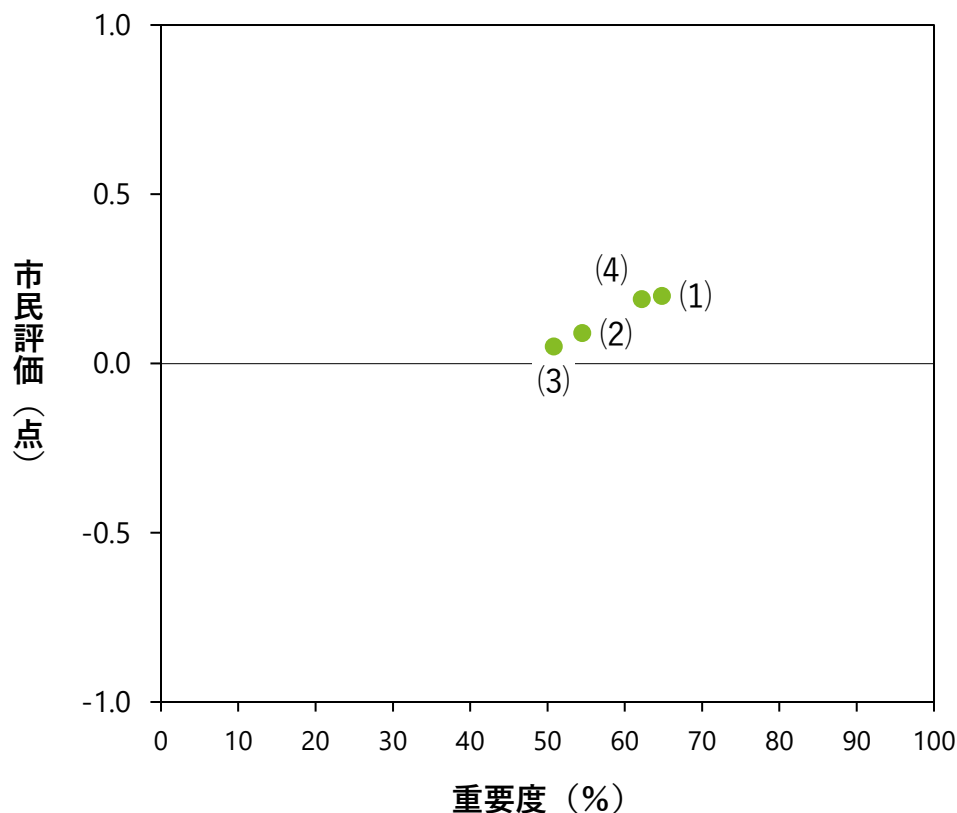
* 回答の多い内容を集約し、カテゴライズ。
実際の回答を記載（弊社にて必要に応じて文言調整）

スポーツ・文化分野

基本目標⑮「文化芸術が心の豊かさや創造性を育み、世界とつながるまち」

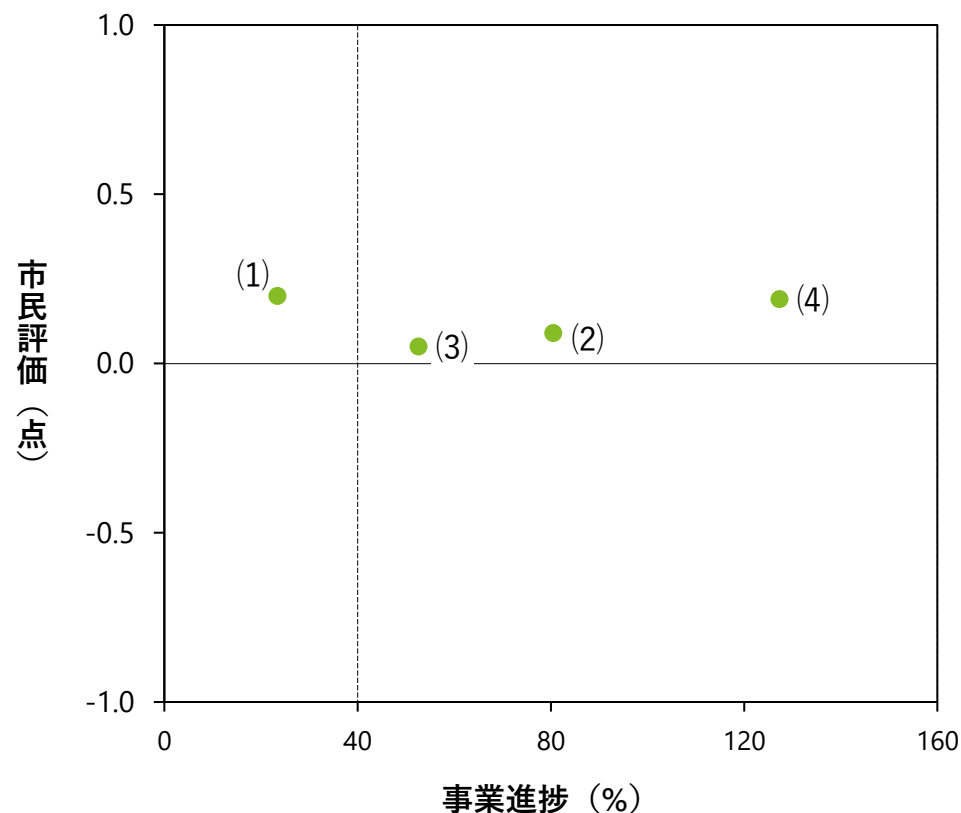
目指す姿の市民評価×重要度

(n = 6,862)



目指す姿の市民評価×事業進捗

(n = 6,862)



目指す姿	(1)誰もが文化芸術に親しみ、創作や表現ができる環境が整い、多様な価値観が受け入れられている。	(2)札幌市ならではの文化が生まれ、世界に発信され、多くの人が集まっている。	(3)札幌市ならではの文化と様々な分野との連携によって新たな価値が創出されている。
	(4)文化・文化財が適切に保存され様々な形で生かされているとともに、札幌市への愛着が深まり、札幌市の自然・歴史・文化が継承されている。		

スポーツ・文化分野

基本目標⑮「文化芸術が心の豊かさや創造性を育み、世界とつながるまち」

基本目標に (n = 6,862)

対する評価
【詳細版】

		R4 (n=3,292)	R5 (n=2,013)	R6 (n=2,494)	R7 (n=6,862)	R7-R6
全体		3.36	3.31	3.29	3.24	-0.05
年代別	10代	3.60	3.65	3.58	3.71	0.13
	20代	3.49	3.54	3.37	3.41	0.04
	30代	3.32	3.26	3.25	3.29	0.04
	40代	3.31	3.22	3.17	3.16	-0.01
	50代	3.33	3.31	3.31	3.16	-0.15
	60代	3.21	3.09	3.24	3.08	-0.16
	70代以上	3.35	3.30	3.24	3.23	-0.01
性別	男性	3.32	3.24	3.26	3.21	-0.05
	女性	3.42	3.37	3.34	3.24	-0.10
	その他	3.21	3.22	2.97	2.90	-0.07
区別	中央区	3.40	3.41	3.35	3.24	-0.11
	北区	3.40	3.28	3.29	3.19	-0.10
	東区	3.33	3.44	3.24	3.20	-0.04
	白石区	3.32	3.14	3.29	3.21	-0.08
	厚別区	3.37	3.33	3.32	3.30	-0.02
	豊平区	3.35	3.22	3.28	3.24	-0.04
	清田区	3.33	3.19	3.21	3.25	0.04
	南区	3.41	3.34	3.35	3.17	-0.18
	西区	3.39	3.27	3.31	3.21	-0.10
	手稲区	3.31	3.42	3.27	3.20	-0.07
18歳以下の子ども有無	有	3.36	3.28	3.32	3.26	-0.06
	無	3.36	3.32	3.29	3.20	-0.09

基本目標⑮ | 目指す姿の経年変化 全体・年代別

		基本目標⑮「文化芸術が心の豊かさや創造性を育み、世界とつながるまち」									
		サンプル数	誰もが文化芸術に親しみ、創作や表現ができる環境が整い、多様な価値観が受け入れられている。	R7-R6	札幌市ならではの文化が生まれ、世界に発信され、多くの人が集まっている。	R7-R6	札幌市ならではの文化と様々な分野との連携によって新たな価値が創出されている。	R7-R6	文化・文化財が適切に保存され様々な形で生かされているとともに、札幌市への愛着が深まり、札幌市の自然・歴史・文化が継承されている。	R7-R6	R7-R6
全体		R4 3,292		0.19		0.07		0.02		0.28	
		R5 2,013		0.17		0.03		0.01		0.36	
		R6 2,494		0.13		0.06		0.01		0.29	
		R7 6,862		0.20	0.07	0.09	0.03	0.05	0.04	0.19	-0.10
年代別	10代	R4 306		0.39		0.19		0.19		0.41	
		R5 146		0.32		0.23		0.18		0.66	
		R6 210		0.30		0.24		0.15		0.40	
		R7 218		0.39	0.09	0.33	0.09	0.35	0.20	0.44	0.04
	20代	R4 435		0.25		0.15		0.09		0.33	
		R5 253		0.32		0.15		0.11		0.41	
		R6 438		0.20		0.10		0.02		0.31	
		R7 674		0.28	0.08	0.19	0.09	0.17	0.15	0.32	0.01
	30代	R4 468		0.20		0.01		-0.01		0.28	
		R5 301		0.16		0.00		-0.02		0.29	
		R6 362		0.14		0.07		0.01		0.34	
		R7 1,169		0.25	0.11	0.12	0.05	0.10	0.09	0.22	-0.12
	40代	R4 469		0.22		0.05		0.02		0.24	
		R5 303		0.14		-0.03		-0.03		0.34	
		R6 303		0.07		-0.01		-0.03		0.17	
		R7 1,414		0.14	0.07	0.04	0.05	0.01	0.04	0.13	-0.04
	50代	R4 510		0.22		0.09		-0.01		0.22	
		R5 234		0.23		-0.02		-0.05		0.36	
		R6 376		0.14		0.09		0.02		0.31	
		R7 1,490		0.17	0.03	0.07	-0.02	0.02	0.00	0.15	-0.16
	60代	R4 402		0.05		-0.02		-0.09		0.24	
R5 298			0.08		-0.06		-0.13		0.21		
R6 355			0.08		-0.05		-0.06		0.27		
R7 1,093			0.12	0.04	-0.02	0.03	-0.04	0.02	0.12	-0.15	
70代以上	R4 682		0.11		0.07		#VALUE!		0.31		
	R5 465		0.11		0.05		0.06		0.39		
	R6 423		0.04		0.03		-0.01		0.27		
	R7 804		0.20	0.16	0.09	0.06	0.04	0.05	0.18	-0.09	

基本目標⑮ | 目指す姿の経年変化 区別

		基本目標⑮「文化芸術が心の豊かさや創造性を育み、世界とつながるまち」									
		サンプル数	誰もが文化芸術に親しみ、創作や表現ができる環境が整い、多様な価値観が受け入れられている。	R7-R6	札幌市ならではの文化が育まれ、世界に発信され、多くの人々が集まっている。	R7-R6	札幌市ならではの文化と様々な分野との連携によって新たな価値が創出されている。	R7-R6	文化・文化財が適切に保存され様々な形で生かされているとともに、札幌市への愛着が深まり、札幌市の自然・歴史・文化が継承されている。	R7-R6	
区別	中央区	R4	351	0.23		0.02		-0.02		0.26	
		R5	206	0.26		0.04		0.03		0.52	
		R6	247	0.16		-0.02		-0.04		0.28	
		R7	959	0.22	0.06	0.09	0.11	0.06	0.10	0.21	-0.07
	北区	R4	314	0.27		0.15		0.09		0.31	
		R5	196	0.20		0.04		0.01		0.36	
		R6	246	0.15		0.02		0.03		0.30	
		R7	925	0.19	0.04	0.08	0.06	0.05	0.02	0.20	-0.10
	東区	R4	318	0.20		0.10		0.04		0.23	
		R5	199	0.24		0.17		0.10		0.49	
		R6	245	0.08		0.07		0.04		0.29	
		R7	887	0.17	0.09	0.07	0.00	0.02	-0.02	0.15	-0.14
	白石区	R4	276	0.18		0.10		0.04		0.22	
		R5	176	0.12		-0.02		-0.07		0.26	
		R6	226	0.14		0.09		-0.02		0.30	
		R7	659	0.16	0.02	0.09	0.00	0.05	0.07	0.19	-0.11
	厚別区	R4	339	0.19		0.08		0.03		0.29	
		R5	205	0.17		0.05		0.04		0.40	
		R6	260	0.15		0.06		0.01		0.31	
		R7	425	0.25	0.10	0.10	0.04	0.07	0.06	0.22	-0.09
	豊平区	R4	310	0.14		0.04		0.03		0.37	
		R5	196	0.10		-0.01		-0.03		0.29	
		R6	231	0.16		0.08		0.01		0.26	
		R7	817	0.21	0.05	0.08	0.00	0.07	0.06	0.18	-0.08
	清田区	R4	346	0.13		0.00		-0.01		0.29	
		R5	199	0.12		-0.07		-0.12		0.27	
		R6	217	0.07		0.00		-0.03		0.29	
		R7	401	0.16	0.09	0.04	0.04	0.03	0.06	0.14	-0.15
南区	R4	352	0.24		0.10		-0.01		0.29		
	R5	188	0.12		0.09		0.06		0.35		
	R6	256	0.18		0.18		0.04		0.30		
	R7	536	0.21	0.03	0.08	-0.10	0.06	0.02	0.19	-0.11	
西区	R4	346	0.22		0.09		0.04		0.32		
	R5	236	0.17		-0.02		0.00		0.30		
	R6	277	0.14		0.06		-0.02		0.35		
	R7	803	0.18	0.04	0.05	-0.01	0.04	0.06	0.18	-0.17	
手稲区	R4	309	0.15		0.06		0.02		0.27		
	R5	197	0.22		0.03		0.06		0.35		
	R6	246	0.07		0.05		0.04		0.22		
	R7	450	0.16	0.09	0.10	0.05	0.04	0.00	0.16	-0.06	

基本目標⑮ | 目指す姿の経年変化 性別・子ども有無別

		基本目標⑮「文化芸術が心の豊かさや創造性を育み、世界とつながるまち」									
		サンプル数	誰もが文化芸術に親しみ、創作や表現ができる環境が整い、多様な価値観が受け入れられている。	R7-R6	札幌市ならではの文化が育まれ、世界に発信され、多くの人が集まっている。	R7-R6	札幌市ならではの文化と様々な分野との連携によって新たな価値が創出されている。	R7-R6	文化・文化財が適切に保存され様々な形で生かされているとともに、札幌市への愛着が深まり、札幌市の自然・歴史・文化が継承されている。	R7-R6	
性別	男性	R4	1,429	0.20	0.07	0.01	0.27				
		R5	895	0.13	0.00	-0.03	0.32				
		R6	1,087	0.11	0.04	-0.01	0.26				
		R7	2,985	0.20	0.09	0.08	0.06	0.17	-0.09		
	女性	R4	1,651	0.20	0.08	0.04	0.31				
		R5	1,053	0.21	0.06	0.04	0.39				
		R6	1,326	0.16	0.09	0.03	0.32				
	R7	3,581	0.20	0.04	0.09	0.00	0.06	0.03	0.20	-0.12	
18歳以下の子供	有	R4	922	0.21	0.07	0.03	0.28				
		R5	574	0.14	-0.02	-0.03	0.34				
		R6	643	0.14	0.08	0.02	0.30				
		R7	2,172	0.20	0.06	0.07	-0.01	0.06	0.04	0.19	-0.11
	無	R4	2,326	0.18	0.07	0.02	0.29				
		R5	1,420	0.18	0.05	0.02	0.36				
		R6	1,804	0.13	0.05	0.00	0.29				
		R7	4,690	0.19	0.06	0.08	0.03	0.05	0.18	-0.11	

基本目標⑮ | 目指す姿の重要度 属性別

		基本目標⑮「文化芸術が心の豊かさや創造性を育み、世界とつながるまち」				
		サンプル数	誰もが文化芸術に親しみ、創作や表現ができる環境が整い、多様な価値観が受け入れられている。	札幌市ならではの文化が生まれ、世界に発信され、多くの人が集まっている。	札幌市ならではの文化と様々な分野との連携によって新たな価値が創出されている。	文化・文化財が適切に保存され様々な形で生かされているとともに、札幌市への愛着が深まり、札幌市の自然・歴史・文化が継承されている。
全体		6,862	64.8%	54.5%	50.8%	62.2%
年代別	10代	218	73.4%	61.9%	55.0%	58.7%
	20代	674	61.6%	52.7%	49.1%	55.9%
	30代	1,169	63.2%	53.0%	49.0%	55.7%
	40代	1,414	61.7%	55.5%	51.3%	60.6%
	50代	1,490	61.8%	54.4%	50.1%	63.1%
	60代	1,093	65.1%	52.7%	52.5%	65.4%
	70代以上	804	69.5%	55.6%	50.9%	68.3%
性別	男性	2,985	60.5%	53.4%	48.5%	57.0%
	女性	3,581	66.6%	55.2%	52.7%	65.2%
区別	中央区	959	63.2%	52.4%	49.0%	61.5%
	北区	925	66.0%	57.6%	54.1%	65.4%
	東区	887	62.6%	54.2%	49.5%	60.5%
	白石区	659	60.8%	54.0%	49.8%	59.8%
	厚別区	425	59.9%	48.7%	47.6%	56.1%
	豊平区	817	67.1%	55.8%	49.9%	64.5%
	清田区	401	64.1%	53.1%	48.7%	60.2%
	南区	536	64.8%	54.9%	51.6%	62.1%
	西区	803	64.4%	56.0%	52.6%	64.4%
	手稲区	450	66.4%	55.0%	52.6%	63.3%
18歳以下の子供	有	2,172	63.4%	54.8%	49.2%	58.5%
	無	4,690	64.0%	54.1%	51.4%	62.8%

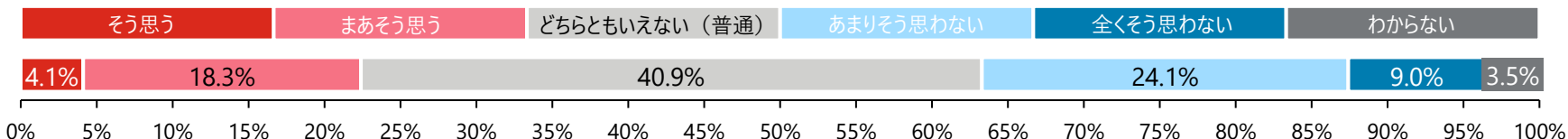
環境分野

基本目標⑩「世界に冠たる環境都市」

全体評価点* (前年比)	R4	R5	R6
2.84 (▲0.01)	2.89	2.83	2.85

基本目標
の評価

(n = 6,862) 基本目標⑩「世界に冠たる環境都市」が実現していると思いますか。

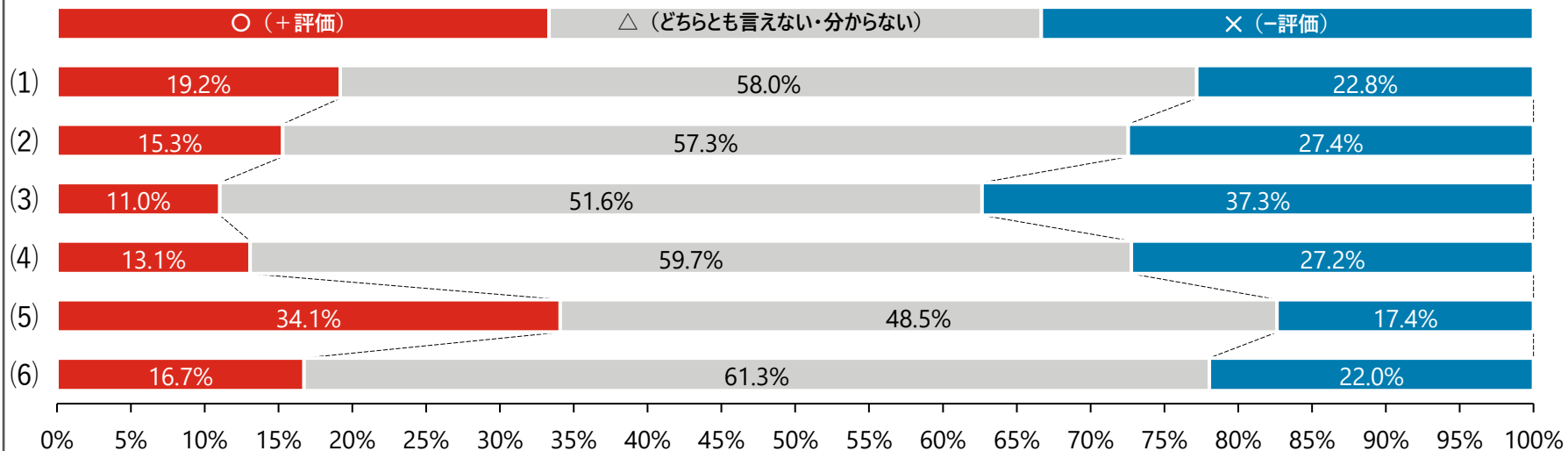


*そう思う=5点、まあそう思う=4点、どちらともいえない (普通) =3点、あまりそう思わない=2点、全くそう思わない=1点として回答の平均値で算出。(わからないは除外)

目指す姿
の評価

目指す姿	内容
目指す姿	(1)節電やエネルギー効率の良い機器導入などにより省エネルギー化が進んでいる。
	(4)都心では、エネルギーネットワークが整備されるなど、高い環境性能と強じん性が兼ね備えられている。
目指す姿	(2)太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入拡大や、水素エネルギーの活用が進んでいる。
	(5)誰もがごみの減量・再使用・リサイクルなどに積極的に取り組んでいる。
目指す姿	(3)走行中に二酸化炭素を排出しない電気自動車などのゼロエミッション自動車の普及が進んでいる。
	(6)環境保全や気候変動対策などを意識し、行動変容 (ライフスタイルの変革) や技術革新が進んでいる。

(n = 6,862) 基本目標①「安心して子どもを産み育てることができる、子育てに優しいまち」に関連する下記の札幌市の目指す姿に対して、「○ (+評価)」、「△ (どちらとも言えない・わからない) 」または「× (-評価) 」のいずれかあてはまるものを選択してください。



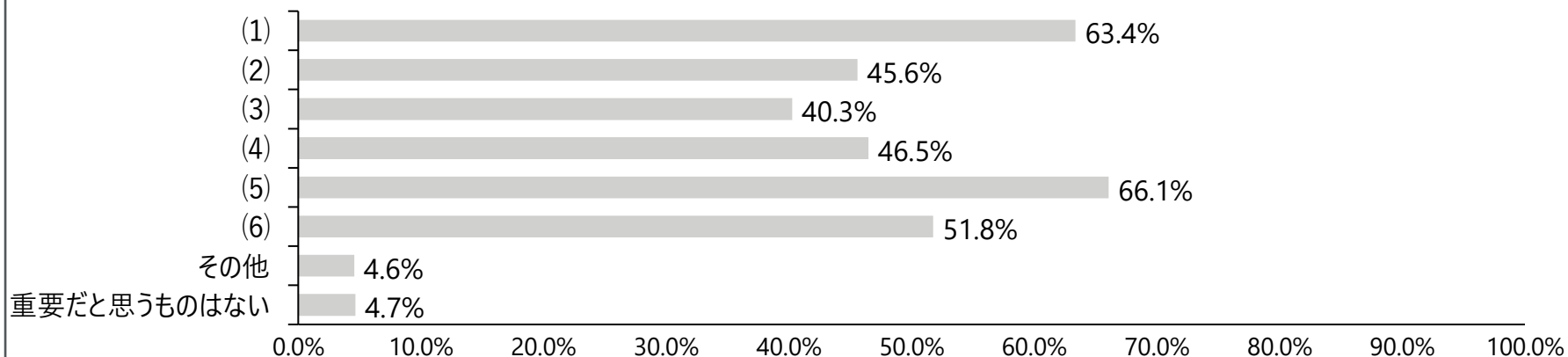
環境分野

基本目標⑩「世界に冠たる環境都市」

重要度の評価

目指す姿	(1)節電やエネルギー効率の良い機器導入などにより省エネルギー化が進んでいる。	(2)太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入拡大や、水素エネルギーの活用が進んでいる。	(3)走行中に二酸化炭素を排出しない電気自動車などのゼロエミッション自動車の普及が進んでいる。
	(4)都心では、エネルギーネットワークが整備されるなど、高い環境性能と強じん性が兼ね備えられている。	(5)誰もがごみの減量・再利用・リサイクルなどに積極的に取り組んでいる。	(6)環境保全や気候変動対策などを意識し、行動変容（ライフスタイルの変革）や技術革新が進んでいる。

(n = 6,862) 基本目標⑩「世界に冠たる環境都市」に関連する下記の札幌市の目指す姿のなかで、あなたが重要だと思うものすべてを選択してください。



上記以外に重要だと思うもの (FA)

カテゴリ	記述内容抜粋
太陽光乱立抑制と自然保護	・太陽光発電は景観や廃棄の問題があるため、適切な場所でのみ導入し、規制を強化すべきだ。 ・耐用年数後の廃棄や維持管理の取り決めを条例で担保し、企業倒産時の市税負担を避けるべきだ。
寒冷地対応と電動化再考	・寒冷地では電気自動車の効率低下や航続距離の課題が大きく、普及は時期尚早だ。 ・排水や凍結の影響など、冬季の道路安全に関する技術的検証が求められる。
省エネ化と適地適技再エネ	・節電の呼びかけだけでなく、高効率機器や断熱改修への支援と公共施設の率先導入を進めるべきだ。 ・下水熱や生活排水熱の活用、ロードヒーティングへの転用、小水力発電の導入を検討すべきだ。
ごみ減量・分別とリサイクル	・リサイクルステーションや回収拠点を増やし、分別しやすい環境を整備すべきだ。 ・ポイ捨てや不法投棄の取締り、街中のごみ箱設置やカラス対策を強化すべきだ。
公共交通・低炭素モビリティ	・公共交通の便数維持・増便を図り、自家用車に頼らず移動できる環境を整えるべきだ。 ・信号制御の最適化やアイドリング対策など、交通起因の無駄な排出削減に取り組むべきだ。

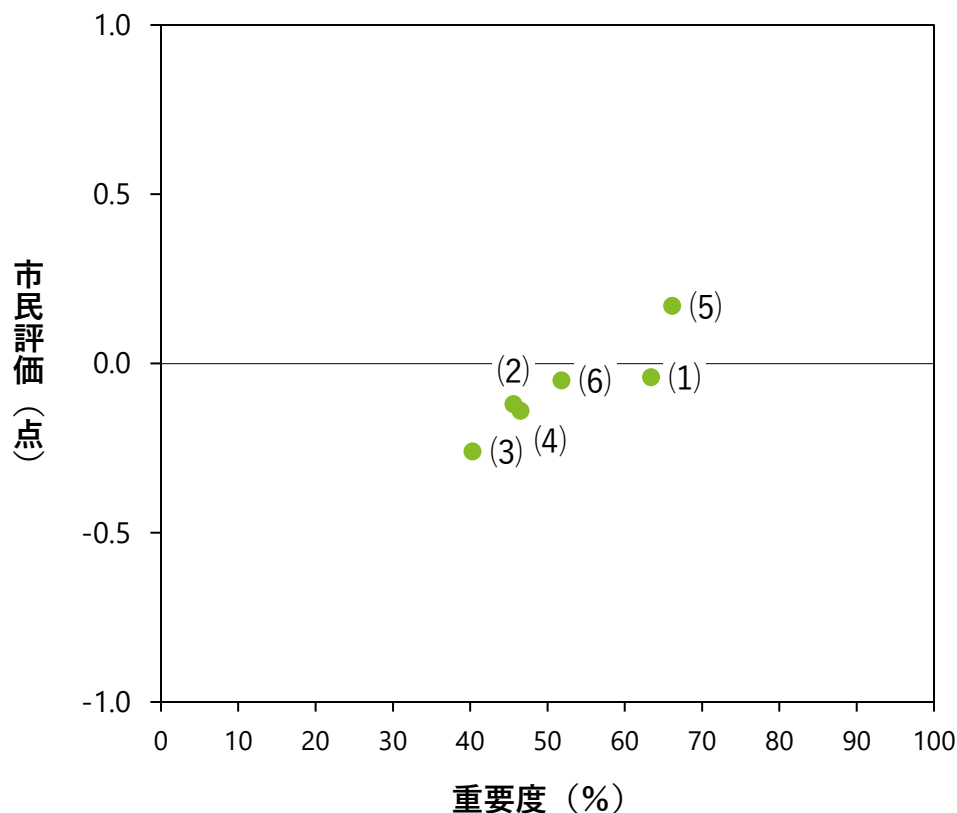
* 回答の多い内容を集約し、カテゴライズ。
実際の回答を記載（弊社にて必要に応じて文言調整）

環境分野

基本目標⑩「世界に冠たる環境都市」

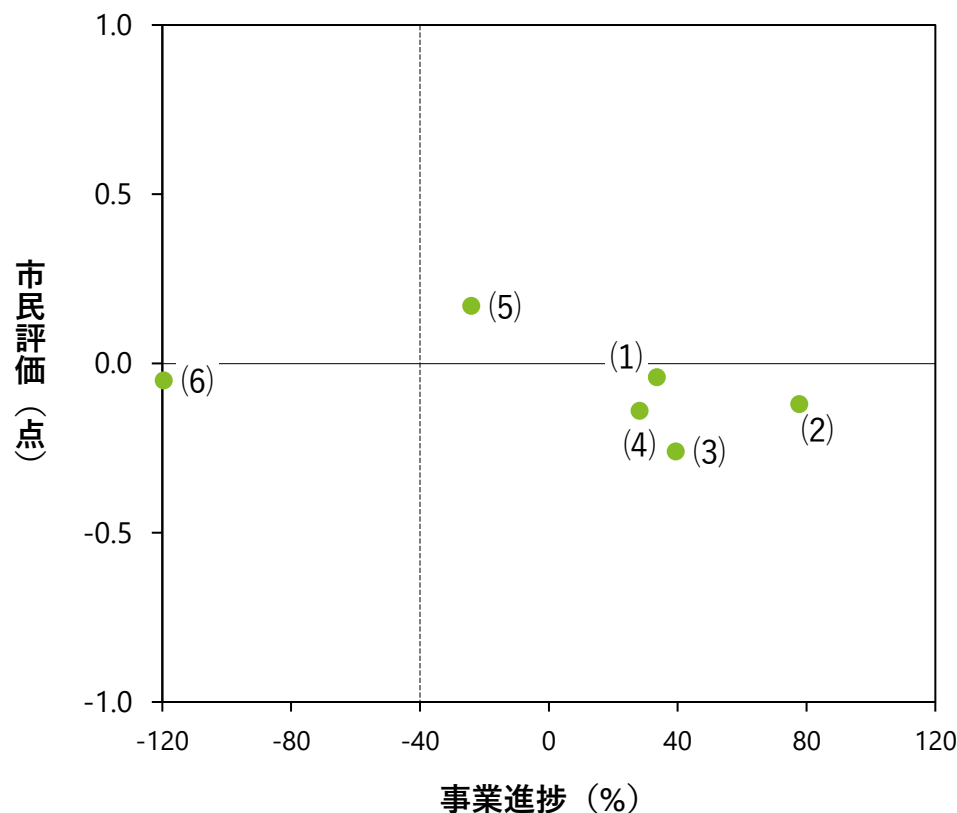
目指す姿の市民評価×重要度

(n = 6,862)



目指す姿の市民評価×事業進捗

(n = 6,862)



目指す姿	(1)節電やエネルギー効率の良い機器導入などにより省エネルギー化が進んでいる。	(2)太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入拡大や、水素エネルギーの活用が進んでいる。	(3)走行中に二酸化炭素を排出しない電気自動車などのゼロエミッション自動車の普及が進んでいる。
	(4)都心では、エネルギーネットワークが整備されるなど、高い環境性能と強じん性が兼ね備えられている。	(5)誰もがごみの減量・再使用・リサイクルなどに積極的に取り組んでいる。	(6)環境保全や気候変動対策などを意識し、行動変容（ライフスタイルの変革）や技術革新が進んでいる。

環境分野

基本目標⑩「世界に冠たる環境都市」

基本目標に (n = 6,862)

対する評価
【詳細版】

		R4 (n=3,292)	R5 (n=2,013)	R6 (n=2,494)	R7 (n=6,862)	R7-R6
全体		2.89	2.83	2.85	2.84	-0.01
年代別	10代	2.99	2.95	2.96	3.18	0.22
	20代	2.91	2.96	2.85	2.97	0.12
	30代	2.77	2.66	2.71	2.80	0.09
	40代	2.78	2.74	2.74	2.71	-0.03
	50代	2.88	2.76	2.96	2.79	-0.17
	60代	2.88	2.69	2.83	2.75	-0.08
	70代以上	3.03	3.03	2.95	2.90	-0.05
性別	男性	2.85	2.79	2.84	2.83	-0.01
	女性	2.95	2.89	2.88	2.81	-0.07
	その他	2.65	2.50	2.62	2.40	-0.22
区別	中央区	2.77	2.83	2.88	2.75	-0.13
	北区	2.98	2.69	2.82	2.83	0.01
	東区	2.85	2.94	2.79	2.76	-0.03
	白石区	2.97	2.79	2.78	2.82	0.04
	厚別区	2.99	2.88	2.86	2.94	0.08
	豊平区	2.92	2.74	2.94	2.85	-0.09
	清田区	2.89	2.86	2.84	2.83	-0.01
	南区	2.81	2.92	2.89	2.80	-0.09
	西区	2.87	2.74	2.86	2.79	-0.07
	手稲区	2.92	2.92	2.87	2.81	-0.06
18歳以下の子ども有無	有	2.86	2.78	2.86	2.80	-0.06
	無	2.90	2.85	2.85	2.82	-0.03

基本目標⑩ | 目指す姿の経年変化 全体・年代別

		基本目標⑩「世界に冠たる環境都市」													
		サンプル数	節電やエネルギー効率の良い機器導入などにより省エネルギー化が進んでいる。	R7-R6	太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入拡大や、水素エネルギーの活用が進んでいる。	R7-R6	走行中に二酸化炭素を排出しない電気自動車などのゼロエミッション自動車の普及が進んでいる。	R7-R6	都心では、エネルギーネットワークが整備されるなど、高い環境性能と強じん性が兼ね備えられている。	R7-R6	誰もがごみの減量・再使用・リサイクルなどに積極的に取り組んでいる。	R7-R6	環境保全や気候変動対策などを意識し、行動変容（ライフスタイルの変革）や技術革新が進んでいる。	R7-R6	
全体		R4	3,292	-0.10		-0.22		-0.33		-0.18		0.20		-0.11	
		R5	2,013	-0.09		-0.21		-0.40		-0.23		0.15		-0.14	
		R6	2,494	-0.07		-0.12		-0.29		-0.14		0.12		-0.10	
		R7	6,862	-0.04	0.03	-0.12	0.00	-0.26	0.03	-0.14	0.00	0.17	0.05	-0.05	0.05
年代別	10代	R4	306	0.07		-0.05		-0.13		0.02		0.07		0.02	
		R5	146	0.13		-0.01		-0.29		-0.04		0.07		-0.01	
		R6	210	0.06		0.07		-0.15		0.04		0.08		0.09	
		R7	218	0.29	0.23	0.17	0.10	0.04	0.19	0.17	0.13	0.23	0.15	0.19	0.10
	20代	R4	435	0.01		-0.09		-0.25		-0.11		0.08		-0.07	
		R5	253	-0.04		-0.12		-0.38		-0.14		-0.06		0.00	
		R6	438	-0.05		-0.10		-0.26		-0.09		-0.05		-0.10	
		R7	674	0.07	0.12	0.01	0.11	-0.12	0.14	0.03	0.12	0.13	0.18	0.04	0.14
	30代	R4	468	-0.12		-0.22		-0.37		-0.23		-0.01		-0.15	
		R5	301	-0.16		-0.24		-0.44		-0.28		-0.06		-0.21	
		R6	362	-0.04		-0.11		-0.28		-0.12		-0.02		-0.15	
		R7	1,169	0.01	0.05	-0.09	0.02	-0.24	0.04	-0.10	0.02	0.05	0.07	-0.06	0.09
	40代	R4	469	-0.16		-0.23		-0.32		-0.21		0.16		-0.12	
		R5	303	-0.11		-0.20		-0.43		-0.28		0.04		-0.18	
		R6	303	-0.19		-0.20		-0.29		-0.20		0.07		-0.11	
		R7	1,414	-0.10	0.09	-0.18	0.02	-0.30	-0.01	-0.20	0.00	0.10	0.03	-0.10	0.01
	50代	R4	510	-0.17		-0.26		-0.34		-0.19		0.22		-0.12	
		R5	234	-0.14		-0.29		-0.38		-0.27		0.19		-0.14	
		R6	376	-0.06		-0.13		-0.29		-0.15		0.24		-0.10	
		R7	1,490	-0.12	-0.06	-0.18	-0.05	-0.27	0.02	-0.18	-0.03	0.15	-0.09	-0.10	0.00
	60代	R4	402	-0.20		-0.35		-0.41		-0.30		0.28		-0.16	
R5		298	-0.19		-0.30		-0.43		-0.31		0.22		-0.28		
R6		355	-0.16		-0.20		-0.36		-0.21		0.19		-0.19		
R7		1,093	-0.12	0.04	-0.22	-0.02	-0.34	0.02	-0.26	-0.05	0.18	-0.01	-0.11	0.08	
70代以上	R4	682	-0.05		-0.24		-0.38		-0.16		0.48		-0.10		
	R5	465	-0.04		-0.20		-0.40		-0.17		0.42		-0.08		
	R6	423	-0.03		-0.09		-0.35		-0.17		0.32		-0.09		
	R7	804	-0.03	0.00	-0.13	-0.04	-0.32	0.03	-0.17	0.00	0.27	-0.05	-0.04	0.05	

● 2.調査結果の詳細 | 問2 基本目標について

基本目標⑯ | 目指す姿の経年変化 区別

		基本目標⑯「世界に冠たる環境都市」													
区別		サンプル数	節電やエネルギー効率の良い機器導入などにより省エネルギー化が進んでいる。	R7-R6	太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入拡大や、水素エネルギーの活用が進んでいる。	R7-R6	走行中に二酸化炭素を排出しない電気自動車などのゼロエミッション自動車の普及が進んでいる。	R7-R6	都心では、エネルギーネットワークが整備されるなど、高い環境性能と強じん性が兼ね備えられている。	R7-R6	誰もがごみの減量・再利用・リサイクルなどに積極的に取り組んでいる。	R7-R6	環境保全や気候変動対策などを意識し、行動変容（ライフスタイルの変革）や技術革新が進んでいる。	R7-R6	
中央区	R4	351	-0.19		-0.30		-0.36		-0.22		0.15		-0.13		
	R5	206	-0.20		-0.22		-0.39		-0.23		0.05		-0.13		
	R6	247	0.00		-0.10		-0.25		-0.16		0.11		-0.13		
	R7	959	-0.04	-0.04	-0.16	-0.06	-0.26	-0.01	-0.13	0.03	0.09	-0.02	-0.07	0.06	
	北区	R4	314	0.00		-0.12		-0.29		-0.17		0.23		-0.03	
		R5	196	-0.14		-0.26		-0.41		-0.30		0.16		-0.23	
		R6	246	-0.04		-0.07		-0.27		-0.13		0.15		-0.04	
		R7	925	-0.01	0.03	-0.10	-0.03	-0.25	0.02	-0.12	0.01	0.16	0.01	-0.05	-0.01
	東区	R4	318	-0.10		-0.22		-0.34		-0.20		0.21		-0.14	
		R5	199	0.03		-0.18		-0.39		-0.17		0.16		-0.04	
		R6	245	-0.11		-0.19		-0.31		-0.19		0.15		-0.18	
		R7	887	-0.10	0.01	-0.15	0.04	-0.30	0.01	-0.19	0.00	0.10	-0.05	-0.12	0.06
	白石区	R4	276	-0.05		-0.21		-0.29		-0.20		0.22		-0.10	
		R5	176	-0.14		-0.18		-0.41		-0.31		0.12		-0.17	
		R6	226	-0.08		-0.18		-0.31		-0.07		0.04		-0.08	
		R7	659	-0.02	0.06	-0.11	0.07	-0.26	0.05	-0.13	-0.06	0.11	0.07	-0.07	0.01
	厚別区	R4	339	-0.02		-0.20		-0.35		-0.11		0.24		-0.04	
		R5	205	-0.02		-0.19		-0.43		-0.16		0.16		-0.05	
		R6	260	-0.09		-0.14		-0.33		-0.15		0.12		-0.13	
		R7	425	-0.04	0.05	-0.13	0.01	-0.28	0.05	-0.13	0.02	0.23	0.11	-0.02	0.11
	豊平区	R4	310	-0.10		-0.26		-0.38		-0.18		0.15		-0.12	
		R5	196	-0.14		-0.26		-0.43		-0.26		0.09		-0.14	
		R6	231	-0.08		-0.07		-0.27		-0.11		0.13		-0.10	
		R7	817	-0.03	0.05	-0.13	-0.06	-0.24	0.03	-0.14	-0.03	0.16	0.03	-0.02	0.08
	清田区	R4	346	-0.13		-0.21		-0.31		-0.16		0.26		-0.11	
		R5	199	0.03		-0.17		-0.42		-0.25		0.20		-0.18	
		R6	217	-0.07		-0.15		-0.30		-0.13		0.13		-0.08	
		R7	401	-0.09	-0.02	-0.13	0.02	-0.27	0.03	-0.17	-0.04	0.15	0.02	-0.05	0.03
南区	R4	352	-0.13		-0.23		-0.36		-0.19		0.16		-0.17		
	R5	188	-0.09		-0.29		-0.36		-0.16		0.19		-0.09		
	R6	256	-0.13		-0.09		-0.24		-0.13		0.13		-0.11		
	R7	536	-0.07	0.06	-0.18	-0.09	-0.29	-0.05	-0.20	-0.07	0.18	0.05	-0.07	0.04	
西区	R4	346	-0.04		-0.20		-0.26		-0.16		0.22		-0.09		
	R5	236	-0.11		-0.23		-0.41		-0.25		0.19		-0.20		
	R6	277	-0.04		-0.16		-0.34		-0.16		0.14		-0.08		
	R7	803	-0.05	-0.01	-0.11	0.05	-0.25	0.09	-0.16	0.00	0.14	0.00	-0.06	0.02	
手稲区	R4	309	-0.15		-0.18		-0.32		-0.16		0.22		-0.14		
	R5	197	-0.12		-0.10		-0.38		-0.21		0.16		-0.11		
	R6	246	-0.08		-0.07		-0.31		-0.11		0.13		-0.11		
	R7	450	-0.09	-0.01	-0.15	-0.08	-0.27	0.04	-0.15	-0.04	0.23	0.10	-0.09	0.02	

基本目標⑩ | 目指す姿の経年変化 性別・子ども有無別

		基本目標⑩「世界に冠たる環境都市」													
		サンプル数	節電やエネルギー効率の良い機器導入などにより省エネルギー化が進んでいる。	R7-R6	太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入拡大や、水素エネルギーの活用が進んでいる。	R7-R6	走行中に二酸化炭素を排出しない電気自動車などのゼロエミッション自動車の普及が進んでいる。	R7-R6	都心では、エネルギーネットワークが整備されるなど、高い環境性能と強じん性が兼ね備えられている。	R7-R6	誰もがごみの減量・再使用・リサイクルなどに積極的に取り組んでいる。	R7-R6	環境保全や気候変動対策などを意識し、行動変容（ライフスタイルの変革）や技術革新が進んでいる。	R7-R6	
性別	男性	R4	1,429	-0.13		-0.29		-0.38		-0.20		0.21		-0.10	
		R5	895	-0.09		-0.26		-0.47		-0.25		0.17		-0.16	
		R6	1,087	-0.09		-0.16		-0.36		-0.15		0.16		-0.10	
		R7	2,985	-0.03	0.06	-0.15	0.01	-0.30	0.06	-0.13	0.02	0.17	0.01	-0.04	0.06
	女性	R4	1,651	-0.06		-0.14		-0.27		-0.14		0.21		-0.10	
		R5	1,053	-0.09		-0.15		-0.34		-0.20		0.15		-0.11	
		R6	1,326	-0.05		-0.08		-0.23		-0.12		0.10		-0.10	
18歳以下の子供	有	R7	3,581	-0.06	-0.01	-0.12	-0.04	-0.23	0.00	-0.16	-0.04	0.13	0.03	-0.07	0.03
		R4	922	-0.12		-0.19		-0.32		-0.18		0.12		-0.13	
		R5	574	-0.13		-0.25		-0.45		-0.30		0.07		-0.18	
		R6	643	-0.09		-0.13		-0.29		-0.13		0.06		-0.07	
	無	R7	2,172	-0.05	0.04	-0.14	-0.01	-0.29	0.00	-0.16	-0.03	0.11	0.05	-0.08	-0.01
		R4	2,326	-0.09		-0.23		-0.33		-0.17		0.24		-0.10	
		R5	1,420	-0.08		-0.19		-0.38		-0.20		0.18		-0.12	
		R6	1,804	-0.06		-0.12		-0.29		-0.14		0.15		-0.11	
		R7	4,690	-0.05	0.01	-0.13	-0.01	-0.25	0.04	-0.14	0.00	0.16	0.01	-0.06	0.05

基本目標⑯ | 目指す姿の重要度 属性別

		基本目標⑯「世界に冠たる環境都市」							
		サンプル数	節電やエネルギー効率の良い機器導入などにより省エネルギー化が進んでいる。	太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入拡大や、水素エネルギーの活用が進んでいる。	走行中に二酸化炭素を排出しない電気自動車などのゼロエミッション自動車の普及が進んでいる。	都心では、エネルギーネットワークが整備されるなど、高い環境性能と強じん性が兼ね備えられている。	誰もがごみの減量・再利用・リサイクルなどに積極的に取り組んでいる。	環境保全や気候変動対策などを意識し、行動変容（ライフスタイルの変革）や技術革新が進んでいる。	
全体		6,862	63.4%	45.6%	40.3%	46.5%	66.1%	51.8%	
年代別	10代	218	72.0%	59.6%	56.4%	58.7%	64.2%	52.3%	
	20代	674	63.6%	41.7%	35.0%	43.6%	58.0%	45.4%	
	30代	1,169	64.8%	42.0%	36.0%	41.5%	61.0%	47.0%	
	40代	1,414	62.0%	43.9%	40.5%	46.5%	65.5%	51.8%	
	50代	1,490	60.5%	40.2%	37.9%	45.3%	64.9%	53.2%	
	60代	1,093	61.5%	45.9%	40.0%	48.1%	67.1%	54.8%	
	70代以上	804	65.2%	51.4%	43.7%	48.9%	74.3%	55.6%	
性別	男性	2,985	61.0%	45.3%	37.3%	47.6%	59.3%	47.4%	
	女性	3,581	64.8%	43.6%	41.4%	45.1%	70.0%	55.1%	
区別	中央区	959	59.5%	41.2%	36.8%	41.9%	64.5%	51.7%	
	北区	925	63.1%	43.4%	38.3%	49.8%	65.4%	55.5%	
	東区	887	62.4%	45.5%	39.0%	42.7%	65.5%	51.1%	
	白石区	659	63.4%	45.0%	38.2%	45.3%	62.5%	46.7%	
	厚別区	425	59.0%	41.1%	35.5%	40.1%	61.9%	44.5%	
	豊平区	817	63.5%	44.2%	41.6%	46.8%	64.2%	53.6%	
	清田区	401	60.3%	43.0%	39.4%	46.9%	64.4%	51.0%	
	南区	536	62.6%	41.6%	37.2%	44.4%	63.6%	51.6%	
	西区	803	67.7%	48.9%	43.1%	47.8%	70.5%	57.6%	
	手稲区	450	66.1%	46.6%	43.0%	49.6%	67.7%	53.8%	
18歳以下の子供	有	2,172	64.2%	45.3%	40.7%	44.5%	62.9%	50.2%	
	無	4,690	62.3%	43.8%	38.8%	46.7%	66.1%	52.2%	

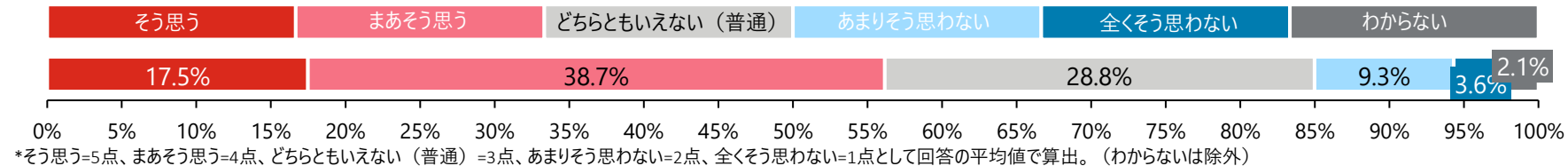
環境分野

基本目標⑰「身近なみどりを守り、育て、自然とともに暮らすまち」

全体評価点* (前年比)	R4	R5	R6
3.59 (▲0.06)	3.72	3.69	3.65

基本目標の評価

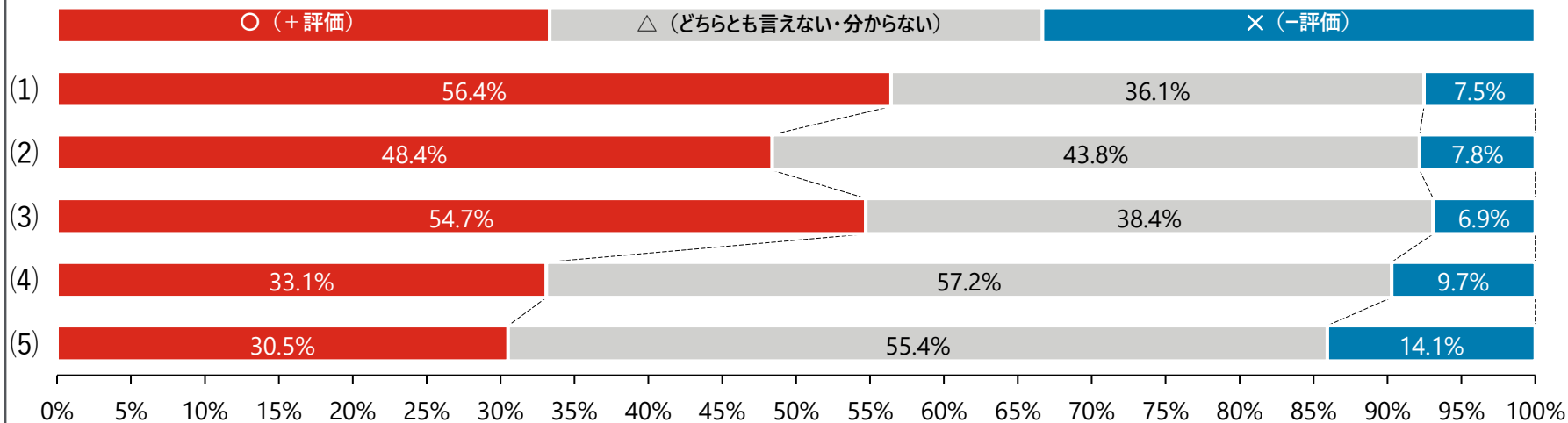
(n = 6,862) 基本目標⑰「身近なみどりを守り、育て、自然とともに暮らすまち」が実現していると思いますか。



目指す姿の評価

目指す姿	内容
目指す姿	(1)森林、農地、公園や河川などが保全・創出・整備されている。
	(4)みどりが持つ防災、経済活動、水源かん養、二酸化炭素の吸収など多面的な機能を発揮している。
	(2)豊かなみどりがあるまちの中で、健康的で幸福感のある生活を送っている。
	(5)生物多様性が広く理解され、地域本来の生態系が維持された中で自然と人が共生している。
	(3)森林や公園などの身近なみどりが、自然との触れ合いや人々との交流の場に活用されている。

(n = 6,862) 基本目標⑰「身近なみどりを守り、育て、自然とともに暮らすまち」に関連する下記の札幌市の目指す姿に対して、「○ (+評価)」、「△ (どちらとも言えない・わからない) 」または「× (-評価) 」のいずれかあてはまるものを選択してください。



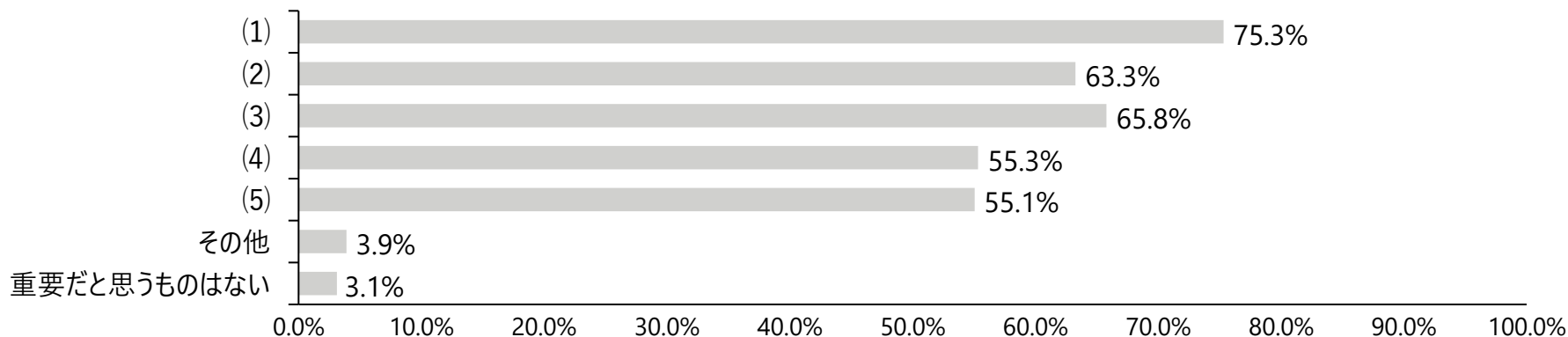
環境分野

基本目標⑰「身近なみどりを守り、育て、自然とともに暮らすまち」

重要度の評価

目指す姿	(1)森林、農地、公園や河川などが保全・創出・整備されている。	(2)豊かなみどりがあるまちの中で、健康的で幸福感のある生活を送っている。	(3)森林や公園などの身近なみどりが、自然との触れ合いや人々との交流の場に活用されている。
	(4)みどりが持つ防災、経済活動、水源かん養、二酸化炭素の吸収など多面的な機能を発揮している。	(5)生物多様性が広く理解され、地域本来の生態系が維持された中で自然と人が共生している。	

(n = 6,862) 基本目標⑰「身近なみどりを守り、育て、自然とともに暮らすまち」に関連する下記の札幌市の目指す姿のなかで、あなたが重要だと思うものすべてを選択してください。



上記以外に重要だと思うもの (FA)

カテゴリ	記述内容抜粋
ヒグマ対策と棲み分け強化	・熊が市街地まで来ており、安全安心な共生対策を早急に進めるべきだ。 ・草刈りや緩衝帯の整備で、人の生活圏と野生動物の棲み分けを明確化してほしい。
太陽光規制と自然保護	・メガソーラーの誘致や乱立を規制し、環境破壊への厳しい条例整備を望む。 ・太陽光発電の廃棄・維持管理の取り決めに明確化し、不適切な設置は行わないでほしい。
公園・街路樹の整備充実	・公園の遊具やベンチの老朽化が目立つため、点検と修繕を計画的に進めてほしい。 ・街路樹の伐採や抜根が進み緑が減っているので、植栽の選定を見直し緑を維持してほしい。
河川敷緑化・維持管理改善	・豊平川や厚別川の河川敷は区によって整備の差があり、木陰や緑の管理を改善してほしい。 ・創成川はゴミが多く雑草が生い茂るため、頻繁な清掃と緑の管理が必要だ。
市民参加・自然教育拡充	・子どもの自然教育や野外体験を広く学校で取り入れてほしい。 ・環境啓発やごみのマナー向上の取組を強化してほしい。

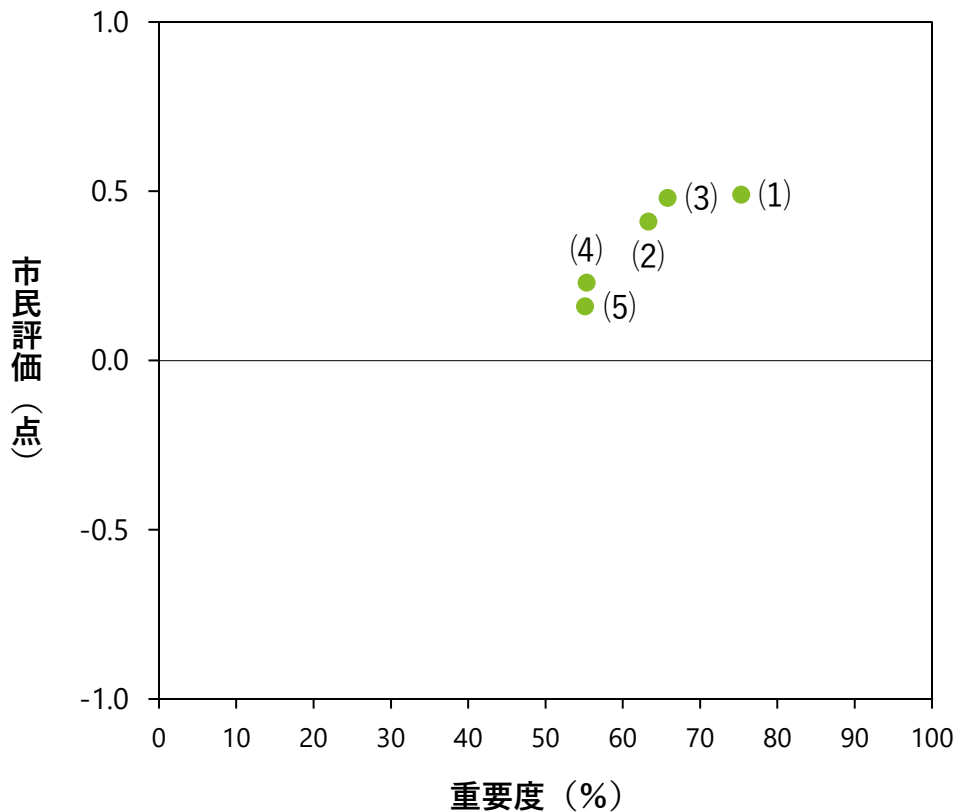
* 回答の多い内容を集約し、カテゴライズ。
実際の回答を記載（弊社にて必要に応じて文言調整）

環境分野

基本目標⑰「身近なみどりを守り、育て、自然とともに暮らすまち」

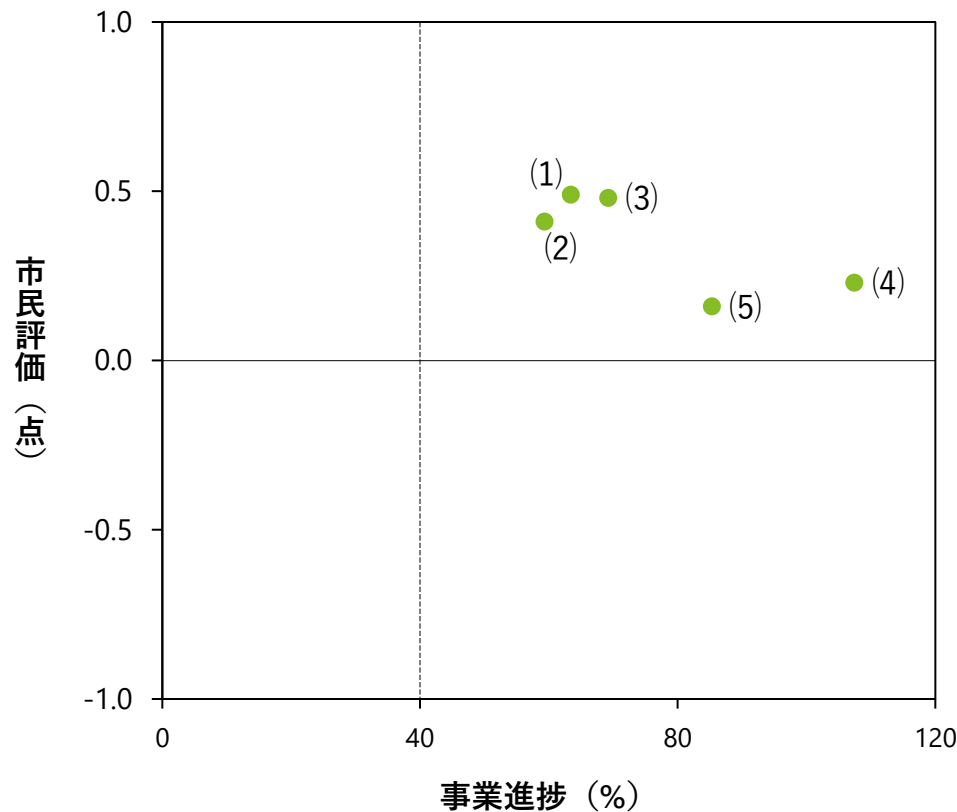
目指す姿の市民評価×重要度

(n = 6,862)



目指す姿の市民評価×事業進捗

(n = 6,862)



目指す姿

(1)森林、農地、公園や河川などが保全・創出・整備されている。

(2)豊かなみどりがあるまちの中で、健康的で幸福感のある生活を送っている。

(3)森林や公園などの身近なみどりが、自然との触れ合いや人々との交流の場に活用されている。

(4)みどりが持つ防災、経済活動、水源かん養、二酸化炭素の吸収など多面的な機能を発揮している。

(5)生物多様性が広く理解され、地域本来の生態系が維持された中で自然と人が共生している。

環境分野

基本目標⑰「身近なみどりを守り、育て、自然とともに暮らすまち」

基本目標に (n = 6,862)

対する評価
【詳細版】

		R4 (n=3,292)	R5 (n=2,013)	R6 (n=2,494)	R7 (n=6,862)	R7-R6
全体		3.72	3.69	3.65	3.59	-0.06
年代別	10代	3.82	3.78	3.80	3.94	0.14
	20代	3.76	3.84	3.62	3.68	0.06
	30代	3.67	3.52	3.63	3.62	-0.01
	40代	3.74	3.71	3.50	3.58	0.08
	50代	3.72	3.69	3.77	3.55	-0.22
	60代	3.61	3.58	3.62	3.45	-0.17
	70代以上	3.73	3.76	3.65	3.57	-0.08
性別	男性	3.73	3.64	3.63	3.56	-0.07
	女性	3.73	3.75	3.69	3.62	-0.07
	その他	3.50	3.45	3.38	3.13	-0.25
区別	中央区	3.82	3.88	3.72	3.63	-0.09
	北区	3.75	3.65	3.54	3.54	0.00
	東区	3.54	3.66	3.58	3.49	-0.09
	白石区	3.61	3.59	3.51	3.50	-0.01
	厚別区	3.75	3.70	3.65	3.61	-0.04
	豊平区	3.75	3.69	3.62	3.63	0.01
	清田区	3.76	3.56	3.60	3.59	-0.01
	南区	3.75	3.76	3.84	3.66	-0.18
	西区	3.77	3.68	3.71	3.57	-0.14
	手稲区	3.65	3.74	3.68	3.62	-0.06
18歳以下の子ども有無	有	3.71	3.65	3.72	3.66	-0.06
	無	3.72	3.70	3.62	3.54	-0.08

基本目標⑰ | 目指す姿の経年変化 全体・年代別

		基本目標⑰「身近なみどりを守り、育て、自然とともに暮らすまち」											
		サンプル数	森林、農地、公園や河川などが保全・創出・整備されている。	R7-R6	豊かなみどりがあるまちの中で、健康的で幸福感のある生活を送っている。	R7-R6	森林や公園などの身近なみどりが、自然との触れ合いや人々との交流の場に活用されている。	R7-R6	みどりが持つ防災、経済活動、水源かん養、二酸化炭素の吸収など多面的な機能を発揮している。	R7-R6	生物多様性が広く理解され、地域本来の生態系が維持された中で自然と人が共生している。	R7-R6	
全体		R4 3,292	0.56		0.36		0.55		0.08		0.07		
		R5 2,013	0.57		0.40		0.58		0.12		0.04		
		R6 2,494	0.48		0.30		0.49		0.06		0.06		
		R7 6,862	0.49	0.01	0.41	0.11	0.48	-0.01	0.23	0.17	0.16	0.10	
年代別	10代	R4 306	0.60		0.42		0.56		0.16		0.18		
		R5 146	0.59		0.46		0.64		0.27		0.18		
		R6 210	0.57		0.37		0.53		0.14		0.19		
		R7 218	0.63	0.06	0.60	0.23	0.62	0.09	0.43	0.29	0.46	0.27	
	20代	R4 435	0.56		0.36		0.52		0.04		0.08		
		R5 253	0.63		0.51		0.63		0.17		0.14		
		R6 438	0.45		0.28		0.49		0.03		0.09		
		R7 674	0.48	0.03	0.42	0.14	0.48	-0.01	0.26	0.23	0.25	0.16	
	30代	R4 468	0.58		0.30		0.57		0.05		0.03		
		R5 301	0.53		0.34		0.60		0.06		-0.01		
		R6 362	0.53		0.32		0.53		0.06		0.07		
		R7 1,169	0.49	-0.04	0.41	0.09	0.47	-0.06	0.22	0.16	0.19	0.12	
	40代	R4 469	0.65		0.39		0.58		0.12		0.11		
		R5 303	0.59		0.43		0.57		0.16		0.03		
		R6 303	0.46		0.21		0.46		0.02		0.01		
		R7 1,414	0.50	0.04	0.40	0.19	0.49	0.03	0.22	0.20	0.16	0.15	
	50代	R4 510	0.55		0.36		0.57		0.08		0.06		
		R5 234	0.61		0.38		0.58		0.17		0.06		
		R6 376	0.52		0.36		0.51		0.12		0.08		
		R7 1,490	0.48	-0.04	0.38	0.02	0.47	-0.04	0.23	0.11	0.15	0.07	
	60代	R4 402	0.48		0.28		0.50		0.05		-0.04		
R5 298		0.52		0.29		0.51		0.04		-0.06			
R6 355		0.45		0.30		0.45		-0.01		0.01			
R7 1,093		0.43	-0.02	0.37	0.07	0.43	-0.02	0.14	0.15	0.07	0.06		
70代以上	R4 682	0.55		0.40		0.59		0.11		0.12			
	R5 465	0.54		0.45		0.57		0.11		0.02			
	R6 423	0.43		0.30		0.49		0.09		-0.01			
	R7 804	0.50	0.07	0.41	0.11	0.48	-0.01	0.26	0.17	0.14	0.15		

基本目標⑱ | 目指す姿の経年変化 区別

		基本目標⑱「身近なみどりを守り、育て、自然とともに暮らすまち」										
		サンプル数	森林、農地、公園や河川などが保全・創出・整備されている。	R7-R6	豊かなみどりがあるまちの中で、健康的で幸福感のある生活を送っている。	R7-R6	森林や公園などの身近なみどりが、自然との触れ合いや人々との交流の場に活用されている。	R7-R6	みどりが持つ防災、経済活動、水源かん養、二酸化炭素の吸収など多面的な機能を発揮している。	R7-R6	生物多様性が広く理解され、地域本来の生態系が維持された中で自然と人が共生している。	R7-R6
区別	中央区	R4	351	0.57	0.40	0.61	0.11	0.09				
		R5	206	0.56	0.54	0.65	0.18	-0.01				
		R6	247	0.53	0.40	0.51	0.09	0.05				
		R7	959	0.53	0.00	0.43	0.03	0.50	-0.01	0.26	0.17	0.21
	北区	R4	314	0.61	0.36	0.60	0.03	0.06				
		R5	196	0.59	0.36	0.60	0.10	-0.01				
		R6	246	0.39	0.26	0.48	0.00	0.04				
		R7	925	0.47	0.08	0.38	0.12	0.47	-0.01	0.22	0.22	0.17
	東区	R4	318	0.48	0.24	0.50	0.05	0.03				
		R5	199	0.57	0.35	0.58	0.16	0.06				
		R6	245	0.47	0.19	0.44	0.09	0.05				
		R7	887	0.42	-0.05	0.34	0.15	0.40	-0.04	0.16	0.07	0.10
	白石区	R4	276	0.54	0.29	0.50	0.04	0.06				
		R5	176	0.58	0.31	0.55	0.10	-0.05				
		R6	226	0.49	0.27	0.43	0.13	-0.01				
		R7	659	0.47	-0.02	0.33	0.06	0.41	-0.02	0.22	0.09	0.14
	厚別区	R4	339	0.55	0.37	0.57	0.06	0.04				
		R5	205	0.59	0.42	0.62	0.15	0.02				
		R6	260	0.46	0.31	0.47	0.11	0.11				
		R7	425	0.49	0.03	0.43	0.12	0.50	0.03	0.22	0.11	0.20
	豊平区	R4	310	0.59	0.38	0.56	0.05	0.06				
		R5	196	0.53	0.42	0.53	0.12	0.09				
		R6	231	0.47	0.25	0.42	0.05	0.05				
		R7	817	0.51	0.04	0.44	0.19	0.51	0.09	0.22	0.17	0.16
	清田区	R4	346	0.60	0.34	0.52	0.14	0.11				
		R5	199	0.53	0.35	0.46	0.05	0.03				
		R6	217	0.46	0.28	0.52	0.02	-0.01				
		R7	401	0.47	0.01	0.43	0.15	0.45	-0.07	0.23	0.21	0.14
	南区	R4	352	0.57	0.42	0.57	0.18	0.15				
		R5	188	0.58	0.46	0.57	0.21	0.13				
		R6	256	0.50	0.38	0.53	0.12	0.18				
		R7	536	0.51	0.01	0.46	0.08	0.52	-0.01	0.30	0.18	0.25
	西区	R4	346	0.60	0.44	0.58	0.10	0.08				
		R5	236	0.57	0.40	0.58	0.11	0.08				
		R6	277	0.53	0.32	0.50	-0.01	0.05				
		R7	803	0.49	-0.04	0.42	0.10	0.49	-0.01	0.22	0.23	0.14
	手稲区	R4	309	0.54	0.34	0.58	0.06	0.07				
		R5	197	0.58	0.43	0.66	0.10	0.00				
		R6	246	0.51	0.33	0.60	0.02	0.04				
		R7	450	0.50	-0.01	0.42	0.09	0.53	-0.07	0.25	0.23	0.16

基本目標⑰ | 目指す姿の経年変化 性別・子ども有無別

		基本目標⑰「身近なみどりを守り、育て、自然とともに暮らすまち」											
		サンプル数	森林、農地、公園や河川などが保全・創出・整備されている。	R7-R6	豊かなみどりがあるまちの中で、健康的で幸福感のある生活を送っている。	R7-R6	森林や公園などの身近なみどりが、自然との触れ合いや人々との交流の場に活用されている。	R7-R6	みどりが持つ防災、経済活動、水源かん養、二酸化炭素の吸収など多面的な機能を発揮している。	R7-R6	生物多様性が広く理解され、地域本来の生態系が維持された中で自然と人が共生している。	R7-R6	
性別	男性	R4	1,429	0.59		0.37		0.56		0.13		0.09	
		R5	895	0.56		0.39		0.54		0.16		0.04	
		R6	1,087	0.52		0.31		0.49		0.11		0.04	
		R7	2,985	0.47	-0.05	0.39	0.08	0.45	-0.04	0.24	0.13	0.17	0.13
	女性	R4	1,651	0.56		0.37		0.58		0.06		0.08	
		R5	1,053	0.58		0.42		0.62		0.10		0.04	
		R6	1,326	0.46		0.30		0.50		0.03		0.07	
18歳以下の子供	有	R7	3,581	0.51	0.05	0.42	0.12	0.51	0.01	0.23	0.20	0.17	0.10
		R4	922	0.61		0.37		0.58		0.09		0.09	
		R5	574	0.57		0.40		0.54		0.10		0.03	
		R6	643	0.52		0.30		0.53		0.09		0.09	
	無	R7	2,172	0.51	-0.01	0.43	0.13	0.51	-0.02	0.25	0.16	0.20	0.11
		R4	2,326	0.55		0.36		0.55		0.08		0.07	
		R5	1,420	0.57		0.41		0.60		0.13		0.03	
		R6	1,804	0.47		0.30		0.48		0.05		0.04	
		R7	4,690	0.47	0.00	0.39	0.09	0.46	-0.02	0.21	0.16	0.15	0.11

基本目標⑰ | 目指す姿の重要度 属性別

		基本目標⑰「身近なみどりを守り、育て、自然とともに暮らすまち」					
		サンプル数	森林、農地、公園や河川などが 保全・創出・整備されている。	豊かなみどりがあるまちの中で、健 康的で幸福感のある生活を送って いる。	森林や公園などの身近なみどりが、 自然との触れ合いや人々との交 流の場に活用されている。	みどりが持つ防災、経済活動、水 源かん養、二酸化炭素の吸収な ど多面的な機能を発揮している。	生物多様性が広く理解され、地 域本来の生態系が維持された中 で自然と人が共生している。
全体		6,862	75.3%	63.3%	65.8%	55.3%	55.1%
年代別	10代	218	76.6%	64.7%	63.3%	57.3%	61.9%
	20代	674	73.6%	60.2%	58.6%	49.6%	54.0%
	30代	1,169	75.9%	61.3%	62.3%	49.4%	53.3%
	40代	1,414	77.2%	65.4%	67.2%	54.9%	54.7%
	50代	1,490	73.2%	62.2%	64.2%	54.9%	56.8%
	60代	1,093	73.7%	65.1%	67.9%	54.4%	54.1%
	70代以上	804	77.5%	64.3%	70.9%	62.1%	55.7%
性別	男性	2,985	72.9%	60.0%	64.0%	51.7%	50.1%
	女性	3,581	77.4%	66.5%	66.7%	56.0%	59.1%
区別	中央区	959	73.3%	58.8%	61.1%	59.1%	57.4%
	北区	925	77.2%	65.0%	66.9%	57.5%	58.2%
	東区	887	76.1%	60.1%	63.8%	52.2%	51.6%
	白石区	659	74.1%	61.9%	63.5%	54.5%	50.4%
	厚別区	425	71.3%	59.6%	61.2%	51.1%	51.6%
	豊平区	817	73.2%	66.8%	67.3%	53.2%	55.3%
	清田区	401	74.3%	62.5%	63.8%	53.0%	55.6%
	南区	536	73.3%	63.6%	66.8%	53.1%	59.9%
	西区	803	75.6%	66.2%	68.8%	58.4%	59.1%
	手稲区	450	76.3%	67.7%	68.1%	55.9%	58.5%
18歳以下の子供	有	2,172	77.7%	63.9%	65.6%	51.5%	53.8%
	無	4,690	74.1%	63.1%	65.1%	55.6%	55.7%

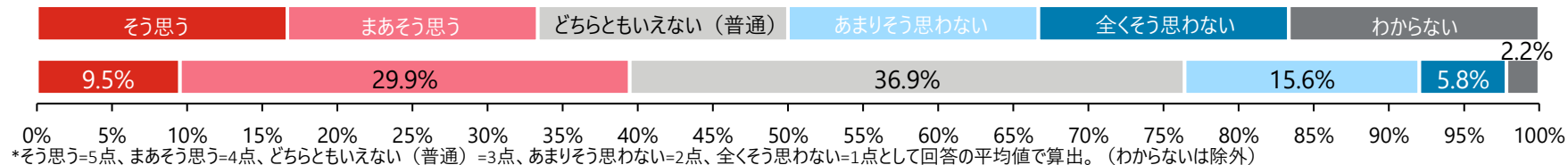
都市空間分野

基本目標⑱「コンパクトで人にやさしい快適なまち」

全体評価点* (前年比)	R4	R5	R6
3.23 (+0.06)	3.43	3.23	3.17

基本目標
の評価

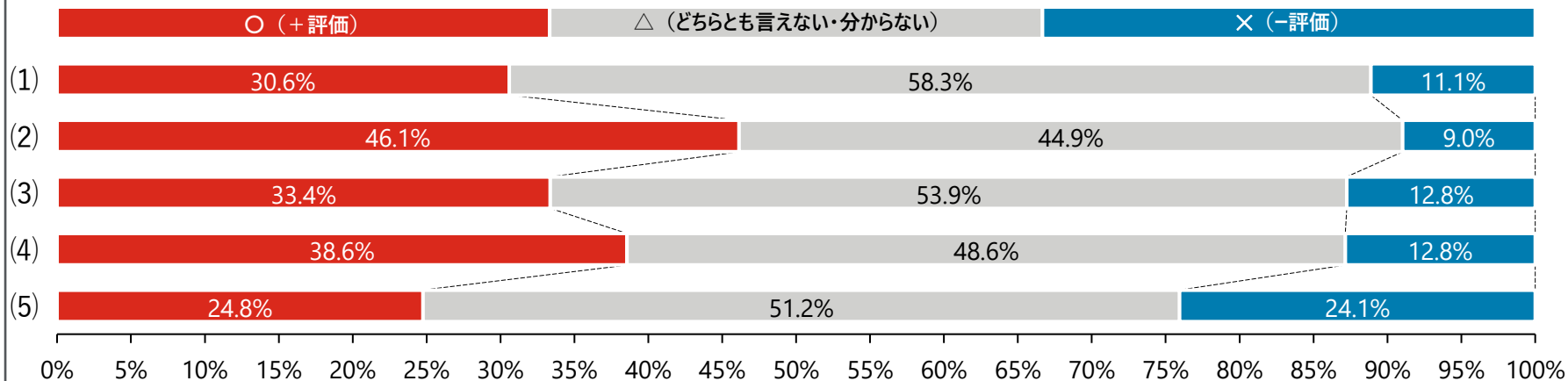
(n = 6,862) 基本目標⑱「コンパクトで人にやさしい快適なまち」が実現していると思いますか。



目指す姿
の評価

目指す姿	内容
目指す姿	(1)都心、地域交流拠点※1、住宅市街地※2などの種別に応じた土地利用が行われている。
	(4)地下鉄沿線などの複合型高度利用市街地では、集合型の居住機能と多様な生活利便機能が集積し、郊外住宅地ではゆとりある良好な住環境が維持されている。
	(2)四季の変化が感じられる良好な景観が形成されている。
	(5)誰もが快適に利用でき、環境にもやさしい移動環境・手段が整備され、公共交通を軸としたシームレスな交通ネットワークが確立されている。
	(3)地域交流拠点※1では、商業・サービス機能などの多様な都市機能の集積が進み、快適な交流・滞留空間、歩きたくなる空間などが形成されている。

(n = 6,862) 基本目標⑱「コンパクトで人にやさしい快適なまち」に関連する下記の札幌市の目指す姿に対して、「○ (+評価)」、「△ (どちらとも言えない・わからない) 」または「× (-評価) 」のいずれかあてはまるものを選択してください。



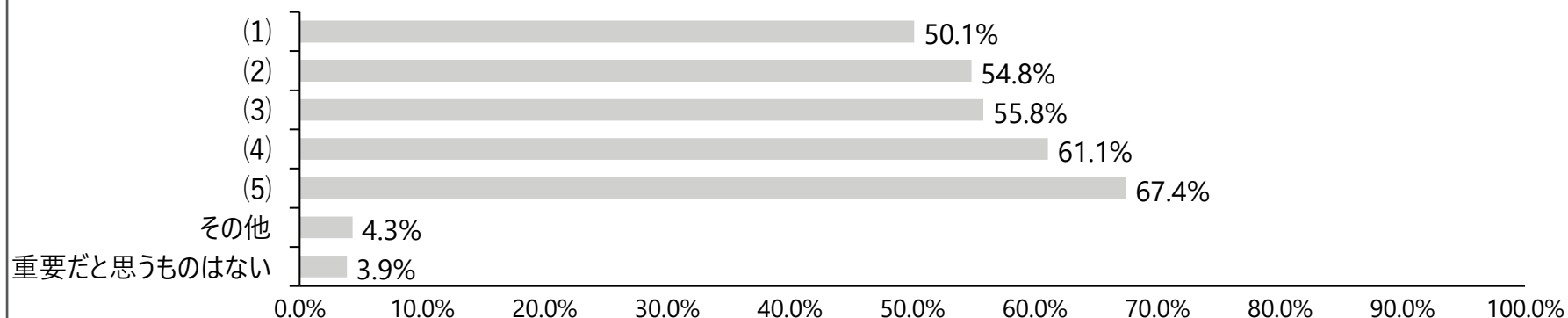
都市空間分野

基本目標⑱「コンパクトで人にやさしい快適なまち」

重要度の評価

目指す姿	(1)都心、地域交流拠点※1、住宅市街地※2などの種別に応じた土地利用が行われている。	(2)四季の変化が感じられる良好な景観が形成されている。	(3)地域交流拠点※1では、商業・サービス機能などの多様な都市機能の集積が進み、快適な交流・滞留空間、歩きたくなる空間などが形成されている。
	(4)地下鉄沿線などの複合型高度利用市街地では、集合型の居住機能と多様な生活利便機能が集積し、郊外住宅地ではゆとりある良好な住環境が維持されている。	(5)誰もが快適に利用でき、環境にもやさしい移動環境・手段が整備され、公共交通を軸としたシームレスな交通ネットワークが確立されている。	

(n = 6,862) 基本目標⑱「コンパクトで人にやさしい快適なまち」に関連する下記の札幌市の目指す姿のなかで、あなたが重要だと思うものすべてを選択してください。



上記以外に重要だと思うもの (FA)

カテゴリ	記述内容抜粋
地下鉄延伸・空港連携	・東豊線を丘珠空港までつなげ、空港アクセスを改善すべきだ。 ・地下鉄の終点は延ばすべきであり、冬季の安定交通のためにも延伸が必要だ。
バス維持拡充と結節化	・バスが減便・廃線され不便になっているため、路線維持と本数増加が必要だ。 ・地下鉄とJR、バスの結節を強化し、乗り換えしやすい体系にしてほしい。
雪害対策と安全な移動	・冬季でも安心して移動できるよう、地下鉄延伸や雪に強い交通網を整備すべきだ。 ・雪で歩く道すらない場面があり、歩道のロードヒーティングなど安全対策が必要だ。
地域格差是正と拠点再生	・郊外は交通が不便で、清田だけ捨て置かれ感があると感じる。 ・真駒内駅周辺の活用をもっと考え、駅近一等地の再生を進めてほしい。
バリアフリーとやさしさ	・地下鉄のエレベーターは体の不自由な人が優先して使えるよう、周知と配慮が必要だ。 ・敬老パスをJRでも使えるようにし、交通弱者に優しい施策を充実させてほしい。

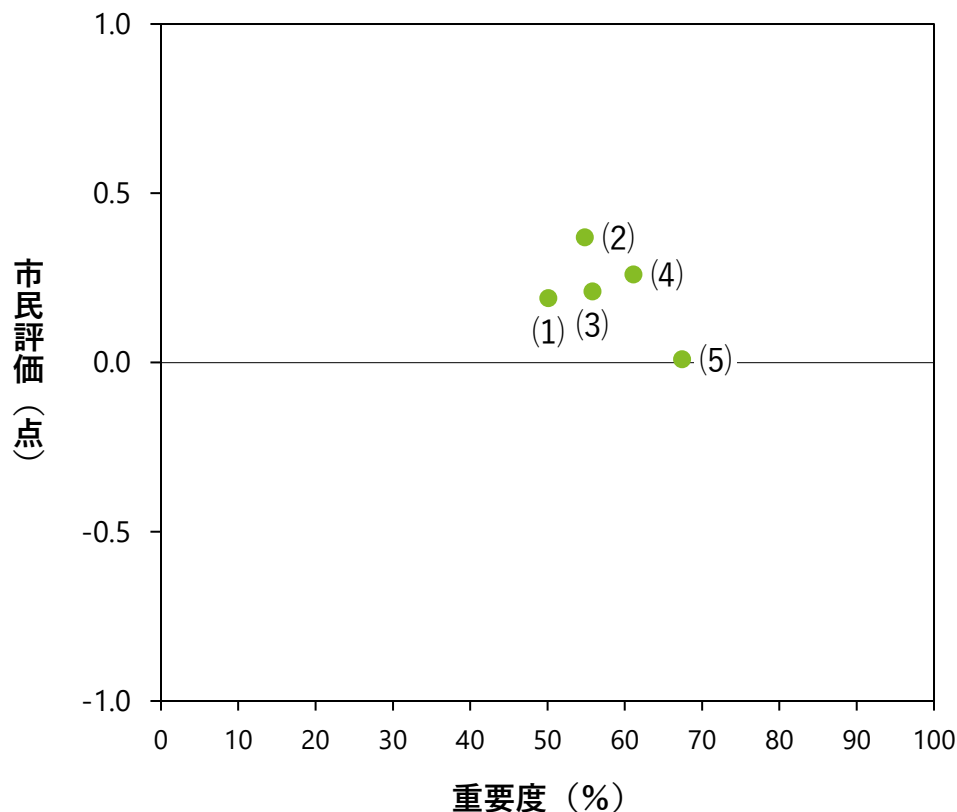
* 回答の多い内容を集約し、カテゴライズ。
実際の回答を記載（弊社にて必要に応じて文言調整）

都市空間分野

基本目標⑱「コンパクトで人にやさしい快適なまち」

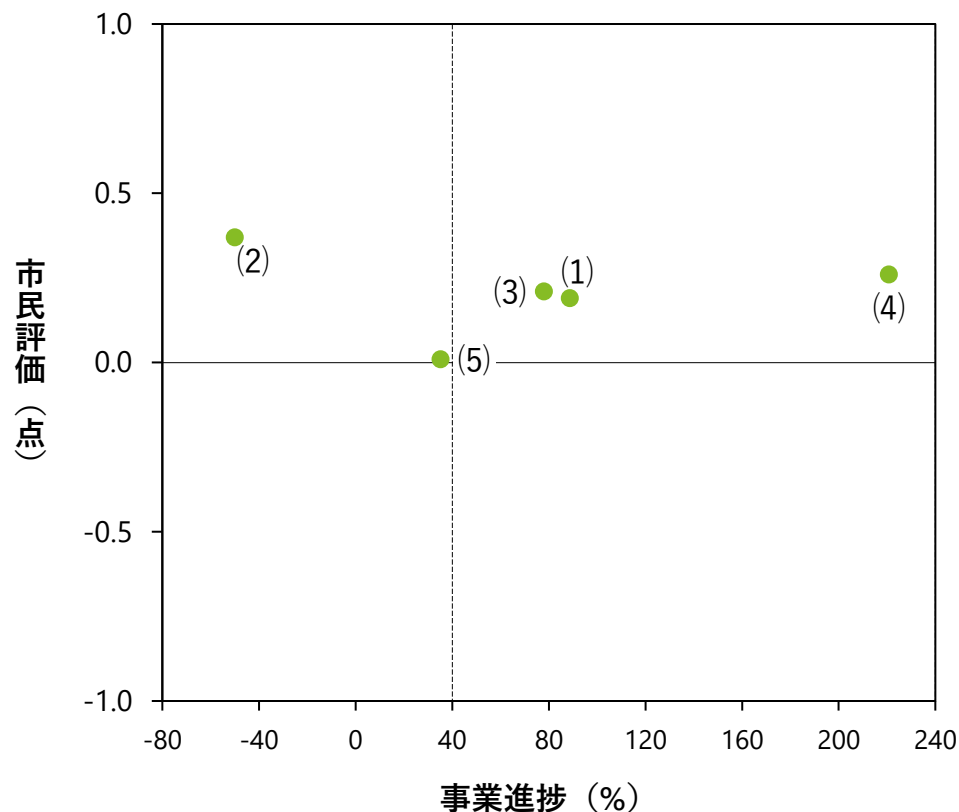
目指す姿の市民評価×重要度

(n = 6,862)



目指す姿の市民評価×事業進捗

(n = 6,862)



目指す姿	(1)都心、地域交流拠点※1、住宅市街地※2などの種別に応じた土地利用が行われている。	(2)四季の変化が感じられる良好な景観が形成されている。	(3)地域交流拠点※1では、商業・サービス機能などの多様な都市機能の集積が進み、快適な交流・滞留空間、歩きたくなる空間などが形成されている。
	(4)地下鉄沿線などの複合型高度利用市街地では、集合型の居住機能と多様な生活利便機能が集積し、郊外住宅地ではゆとりある良好な住環境が維持されている。	(5)誰もが快適に利用でき、環境にもやさしい移動環境・手段が整備され、公共交通を軸としたシームレスな交通ネットワークが確立されている。	

都市空間分野

基本目標⑱「コンパクトで人にやさしい快適なまち」

基本目標に (n = 6,862)

対する評価
【詳細版】

		R4 (n=3,292)	R5 (n=2,013)	R6 (n=2,494)	R7 (n=6,862)	R7-R6
全体		3.43	3.23	3.17	3.23	0.06
年代別	10代	3.61	3.49	3.47	3.68	0.21
	20代	3.64	3.49	3.26	3.48	0.22
	30代	3.38	3.19	3.21	3.35	0.14
	40代	3.35	3.11	3.00	3.18	0.18
	50代	3.36	3.16	3.19	3.11	-0.08
	60代	3.29	3.07	3.06	3.03	-0.03
	70代以上	3.47	3.29	3.12	3.17	0.05
性別	男性	3.40	3.17	3.12	3.18	0.06
	女性	3.49	3.31	3.23	3.26	0.03
	その他	3.19	2.89	2.97	2.83	-0.14
区別	中央区	3.55	3.43	3.25	3.32	0.07
	北区	3.51	3.21	3.16	3.20	0.04
	東区	3.32	3.36	3.17	3.13	-0.04
	白石区	3.44	3.22	3.11	3.25	0.14
	厚別区	3.46	3.33	3.28	3.41	0.13
	豊平区	3.55	3.13	3.18	3.28	0.10
	清田区	3.31	3.03	2.91	2.90	-0.01
	南区	3.32	3.20	3.20	3.03	-0.17
	西区	3.50	3.25	3.24	3.31	0.07
	手稲区	3.40	3.18	3.17	3.10	-0.07
18歳以下の子ども有無	有	3.38	3.17	3.18	3.29	0.11
	無	3.46	3.26	3.17	3.17	0.00

基本目標⑱ | 目指す姿の経年変化 全体・年代別

		基本目標⑱「世界を引き付ける魅力と活力あふれるまち」										
		サンプル数	都心、地域交流拠点※1、住宅市街地※2などの種別に応じた土地利用が行われている。	R7-R6	四季の変化が感じられる良好な景観が形成されている。	R7-R6	地域交流拠点※1では、商業・サービス機能などの多様な都市機能の集積が進み、快適な交流・滞留空間、歩きたくなる空間などが形成されている。	R7-R6	地下鉄沿線などの複合型高度利用市街地では、集合型の居住機能と多様な生活利便機能が集積し、郊外住宅地ではゆとりある良好な住環境が維持されている。	R7-R6	誰もが快適に利用でき環境にもやさしい移動環境・手段が整備され公共交通を軸としたシームレスな交通ネットワークが確立されている。	R7-R6
全体		R4 3,292	0.20	0.20	0.50	0.19	0.30	0.03	0.13	0.08	0.03	
		R5 2,013	0.19	0.19	0.57	0.03	0.13	-0.17	0.13	-0.17	-0.17	
		R6 2,494	0.12	0.12	0.45	0.00	0.08	-0.17	0.08	-0.17	-0.17	
		R7 6,862	0.19	0.07	0.37	-0.08	0.21	0.18	0.26	0.18	0.01	0.18
年代別	10代	R4 306	0.33	0.33	0.50	0.24	0.32	0.16	0.32	0.20	0.09	
		R5 146	0.34	0.34	0.75	0.24	0.20	0.09	0.20	0.20	0.06	
		R6 210	0.36	0.36	0.55	0.20	0.20	0.06	0.06	0.20	0.06	
		R7 218	0.44	0.08	0.57	0.02	0.44	0.24	0.36	0.44	0.24	0.36
	20代	R4 435	0.30	0.30	0.56	0.26	0.37	0.13	0.13	0.37	0.25	-0.01
		R5 253	0.36	0.36	0.65	0.15	0.25	-0.01	-0.01	0.25	0.25	-0.01
		R6 438	0.18	0.18	0.44	0.03	0.08	-0.10	-0.10	0.08	0.08	-0.10
		R7 674	0.34	0.16	0.47	0.03	0.33	0.30	0.21	0.38	0.30	0.21
	30代	R4 468	0.21	0.21	0.44	0.23	0.33	-0.04	-0.04	0.33	0.33	-0.04
		R5 301	0.20	0.20	0.53	0.02	0.15	-0.26	-0.26	0.15	0.15	-0.26
		R6 362	0.24	0.24	0.46	-0.01	0.17	-0.11	-0.11	0.17	0.17	-0.11
		R7 1,169	0.25	0.01	0.40	-0.06	0.25	0.26	0.10	0.31	0.14	0.10
	40代	R4 469	0.22	0.22	0.50	0.20	0.36	-0.02	-0.02	0.36	0.36	-0.02
		R5 303	0.14	0.14	0.53	-0.01	0.13	-0.26	-0.26	0.13	0.13	-0.26
		R6 303	-0.01	-0.01	0.37	-0.01	0.03	-0.24	-0.24	0.03	0.03	-0.24
		R7 1,414	0.16	0.17	0.36	-0.01	0.19	0.20	-0.03	0.26	0.23	-0.03
	50代	R4 510	0.20	0.20	0.49	0.16	0.30	-0.06	-0.06	0.30	0.30	-0.06
		R5 234	0.12	0.12	0.54	0.06	0.15	-0.26	-0.26	0.15	0.15	-0.26
		R6 376	0.10	0.10	0.50	0.00	0.06	-0.21	-0.21	0.06	0.06	-0.21
		R7 1,490	0.15	0.05	0.32	-0.18	0.16	0.16	-0.07	0.21	0.15	-0.07
	60代	R4 402	0.03	0.03	0.47	0.14	0.19	-0.07	-0.07	0.19	0.19	-0.07
R5 298		0.10	0.10	0.47	-0.10	0.00	-0.31	-0.31	0.00	0.00	-0.31	
R6 355		0.01	0.01	0.43	-0.04	0.05	-0.30	-0.30	0.05	0.05	-0.30	
R7 1,093		0.11	0.10	0.29	-0.14	0.10	0.14	-0.14	0.15	0.10	-0.14	0.16
70代以上	R4 682	0.18	0.18	0.54	0.16	0.26	0.11	0.11	0.26	0.26	0.11	
	R5 465	0.16	0.16	0.59	-0.01	0.11	-0.08	-0.08	0.11	0.11	-0.08	
	R6 423	0.06	0.06	0.44	-0.05	0.03	-0.23	-0.23	0.03	0.03	-0.23	
	R7 804	0.16	0.10	0.37	-0.07	0.18	0.23	-0.05	0.22	0.19	-0.05	0.18

基本目標⑱ | 目指す姿の経年変化 区別

		基本目標⑱「世界を引き付ける魅力と活力あふれるまち」										
区別	中央区	サンプル数	都心、地域交流拠点※1、住宅市街地※2などの種別に応じた土地利用が行われている。	R7-R6	四季の変化が感じられる良好な景観が形成されている。	R7-R6	地域交流拠点※1では、商業・サービス機能などの多様な都市機能の集積が進み、快適な交流・滞留空間、歩きたくなる空間などが形成されている。	R7-R6	地下鉄沿線などの複合型高度利用市街地では、集合型の居住機能と多様な生活利便機能が集積し、郊外住宅地ではゆとりある良好な住環境が維持されている。	R7-R6	誰もが快適に利用でき、環境にもやさしい移動環境・手段が整備され、公共交通を軸としたシームレスな交通ネットワークが確立されている。	R7-R6
			R4	R5	R6	R7	R4	R5	R6	R7	R4	R5
		351	0.22		0.57		0.27		0.28		0.02	
		206	0.13		0.68		0.06		0.14		-0.08	
		247	0.12		0.52		0.04		0.05		-0.12	
		959	0.23	0.11	0.41	-0.11	0.25	0.21	0.32	0.27	0.06	0.18
	北区	314	0.22		0.51		0.24		0.33		0.03	
		196	0.23		0.52		-0.04		0.10		-0.22	
		246	0.13		0.40		0.02		0.11		-0.15	
		925	0.20	0.07	0.31	-0.09	0.18	0.16	0.26	0.15	0.01	0.16
	東区	318	0.16		0.42		0.11		0.26		0.03	
		199	0.28		0.55		0.11		0.23		-0.11	
		245	0.08		0.38		0.00		0.07		-0.20	
		887	0.15	0.07	0.28	-0.10	0.16	0.16	0.21	0.14	-0.02	0.18
	白石区	276	0.21		0.43		0.16		0.34		0.04	
		176	0.18		0.53		0.05		0.01		-0.08	
		226	0.13		0.40		-0.04		0.05		-0.16	
		659	0.17	0.04	0.32	-0.08	0.19	0.23	0.29	0.24	0.06	0.22
	厚別区	339	0.21		0.44		0.25		0.42		0.10	
		205	0.35		0.61		0.10		0.21		-0.03	
		260	0.20		0.43		0.07		0.25		-0.08	
		425	0.28	0.08	0.38	-0.05	0.32	0.25	0.39	0.14	0.09	0.17
	豊平区	310	0.22		0.59		0.26		0.30		0.16	
		196	0.19		0.49		-0.01		0.11		-0.22	
		231	0.10		0.39		-0.03		0.03		-0.15	
		817	0.19	0.09	0.38	-0.01	0.23	0.26	0.26	0.23	0.02	0.17
	清田区	346	0.18		0.49		0.17		0.27		-0.11	
		199	0.09		0.49		-0.11		0.11		-0.37	
		217	0.05		0.44		-0.07		0.04		-0.29	
		401	0.11	0.06	0.38	-0.06	0.15	0.22	0.08	0.04	-0.22	0.07
	南区	352	0.16		0.57		0.13		0.19		0.00	
		188	0.08		0.55		0.03		0.05		-0.20	
		256	0.13		0.57		0.04		0.10		-0.18	
		536	0.12	-0.01	0.46	-0.11	0.07	0.03	0.15	0.05	-0.08	0.10
	西区	346	0.24		0.52		0.21		0.38		0.10	
		236	0.17		0.57		0.09		0.19		-0.19	
		277	0.13		0.48		0.03		0.06		-0.14	
		803	0.22	0.09	0.38	-0.10	0.25	0.22	0.31	0.25	0.06	0.20
	手稲区	309	0.25		0.49		0.14		0.24		-0.06	
		197	0.16		0.68		-0.03		0.10		-0.21	
		246	0.17		0.47		-0.05		0.04		-0.28	
		450	0.20	0.03	0.44	-0.03	0.17	0.22	0.19	0.15	-0.12	0.16

基本目標⑱ | 目指す姿の経年変化 性別・子ども有無別

		基本目標⑱「世界を引き付ける魅力と活力あふれるまち」											
		サンプル数	都心、地域交流拠点※1、住宅市街地※2などの種別に応じた土地利用が行われている。	R7-R6	四季の変化が感じられる良好な景観が形成されている。	R7-R6	地域交流拠点※1では、商業・サービス機能などの多様な都市機能の集積が進み、快適な交流・滞留空間、歩きたくなる空間などが形成されている。	R7-R6	地下鉄沿線などの複合型高度利用市街地では、集合型の居住機能と多様な生活利便機能が集積し、郊外住宅地ではゆとりある良好な住環境が維持されている。	R7-R6	誰もが快適に利用でき環境にもやさしい移動環境・手段が整備され、公共交通を軸としたシームレスな交通ネットワークが確立されている。	R7-R6	
性別	男性	R4	1,429	0.21		0.49		0.15		0.28		0.03	
		R5	895	0.16		0.52		0.01		0.13		-0.20	
		R6	1,087	0.13		0.43		0.00		0.07		-0.20	
		R7	2,985	0.18	0.05	0.32	-0.11	0.18	0.18	0.23	0.16	0.01	0.21
	女性	R4	1,651	0.22		0.53		0.24		0.33		0.03	
		R5	1,053	0.21		0.61		0.05		0.14		-0.14	
		R6	1,326	0.12		0.48		0.02		0.10		-0.15	
18歳以下の子供	有	R7	3,581	0.20	0.08	0.42	-0.06	0.23	0.21	0.28	0.18	0.01	0.16
		R4	922	0.22		0.51		0.17		0.35		-0.02	
		R5	574	0.17		0.55		0.02		0.13		-0.25	
		R6	643	0.16		0.43		0.01		0.09		-0.15	
	無	R7	2,172	0.21	0.05	0.39	-0.04	0.24	0.23	0.28	0.19	0.02	0.17
		R4	2,326	0.20		0.50		0.20		0.28		0.05	
		R5	1,420	0.19		0.58		0.03		0.12		-0.14	
		R6	1,804	0.11		0.46		0.00		0.08		-0.18	
		R7	4,690	0.18	0.07	0.35	-0.11	0.18	0.18	0.24	0.16	-0.01	0.17

基本目標⑱ | 目指す姿の重要度 属性別

		基本目標⑱「コンパクトで人にやさしい快適なまち」						
		サンプル数	都心、地域交流拠点※1、住宅市街地※2などの種別に応じた土地利用が行われている。	四季の変化が感じられる良好な景観が形成されている。	地域交流拠点※1では、商業・サービス機能などの多様な都市機能の集積が進み、快適な交流・滞留空間、歩きたくなる空間などが形成されている。	地下鉄沿線などの複合型高度利用市街地では、集合型の居住機能と多様な生活利便機能が集積し、郊外住宅地ではゆとりある良好な住環境が維持されている。	誰もが快適に利用でき、環境にもやさしい移動環境・手段が整備され、公共交通を軸としたシームレスな交通ネットワークが確立されている。	
全体		6,862	50.1%	54.8%	55.8%	61.1%	67.4%	
年代別	10代	218	57.3%	59.2%	56.9%	65.6%	61.9%	
	20代	674	54.3%	52.5%	55.9%	62.3%	62.3%	
	30代	1,169	50.3%	51.3%	54.1%	62.9%	66.6%	
	40代	1,414	49.8%	52.9%	55.0%	59.5%	69.1%	
	50代	1,490	47.9%	48.8%	51.7%	59.1%	71.1%	
	60代	1,093	47.8%	57.5%	56.2%	56.6%	68.5%	
	70代以上	804	50.2%	61.7%	60.1%	63.3%	68.4%	
性別	男性	2,985	51.1%	51.6%	53.7%	57.7%	62.1%	
	女性	3,581	49.3%	55.6%	56.4%	63.0%	73.0%	
区別	中央区	959	45.3%	51.4%	53.4%	58.1%	68.2%	
	北区	925	50.8%	58.3%	56.5%	61.5%	71.9%	
	東区	887	49.9%	50.2%	54.3%	58.3%	69.0%	
	白石区	659	48.7%	51.5%	52.9%	63.0%	67.1%	
	厚別区	425	46.6%	50.1%	52.2%	58.3%	62.7%	
	豊平区	817	53.6%	53.9%	58.6%	65.6%	62.8%	
	清田区	401	48.2%	53.2%	54.6%	60.1%	66.2%	
	南区	536	46.6%	50.1%	51.1%	58.1%	69.6%	
	西区	803	54.7%	57.3%	60.3%	60.8%	72.9%	
	手稲区	450	51.2%	57.7%	56.4%	60.8%	67.6%	
	18歳以下の子供	有	2,172	50.5%	51.8%	54.4%	60.1%	66.5%
無		4,690	49.6%	54.5%	55.4%	60.6%	68.7%	

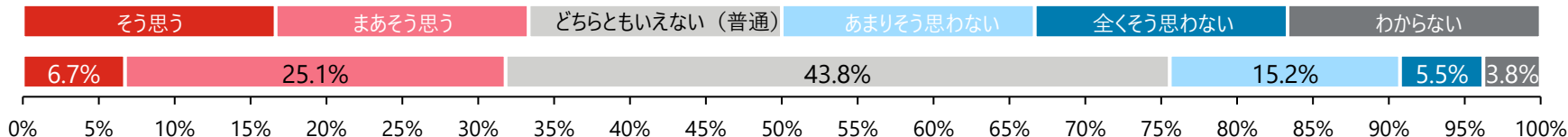
都市空間分野

基本目標⑱「世界を引き付ける魅力と活力あふれるまち」

全体評価点* (前年比)	R4	R5	R6
3.14 (▲0.16)	3.32	3.25	3.30

基本目標の評価

(n = 6,862) 基本目標⑱「世界を引き付ける魅力と活力あふれるまち」が実現していると思いますか。

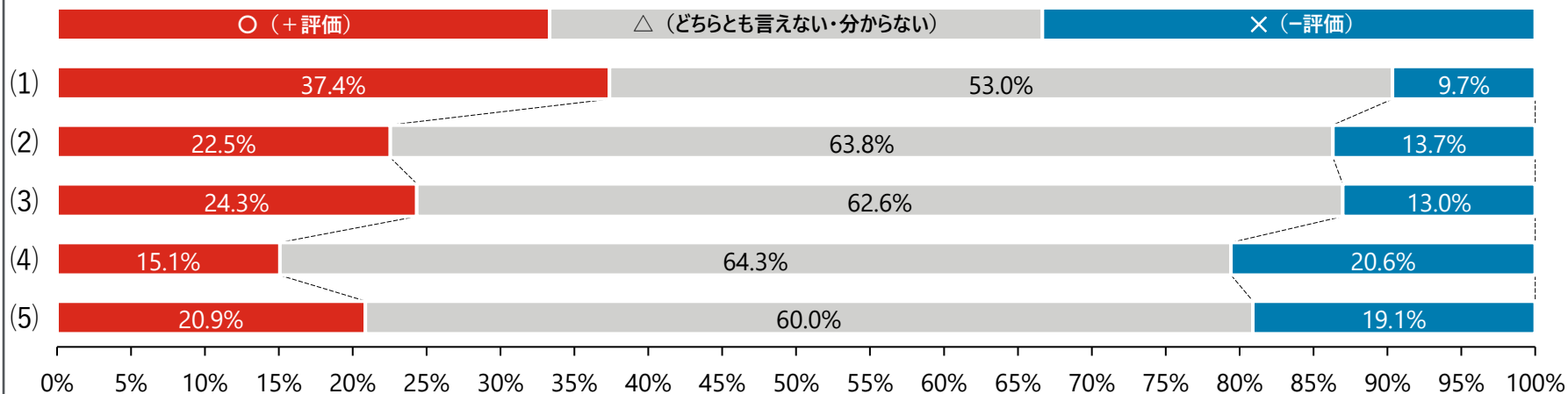


*そう思う=5点、まあそう思う=4点、どちらともいえない (普通) =3点、あまりそう思わない=2点、全くそう思わない=1点として回答の平均値で算出。(わからないは除外)

目指す姿の評価

目指す姿	内容
目指す姿	(1)都心では高次の都市機能の集積が進むとともに、快適な交流・滞留空間やみどりの創出などにより、魅力的で面白いのある歩きたくなる都心が形成されている。
	(4)工業地・流通業務地では、老朽化した施設の更新や機能の高度化等が進んでいる。
目指す姿	(2)都心ではデータや先端技術の活用などにより、イノベーションが創出、新しい価値が生まれ続けている。
	(5)広域交通ネットワークの充実・強化により、道内の都市をはじめ、国内外との地域とのつながりが深まり、北海道全体の社会経済活動の活発化が進んでいる。
目指す姿	(3)高次機能交流拠点※では、国際的・広域的な産業や観光等の都市機能の高度化と集積が進んでいる。

(n = 6,862) 基本目標⑱「世界を引き付ける魅力と活力あふれるまち」に関連する下記の札幌市の目指す姿に対して、「○ (+評価)」、「△ (どちらとも言えない・わからない) 」または「× (-評価) 」のいずれかあてはまるものを選択してください。



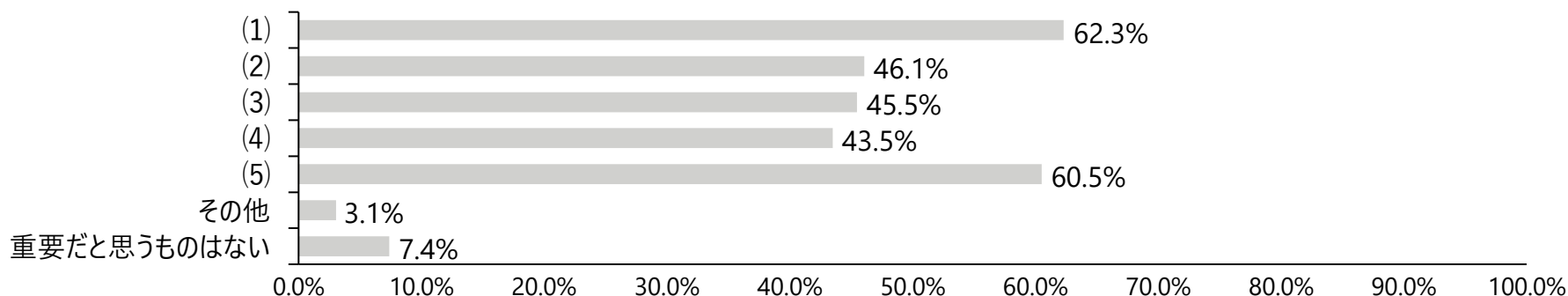
都市空間分野

基本目標⑱「世界を引き付ける魅力と活力あふれるまち」

重要度の評価

目指す姿	(1)都心では高次の都市機能の集積が進むとともに、快適な交流・滞留空間やみどりの創出などにより、魅力的でうまいのある歩きたくなる都心が形成されている。	(2)都心ではデータや先端技術の活用などにより、イノベーションが創出、新しい価値が生まれ続けている。	(3)高次機能交流拠点※では、国際的・広域的な産業や観光等の都市機能の高度化と集積が進んでいる。
	(4)工業地・流通業務地では、老朽化した施設の更新や機能の高度化等が進んでいる。	(5)広域交通ネットワークの充実・強化により、道内の都市をはじめ、国内外との地域とのつながりが深まり、北海道全体の社会経済活動の活発化が進んでいる。	

(n = 6,862) 基本目標⑱「世界を引き付ける魅力と活力あふれるまち」に関連する下記の札幌市の目指す姿のなかで、あなたが重要だと思うものすべてを選択してください。



上記以外に重要だと思うもの (FA)

カテゴリ	記述内容抜粋
市民優先と来訪者対応	・世界より先に市民が満足するまちづくりを優先してほしい。 ・観光客のマナーを徹底し、市民が安心して共存できる環境づくりが必要だ。
老朽更新と景観整備	・歩道はでこぼこ、車道も穴だらけなので、早急に直すべきだ。 ・雑居ビルの老朽化が目立ち景観が雑多であるため、改善が必要だ。
交通網強化と冬対策	・冬季など安心して移動できるように、地下鉄を清田や手稲方面へ早期延伸するべきだ。 ・JRの運休が多くバスも減便され、空港アクセスの脆弱さが大きなマイナスだと感じる。
歩行者優先と都心魅力	・歩きたくなる都心づくりのため、チカホの認知度向上や商業・コンテンツ連携、歩くエスカレーター設置が必要だ。 ・都市緑化の推進や繁華街の歩行者優先を進め、快適な回遊空間を整備してほしい。
産業誘致と国際拠点	・大規模な国際会議場の建設や国際会議の誘致を進めてほしい。 ・イノベーション創出を目指し、行政は古い体質を改めて新しい考え方を取り入れてほしい。

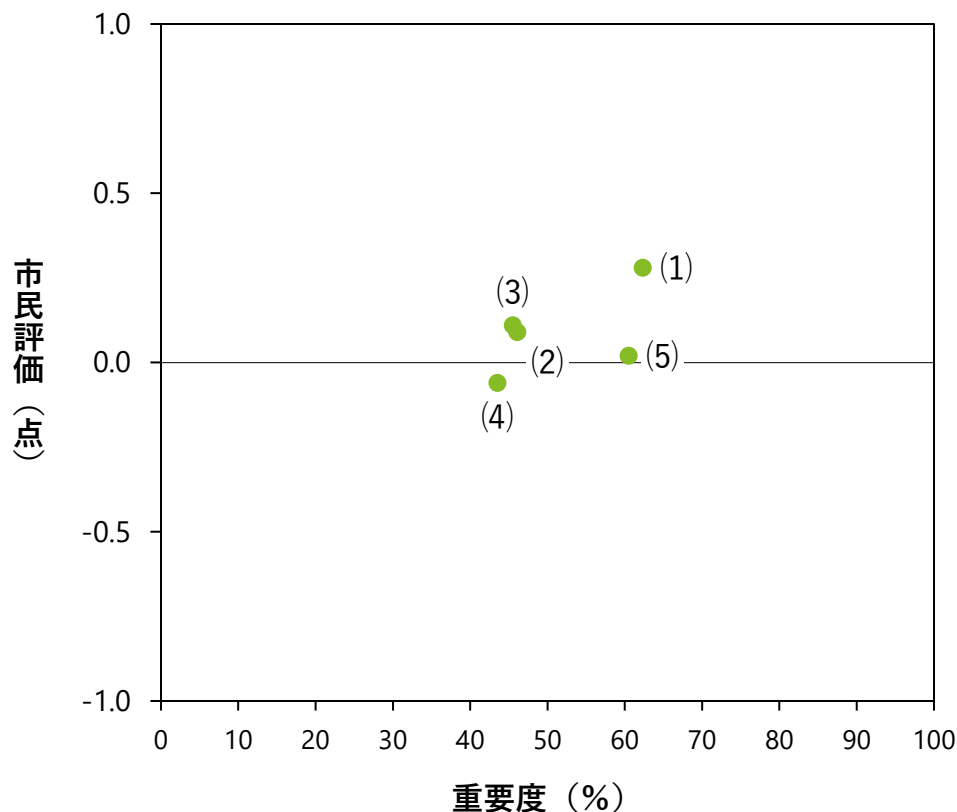
* 回答の多い内容を集約し、カテゴライズ。
実際の回答を記載（弊社にて必要に応じて文言調整）

都市空間分野

基本目標⑱「世界を引き付ける魅力と活力あふれるまち」

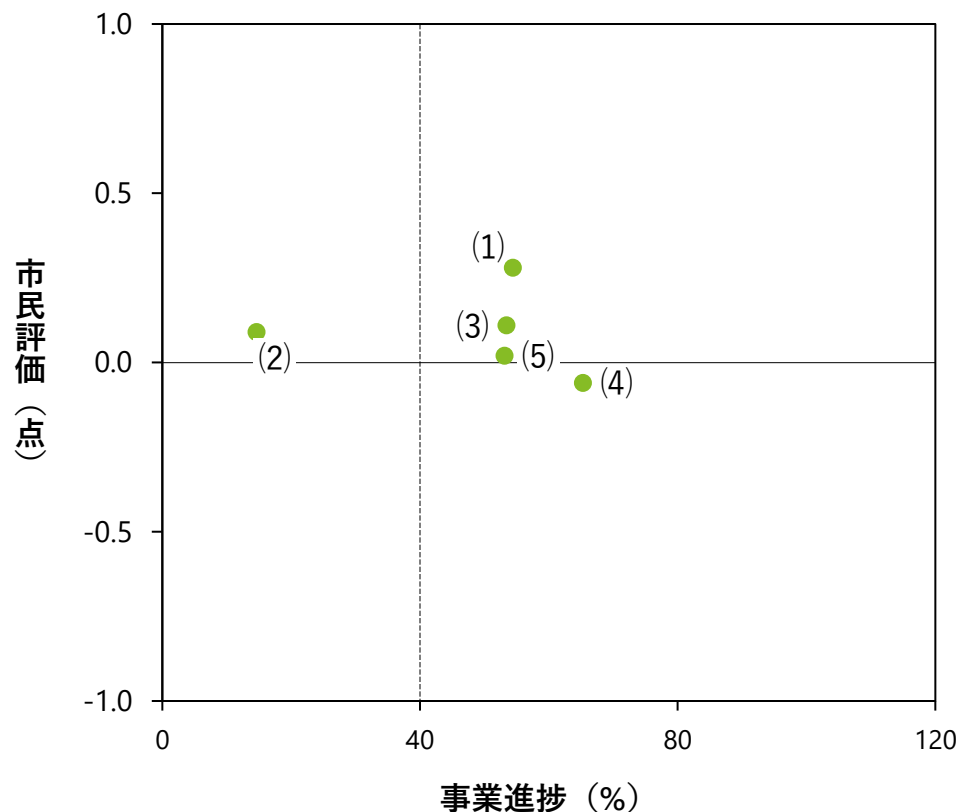
目指す姿の市民評価×重要度

(n = 6,862)



目指す姿の市民評価×事業進捗

(n = 6,862)



目指す姿	(1)都心では高次の都市機能の集積が進むとともに、快適な交流・滞留空間やみどりの創出などにより、魅力的でうおいのある歩きたくなる都心が形成されている。	(2)都心ではデータや先端技術の活用などにより、イノベーションが創出、新しい価値が生まれ続けている。	(3)高次機能交流拠点※では、国際的・広域的な産業や観光等の都市機能の高度化と集積が進んでいる。
	(4)工業地・流通業務地では、老朽化した施設の更新や機能の高度化等が進んでいる。	(5)広域交通ネットワークの充実・強化により、道内の都市をはじめ、国内外との地域とのつながりが深まり、北海道全体の社会経済活動の活発化が進んでいる。	

都市空間分野

基本目標⑱「世界を引き付ける魅力と活力あふれるまち」

基本目標に (n = 6,862)

対する評価
【詳細版】

		R4 (n=3,292)	R5 (n=2,013)	R6 (n=2,494)	R7 (n=6,862)	R7-R6
全体		3.32	3.25	3.30	3.14	-0.16
年代別	10代	3.53	3.46	3.58	3.76	0.18
	20代	3.47	3.47	3.45	3.34	-0.11
	30代	3.20	3.21	3.32	3.17	-0.15
	40代	3.32	3.20	3.16	3.03	-0.13
	50代	3.31	3.25	3.37	3.06	-0.31
	60代	3.19	3.05	3.10	2.96	-0.14
	70代以上	3.32	3.26	3.17	3.10	-0.07
性別	男性	3.26	3.19	3.22	3.05	-0.17
	女性	3.41	3.32	3.38	3.17	-0.21
	その他	3.04	2.96	3.02	2.76	-0.26
区別	中央区	3.32	3.49	3.36	3.15	-0.21
	北区	3.36	3.14	3.34	3.09	-0.25
	東区	3.30	3.27	3.33	3.07	-0.26
	白石区	3.45	3.19	3.18	3.07	-0.11
	厚別区	3.35	3.20	3.36	3.20	-0.16
	豊平区	3.37	3.28	3.29	3.16	-0.13
	清田区	3.30	3.09	3.20	3.03	-0.17
	南区	3.21	3.32	3.37	3.05	-0.32
	西区	3.33	3.23	3.27	3.15	-0.12
	手稲区	3.26	3.28	3.23	3.10	-0.13
18歳以下の子ども有無	有	3.33	3.25	3.34	3.18	-0.16
	無	3.32	3.25	3.28	3.08	-0.20

基本目標⑱ | 目指す姿の経年変化 全体・年代別

		基本目標⑱「世界を引き付ける魅力と活力あふれるまち」											
		サンプル数	都心では高次の都市機能の集積が進むとともに、快適な交流・滞留空間やみどりの創出などにより、魅力的でうまいある歩きとなる都心が形成されている。	R7-R6	都心ではデータや先端技術の活用などによりイノベーションが創出、新しい価値が生まれ続けている。	R7-R6	高次機能交流拠点※では、国際的・広域的な産業や観光等の都市機能の高度化と集積が進んでいる。	R7-R6	工業地・流通業務地では、老朽化した施設の更新や機能の高度化等が進んでいる。	R7-R6	広域交通ネットワークの充実・強化により、道内の都市をはじめ、国内外との地域とのつながりが深まり、北海道全体の社会経済活動の活発化が進んでいる。	R7-R6	
全体		R4 3,292		0.30		-0.02		0.12		-0.10		-0.01	
		R5 2,013		0.25		0.02		0.09		-0.21		-0.07	
		R6 2,494		0.25		0.02		0.09		-0.16		-0.05	
		R7 6,862		0.28	0.03	0.09	0.07	0.11	0.02	-0.06	0.10	0.02	0.07
年代別	10代	R4 306		0.32		0.07		0.24		-0.02		0.16	
		R5 146		0.47		0.17		0.22		-0.09		0.23	
		R6 210		0.42		0.12		0.25		0.05		0.20	
		R7 218		0.45	0.03	0.32	0.20	0.42	0.17	0.18	0.13	0.39	0.19
	20代	R4 435		0.35		-0.06		0.21		-0.04		0.12	
		R5 253		0.37		0.06		0.19		-0.18		0.10	
		R6 438		0.28		0.02		0.13		-0.15		-0.01	
		R7 674		0.35	0.07	0.19	0.17	0.22	0.09	0.10	0.25	0.20	0.21
	30代	R4 468		0.27		-0.10		0.07		-0.17		-0.03	
		R5 301		0.20		-0.06		0.04		-0.31		-0.13	
		R6 362		0.28		0.00		0.08		-0.15		-0.04	
		R7 1,169		0.29	0.01	0.11	0.11	0.12	0.04	-0.05	0.10	0.08	0.12
	40代	R4 469		0.34		-0.02		0.11		-0.08		-0.03	
		R5 303		0.17		-0.02		0.02		-0.22		-0.12	
		R6 303		0.15		-0.04		0.00		-0.18		-0.09	
		R7 1,414		0.26	0.11	0.06	0.10	0.06	0.06	-0.08	0.10	-0.02	0.07
	50代	R4 510		0.29		-0.06		0.11		-0.12		-0.06	
		R5 234		0.24		-0.04		0.04		-0.27		-0.13	
		R6 376		0.31		0.09		0.11		-0.19		-0.06	
		R7 1,490		0.26	-0.05	0.06	-0.03	0.09	-0.02	-0.09	0.10	-0.04	0.02
	60代	R4 402		0.22		-0.04		0.01		-0.16		-0.16	
R5 298			0.14		-0.05		-0.02		-0.27		-0.18		
R6 355			0.19		0.00		0.08		-0.23		-0.17		
R7 1,093			0.22	0.03	0.00	0.00	0.03	-0.05	-0.14	0.09	-0.12	0.05	
70代以上	R4 682		0.30		0.05		0.14		-0.07		0.00		
	R5 465		0.29		0.08		0.16		-0.14		-0.10		
	R6 423		0.18		0.02		0.06		-0.14		-0.08		
	R7 804		0.27	0.09	0.08	0.06	0.11	0.05	-0.08	0.06	-0.02	0.06	

基本目標⑱ | 目指す姿の経年変化 区別

		基本目標⑱「世界を引き付ける魅力と活力あふれるまち」																				
区別	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区	サンプル数	都心では高次の都市機能の集積が進むとともに、快適な交流・滞留空間やみどりの創出などに R7-R6			都心ではデータや先端技術の活用などにより、イノベーションが創出、新しい価値が生まれ続けている。 R7-R6			高次機能交流拠点※では、国際的・広域的な産業や観光等の都市機能の高度化と集積が進んでいる。 R7-R6			工業地・流通業務地では、老朽化した施設の更新や機能の高 R7-R6			広域交通ネットワークの充実・強化により、道内の都市をはじめ、国内外との地域とのつながりが R7-R6							
			0.31	0.33	0.29	0.31	0.29	0.27	0.10	0.08	0.13	0.13	0.08	0.11	-0.11	-0.20	-0.17					
		351																				
		206																				
		247																				
		959			0.02																	
		314																				
		196																				
		246																				
		925			-0.02																	
		318																				
		199																				
		245																				
		887			-0.08																	
		276																				
		176																				
		226																				
		659			0.07																	
		339																				
		205																				
		260																				
		425			0.08																	
		310																				
		196																				
		231																				
		817			0.02																	
		346																				
		199																				
		217																				
		401			0.03																	
		352																				
		188																				
		256																				
		536			-0.01																	
		346																				
		236																				
		277																				
		803			0.03																	
		309																				
		197																				
		246																				
		450			0.10																	

基本目標⑱ | 目指す姿の経年変化 性別・子ども有無別

		基本目標⑱「世界を引き付ける魅力と活力あふれるまち」											
		サンプル数	都心では高次の都市機能の集積が進むとともに、快適な交流・滞留空間やみどりの創出などにより、魅力的でうおいのある歩きたくなる都心が形成されている。	R7-R6	都心ではデータや先端技術の活用などによりイノベーションが創出、新しい価値が生まれ続けている。	R7-R6	高次機能交流拠点※では、国際的・広域的な産業や観光等の都市機能の高度化と集積が進んでいる。	R7-R6	工業地・流通業務地では、老朽化した施設の更新や機能の高度化等が進んでいる。	R7-R6	広域交通ネットワークの充実・強化により、道内の都市をはじめ、国内外との地域とのつながりが深まり、北海道全体の社会経済活動の活発化が進んでいる。	R7-R6	
性別	男性	R4	1,429	0.28		-0.05		0.10		-0.10		-0.02	
		R5	895	0.25		-0.06		0.06		-0.24		-0.09	
		R6	1,087	0.25		0.00		0.08		-0.20		-0.08	
		R7	2,985	0.24	-0.01	0.05	0.05	0.08	0.00	-0.08	0.12	0.00	0.08
	女性	R4	1,651	0.33		0.01		0.16		-0.09		0.02	
		R5	1,053	0.26		0.09		0.12		-0.18		-0.04	
		R6	1,326	0.26		0.04		0.11		-0.12		-0.02	
18歳以下の子供	有	R7	3,581	0.31	0.05	0.12	0.08	0.13	0.02	-0.04	0.08	0.03	0.05
		R4	922	0.33		-0.04		0.13		-0.09		0.01	
		R5	574	0.26		-0.01		0.02		-0.27		-0.06	
		R6	643	0.28		0.05		0.09		-0.13		-0.02	
	無	R7	2,172	0.29	0.01	0.11	0.06	0.12	0.03	-0.05	0.08	0.05	0.07
		R4	2,326	0.29		-0.01		0.12		-0.10		-0.02	
		R5	1,420	0.25		0.03		0.12		-0.19		-0.08	
		R6	1,804	0.24		0.02		0.10		-0.16		-0.06	
		R7	4,690	0.27	0.03	0.07	0.05	0.10	0.00	-0.07	0.09	-0.01	0.05

基本目標⑱ | 目指す姿の重要度 属性別

		基本目標⑱「世界を引き付ける魅力と活力あふれるまち」					
		サンプル数	都心では高次の都市機能の集積が進むとともに、快適な交流・滞留空間やみどりの創出などにより、魅力的でうおいのある歩きたくなる都心が形成されている。	都心ではデータや先端技術の活用などにより、イノベーションが創出、新しい価値が生まれ続けている。	高次機能交流拠点※では、国際的・広域的な産業や観光等の都市機能の高度化と集積が進んでいる。	工業地・流通業務地では、老朽化した施設の更新や機能の高度化等が進んでいる。	広域交通ネットワークの充実・強化により、道内の都市をはじめ、国内外との地域とのつながりが深まり、北海道全体の社会経済活動の活発化が進んでいる。
全体		6,862	62.3%	46.1%	45.5%	43.5%	60.5%
年代別	10代	218	67.9%	53.7%	53.7%	53.2%	55.0%
	20代	674	61.0%	51.8%	42.1%	43.9%	52.7%
	30代	1,169	60.9%	47.4%	42.3%	44.2%	52.1%
	40代	1,414	59.0%	46.7%	44.0%	44.7%	58.6%
	50代	1,490	58.5%	41.9%	42.0%	42.4%	61.6%
	60代	1,093	60.6%	42.5%	46.0%	40.5%	64.3%
	70代以上	804	69.2%	46.4%	50.6%	43.2%	68.7%
性別	男性	2,985	59.6%	47.4%	44.2%	42.1%	58.1%
	女性	3,581	62.8%	44.8%	44.7%	44.5%	61.0%
区別	中央区	959	56.1%	41.9%	44.6%	44.6%	56.8%
	北区	925	63.1%	49.0%	46.6%	43.9%	62.0%
	東区	887	58.2%	45.1%	43.5%	44.4%	57.0%
	白石区	659	59.4%	44.8%	44.2%	41.5%	59.9%
	厚別区	425	58.0%	43.2%	39.9%	42.9%	52.0%
	豊平区	817	62.8%	46.4%	46.1%	41.6%	61.4%
	清田区	401	62.1%	45.4%	44.6%	41.6%	58.5%
	南区	536	60.8%	43.1%	43.4%	42.6%	61.3%
	西区	803	62.5%	46.1%	46.5%	47.6%	61.2%
	手稲区	450	64.0%	49.1%	45.6%	43.8%	62.0%
18歳以下の子供	有	2,172	61.2%	46.5%	43.3%	43.7%	55.4%
	無	4,690	61.1%	45.5%	45.1%	43.4%	61.4%

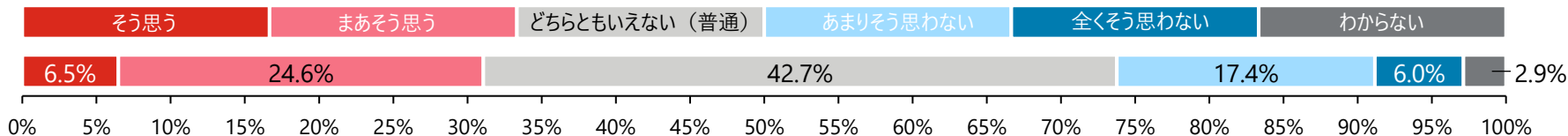
都市空間分野

基本目標⑳「都市基盤を適切に維持・更新し、最大限利活用するまち」

全体評価点* (前年比)	R4	R5	R6
3.09 (+0.02)	3.26	3.10	3.07

基本目標の評価

(n = 6,862) 基本目標⑳「都市基盤を適切に維持・更新し、最大限利活用するまち」が実現していると思いますか。

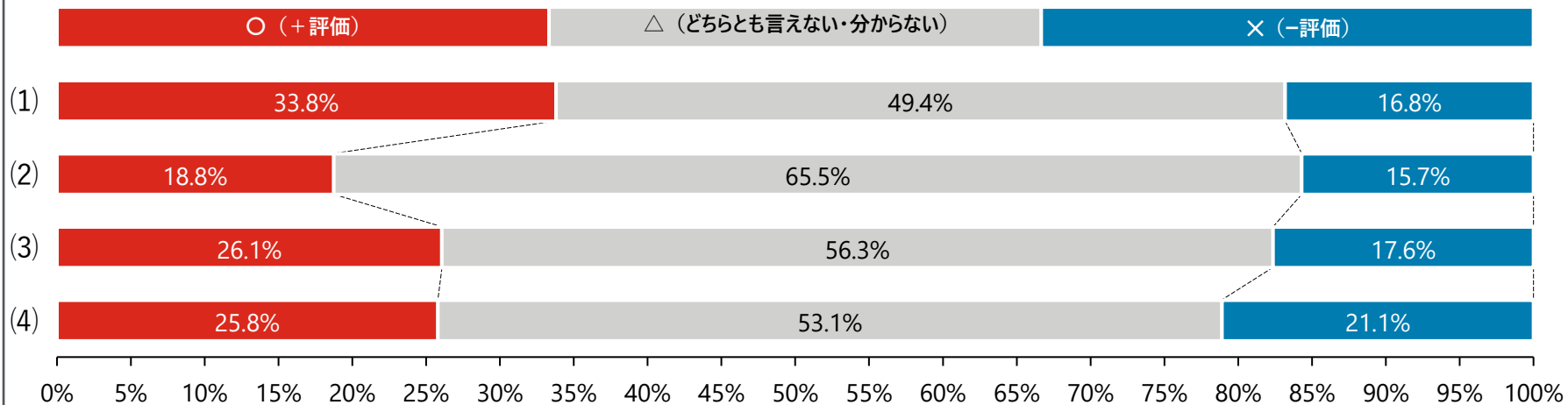


*そう思う=5点、まあそう思う=4点、どちらともいえない (普通) =3点、あまりそう思わない=2点、全くそう思わない=1点として回答の平均値で算出。(わからないは除外)

目指す姿の評価

目指す姿	内容
(1)	(1)道路、交通施設、上下水道などのインフラや住宅、区役所、学校、スポーツ施設などの建築物は、計画的な維持・保全・更新・再配置・複合化が行われている。
(2)	(2)ICTや先端技術の活用等により、インフラや建築物は効率的な維持・保全や施設規模の適正化などが行われている。
(3)	(3)公共施設では、整備や運営・維持管理などに関する積極的な官民連携が進んでおり、市民ニーズ等を捉えた多様で柔軟なサービスの提供が行われている。
(4)	(4)道路や広場などの空間が有効に活用され、まちにゆとりやにぎわいが生まれている。

(n = 6,862) 基本目標⑳「都市基盤を適切に維持・更新し、最大限利活用するまち」に関連する下記の札幌市の目指す姿に対して、「○ (+評価)」、「△ (どちらとも言えない・わからない) 」または「× (-評価) 」のいずれかあてはまるものを選択してください。



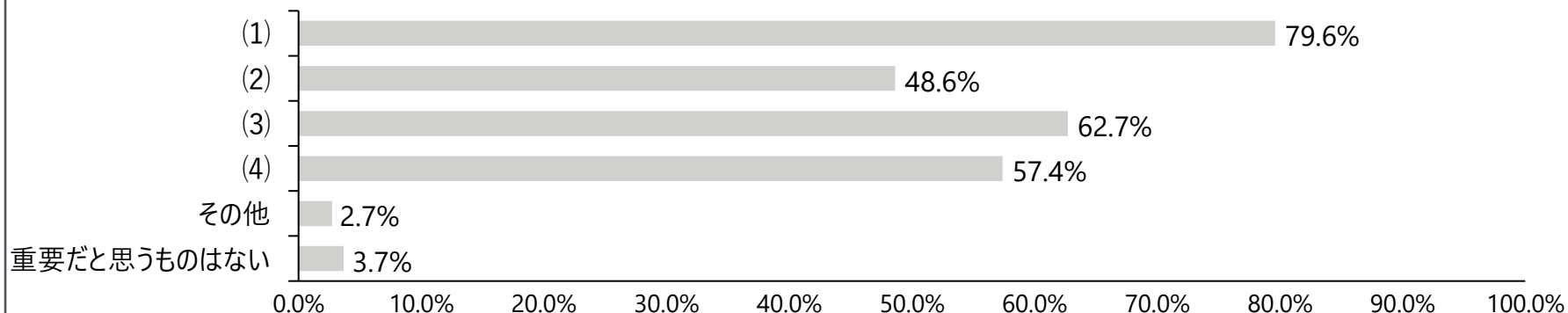
都市空間分野

基本目標⑳「都市基盤を適切に維持・更新し、最大限利活用するまち」

重要度の評価

目指す姿	(1)道路、交通施設、上下水道などのインフラや住宅、区役所、学校、スポーツ施設などの建築物は、計画的な維持・保全・更新・再配置・複合化が行われている。	(2)ICTや先端技術の活用等により、インフラや建築物は効率的な維持・保全や施設規模の適正化などが行われている。	(3)公共施設では、整備や運営・維持管理などに関する積極的な官民連携が進んでおり、市民ニーズ等を捉えた多様な柔軟なサービスの提供が行われている。
	(4)道路や広場などの空間が有効に利活用され、まちにゆとりやにぎわいが生まれている。		

(n = 6,862) 基本目標⑳「都市基盤を適切に維持・更新し、最大限利活用するまち」に関連する下記の札幌市の目指す姿のなかで、あなたが重要だと思うものすべてを選択してください。



上記以外に重要だと思うもの (FA)

カテゴリ	記述内容抜粋
除排雪と道路補修強化	・冬季の除雪や排雪が追いつかず、歩道も車道も凸凹で危険であるため、徹底した除排雪と道路補修を最優先にすべきだ。 ・住宅街の小路も含め、雪で2車線が1車線になる、合流部の雪山で視界が遮られるといった状況を改善すべきだ。
老朽化インフラ更新	・給水管や下水道、ガス管など見えないインフラの老朽化が心配であり、点検の強化と結果の公表が必要である。 ・道路の陥没やアスファルトの劣化が目立つため、壊れてから直すのではなく予防保全に転換すべきだ。
地下鉄延伸と交通充実	・手稲区や清田区などへの地下鉄延伸を早期に実現し、公共交通網を充実させるべきだ。 ・右折・左折レーンの不足や信号制御の最適化など、道路の交通処理能力を高めて渋滞を緩和すべきだ。
学校施設の安全快適化	・耐震基準を満たさない公立学校が多く、避難所としての安全や寒さ対策も含め、補強・建替えと統廃合の検討を早急に進めるべきだ。 ・学校へのエアコン設置を急ぎ、設置後は即時に利用できるよう運用面も改善すべきだ。
公共施設の統廃合活用	・新たな大規模施設の建設ありきではなく、将来の維持管理費を見据えた地に足の着いた計画が必要である。 ・税負担軽減の観点から、利用が少ない公共施設は統廃合や手放す判断も含め見直すべきだ。

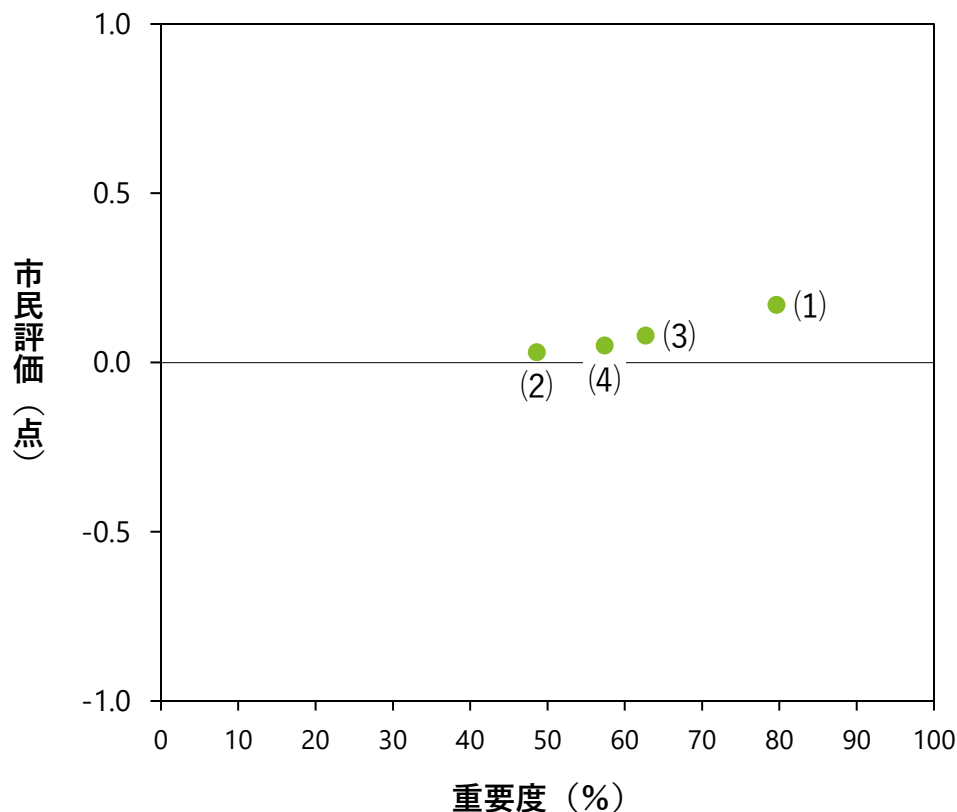
* 回答の多い内容を集約し、カテゴライズ。
実際の回答を記載（弊社にて必要に応じて文言調整）

都市空間分野

基本目標⑳「都市基盤を適切に維持・更新し、最大限利活用するまち」

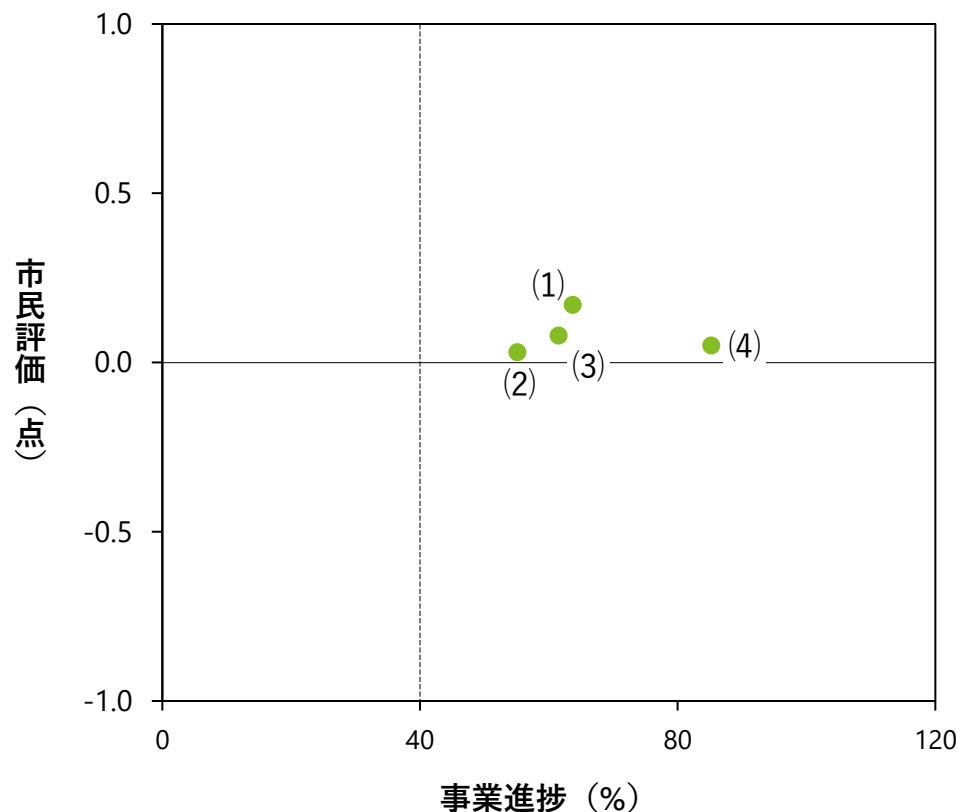
目指す姿の市民評価×重要度

(n = 6,862)



目指す姿の市民評価×事業進捗

(n = 6,862)



目指す姿	(1)道路、交通施設、上下水道などのインフラや住宅、区役所、学校、スポーツ施設などの建築物は、計画的な維持・保全・更新・再配置・複合化が行われている。	(2) I C Tや先端技術の活用等により、インフラや建築物は効率的な維持・保全や施設規模の適正化などが行われている。	(3)公共施設では、整備や運営・維持管理などに関する積極的な官民連携が進んでおり、市民ニーズ等を捉えた多様で柔軟なサービスの提供が行われている。
	(4)道路や広場などの空間が有効に利活用され、まちにゆとりやにぎわいが生まれている。		

都市空間分野

基本目標②「都市基盤を適切に維持・更新し、最大限利活用するまち」

基本目標に (n = 6,862)

対する評価
【詳細版】

		R4 (n=3,292)	R5 (n=2,013)	R6 (n=2,494)	R7 (n=6,862)	R7-R6
全体		3.26	3.10	3.07	3.09	0.02
年代別	10代	3.48	3.39	3.42	3.47	0.05
	20代	3.44	3.39	3.19	3.32	0.13
	30代	3.13	3.00	3.11	3.10	-0.01
	40代	3.23	3.08	2.89	2.99	0.10
	50代	3.20	3.09	3.11	3.01	-0.10
	60代	3.11	2.89	2.91	2.92	0.01
	70代以上	3.32	3.07	2.99	3.10	0.11
性別	男性	3.24	3.04	3.01	3.06	0.05
	女性	3.32	3.17	3.15	3.08	-0.07
	その他	2.96	2.75	2.69	2.70	0.01
区別	中央区	3.33	3.24	3.20	3.11	-0.09
	北区	3.24	3.00	3.04	3.02	-0.02
	東区	3.18	3.21	3.07	3.02	-0.05
	白石区	3.33	2.92	3.06	3.08	0.02
	厚別区	3.28	3.15	3.09	3.16	0.07
	豊平区	3.29	3.10	3.08	3.07	-0.01
	清田区	3.20	2.95	2.98	2.97	-0.01
	南区	3.17	3.09	3.15	3.02	-0.13
	西区	3.39	3.09	3.07	3.08	0.01
	手稲区	3.20	3.17	2.97	3.08	0.11
18歳以下の子ども有無	有	3.23	3.08	3.16	3.09	-0.07
	無	3.27	3.11	3.04	3.05	0.01

基本目標⑳ | 目指す姿の経年変化 全体・年代別

		基本目標⑳「都市基盤を適切に維持・更新し、最大限活用するまち」									
		サンプル数	道路、交通施設、上下水道などのインフラや住宅、区役所、学校、スポーツ施設などの建築物は、計画的な維持・保全・更新・再配置・複合化が行われている。	R7-R6	ICTや先端技術の活用等により、インフラや建築物は効率的な維持・保全や施設規模の適正化などが行われている。	R7-R6	公共施設では、整備や運営・維持管理などに関する積極的な官民連携が進んでおり、市民ニーズ等を捉えた多様なサービスの提供が行われている。	R7-R6	道路や広場などの空間が有効に活用され、まちにゆとりやにぎわいが生まれている。	R7-R6	
全体		R4 3,292	0.28		-0.03		0.06		0.11		
		R5 2,013	0.04		-0.07		0.00		0.11		
		R6 2,494	0.02		-0.07		0.01		0.07		
		R7 6,862	0.17	0.15	0.03	0.10	0.08	0.07	0.05	-0.02	
年代別	10代	R4 306	0.30		0.14		0.19		0.22		
		R5 146	0.29		0.12		0.22		0.40		
		R6 210	0.29		0.07		0.22		0.29		
		R7 218	0.39	0.10	0.27	0.20	0.34	0.12	0.32	0.03	
	20代	R4 435	0.37		0.08		0.17		0.27		
		R5 253	0.26		0.08		0.07		0.36		
		R6 438	0.05		-0.03		0.05		0.12		
	30代	R7 674	0.30	0.25	0.16	0.19	0.22	0.17	0.23	0.11	
		R4 468	0.21		-0.08		0.00		0.07		
		R5 301	-0.03		-0.13		-0.08		0.09		
		R6 362	0.09		-0.06		0.08		0.15		
	40代	R7 1,169	0.18	0.09	0.04	0.10	0.10	0.02	0.06	-0.09	
		R4 469	0.29		-0.04		0.02		0.13		
		R5 303	0.01		-0.09		-0.06		0.06		
		R6 303	-0.05		-0.16		-0.07		-0.04		
	50代	R7 1,414	0.11	0.16	-0.03	0.13	0.04	0.11	0.02	0.06	
		R4 510	0.25		-0.08		0.01		0.11		
		R5 234	0.01		-0.10		-0.04		0.10		
		R6 376	-0.01		-0.07		0.01		0.10		
	60代	R7 1,490	0.10	0.11	-0.01	0.06	0.02	0.01	-0.03	-0.13	
		R4 402	0.19		-0.11		-0.08		-0.01		
R5 298		-0.09		-0.19		-0.06		-0.06			
R6 355		-0.08		-0.14		-0.08		-0.06			
70代以上	R7 1,093	0.09	0.17	-0.05	0.09	-0.02	0.06	-0.04	0.02		
	R4 682	0.35		-0.04		0.12		0.07			
	R5 465	0.00		-0.05		0.05		0.06			
	R6 423	-0.02		-0.06		-0.03		0.02			
		R7 804	0.20	0.22	0.03	0.09	0.10	0.13	0.03	0.01	

2.調査結果の詳細 | 問2 基本目標について

基本目標⑳ | 目指す姿の経年変化 区別

		基本目標⑳「都市基盤を適切に維持・更新し、最大限活用するまち」									
区別		サンプル数	道路、交通施設、上下水道などのインフラや住宅、区役所、学校、スポーツ施設などの建築物は、計画的な維持・保全・更新・再配置・複合化が行われている。	R7-R6	ICTや先端技術の活用等により、インフラや建築物は効率的な維持・保全や施設規模の適正化などが行われている。	R7-R6	公共施設では、整備や運営・維持管理などに関する積極的な官民連携が進んでおり、市民ニーズ等を捉えた多様で柔軟なサービスの提供が行われている。	R7-R6	道路や広場などの空間が有効に活用され、まちにゆとりやにぎわいが生まれている。	R7-R6	
			中央区	R4	351	0.24		-0.04		0.04	
	R5	206	0.01		-0.08		-0.02		0.28		
	R6	247	0.01		-0.09		-0.01		0.13		
	R7	959	0.20	0.19	0.06	0.15	0.09	0.10	0.07		
北区	R4	314	0.31		-0.03		0.03		0.17		
	R5	196	0.03		-0.07		-0.01		0.07		
	R6	246	0.05		-0.07		0.00		0.08		
	R7	925	0.13	0.08	0.02	0.09	0.07	0.07	0.03		
東区	R4	318	0.23		-0.09		0.03		0.07		
	R5	199	0.16		0.05		0.12		0.14		
	R6	245	0.02		-0.05		-0.01		0.09		
	R7	887	0.13	0.11	-0.01	0.04	0.03	0.04	0.02		
白石区	R4	276	0.38		0.00		0.13		0.11		
	R5	176	-0.09		-0.10		-0.10		-0.03		
	R6	226	0.00		-0.07		0.02		0.08		
	R7	659	0.18	0.18	0.01	0.08	0.08	0.06	0.04		
厚別区	R4	339	0.34		0.01		0.04		0.12		
	R5	205	0.15		-0.06		0.11		0.13		
	R6	260	0.03		-0.07		0.08		0.09		
	R7	425	0.20	0.17	0.06	0.13	0.10	0.02	0.11		
豊平区	R4	310	0.26		-0.03		0.09		0.14		
	R5	196	0.13		-0.06		-0.04		0.13		
	R6	231	0.03		-0.08		0.01		0.07		
	R7	817	0.12	0.09	0.03	0.11	0.06	0.05	0.02		
清田区	R4	346	0.27		-0.02		0.05		0.08		
	R5	199	-0.03		-0.15		-0.11		0.01		
	R6	217	-0.01		-0.10		0.00		0.02		
	R7	401	0.10	0.11	-0.03	0.07	-0.02	-0.02	-0.03		
南区	R4	352	0.24		-0.02		0.08		0.04		
	R5	188	0.00		-0.07		-0.03		0.16		
	R6	256	0.05		-0.09		0.07		0.06		
	R7	536	0.16	0.11	0.02	0.11	0.06	-0.01	0.05		
西区	R4	346	0.35		-0.03		0.09		0.22		
	R5	236	-0.04		-0.08		0.01		0.08		
	R6	277	0.02		-0.04		0.00		0.08		
	R7	803	0.18	0.16	0.02	0.06	0.10	0.10	0.04		
手稲区	R4	309	0.26		-0.05		0.05		-0.03		
	R5	197	0.06		-0.05		0.04		0.14		
	R6	246	0.01		-0.07		-0.02		0.02		
	R7	450	0.15	0.14	0.00	0.07	0.10	0.12	0.01		

基本目標⑳ | 目指す姿の経年変化 性別・子ども有無別

		基本目標⑳「都市基盤を適切に維持・更新し、最大限利活用するまち」									
		サンプル数	道路、交通施設、上下水道などのインフラや住宅、区役所、学校、スポーツ施設などの建築物は、計画的な維持・保全・更新・再配置・複合化が行われている。	R7-R6	ICTや先端技術の活用等により、インフラや建築物は効率的な維持・保全や施設規模の適正化などが行われている。	R7-R6	公共施設では、整備や運営・維持管理などに関する積極的な官民連携が進んでおり、市民ニーズ等を捉えた多様で柔軟なサービスの提供が行われている。	R7-R6	道路や広場などの空間が有効に利活用され、まちにゆとりやにぎわいが生まれている。	R7-R6	R7-R6
性別	男性	R4	1,429	0.28		-0.06		0.04		0.09	
		R5	895	0.00		-0.12		-0.04		0.04	
		R6	1,087	0.02		-0.09		-0.02		0.02	
		R7	2,985	0.16	0.14	0.01	0.10	0.05	0.07	0.04	0.02
	女性	R4	1,651	0.30		0.01		0.10		0.14	
		R5	1,053	0.08		-0.01		0.05		0.18	
		R6	1,326	0.04		-0.05		0.05		0.13	
18歳以下の子供	有	R7	3,581	0.16	0.12	0.03	0.08	0.09	0.04	0.05	-0.08
		R4	922	0.26		-0.04		0.06		0.14	
		R5	574	0.03		-0.11		-0.02		0.13	
		R6	643	0.09		-0.05		0.08		0.13	
	無	R7	2,172	0.15	0.06	0.01	0.06	0.08	0.00	0.05	-0.08
		R4	2,326	0.29		-0.03		0.06		0.10	
		R5	1,420	0.04		-0.05		0.01		0.11	
		R6	1,804	0.00		-0.08		-0.01		0.05	
		R7	4,690	0.16	0.16	0.02	0.10	0.07	0.08	0.03	-0.02

基本目標⑳ | 目指す姿の重要度 属性別

		基本目標⑳「都市基盤を適切に維持・更新し、最大限利活用するまち」				
		サンプル数	道路、交通施設、上下水道などのインフラや住宅、区役所、学校、スポーツ施設などの建築物は、計画的な維持・保全・更新・再配置・複合化が行われている。	I C Tや先端技術の活用等により、インフラや建築物は効率的な維持・保全や施設規模の適正化などが行われている。	公共施設では、整備や運営・維持管理などに関する積極的な官民連携が進んでおり、市民ニーズ等を捉えた多様で柔軟なサービスの提供が行われている。	道路や広場などの空間が有効に利活用され、まちにゆとりやにぎわいが生まれている。
全体		6,862	79.6%	48.6%	62.7%	57.4%
年代別	10代	218	70.6%	63.3%	63.8%	56.4%
	20代	674	74.0%	51.6%	58.0%	54.9%
	30代	1,169	77.4%	49.1%	60.1%	55.9%
	40代	1,414	80.0%	50.4%	61.8%	59.2%
	50代	1,490	80.2%	45.0%	59.6%	57.6%
	60代	1,093	81.0%	46.6%	63.2%	56.1%
	70代以上	804	83.7%	47.9%	68.9%	59.8%
性別	男性	2,985	77.8%	49.5%	58.3%	53.4%
	女性	3,581	80.8%	47.6%	65.0%	61.0%
区別	中央区	959	77.4%	52.4%	58.4%	54.1%
	北区	925	80.1%	50.8%	64.3%	60.2%
	東区	887	77.4%	48.3%	59.0%	56.8%
	白石区	659	78.9%	46.6%	63.5%	56.6%
	厚別区	425	76.5%	46.0%	58.7%	51.6%
	豊平区	817	81.9%	49.6%	61.2%	55.1%
	清田区	401	79.6%	46.8%	61.3%	55.9%
	南区	536	81.3%	47.6%	60.8%	58.9%
	西区	803	80.2%	50.6%	65.9%	60.1%
	手稲区	450	78.5%	52.7%	63.0%	60.3%
18歳以下の子供	有	2,172	79.6%	48.8%	60.9%	56.8%
	無	4,690	79.2%	48.6%	62.2%	57.6%

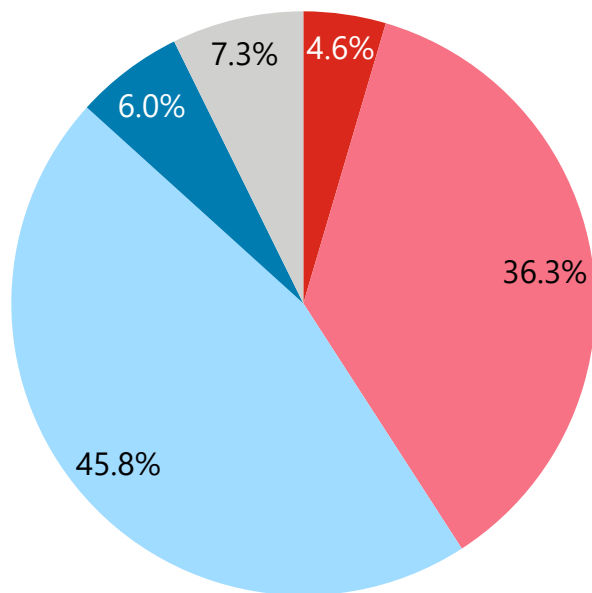
2.調査結果の詳細

- 回収結果および基本情報
- 問1 まちづくり戦略ビジョンについて
- 問2 基本目標について
- 問3 まちづくりの重要概念に関する取組について
- 問4 人口減少について
- 問5 まちづくりの総合満足度について

■ ユニバーサル（共生）に関する質問（1/8）

問3.1 共生社会の実現度

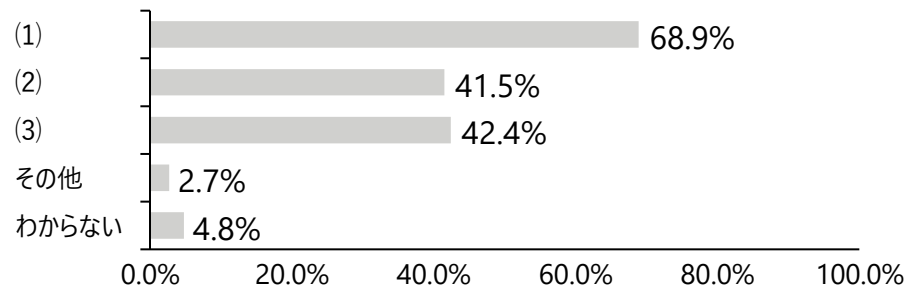
(n = 6,862) あなたは、現在札幌市において共生社会※が実現していると思いますか。あてはまるもの一つを選択してください。



- 実現していると思う
- まあ実現していると思う
- あまり実現していないと思う
- まったく実現していないと思う
- わからない

問3.2 実現していると思う理由

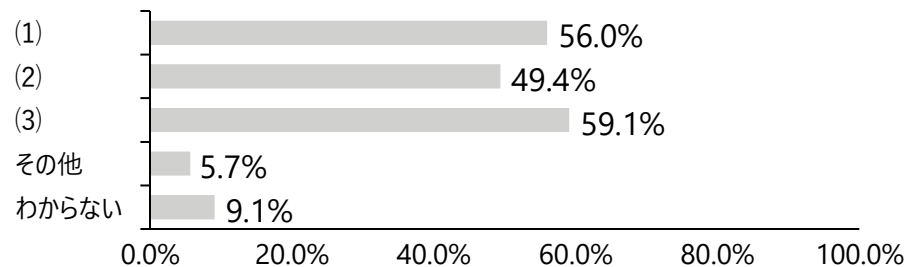
(n = 2,757) 1で答えた理由として、どのような点で共生社会が実現している（または、実現していない）と思いますか。あてはまるものすべてを選択してください。



- (1) 誰もが円滑に移動することができ、快適に利用できる施設などの整備
- (2) 当事者への支援と情報発信の充実
- (3) 心のバリアフリー※の浸透と誰もが自分らしく活躍できる環境の整備

問3.2 実現していないと思う理由

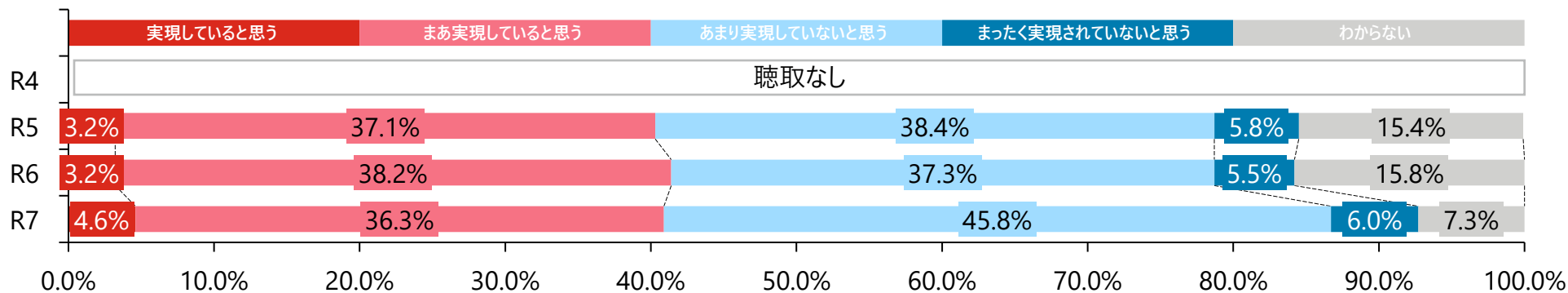
(n = 3,569)



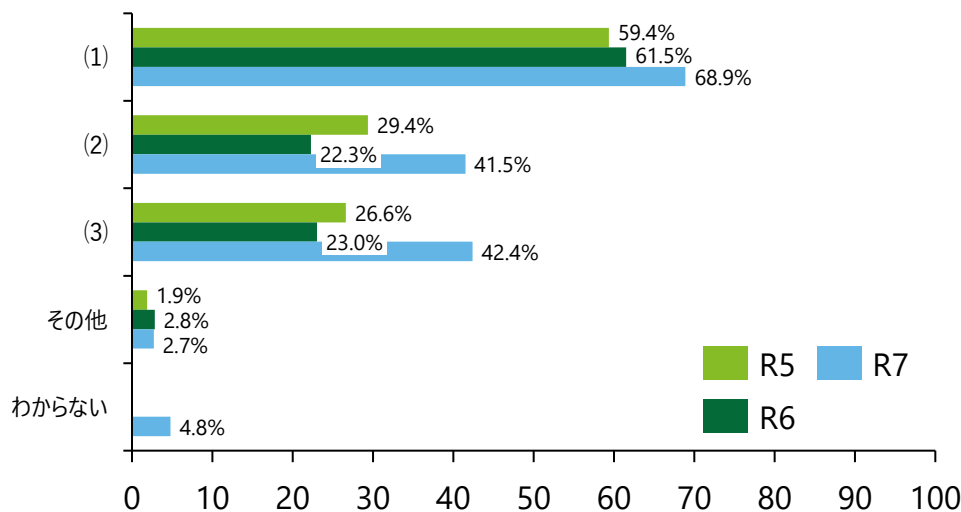
- (1) 誰もが円滑に移動することができ、快適に利用できる施設などの整備
- (2) 当事者への支援と情報発信の充実
- (3) 心のバリアフリー※の浸透と誰もが自分らしく活躍できる環境の整備

■ ユニバーサル（共生）に関する質問（2/8）

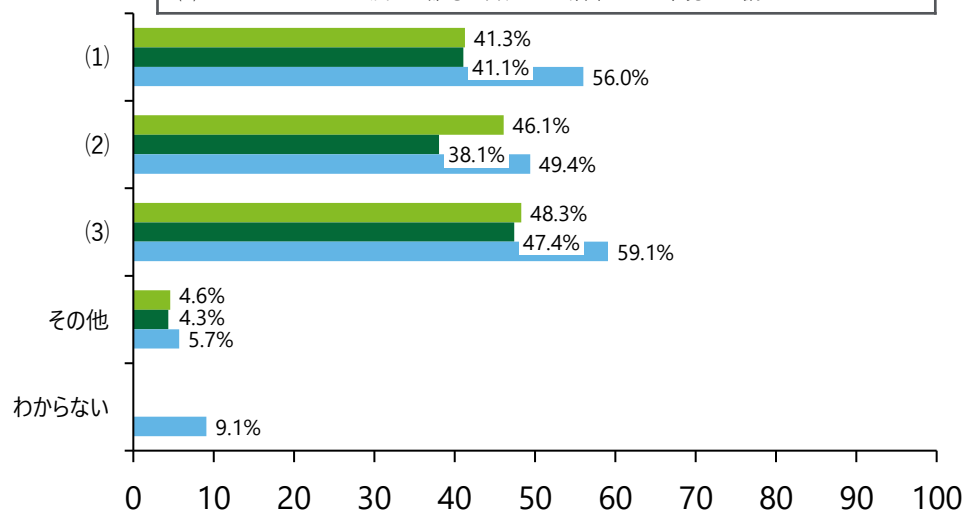
経年変化 | 共生社会の実現度



実現している／実現していない理由



(1)誰もが円滑に移動することができ、快適に利用できる施設などの整備
 (2)当事者への支援と情報発信の充実
 (3)心のバリアフリー※の浸透と誰もが自分らしく活躍できる環境の整備



■ユニバーサル（共生）に関する質問（3/8）

問3.3
実現して
いると思う
理由

多様な人の存在実感	<ul style="list-style-type: none"> ・実態として年齢や国籍、障がいの有無にかかわらず、さまざまな人が隣り合って生活していると実感する。 ・以前に比べ、公共交通機関で多様な人が移動し、それを支える姿をよく見かける。
支援・設備の前進	<ul style="list-style-type: none"> ・近年、地下鉄の乗車口にスロープが設置され、改善が進んでいると評価する。 ・就労支援施設の食品や雑貨を販売する店やカフェをよく見かけ、利用しており、前進を感じる。
寛容さ・助け合い	<ul style="list-style-type: none"> ・街の人の心が広く穏やかで、寛容さを感じる。 ・困っている人がいれば手を差し伸べると意識が大切だと考える。
教育・交流の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校で留学生交流会があり、交流の機会があった。 ・心のバリアフリーを推進する活動がある。
受入れ基盤の土壌	<ul style="list-style-type: none"> ・札幌には様々な場所から人が集まっており、他地域に比べ心のバリアフリーが進んでいると感じる。 ・元々モスクや教会が多く、宗教や民族の受け入れが多い。

問3.3
実現してい
ないと思う
理由

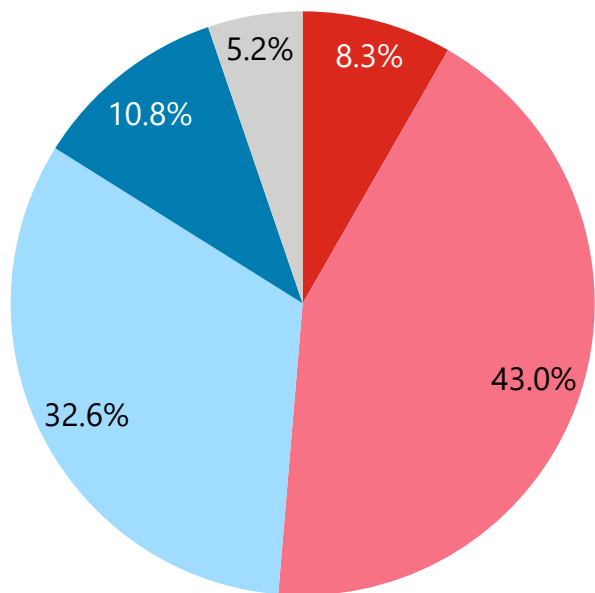
移民・治安・ルール不安	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人受け入れに反対で、他地域の問題事例を意識せずに進めるべきではないと考える。 ・共通のルールを定めて周知し、全体で守るべきだと考える。
バリア・交通・除雪不足	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道や道路の凹凸が多く、施設内の床が沈む場所もあり、バリアフリーになっていない。 ・上りだけのエスカレーター設置は健常者目線で、下りも必要だと感じる。
情報・教育・対話不足	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者以外への情報発信が不足し、どのような活動か分からない。 ・多様性や心のバリアフリーの教育が不十分で、義務教育での教育が重要だと考える。
偏見・ヘイトの拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・差別的発言や排外主義的言説が見られる。 ・札幌の情報発信チャンネルで外国人やイスラムの人々へのヘイトがあり、条例での抑止を望む声がある。
就労・格差・支援不足	<ul style="list-style-type: none"> ・男女の賃金格差や仕事の質の差を解消すべきだと考える。 ・外国人労働者の労働環境と受け入れ体制が不十分だと感じる。 ・支援員の配置が不足し、普通学級との交流学习に行けない子どもが多いと感じる

* 回答の多い内容を集約し、カテゴライズ。 実際の回答を記載（弊社にて必要に応じて文言調整）

■ユニバーサル（共生）に関する質問（4/8）

問3.4 バリアフリー化の実現度

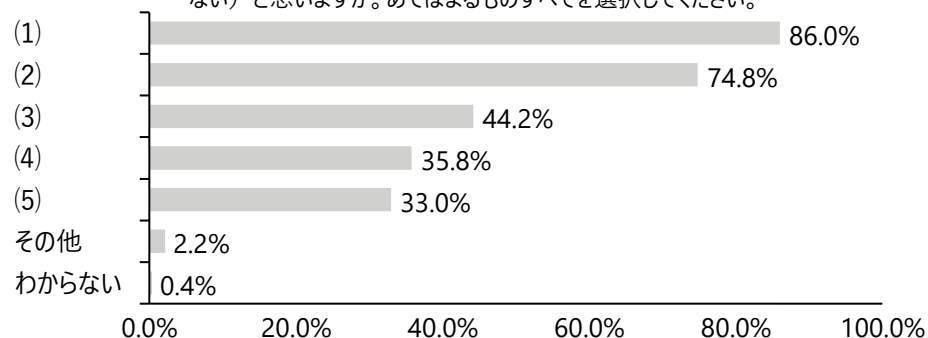
(n = 6,862) あなたは、現在の札幌のまちにおける建物、道路、駅、電車等の施設や設備のバリアフリー化※が進んでいると感じますか。あてはまるもの一つを選択してください。



- 進んでいる
- どちらかというに進んでいる
- どちらかというに進んでいない
- 進んでいない
- わからない

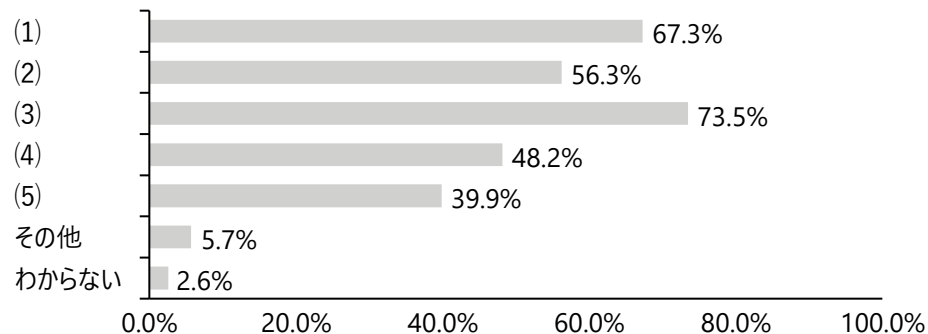
問3.5 バリアフリー化が進んだと思う理由

(n = 3,476) 4で答えた理由として、どのような点でバリアフリーが進んだ（または、進んでいない）と思いますか。あてはまるものすべてを選択してください。



問3.5 バリアフリー化が進んでいないと思う理由

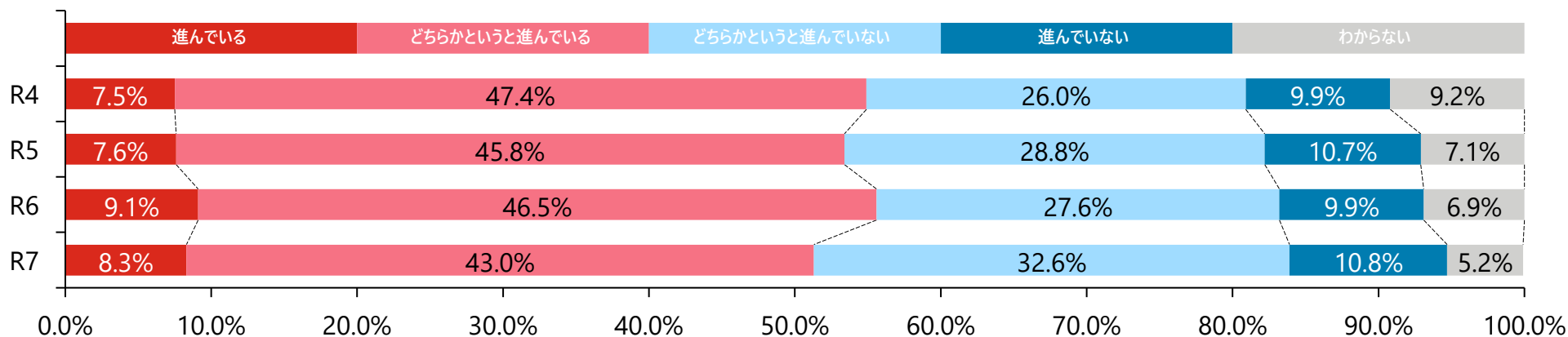
(n = 2,996)



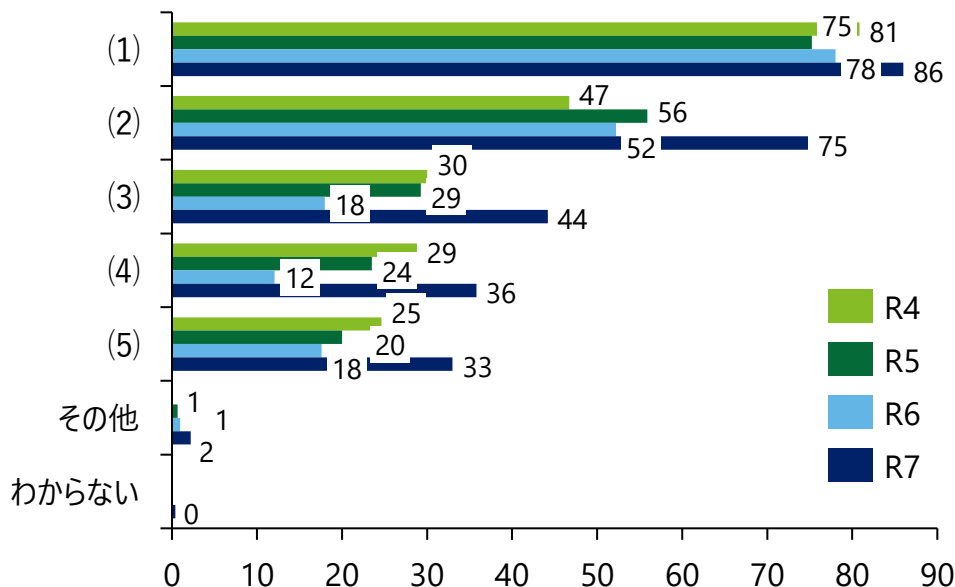
- (1)公共交通施設や公共交通機関の整備（具体例：エレベーターの設置、バリアフリー化された車両の導入等）
- (2)建物内の整備（具体例：自動ドアやスロープ、手すりの設置、トイレのバリアフリー化等）
- (3)道路の整備（具体例：歩道の段差の解消、歩道の勾配の改善、歩道に視覚障がい者誘導用ブロックの設置等）
- (4)公園の整備（具体例：園路の段差の解消、トイレや駐車場のバリアフリー化等）
- (5)わかりやすく利用しやすい情報提供の充実（具体例：ピクトグラム（絵文字）による表示、文字の多言語化等）

■ ユニバーサル（共生）に関する質問（5/8）

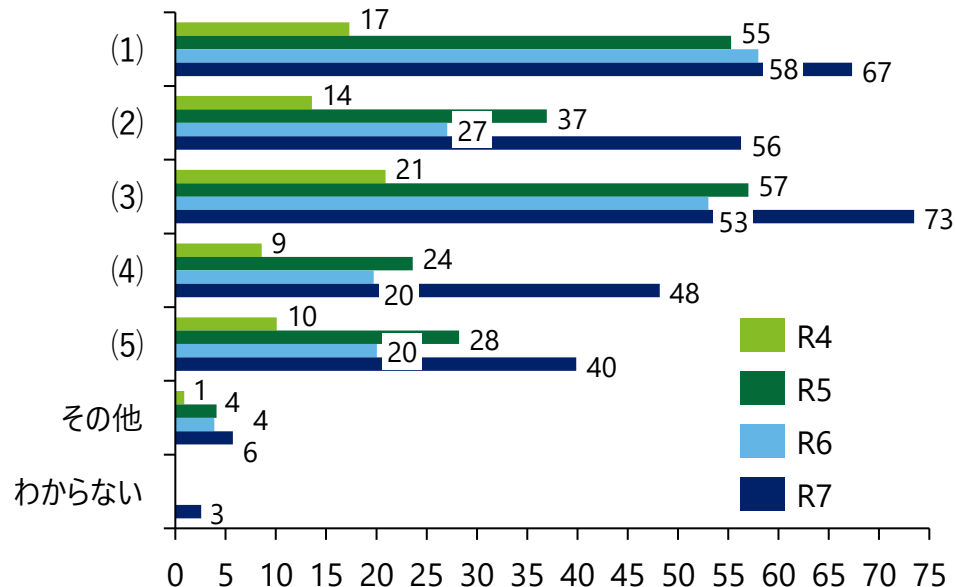
経年変化 | バリアフリー化の実現度



進んでいる理由



進んでいない理由



■ユニバーサル（共生）に関する質問（6/8）

問3.6
バリアフリー
化が進んだ
と思う理由

都心地下歩道の充実	<ul style="list-style-type: none"> 地下歩道が充実しており、都心部は冬でも移動しやすいと感じる。 都心は地下が発達しているので移動面は良好だと思う。
新施設・新建物進展	<ul style="list-style-type: none"> 道内の他の市町村と比べると進んでいる面がある（古い建物は別として）。 札幌中心部ではバリアフリー化が進んできたと感じる。
トイレ設備の拡充	<ul style="list-style-type: none"> オストメイトのトイレが増えたと感じる。 大人のおむつ替え施設が分かりやすく整備され、誰もが外出を諦めなくてよい。
乗降支援の整備進展	<ul style="list-style-type: none"> 地下鉄ホームに車椅子用スロープが設置されている。 バスや地下鉄でも車椅子の人が安心して乗れている場面がある。
人の配慮・支援実感	<ul style="list-style-type: none"> 街の人が障害のある人を特別視せず普通に接しているのが良い。 障害のある人が以前より街に出て来ていると感じる。

問3.6
バリアフリー
化が進んで
いないと思
う理由

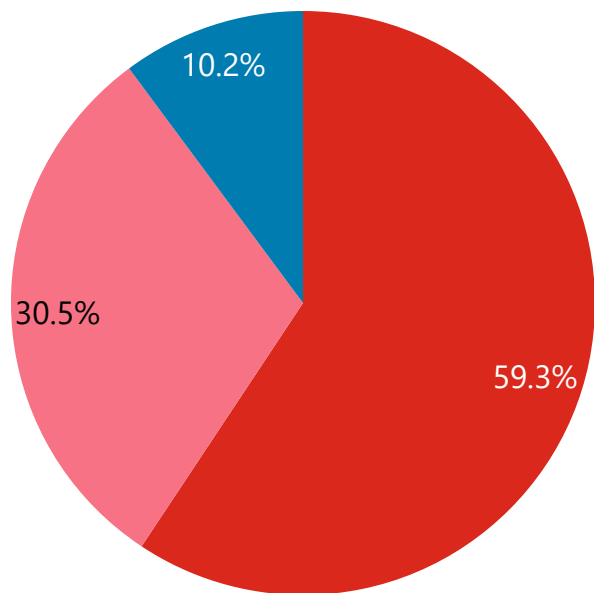
冬季除雪・凍結対策不足	<ul style="list-style-type: none"> 冬季は道路がバリアフリーではなく、歩道の確保幅や出入口が除雪で塞がることもある。 ツルツル路面の対策が不十分で、健常者でも出歩きの躊躇する状態だ。
地下鉄昇降設備の不足	<ul style="list-style-type: none"> 途中までエスカレーターがあるのに途中から階段になる場所が多すぎる。 下りエスカレーターの設置駅が少なく、膝の弱い人にはきつい。 各階のエレベーター間隔が長く、乗り継ぎで長距離を歩かされる。
歩道段差・点字劣化	<ul style="list-style-type: none"> 歩道に段差やでこぼこが多く、車道も穴だらけで危険である。 点字ブロックの破損や浮き、剥がれが目立ち、補修が追いついていない。
公共交通の減便・段差	<ul style="list-style-type: none"> バスの減便が進み、移動の最大の障壁になっている。 ノンステップバスでも段差があり、高齢者には利用しづらいという声がある。
案内表示・情報不足	<ul style="list-style-type: none"> ピクトグラムがわかりづらく、デザイン基準が必要だと感じる。 バリアフリー情報がWebで見つけづらく、事前計画を立てにくい。

* 回答の多い内容を集約し、カテゴライズ。 実際の回答を記載（弊社にて必要に応じて文言調整）

■ユニバーサル（共生）に関する質問（7/8）

問3.7 ユニバーサルデザインの認知率

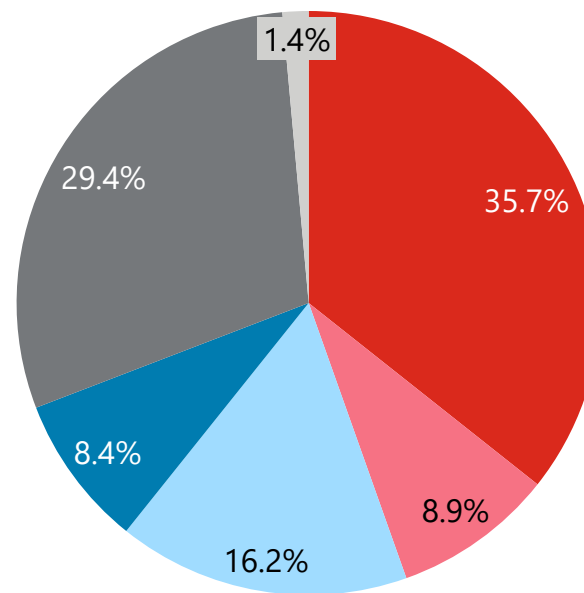
(n = 6,862) あなたは、「ユニバーサルデザイン※」という言葉を知っていましたか。あてはまるもの一つを選択してください。



- 意味も含めて知っていた
- 詳しい意味は知らなかったが、名前は聞いたことがあった
- 知らなかった

問3.8 困っている人を見かけた際の対応

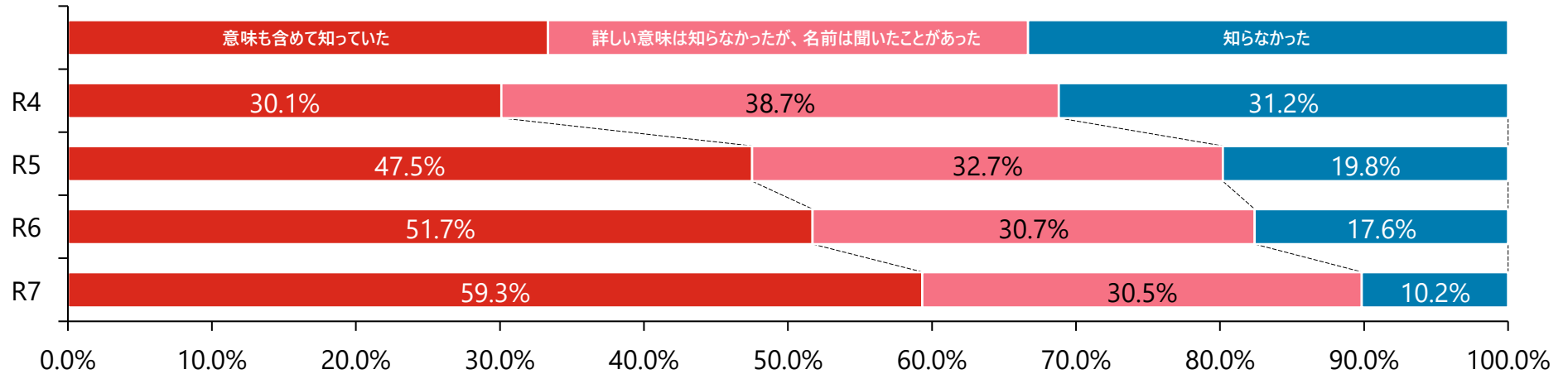
(n = 6,862) あなたは、過去1年くらいの間に、外出の際、高齢者・障がいのある方・妊産婦・乳幼児を連れた方などが困っているのを見かけた際、どのようにしましたか。あてはまるもの一つを選択してください。



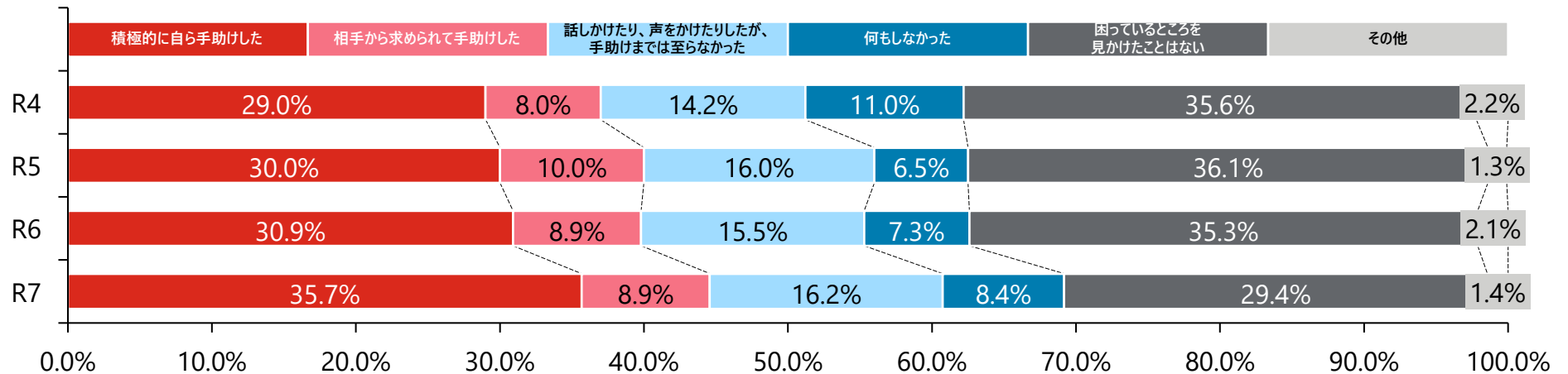
- 積極的に自ら手助けをした
- 相手から求められて手助けをした
- 話しかけたり、声をかけたりしたが、手助けまで至らなかった
- 何もしなかった
- 困っているところを見かけたことは無い
- その他

■ ユニバーサル（共生）に関する質問（8/8）

経年変化 | ユニバーサルデザインの認知度



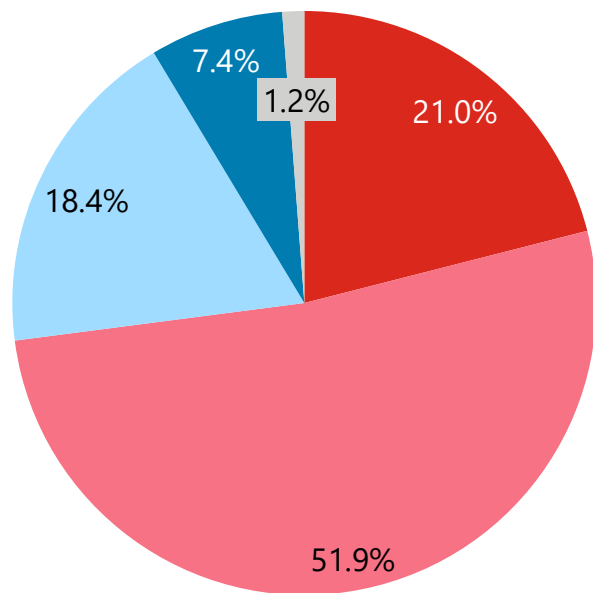
経年変化 | 困っている人を見かけた際の対応



■ ウェルネス（健康）に関する質問（1/3）

問3.9 自身の健康に対する認識

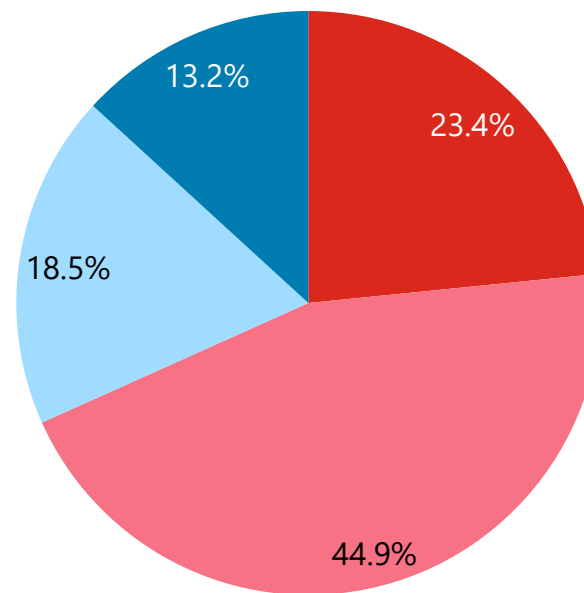
(n = 6,862) あなたは、自分自身が健康であると感じますか。あてはまるもの一つを選択してください。



- 健康である
- どちらかという与健康である
- どちらかという与健康でない
- 健康でない
- わからない

問3.10 市のウェルネス推進認知と健康な行動実態

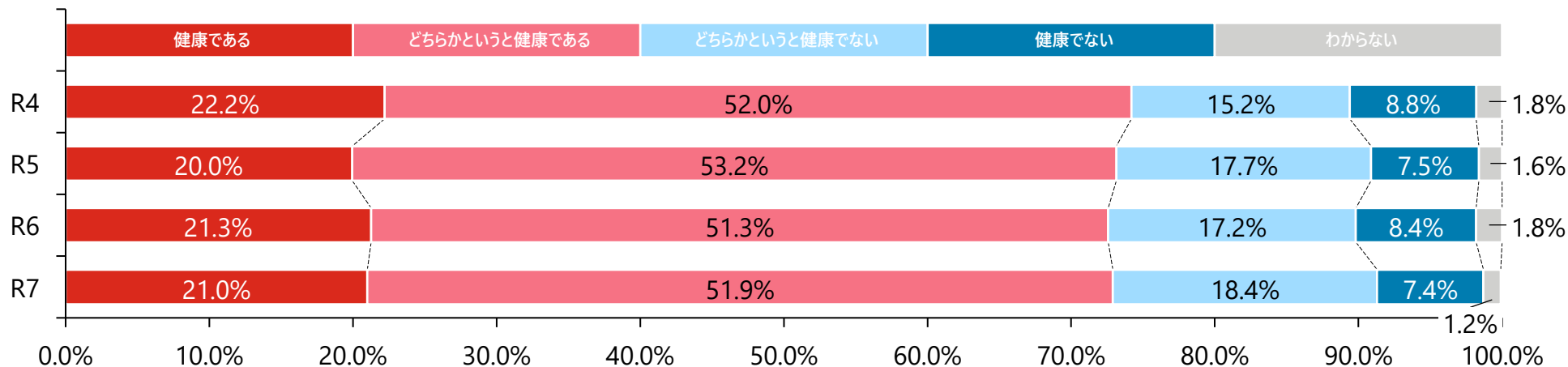
(n = 6,862) あなたは、札幌市が「ウェルネス」（健康）を推進していることを知っていますか。また、日ごろから意識して健康な行動※をとるようにしていますか。あてはまるもの一つを選択してください。



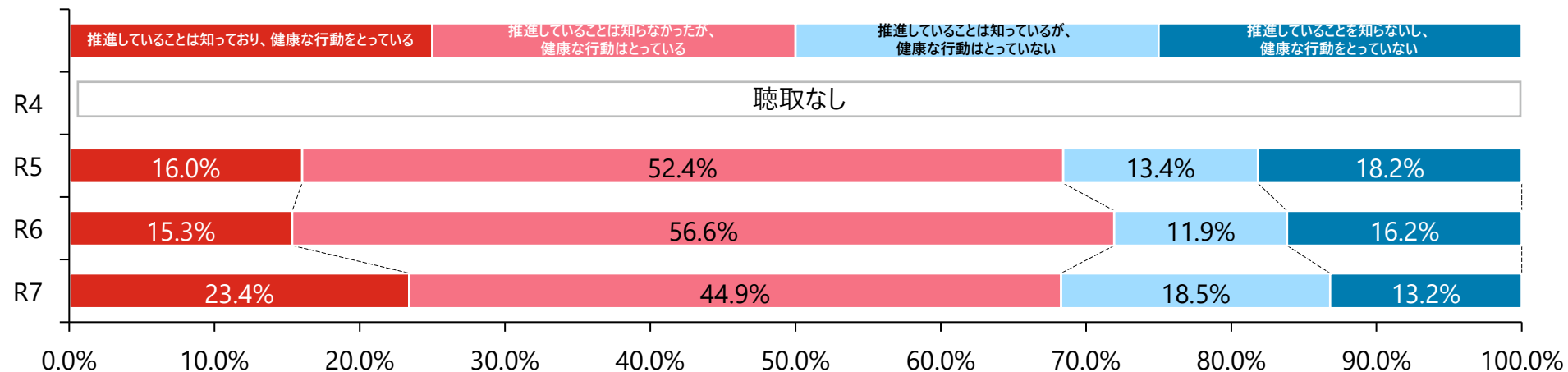
- 推進していることを知っており、健康な行動をとっている
- 推進していることは知らなかったが、健康な行動はとっている
- 推進していることは知っているが、健康な行動はとっていない
- 推進していることを知らないし、健康な行動をとっていない

■ ユニバーサル（共生）に関する質問（5/5）

経年変化 | 自身の健康に対する認識



経年変化 | 市のウェルネス推進認知と健康な行動実態

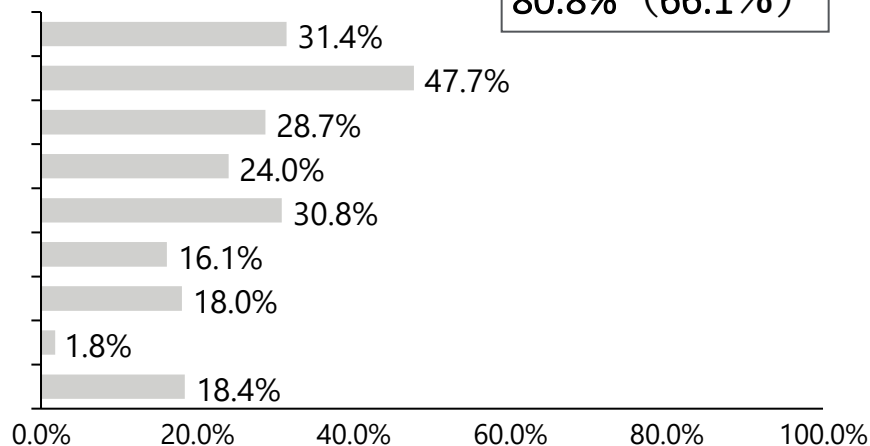


■ ウェルネス（健康）に関する質問（2/3）

問3.11
生涯学習
として
取り組んで
いるもの

(n = 6,862) 次にあげるもののうち、あなたがいま生涯学習※として取り組んで（学んだり、活動したりして）いるものはありますか。あてはまるものすべてを選択してください。

1. 芸術・工芸・芸能・音楽に関すること
2. 健康・スポーツに関すること（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）
3. 家庭生活に関する実用的なこと（料理、洋裁、編み物など）
4. 外国語・歴史・文学などの教養を高めること
5. 職業上必要な知識・技能の習得や、資格を取得すること
6. 社会問題・市民生活に関すること（少子高齢化、情報化、国際理解、環境など）
7. 社会貢献活動（町内会などの地域活動、ボランティア、NPO、市民活動など）
8. その他
9. 取り組んでいない



生涯学習率（前年比）
80.8%（66.1%）

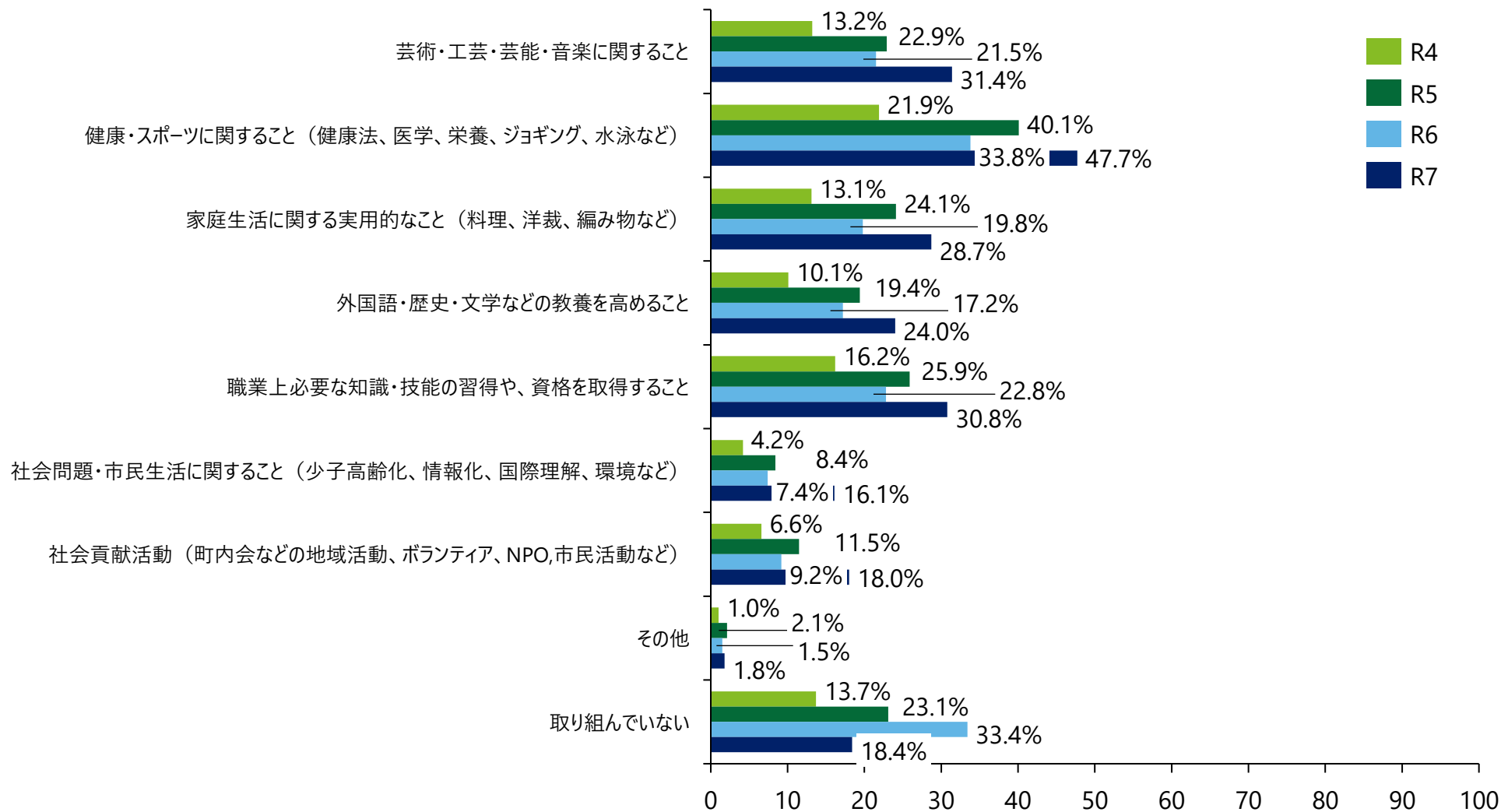
問3.12
その他に
取り組んで
いること

金融・資産運用の学び	<ul style="list-style-type: none"> ・株式投資や投資全般について学んでいる。 ・家庭の金銭管理や経済・金融・地政学について学んでいる。
IT・AI等デジタル学習	<ul style="list-style-type: none"> ・最新の情報科学技術について学んでいる。 ・AIやセキュリティなどの最新テクノロジーを学んでいる。
地域活動・ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止運動に関わり、オレンジリボンの活動に参加している。 ・地域食堂の運営に携わっている。 ・全国規模の札幌友の会で家事家計講習会や世代間交流の学びを続けている。
心理・宗教の学び	<ul style="list-style-type: none"> ・心の成長のため心理カウンセラーの講座を受講している。 ・アドラー心理学や心の健康に関する学びを深めている。
参加の障壁	<ul style="list-style-type: none"> ・金銭的負担が大きく、受講料が高くて手が届かない。 ・興味はあるが、どこで何を習えるのか分からず、方法に行き着けない。

* 回答の多い内容を集約し、カテゴライズ。 実際の回答を記載（弊社にて必要に応じて文言調整）

■ユニバーサル（共生）に関する質問（3/5）

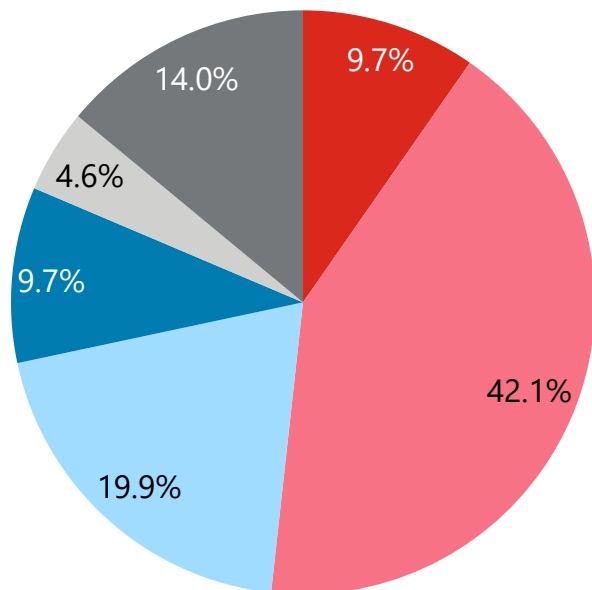
経年変化 | 生涯学習として取り組んでいるもの



■ ウェルネス（健康） に関する質問（3/3）

問3.13 学習や活動の環境の満足度

(n = 6,862) あなたは現在の学習や活動の環境に満足していますか。あてはまるもの一つを選択してください。

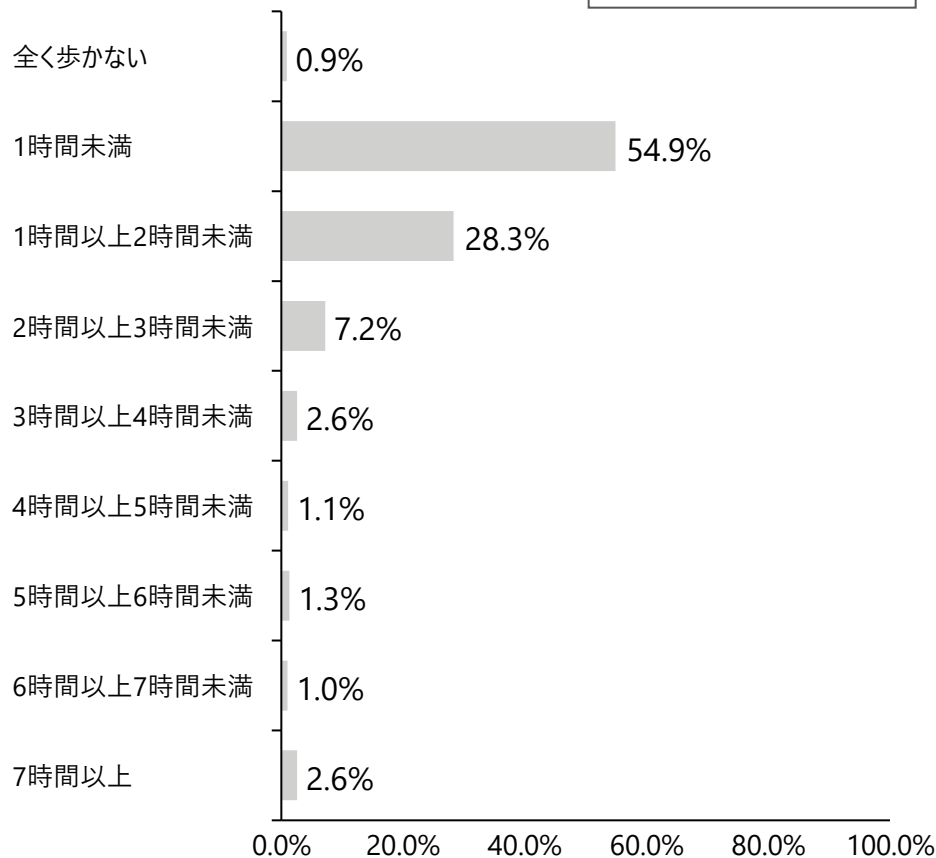


- 満足している
- どちらかという満足している
- どちらかという満足していない
- 満足していない
- わからない
- 取組んでいない

問3.14 1日の徒歩数

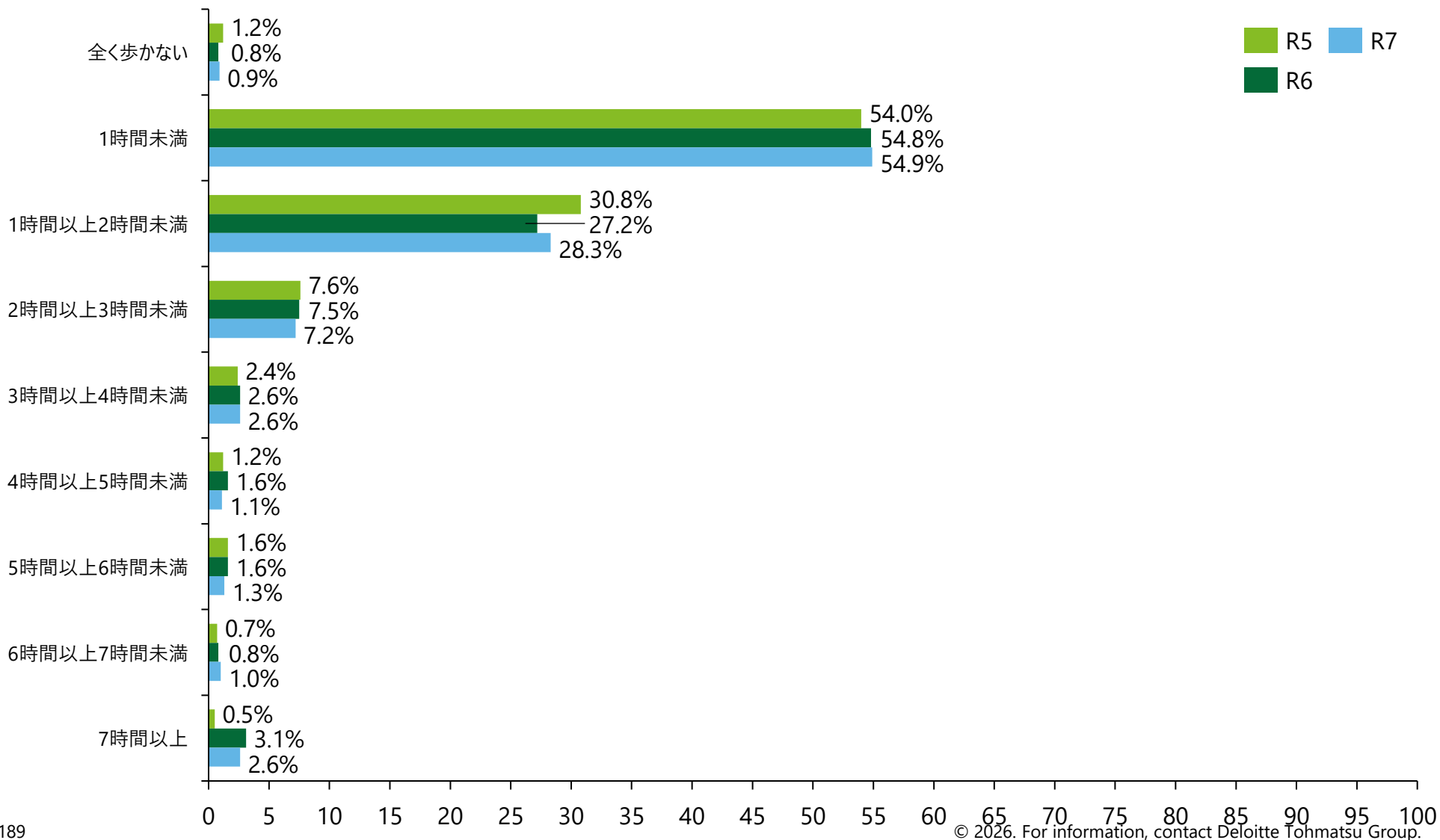
(n = 6,862) あなたは、1日に何分くらい歩いていますか。数値（分）を記入してください。（通勤・通学を含みます。）

平均時間（前年比）
78.7分（67分）



■ ウェルネス（健康）に関する質問（3/3）

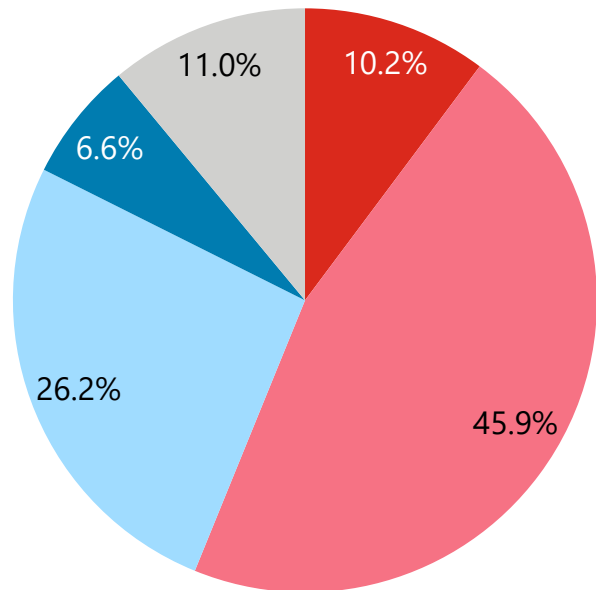
経年変化 | 1日の徒歩数



■ スマート（快適・先端）に関する質問（1/4）

問3.15 デジタル化の進捗

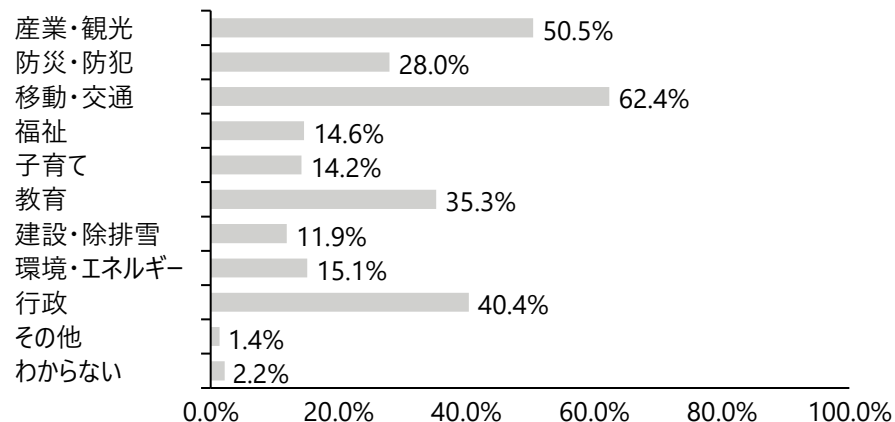
(n = 6,862) あなたは、まちのデジタル化※が進んでいると感じますか。あてはまるもの一つを選択してください。



- 進んでいる
- どちらかというに進んでいる
- どちらかというに進んでいない
- 進んでいない
- わからない

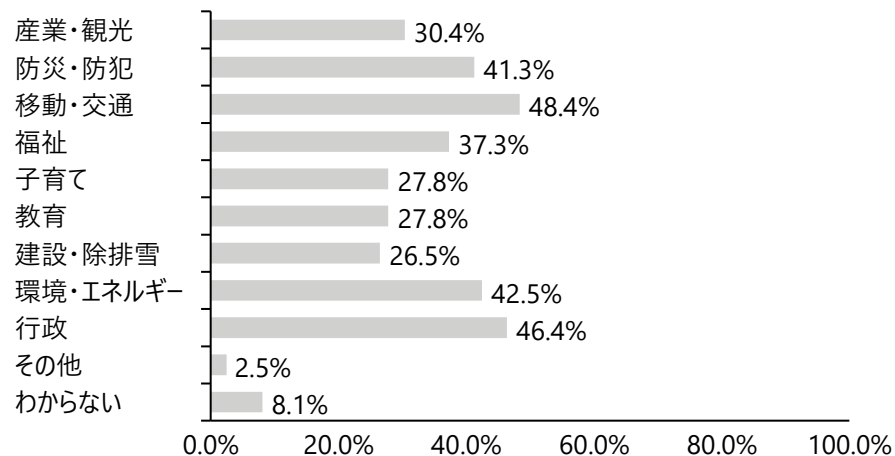
問3.16 進んだと思う理由

(n = 3,787) 問3.15で答えた理由として、どのような点でデジタル化が進んだ（または、進んでいない）と思いますか。あてはまるものすべてを選択してください。



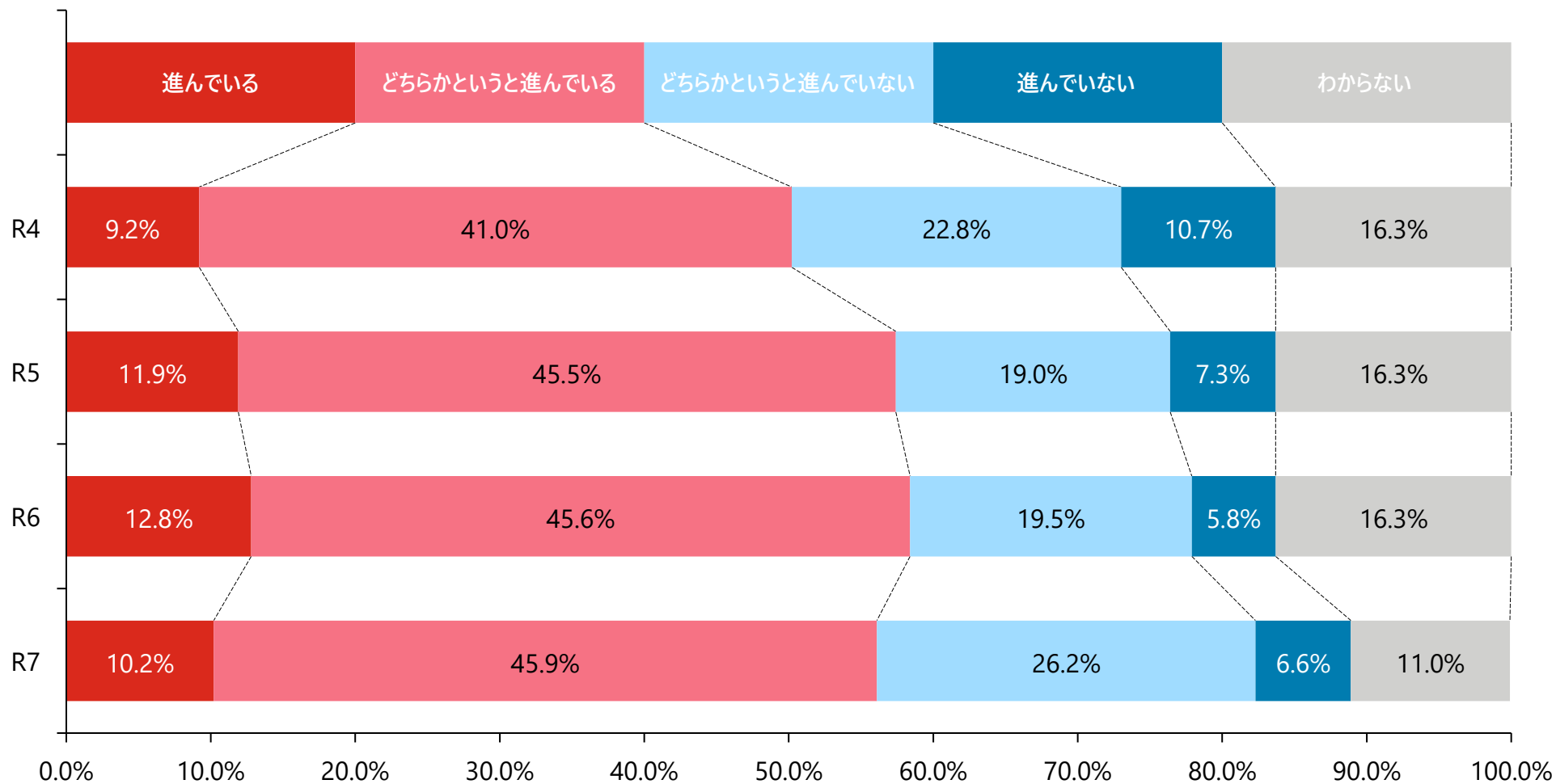
問3.16 進んでいないと思う理由

(n = 2,300)



■スマート（快適・先端）に関する質問（2/4）

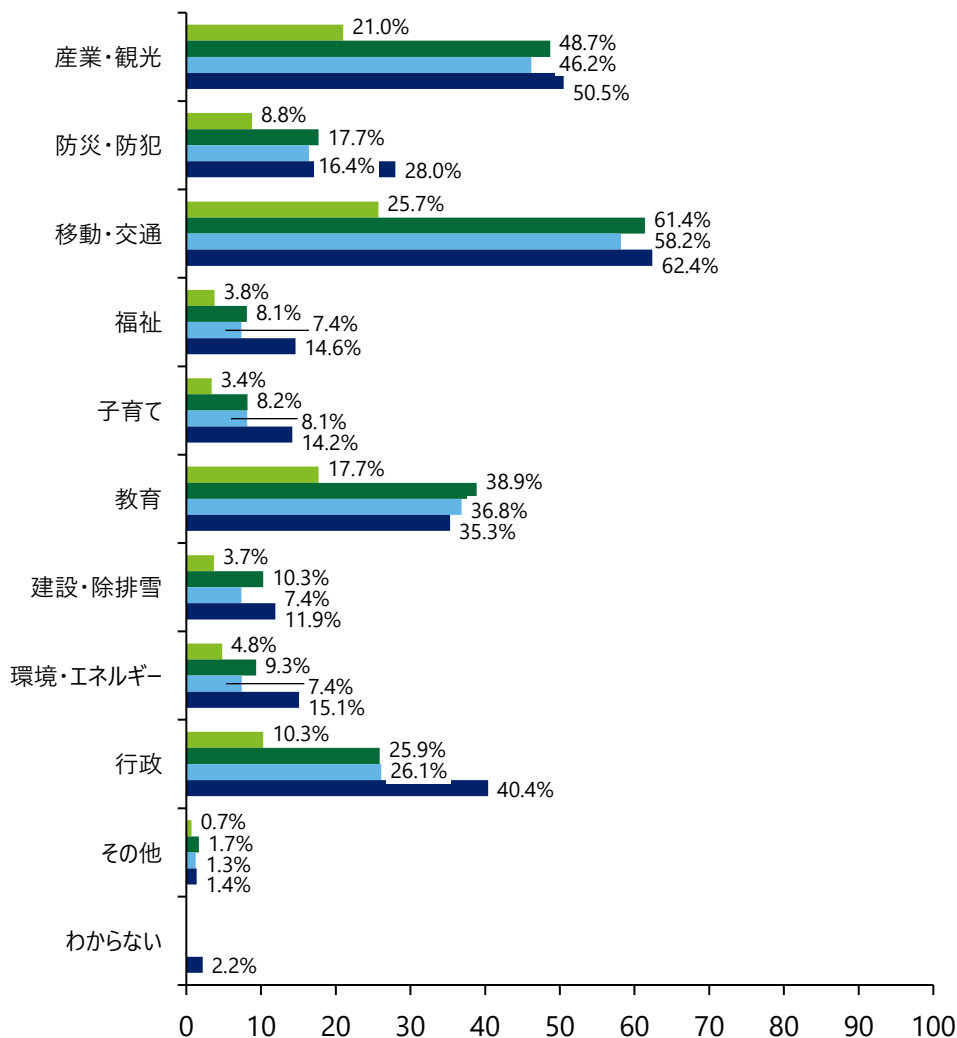
経年変化 | デジタル化の進捗



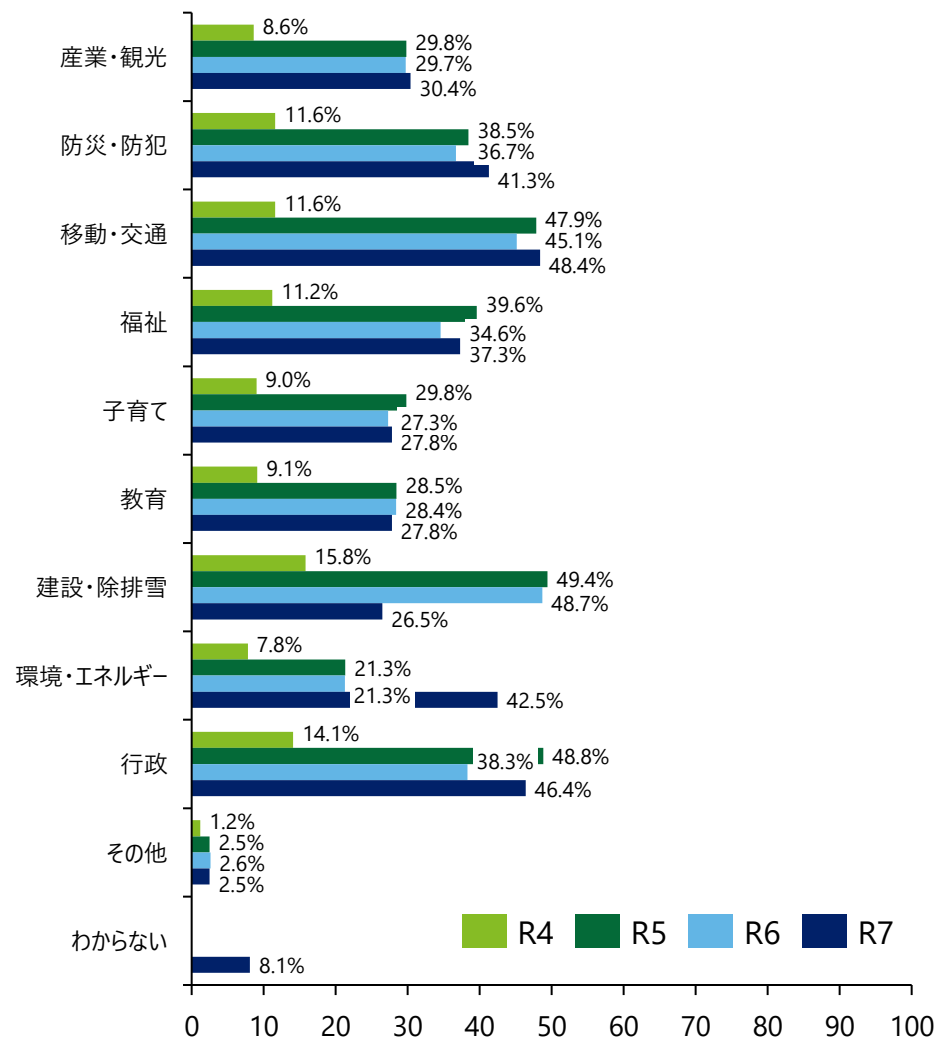
■ スマート（快適・先端）に関する質問（3/4）

経年変化 | デジタル化の進捗

進んでいる理由



進んでいない理由



■スマート（快適・先端）に関する質問（4/4）

問3.17
デジタル化が進んだと思う理由

防災・市公式LINE活用	<ul style="list-style-type: none"> 大雪時の計画運休の情報発信が評価できると感じる。 熊出没や除雪情報がLINEで届き助かると感じる。
マイナ活用と証明書	<ul style="list-style-type: none"> マイナンバーカードで住民票をコンビニで取得できて非常に良いと感じる。 大雪時の情報発信や住民票コンビニサービス等を評価している。
交通IC・決済の進展	<ul style="list-style-type: none"> 地下鉄の改札でクレジットタッチが使えるようになり便利だと感じる。 一般的にはキャッシュレス決済は進んでいると思う。
医療・図書館の予約化	<ul style="list-style-type: none"> 図書館の本予約・検索システムが利用しやすくなっていると感じる。 病院やお店の予約がオンラインでできる場面が増えたと感じる。
民間サービスのDX化	<ul style="list-style-type: none"> スーパーやコンビニでセルフレジが増えていると感じる。 このようなアンケートをスマホで回答できる点にデジタル化の進展を感じる。

問3.17
デジタル化が進んでいないと思う理由

紙・縦割り・窓口依存	<ul style="list-style-type: none"> 紙が多く、稟議の捺印や紙書類の提出が残り、ペーパーレス化が進んでいないと感じる。 住所変更などのオンライン化が進まず、窓口が混雑して手続きに時間がかかると感じる。
マイナ活用不足	<ul style="list-style-type: none"> マイナンバー関連は結局動かなければならず、ネットで完結したいと感じる。 マイナンバーの活用を進め、申請や給付をワンタッチで完了できるようにしてほしいと感じる。
行政決済と交通IC遅れ	<ul style="list-style-type: none"> 行政手続きの支払いでクレジットカードが使えず、行政のキャッシュレス化が遅れていると感じる。 SAPICAの電子化を早く進め、JRとの統合を望む声がある。
高齢者配慮と格差	<ul style="list-style-type: none"> デジタル化が進んでも使えない高齢者や面倒に感じる人には普及しないと感じる。 紙の広報の配布継続など、アナログ手段の併用が必要だと感じる。
UI/周知・連絡手段不足	<ul style="list-style-type: none"> 窓口や分野ごとに使い勝手が統一されず、ID連携とデータ連携を進めてほしいと感じる。 除雪情報がLINEやテレビのみで、メール配信など他の手段がなく不便だと感じる。

* 回答の多い内容を集約し、カテゴライズ。 実際の回答を記載（弊社にて必要に応じて文言調整）

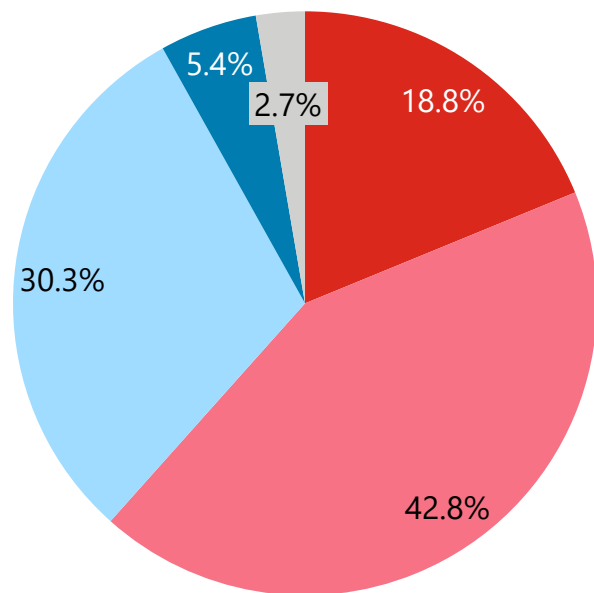
2.調査結果の詳細

- 回収結果および基本情報
- 問1 まちづくり戦略ビジョンについて
- 問2 基本目標について
- 問3 まちづくりの重要概念に関する取組について
- 問4 人口減少について
- 問5 まちづくりの総合満足度について

■ 人口減少 (1/6)

問4.1 人口減少することに対する危機感

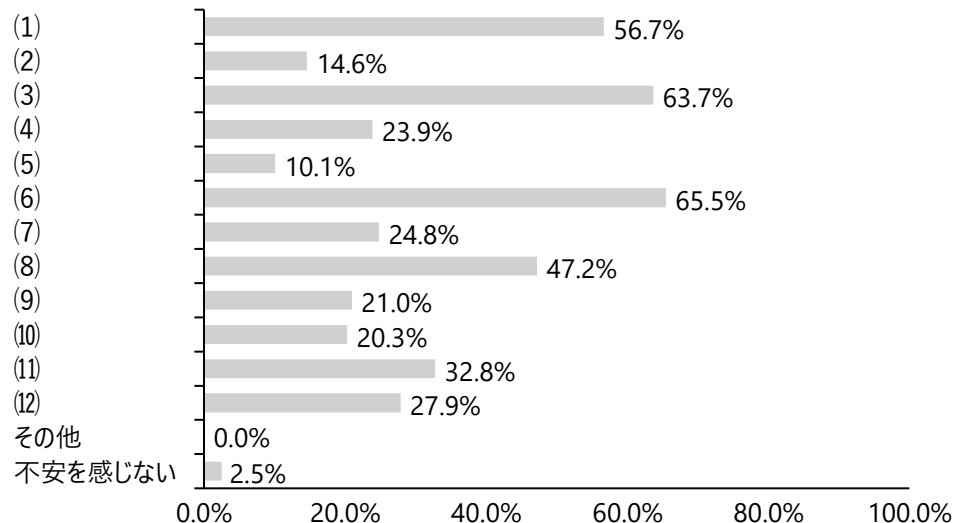
(n = 6,862) あなたは、札幌市の人口が減少することに危機感を持っていますか。あてはまるもの一つを選択してください。



- 非常に危機感を持っている
- 危機感を持っている
- あまり危機感を持っていない
- 全く危機感を持っていない
- わからない

問4.2 人口減少した場合の不安

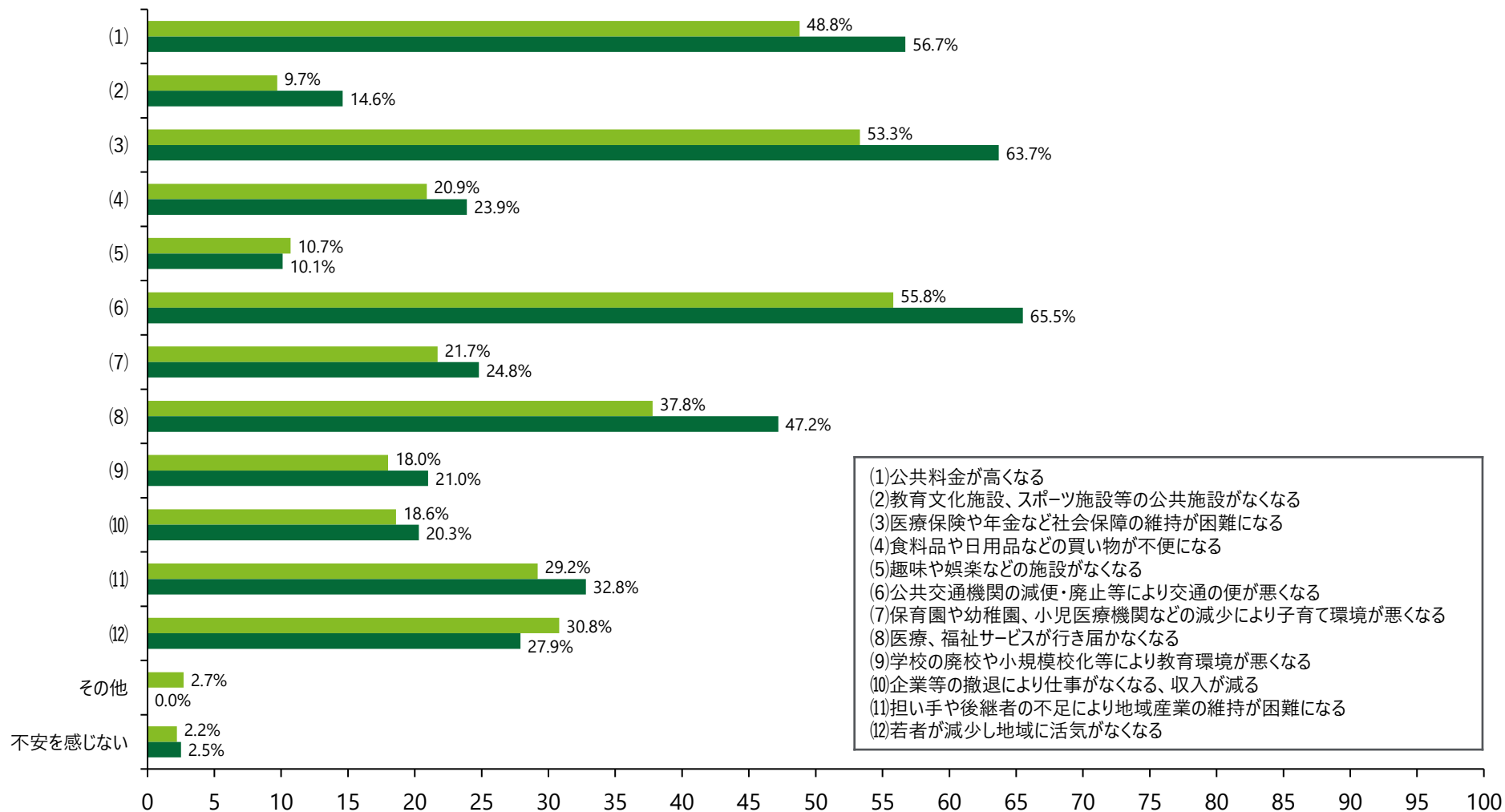
(n = 6,862) 今後、人口の減少が進んだ場合、あなたは、特にどのようなことに不安を感じますか。次の中から五つまで選択してください。



- (1) 公共料金が高くなる
- (2) 教育文化施設、スポーツ施設等の公共施設がなくなる
- (3) 医療保険や年金など社会保障の維持が困難になる
- (4) 食料品や日用品などの買い物が不便になる
- (5) 趣味や娯楽などの施設がなくなる
- (6) 公共交通機関の減便・廃止等により交通の便が悪くなる
- (7) 保育園や幼稚園、小児医療機関などの減少により子育て環境が悪くなる
- (8) 医療、福祉サービスが行き届かなくなる
- (9) 学校の廃校や小規模校化等により教育環境が悪くなる
- (10) 企業等の撤退により仕事なくなる、収入が減る
- (11) 担い手や後継者の不足により地域産業の維持が困難になる
- (12) 若者が減少し地域に活気がなくなる

■ 人口減少 (2/6)

経年変化 | 人口減少した場合の不安



※R4、R5は設問なし

■ 人口減少 (3/6)

問4.3 人口減少した場合の不安 (その他の回答)

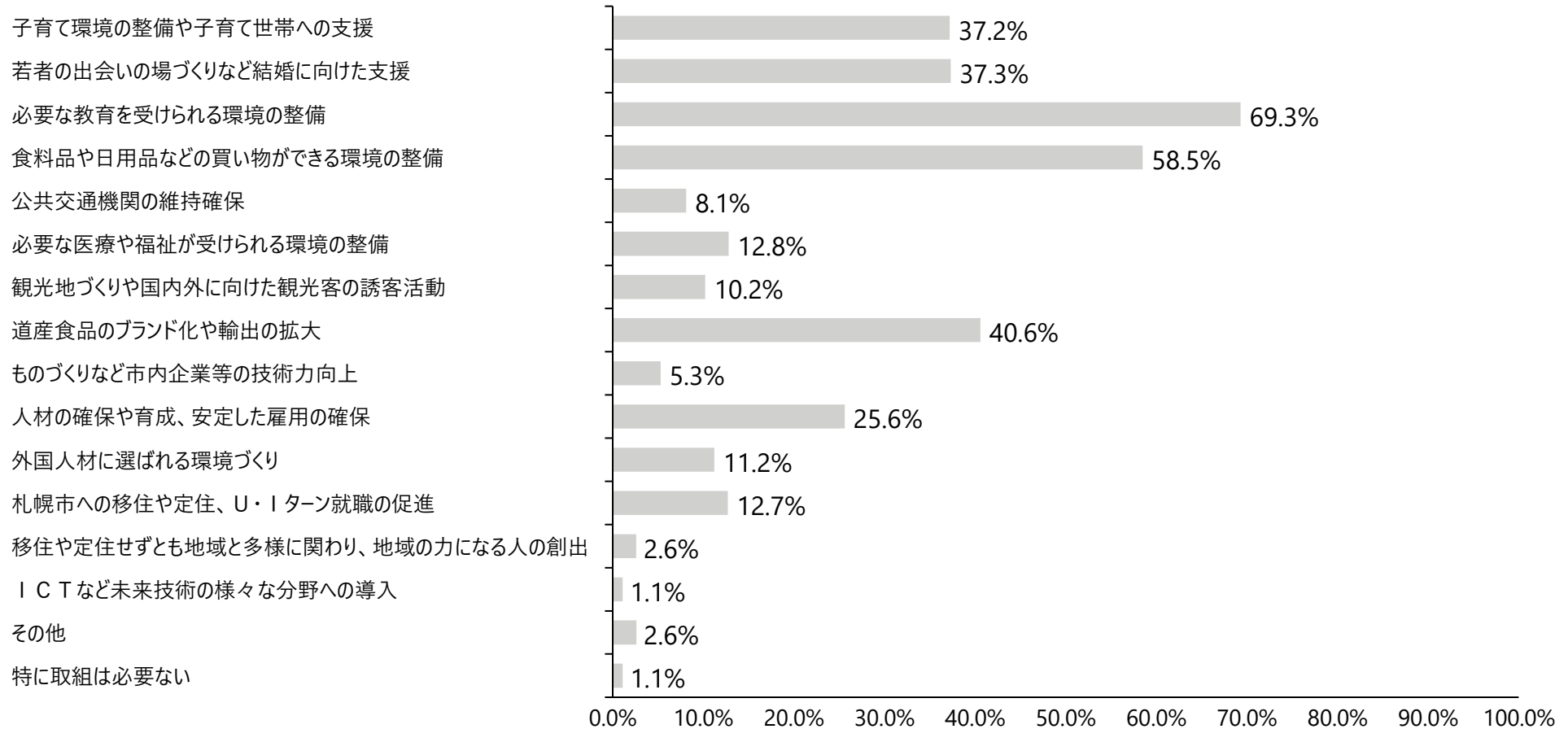
外国人増加と治安悪化懸念	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人が増えると犯罪が増え治安が悪くなるのが不安だ。 ・外国人の割合が高まり文化が壊れることを懸念している。
税収減と負担増の不安	<ul style="list-style-type: none"> ・税収が減って市民税や社会保険料の負担がさらに重くなるのが不安だ。 ・年金がもらえるか分からず生活が苦しくなるという不安がある。
インフラ維持困難・除雪悪化	<ul style="list-style-type: none"> ・除雪や排雪の状況が今以上に悪化し、冬季の移動が危険になるのが不安だ。 ・区役所や地下鉄などの老朽化が進み、整備不備が増えるのが不安だ。
労働力不足と経済停滞	<ul style="list-style-type: none"> ・人が減ると消費が減り、企業の縮小や廃業が増えるのではと懸念している。 ・進学や就職の志願者が減り、人材やサービスの質が低下するのが不安だ。
少子化・教育縮小と若者流出	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の統廃合が進み、通学環境が悪化するのが不安だ。 ・出生率が低く、若者を優遇する施策が必要だと考えている。
空き家増加と地域の荒廃	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家や廃墟が増え、犯罪の温床になるのが不安だ。 ・地価が下がり、海外企業の買収が進むのが心配だ。
都心集中と周辺過疎・集約化	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の市町村で過疎化が進み、札幌への一極集中が強まるのが懸念だ。 ・コンパクトで無駄のないまちづくりや、機能の集約と再配置が必要だと感じている。
医療介護負担増とサービス低下	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者割合がさらに増え、現役世代の税負担や介護負担が重くなるのが不安だ。 ・高齢者福祉活動の質が低下し、健康の衰えが加速するのではと懸念している。
行政運営の遅さ・財政運用不信	<ul style="list-style-type: none"> ・慣例的な予算配分をやめ、財政状況に応じた予算に改めてほしい。 ・税金の流れをブロックチェーンで可視化し、透明性を高めてほしい。

* 回答の多い内容を集約し、カテゴライズ。 実際の回答を記載 (弊社にて必要に応じて文言調整)

■ 人口減少 (4/6)

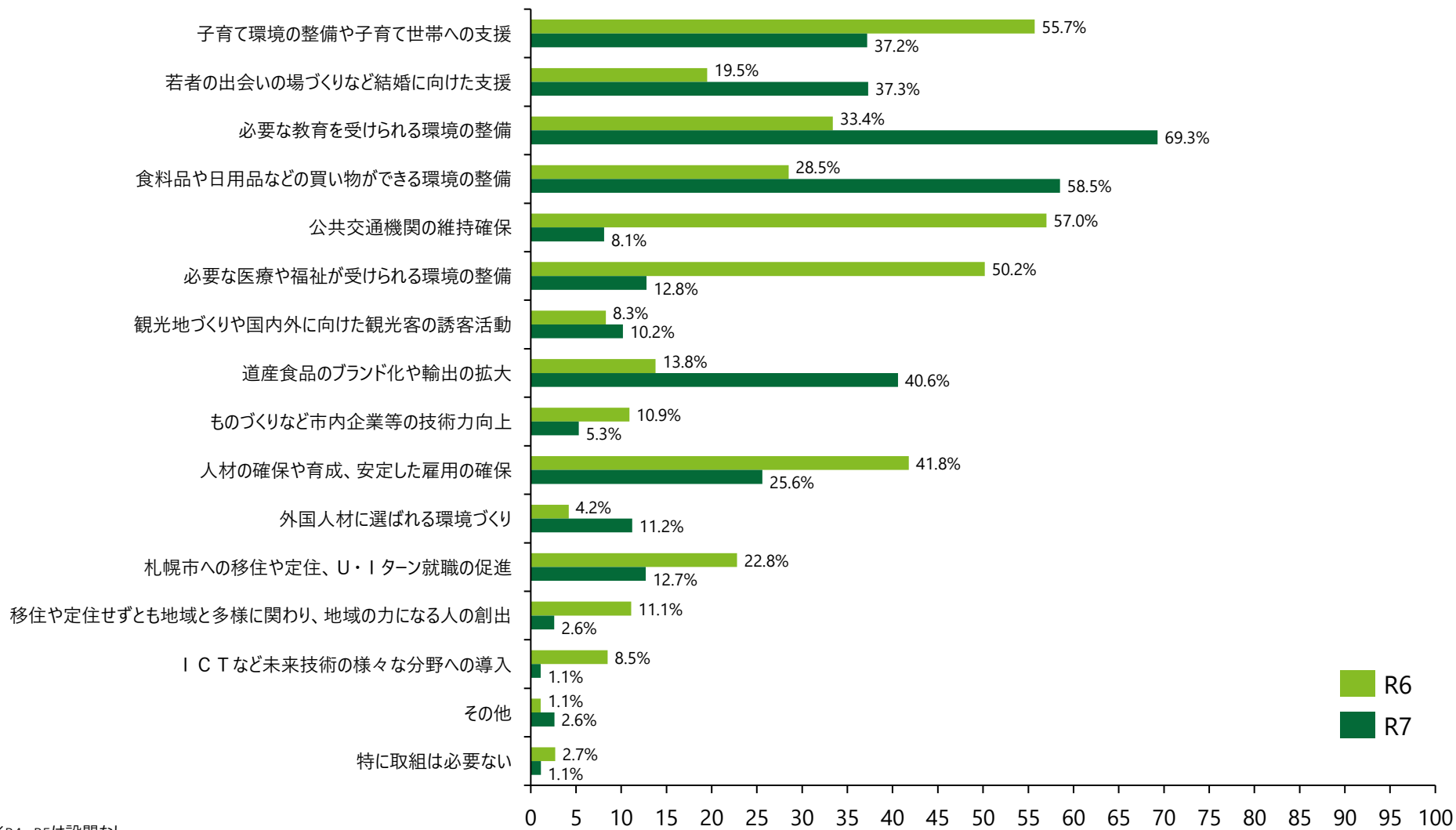
問4.4 人口減少しても「誰もが幸せを感じ、希望を実現している、魅力と活力に満ちあふれる未来」を実現するために重要だと思う取組

(n = 6,862) あなたは、人口が減少しても「誰もが幸せを感じ、希望を実現している、魅力と活力に満ちあふれる未来」を実現するため、今後、特にどのような取組が重要だと思いますか。次の中から五つまで選択してください。



■ 人口減少 (5/6)

経年変化 | 人口減少しても「誰もが幸せを感じ、希望を実現している、魅力と活力に満ちあふれる未来」を実現するために重要だと思う取組



※R4、R5は設問なし

■ 人口減少 (6/6)

問4.5 人口減少しても「誰もが幸せを感じ、希望を実現している、魅力と活力に満ちあふれる未来」を実現するために重要だと思う取組（その他）

生活安定・賃上げ減税	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的な生活の安定が根幹である。 ・賃金を上げる取り組みが必要だ。
子育て・出産支援充実	<ul style="list-style-type: none"> ・不妊治療への助成を拡大し、年齢制限の範囲も広げてほしい。 ・出産の不安を減らすため、預け先を増やし保育園の無償化を進めてほしい。
コンパクトシティ化	<ul style="list-style-type: none"> ・コンパクトなまちづくりを進めるべきだ。 ・札幌をスモールシティと捉え、公共交通や医療・福祉を確実に維持すべきだ。
除雪・冬道対策強化	<ul style="list-style-type: none"> ・雪道・冬道の整備を強化すべきだ。 ・除排雪や地下道整備で雪国のハンデを感じない街にしてほしい。
公共交通維持拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・JRは市民の足として、市から資金を出してでも維持したい。 ・周辺市町村と連携し、地下鉄などの交通機関を確保すべきだ。
産業振興・雇用創出	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の市内進出を支援し、雇用を増やす必要がある。 ・道内・市内企業が活性化するように地元発注や支援を推進すべきだ。
外国人受入の是非	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人との共生社会づくりが必要だ。 ・人口減を外国人で補填するべきではないという意見がある。
デジタル省人化推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTなど未来技術で省人化・効率化を進め、サービス品質を維持すべきだ。 ・企業も行政もデジタル化・省人化を進め、労働生産性を上げるべきだ。
魅力発信・文化活性	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力あるまちづくりのため、情報発信と実践を強化すべきだ。 ・雪の観光都市として、世界中の関係人口が貢献できる仕組みをつくるべきだ。

* 回答の多い内容を集約し、カテゴライズ。 実際の回答を記載（弊社にて必要に応じて文言調整）

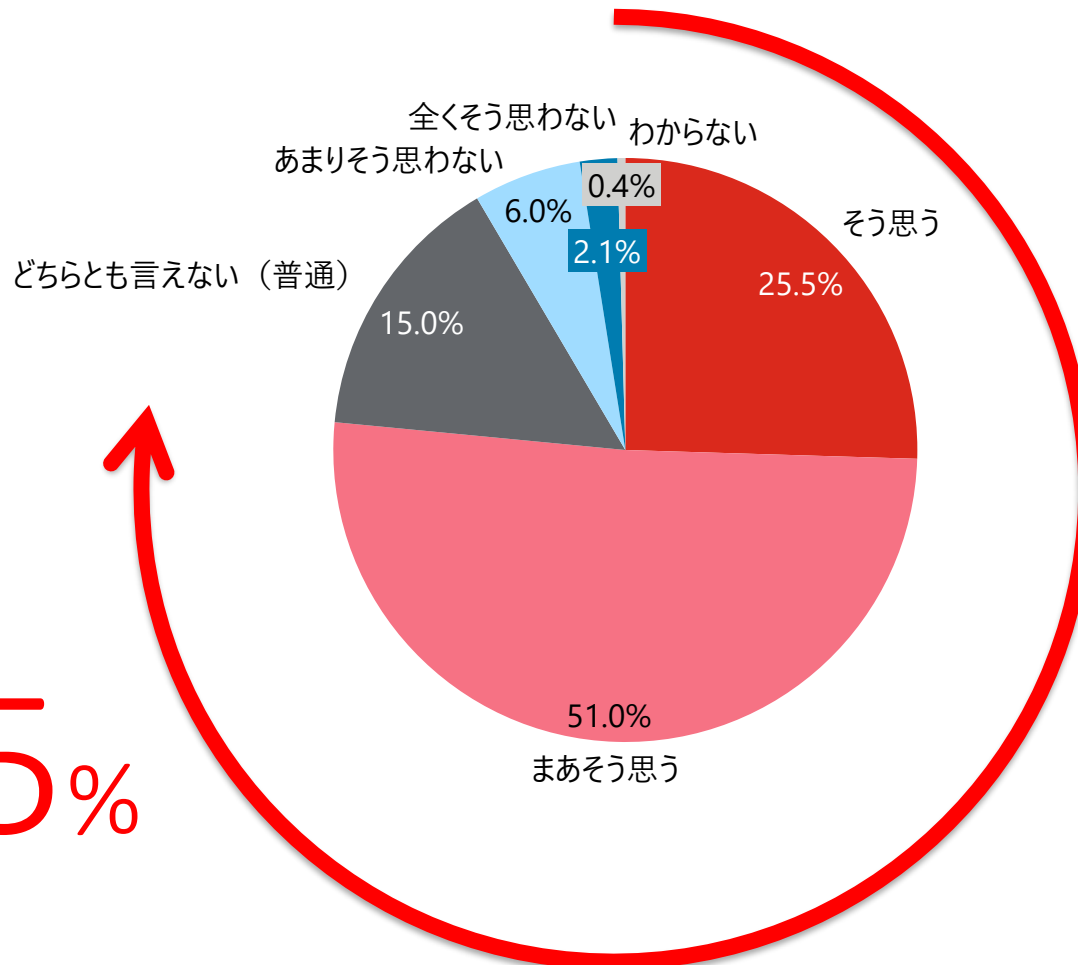
2.調査結果の詳細

- 回収結果および基本情報
- 問1 まちづくり戦略ビジョンについて
- 問2 基本目標について
- 問3 まちづくりの重要概念に関する取組について
- 問4 人口減少について
- 問5 まちづくりの総合満足度について

■ 総合満足度に関する設問 (1/7)

問5.1 まちの暮らしやすさ

(n = 6,862) あなたにとって、札幌市は暮らしやすいまちだと思いますか。あてはまるもの一つを選択してください。



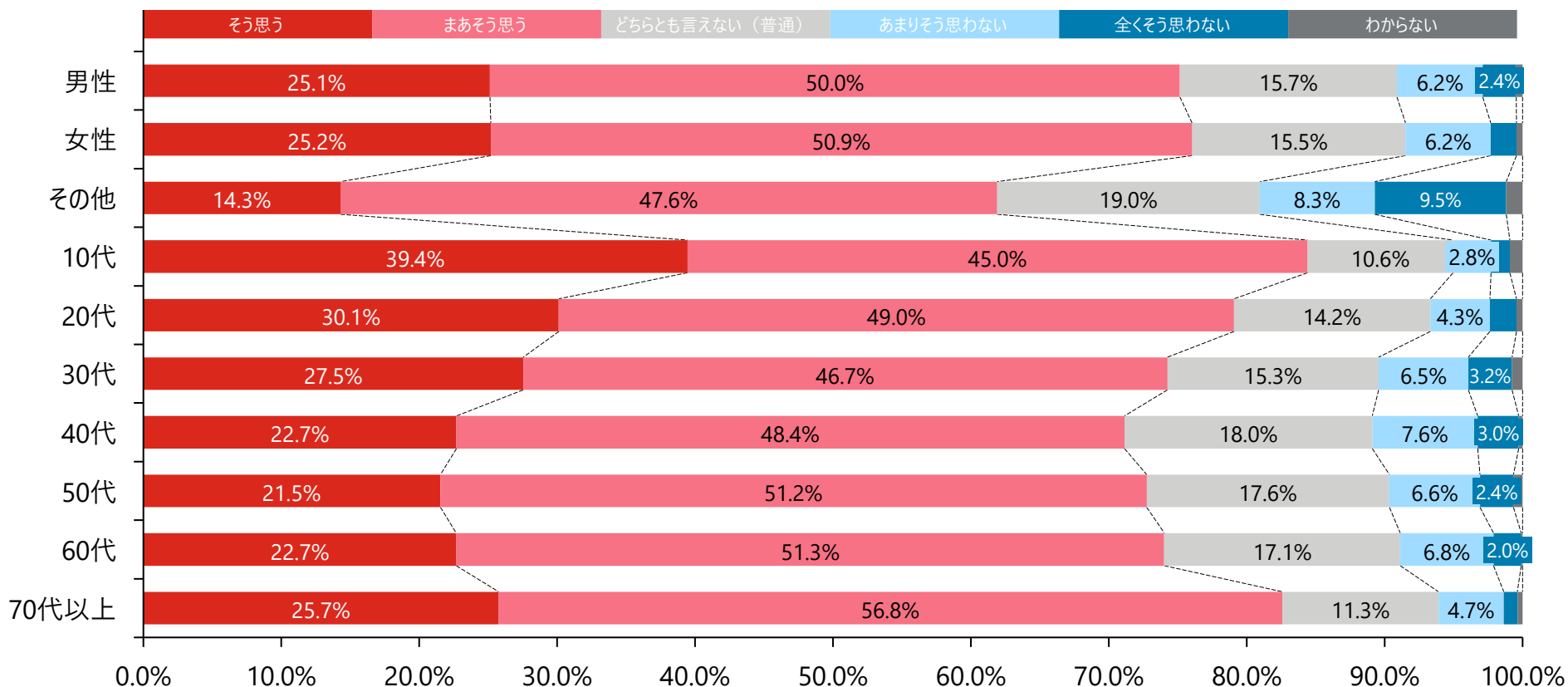
76.5%

■ 総合満足度に関する設問 (2/7)

問5.1 まちの暮らしやすさ (性別、年代別)

(n = 6,862) あなたにとって、札幌市は暮らしやすいまちだと思いますか。あてはまるもの一つを選択してください。

- 性別による、まちの暮らしやすさには、大きな差異は見られない。
- 年代別では、10代の8割以上が、暮らしやすいと回答している（「そう思う」、「まあそう思う」）。
- しかし、40代まで年代があがるにつれ、その割合は7割程度まで下がる。その後、年代が上がるにつれ、その割合が高まる。



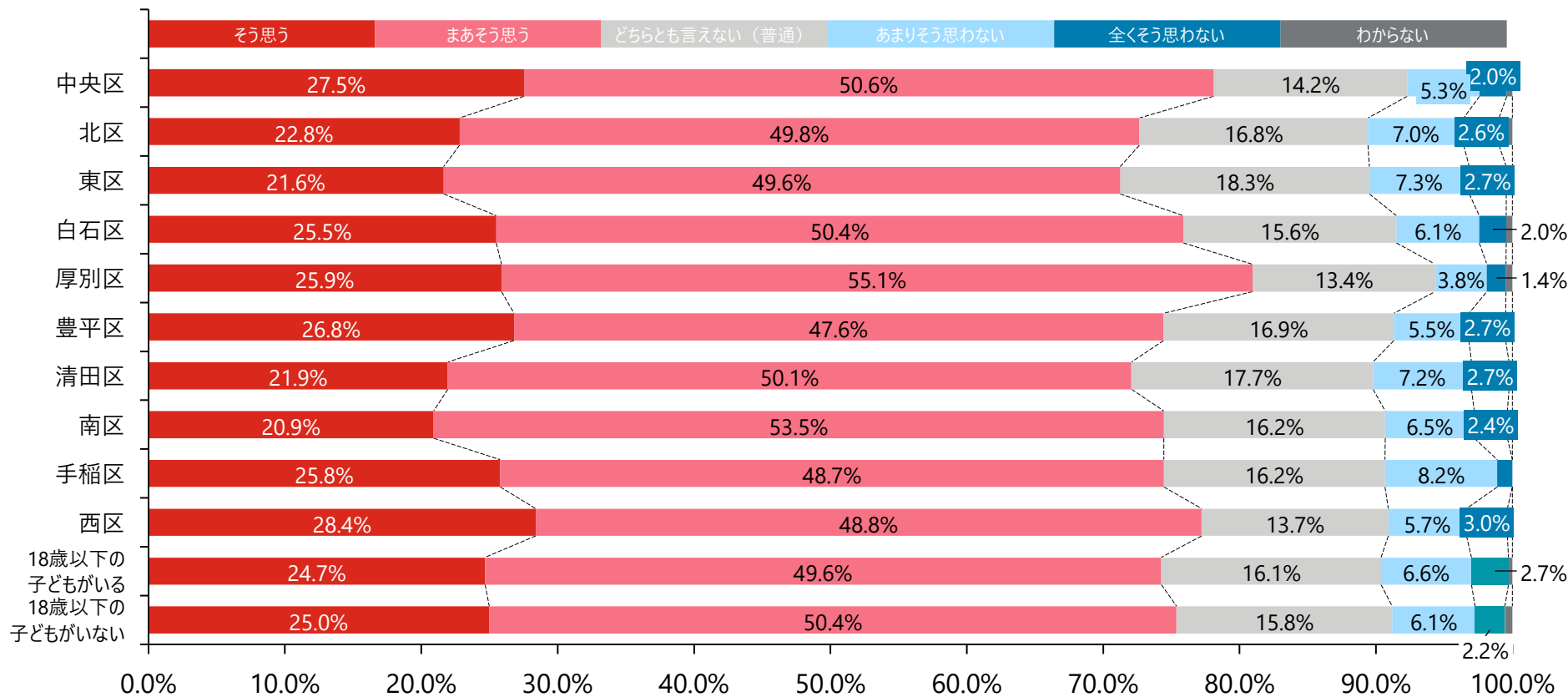
※2%未満は表記割愛

■ 総合満足度に関する設問 (3/7)

問5.1 まちの暮らしやすさ (居住区、子供有無)

(n = 6,862) あなたにとって、札幌市は暮らしやすいまちだと思いますか。あてはまるもの一つを選択してください。

- 居住区別では、厚別区や中央区の8割程度が、暮らしやすいと回答している（「そう思う」、「まあそう思う」）。
- 一方、その割合が低いのは、東区や清田区、北区で、7割半ば程度である。
- 子どもの有無では、暮らしやすさに大きな差異は見られない。

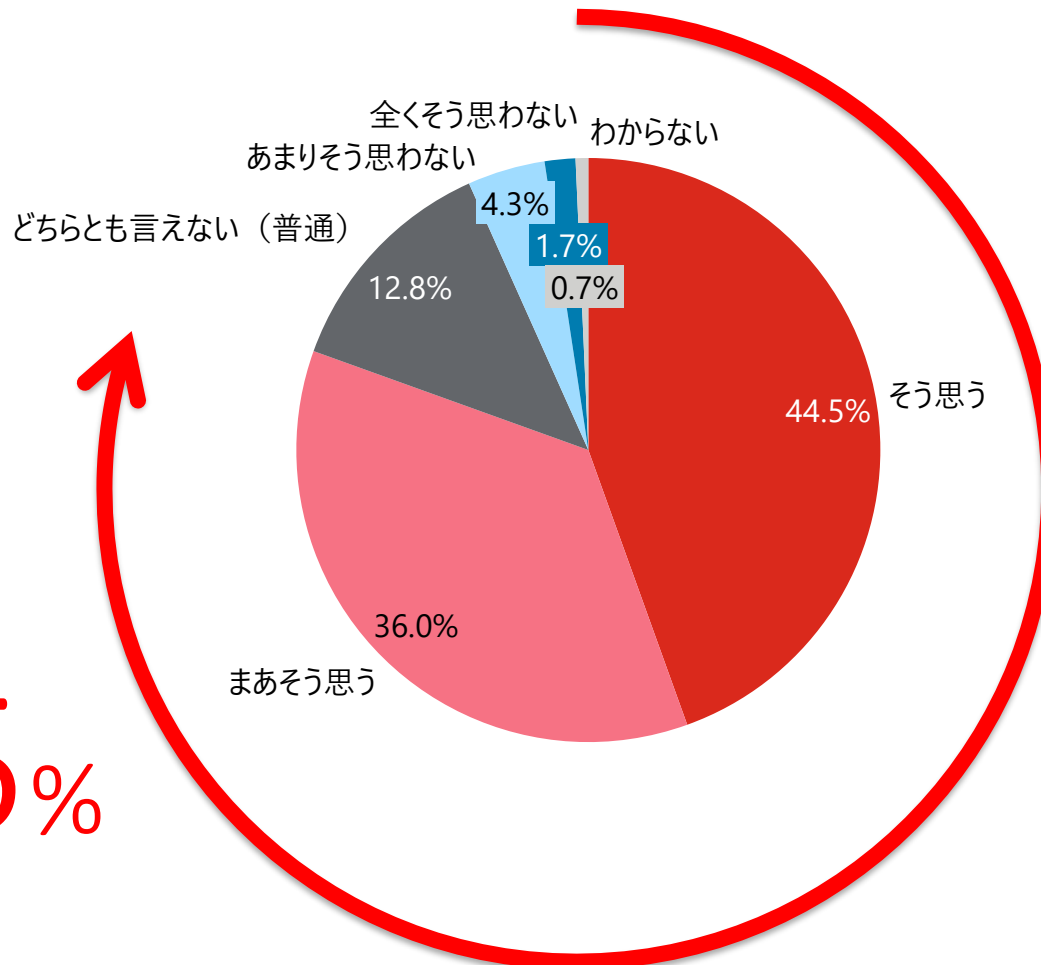


※2%未満は表記割愛

■ 総合満足度に関する設問 (4/7)

問5.2 継続居住意向

(n = 6,862) あなたはこれからも札幌市に住み続けたいと思いますか。あてはまるもの一つを選択してください。



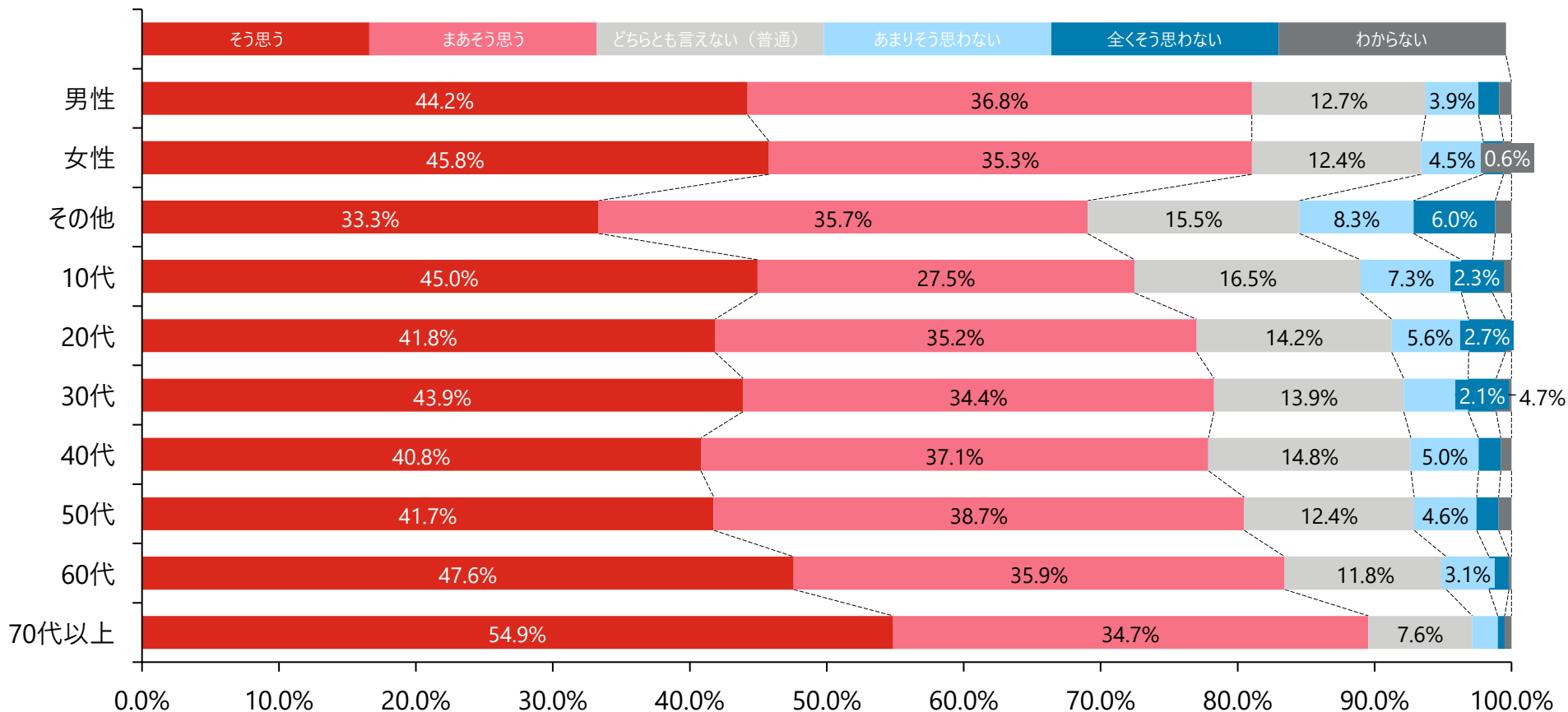
80.5%

■ 総合満足度に関する設問 (5/7)

問5.2 継続居住意向 (性別、年代別)

(n = 6,862) あなたはこれからも札幌市に住み続けたいと思いますか。あてはまるもの一つを選択してください。

- 性別による、継続居住意向には、大きな差異は見られない。
- 年代別では、年代があがるにつれ、継続居住意向が高くなる（「そう思う」、「まあそう思う」）



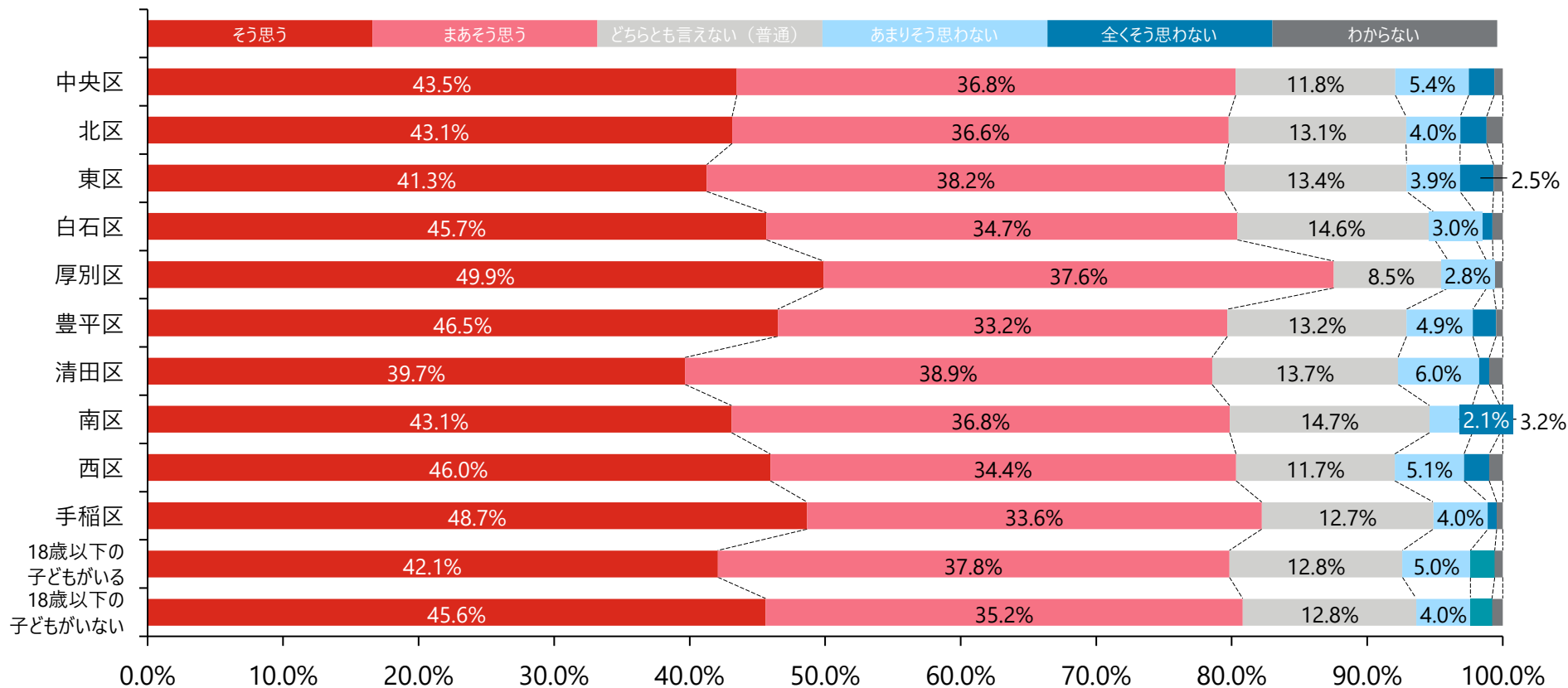
※2%未満は表記割愛

■ 総合満足度に関する設問 (6/7)

問5.2 継続居住意向 (性別、年代別)

(n = 6,862) あなたはこれからも札幌市に住み続けたいと思いますか。あてはまるもの一つを選択してください。

- 居住区別では、厚別区の8割以上が、継続居住意向があると回答している（「そう思う」、「まあそう思う」）。
- 他区は、同程度の割合だが、清田区は、唯一そう思うの割合が4割を下回っている。
- 子どもの有無では、継続居住意向に大きな差異は見られない。



※2%未満は表記割愛

■ 総合満足度に関する設問 (7/7)

問5.3 まちづくりにとって重要だと思うこと

冬季除排雪と道路安全	<ul style="list-style-type: none"> ・道路や歩道の排雪が不足すると高齢者の外出が困難になり健康被害につながるため、徹底すべきだ。 ・ツルツル路面への砂まきやロードヒーティング、融雪槽の助成拡充など抜本策が必要だ。
公共交通充実・延伸	<ul style="list-style-type: none"> ・地下鉄の延伸とバス減便の是正により、郊外や地下鉄圏外の移動手段を確保すべきだ。 ・快適性向上のため、地下鉄の冷房化や案内板の電子化など設備更新も進めるべきだ。
子育て教育支援充実	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども医療費助成の所得制限撤廃など、子育て世帯の負担軽減を強化すべきだ。 ・保育の受け皿拡充や病児・病後児保育の充実、保育士の待遇改善が必要だ。 ・教育の機会均等を図るため、学びの場や放課後の居場所を増やしてほしい。
高齢者支援と福祉充実	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー化やエレベーターの増設など、移動の障壁を下げる取組を拡大してほしい。 ・介護人材の確保や在宅支援の拡充など、福祉サービスの持続性を高めるべきだ。
産業誘致と雇用創出	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致と新産業の育成で若者の雇用と賃金を底上げし、人口流出を防ぐべきだ。 ・大学・高専と地元企業の連携を強め、就職・起業につながる人材育成を進めてほしい。 ・インバウンド偏重ではなく、一次産業や製造業など基盤産業の競争力強化が必要だ。
市民優先と情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の声を丁寧に聴取し、計画を臨機応変に修正する「市民優先」の姿勢が必要だ。 ・窓口手続のワンストップ化や行政のデジタル化で、わかりやすく使いやすい仕組みにしてほしい。
治安防災・熊対策強化	<ul style="list-style-type: none"> ・熊の出没対策と自然との共存を両立させる具体的な対策を急ぐべきだ。 ・防犯カメラの整備やルールの徹底など、治安対策を強化し安心して暮らせる環境にしてほしい。 ・異常気象を踏まえた防災力の向上と、冬季の災害対応力の強化が不可欠だ。
インフラ維持更新徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の穴や段差、右折レーンの不足を解消し、渋滞と事故リスクを減らしてほしい。 ・公共料金の抑制とインフラ更新の両立に向け、効率的な投資と維持管理を求める。
観光と外国人の調和	<ul style="list-style-type: none"> ・市民生活を圧迫しないオーバーツーリズム対策と、観光の受け入れルール整備が必要だ。 ・市民割などの導入で、市民優先と観光振興のバランスを取ってほしい。

* 回答の多い内容を集約し、カテゴライズ。 実際の回答を記載（弊社にて必要に応じて文言調整）

3.調査結果の分析

- 基本目標の評価および事業進捗の概観
- 総合満足度の分析
- 基本目標の概況
- 基本目標の深掘分析

● 3.調査結果の分析 | 基本目標の評価および事業進捗の概観

評価点は昨年度までの傾向が継続している。相対的に評価点の高い「スポーツ・文化」「環境」「都市空間」は評価点悪化が継続し、「⑤生活しやすく住みよいまち」「⑱世界を引き付ける魅力と活力があふれるまち」は急落（それぞれ▲0.25、▲0.16）した。一方、「②誰一人取り残されずに、子どもが伸び伸びと成長し、若者が希望を持って暮らすまち」は、改善の兆し（+0.18）がある。

各基本目標の評価点

基本目標のR7平均点

3.06

テーマ	基本目標	目標値	評価点					差分*		傾向
			R4 (当初値)	R5	R6	R7	推移	R7-R6	R7-R4	
子ども・若者	①「安心して子どもを産み育てることができる、子育てに優しいまち」	3.30	2.95	2.85	2.91	2.91	■■■■	0.00	▲ 0.04	→
	②「誰一人取り残されずに、子どもが伸び伸びと成長し、若者が希望を持って暮らすまち」	3.10	2.66	2.59	2.57	2.75	■■■■	0.18	0.09	↑
	③「一人一人の良さや可能性を大切に教育を通して、子どもが健やかに育つまち」	3.30	2.96	2.93	2.96	2.97	■■■■	0.01	0.01	→
生活・暮らし	④「誰もが健康的に暮らし、生涯活躍できるまち」	3.40	3.12	3.04	2.97	3.00	■■■■	0.03	▲ 0.12	→
	⑤「生活しやすく住みよいまち」	3.60	3.34	3.28	3.23	2.98	■■■■	▲ 0.25	▲ 0.36	↓
地域	⑥「互いに認め合い、支え合うまち」	3.40	2.99	2.89	2.92	2.88	■■■■	▲ 0.04	▲ 0.11	→
	⑦「誰もがまちづくり活動に参加でき、コミュニティを育むまち」	3.30	2.87	2.83	2.88	2.82	■■■■	▲ 0.06	▲ 0.05	↘
安全・安心	⑧「誰もが災害に備え、迅速に回復し、復興できるまち」	3.30	2.94	2.83	2.91	2.84	■■■■	▲ 0.07	▲ 0.10	↘
	⑨「日常の安全が保たれたまち」	3.60	3.34	3.27	3.19	3.20	■■■■	0.01	▲ 0.14	→
経済	⑩「強みを生かした産業が北海道の経済をけん引しているまち」	3.60	3.29	3.23	3.26	3.17	■■■■	▲ 0.09	▲ 0.12	↘
	⑪「多様な主体と高い生産性、チャレンジできる文化が経済成長を支えるまち」	3.30	2.89	2.83	2.89	2.91	■■■■	0.02	0.02	→
	⑫「雇用が安定的に確保され、多様な働き方ができるまち」	3.20	2.84	2.83	2.85	2.87	■■■■	0.02	0.03	→
スポーツ・文化	⑬「世界屈指のウインタースポーツシティ」	3.80	3.63	3.45	3.44	3.49	■■■■	0.05	▲ 0.14	→
	⑭「四季を通じて誰もがスポーツを楽しむことができるまち」	3.80	3.57	3.43	3.40	3.31	■■■■	▲ 0.09	▲ 0.26	↘
	⑮「文化芸術が心の豊かさや創造性を育み、世界とつながるまち」	3.60	3.36	3.31	3.29	3.24	■■■■	▲ 0.05	▲ 0.12	↘
環境	⑯「世界に冠たる環境都市」	3.30	2.89	2.83	2.85	2.84	■■■■	▲ 0.01	▲ 0.05	→
	⑰「身近なみどりを守り、育て、自然と共に暮らすまち」	3.90	3.72	3.69	3.65	3.59	■■■■	▲ 0.06	▲ 0.13	↘
都市空間	⑱「コンパクトで人にやさしい快適なまち」	3.70	3.43	3.23	3.17	3.23	■■■■	0.06	▲ 0.20	↗
	⑲「世界を引き付ける魅力と活力あふれるまち」	3.60	3.32	3.25	3.30	3.14	■■■■	▲ 0.16	▲ 0.18	↓
	⑳「都市基盤を適切に維持・更新し、最大限利活用するまち」	3.30	3.26	3.10	3.07	3.09	■■■■	0.02	▲ 0.17	→
		平均	3.17	3.08	3.09	3.06	■■■■	▲ 0.03	▲ 0.11	

*赤色が濃いほどその年の平均より高く、青色が濃いほど、その年の平均より低い

● 3.調査結果の分析 | 基本目標の評価および事業進捗の概観

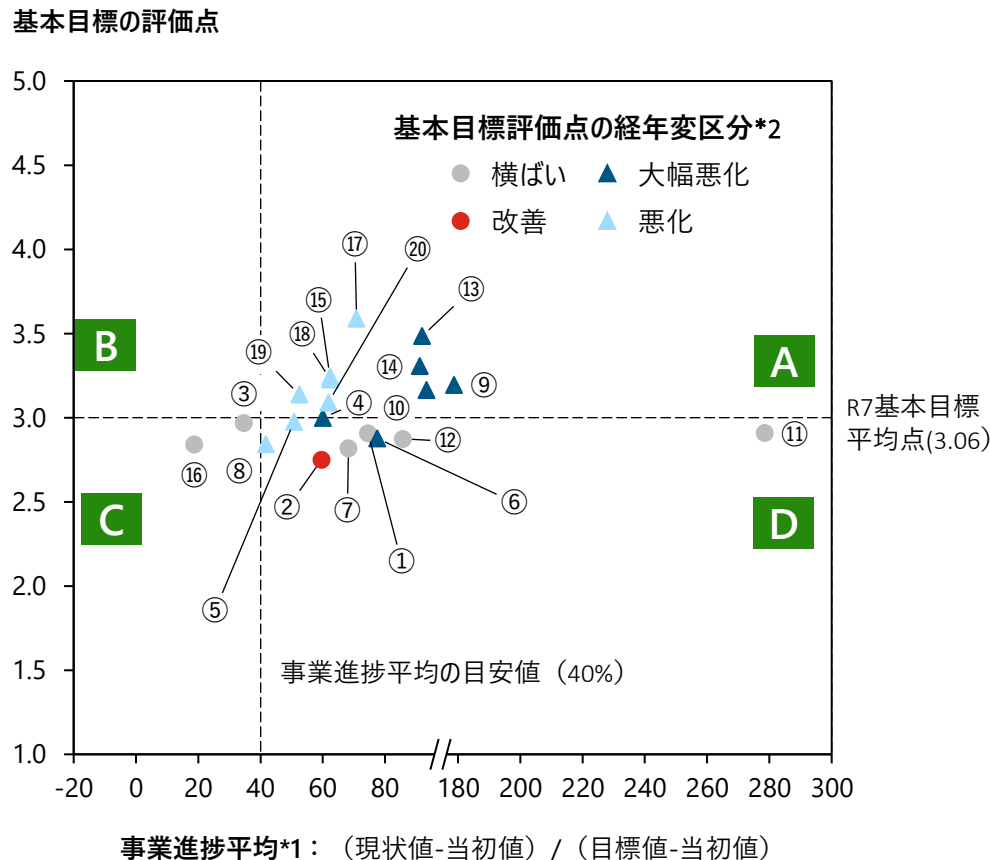
事業の進捗から基本目標の評価点を確認すると、基本目標③⑧⑬は事業進捗が悪く市民評価も平均より低くなっている。一方、基本目標（①②/子ども若者④⑤/生活・暮らし⑥⑦/地域⑪⑫/経済）は、事業が進捗しても市民評価の改善が期待されない可能性がある。その他の基本目標は事業効果が市民評価に表れているが全てR4比で評価点が悪化しており警戒が必要である。

基本目標の評価点と事業進捗の連動性

分類の定義

A.順調領域	事業進捗と市民評価が連動し、 事業効果が想定通りに市民評価に表れている領域 ただし、市民評価が悪化すると、D.要警戒領域に落ちこむため、リスク管理のため悪化要因の解明は必要
B.期待先行/ 外部要因恩恵領域	事業進捗と市民評価が連動しておらず、 市民評価の結果が事業効果とは言えない領域 市民の期待先行の表れなのか、社会情勢等の外部要因の影響なのかの解明は必要 また、必要に応じて、より効果の高い事業への見直し、市民評価への影響のない事業の廃止が必要
C.事業テコ入れ 領域	事業進捗と市民評価が連動し、 事業進捗の悪さによって事業効果が出ていないと想定される領域 （事業進捗がよければ市民評価もあがる領域） 市民評価が悪い要因は事業進捗の悪さであることが明白であり、事業担当部署に事業進捗が悪い要因と対策を命ずるなど、 事業推進が必要
D.要警戒領域	事業進捗と市民評価が連動していない上に、事業効果が出ていないため、 事業が進捗しても市民評価の改善が期待されない可能性のある領域 市民評価が低くなっている要因を、社会情勢等の外部要因にあるのか、事業（内容、進捗管理など）や事業効果タイピングにあるのかの解明が急務

基本目標の評価点と事業進捗*1平均マトリクス



注記)

*1 事業進捗率の定義：（実績値 - 当初値） ÷ （目標値 - 当初値）

事業は基本的に、R4に開始し、R9時点での最終的な目標値を設定。本調査集計時にはR6実績までが集計されていたこともあり、進捗率の定義の実績値はR6実績を用いて算出。（R6実績がない事業はR5実績を使用）
そのため、事業の進捗率の目安値は、R4～R9の5か年のうち2年目であるR6は【2年目/5か年】であるため、40%としている

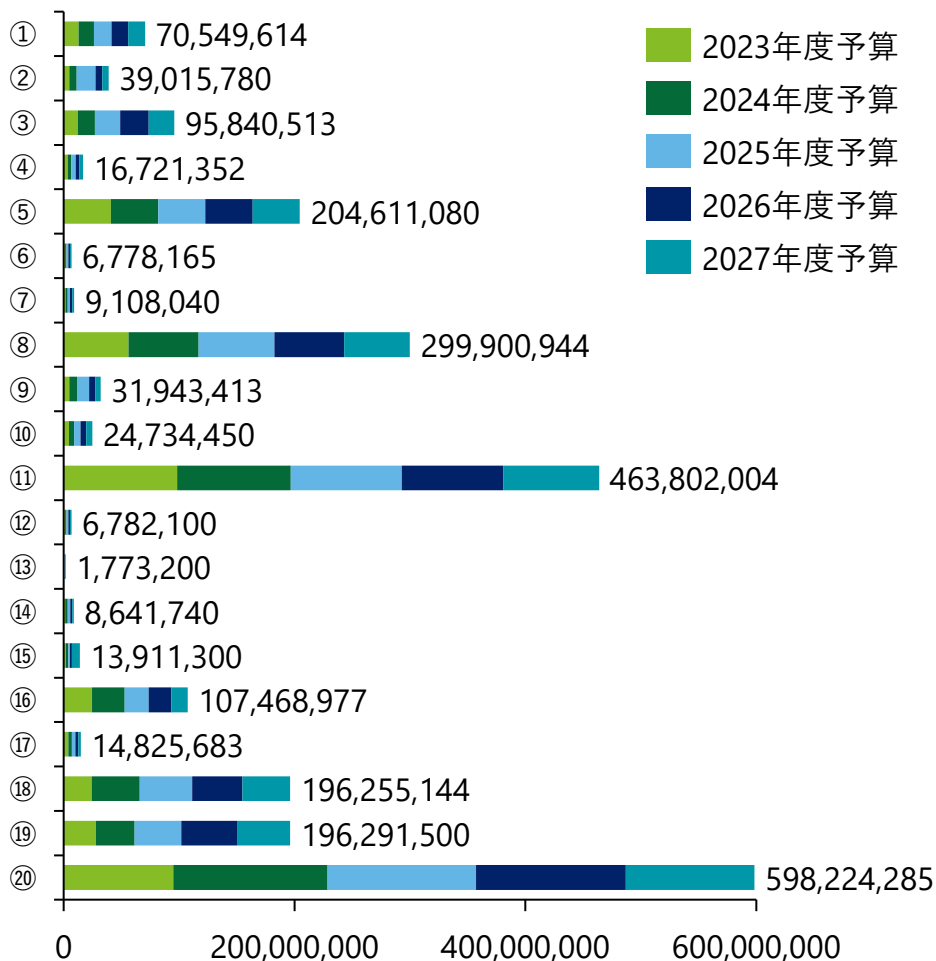
*2 基本目標の経年変化区分：R4～R7の基本目標平均の変動率（R7平均評価点 ÷ R4平均評価点）である96.5%と、3.5%の低下となっている。そのため、±3%前後の変動は横ばい、3%～3.5%の低下を悪化、それ以上の悪化を大幅悪化と区分している。

3.調査結果の分析 | 基本目標の評価および事業進捗の概観

【参考】事業の予算額に対する事業進捗を確認すると、他基本目標より予算が多い基本目標（⑧⑳）の事業進捗が悪い。また、評価点の高さと予算額の大きさには関係性が見られない。

基本目標別の予算額および事業進捗平均

基本目標別 累計予算額



予算額×基本目標評価 マトリクス



3.調査結果の分析

- 基本目標の評価および事業進捗の概観
- 総合満足度の分析
- 基本目標の概況
- 基本目標の深掘分析

● 3.調査結果の分析 | 総合満足度の分析

総合満足度の分析では、本年度市民から収集した新指標である「暮らしやすさ」や「継続居住意向」の向上を目的に、他都市比較による貴市の相対的な位置付けを把握するとともに、重回帰分析によりこれら指標に対する影響度の高い基本目標を特定し、優先的に施策を実行・運用する重点基本目標を特定する。

分析の手順

1.他都市比較

「まち暮らしやすさ」や「継続居住意向」（以下、総合満足度指標）を他指定都市の同様の調査結果と比較し、札幌市の相対的な位置づけを確認する。

2.各基本目標の影響度分析

総合満足度指標の向上に対する影響度が高い基本目標を重回帰分析によって特定する。具体的には、重回帰分析における目的変数を総合満足度指標の評価点、説明変数を各基本目標の評価点とし、以下の手順で重回帰分析を実行する。

2-1. 説明変数の選定

今後も同様の分析を貴市ができるようExcelによる重回帰分析を実施する。ただし、Excelの回帰分析機能の仕様は、説明変数の上限が16個であり基本目標数より少ない。分析精度の低下を防ぐため、以下の基準で変数を16個に絞り込む。

- ①説明変数間の相関確認：基本目標同士の相関係数を算出し、絶対値が0.8以上のペアが存在する場合、類似項目として一方を分析対象から除外する。
- ②目的変数との相関確認：①にて除外対象がない場合、総合満足度指標との相関性が低い（相関係数が0に近い）基本目標を4つ特定し、除外する。

2-2. 重回帰分析

絞り込んだ16個の説明変数を用いて計算処理を実行し、以下の指標を確認する。

- ①全体精度の確認（補正R2）：基本目標群が、暮らしやすさの変動を全体としてどの程度説明できるかを確認し、分析の前提条件として定義する。
- ②統計的有意性の確認（P値）：各説明変数のP値を確認し、0.05未満のものを総合満足度指標に有意な影響を与える基本目標として抽出する。

3. 基本目標の優先順位付け

2で特定された総合満足度指標の向上に影響度の高い基本目標を対象に、下記手順にて、優先的に施策を実行・運用する重点基本目標を特定する。

- ①影響度の確認（偏回帰係数）：偏回帰係数が正の値の項目を対象とし、その係数の大きさを「目的変数に対する影響度」として評価する。
- ②改善余地の確認（各基本目標の評価点）：対象となる基本目標の「現状の満足度平均値」を算出し、上限値に対する「改善の余地」を評価する。
- ③重点基本目標の確認：「偏回帰係数が大きく（影響度が高い）」かつ「基本目標の評価点が低い（改善の余地が大きい）」、基本目標を確認する。

● 3.調査結果の分析 | 総合満足度の分析

他都市と比較すると、札幌市民は、暮らしやすいと感じている割合は10ポイント以上少なく、かつ、どちらかといえば暮らしやすいという肯定度合いが低い割合が高い。また、継続居住意向も、同様に他都市より低い。

他都市比較

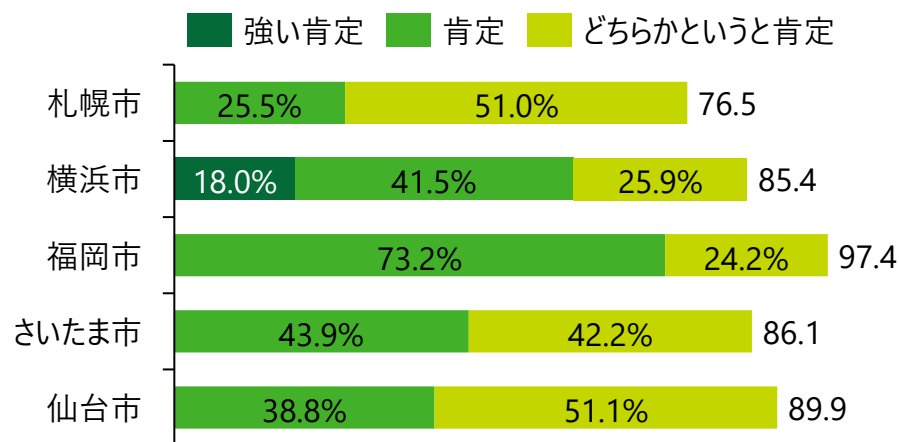
分析の留意点

本比較に用いた他都市のデータは、各自治体が独自に実施した市民意識調査等を参照している。そのため、貴市が今年度初めて取得した総合満足度指標と、調査の実施時期や設問の具体的な文言、および回答の選択肢等が完全に一致するものではない。したがって、指標の数値は単純な絶対値の優劣を論じるものではなく、札幌市の相対的な位置づけを把握するための客観的指標の一つとして取り扱う点に留意する。

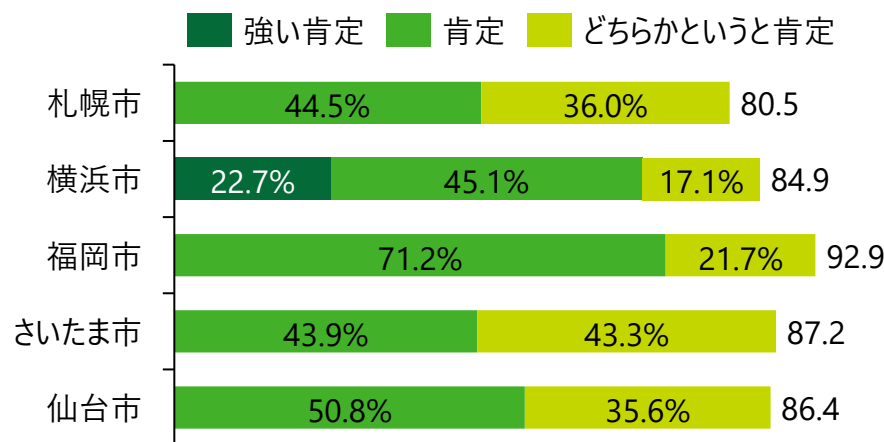
他都市における調査時期と設問、回答選択肢

- ・ **横浜市**：令和7年度「市民目線のニーズ探究調査」（令和7年7月実施）のうち、「あなたにとって、横浜市は暮らしやすいまちだと思いますか。」という問いに、「とても思う（18.0%）※強い肯定として定義」「思う（41.5%）」「どちらかといえば思う（25.9%）」と答えた方の割合、「あなたは、これからも横浜市に住み続けたいと思いますか。」という問いに、「とても思う（22.7%）」「思う（45.1%）」「どちらかといえば思う（17.1%）」と答えた方の割合
- ・ **福岡市**：令和7年度「市政に関する意識調査」（令和7年6月実施）のうち、「福岡市は住みやすいと思いますか？」という問いに「住みやすい（73.2%）」「どちらかといえば住みやすい（24.2%）」と答えた方の割合、「福岡市に住み続けたいと思いますか？」という問いに「住み続けたい（71.2%）」「どちらかといえば住み続けたい（21.7%）」と答えた方の割合
- ・ **さいたま市**：令和7年度「さいたま市民意識調査」（令和7年6月実施）のうち、「あなたがお住まいの「地域」の住み心地はどうですか？」という問いに「住みやすい（43.9%）」「どちらかといえば住みやすい（42.2%）」と答えた方の割合、「あなたは、現在お住まいの「地域」にこれからも住みたいと思いますか？」という問いに「ずっと住み続けたい（43.6%）」「当分の間住み続けたい（43.3%）」と答えた方の割合
- ・ **仙台市**：令和7年度「仙台市市民意識調査」（令和7年4月実施）のうち、「あなたは、仙台市は住みやすいと思いますか？」という問いに「住みやすい（38.8%）」「どちらかといえば住みやすい（51.1%）」と答えた方の割合、「あなたは、これからも仙台市に住み続けたいと思いますか？」という問いに「住み続けたい（50.8%）」「どちらかといえば住み続けたい（35.6%）」と答えた方の割合

まちの暮らしやすさ



継続居住意向



3.調査結果の分析 | 総合満足度の分析

基本目標間では、類似性（相関性）は低く、重回帰分析対象外とする基本目標はない。そのため、総合満足度指標と相関性の低い基本目標（②③⑥⑪）を対象外とする。なお、継続居住意向においては、基本目標⑪より基本目標⑦の方が相関係数が低いが、分野：地域の基本目標を残すため、基本目標⑪を対象外とする。

各基本目標の影響度分析 | 説明変数の選定

< 相関係数表 >

	A	B	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	
A.まちの暮らしやすさ	1.000																					
B.継続居住意向	-	1.000																				
基本目標①「安心して子どもを産み育てることができる、子育てに優しいまち」	0.330	0.228	1.000																			
✕ 基本目標②「誰一人取り残されずに、子どもが伸び伸びと成長し、若者が希望を持って暮らすまち」	0.304	0.205	0.645	1.000																		
✕ 基本目標③「一人一人の良さを大切に教育を通して、子どもが健やかに育つまち」	0.296	0.201	0.630	0.717	1.000																	
基本目標④「誰もが健康的に暮らし、生涯活躍できるまち」	0.351	0.248	0.517	0.557	0.585	1.000																
基本目標⑤「生活しやすく住みよいまち」	0.459	0.319	0.467	0.487	0.477	0.554	1.000															
✕ 基本目標⑥「互いに認め合い、支え合うまち」	0.303	0.213	0.472	0.514	0.529	0.531	0.492	1.000														
基本目標⑦「誰もがまちづくり活動に参加でき、コミュニティを育むまち」	0.316	0.214	0.483	0.506	0.539	0.584	0.528	0.579	1.000													
基本目標⑧「誰もが災害に備え、迅速に回復し、復興できるまち」	0.331	0.232	0.449	0.466	0.488	0.529	0.527	0.534	0.569	1.000												
基本目標⑨「日常の安全が保たれたまち」	0.397	0.279	0.423	0.453	0.467	0.511	0.560	0.484	0.510	0.559	1.000											
基本目標⑩「強みを生かした産業が北海道の経済をけん引しているまち」	0.368	0.256	0.386	0.419	0.441	0.487	0.487	0.462	0.498	0.513	0.538	1.000										
✕ 基本目標⑪「多様な主体と高い生産性、チャレンジできる文化が経済成長を支えるまち」	0.310	0.218	0.422	0.456	0.480	0.504	0.462	0.498	0.548	0.538	0.480	0.607	1.000									
基本目標⑫「雇用が安定的に確保され、多様な働き方ができるまち」	0.362	0.246	0.429	0.461	0.467	0.518	0.500	0.486	0.511	0.526	0.533	0.513	0.569	1.000								
基本目標⑬「世界屈指のウィンタースポーツシティ」	0.344	0.252	0.332	0.335	0.356	0.396	0.392	0.374	0.406	0.390	0.442	0.486	0.418	0.403	1.000							
基本目標⑭「四季を通じて誰もがスポーツを楽しむことができるまち」	0.373	0.270	0.387	0.393	0.427	0.485	0.444	0.442	0.480	0.457	0.484	0.512	0.494	0.477	0.666	1.000						
基本目標⑮「文化芸術が心の豊かさや創造性を育み、世界とつながるまち」	0.357	0.272	0.385	0.395	0.434	0.478	0.436	0.454	0.482	0.466	0.475	0.539	0.544	0.493	0.517	0.597	1.000					
基本目標⑯「世界に冠たる環境都市」	0.333	0.258	0.408	0.432	0.446	0.477	0.467	0.480	0.508	0.525	0.473	0.493	0.549	0.511	0.431	0.514	0.562	1.000				
基本目標⑰「身近なみどりを守り、育て、自然とともに暮らすまち」	0.414	0.308	0.364	0.360	0.394	0.450	0.449	0.414	0.425	0.426	0.513	0.490	0.426	0.429	0.521	0.530	0.530	0.493	1.000			
基本目標⑱「コンパクトで人にやさしい快適なまち」	0.434	0.307	0.389	0.407	0.424	0.472	0.528	0.443	0.460	0.473	0.511	0.508	0.477	0.498	0.482	0.522	0.528	0.525	0.584	1.000		
基本目標⑲「世界を引き付ける魅力と活力あふれるまち」	0.376	0.278	0.391	0.409	0.426	0.465	0.459	0.442	0.481	0.466	0.478	0.526	0.543	0.493	0.469	0.531	0.567	0.557	0.531	0.596	1.000	
基本目標⑳「都市基盤を適切に維持・更新し、最大限活用するまち」	0.417	0.290	0.421	0.437	0.459	0.498	0.527	0.470	0.522	0.513	0.536	0.529	0.541	0.528	0.465	0.522	0.551	0.577	0.538	0.631	0.634	1.000

3.調査結果の分析 | 総合満足度の分析

まちの暮らしやすさへの影響がある分野は、統計上、子ども・若者 (①)、生活・暮らし (⑤)、安全・安心 (⑨)、経済 (⑩、⑪)、スポーツ (⑬、⑭)、環境 (⑰)、都市空間 (⑱、⑳) など多岐にわたる。

各基本目標の影響度分析 | 重回帰分析 (まちの暮らしやすさ)

補正R2とは、「まちの暮らしやすさ」の評価のばらつきのうち、基本目標の評価点によって説明可能である割合である。残りの説明可能ではない割合は、回答者の属性 (年齢、所得、家族構成、勤務環境など) や個人的な価値観といった外部要因に起因すると考えられる。

	重回帰統計
重相関 R	0.550069
重決定 R2	0.302575
補正 R2	0.300945
標準誤差	0.805663
観測数	6861

P値とは、対象となる基本目標が「まちの暮らしやすさ」に全く影響を与えていないという仮定が、偶然に成立する確率を示す指標である。一般的な統計基準では、P値が0.05未満となった基本目標は、偶然の誤差ではなく、「まちの暮らしやすさ」に対して統計的に有意な影響を与える要因

Eは「×10の何乗か」を表す簡易表記
 $aE \pm b = a \times 10^{(\pm b)}$

係数 (偏回帰係数) は、各基本目標の評価点が「継続居住意向」を引き上げる効果の大きさ (影響度) を示す指標である。係数がプラスで、かつ数値が大きい基本目標ほど、その分野を改善した際に「まちの暮らしやすさ」全体を向上させる寄与度が高いことを意味する。

分散分析表

	自由度	変動	分散	観測された分散比	有意 F
回帰	16	1927.315	120.4572	185.5779304	0
残差	6844	4442.386	0.649092		
合計	6860	6369.701			

	係数	標準誤差	t	P-値	下限 95%	上限 95%	下限 95.0%	上限 95.0%
切片	1.972215	0.038266	51.539	0	1.897201	2.047229	1.897201	2.047229
基本目標①「安心して子どもを生み育てることができる、子育てに優しいまち」	0.057451	0.010759	5.339723	9.60836E-08	0.03636	0.078543	0.03636	0.078543
基本目標④「誰もが健康的に暮らし、生涯活躍できるまち」	-0.00225	0.012767	-0.17618	0.860157738	-0.02728	0.022778	-0.02728	0.022778
基本目標⑤「生活しやすく住みよいまち」	0.193349	0.012282	15.74223	7.06727E-55	0.169272	0.217426	0.169272	0.217426
基本目標⑦「誰もがまちづくり活動に参加でき、コミュニティを育むまち」	-0.05087	0.012764	-3.98525	6.81095E-05	-0.07589	-0.02585	-0.07589	-0.02585
基本目標⑧「誰もが災害に備え、迅速に回復し、復興できるまち」	-0.01935	0.012543	-1.54281	0.122922384	-0.04394	0.005237	-0.04394	0.005237
基本目標⑨「日常の安全が保たれたまち」	0.05241	0.013118	3.995146	6.53324E-05	0.026694	0.078125	0.026694	0.078125
基本目標⑩「強みを生かした産業が北海道の経済をけん引しているまち」	0.026778	0.011956	2.239758	0.025138613	0.003341	0.050215	0.003341	0.050215
基本目標⑫「雇用が安定的に確保され、多様な働き方ができるまち」	0.034108	0.01186	2.875825	0.00404217	0.010858	0.057357	0.010858	0.057357
基本目標⑬「世界屈指のウインタースポーツシティ」	0.023943	0.011364	2.106978	0.035155797	0.001667	0.046219	0.001667	0.046219
基本目標⑭「四季を通じて誰もがスポーツを楽しむことができるまち」	0.036033	0.012868	2.800273	0.005120264	0.010808	0.061258	0.010808	0.061258
基本目標⑮「文化芸術が心の豊かさや創造性を育み、世界とつながるまち」	0.010544	0.01199	0.87943	0.379198807	-0.01296	0.034049	-0.01296	0.034049
基本目標⑯「世界に冠たる環境都市」	-0.02808	0.012503	-2.24562	0.024760242	-0.05259	-0.00357	-0.05259	-0.00357
基本目標⑰「身近なみどりを守り、育て、自然とともに暮らすまち」	0.100671	0.011971	8.409404	4.96609E-17	0.077204	0.124138	0.077204	0.124138
基本目標⑱「コンパクトで人にやさしい快適なまち」	0.090814	0.012819	7.084198	1.53816E-12	0.065684	0.115943	0.065684	0.115943
基本目標⑲「世界を引き付ける魅力と活力あふれるまち」	0.019109	0.012793	1.493692	0.135302235	-0.00597	0.044188	-0.00597	0.044188
基本目標⑳「都市基盤を適切に維持・更新し、最大限活用するまち」	0.064849	0.013652	4.750317	2.07238E-06	0.038088	0.09161	0.038088	0.09161

● 3.調査結果の分析 | 総合満足度の分析

継続居住意向への影響がある分野は、統計上、子ども・若者 (①)、生活・暮らし (⑤)、安心安全 (⑨)、文化芸術 (⑮)、環境 (⑰)、都市空間 (⑱、⑲) など多岐にわたる。まちの暮らしやすさと異なり、安心安全の基本目標の影響があること、市内在住の市民にとっては経済・スポーツ分野は影響がないこと、が特徴である。

各基本目標の影響度分析 | 重回帰分析 (継続居住意向)

補正R2とは、「継続居住意向」の評価のばらつきのうち、基本目標の評価点によって説明可能である割合である。残りの説明可能ではない割合は、回答者の属性 (年齢、所得、家族構成、勤務環境など) や個人的な価値観といった外部要因に起因すると考えられる。

	重回帰統計
重相関 R	0.392278
重決定 R2	0.153882
補正 R2	0.151904
標準誤差	0.915695
観測数	6861

P値とは、対象となる基本目標が「継続居住意向」に全く影響を与えていないという仮定が、偶然に成立する確率を示す指標である。一般的な統計基準では、P値が0.05未満となった基本目標は、偶然の誤差ではなく、「まちの暮らしやすさ」に対して統計的に有意な影響を与える要因

Eは「×10の何乗か」を表す簡易表記
 $aE \pm b = a \times 10^{(\pm b)}$ 。

係数 (偏回帰係数) は、各基本目標の評価点が「継続居住意向」を引き上げる効果の大きさ (影響度) を示す指標である。係数がプラスで、かつ数値が大きい基本目標ほど、その分野を改善した際に「継続居住意向」全体を向上させる寄与度が高いことを意味する。

分散分析表

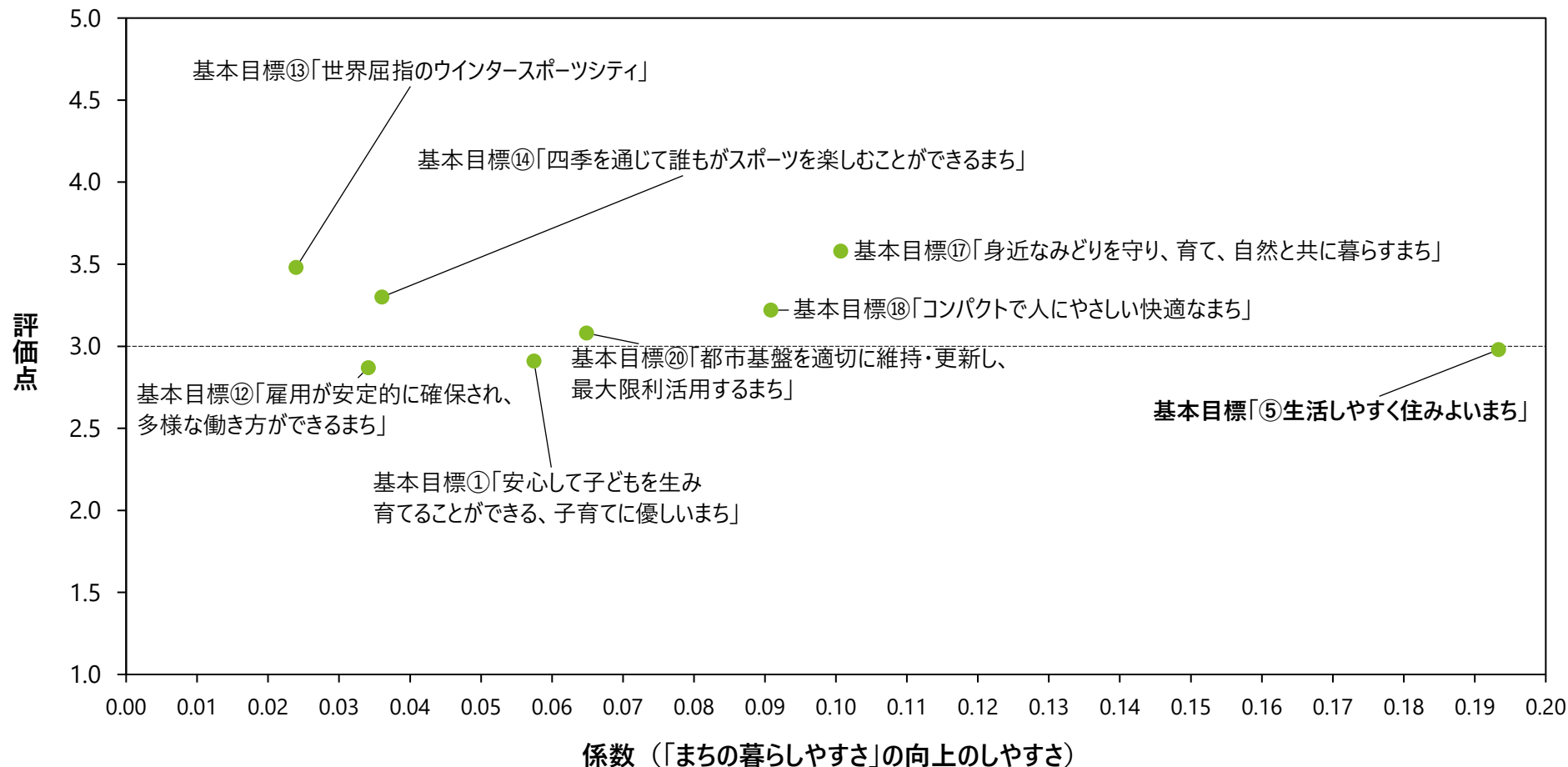
	自由度	変動	分散	観測された分散比	有意 F
回帰	16	1043.683	65.23017	77.79418	1.1E-233
残差	6844	5738.673	0.838497		
合計	6860	6782.355			

	係数	標準誤差	t	P-値	下限 95%	上限 95%	下限 95.0%	上限 95.0%
切片	2.743065	0.043493	63.06963	0	2.657806	2.828324	2.657806	2.828324
基本目標①「安心して子どもを生育できる、子育てに優しいまち」	0.036378	0.012229	2.974836	0.002942	0.012406	0.06035	0.012406	0.06035
基本目標④「誰もが健康的に暮らし、生涯活躍できるまち」	0.003351	0.01451	0.230936	0.817371	-0.02509	0.031796	-0.02509	0.031796
基本目標⑤「生活しやすく住みよいまち」	0.136546	0.01396	9.781506	1.9E-22	0.109181	0.163912	0.109181	0.163912
基本目標⑦「誰もがまちづくり活動に参加でき、コミュニティを育むまち」	-0.05568	0.014508	-3.8383	0.000125	-0.08412	-0.02725	-0.08412	-0.02725
基本目標⑧「誰もが災害に備え、迅速に回復し、復興できるまち」	-0.01608	0.014257	-1.12765	0.259508	-0.04402	0.011871	-0.04402	0.011871
基本目標⑨「日常の安全が保たれたまち」	0.038958	0.01491	2.612863	0.008998	0.009729	0.068186	0.009729	0.068186
基本目標⑩「強みを生かした産業が北海道の経済をけん引しているまち」	0.006371	0.013589	0.468834	0.639203	-0.02027	0.033009	-0.02027	0.033009
基本目標⑫「雇用が安定的に確保され、多様な働き方ができるまち」	0.006294	0.01348	0.466927	0.640567	-0.02013	0.032719	-0.02013	0.032719
基本目標⑬「世界屈指のウインタースポーツシティ」	0.022132	0.012915	1.713604	0.086647	-0.00319	0.04745	-0.00319	0.04745
基本目標⑭「四季を通じて誰もがスポーツを楽しむことができるまち」	0.022434	0.014625	1.533922	0.125095	-0.00624	0.051104	-0.00624	0.051104
基本目標⑮「文化芸術が心の豊かさや創造性を育み、世界とつながるまち」	0.031641	0.013628	2.321796	0.020273	0.004926	0.058355	0.004926	0.058355
基本目標⑯「世界に冠たる環境都市」	0.015349	0.01421	1.080146	0.280115	-0.01251	0.043206	-0.01251	0.043206
基本目標⑰「身近なみどりを守り、育て、自然とともに暮らすまち」	0.088915	0.013606	6.534881	6.82E-11	0.062242	0.115587	0.062242	0.115587
基本目標⑱「コンパクトで人にやさしい快適なまち」	0.055779	0.01457	3.828352	0.00013	0.027217	0.084341	0.027217	0.084341
基本目標⑲「世界を引き付ける魅力と活力あふれるまち」	0.028904	0.01454	1.987849	0.046868	0.0004	0.057408	0.0004	0.057408
基本目標⑳「都市基盤を適切に維持・更新し、最大限利活用するまち」	0.02639	0.015516	1.700844	0.089018	-0.00403	0.056806	-0.00403	0.056806

3.調査結果の分析 | 総合満足度の分析

まちの暮らしやすさを引き上げる効果が最も高いのは、基本目標⑤で他基本目標の2倍以上の差がある。評価点は本年度急落しており、冬期間における生活基盤が含まれるため、他都市の市民評価と比較して低い理由で要因だと考えられる。

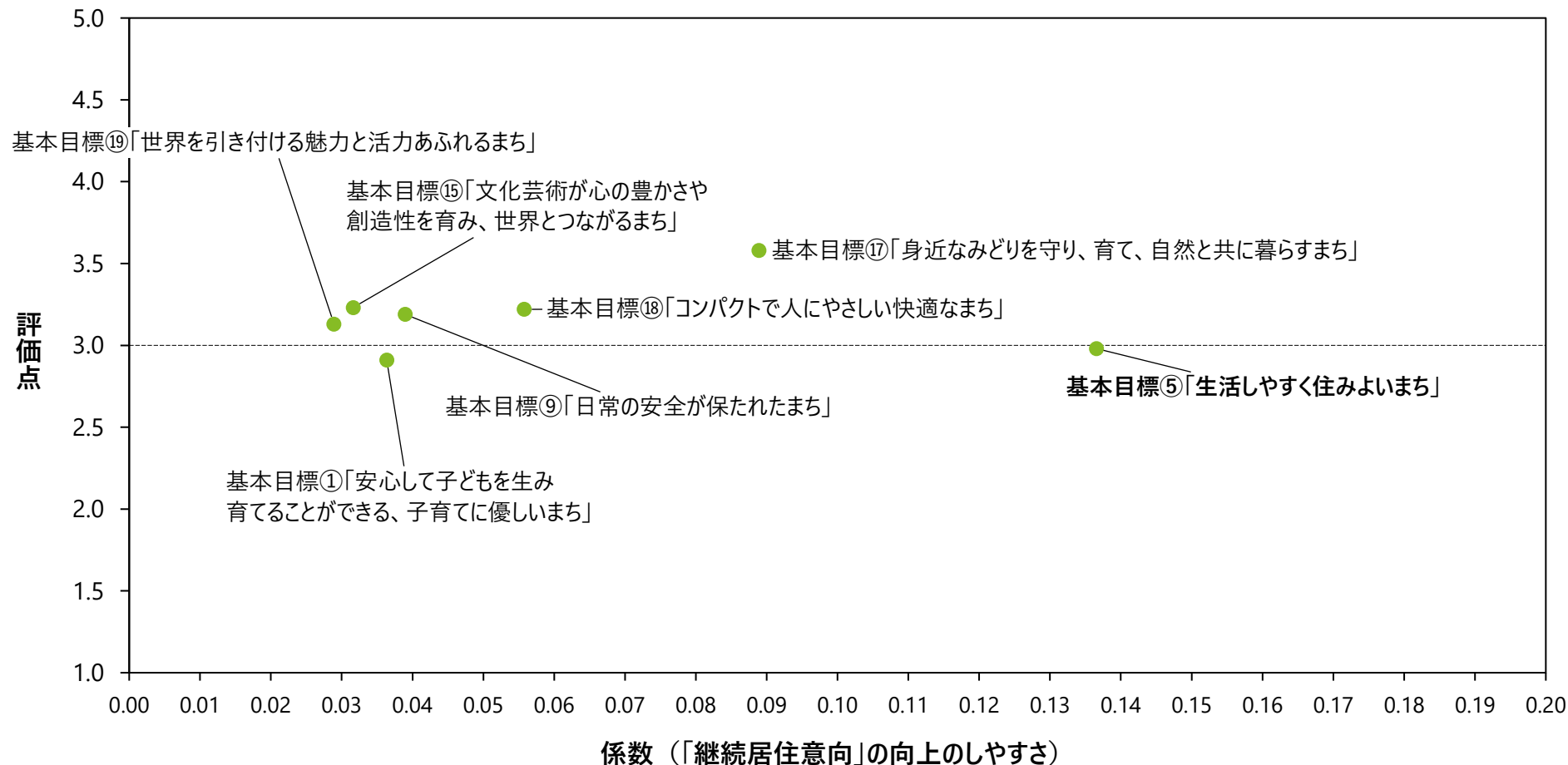
基本目標の優先順位付け（まちの暮らしやすさ）



3.調査結果の分析 | 総合満足度の分析

継続居住意向を引き上げる効果が最も高いのは、まちの暮らしやすさと同様、基本目標⑤である。冬期間の暮らしやすさが確保されていなければ、人口減少のリスクが高まることが示唆される。

基本目標の優先順位付け（継続居住意向）



3.調査結果の分析

- 基本目標の評価および事業進捗の概観
- 総合満足度の分析
- 基本目標の概況
- 基本目標の深掘り分析

3.調査結果の分析 | 基本目標の概況

子ども・若者分野

①安心して子どもを産み育てることができる、子育てに優しいまち

基本目標	目指す姿					事業進捗
2.91	(1) 0.04	(2) 0.04	(3) ▲0.01	(4) 0.11	(5) ▲0.10	74.5%

- (1) 社会全体が、妊娠期を含めて子どもと子育てを支えている
- (2) 子育てする人同士の交流が進んでいる
- (3) 多様なニーズに応じた保育サービスが充実している
- (4) 児童が放課後に過ごす安全で心地よい居場所が整っている
- (5) ワーク・ライフ・バランスが広く定着し、性別を問わず、働きながら安心して子育てができる環境が整っている

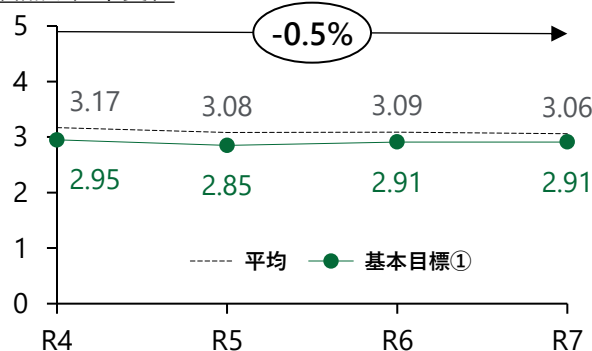
総括

現状、子育て支援の主な担い手である女性からの評価が低い。ワークライフバランス環境の評価がR7で改善したものの依然として低評価であり、仕事と子育てを両立できる環境が不十分である可能性がある。一方で、市民にとって重要度が高いワークライフバランス環境に関連する事業進捗は良好であり、R7で既に改善の兆しが見えている。今後、企業側でワークライフバランスが定着し、仕事と子育ての両立環境の改善が一層進めば、評価は改善に転じる可能性が高いと考えられる。

基本目標

- R5を除き、2.9点台で横ばい
- 年代別では、10代(3.43)・20代(2.99)が高く、30～40代(2.82～2.83)が低い。経年変化を見ると、10代は前年比+0.20の改善(R4比でも+0.24)、60代は前年比▲0.15の悪化
- 区別では、西区(2.99)・厚別区(2.97)・南区(2.95)が高く、手稲区(2.82)・白石区(2.82)が低い。経年変化を見ると、手稲区は前年比▲0.09(R4比でも▲0.23)の低下、西区・南区は改善
- 性別では、差は小さい。経年変化を見ると、女性は悪化(R4比：▲0.13)
- 18歳以下の子どもの有無別では、差は小さい。経年変化を見ると、有・無ともに悪化(R4比：▲0.05～0.08)

評価点の経年変化

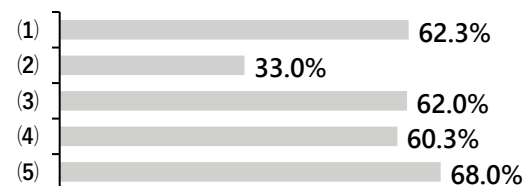


目指す姿と事業進捗

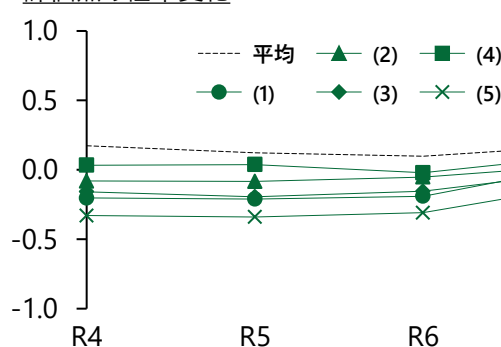
- (1)(3)は低評価(R6は▲0.15以下)だったが、R7に改善(前年比+0.14以上)、R7は、中立的な評価
- (5)は、R7に+0.21と改善したが、依然として低評価(▲0.10)
- (2)は中立的な評価が継続
- (1)は豊平区以外、18歳以下の子ども無層がより改善
- (3)は20代以下、中央区・厚別区・清田区・南区・西区がより改善
- (5)は中央区・厚別区・豊平区以外がより改善

- 重要度は(5)が68.0%と最も高く、(2)が33.0%と他の4項目(60～68%)から約30%低い。属性別でも10%以上の差はなく全年代・全区でおおむね同程度
- 事業進捗平均は74.5%と目安値を上回る水準
- 目指す姿別の事業進捗平均は、目指す姿(2)が31.4%と目安値を下回る水準

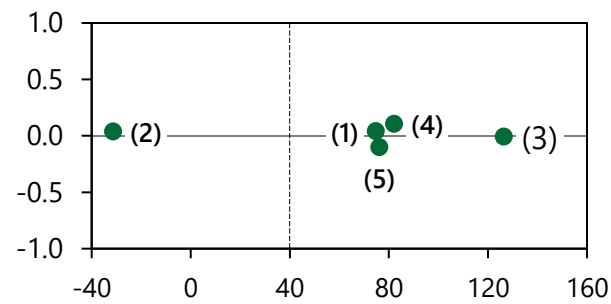
目指す姿の重要度



評価点の経年変化



評価点(縦軸、点)と事業進捗の平均(横軸、%)



3.調査結果の分析 | 基本目標の概況

子ども・若者分野

②誰一人取り残されずに、子どもが伸び伸びと成長し、若者が希望を持って暮らすまち

基本目標	目指す姿			事業進捗
2.75	(1) 0.07 (2)▲0.25	(3)▲0.07 (4)▲0.01	(5)▲0.02	59.6%

- (1)子どもの権利の保障が進み、子ども一人一人が自分らしく伸び伸びと過ごしている
 (2)虐待やいじめなど、権利が侵害される事態が未然に防がれ、事態が起きても迅速かつ適切な対応が行われている
 (3)支援や配慮が必要となる子どもや家庭が、困難な状況に応じた適切なサポートを受け、安心して過ごしている
 (4)若者が、質の高い教育などを通して成長している
 (5)若者が安心して過ごせる居場所（家庭・学校・その他の場所）をよりどころに社会とつながっている

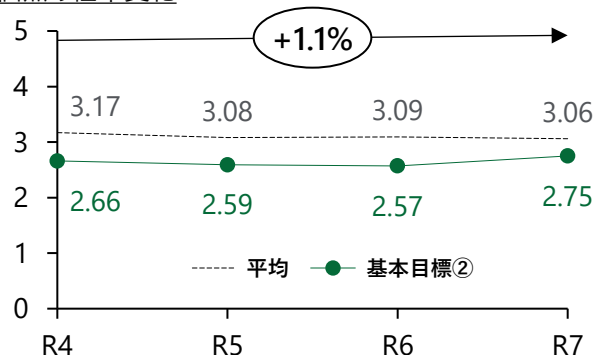
総括

市民評価はR7に大きく改善したものの、依然として他の基本目標の中で最も低い。20代以下で評価の改善は顕著だが、40代以上では限定的にとどまる。評価が高まらない要因の1つとして、市民が重視する「虐待・いじめ」に関連する事業の遅れが考えられるが、この目指す姿に対して、当事者である20代以下の評価は上向く一方で、非当事者である40代以上では非評価が多い。この当事者と非当事者での評価にギャップが生じている要因を解明する必要がある。

基本目標

- R4から2年連続悪化したが、R7で反転（前年比+0.18）。ただし、依然として他の基本目標の中で評価点は最も低い
- 年代別では、10代(3.38)・20代(2.95)が高く、40代(2.61)が低い。経年変化を見ると、20代以下が、前年比+0.4以上で改善
- 区別では、厚別区(2.81)・西区(2.80)が高く、手稲区(2.63)が低い。経年変化を見ると、全体的に改善傾向、中央区は前年比で改善なし
- 性別では、差は小さい。経年変化を見ると、R4比・前年比で男性でより改善
- 18歳以下の子どもの有無別では、差は小さい。経年変化を見ると、R4比・前年比で有・無ともに改善

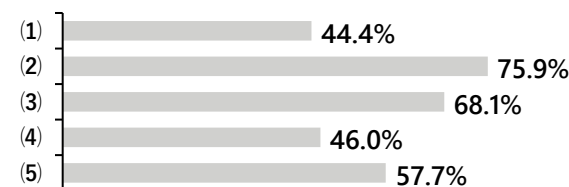
評価点の経年変化



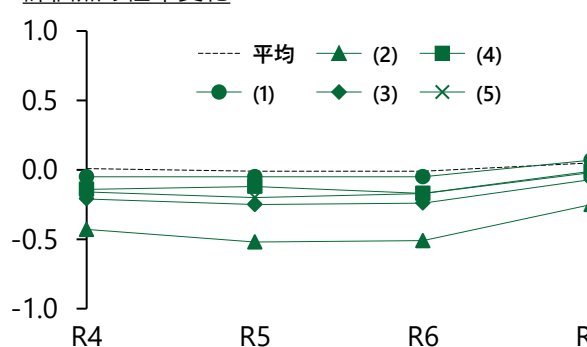
目指す姿と事業進捗

- (1)は中立的な評価が継続
- それ以外は低評価（R6は▲0.17以下）だったが、R7に改善（前年比+0.15以上）
- (1)(3)(4)(5)は20代以下がより改善
- (2)は40代以外、西区・中央区・白石区・厚別区・清田区がより改善
- 重要度は(2)が75.9%と最も高く、(1)が44.4%と最低。他は46~68%の範囲内。属性別では、(1)(4)は10代が全体より10%以上の上振れ
- 事業進捗平均は59.6%と目安値を上回る水準
- 目指す姿別の事業進捗平均は、目指す姿(2)が13.2%と目安値を下回る水準

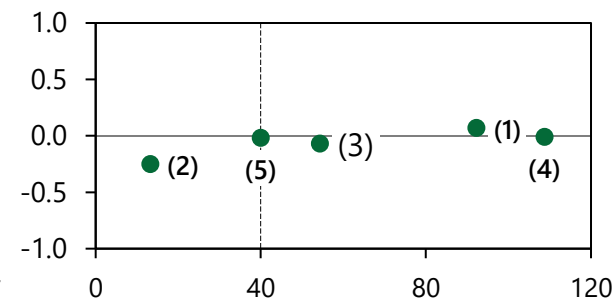
目指す姿の重要度



評価点の経年変化



評価点（縦軸、点）と事業進捗の平均（横軸、%）



● 3.調査結果の分析 | 基本目標の概況

子ども・若者分野

③一人一人の良さや可能性を大切にしている教育を通して、子どもが健やかに育つまち

基本目標	目指す姿	事業進捗
2.97	(1) 0.08 (3) 0.07 (2) 0.04	34.6%

1)多様性が尊重された環境で、子どもが各々の関心に応じた学びと協動的な学びを通して成長している子育てする人同士の交流が進んでいる

(2)子どもは、生涯にわたって心身の健康の保持増進を図る資質や能力を身に付けている

(3)地域社会での体験活動など、多様な学びの機会が提供され、学校、家庭、地域、企業等が連携して子どもの成長を支えている

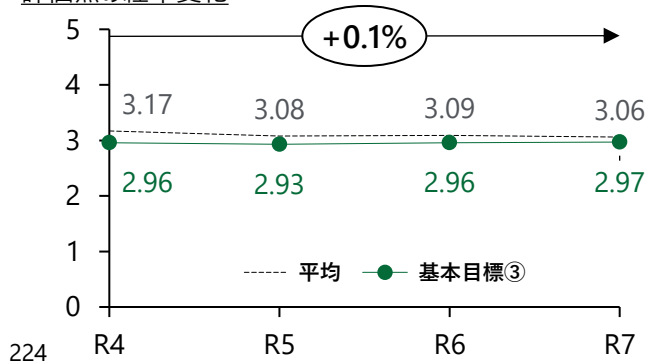
総括

市民評価は、R4以降、横ばい状態が続いていたが、20代以下と親世代の30～40代からの評価は改善しており、事業の方向性がニーズに合致し、効果が出始めているものと考えられる。しかし、市民が重視する目指す姿「地域社会での体験活動など、多様な学びの機会が提供され、学校、家庭、地域、企業等が連携して子どもの成長を支えている地域」に関連する事業が大幅に遅れている。したがって、遅れている関連事業の立て直しと、50代以上を含む地域連携の具体化・可視化を最優先に進め、若年・親世代で見え始めた改善を全世代に波及させることが必要である。

基本目標

- R4から2.9点台で横ばい
- 年代別では、10代(3.60)・20代(3.28)が高く、60代(2.79)が低い。経年変化を見ると、10代は前年比+0.18 (R4比でも+0.28)、20代は前年比+0.22 (R4比でも+0.19)の改善、50代以上は横ばい
- 区別では、西区(3.02)が高く、東区・手稲区(2.90)が低い。経年変化を見ると、西区は前年比+0.10 (R4比でも+0.14)と改善しているが、中央区は前年比▲0.18と悪化 (R4比でも▲0.08)
- 性別では、差は小さい。経年変化を見ると、男女ともに横ばい
- 18歳以下の子どもの有無別では、有がやや高い。経年変化を見ると、有・無ともに横ばい

評価点の経年変化

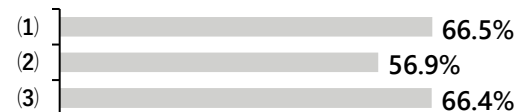


目指す姿と事業進捗

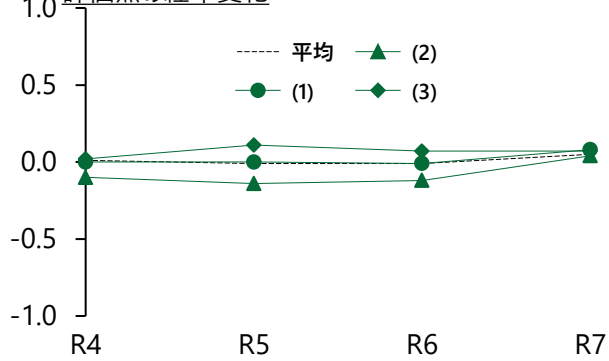
- いずれの目指す姿も中立的な評価が継続
- (1)は20代以下がより改善
- (2)は20代以下、北区・厚別区・南区・西区・手稲区がより改善
- 重要度は(1)(3)が66%台で並んで最高、(2)が56.9%とやや低い。属性別でも10%以上の差はなく全年代・全区でおおむね同程度

- 事業進捗平均は34.6%と目安値と同程度の水準
- 目指す姿別の事業進捗平均は、目指す姿(1)(3)が25.0%、-29.5%と目安値を下回る水準

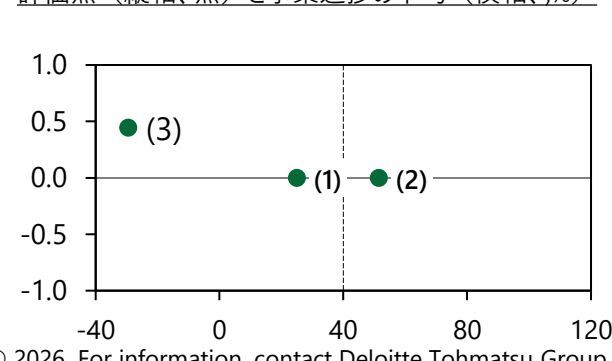
目指す姿の重要度



評価点の経年変化



評価点 (縦軸、点) と事業進捗の平均 (横軸、%)



3.調査結果の分析 | 基本目標の概況

生活・暮らし分野

④誰もが健康的に暮らし、生涯活躍できるまち

基本目標	目指す姿	事業進捗
3.00	(1) 0.25 (3) 0.03 (2) 0.05	60.0%

(1)市民や企業の健康への意識が高まっている

(2)健康づくりや介護予防の取組などに積極的に参加することで、誰もが生涯元気に過ごしている

(3)誰もが生涯にわたって学び、また、学び直しをすることができ、その成果が日々の生活はもとより、まちづくり活動や仕事、ボランティア活動などに生かされている

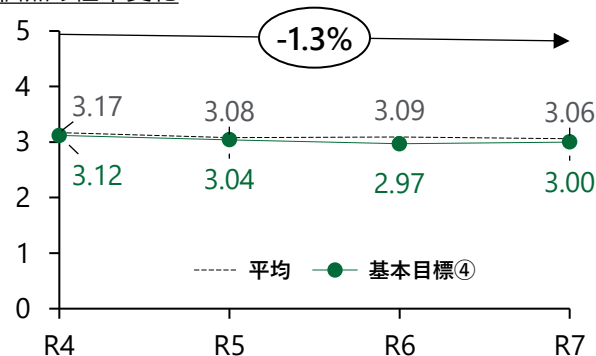
総括

基本目標に対する市民評価は横ばいが続いているが、基本目標に紐づく目指す姿の評価は、すべてプラス評価となった。プラス評価に転換した2つの目指す姿((2)(3))は、市民が重視するものであり、さらに関連する事業も目安値以上に進捗している。来年度以降、現在進捗している事業の効果が基本目標の市民評価に反映される可能性は十分に考えられる。一方、全体では重要度が相対的に低いものの10代で重視度が高い目指す姿(1)は関連事業の進捗が遅れている。この遅行分を解消できれば、基本目標の市民評価を一段と引き上げられることが期待できる。

基本目標

- R5で悪化し、その後は、3.0点付近で横ばい
- 年代別では、10代(3.50)と20代(3.27)が高く、60代が最低(2.85)。10代~30代はR4比から横ばいであるが、40代以上ではR4比から▲0.09~▲0.16と悪化
- 性別および区別では、差は小さく、R4から悪化
- 18歳以下の子ども有無での差異は小さく、経年変化を見ると、有・無ともに、R4から悪化

評価点の経年変化



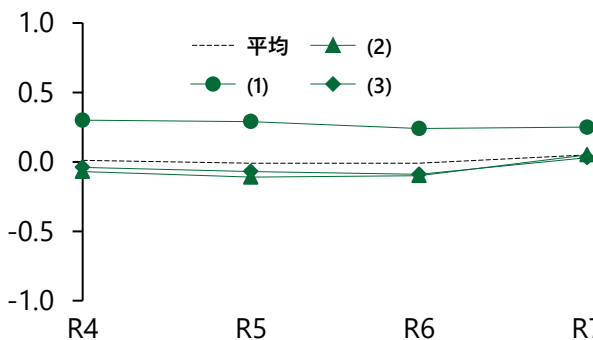
目指す姿と事業進捗

- (1)は高評価を維持(R7は0.25)、10代でR4から+0.09と改善している。ただし、40代以上はR4比で▲0.08~▲0.13と悪化
- (2)(3)は前年までのマイナス評価からプラス評価に反転
- (3)は70代以上・30代以外、白石区・厚別区・西区・手稲区がより改善
- 重要度は(2)(3)が62~64%と同程度。(1)が50.0%と他2項目より約12~14%低い。属性別では、(1)は10代が全体より10%以上の上振れ

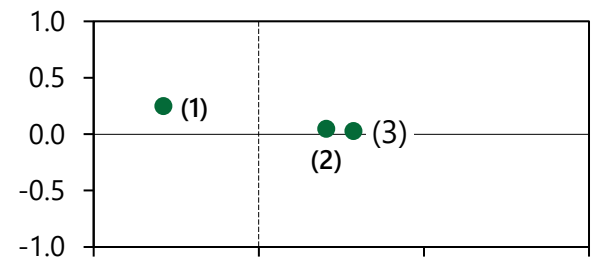
目指す姿の重要度



評価点の経年変化



評価点(縦軸、点)と事業進捗の平均(横軸、%)



3.調査結果の分析 | 基本目標の概況

生活・暮らし分野

⑤生活しやすく住みよいまち

基本目標	目指す姿						事業進捗
2.98	(1) 0.04	(3) 0.02	(5) ▲0.15				50.7%
	(2) 0.13	(4) 0.14	(6) ▲0.32				

- (1) 多様なニーズに応じた住まいが確保されている
- (2) 在宅医療や身近なかかりつけ医が普及しているなど、医療体制が整っている
- (3) 建物や道路などのバリアフリー化やユニバーサルデザインの導入が進んでいる
- (4) 申請や相談等の手続きをオンラインで完結することができるなど、官民によるサービスの利便性が高まっている
- (5) 市民の多様な暮らしを支える交通環境が確保されている
- (6) 冬期の道路環境が確保されている

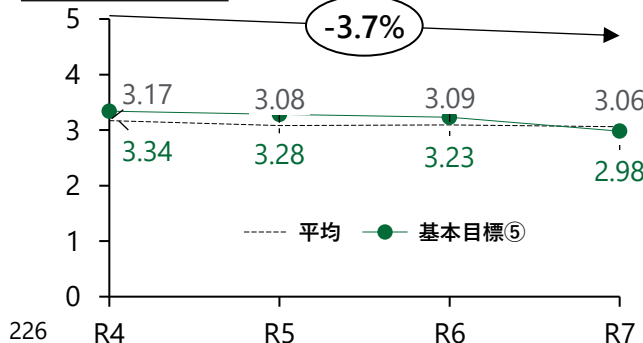
総括

基本目標の評価は、R4より高い水準を維持していたが、R7で評価が2点台（全体平均を下回る水準）に悪化した。全年代・区で評価が悪化しているが、特に50代の悪化幅が大きいほか、これまで高い水準を維持していた中央区の評価が急落した。目指す姿別には、(5)(6)の低評価傾向が続いている。事業進捗は目安値を上回る水準にあるものの、評価が悪化していることから、事業進捗以外の外部環境等が評価に強く影響している可能性があり、属性・全地域にわたる評価悪化の要因特定については、追加調査が必要と考えられる。

基本目標

- R4より3.2～3.3点台で高い評価を得てきたが、R7は2.98（R6比▲0.25）と2点台に悪化
- 年代別では、10代(3.47)・70代以上(3.04)が高く、40代(2.81)・50代(2.83)が低い。経年変化を見ると、前年比で全年代で悪化し、50代は前年比▲0.39（R4比でも▲0.42）、40代は前年比▲0.29（R4比でも▲0.39）と悪化が顕著
- 区別では、厚別区(3.05)が高く、清田区(2.77)が低い。経年変化を見ると、中央区は前年比▲0.44（R4比でも▲0.46）、清田区は前年比▲0.38（R4比でも▲0.52）の悪化が顕著
- 性別では、差は小さい。経年変化を見ると、女性の悪化幅（R4比▲0.48）が男性（R4比▲0.32）より大きい
- 18歳以下の子どもの有無別では、差は小さい。経年変化を見ると、R4比・前年比で有・無ともに悪化

評価点の経年変化

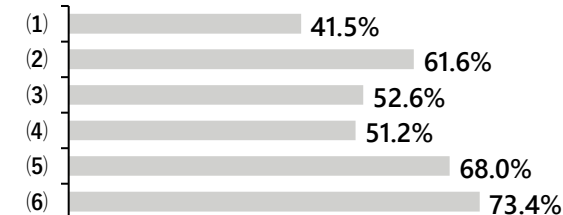


目指す姿と事業進捗

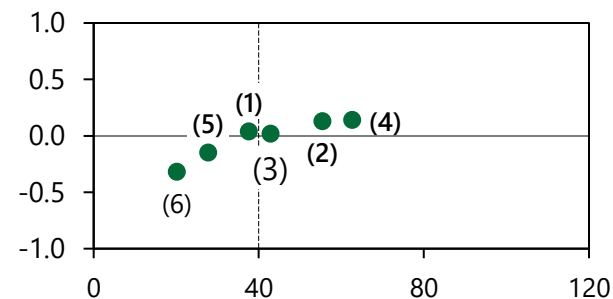
- 一部評価が改善している目指す姿もあるが、大半の目指す姿で評価が悪化
- (1)は中立的な評価だったが悪化傾向
- (2)は高評価（R6は+0.17）あったが、悪化傾向
- (3)は中立的な評価が継続
- (4)は中立的な評価だったがやや改善傾向
- (5)(6)は低評価（R7はそれぞれ、▲0.15、▲0.32）が継続
- (1)(2)(3)は10代が改善
- (6)は清田区・豊平区、女性がより悪化
- 重要度は(6)が73.4%と最も高く、(5)68.0%が続く。(1)が41.5%と唯一40%台で他5項目（51～73%）から約10～30%低い。属性別では、(1)は10代が全

- 体より10%以上高く、(2)は70代以上で全体より10%以上の上振れ
- 事業進捗平均は50.7%と目安値と同程度の水準
- 目指す姿別の事業進捗平均は、目指す姿(5)(6)が27.7%、20.1%と目安値を下回る水準

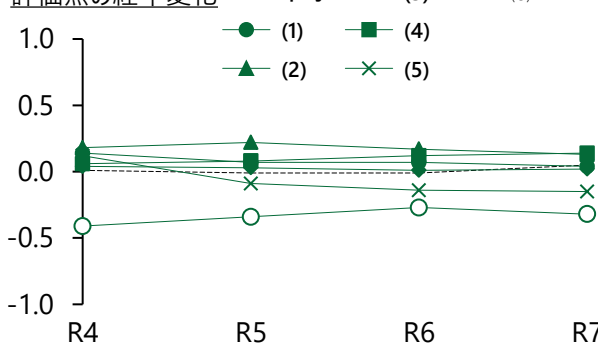
目指す姿の重要度



評価点（縦軸、点）と事業進捗の平均（横軸、%）



評価点の経年変化



3.調査結果の分析 | 基本目標の概況

地域分野

⑥互いに認め合い、支え合うまち

基本目標	目指す姿	事業進捗
2.88	(1) 0.00 (2)▲0.04	77.4%

(1)年齢・性別・障がいの有無・国籍・民族・宗教・文化などの違い (2)世代や国籍を超えた交流や趣味を通じた交流などにより、市民を互いに認め合い、尊重し合う、平和で包摂的な社会となっている のつながりが深まり、相互の信頼や協力が得られる社会が形成されている

総括

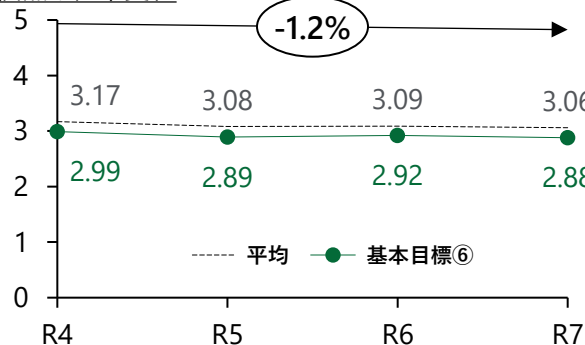
R4からゆるやかに悪化しており、R7は過去4年間で最低の評価点となった。特に40代以上・女性・清田区などで評価悪化が顕著であり、幅広い属性での悪化が続いている。

一方、目指す姿レベルでは前年比で改善傾向にあり、事業進捗も目安値を上回っていることから、基本目標の評価悪化と目指す姿の評価改善が一致していない状態にある。外部環境等が基本目標の市民評価に影響している可能性があり、要因の特定には追加調査が必要と考えられる。

基本目標

- R4から2.9点付近で横ばい
- 年代別では、10代(3.50)・20代(3.08)が高く60代(2.73)が低い。経年変化を見ると、10代は前年比+0.21の改善 (R4比でも+0.20)、40代~70代以上は悪化 (R4比▲0.10~▲0.25)
- 区別では、厚別区(2.92)が高く東区(2.78)・清田区(2.78)が低い。経年変化を見ると、清田区は前年比▲0.16 (R4比でも▲0.20)の悪化
- 性別では、差は小さい。経年変化を見ると、女性は前年比▲0.11と悪化 (R4比でも▲0.19)
- 18歳以下の子どもの有無別では、差は小さい。経年変化を見ると無で前年比▲0.1と悪化 (R4比でも▲0.15)、有は前年比横ばい (R4比では▲0.16)

評価点の経年変化



目指す姿と事業進捗

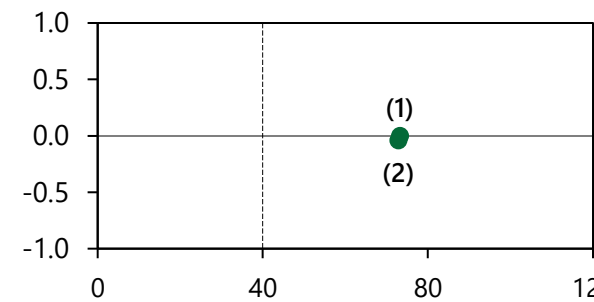
- いずれの目指す姿も中立的な評価が継続
- (2)は10代がより改善
- 重要度は(1)が69.6%と最も高く、(2)が60.6%。2項目間の差は約9%で同程度の範囲内。属性別では、(2)は10代が全体より10%以上の上振れ

- 事業進捗平均は77.4%と目安値を上回る水準
- 目指す姿別の事業進捗平均は、全て目安値を上回る水準

目指す姿の重要度



評価点 (縦軸、点) と事業進捗の平均 (横軸、%)



地域分野

⑦ 誰もがまちづくり活動に参加でき、コミュニティを育むまち

基本目標	目指す姿					事業進捗
2.82	(1)▲0.08 (2) 0.13	(3)▲0.27 (4)▲0.10	(5)▲0.07			68.2%

(1)誰もが自身のライフスタイルに合わせながらまちづくり活動に参加し、支え合いながら地域の課題を解決している
 (2) 区役所やまちづくりセンターが拠点となり、様々な活動が推進されている
 (3)誰もが市政を身近なものと感じ、計画の立案段階などから積極的に参加している
 (4)良好な生活環境の維持につながる地域コミュニティの中核として、地縁による団体(町内会・自治会)が生き生きと活動している
 (5) 地縁による団体(町内会・自治会)、福祉のまち推進センター、NPO、商店街、企業などの多様な主体が参画し、地域に密着したまちづくり活動が進んでいる

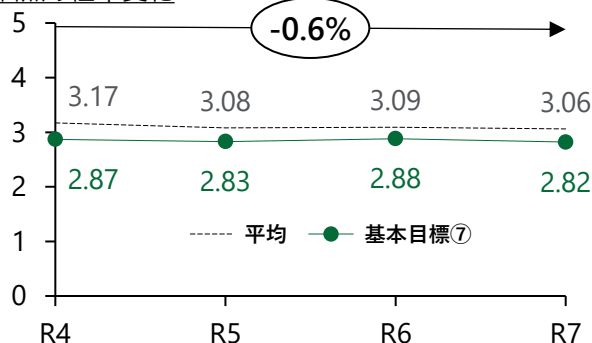
総括

一進一退であった基本目標の市民評価だが、30代以下の評価と、目指す姿(1)のまちづくり活動への参加しやすさに対する評価が改善したことは、今後、地域コミュニティへの参加層の拡大が期待される先行サインと思われる。一方で、(4)に対する評価の悪化は、町内会・自治会で50代が実質的な若手として過大な役割を担う構造があると推察される。今後、(1)の流れで30代の参入が進み担い手が分散すれば、(4)の活力低下要因が緩和され、50代以上の評価が改善され、ひいては、基本目標の市民評価の改善に繋がるものと考えられる。

基本目標

- R4から2.8点台で一進一退
- 年代別では、10代(3.26)・20代(2.97)が高く、60代(2.63)が低い。経年変化を見ると、10代は前年比+0.14の改善(R4比でも+0.16)、50~70代以上は前年比▲0.09~▲0.15の悪化
- 区別では、清田区(2.78)・東区(2.74)が低い。経年変化を見ると、清田区は前年比▲0.19(R4比でも▲0.16)の悪化
- 性別では、差は小さい。経年変化を見ると、女性は前年比▲0.11、男性は前年比▲0.06であり女性の方が経年で悪化
- 18歳以下の子どもの有無別では、有(2.87)がやや高い。経年変化を見ると、有無両方でR4比・前年比ともに▲0.05~0.12と悪化

評価点の経年変化

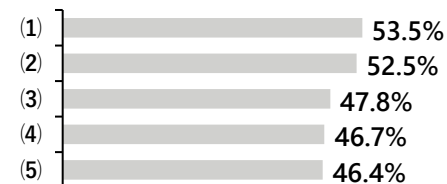


目指す姿と事業進捗

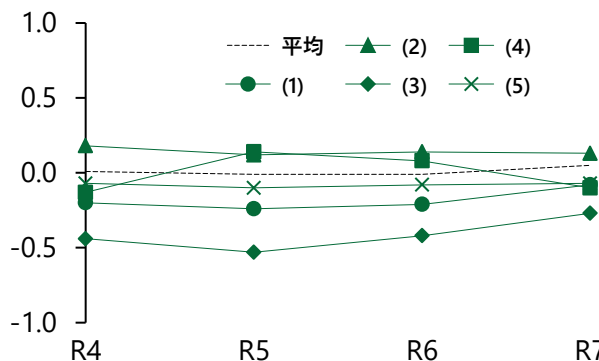
- (1)(2)は低評価(R6は▲0.21以下)だったが、R7に改善(前年比+0.13以上)
- (4)は中立的な評価だったが、R7に悪化(前年比▲0.18)
- それ以外は中立的な評価が継続
- (1)は30代以下がより改善
- (3)は20代以下、豊平区・清田区・南区以外がより改善
- (4)は10代・50代以上、厚別区・清田区・南区・手稲区がより悪化
- 重要度は全ての目指す姿が46~53%の範囲内で、項目間の差が10%未満。属性別でも10%以上の差

- はなく全年代・全区でおおむね同程度
- 事業進捗平均は68.2%と目安値を上回る水準
- 目指す姿別の事業進捗平均は、全て目安値と同程度又は上回る水準

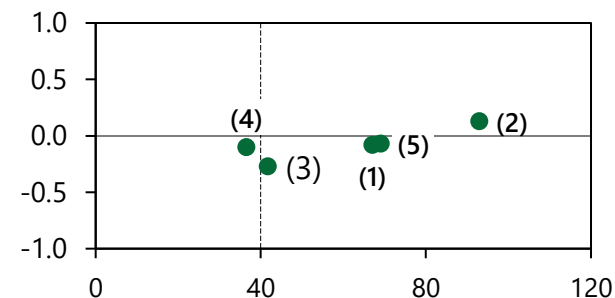
目指す姿の重要度



評価点の経年変化



評価点(縦軸、点)と事業進捗の平均(横軸、%)



安全・安心分野

⑧ 誰もが災害に備え、迅速に回復し、復興できるまち

基本目標	目指す姿						事業進捗	
2.84	(1) 0.07	(3) 0.07	(5) ▲0.10	(7) ▲0.09	(2) 0.09	(4) ▲0.15	(6) ▲0.09	41.7%

- (1) 地震災害や風水害・雪害といった自然災害や感染症の感染拡大などが起きて、生活や経済への影響が最小化されている
 (2) 感染症の感染拡大を早期に抑えることができています
 (3) 災害時や感染症の感染拡大時においても、誰もが安心して医療や介護を受けることができています
 (4) 一人で避難することが難しい方への細かな配慮がなされているなど、被災者の安全が確保されている
 (5) 復旧復興に向けて誰一人取り残さずに市民に寄り添った支援が行われている
 (6) 防災への意識が向上し、誰もが冬季の災害も想定した備えを行っている
 (7) 有事の際には一人一人が主体的に行動し、協力し合うなど、地域の防災力が高まっている

総括

R4から改善と悪化を繰り返しており、R7は前年比で悪化した。年代別では50代以上・女性での評価悪化が顕著であり、全区で前年比の評価が低下している。事業進捗は目安値と同程度の水準にある。

目指す姿レベルでは全て前年比で改善傾向が見られるものの、評価が最も低い目指す姿(4)(5)は依然マイナス評価が続いている。高齢者や女性も安心・安全な避難環境が整うよう目指す姿(4)(5)に関連する事業を推進することで、評価の向上が見込まれると考えられる。

基本目標

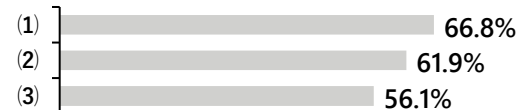
目指す姿と事業進捗

- R4から2.8～2.9点台で一進一退し、R7は2.84点（前年比▲0.07）
- 年代別では、10代(3.44)・20代(3.12)が高く50～60代(2.75,2.63)が低い
- 区別では、差は小さい。経年変化を見ると、前年比▲0.06～▲0.17と全区で低下（R4比でも▲0.02～▲0.17）
- 性別では、差は小さい。経年変化を見ると、男女ともに前年比▲0.05,▲0.11と女性でより悪化（R4比でも▲0.07,▲0.14）
- 18歳以下の子どもの有無別では、差は小さい。経年変化を見ると、有・無ともに前年比▲0.07,▲0.10と悪化（R4比では▲0.02,▲0.16）

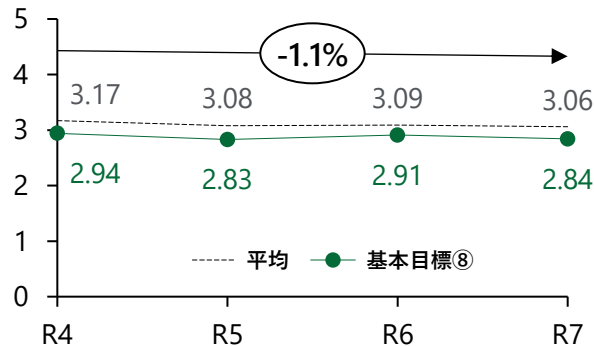
- 大半の目指す姿は、中立的な評価であるが、(4)(5)は低評価（それぞれ、▲0.15、▲0.10）
- いずれの目指す姿も、R7にプラス評価に反転
- いずれの目指す姿も、20代以下がより改善
- (1)は厚別区、清田区がより改善
- (2)は豊平区がより改善
- 重要度は(1)が74.0%と最も高く、(7)が53.0%と最低。(3)が66.8%、(4)が61.9%、(2)(5)(6)が55～60%の範囲内。属性別でも10%以上の差はなく全年代・全区でおおむね同程度

- 事業進捗平均は41.7%と目安値（40%）を上回る水準
- 目指す姿別の事業進捗平均は、目指す姿(5)が-228.5%と目安値を下回る水準

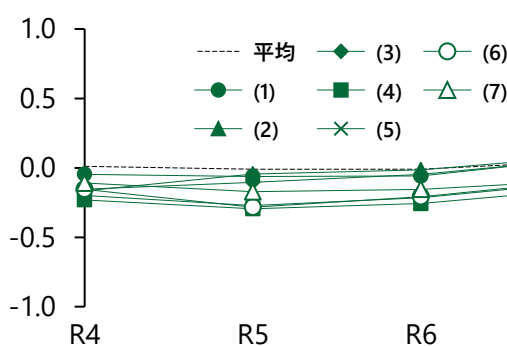
目指す姿の重要度



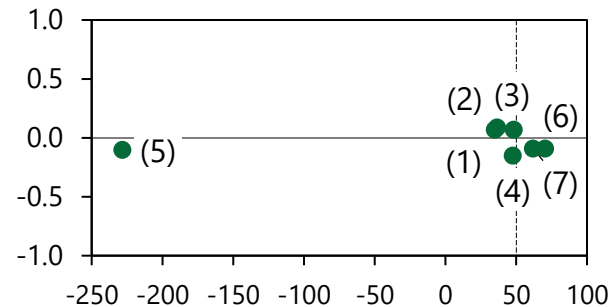
評価点の経年変化



評価点の経年変化



評価点（縦軸、点）と事業進捗の平均（横軸、%）



3.調査結果の分析 | 基本目標の概況

安全・安心分野

⑨ 日常の安全が保たれたまち

基本目標	目指す姿				事業進捗
3.20	(1)▲0.07 (2) 0.24	(3)▲0.18 (4) 0.24			178.7%

(1)犯罪や消費生活に関するトラブルの発生が未然に防止されている (2)強じんな消防・救急体制が構築され、市民の安全・安心が守られている (3)交通ルールや自転車マナーが遵守され、事故の少ない安全な交通環境が実現している (4)食の安全が守られ、誰もが健やかで豊かな食生活を送っている

総括

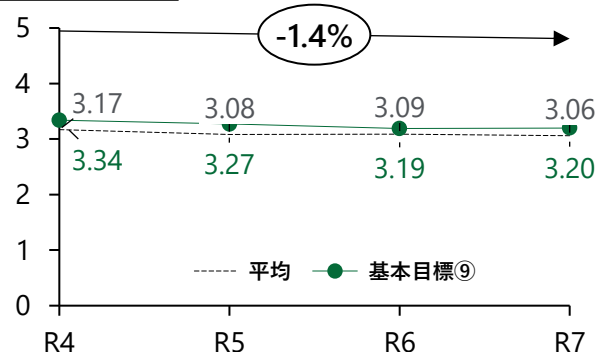
全体平均を上回る水準を維持しており、R7で前年比横ばいに転じた。年代別では10～20代の改善が見られる一方、中年層で前年比の低下が続いており、引き続き注視が必要と考えられる。

重要度が最も高い目指す姿(3)は前年比で改善傾向にあるものの依然マイナス評価にとどまっており、継続した取り組みが必要と考えられる。また重要度が高い目指す姿(2)は事業進捗が18.6%と目安値を下回っており、事業進捗の改善が評価向上につながる可能性がある。

基本目標

- R4から2年連続で悪化したのち、R7は横ばい
- 年代別では、10代(3.76)・20代(3.36)が高く40代(3.07)が低い。経年変化を見ると、10代・20代は前年比+0.31,+0.21と改善しているが、30代～60代以降は前年比▲0.06～▲0.08の悪化
- 区別では、厚別区(3.28)が高く東区(3.07)がやや低い。経年変化を見ると、中央区は前年比▲0.20の悪化
- 性別では、差は小さい。経年変化を見ると、男性は横ばい、女性は前年比▲0.06と悪化 (R4比でも▲0.26)
- 18歳以下の子どもの有無別では、差は小さい。経年変化は前年比で有は横ばい、無は▲0.05と悪化 (R4比▲0.17,▲0.18)

評価点の経年変化



目指す姿と事業進捗

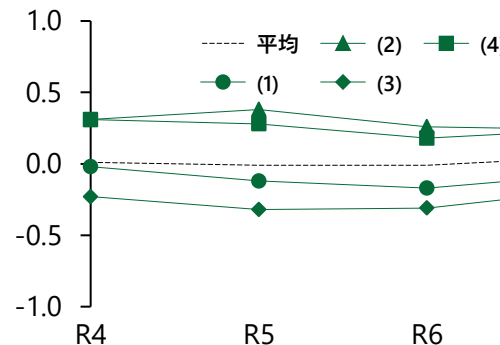
- (3)は唯一の低評価(▲0.18)だが、前年比で改善
- それ以外はプラス評価で改善傾向。特に(2)(4)は高評価 (R7は+0.2以上)
- (1)は20代以下、白石区・清田区がより改善
- (3)は40代は変わらず、20代以下がより改善
- (4)は20代以下がより改善
- 重要度は(1)(2)(3)がいずれも71～74%と高く同程度。(4)が60.8%とやや低い。属性別でも10%以上の差はなく全年代・区でおおむね同程度

- 事業進捗平均は178.7%と目安値を上回る水準
- 目指す姿別の事業進捗平均は、目指す姿(2)が18.6%と目安値を下回る水準

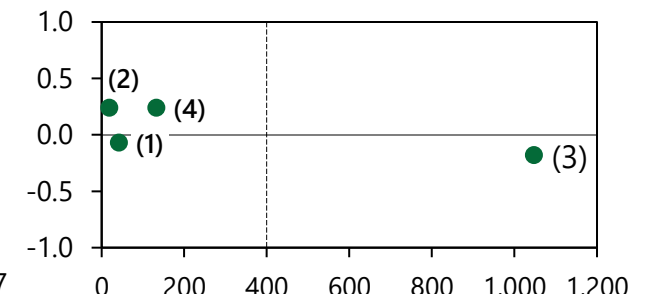
目指す姿の重要度



評価点の経年変化



評価点 (縦軸、点) と事業進捗の平均 (横軸、%)



経済分野

⑩強みを生かした産業が北海道の経済をけん引しているまち

基本目標	目指す姿	事業進捗
3.17	(1) 0.25 (3) 0.02 (5)▲0.03 (2) 0.35 (4) 0.03	93.3%

- (1)札幌市の食分野の産業が、新たな消費を生み出している
- (2)札幌市の観光分野の産業が、新たな消費を生み出している
- (3)札幌市のIT分野の産業が、新たな強みとして成長している
- (4)札幌市のクリエイティブ分野の産業が、新たな強みとして成長している
- (5)札幌市の健康福祉・医療分野の産業が、新たな強みとして成長している

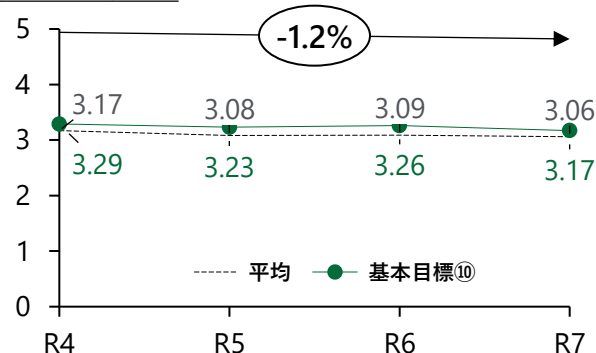
総括

R4から全体平均を上回る水準を維持してきたが、R7で前年比▲0.09点と悪化した。特に経済活動の中心となる40～50代の評価悪化や、これまで評価が高かった女性の評価悪化が目立ち、事業進捗が良好であるにもかかわらず、評価が落ち込んだ。一方、目指す姿への評価は、概ね改善傾向にあり、基本目標の評価と目指す姿の評価に乖離が見られる。基本目標の評価悪化要因を含め、詳細な要因分析には追加調査が必要と考えられる。

基本目標

- R7は前年比▲0.09で横ばいではあるものの、R4から3.2点台の評価を維持していたものが3.1点台に下降
- 年代別では、10代(3.82)・20代(3.51)が高く、60代(2.96)が低い。経年変化を見ると、40～60代でR4比▲0.1以上悪化
- 区別では、豊平区(3.20)が高く、清田区(3.05)が低い。経年変化を見ると、前年比で白石区を除き全ての区で悪化。R4比では全区で悪化
- 性別では、差は小さいが、経年変化を見ると、これまで男性より高かった女性がR4比・前年比で悪化
- 18歳以下の子どもの有無別では、差は小さい。経年変化を見ると、R4比・前年比で有・無ともに悪化

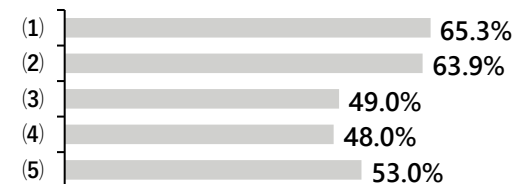
評価点の経年変化



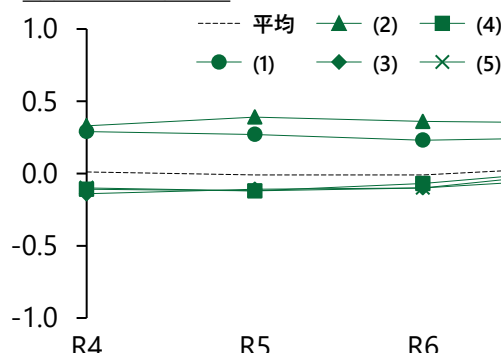
目指す姿と事業進捗

- (1)(2)の高評価を維持 (R7は+0.25以上)
- (3)(4)(5)は中立的な評価だが改善傾向
- (3)は南区・西区がより改善
- (4)は西区がより改善
- 重要度は(1)(2)がともに63～65%と並んで高く、(3)(4)が48～49%と最低水準。属性別でも10%以上の差はなく全年代・区でおおむね同程度

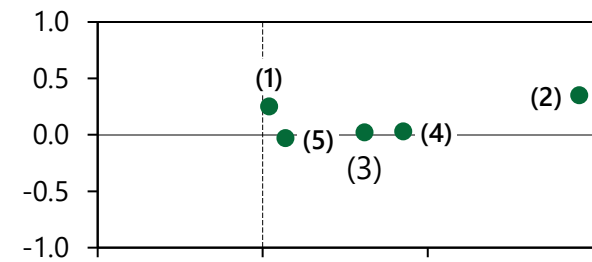
目指す姿の重要度



評価点の経年変化



評価点 (縦軸、点) と事業進捗の平均 (横軸、%)



3.調査結果の分析 | 基本目標の概況

経済分野

⑪多様な主体と高い生産性、チャレンジできる文化が経済成長を支えるまち

基本目標	目指す姿						事業進捗	
2.91	(1) 0.00	(3) 0.02	(5) ▲0.02	(7) ▲0.07	(2) 0.00	(4) ▲0.09	(6) ▲0.09	278.5%

- (1) 中小企業・小規模企業や商店街などが、地域のにぎわいや経済を支えている
- (2) データや先端技術の活用などにより生産性が向上している
- (3) 行政、大学、民間組織などの関係機関が一体となり、起業家を育成・支援する体制や環境が充実している
- (4) 誰もがチャレンジできる文化が根付き、多くのスタートアップが生まれている
- (5) 様々な企業の立地や創業が進んでいる
- (6) 海外の企業との交流が活発に行われている
- (7) ビジネスチャンスや新たな価値が創出されている

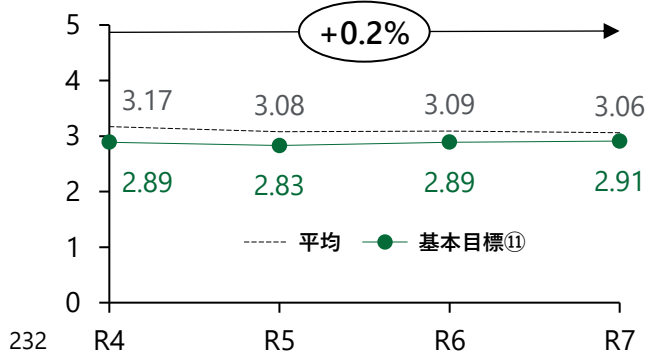
総括

R5で悪化後横ばいで推移しているが、R7は過去最高の評価となった。若年層（10代・20代）で改善傾向にあるが経済の主要な担い手である30代～50代で評価が相対的に低い。R7年札幌市企業経営動向調査によるとR7年上期の市内景況判断B.S.I.がR7年前期から下降しており、景気悪化により経済成長を感じられず評価が低くとどまっていると考えられる。

基本目標

- R5で悪化し、その後は、2.9点付近で横ばい
- 年代別では、10代(3.45)・20代(3.13)が高く30～60代(2.77～2.78)が低い。経年変化を見ると、10代は前年比+0.19（R4比でも+0.27）、20代は前年比+0.15の改善
- 区別では、豊平区(2.94)・厚別区(2.91)が高く清田区(2.81)東区(2.85)・南区(2.85)が低い。経年変化を見ると、中央区・北区・東区はそれぞれ前年比▲0.09,▲0.06,▲0.10と悪化したが、それ以外の区では前年比から横ばい
- 性別では、差は小さい。経年変化を見ると、男性は横ばい、女性は前年比▲0.06（R4比▲0.07）と悪化
- 18歳以下の子どもの有無別では、差は小さい。経年変化を見ると、有・無ともに横ばい

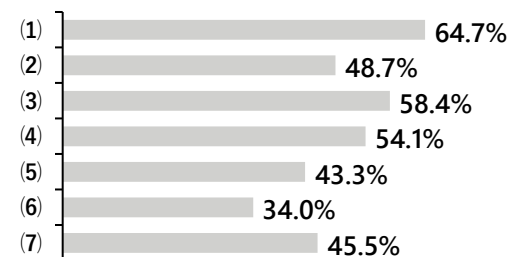
評価点の経年変化



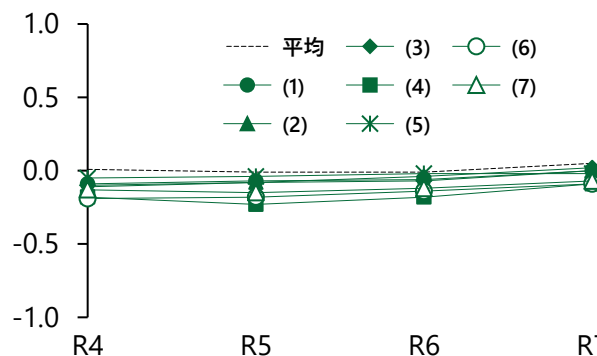
目指す姿と事業進捗

- いずれの目指す姿も中立的な評価が継続
- いずれの目指す姿も、10代がより改善
- いずれの目指す姿も10代・20代はプラス評価であるが30代以上でマイナス評価
- 重要度は(1)が64.7%と最も高く、(6)が34.0%と他の6項目（43～64%）から約10～30%低い。属性別では、(6)は10代が全体より10%以上の上振れ
- 事業進捗平均は278.5%と目安値を上回る水準
- 目指す姿別の事業進捗平均は、目指す姿(2)(3)(4)が14.6%,-35.7%,-35.7%と目安値を下回る水準

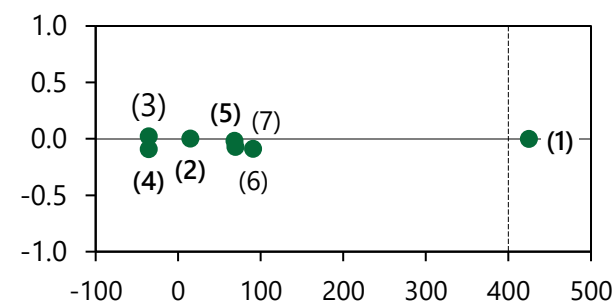
目指す姿の重要度



評価点の経年変化



評価点（縦軸、点）と事業進捗の平均（横軸、%）



経済分野

⑫雇用が安定的に確保され、多様な働き方ができるまち

基本目標	目指す姿	事業進捗
2.87	(1)▲0.07 (3)▲0.06 (5) 0.05 (2)▲0.21 (4) 0.04 (6)▲0.07	85.7%

- (1) 安心して働くことができる魅力的な雇用が安定的に確保されている (3) 自身の能力を発揮し、やりがいや充実感を得ながら働いている (5) 幅広い年代の人材が活躍できている
 (2) 企業が必要とする人材を確保できている (4) 高い専門性を生かすことができる職場がある (6) 働きやすい職場環境が整備され、多様で柔軟な働き方が実現している

総括

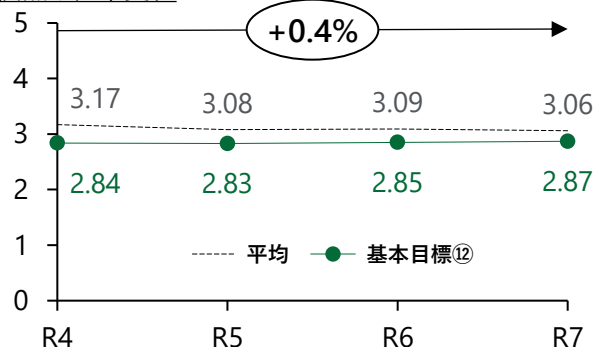
基本目標や目指す姿に対する市民評価は、事業の進捗にかかわらず横ばいが続いている。掲げている目指す姿はどれも市内の労働指標に関するものであり、市民評価は市内の経済環境に左右されているものと考えられる。実際、札幌圏の有効求人倍率は令和4年の1.08から年々低下し、令和8年2月には0.79まで下がっており、求職者数が求人を上回る局面が続く中で、雇用の安定的確保を実感しにくい状況にある。一方で、求人の構成を見ると、医療・福祉が約4割、卸売・小売およびサービス関連でさらに約5割を占めるなど、需要が特定業種に偏在しており、職種の選択肢が狭い（北海道労働局「雇用情報さっぽろ」）。これらは目指す姿(1)(2)(4)(5)に直結する要因であり、現状の市内経済環境を踏まえると、市民評価の改善は見込みにくい。

基本目標

目指す姿と事業進捗

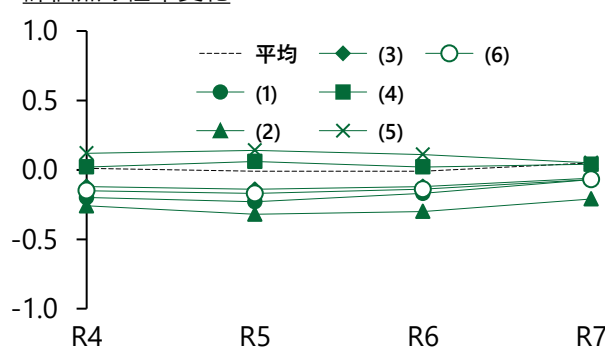
- R4から2.8点台で横ばい
- 年代別では、10代(3.46)・20代(3.24)が高く40代・60代(2.71)が低い。経年変化を見ると、10代は前年比+0.24と改善、20代（前年比+0.14、R4比でも+0.18）・30代（前年比+0.10、R4比でも+0.16）も改善
- 区別では、豊平区(2.93)が高く南区(2.76)が低い。経年変化を見ると、南区は前年比▲0.15の悪化、豊平区は前年比+0.11の改善
- 性別では、男性がやや高い。経年変化を見ると、男性は前年比+0.06（R4比+0.08）と改善、一方女性は前年比▲0.05（R4比▲0.07）と悪化
- 18歳以下の子どもの有無別では、差は小さい。経年変化を見ると、有・無ともに横ばい

評価点の経年変化



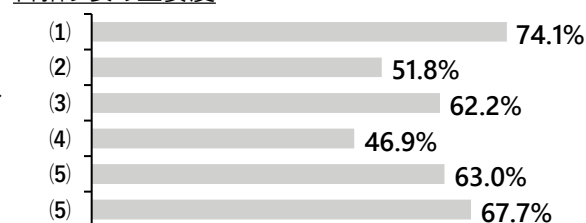
- 大半の目指す姿は、中立的な評価であるが、(2)は低評価（▲0.21）
- (1)(2)(3)(6)は改善傾向で、(5)は悪化傾向
- いずれの目指す姿も、20代以下がより改善
- (1)は白石区、男性がより改善
- (2)は男性がより改善
- (6)は東区・白石区、男性がより改善
- (2)は10代がより改善
- 重要度は(1)が74.1%と最も高く、(4)が46.9%と最低。他は51%～67%の範囲内。属性別でも10%以上の差はなく全年代・全区でおおむね同程度

評価点の経年変化

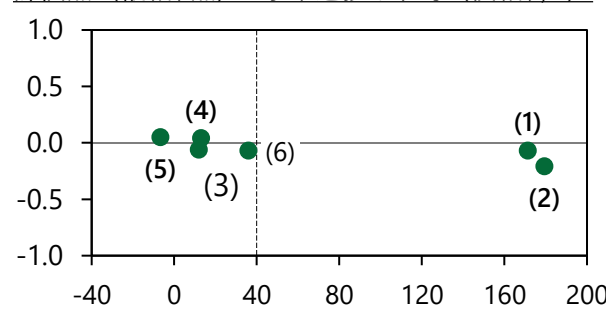


- 事業進捗平均は85.7%と目安値（40%）を上回る水準
- 目指す姿別の事業進捗平均は、目指す姿(3)(4)(5)が11.8%,12.9%,-6.8%と目安値（40%）を下回る水準

目指す姿の重要度



評価点（縦軸、点）と事業進捗の平均（横軸、%）



3.調査結果の分析 | 基本目標の概況

スポーツ・文化分野

⑬世界屈指のウインタースポーツシティ

基本目標	目指す姿	事業進捗
3.49	(1) 0.39 (3) 0.27 (2) 0.46	91.8%

(1) 身近なところでウインタースポーツを楽しむことのできる環境が充実している

(2) 札幌市で育ったウインタースポーツのアスリートが国内外で活躍している

(3) 大規模なウインタースポーツ大会が誘致・開催されている

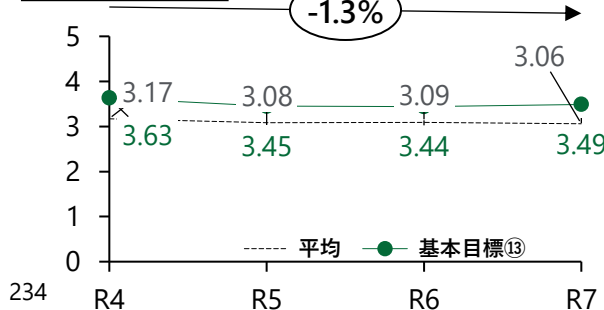
総括

評価点は基本目標の中で2番目に高く、R4,5,6と続いた悪化傾向に対して、R7では前年比+0.05と改善。(2)(3)では前年比で改善し、R4の評価と同程度以上の水準まで回復。一方、重要度が最も高いとされている目指す姿(1)はR4水準には満たず、未だ戻っていない。目指す姿(1)の事業は、子どもへのスポーツ文化醸成や施設の老朽化対策などが主となっているが、市民意見では施設の利用料金の高さが挙げられており、物価高などの社会的な影響も相まって評価が悪化していると推察され、費用面でもウインタースポーツを「身近」に感じられるような取組を行うことで市民評価の改善が見込まれる。

基本目標

- R4からR5にかけて▲0.18悪化し、その後R5以降は3.4点台で横ばい
- 年代別では、10代・20代が高く50～60代が低い。経年変化を見ると、10代は前年比+0.27と改善、20代は前年比では+0.10と改善もR4比では▲0.13の悪化。50代・60代はどちらも前年比では横ばい、R4比では悪化
- 区別では、全区で3.4～3.5台と差は小さい。経年変化を見ると、R4比で豊平区・清田区は横ばい、他全区で▲0.11～▲0.21の悪化
- 性別では、差は小さい。経年変化を見ると、男女ともにR4比では悪化（R4比▲0.16,▲0.12）だが、女性は前年比+0.08と改善
- 18歳以下の子どもの有無別では、差は小さい。経年変化を見ると、有・無ともにR4比で悪化傾向だが、有は前年比で+0.11と改善

評価点の経年変化

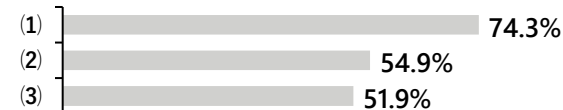


目指す姿と事業進捗

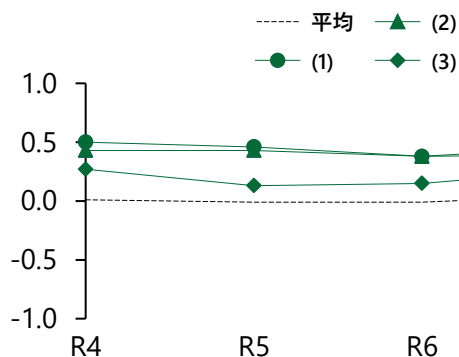
- いずれの目指す姿も高評価（R7は+0.27以上）で、(2)(3)は評価が上昇傾向
- いずれの目指す姿も、20代、白石区・清田区・手稲区、女性がより改善
- 重要度は(1)が74.3%と最も高く、(3)が51.9%と最低。(2)が54.9%で中間。属性別では、(3)は10代が全体より10%以上の上振れ

- 事業進捗平均は91.8%と目安値を上回る水準
- 目指す姿別の事業進捗平均は、全て目安値（40%）と同程度又は上回る水準

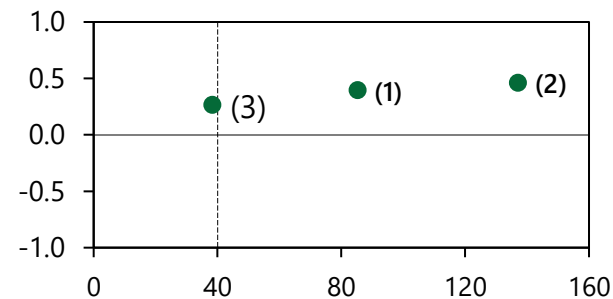
目指す姿の重要度



評価点の経年変化



評価点（縦軸、点）と事業進捗の平均（横軸、%）



3.調査結果の分析 | 基本目標の概況

スポーツ・文化分野

⑭四季を通じて誰もがスポーツを楽しむことができるまち

基本目標	目指す姿	事業進捗
3.31	(1) 0.14 (3) 0.22 (2) 0.09	91.1%

(1) 誰もがスポーツを楽しみながら、心身共に健康で充実した生活を送っている

(2) スポーツで得られた知見が市民の健康づくりなどに生かされている

(3) スポーツをきっかけに国内外から人が訪れている

総括

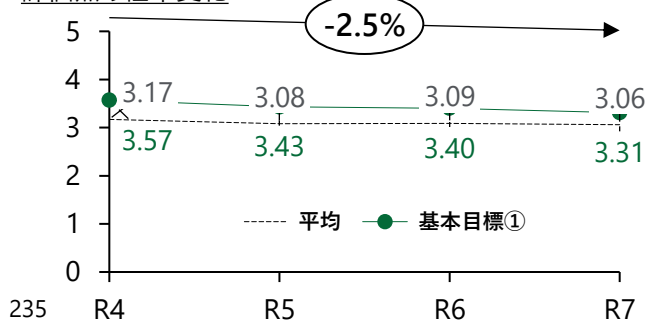
当該基本目標への市民評価は、R4で平均より0.4点以上高かったが、毎年悪化し続け、R7はR4比で▲0.26悪化した。特に、中高年層を中心に悪化しているが、評価の改善可能性・方向性の分析が必要である。

なお、基本目標への評価（悪化傾向）と、目指す姿への評価（改善傾向）が一致しておらず、全国的なスポーツ実施に関する傾向などの外部環境要因もはたらいっていないか確認が必要である。特に目指す姿(1)「誰もがスポーツを楽しみながら、心身共に健康で充実した生活を送っている。」は、70%以上の回答者が重要視しており、評価悪化要因および今後の方向性の検討が必要だと判断した。

基本目標

- R5で悪化し、その後は横ばいとなり、R7で再度悪化（前年比▲0.09）
- 年代別では、10代(3.87)・20代(3.55)が高く、60代(3.17)が低い。経年変化を見ると、50代は前年比▲0.22（R4比でも▲0.35）、60代は前年比▲0.14（R4比でも▲0.24）と悪化
- 区別では、豊平区（3.39）が高いものの、他区同士の差は小さい。経年変化を見ると、南区は前年比▲0.24（R4比でも▲0.40）と悪化が顕著
- 性別では、差は小さい。経年変化を見ると、R4比・前年比で男女ともに悪化。特に、男性はR4比で▲0.3と悪化が顕著
- 18歳以下の子どもの有無別では、有がやや高い。経年変化を見ると、R4比・前年比で有・無ともに悪化

評価点の経年変化

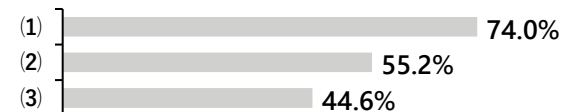


目指す姿と事業進捗

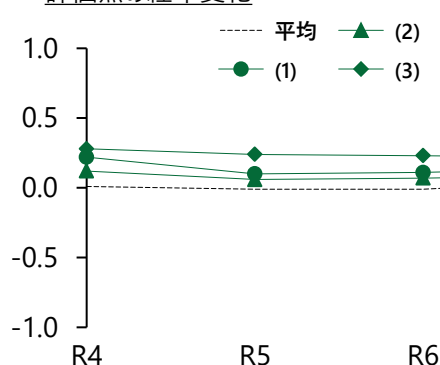
- (3)は高評価を維持（R7は+0.22）、それ以外の目指す姿は中立的な評価が継続
- いずれの目指す姿も、10代がより改善
- 重要度は(1)が74.0%と最も高く、(3)が44.6%と最低。差は約30%。属性別では、(3)は10代が全体より10%以上の上振れ

- 事業進捗平均は91.1%と目安値（40%）を上回る水準
- 目指す姿別の事業進捗平均は、全て目安値（40%）を上回る水準

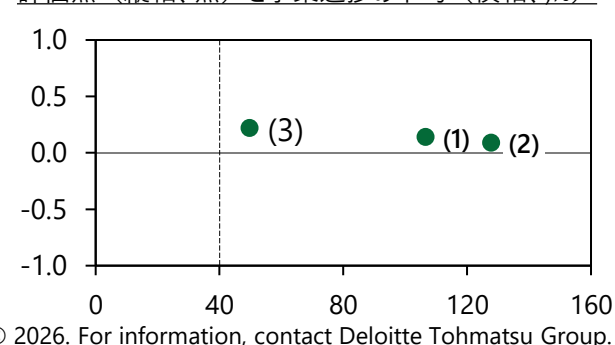
目指す姿の重要度



評価点の経年変化



評価点（縦軸、点）と事業進捗の平均（横軸、%）



スポーツ・文化分野

⑮文化芸術が心の豊かさや創造性を育み、世界とつながるまち

基本目標	目指す姿	事業進捗
3.24	(1) 0.20 (3) 0.05 (2) 0.09 (4) 0.19	62.3%

(1) 誰もが文化芸術に親しみ、創作や表現ができる環境が整い、多様な価値観が受け入れられている
 (2) 札幌市ならではの文化が生まれ、世界に発信され、多くの人が集まっている
 (3) 札幌市ならではの文化と様々な分野との連携によって新たな価値が創出されている
 (4) 文化・文化財が適切に保存され様々な形で生かされているとともに、札幌市への愛着が深まり、札幌市の自然・歴史・文化が継承されている

総括

事業進捗が目安値より高いにも関わらず、評価点はR4年から横ばいで推移。特に、50代・60代の悪化がみられる。悪化要因に重要度が2番目に高いとされる目指す姿(4)の評価悪化が考えられる。目指す姿(4)の事業進捗平均は127.3%と目安値を上回っているものの、文化芸術保全のための可能性検討、施設整備の検討など、実際に市民が体感するまでに時間を要する事業が複数含まれており、一般的に歴史や文化財の継承への関心が高いシニア層で評価が特に悪化したものと思われる。マンガ等のポップカルチャーを活用した新たな街づくり事業など若者向けの事業進捗平均が高く、若者の評価改善につながっていると考えられるが、評価改善のためには特に歴史や文化財の継承への関心が高いシニア層に対する事業推進が必要となる。

基本目標

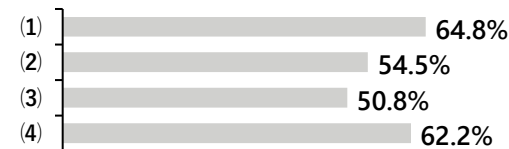
目指す姿と事業進捗

- R4から3.3点付近で横ばい
- 年代別では、10代(3.71)・20代(3.41)が高く60代(3.08)が低い。経年変化を見ると、10代は前年比+0.13の改善(R4比でも+0.11)、50代は前年比▲0.15(R4比でも▲0.17)、60代は前年比▲0.16(R4比でも▲0.13)の悪化
- 区別では、厚別区(3.30)が高く南区(3.17)が低い。経年変化を見ると、南区は前年比▲0.18(R4比でも▲0.24)、西区は前年比▲0.10(R4比でも▲0.18)の悪化
- 性別では、女性がやや高い。経年変化を見ると、男女ともにR4比・前年比で悪化
- 18歳以下の子どもの有無別では、有がやや高い。経年変化を見ると、有・無ともにR4比・前年比で悪化

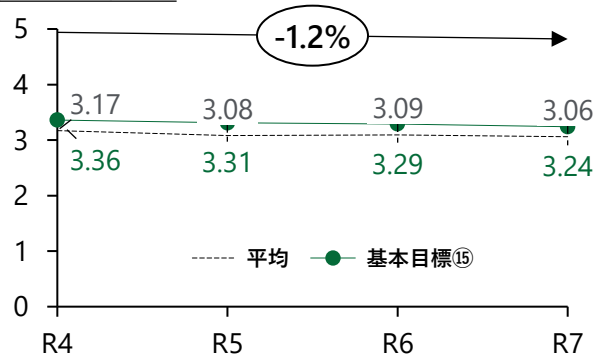
- (1)(4)は高評価 (R7は+0.19以上) だが、(4)は悪化傾向
- (2)(3)は中立的な評価が継続
- (3)は20代以下がより改善、(4)は10代を除くすべての属性が悪化
- 重要度は(1)が64.8%と最も高く、(2)も62.2%と同水準で並ぶ。(3)が50.8%と最低で差は15%未満。属性別でも10%以上の差はなく全年代・全区でおおむね同程度

- 事業進捗平均は62.3%と目安値(40%)を上回る水準
- 目指す姿別の事業進捗平均は、目指す姿(1)が23.4%と目安値(40%)を下回る水準

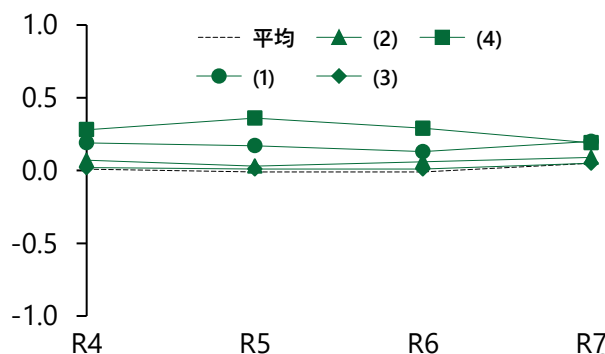
目指す姿の重要度



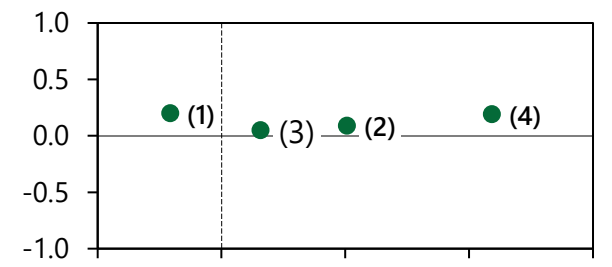
評価点の経年変化



評価点の経年変化



評価点(縦軸、点)と事業進捗の平均(横軸、%)



3.調査結果の分析 | 基本目標の概況

環境分野

⑯世界に冠たる環境都市

基本目標	目指す姿	事業進捗
2.84	(1)▲0.04 (3)▲0.26 (5) 0.17 (2)▲0.12 (4)▲0.14 (6)▲0.05	18.7%

- (1) 節電やエネルギー効率の良い機器導入などにより省エネルギー化が進んでいる
 (2) 太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入拡大や、水素エネルギーの活用が進んでいる
 (3) 走行中に二酸化炭素を排出しない電気自動車などのゼロエミッション自動車の普及が進んでいる
 (4) 都心では、エネルギーネットワークが整備されるなど、高い環境性能と強じん性が兼ね備えられている
 (5) 誰もがごみの減量・再使用・リサイクルなどに積極的に取り組んでいる
 (6) 環境保全や気候変動対策などを意識し、行動変容（ライフスタイルの変革）や技術革新が進んでいる

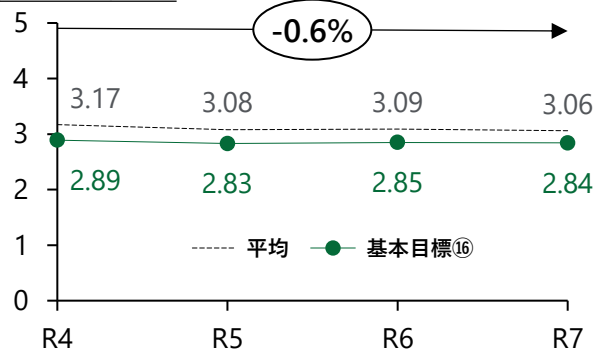
総括

R4からほぼ横ばいで推移しているが、全体平均を継続して下回っており、改善が必要な状況と考えられる。事業進捗は18.7%と目安値を下回る水準にある。GX関連の目指す姿については事業進捗が概ね順調で年代・区別でも横ばいまたは改善傾向にある一方、重要度が40%代と低くなっており他目指す姿と比較して低くなっている状況。重要度の低さの要因について追加調査が必要と判断した。また、省エネに関する目指す姿(1)の重要度が63.4%と高いにもかかわらず評価がマイナス評価となっている点についても、追加調査を要すると考えられる。

基本目標

- R4から2.8点台で横ばい
- 年代別では、10代(3.18)・20代(2.97)が高く、40～60代(2.71～2.79)が低い。経年変化を見ると、10代は前年比+0.22 (R4比でも+0.19)、20代は前年比+0.12 (R4比でも+0.06) の改善、40代以上はR4から悪化
- 区別では、全区で2.7～2.9台と差は小さい。経年変化を見ると、R4から中央区・南区を除き全区で悪化
- 性別では、差は小さい。経年変化を見ると、女性は前年比▲0.07と悪化 (R4比でも▲0.14)。男性はR4比・前年比ともに横ばい
- 18歳以下の子どもの有無別では、差は小さい。経年変化を見ると、有では前年比▲0.06と悪化 (R4比でも▲0.06)、無では前年比横ばい (R4比では▲0.08)

評価点の経年変化

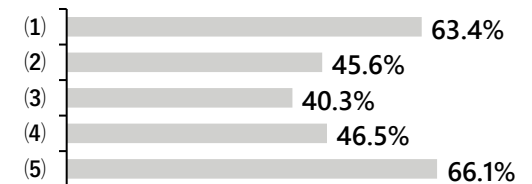


目指す姿と事業進捗

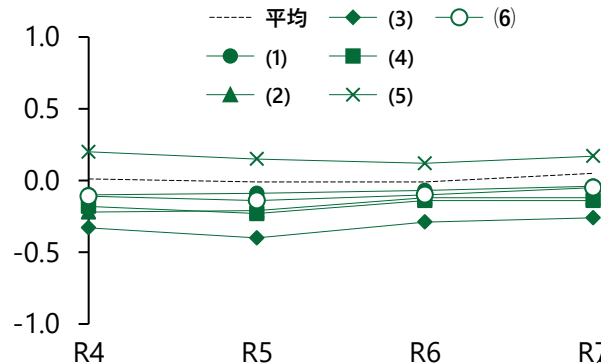
- (5)は高評価を維持 (前年比+0.17)
- (3)は低評価が継続 (前年比▲0.26)
- それ以外の目指す姿も低評価だがやや改善傾向
- いずれの目指す姿も、20代以下がより改善
- 重要度は(5)が66.1%と最も高く、(1)63.4%が続く。(3)が40.3%と最低で、(5)(1)との差は約23～26%。属性別では、(2)(3)(4)は10代が全体より10%以上の上振れ

- 事業進捗平均は18.7%と目安値 (40%) を下回る水準
- 目指す姿別の事業進捗平均は、目指す姿(4)(5)(6)が28.2%,-24.1%,-119.6%と目安値 (40%) を下回る水準

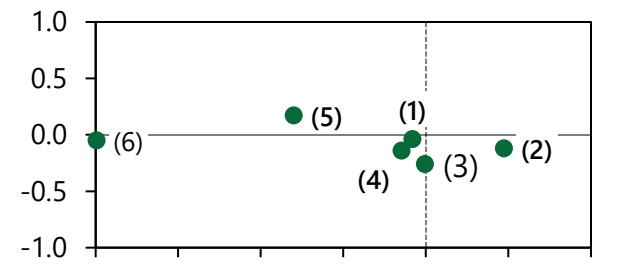
目指す姿の重要度



評価点の経年変化



評価点 (縦軸、点) と事業進捗の平均 (横軸、%)



環境分野

⑰身近なみどりを守り、育て、自然とともに暮らすまち

基本目標	目指す姿					事業進捗
3.59	(1) 0.49	(2) 0.41	(3) 0.48	(4) 0.23	(5) 0.16	70.8%

- (1) 森林、農地、公園や河川などが保全・創出・整備されている
- (2) 豊かなみどりがあるまちの中で、健康的で幸福感のある生活を送っている
- (3) 森林や公園などの身近なみどりが、自然との触れ合いや人々との交流の場に活用されている
- (4) みどりが持つ防災、経済活動、水源かん養、二酸化炭素の吸収など多面的な機能を発揮している
- (5) 生物多様性が広く理解され、地域本来の生態系が維持された中で自然と人が共生している

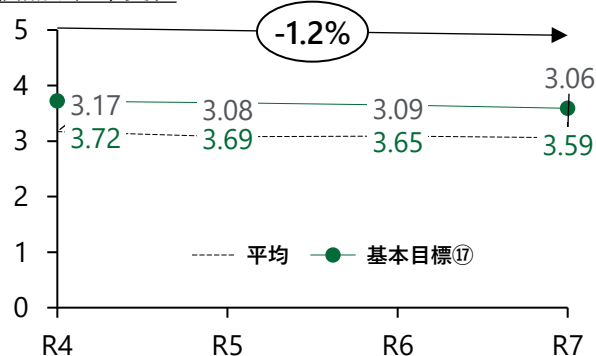
総括

基本目標への評価は、R4から年々悪化傾向にあるものの、毎年3.5～3.7点台で評価されており、他の基本目標よりも特に評価が高い。市民の総合満足度への影響も大きく、市民生活において重要な要素であると言える。目指す姿別に見ても、(1)(3)がR4比では悪化しているが、毎年高評価を維持。また、(2)(4)(5)はR4比・前年比ともに改善している。事業進捗も目安値を上回り順調と言える一方、公園の新設・拡張整備に関する事業は、事業完了後にその成果が市民に評価され、タイムラグがあることから、今後の基本目標への評価の推移には留意が必要である。

基本目標

- R4から一貫して悪化 (R4比: ▲0.13)。ただし、依然として他の基本目標の中で評価点が最も高い
- 年代別では、10代(3.94)が高く60代(3.45)が低い。経年変化を見ると、10代は前年比+0.14の改善 (R4比でも+0.12)、50代は前年比▲0.22 (R4比でも▲0.17)、60代は前年比▲0.17 (R4比でも▲0.16) の悪化
- 区別では、中央区(3.63)が高く東区(3.49)が低い。経年変化を見ると、西区は前年比▲0.14 (R4比でも▲0.20) の悪化
- 性別では、差は小さい。経年変化を見ると、男女ともにR4比・前年比で悪化
- 18歳以下の子どもの有無別では、有がやや高い。経年変化を見ると、有・無ともに悪化

評価点の経年変化

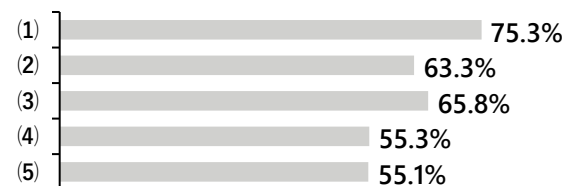


目指す姿と事業進捗

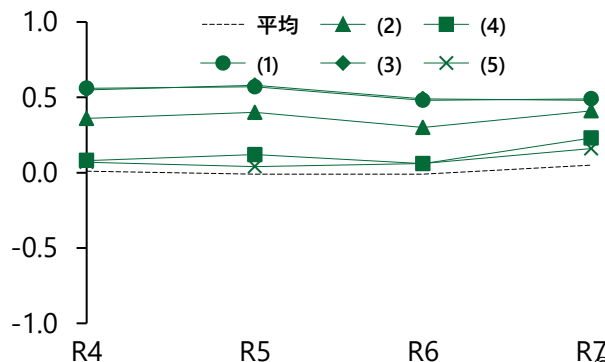
- (1)(2)(3)は高評価を維持 (R7は+0.43以上)
- (4)(5)は高評価 (R7は+0.2以上) で、評価は上昇傾向
- (2)は10代と40代、豊平区がより改善、(4)は東区、白石区以外の区で評価がより改善、(5)は20代がより改善
- 重要度は(1)が75.3%と最も高く、(5)が55.1%と最低。差は約20%属性別でも10%以上の差はなく全年代・全区でおおむね同程度

- 事業進捗平均は70.8%と目安値 (40%) を上回る水準
- 目指す姿別の事業進捗平均は、全て目安値 (40%) を上回る水準

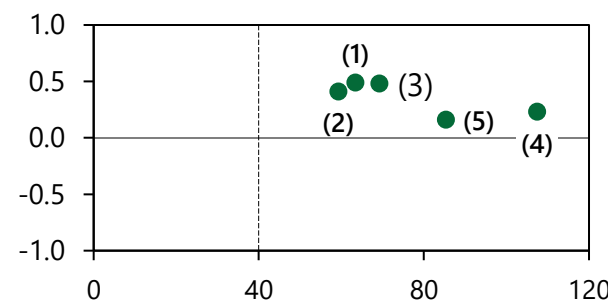
目指す姿の重要度



評価点の経年変化



評価点 (縦軸、点) と事業進捗の平均 (横軸、%)



都市空間分野

⑱コンパクトで人にやさしい快適なまち

基本目標	目指す姿					事業進捗
3.23	(1) 0.19	(3) 0.21	(5) 0.01	(2) 0.37	(4) 0.26	62.3%

- (1) 都心、地域交流拠点、住宅市街地などの種別に応じた土地利用が行われている
- (2) 四季の変化が感じられる良好な景観が形成されている
- (3) 地域交流拠点では、商業・サービス機能などの多様な都市機能の集積が進み、快適な交流・滞留空間、歩きたくなる空間などが形成されている
- (4) 地下鉄沿線などの複合型高度利用市街地では、集合型の居住機能と多様な生活利便機能が集積し、郊外住宅地ではゆとりある良好な住環境が維持されている
- (5) 誰もが快適に利用でき、環境にもやさしい移動環境・手段が整備され、公共交通を軸としたシームレスな交通ネットワークが確立されている

総括

基本目標の評価は、R4比では悪化、前年比では改善している。事業進捗に伴い評価の改善もみられ、概ね順調と判断される。評価が下がっている清田区や南区は、移動環境・手段が脆弱・人口減少の進行が影響していると考えられる。これら地区の住民ニーズを踏まえた事業の企画が求められる。また、市民にとって重要度が高い目指す姿(2)は年々評価が低下しており、再開発に伴う景観維持への懸念を反映している可能性がある。この点を踏まえた事業推進に留意する必要がある。

基本目標

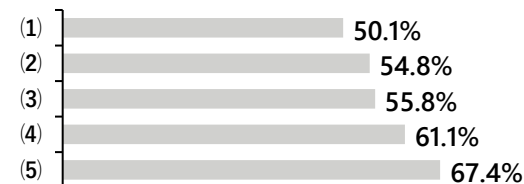
目指す姿と事業進捗

- R4から悪化が続いていたが、R7は前年比+0.06で、R5の評価水準に改善
- 年代別では、10代(3.68)・20代(3.48)が高く、40～60代(3.03～3.18)が低い。経年変化を見ると、R4比は10代以外悪化しているが、前年比では10～40代まで幅広く改善
- 区別では、厚別区(3.41)・中央区(3.32)・西区(3.31)が高く、清田区(2.90)・南区(3.03)が低い。経年変化を見ると、R4比では全区で悪化。特に、清田区はR4比▲0.41、南区はR4比▲0.29と悪化が顕著
- 性別では、女性の方が高い。経年変化を見ると、R5に急落して以降、男性は0.05付近で改善と悪化を繰り返し、女性は横ばいが続く
- 18歳以下の子どもの有無別では、有の方がやや高い。経年変化を見ると、無の方が悪化しており、R4比で▲0.29（前年比±0.00）

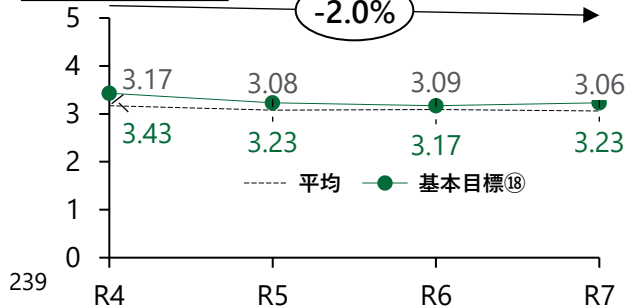
- (1)は高評価を維持（R7+0.19以上）
- (2)はR7は高評価(+0.37)だが、年々悪化
- (3)(4)は中立的な評価だったが、R7に改善（前年比+0.18以上）
- (5)は低評価(R5/R6は▲0.17)だったが、R7にプラスに反転（前年比+0.18）
- (1)は10代と40代がより改善、(2)は50～60代がより悪化、(3)は30代以下、南区以外がより改善、(4)(5)は20代以下、南区、西区以外がより改善
- 重要度は(5)が67.4%と最も高く、(3)が38.0%と最低。差は約30%。属性別でも10%以上の差はなく全年代・全区でおおむね同程度

- 事業進捗平均は62.3%と目安値を上回る水準
- 目指す姿別の事業進捗平均は、目指す姿(2)が50.0%と目安値（40%）を下回る水準

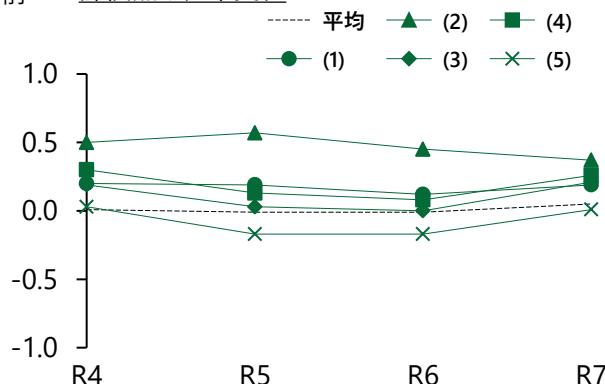
目指す姿の重要度



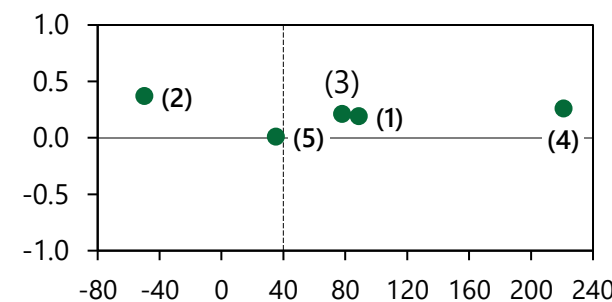
評価点の経年変化



評価点の経年変化



評価点（縦軸、点）と事業進捗の平均（横軸、%）



3.調査結果の分析 | 基本目標の概況

都市空間分野

⑬世界を引き付ける魅力と活力あふれるまち

基本目標	目指す姿				事業進捗
3.14	(1) 0.28 (2) 0.09	(3) 0.11 (4)▲0.06	(5) 0.02		52.5%

(1) 都心では高次の都市機能の集積が進むとともに、快適な交流・滞留空間やみどりの創出などにより、魅力的でうおいのある歩きたくなる都心が形成されている

(2) 都心ではデータや先端技術の活用などにより、イノベーションが創出、新しい価値が生まれ続けている

(3) 高次機能交流拠点では、国際的・広域的な産業や観光等の都市機能の高度化と集積が進んでいる

(4) 工業地・流通業務地では、老朽化した施設の更新や機能の高度化等が進んでいる

(5) 広域交通ネットワークの充実・強化により、道内の都市をはじめ、国内外との地域とのつながりが深まり、北海道全体の社会経済活動の活発化が進んでいる

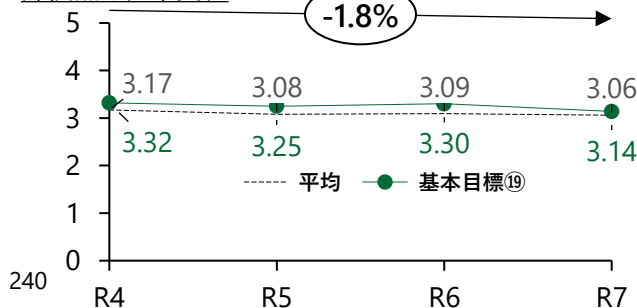
総括

基本目標の評価は、R4から3.2～3.3点台で一進一退していたが、R7に3.1点台に悪化。10代を除く全ての年代・区で評価が悪化しており、特に50代・南区での悪化が顕著。一方、目指す姿ごとの評価は、全て前年比で改善傾向にあり、基本目標の評価と乖離がある。外部環境が基本目標の市民評価に強く影響している可能性もあり、要因の特定には追加調査が必要と考えられる。なお、事業進捗は目安値（40%）を上回る水準だった。

基本目標

- R4から3.2～3.3点台で一進一退し、R7は悪化（前年比▲0.16）
- 年代別では、10代(3.76)・20代(3.34)が高く、60代(2.96)が低い。経年変化を見ると、10代は前年比+0.18の改善（R4比でも+0.23）、50代は前年比▲0.31（R4比でも▲0.25）、60代は前年比▲0.14（R4比でも▲0.23）の悪化が顕著
- 区別では、清田区(3.03)が低い。経年変化を見ると、北区は前年比▲0.25（R4比でも▲0.27）、中央区は前年比▲0.21（R4比でも▲0.17）、南区は前年比▲0.32（R4比でも▲0.16）の悪化が顕著
- 性別では、女性がやや高い。経年変化を見ると、R4比・前年比で男女ともに悪化
- 18歳以下の子どもの有無別では、有がやや高い。経年変化を見ると、R4比・前年比で有・無ともに悪化

評価点の経年変化

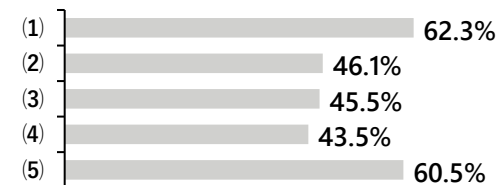


目指す姿と事業進捗

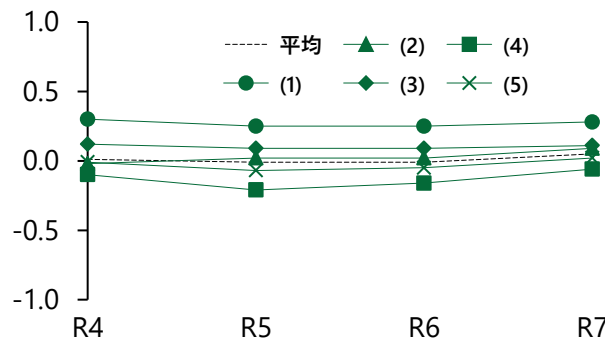
- (1)は高評価を維持(R7は0.32)
- それ以外は中立的な評価だが、(4)(5)はやや改善傾向
- (2)は20代以下、中央区・北区がより改善
- (3)は10代がより改善
- (4)は20代、中央区・北区・厚別区がより改善
- (5)は20代以下がより改善
- 重要度は(1)が62.3%、(5)が60.5%と高く、(2)(3)(4)が44～46%と低い。(1)(5)と残り3項目の間に約15～18%の差がある二極構造

- 事業進捗平均は52.5%と目安値（40%）を上回る水準
- 目指す姿別の事業進捗平均は、目指す姿(2)が14.6%と目安値（40%）を下回る水準

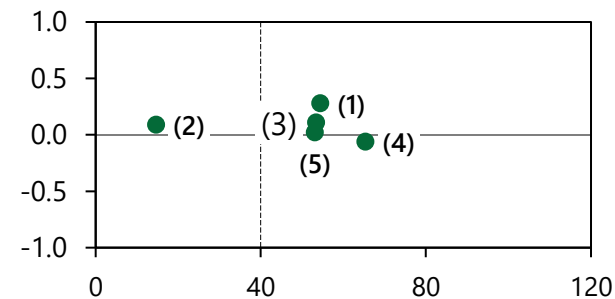
目指す姿の重要度



評価点の経年変化



評価点（縦軸、点）と事業進捗の平均（横軸、%）



都市空間分野

⑳都市基盤を適切に維持・更新し、最大限利活用するまち

基本目標	目指す姿	事業進捗
3.09	(1) 0.17 (3) 0.08 (2) 0.03 (4) 0.05	61.8%

(1)道路、交通施設、上下水道などのインフラや住宅、区役所、学校、スポーツ施設などの建築物は、計画的な維持・保全・更新・再配置・複合化が行われている
 (2) ICTや先端技術の活用等により、インフラや建築物は効率的な維持・保全や施設規模の適正化などが行われている
 (3) 公共施設では、整備や運営・維持管理などに関する積極的な官民連携が進んでおり、市民ニーズ等を捉えた多様で柔軟なサービスの提供が行われている
 (4)道路や広場などの空間が有効に利活用され、まちにゆとりやにぎわいが生まれている

総括

基本目標の評価は、R5で悪化して以降、そこからは3.0点台で横ばい。50代の評価が前年比で悪化した。全体としてはR4の評価水準には達しないものの改善傾向。また、区別では清田区が低いが、極端に低い区はない。目指す姿別には、重要度が最も高い(1)を中心に、(2)(3)でも評価が改善。さらには、全ての目指す姿で事業進捗が目安値（40%）を上回り進んでおり、今後の事業進捗にあわせて、評価の改善が見込まれる。

基本目標

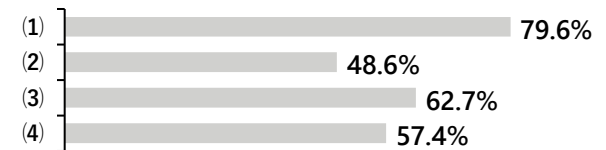
目指す姿と事業進捗

- R5で悪化し、その後は、3.0点台で横ばい
- 年代別では、10代(3.47)・20代(3.32)が高く、60代(2.92)が低い。経年変化を見ると、20代は前年比+0.13の改善、40代・70代以上は前年比+0.10以上の改善（ただし、R4比はそれぞれ、▲0.24、▲0.22の悪化）、50代は前年比▲0.10（R4比でも▲0.19）の悪化
- 区別では、厚別区(3.16)が高く、清田区(2.97)が低い。経年変化を見ると、南区は前年比▲0.13（R4比でも▲0.15）の悪化
- 性別では、差は小さい。経年変化を見ると、男性は前年比で改善、女性は前年比で悪化（R4比では▲0.24）
- 18歳以下の子どもの有無別では、差は小さい。経年変化を見ると、前年比で有が悪化、無は横ばい

- (1)は中立的な評価だったが、R7に改善（前年比+0.15）
- それ以外は中立的な評価が継続
- (1)は20代、中央区・白石区・厚別区・西区がより改善
- (2)は20代以下がより改善
- (3)は20代がより改善
- 重要度は(1)が79.6%と最も高く、(2)が48.6%と最低。差は約30%。属性別では、(1)は10代が全体より10%以上の上振れ

- 事業進捗平均は61.8%と目安値（40%）を上回る水準
- 目指す姿別の事業進捗平均は、全て目安値（40%）を上回る水準

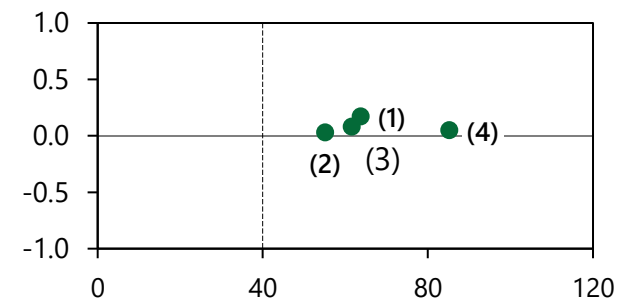
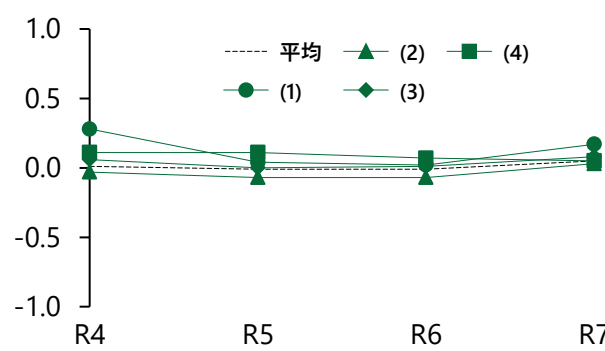
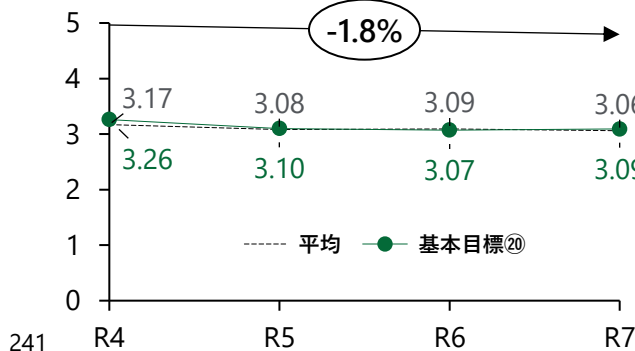
目指す姿の重要度



評価点の経年変化

評価点の経年変化

評価点（縦軸、点）と事業進捗の平均（横軸、%）



● 3.調査結果の分析 | 基本目標の概況

20の基本目標のうち、前回R6年度からの平均変動ポイント（0.03）の三倍以上の変動幅となった基本目標を対象に深堀対象として選定した。基本目標②は対象となる「子ども・若者」からの評価が高く、一步上で基本目標⑤⑩⑭⑱は主に50代や女性の評価悪化が影響し、前年度から評価を下げた。

令和7年度調査における特徴的な基本目標

基本目標② 2.75 ↑（前年比+0.18）

誰一人取り残されずに、子どもが伸び伸びと成長し、若者が希望を持って暮らすまち

- 基本目標の中で最も評価点が低く、評価点がR4からR6まで毎年悪化していたが、R7で最も評価点が改善（+0.18）
- 基本目標の対象となっている10～20代からの評価が改善（+0.4以上）
- 中央区を除くすべての区で評価が改善されているが、北区・清田区・厚別区・白石区など東部エリアの評価が改善
- 女性よりも男性の方がやや評価が高い

基本目標⑤ 2.98 ↓（前年比▲0.25）

生活しやすく住みよいまち

- これまで平均評価点より0.15以上高い基本目標であったが、R7は評価が急落（▲0.25）し平均評価点以下に転落
- 全ての年代で評価点が悪化しているが、50代の悪化幅が最大（▲0.39）
- 全ての区で評価点が悪化しているが、R4～R6まで最も評価点の高かった中央区が急落（▲0.44）
- 男性よりも女性の方が評価が低い

基本目標⑩ 3.16 ↘（前年比▲0.10）

強みを生かした産業が北海道の経済をけん引しているまち

- 平均評価点より高い評価点を維持してきたが、R7の評価が悪化（▲0.10）
- 経済活動の中心である40～50代の大幅に悪化
- 白石区以外の全ての区で評価点が悪化し、中央区の悪化幅が最大（▲0.22）
- 男性の評価点は例年通りだが、過去、評価点の高かった女性が急落（▲0.17）

基本目標⑭ 3.30 ↘（前年比▲0.10）

四季を通じて誰もがスポーツを楽しむことができるまち

- R4時点で平均評価点より0.4以上高い基本目標であったが、年々悪化しており、R7に一段と評価が悪化（▲0.10）
- 10～20代の評価点は改善しているが、50～60代の評価点がそれ以上に悪化（▲0.14～0.22）
- 厚別区・手稲区・南区など、郊外区での評価が悪化
- 男女で評価の差はない

基本目標⑱ 3.13 ↓（前年比▲-0.17）

世界を引き付ける魅力と活力あふれるまち

- R4時点で平均評価点より高い（0.15）基本目標であったが、年々悪化しており、R7に評価が急落（▲0.16）
- 10代と80代以外の評価点が悪化し、50代の悪化幅が最大（▲0.31）
- 全ての区で評価点が悪化しているが、南区・東区・北区がより悪化
- 男女で評価の差はない

今後注意が必要な基本目標

- 基本目標⑨日常の安全が保たれたまち、基本目標⑮文化芸術が心の豊かさや創造性を育み、世界とつながるまち、基本目標⑰身近なみどりを守り、育て、自然と共に暮らすまちは、いずれも平均評価点より高いがR4から毎年評価点が悪化している
- 特に、基本目標⑰は、R7の市民アンケート分析によって、市民の暮らしやすさに対する満足度や、定住希望度との相関性が高いことが確認されている
- 札幌市の強みである基本目標に対する評価点がこれ以上下がらないよう注意が必要である

↑：0.1を超える改善、↗：0.05以上～0.1以下の改善、↘：0.05以上～0.1以下の悪化、↓：0.1を超える悪化

● 3.調査結果の分析 | 基本目標の概況

市民評価の平均変動ポイントに加え、事業進捗・目指す姿の重要度の低さに着目し深堀対象の選定を行った。事業進捗が良いにもかかわらず市民評価が伴わず事業の質転換の検討が必要な基本目標⑥、特定分野の重要度が低く認知度の改善が課題として挙げられる基本目標⑩を深堀対象とする。

令和7年度調査における特徴的な基本目標

基本目標⑥ 2.88 → (前年比 + 0.04)

互いに認め合い、支え合うまち

- 事業進捗：77.4%
- 事業進捗が目安値を上回っているにもかかわらず、市民評価が横ばい
- R4からR7にかけての基本目標変動率も他基本目標の返金地を下回っており、R7は過去4年間で最低の評価点
- 特に40代以上・女性・清田区などで評価悪化が顕著であり、幅広い属性での悪化が続いている

基本目標⑩ 2.84 → (前年比▲0.01)

世界に冠たる環境都市

- GX関連の目指す姿 (2,3,4) の重要度：40.3% ~ 46.5%
- 評価点は全体平均を継続して下回っている状況
- GX関連の目指す姿の重要度が全て40%代と低く評価されている
- また、重要度の高い目指す姿について評価がマイナスとなっており、重要度に応じた市民評価が得られていない状況

→ : 0.04以下の変動

3.調査結果の分析

- 基本目標の評価および事業進捗の概観
- 総合満足度の分析
- 基本目標の概況
- 基本目標の深掘分析

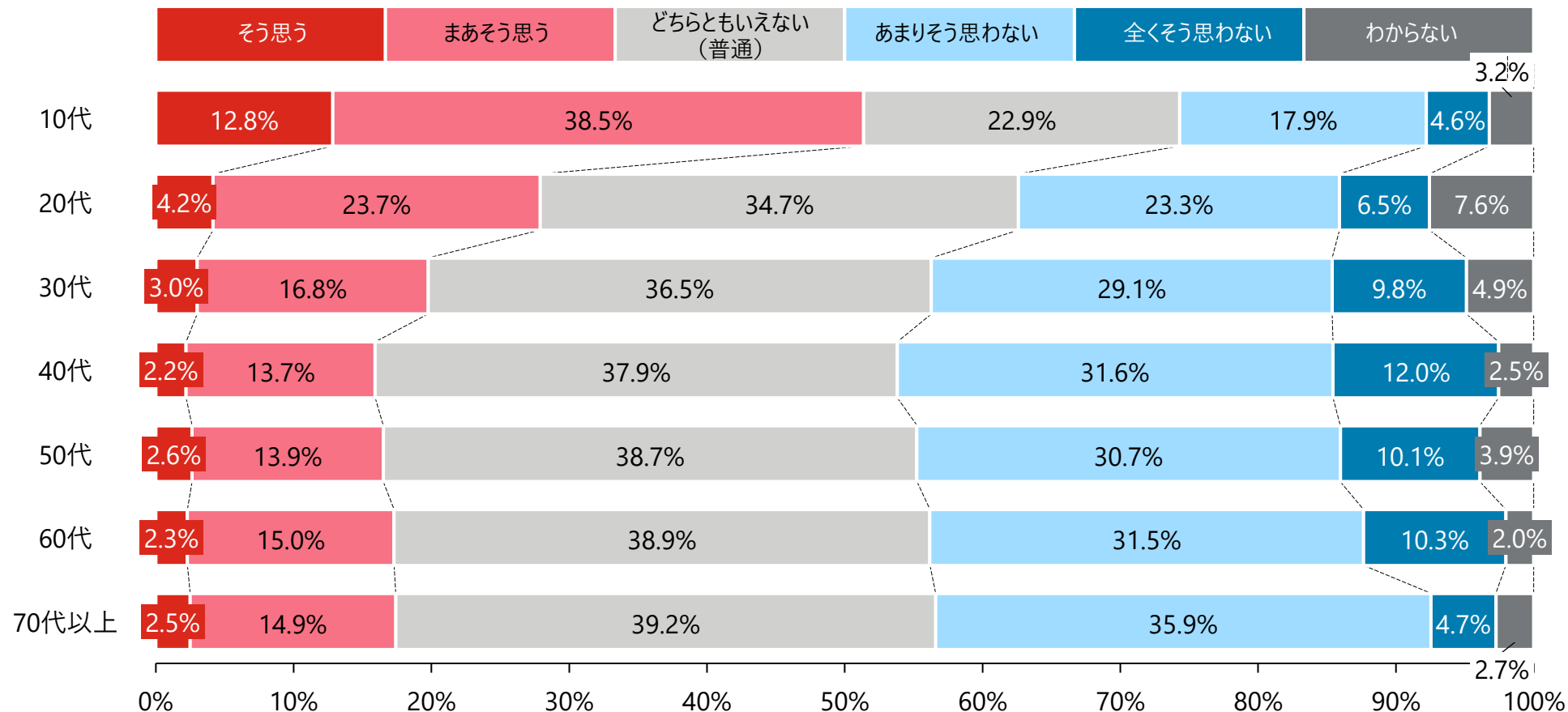
基本目標②

誰一人取り残されずに、子どもが伸び伸びと成長し、
若者が希望を持って暮らすまち

● 3.調査結果の分析 | 基本目標の深掘分析

10代の半数以上が評価している一方、30代以上では、2割未満に留まる。この市民の二極化は、基本目標2が当事者が子ども・若者に限定されるものであり、当事者以外が評価しにくいという構造的要因であると考えられる。そのため、市民評価の全体的な底上げをするためには、当事者の認識を非当事者に認知・共感してもらうための働きかけが不可欠である。

基本目標②深掘分析 | 基本目標



(再掲) 基本目標の概況

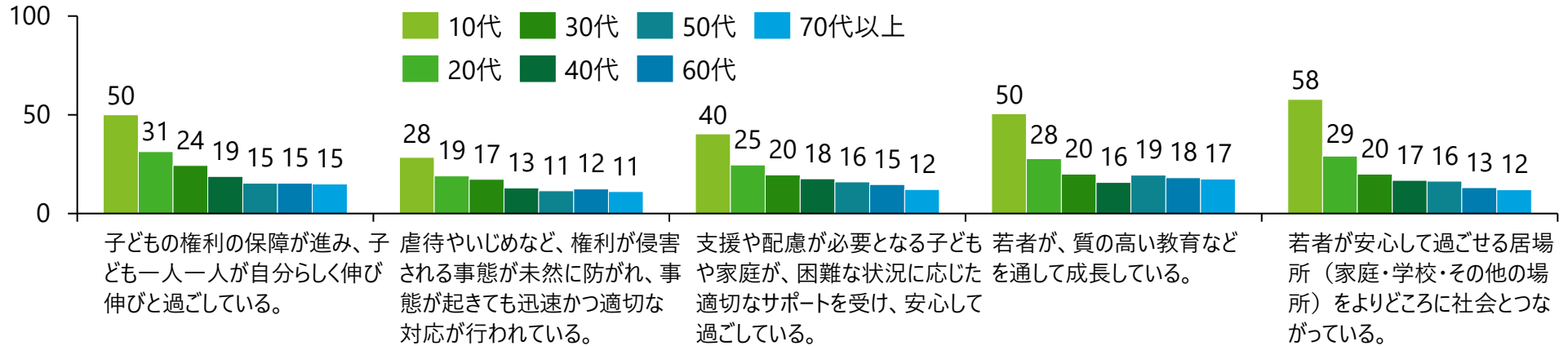
- R4からR6にかけて低下傾向にあった評価点は、R6に改善 (+0.18) に転じ、R4の評価点を超過
- しかし、依然として他の基本目標と比較した際の評価点は、全基本目標の中で最低点となっている
- 全年代でR6以降評価点が向上しており、特に基本目標の対象である10代から20代において顕著な改善 (+0.4以上)

● 3.調査結果の分析 | 基本目標の深掘分析

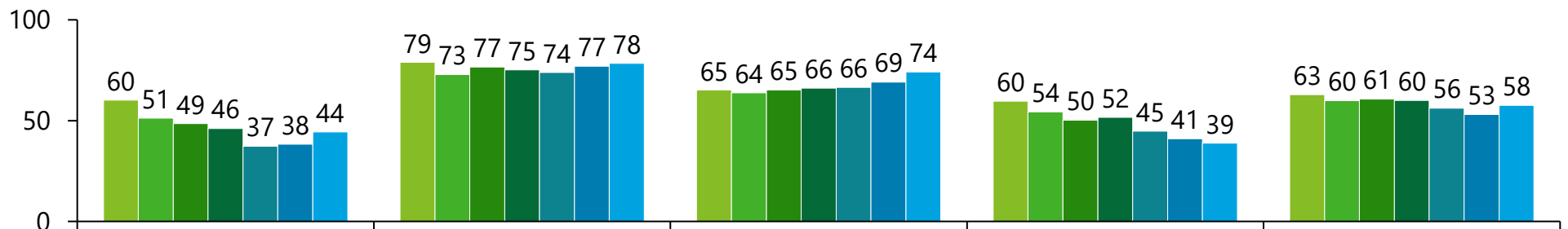
目指す姿の市民評価も、基本目標と同様、市民評価の二極化がみられる。目指す姿の重要認識には年代別で大きな差は見れないが、目指す姿(2)「虐待・いじめ」は、重要度が全ての目指す姿の中で最も重要性が高いにもかかわらず、評価は最低となっている。市民評価のさらなる改善要因は、この市民評価と重要度のギャップ解消にあると示唆される。

基本目標②深掘分析 | 目指す姿

評価していると回答した割合 (%)



重要だと思う目指す姿だと回答した割合 (%)



(再掲) 目指す姿の概況

- すべての目指す姿の評価点が、前年比で改善しており、(2)「虐待やいじめなど、権利が侵害される事態が未然に防がれ、事態が起きても迅速かつ適切な対応が行われている。」では、前年比+0.27と大幅改善
- いずれの目指す姿も10～20代は評価が最も高い。しかし、年代があがると評価していない割合の方が高くなり、評価が二極化
- 「虐待やいじめなど、権利が侵害される事態が未然に防がれ、事態が起きても迅速かつ適切な対応が行われている。」に対する市民の重要度が高い
- しかし、当該項目の評価点は▲0.25と低く、否定的な評価の割合が高い。期待される水準と現状の間に大きな乖離が生じている

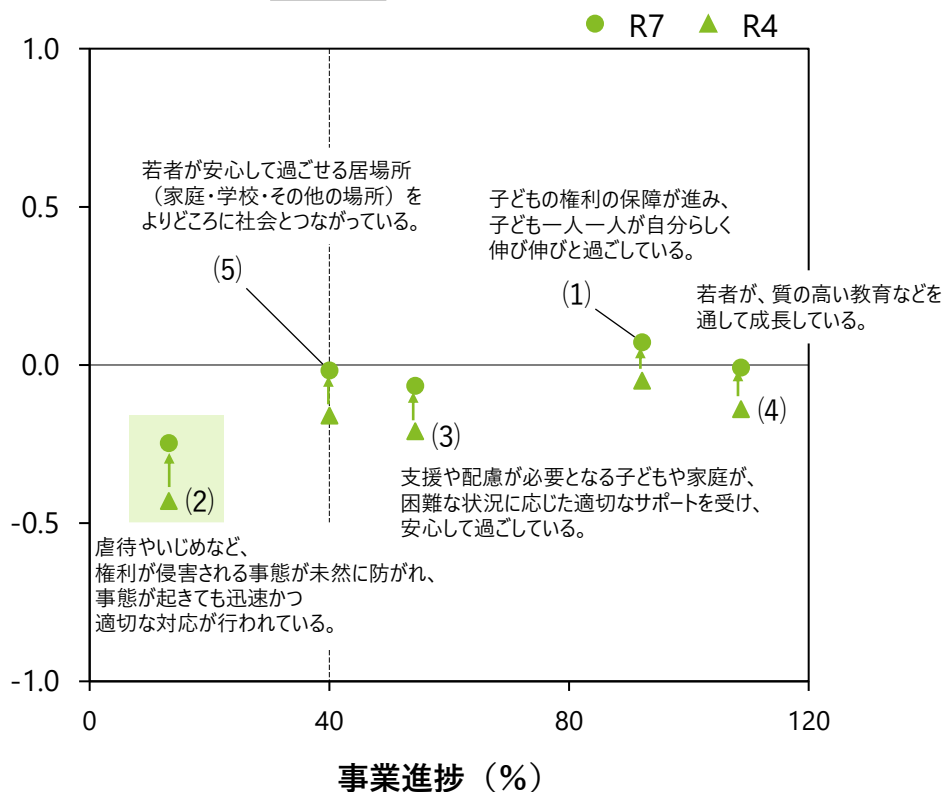
● 3.調査結果の分析 | 基本目標の深掘り分析

重要性が高い、いじめ・虐待関連事業の進捗は10%程度にとどまっており、支援が必要な人に届いていない可能性がある。相談できる場と人の充実が順調である一方、いじめ解消の実効力を高める事業の進捗が悪くその改善が必要である。また、児童相談体制強化事業では、虐待やいじめから子供を社会全体で支える仕組みを含めてプラン検討が求められる。

基本目標②深掘り分析 | 事業進捗

目指す姿に対する市民評価と事業進捗

市民評価（点） n=6,862



分析

- **重要性が高い目指す姿(2)「虐待やいじめなど、権利が侵害される事態が未然に防がれ、事態が起きても迅速かつ適切な対応が行われている。」に関連する事業は、事業進捗が13.2%と芳しくない。**
- 事業内容を見ると、児相開設(6)やスクールソーシャルワーカーの設置(8)など、相談できる場と人員の充実は、順調に進んでいる。しかし、**目指す姿に求められるのはいじめの解消の実効力を高めることであり、そのスキル向上のための研修(4)や連携体制の充実(3)の進捗改善が必要である。**
- また、いじめは学校・家庭・地域が絡み合う社会的な問題であり、学校や児相だけで解消できるケースには限界がある。児童相談体制強化事業によるプラン策定を通じて、**地域住民・NPO・企業が子どもの居場所や第三の相談先になれる仕組みの検討が求められる。**

No	事業名	事業目標	事業進捗
1	児童相談体制強化事業	プラン策定	20.0%
2	母子保健における児童虐待予防強化事業	妊娠葛藤を抱える方の母子健康手帳の産後交付数	-166.7%
3	スクールカウンセラー活用事業	いじめなどの不安や悩みを身近な人などに相談する子どもの割合	-21.2%
4	いじめ対策・自殺予防事業	いじめなどの不安や悩みを身近な人などに相談する子どもの割合	-21.2%
5	第二児童相談所整備事業	東部児童相談所の供用開始	66.0%
6	児童虐待防止対策支援事業	オレンジリボン地域協力員養成研修で学んだことを今後活用できると回答した人の割合	122.5%
7	スクールソーシャルワーカー活用事業	児童生徒の抱える課題が「解消」または「解消の方向へ向かっている」割合	92.8%

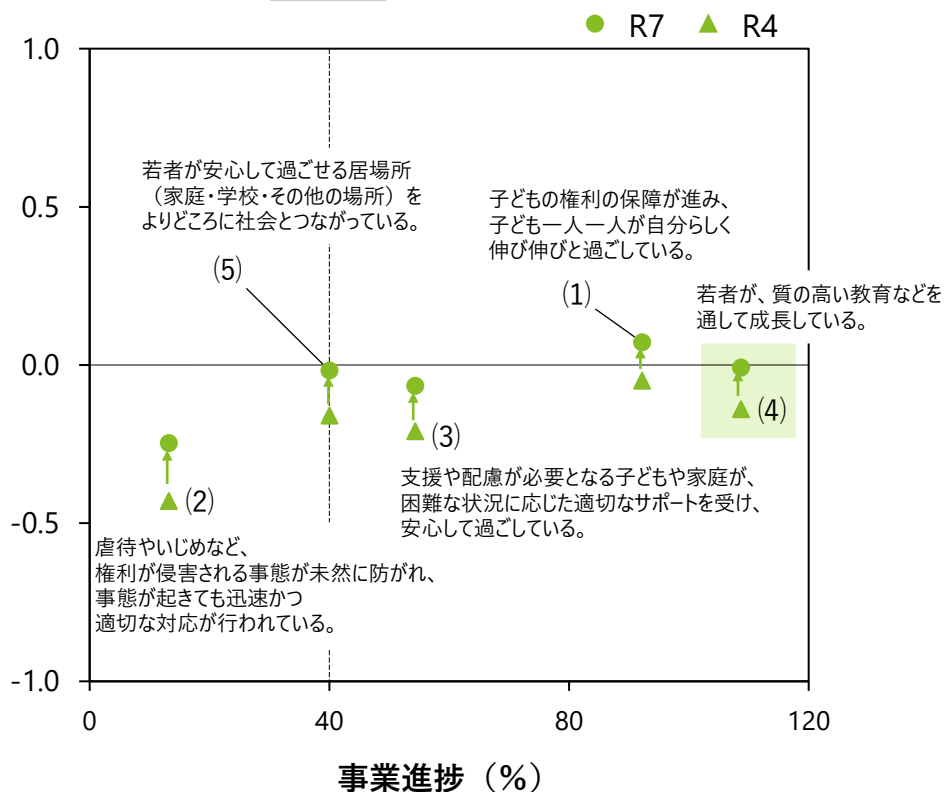
● 3.調査結果の分析 | 基本目標の深掘分析

質の高い教育の関連事業は進捗が高く市民評価も改善している。しかし、評価の改善幅が進捗に比べて小さいのは、事業の成果が学校の中では認識されているものの、非当事者である30代以上の市民に届いていないことが主要因だと考えられる。子どもの学びの変化が市民の目に触れる機会を創出することで、非当事者の評価を改善させられる可能性がある。

基本目標②深掘分析 | 事業進捗

目指す姿に対する市民評価と事業進捗

市民評価（点） n=6,862



分析

- ・ 目指す姿「若者が、質の高い教育などを通して成長している。」は**事業進捗と比較すると、10代の評価が高い割には市民評価の改善幅が小さい。**
- ・ その要因は、**私立学校教育振興補助事業のKPI「ふるさと納税寄付額」の進捗率が異常に高いこと、非当事者である30代以上の市民が事業を通じて若者が質の高い教育を受けていることを認識できないこと、**と考えられる。
- ・ 後者については、**子どもの学びの変化が、学校の外にいる大人の目に触れることが必要**であるため、子どもが社会に出て学びを見せる場をつくる（発表・展示）、または地域の大人が学びに参加する場をつくる（ワークショップ）、学びの成果が地域に還元される構造をつくる（地域課題解決）、などの事業アプローチが求められる。若者の芸術・文化活動を通じた南区まちづくり事業(5)や大学連携強化推進事業(1)は、アプローチが合致しているため、広報力の改善が求められる。

No	事業名	事業目標	事業進捗
1	大学連携強化推進事業	地域課題解決に繋がる取組の件数（年間）	78.6%
2	まなびのサポート事業	個別学習支援参加者の高校等進学率	100.0%
3	私立学校教育振興補助事業	ふるさと納税寄付額	286.3%
4	GIGAスクール構想推進事業	ICT活用に関する自分の取り組みを肯定的に評価する児童生徒の割合	79.3%
5	若者の芸術・文化活動を通じた南区まちづくり事業	若者の主体的な参加が可能な事業の数	60.0%
6	外国語指導助手（ALT）活用事業	ALTなどの外国の人と関わるのが楽しいと思う児童の割合	48.1%

● 3.調査結果の分析 | 基本目標の深掘分析

全国では、いじめ認知件数が過去最多を更新し、社会全体が自分の成長を支えると感じている子どもは2割弱と少ない。評価の低さは全国共通の課題である。市内では、市内での重大事態の認定事案が続いており、改善傾向を定着させるためのさらなる取り組みが求められる。また、非当事者がニュースで、悪化部分のみを認知しやすく、評価が伸び悩んでいる可能性も考えられる。

基本目標②深掘分析 | 外部環境 (いじめ・虐待)

全国の動向

いじめ認知件数が過去最多

- 全国の小・中・高等学校及び特別支援学校のいじめの認知件数は769,022件と、R2年から4年連続増加し、過去最多となっている。
(出所：文部科学省「[令和6年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要](#)」)

虐待件数は高止まり

- また、児童相談所における令和6年度の児童虐待相談対応件数は223,691件とあり、前年比は減少しているものの高止まりしている。
(出所：こども家庭庁「[令和6年度児童虐待相談対応件数\(令和8年1月現在\)](#)」)

子どもの成長を支える社会への低評価は全国共通

- 国内20代以下が、「こどもまんなか社会※」の実現に向かっていていると回答した割合は19.4%と低い(出所：こども家庭庁「[令和5年度こども政策の推進に関する意識調査報告書](#)」) ※こどもまんなか社会：こども基本法に基づき策定されたビジョンで、子どもや若者の利益を最優先に考え、社会全体でその幸福と健やかな成長を支える社会のこと

子ども安心安全な環境づくりに対する施策は他都市でも低評価

- 仙台市が取り組む「子どもたちが安全に、安心して育つことができる環境づくり」施策に対するR7の評価は2.61点(5点満点)とR4(2.33)から改善しているが、26の施策のうち、23番目と評価が低い。(出所：仙台市「[仙台市市民意識調査](#)」)
- 福岡市で、「生まれ育った環境に関わらず、子どもや若者が健やかに育つとまち」と答えた市民割合は56.9%であり、経済関連が80%を超える中で評価が低い。(出所：福岡市「[10次福岡市基本計画](#)」)

市内の動向

いじめ認知件数が4年ぶりに減少

- 札幌市の市立学校のいじめの認知件数が10,640件と、4年ぶりに前年度を下回った。(出所：札幌市教育委員会「[いじめ防止対策推進法第28条第1項に規定する「重大事態」の発生件数](#)」)

過去のいじめ重大事案20件が発覚

- R8年1月、札幌市教育委員会より、過去のいじめの事案についての対応を検証した結果、いじめ防止対策推進法の施行以降、いじめの重大事態に該当する可能性があった事案が20件あったと報告があった。
- 同月、2018年に札幌市立高校の女子生徒が男子生徒から体を触られて不登校になる事案は、いじめ防止対策推進法に基づく「重大事態」に認定されている。

子どもの心や体調の変化の早期発見の推進

- 札幌市内では、2025年度より、市立学校において1人1台端末を使った「心の健康観察」アプリを導入し、研究推進校によるアプリの実効的な運用方法の検証が行われた。

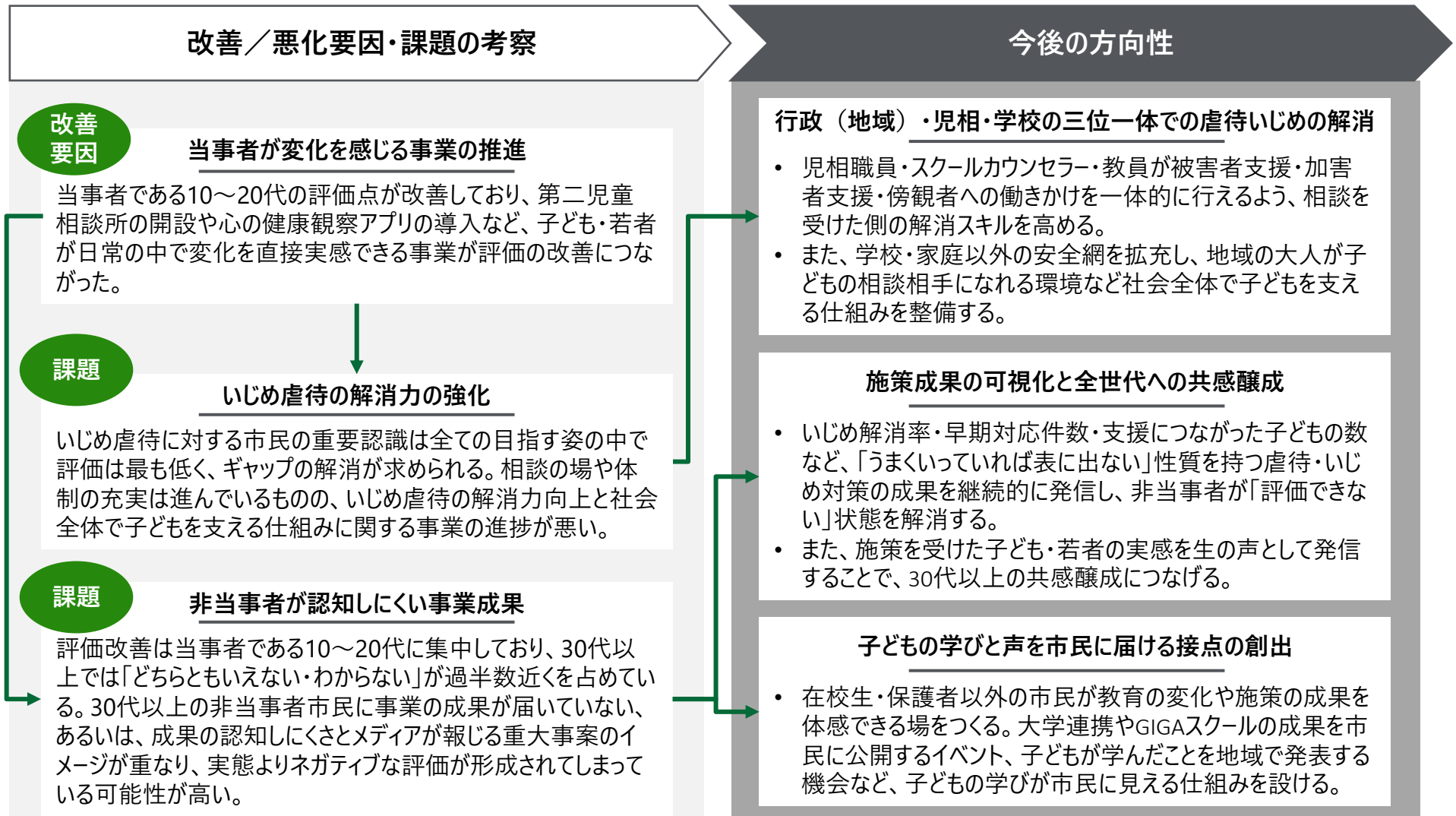
第二児相開設による相談体制の強化

- 児童相談所がこれまで市内に1つしかなかったが、2025年9月、札幌市で2所目となる東部児童相談所(担当地区は豊平区、白石区、厚別区、清田区)が開設された。

● 3.調査結果の分析 | 基本目標の深堀分析

基本目標・目指す姿の評価の改善には、評価が低く事業進捗の悪い「いじめ・虐待」事業を、行政・児相・学校が連携して最優先で取り組む必要がある。一方で、評価を底上げするには、非当事者である30代以上の市民に、子ども・若者が実感している施策の成果を可視化や、子ども・若者からの情報発信などを通じて、全世代が実態を共有・共感できる仕組みが必要である。

基本目標②深堀分析 | 改善／悪化要因の考察および今後の方向性



基本目標⑤ 生活しやすく住みよいまち

3.調査結果の分析 | 基本目標の深掘分析

基本目標⑤は、これまで平均評価点より0.15以上高い基本目標であったが、R7は評価が急落（▲0.25）。さらに、全ての年代および全ての区で評価が悪化していることから、幅広い世代・地域で「暮らしやすさ」に対する不満が募っていると考えられる。

基本目標⑤深掘分析 | 基本目標

		R4 (n=3,292)	R5 (n=2,013)	R6 (n=2,494)	R7 (n=6,862)	R7-R6
全体		3.34	3.28	3.23	2.98	-0.25
年代別	10代	3.71	3.81	3.55	3.47	-0.08
	20代	3.62	3.57	3.41	3.24	-0.17
	30代	3.17	3.10	3.20	2.99	-0.21
	40代	3.20	3.16	3.10	2.81	-0.29
	50代	3.25	3.22	3.22	2.83	-0.39
	60代	3.26	3.09	3.07	2.84	-0.23
	70代以上	3.36	3.31	3.16	3.04	-0.12
性別	男性	3.32	3.28	3.22	3.00	-0.22
	女性	3.39	3.31	3.26	2.91	-0.35
	その他	3.07	2.78	2.83	2.65	-0.18
区別	中央区	3.46	3.51	3.44	3.00	-0.44
	北区	3.39	3.11	3.20	2.93	-0.27
	東区	3.20	3.22	3.22	2.89	-0.33
	白石区	3.28	3.06	3.14	2.94	-0.20
	厚別区	3.38	3.57	3.29	3.05	-0.24
	豊平区	3.44	3.17	3.29	2.96	-0.33
	清田区	3.29	3.15	3.15	2.77	-0.38
	南区	3.25	3.30	3.24	2.90	-0.34
	西区	3.44	3.29	3.23	3.01	-0.22
	手稲区	3.31	3.37	3.12	2.88	-0.24
18歳以下の子ども有無	有	3.31	3.26	3.23	2.95	-0.28
	無	3.36	3.28	3.23	2.94	-0.29

これまで3点
だった評価が
R7は2点台
に急落

全てのセグメ
ントにおいて
評価が悪化

● 3.調査結果の分析 | 基本目標の深掘分析

目指す姿の市民評価は、(5)(6)がいずれもマイナス評価となり、冬期の生活環境（雪・交通環境）が依然として当該基本目標における主要なボトルネックであることが確認された。また、「医療」「住まい」に関する(1)(2)はプラス評価ではあるものの、年々評価を下げている。

基本目標⑤深掘分析 | 目指す姿

		サンプル数	(1)多様なニーズに応じた住まいが確保されている。		(2)在宅医療や身近なかかりつけ医が普及しているなど、医療体制が整っている。		(3)建物や道路などのバリアフリー化やユニバーサルデザインの導入が進んでいる。		(4)申請や相談等の手続きをオンラインで完結することができると、官民によるサービスの利便性が高まっている。		(5)市民の多様な暮らしを支える交通環境が確保されている。		(6)冬期の道路環境が確保されている。		
			評価点	前年比	評価点	前年比	評価点	前年比	評価点	前年比	評価点	前年比	評価点	前年比	
全体	R4	3,292	0.14	-	0.18	-	0.04	-	0.06	-	0.12	-	-0.41	-	
	R5	2,013	0.07	-0.06	0.22	0.04	0.03	0.00	0.08	0.02	-0.09	-0.20	-0.34	0.07	
	R6	2,494	0.07	0.00	0.17	-0.05	0.01	-0.03	0.12	0.04	-0.14	-0.05	-0.27	0.08	
	R7	6,862	0.04	-0.03	0.13	-0.04	0.02	0.01	0.14	0.02	-0.15	-0.01	-0.32	-0.05	
年代別	10代	R4	306	0.33	-	0.35	-	0.29	-	0.22	-	0.28	-	-0.19	-
		R5	146	0.38	0.05	0.49	0.13	0.35	0.06	0.34	0.12	0.25	-0.03	-0.08	0.11
		R6	210	0.35	-0.02	0.39	-0.10	0.28	-0.07	0.31	-0.03	0.15	-0.11	-0.08	0.01
		R7	218	0.49	0.14	0.44	0.06	0.41	0.13	0.38	0.07	0.28	0.14	-0.13	-0.05
	20代	R4	435	0.28	-	0.21	-	0.19	-	0.26	-	0.18	-	-0.28	-
		R5	253	0.33	0.05	0.39	0.18	0.30	0.12	0.36	0.10	0.09	-0.09	-0.33	-0.06
		R6	438	0.23	-0.10	0.20	-0.19	0.19	-0.12	0.28	-0.08	-0.01	-0.09	-0.19	0.14
		R7	674	0.25	0.02	0.28	0.08	0.22	0.03	0.35	0.06	0.11	0.12	-0.17	0.03
	30代	R4	468	0.12	-	0.09	-	-0.01	-	0.09	-	0.04	-	-0.55	-
		R5	301	0.06	-0.07	0.12	0.03	-0.05	-0.04	0.10	0.02	-0.20	-0.24	-0.47	0.08
		R6	362	0.10	0.05	0.17	0.06	0.03	0.08	0.25	0.15	-0.14	0.06	-0.34	0.13
		R7	1,169	0.10	0.00	0.17	-0.01	0.06	0.03	0.23	-0.02	-0.09	0.05	-0.28	0.05
	40代	R4	469	0.11	-	0.08	-	0.06	-	0.01	-	0.04	-	-0.52	-
		R5	303	0.01	-0.10	0.09	0.01	0.04	-0.02	0.00	-0.01	-0.15	-0.19	-0.42	0.11
		R6	303	0.04	0.03	0.06	-0.03	-0.05	-0.09	0.06	0.06	-0.22	-0.07	-0.38	0.04
		R7	1,414	-0.02	-0.07	0.06	0.00	-0.02	0.03	0.08	0.02	-0.24	-0.02	-0.36	0.02
	50代	R4	510	0.10	-	0.11	-	0.02	-	0.02	-	0.02	-	-0.51	-
		R5	234	0.02	-0.09	0.07	-0.03	0.00	-0.02	0.00	-0.02	-0.24	-0.26	-0.42	0.09
		R6	376	-0.02	-0.04	0.10	0.02	-0.06	-0.06	0.07	0.06	-0.24	0.00	-0.29	0.13
		R7	1,490	-0.06	-0.04	0.02	-0.07	-0.02	0.04	0.08	0.01	-0.29	-0.05	-0.39	-0.10
	60代	R4	402	0.04	-	0.18	-	-0.09	-	-0.08	-	0.00	-	-0.49	-
		R5	298	-0.07	-0.11	0.15	-0.02	-0.05	0.04	-0.04	0.04	-0.21	-0.21	-0.43	0.06
		R6	355	-0.03	0.04	0.10	-0.05	-0.16	-0.11	0.01	0.04	-0.33	-0.12	-0.34	0.09
		R7	1,093	-0.09	-0.05	0.03	-0.07	-0.10	0.06	0.03	0.02	-0.29	0.03	-0.35	-0.01
	70代以上	R4	682	0.07	-	0.30	-	-0.07	-	0.01	-	0.26	-	-0.30	-
		R5	465	0.00	-0.07	0.33	0.03	-0.08	-0.01	0.00	-0.01	0.00	-0.26	-0.20	0.10
		R6	423	-0.06	-0.06	0.24	-0.09	-0.09	-0.01	-0.05	-0.05	-0.12	-0.12	-0.21	-0.01
		R7	804	-0.01	0.05	0.15	-0.09	-0.05	0.03	0.10	0.15	-0.16	-0.04	-0.33	-0.12

● 3.調査結果の分析 | 基本目標の深掘分析

基本目標⑤深掘分析 | 目指す姿

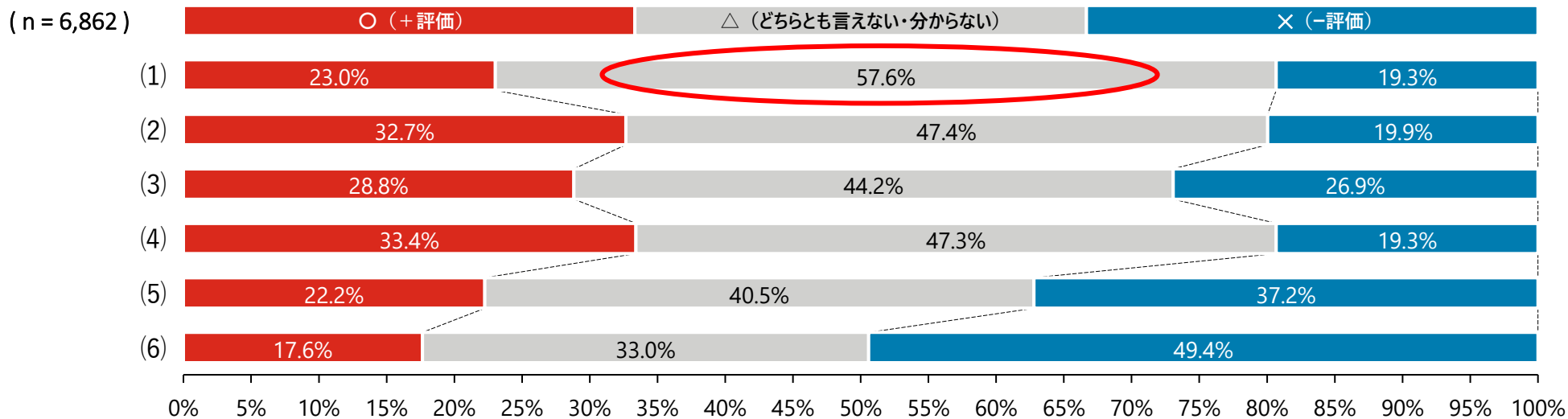
区別			サンプル数	(1)多様なニーズに応じた住まいが確保されている。		(2)在宅医療や身近なかかりつけ医が普及しているなど、医療体制が整っている。		(3)建物や道路などのバリアフリー化やユニバーサルデザインの導入が進んでいる。		(4)申請や相談等の手続きをオンラインで完結することができるなど、官民によるサービスの利便性が高まっている。		(5)市民の多様な暮らしを支える交通環境が確保されている。		(6)冬の道路環境が確保されている。	
				評価点	前年比	評価点	前年比	評価点	前年比	評価点	前年比	評価点	前年比	評価点	前年比
中央区	R4	351	0.13	-	0.25	-	0.03	-	0.03	-	0.15	-	-0.34	-	
	R5	206	0.08	-0.04	0.27	0.02	0.07	0.05	0.18	0.15	0.15	0.00	-0.24	0.09	
	R6	247	0.14	0.06	0.21	-0.06	0.00	-0.08	0.20	0.02	-0.01	-0.16	-0.23	0.02	
北区	R7	959	0.04	-0.10	0.16	-0.05	0.01	0.01	0.12	-0.09	-0.07	-0.06	-0.25	-0.02	
	R4	314	0.14	-	0.24	-	0.10	-	0.04	-	0.20	-	-0.36	-	
	R5	196	0.02	-0.12	0.19	-0.05	-0.04	-0.14	0.03	-0.01	-0.15	-0.36	-0.41	-0.05	
	R6	246	0.03	0.01	0.17	-0.01	0.07	0.10	0.12	0.09	-0.12	0.03	-0.28	0.13	
東区	R7	925	0.05	0.02	0.10	-0.07	0.02	-0.05	0.15	0.03	-0.13	-0.01	-0.34	-0.05	
	R4	318	0.12	-	0.09	-	-0.06	-	0.01	-	0.05	-	-0.46	-	
	R5	199	0.09	-0.03	0.21	0.12	0.09	0.15	0.13	0.12	-0.05	-0.10	-0.30	0.16	
	R6	245	0.10	0.01	0.14	-0.07	0.03	-0.06	0.11	-0.02	-0.11	-0.07	-0.26	0.04	
白石区	R7	887	0.01	-0.09	0.08	-0.06	0.01	-0.02	0.09	-0.02	-0.21	-0.10	-0.36	-0.10	
	R4	276	0.09	-	0.20	-	0.09	-	0.10	-	0.15	-	-0.49	-	
	R5	176	-0.13	-0.22	0.22	0.03	-0.07	-0.16	0.03	-0.07	-0.15	-0.31	-0.46	0.03	
	R6	226	0.01	0.14	0.25	0.03	-0.04	0.03	0.18	0.15	-0.16	-0.01	-0.36	0.10	
厚別区	R7	659	0.03	0.02	0.12	-0.13	0.06	0.10	0.17	0.00	-0.14	0.02	-0.31	0.05	
	R4	339	0.13	-	0.22	-	0.05	-	0.05	-	0.14	-	-0.36	-	
	R5	205	0.21	0.08	0.27	0.05	0.19	0.13	0.05	0.00	0.07	-0.07	-0.21	0.15	
	R6	260	0.03	-0.18	0.19	-0.08	0.08	-0.11	0.21	0.16	-0.05	-0.12	-0.17	0.05	
豊平区	R7	425	0.06	0.02	0.10	-0.08	-0.01	-0.09	0.15	-0.06	-0.11	-0.06	-0.25	-0.08	
	R4	310	0.15	-	0.12	-	0.07	-	0.09	-	0.21	-	-0.41	-	
	R5	196	0.05	-0.09	0.16	0.04	-0.04	-0.12	0.03	-0.06	-0.10	-0.31	-0.38	0.03	
	R6	231	0.14	0.09	0.12	-0.04	0.04	0.08	0.07	0.04	-0.05	0.04	-0.19	0.19	
清田区	R7	817	0.03	-0.12	0.13	0.01	0.03	-0.01	0.13	0.06	-0.17	-0.12	-0.33	-0.14	
	R4	346	0.13	-	0.20	-	0.02	-	0.06	-	-0.01	-	-0.45	-	
	R5	199	0.09	-0.04	0.21	0.01	-0.04	-0.06	0.05	-0.01	-0.36	-0.34	-0.42	0.03	
	R6	217	0.06	-0.03	0.15	-0.05	-0.07	-0.03	0.11	0.07	-0.35	0.00	-0.27	0.15	
南区	R7	401	-0.02	-0.08	0.05	-0.10	-0.09	-0.02	0.15	0.04	-0.43	-0.07	-0.43	-0.17	
	R4	352	0.15	-	0.08	-	0.02	-	0.08	-	0.14	-	-0.44	-	
	R5	188	0.07	-0.08	0.18	0.10	0.15	0.13	0.11	0.03	-0.16	-0.30	-0.32	0.11	
	R6	256	0.10	0.02	0.16	-0.02	0.00	-0.15	0.18	0.07	-0.22	-0.06	-0.21	0.12	
西区	R7	536	0.04	-0.06	0.06	-0.10	0.01	0.01	0.14	-0.04	-0.26	-0.04	-0.27	-0.07	
	R4	346	0.16	-	0.25	-	0.08	-	0.11	-	0.14	-	-0.36	-	
	R5	236	0.10	-0.06	0.23	-0.02	0.06	-0.02	0.08	-0.03	-0.05	-0.19	-0.37	-0.01	
	R6	277	0.06	-0.04	0.16	-0.07	-0.04	-0.09	0.03	-0.05	-0.14	-0.09	-0.38	0.00	
手稲区	R7	803	-0.01	-0.07	0.12	-0.05	0.04	0.08	0.14	0.11	-0.13	0.01	-0.32	0.05	
	R4	309	0.18	-	0.21	-	-0.03	-	0.11	-	0.02	-	-0.47	-	
	R5	197	0.08	-0.10	0.28	0.07	-0.03	0.01	0.10	-0.01	-0.09	-0.10	-0.32	0.15	
	R6	246	0.08	0.00	0.18	-0.10	0.02	0.05	0.06	-0.04	-0.18	-0.09	-0.33	-0.01	
		R7	450	0.04	-0.04	0.14	-0.05	-0.03	-0.05	0.15	0.09	-0.25	-0.07	-0.42	-0.10

3.調査結果の分析 | 基本目標の深掘分析

基本目標⑤深掘分析 | 目指す姿

			サンプル数		(1)多様なニーズに応じた住まいが確保されている。		(2)在宅医療や身近なかかりつけ医が普及しているなど、医療体制が整っている。		(3)建物や道路などのバリアフリー化やユニバーサルデザインの導入が進んでいる。		(4)申請や相談等の手続きをオンラインで完結することができるなど、官民によるサービスの利便性が高まっている。		(5)市民の多様な暮らしを支える交通環境が確保されている。		(6)冬期の道路環境が確保されている。	
			評価点	前年比	評価点	前年比	評価点	前年比	評価点	前年比	評価点	前年比	評価点	前年比	評価点	前年比
性別	男性	R4	1,429	0.15	-	0.21	-	0.01	-	0.04	-	0.12	-	-0.38	-	
		R5	895	0.11	-0.05	0.24	0.03	0.04	0.03	0.08	0.04	-0.08	-0.21	-0.36	0.02	
		R6	1,087	0.07	-0.03	0.21	-0.03	0.00	-0.04	0.12	0.04	-0.15	-0.07	-0.26	0.10	
		R7	2,985	0.04	-0.03	0.15	-0.05	0.05	0.04	0.16	0.04	-0.11	0.05	-0.27	-0.01	
	女性	R4	1,651	0.14	-	0.19	-	0.08	-	0.12	-	0.13	-	-0.43	-	
		R5	1,053	0.06	-0.09	0.22	0.03	0.03	-0.05	0.09	-0.02	-0.08	-0.21	-0.32	0.11	
		R6	1,326	0.08	0.02	0.15	-0.08	0.02	-0.02	0.13	0.04	-0.12	-0.04	-0.26	0.06	
18歳以下の子ども	有	R4	922	0.17	-	0.14	-	0.06	-	0.11	-	0.09	-	-0.48	-	
		R5	574	0.07	-0.10	0.18	0.04	0.06	-0.01	0.07	-0.05	-0.15	-0.24	-0.39	0.09	
		R6	643	0.10	0.04	0.19	0.01	0.00	-0.06	0.25	0.18	-0.16	-0.01	-0.31	0.08	
		R7	2,172	0.05	-0.05	0.11	-0.08	0.02	0.02	0.16	-0.09	-0.18	-0.01	-0.37	-0.06	
	無	R4	2,326	0.12	-	0.20	-	0.03	-	0.05	-	0.13	-	-0.38	-	
		R5	1,420	0.07	-0.05	0.24	0.04	0.02	0.00	0.08	0.03	-0.06	-0.19	-0.33	0.06	
		R6	1,804	0.07	-0.01	0.17	-0.07	0.01	-0.01	0.08	0.00	-0.13	-0.07	-0.25	0.07	
		R7	4,690	0.01	-0.05	0.11	-0.06	0.01	-0.01	0.12	0.04	-0.17	-0.04	-0.30	-0.05	

目指す姿に対する市民評価の回答割合



基本目標⑤深掘分析 | 目指す姿

目指す姿に対する重要度割合

		サンプル数	(1)多様なニーズに応じた住まいが確保されている。	(2)在宅医療や身近なかかりつけ医が普及しているなど、医療体制が整っている。	(3)建物や道路などのバリアフリー化やユニバーサルデザインの導入が進んでいる。	(4)申請や相談等の手続をオンラインで完結することができるなど、官民によるサービスの利便性が高まっている。	(5)市民の多様な暮らしを支える交通環境が確保されている。	(6)冬の道路環境が確保されている。
全体		6,862	41.5%	61.6%	52.6%	51.2%	68.0%	73.4%
年代別	10代	218	52.8%	56.9%	62.4%	50.9%	63.3%	75.7%
	20代	674	44.2%	51.5%	54.6%	54.3%	64.5%	73.7%
	30代	1,169	41.1%	53.7%	50.8%	54.5%	65.6%	78.0%
	40代	1,414	42.4%	58.9%	51.7%	56.0%	69.3%	78.2%
	50代	1,490	40.0%	60.2%	51.7%	50.9%	69.1%	75.0%
	60代	1,093	39.8%	65.1%	54.3%	49.1%	68.6%	71.5%
	70代以上	804	39.9%	72.8%	51.4%	46.1%	70.3%	68.0%
性別	男性	2,985	38.2%	55.8%	48.4%	49.5%	62.7%	69.6%
	女性	3,581	43.8%	63.4%	55.3%	54.1%	72.0%	78.9%
区別	中央区	959	47.0%	64.5%	60.5%	52.4%	73.0%	75.3%
	北区	925	42.9%	61.2%	54.4%	53.6%	69.9%	71.8%
	東区	887	41.7%	57.6%	50.2%	52.3%	65.2%	76.1%
	白石区	659	42.2%	58.2%	49.6%	50.5%	67.2%	73.8%
	厚別区	425	40.8%	55.2%	49.8%	51.3%	64.0%	71.3%
	豊平区	817	40.0%	61.2%	55.1%	49.6%	69.2%	72.5%
	清田区	401	41.7%	56.9%	51.9%	52.6%	66.2%	75.0%
	南区	536	39.7%	62.3%	54.1%	50.1%	74.3%	77.3%
	西区	803	42.5%	65.1%	54.5%	53.9%	70.5%	78.5%
	手稲区	450	41.5%	63.9%	54.7%	53.3%	67.5%	76.0%
18歳以下の子供	有	2,172	40.1%	57.9%	52.6%	53.7%	66.6%	77.5%
	無	4,690	42.1%	61.2%	52.5%	51.3%	68.6%	73.4%

目指す姿の市民評価は、(5)(6)がいずれもマイナス評価となり、「雪」「交通環境」が依然として当該基本目標における主要なボトルネックであることが確認された。また、「医療」「住まい」に関する目指す姿はプラス評価ではあるものの、年々評価を下げている。

基本目標⑤深掘分析 | 目指す姿

目指す姿ごとの市民評価の主要なポイントは以下のとおりである。（対策の必要性が高いと考えられる順に記載）

➤ 目指す姿 6：雪

- ・ 目指す姿6「冬期の道路環境が確保されている。」は全年代・全居住区でマイナス評価（-0.32）。
- ・ 区別の評価は、どの区も前回R6より評価が悪化したが、白石区と西区は改善傾向に転じた（ともに+0.05）。

➤ 目指す姿 5：交通

- ・ 目指す姿5「市民の多様な暮らしを支える交通環境が確保されている。」も、全体評価がマイナス（-0.15）。
- ・ 清田区（-0.43）をはじめとして、前回のR6調査から全ての区でマイナス評価が継続している。
- ・ 女性の評価はR4 0.13→今回-0.21と、男性の評価（R4 0.12→今回-0.11）より落ち込んだ。

➤ 目指す姿 2：医療

- ・ 目指す姿2「在宅医療や身近なかかりつけ医が普及しているなど、医療体制が整っている。」はプラス評価ではあるもののR5以降3年連続で評価が悪化しており、特に50代以上で悪化傾向が続いている。
- ・ 豊平区では評価が下げ止まり、わずかながら改善傾向に転じた。

➤ 目指す姿 1：住まい

- ・ 目指す姿1「多様なニーズに応じた住まいが確保されている。」は、40～60代で評価が悪化し、マイナス評価となった。40代の評価は前回R7 0.04→今回-0.02となり、マイナスに転じた。

➤ 目指す姿 3：バリアフリー・ユニバーサル

- ・ R4から毎年低水準が続いている。
- ・ 40代以上からの評価が特に低い傾向が続いている。

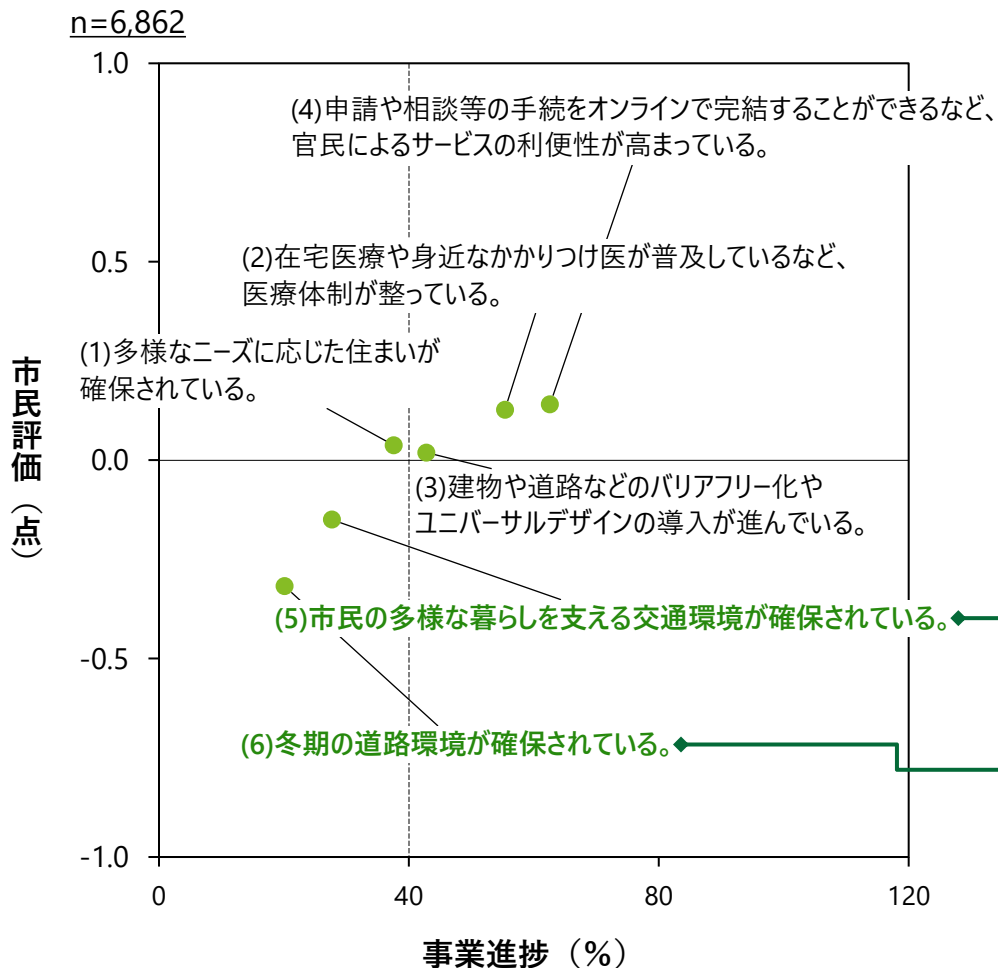
➤ 目指す姿 4：デジタル化

- ・ 目指す姿4「申請や相談等の手続をオンラインで完結することができるなど、官民によるサービスの利便性が高まっている。」は、70・80代で、前回R7 -0.05→今回0.10とプラス評価に転じた。

● 3.調査結果の分析 | 基本目標の深掘分析

事業進捗の観点では、基本目標⑤の全体進捗割合は48.4%と目安値（40%）をクリアしており、順調に進捗していると言える。一方で目指す姿別にみると、(1)～(4)は目安値前後（またはそれ以上）で進捗しているものの、(5)(6)はそれぞれ20%台と進捗に遅れが生じており、かつ市民評価がマイナス評価となった。

基本目標⑤深掘分析 | 事業進捗（1/2）



基本目標⑤の関連事業に関する補足

事業進捗割合	50.7%	関連事業数	69
--------	-------	-------	----

- ▶ 当該基本目標には80の事業が紐づいており、全体の事業進捗は目安値（40%）を上回っているが、目指す姿(5)(6)は、すべての事業の進捗が目安値を下回った。
- ▶ (5)(6)に紐づく事業は全て雪対策関連の事業である。
- ▶ 市民評価においても(6)はR4から低評価（▲0.27～▲0.41）が続いている。(5)もR7評価は▲0.15（R4比▲0.27）と低評価。一方でこれらは回答者の約7割が重要だと認識しており、事業の強化・進捗による市民評価改善が求められている。

事業名	事業進捗
持続可能な雪対策推進事業	16.3%
道路除雪事業	39.1%
事業名	事業進捗
DX推進事業	25.0%
雪対策施設整備事業	0.0%
持続可能な雪対策推進事業	16.3%
道路除雪事業	39.1%

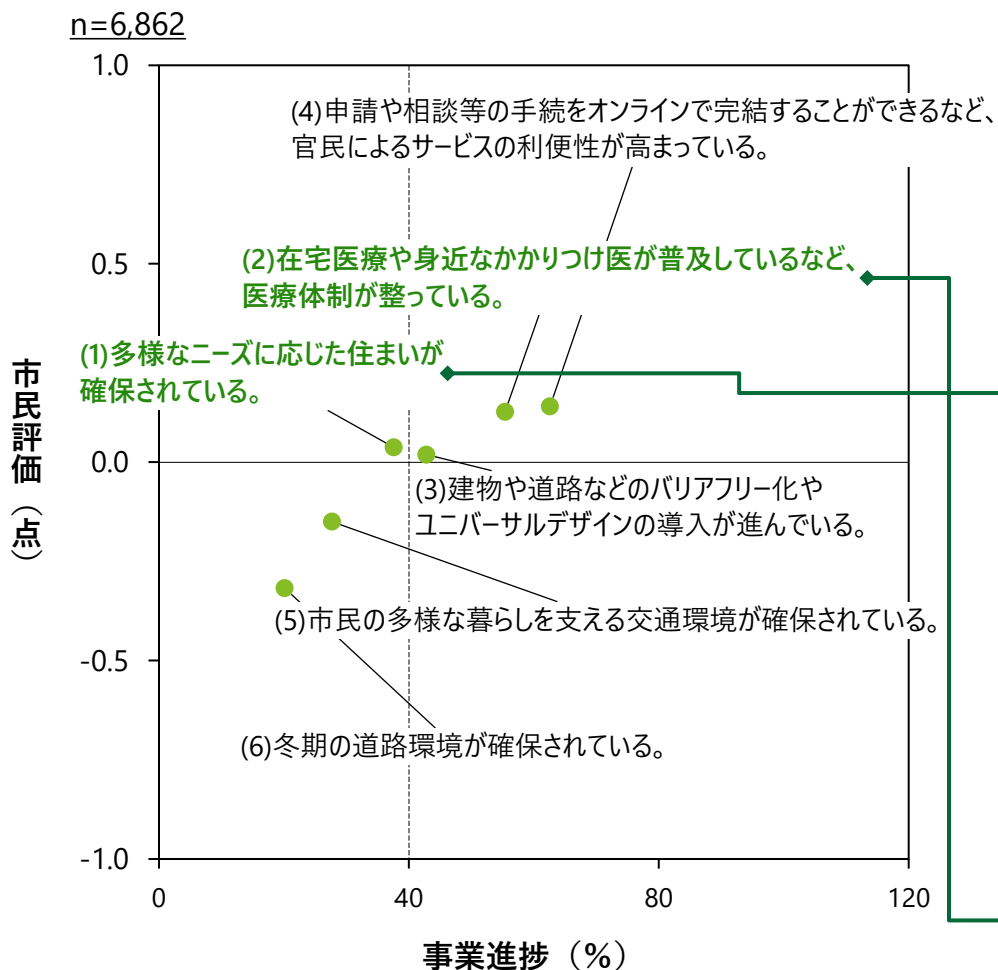
(再掲) 目指す姿の概況

- ・ 6つの目指す姿のうち、4つの評価が昨年よりも悪化。目指す姿(1)、(2)、(5)、(6)であるが、特に目指す姿(5)と(6)がそれぞれ▲0.15、▲0.32と低評価

3.調査結果の分析 | 基本目標の深掘分析

当該基本目標の事業進捗割合は50.7%と目安値（40%）を上回る。一方で目指す姿別にみると、(1)～(4)は目安値前後（またはそれ以上）で進捗しているものの、(5)(6)はそれぞれ20%台と進捗が遅れが生じており、かつ市民評価がマイナス評価となった。

基本目標⑤深掘分析 | 事業進捗（2/2）



- 目指す姿(1)は、市民評価はプラス評価であるものの、半数以上の回答者が「△(どちらとも言えない・わからない)」と回答し、重要だと認識していた回答者が約4割にとどまった。
- 事業進捗が悪い事業が複数あるなかで、市民評価はプラスを維持していることから、現在の事業進捗が市民評価にあまり影響していない可能性がある。

事業名（進捗率の低い順に一部抜粋）	事業進捗
ホームレス自立支援事業	250.0%
特定施設開設準備経費補助事業	13.3%
老人福祉施設長寿命化補助事業	20.0%
認知症高齢者グループホーム等開設準備経費補助事業	29.8%
既存小規模施設等スプリンクラー設備等整備補助事業	33.3%
広域型特別養護老人ホーム新築費等補助事業	42.7%
介護保険施設開設準備経費補助事業	42.7%
重度障がい児者等日常生活用具給付事業	58.1%

- 目指す姿(2)は(5)(6)に次いで6割以上が重要だと認識する項目。市民評価はプラスかつ事業進捗も目安値を上回ったが、回答者の年代が上がるにつれ評価は悪化し、逆に重要度は高まる傾向となっている。
- 現在の事業の受益者がやや限定的になっている可能性や、事業内容が市民ニーズを満たせていない可能性がある。

事業名（予算額の大きい順に一部抜粋）	事業進捗
地域包括支援センター機能強化事業	106.9%
広域型特別養護老人ホーム新築費等補助事業	42.7%
障がい者相談支援事業	42.3%
障がい福祉施設等施設整備費補助事業	30.0%
重度障がい児者等日常生活用具給付事業	58.1%
介護保険施設開設準備経費補助事業	42.7%
特定施設開設準備経費補助事業	13.3%
障がい福祉人材確保・定着サポート事業	111.3%

● 3.調査結果の分析 | 基本目標の深掘分析

目指す姿(5)(6)が対象とする「冬期の生活環境（除排雪・交通環境）」に関する動向では、同様の課題を富山県や青森市など他都市でも「雪の多さ」が市民の生活満足度に影響を与えていることが確認できる。貴市においては、令和8年1月の大雪被害や、郊外区の交通環境悪化、敬老パスの見直しなどが複合的に当該目指す姿の市民評価に影響を与えた可能性が示唆される。

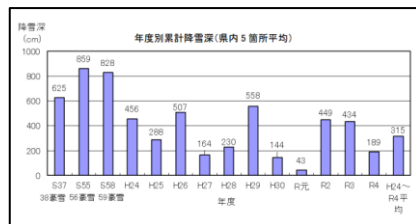
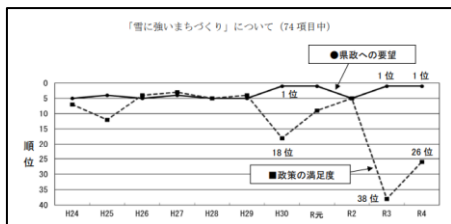
基本目標⑤深掘分析 | 外部環境（冬期の生活環境）

全国・他都市の動向

他都市の雪×市民評価の傾向

- 富山県では、平成24年以降11年間の統計（富山県政世論調査）から、大雪の翌年度は雪に関する施策への市民満足度が急降下する傾向にある。

出所：富山県総合雪対策基本計画



- 青森市では、大雪により豪雪災害対策本部が設置された令和2・3・6年度においては雪の相談窓口へ1万件（その他年度の2倍以上）以上の問い合わせが寄せられている。なお、相談内容は除排雪に関する問い合わせが約9割を占めている。

出所：青森市除排雪検討会議取りまとめ資料

- 同じく青森市の青森市民意識調査では、市外への転居を希望する理由の最大要因がR5年から3年連続*で「雪が多いこと」となっており、雪の量が市民の生活満足度に影響していることが分かる。

*R8年3月末時点で公開されている範囲

出所：青森市民意識調査（R5,6,7）

貴市の動向

市内の雪害および除排雪対策

- R8年1月、札幌市では災害級の大雪を記録。交通障害など市民生活に大きな影響を与えた。出所：札幌市雪害対策本部／札幌市

- 札幌市では、R7年度雪対策予算として過去最大の約285億円を計上しているほか、除排雪事業において、現在「パートナーシップ排雪制度」の見直しと新制度移行の検討が進行中。なお、新制度導入に向けては、R5年シーズンは白石区と西区および手稲区の一部地域では先行して実証実験が行われている。

出所：雪対策費実績／札幌市、TBS NEWS

- 新制度移行の賛否については、下記のとおり、実証実施地域でのアンケート調査や、メディアの取材などから、期待と懸念両方の声が上がっていることが確認できる。

出所：生活道路除排雪の試験施工（令和5年度～）／札幌市、STVニュース北海道

市内の交通環境・制度

- 清田区などの郊外区の路線バス減便・廃止が進行。中心地に行くまでの乗り継ぎの発生や移動コスト増加、運賃値上げによる市民負担増など、交通の利便性が悪化している。

出所：FNNプライムオンライン

- 敬老パスの制度見直し（R8年4月～）により、市民の経済負担増加が予定されている。

出所：どう変わるの？敬老パス(2) - マイ広報紙

● 3.調査結果の分析 | 基本目標の深掘分析

目指す姿(2)が対象とする「医療」分野に関しては、市民評価はプラス評価、事業進捗も目安値を超えて進捗中であるが、貴市の今回の調査結果と異なり、他都市では高齢世代になるほど医療・福祉サービスの充実に満足している人が多い傾向も確認された。貴市の郊外区をはじめとし、今後増加が見込まれる高齢者のニーズにどう対応していくかが今後の課題となることが示唆される。

基本目標⑤深掘分析 | 外部環境（医療）

全国の動向

他都市の医療・福祉サービスへの満足度状況

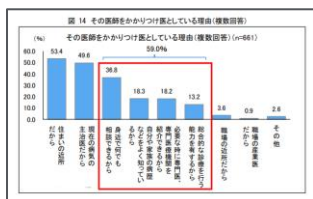
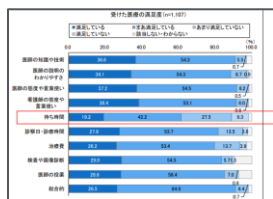
- 仙台市の市民調査において、「（仙台市が）住みやすい」と回答した人の理由として、年齢が上がるほど「医療・福祉サービスが充実しているから」と回答する人の割合が増加している。
（今回の貴市調査では、年代が上がるにつれ評価が下がった）
出所：[令和7年度「仙台市民意識調査」報告書](#) (P52)

国民の医療負担の増加

- 医療費窓口負担の引き上げ、新型コロナ治療薬への公費支援終了（R6年）、マイナ保険証への完全移行など、現在国の医療制度改革が進行しており、国民負担が増加傾向にある。

診察体験に関する国民のニーズ傾向

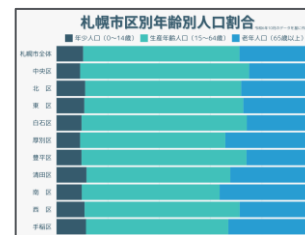
- 日本医師会総合政策研究機構の全国調査では、受けた医療の満足度において、「待ち時間」に満足していない人が約4割（あまり満足していない＋満足していない）を占めた。
- また、かかりつけ医を選ぶ最大の理由として「住まいの近所であること」が挙げられており、かかりつけ医の普及においては「通院・アクセスのしやすさ」が重要であることが示されている。
出所：[日医総研ワーキングペーパー](#) (P19)



貴市の動向

郊外区をはじめとした高齢化の進行

- 札幌市では1970年代に清田区、手稲区などの郊外団地に移住した世代の多くが「後期高齢者」となることから、今後の医療ニーズの高まりが予想される。
出所：[札幌市の区別・年齢別人口ランキング / 2024年12月 - ていねブログ](#)



市民ニーズを踏まえたまちづくり例

- 多様な都市機能が集積するまちづくりを推進する豊平区では、平岸エリアをはじめとする再開発が進み、医療インフラの整備が進んでいる。R6年12月には、札幌リードタウン平岸バス内に新病院「札幌柏葉会（はくようかい）病院」が開院した。
（今回の調査では、目指す姿(2)の医療体制に関する評価において、豊平区の評価は下げ止まり、わずかながら改善傾向に転じた）
出所：[積水ハウスニュースリリース](#)、[北海道・札幌市 | 札幌柏葉会病院 | 脳神経外科](#)



- HEIM SUITE
- スマート・ハイムスタイル HEIM SUITE
- 住宅建設予定地
- 病院建設予定地
- 複合商業施設
- レストラン
- 食品スーパー
- 家電量販店



● 3.調査結果の分析 | 基本目標の深掘分析

目指す姿(1)が対象とする「住まい」に関しては、40-60代の市民評価が悪化したが、内閣府の全国調査と比較すると概ね同様の傾向にあることが見て取れた。一方で、事業進捗が悪い生活困窮者支援や介護関連施設整備の事業について、全国的な動向や貴市が既に実施した取組成果から、大きな進捗・成果の創出を行うことが難しい可能性が示唆された。

基本目標⑤深掘分析 | 外部環境（住まい）

全国の動向

住生活に対する国民の満足度

- 内閣府の世論調査では、住生活に対する満足度回答として、「満足」とする人の割合は18～29歳、70歳以上で高まり、「不満」とする者の割合は50歳代、60歳代で高まっており、今回の貴市調査の年代別の評価傾向と概ね合致している。

出所：[国民生活に関する世論調査（令和7年8月調査）](#)

全国の生活困窮者支援状況

*貴市「ホームレス自立支援事業」の参考情報として記載

- 厚労省の調査では、生活困窮者自立支援制度の活用状況に関して、令和6年度の新規相談件数は前年度に比べ増加したものの、継続的な支援のためのプラン作成件数はR3から減少しており、全国的にも支援が成立しにくい状況が生まれている。

出所：[生活困窮者自立支援制度における支援状況調査](#)

住まいに関する法整備：「住宅セーフティネット法」の改正

- R7年10月、近年の賃貸住宅ニーズを背景に、住宅セーフティネット法が改正。賃貸住宅にて貸主と入居者（住宅確保要配慮者）が双方安心して貸し出し・入居できる仕組みの整備が進行中。

出所：[住宅：住宅セーフティネット制度～誰もが安心して暮らせる社会を目指して～ - 国土交通省](#)

政令指定都市の介護関連施設整備状況

- 第8期介護保険計画（R3～5年度）の介護保険施設／保険外施設の整備状況は、政令指定都市で平均達成率95%。保険外施設を含めると126%と供給過多が見込まれている。

出所：[第8期計画の整備状況](#)

貴市の動向

貴市の介護関連施設整備状況

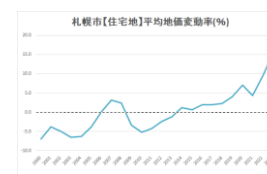
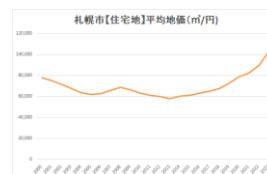
- 左記のとおり、第8期介護保険計画（R3～5年度）の介護保険施設／保険外施設の整備状況は、政令指定都市で順調に進んでいるが、中でも貴市の達成率は168%と政令市で最も整備が進んでいる状況である（介護保険施設と保険外施設の整備率の合計値）。
- 施設整備状況（供給過多傾向）および、下記土地や資材の高騰などの近年の経済動向を踏まえると、施設整備関連事業は成果を出しづらい状況にあることが考えられる。

出所：[第8期計画の整備状況](#)

貴市の経済動向概況

- 全国的な傾向でもあるが、札幌市でも、特に近年の土地の急激な価格高騰が進んでおり、事業者にとってハード整備に踏み切る大きなブレーキになっている可能性が示唆される。

出所：[札幌市【住宅地】地価上昇率ランキング2023 資産価値が上がる街はここだ！ | イエシ](#)



- 特に冬期の光熱費（暖房費）が家計を圧迫する要因となっているほか、高齢世帯を中心に、雪かき負担の増加も課題化傾向にあり、「住まい」に関する総合的な不満が高まっていると推察される。

● 3.調査結果の分析 | 基本目標の深堀分析

当該基本目標の評価急落は、R8年1月の雪害をはじめ、郊外区を主とした交通環境の悪化など、冬期の生活環境が悪化したことが挙げられる。また、今後の課題として高齢者向けの医療ニーズにどう対応していくかという点が全国・他都市の状況から浮かび上がり、実証的なアプローチを通じた施策実施とまちづくりにより、市民理解・評価を改善していくことが肝要であると考えられる。

基本目標⑤深堀分析 | 改善／悪化要因の考察および今後の方向性

改善／悪化要因・課題の考察

悪化要因

アンケート期間中の大雪被害

- R8年1月、本アンケート実施中の大雪被害により、目指す姿6の評価が大きく下がった可能性が高い。
- 一方、白石区・西区は、新制度移行に係る実証（町内会の負担減、排雪作業メリットの受益者の拡大など）がポジティブに作用したと見られる。

悪化要因

郊外区の交通環境悪化と市民の経済負担増加

- 路線バスの減便・廃止による利便性の低下、運賃値上げ・敬老パスの制度見直しなどによる経済負担や懸念の増加が市民評価に影響したと見られる。

今後の課題

高まる医療ニーズへの備え

- 今後医療ニーズがより高まる年代の評価は着実に低下傾向にあり、医療費や通院の負荷、医師の働き方改革やDX化、待ち時間の軽減などの医療体制課題の解決が求められる。

悪化要因

全国動向や貴市過年度成果による「住まい」関連事業の進捗停滞

- 進捗の悪いホームレス自立支援事業は、全国的な動向の影響、介護関連施設の整備はこれまでの貴市取組成果や近年の経済動向が事業進捗を阻んでいる可能性がある。

今後の方向性

排雪新制度の継続・推進と市民理解の醸成

- 白石区と西区の市民評価改善に実証実施が寄与したとすると、排雪新制度の導入の早期全区展開が求められる。
 - 実証実施の成果や該当地域における市民の声の聴取・発信、実証未実施地域への丁寧なコミュニケーション発信等、円滑な全区導入に向け、市民理解醸成や、適切な期待値コントロールが重要となる。
- ※留意点：アンケート実施年度・時期が評価に影響する可能性が高い点を今後も考慮することが必要である

MaaSやコンパクトシティ推進による「交通」「医療」への同時アプローチ

- 既存の交通サービス維持に向けた注力ではなく、デマンド型交通を「郊外のモビリティの標準機能」とすべく、市民負担を踏まえたMaaSの積極的な導入・展開によるソフト面でのアプローチを、行政主導かつ部署横断で本格検討する。
- 同時に、医療と生活の一体化に向けたコンパクトシティ型のまちづくりを推進し、移動・交通の課題を解消しつつ、市民の診察体験に係るストレス軽減も図る。

低進捗の「住まい」関連事業の見直し

- 現在進捗の悪い事業につき、事業内容や要否の再検討を実施し、ソフト施策を強化する、市民ニーズに基づく予算・リソース配分を行うなどの見直しが求められている。

基本目標⑥

互いに認め合い、支え合うまち

● 3.調査結果の分析 | 基本目標の深掘分析

基本目標の経年変化を属性別でみると、前年比で10代～30代の若年層では改善傾向にある一方、40代以上で悪化傾向にあり、年代が上がるにつれて悪化幅が大きい。また、女性の悪化幅が男性の2倍。属性ごとに評価の差があることが読み取れるが、今回調査からは、特に中高年・女性の評価改善が優先対応事項と考えられる。

基本目標⑥深掘分析 | 基本目標

		R4 (n=3,292)	R5 (n=2,013)	R6 (n=2,494)	R7 (n=6,862)	R7-R6
全体		2.99	2.89	2.92	2.88	-0.04
年代別	10代	3.30	3.22	3.29	3.50	0.21
	20代	3.11	3.09	3.00	3.08	0.08
	30代	2.92	2.75	2.83	2.87	0.04
	40代	2.99	2.84	2.78	2.74	-0.04
	50代	2.93	2.79	2.83	2.77	-0.06
	60代	2.83	2.73	2.82	2.73	-0.09
	70代以上	3.00	2.96	3.05	2.90	-0.15
性別	男性	2.97	2.90	2.92	2.87	-0.05
	女性	3.03	2.90	2.95	2.84	-0.11
	その他	2.81	2.48	2.51	2.47	-0.04
区別	中央区	2.99	3.01	2.99	2.87	-0.12
	北区	3.01	2.82	2.92	2.88	-0.04
	東区	2.92	3.01	2.87	2.78	-0.09
	白石区	3.02	2.70	2.93	2.83	-0.10
	厚別区	3.09	2.94	3.05	2.92	-0.13
	豊平区	3.04	2.89	2.87	2.84	-0.03
	清田区	2.98	2.81	2.94	2.78	-0.16
	南区	2.95	2.92	2.96	2.84	-0.12
	西区	2.89	2.82	2.87	2.85	-0.02
	手稲区	3.08	2.95	2.87	2.84	-0.03
18歳以下の子ども有無	有	3.04	2.90	2.92	2.88	-0.04
	無	2.97	2.88	2.92	2.82	-0.10

● 3.調査結果の分析 | 基本目標の深掘分析

基本目標への評価悪化に対し、2つの目指す姿の評価はともに改善した。ただ、目指す姿(1)の評価は0.00点で、約6割の人が「どちらとも言えない・分からない」と回答した。目指す姿(2)は、-0.04点でマイナス評価であるものの3割超の人がプラスに評価した。また、いずれの目指す姿も6割以上の人が「重要」と回答したが、特に基本目標で評価を下げた中高年・女性が重視する傾向。

基本目標⑥深掘分析 | 目指す姿

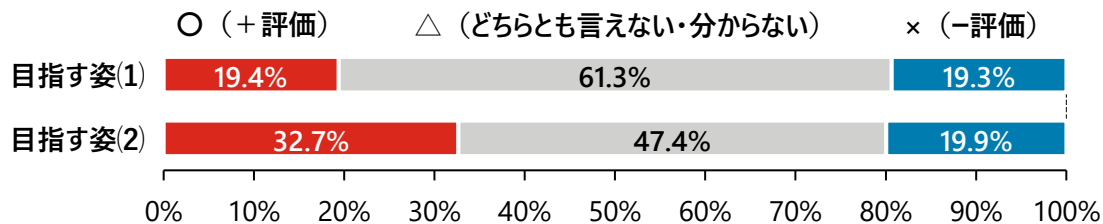
①市民評価推移

目指す姿(1)
年齢・性別・障がいの有無・国籍・民族・宗教・文化などの違いを互いに認め合い、尊重し合う、平和で包摂的な社会となっている。

目指す姿(2)
世代や国籍を超えた交流や趣味を通じた交流などにより、市民のつながりが深まり、相互の信頼や協力が得られる社会が形成されている。

年度	サンプル数	評価点	R7-R6	評価点	R7-R6
R4	3,292	0.00		-0.05	
R5	2,013	-0.05		-0.05	
R6	2,494	-0.04		-0.07	
R7	6,862	0.00	0.04	-0.04	0.03

②R7市民評価回答割合



(再掲) 目指す姿の概況

- ・ 目指す姿(1)「年齢・性別・障がいの有無・国籍・民族・宗教・文化などの違いを互いに認め合い、尊重し合う、平和で包摂的な社会となっている。」、目指す姿(2)「世代や国籍を超えた交流や趣味を通じた交流などにより、市民のつながりが深まり、相互の信頼や協力が得られる社会が形成されている。」のいずれも評価はR4比では変化がないが、R6比ではいずれも改善傾向
- ・ 目指す姿(1)(2)ともに事業進捗は70%以上であり目安値を上回っており、かつ目指す姿(1)(2)の前年比・R4年比ともに評価があがっている。事業進捗と目指す姿の評価結果に乖離はない。

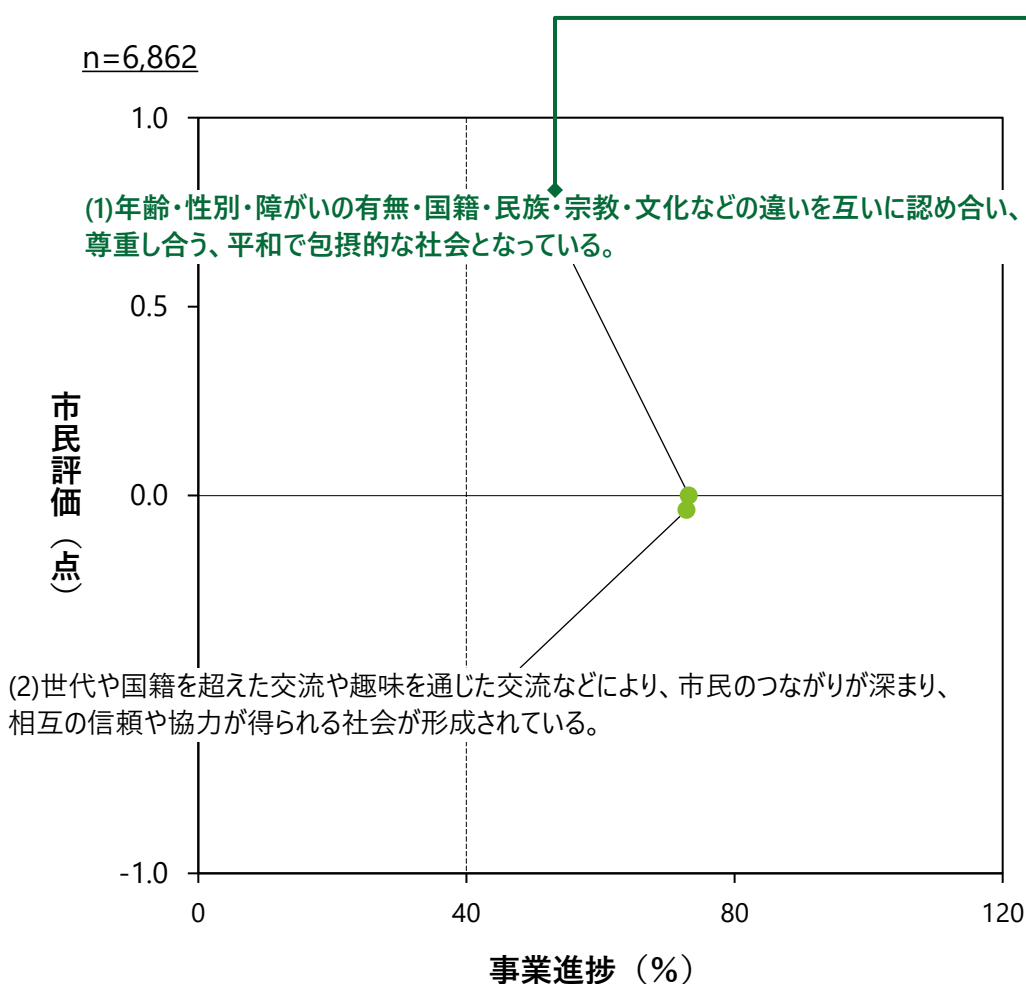
③重要度に対する回答割合 (R7)

R7調査結果		サンプル数	目指す姿(1)	目指す姿(2)
全体		6,862	69.6%	60.6%
年代	10代	218	79.4%	72.9%
	20代	674	66.2%	59.2%
	30代	1,169	62.7%	56.2%
	40代	1,414	65.2%	59.1%
	50代	1,490	67.0%	56.7%
	60代	1,093	70.9%	58.2%
	70代以上	804	76.9%	66.3%
性別	男性	2,985	64.5%	59.0%
	女性	3,581	71.0%	59.7%
居住区	中央区	959	65.9%	56.1%
	北区	925	69.1%	61.6%
	東区	887	67.6%	57.8%
	白石区	659	67.2%	56.9%
	厚別区	425	64.5%	55.5%
	豊平区	817	69.6%	63.8%
	清田区	401	67.6%	59.1%
	南区	536	70.3%	62.1%
	西区	803	67.4%	64.2%
	手稲区	450	70.2%	58.3%
18歳以下の 子供	有	2,172	66.4%	61.1%
	無	4,690	68.7%	58.4%

● 3.調査結果の分析 | 基本目標の深掘分析

目指す姿(1)は順調領域であるものの、約6割の人が「どちらとも言えない・わからない」と評価している一因として、目指す姿に紐づく事業の多くが障がい者・孤立状態にある女性など事業のターゲットとなる層が限定されているため、事業進捗が良くても、市民が事業の取組や進捗の成果を認識しづらい状況になっていることが考えられる。

基本目標⑥深掘分析 | 事業進捗 (1/2)



多文化共生推進事業、障がい者協働事業、ひきこもり対策推進事業の進捗がマイナス進捗となっている。その他、8割以上の事業で進捗が目安値を超えているが、障がい者・孤立状態にある女性への支援事業など、対象者が限定される事業が多くを占めている。市民評価は「どちらとも言えない・わからない」が6割を占め、0.00という市民評価となっている。

事業名	事業進捗
多文化共生推進事業	-21.0%
ユニバーサル推進事業	35.7%
平和都市宣言普及啓発事業	108.9%
アイヌ文化交流センターリフレッシュ事業	78.0%
アイヌ伝統文化振興事業	78.0%
共同利用館後継施設検討事業	100.0%
人権啓発事業	58.3%
性的マイノリティ支援事業	100.0%
困難を抱える女性支援事業	114.5%
障がい者スポーツ大会開催事業	52.9%
意思疎通支援事業	43.2%
障がい者コミュニケーション促進事業	75.0%
福祉のまちづくり推進事業	36.8%
民間公共的施設バリアフリー補助事業	17.4%
元気ショップ運営事業	533.3%
障がい者協働事業	-58.8%
障がい者相談支援事業	42.3%
障がい者就労支援推進事業	111.4%
元気ジョブアウトソーシングセンター運営事業	35.5%
ひきこもり対策推進事業	-33.1%
障がい者DXリスクリソング事業	28.8%

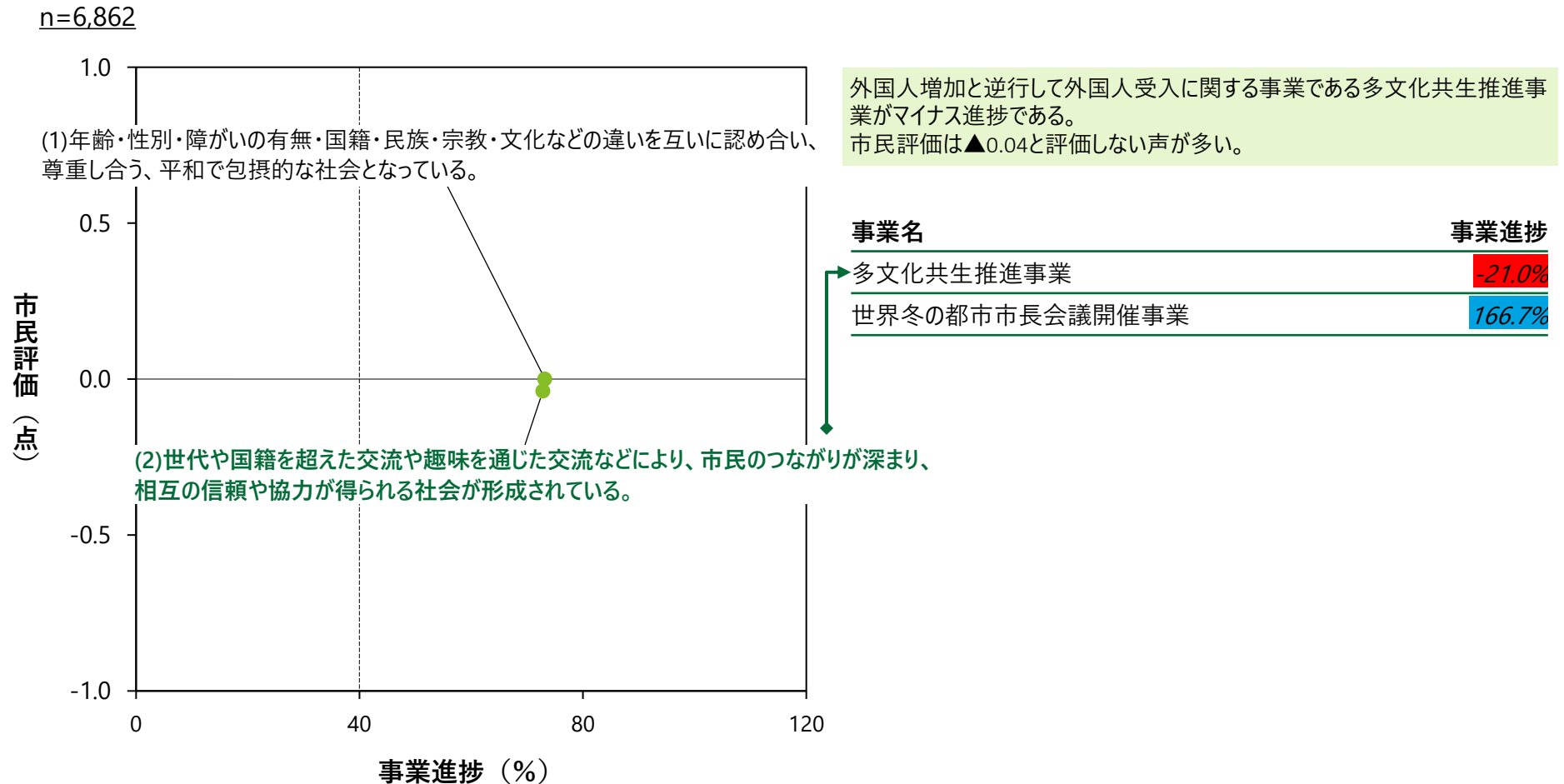
(再掲) 目指す姿の概況

- 目指す姿(1)(2)ともに事業進捗は70%以上で目安値を上回っており、かつ目指す姿(1)(2)の前年比・R4年比ともに評価があがっている。事業進捗と目指す姿の評価結果に乖離はない。

● 3.調査結果の分析 | 基本目標の深掘分析

目指す姿(2)は、事業進捗は目安値を上回っているものの、市民評価は（今回改善しているが）▲0.04とマイナス評価となっている。目指す姿(1)にも紐づく多文化共生推進事業（外国籍市民向け事業）の進捗がマイナスであり、市民評価改善には当該事業の進捗詳細の把握も必要だと考えられる。

基本目標⑥深掘分析 | 事業進捗（2/2）



(再掲) 目指す姿の概況

- 目指す姿(1)(2)ともに事業進捗は70%以上で目安値を上回っており、かつ目指す姿(1)(2)の前年比・R4年比ともに評価が上がっている。事業進捗と目指す姿の評価結果に乖離はない。

● 3.調査結果の分析 | 基本目標の深掘分析

ジェンダーという観点では全国的な傾向と概ね合致しているほか、他都市の類似設問に対する市民評価も伸び悩んでいる傾向が見て取れた。貴市においては、女性の家事育児の「支え合い」による負担軽減など、ジェンダーに関する意識が貴市で高まっていない実情も確認することができ、基本目標の評価悪化につながっている可能性がある。

基本目標⑥深掘分析 | 外部環境（ジェンダー）

全国・他都市の動向

ジェンダーに関する国民意識調査／動向

- R6調査では社会全体における男女の地位が「平等」と答えた割合はR4から微増傾向（R4：14.6%、R6：16.7%）。年代が上がるにつれ、その割合が低下する傾向にある。
- 女性の方が育児・介護・家事に時間を費やしていることが、職業生活における女性の活躍が進まない要因の一つだと認識する人の割合がR4からR6で増加傾向。（R4：38.0%、R6：41.4%）

出所：[「男女共同参画社会に関する世論調査」（令和6年9月調査）概略版](#)

他都市でも市民評価が伸び悩んでいる傾向

- 浜松市では、「年齢や性別などにかかわらず誰もが活躍できていると感じるか。」という設問に対し、47.7%の人が「どちらとも言えない」または「分からない」と回答。また、17.5%が肯定的に、33.7%が否定的な回答をしており、15ポイント以上の差があった。
- 貴市目指す姿への評価と比較すると、「どちらとも言えない」または「分からない」の割合は低いものの、否定的な回答割合が多かった。

出所：[浜松市総合計画基本計画に係る市民意識調査（アンケート）](#)

- 仙台市のR7調査では、8つのチャレンジプロジェクト（貴市の基本目標に相当）のうち「心の伴走プロジェクト：一人ひとりが尊重され、安心して暮らすことができるまちである。」への市民評価はR5からR7にかけて3年連続で8項目中7番目、評価点も悪化傾向*にある。

*4点満点中 R5:2.66→R6:2.64→R7:2.61

- 「性別、国籍、障害の有無などに関わらない暮らしやすい環境づくり」に関する施策評価では、男性よりも女性の方が評価が高かった。

出所：[アンケート調査報告書](#)

貴市の動向

ジェンダーに関する貴市意識調査

- R3の調査によると社会全体における男女の平等感¹は10.9%に留まっており、年代が高くなるにつれてその割合が低くなる傾向にある。特に、政治の場・職場・社会通念や習慣が平等感下位3項目である。
- 政治や会社などにおける政策・方針決定に女性の参画が少ない理由として、「男性優位の組織運営」「家事・育児・介護などにおける配偶者等の家族の支援が不十分だから」「性別による男女の役割分担意識が強いから」が上位に挙げられる（それぞれ65.3%、48.6%、49.1%）。また、これらの項目を選択した人の割合がH28調査よりも増加している。

出所：札幌市[男女平等に関する意識について](#)

女性の家事・育児・介護などへの負担軽減策

- 札幌市ではワーク・ライフ・バランスに取り組む企業（初めての育児休業を取得した男性従業員が出た企業等）に対し、企業認証を実施。認証取得企業が増加傾向にあり、男性も育児休業取得しやすい環境が進んでいる。

出所：[sapporowlbp](#)

● 3.調査結果の分析 | 基本目標の深掘分析

多文化共生の点では、貴市を含めて全国的に在留外国人が増加するなか、全国調査では回答者の4割が外国人との付き合いが全くないと回答し、付き合いきっかけや場がないことが課題として浮かび上がっている。貴市調査においても、外国人市民のニーズとして、「日本人市民との交流の場」や「情報発信」に対するニーズが確認されている。

基本目標⑥深掘分析 | 外部環境（多文化共生）

全国・他都市の動向

世代間・多文化交流に類似の他都市市民意識調査

- 仙台市市民意識調査では「困ったときに相談しやすく、地域で孤立せずに支えあいながら暮らすことができる環境づくり」の評価点がR6からR7にかけて+0.1と改善傾向にあり貴市調査と同様の傾向となっている。
- また、R7においては50代・60代にかけて他年代よりも評価点が減少し、70代以上で持ち直す傾向。貴市調査の目指す姿(2)でも同様の傾向（60代で最も落ち込む傾向）である。

出所：[アンケート調査報告書](#)

外国人の受入動向

- R7の訪日外国人旅行客数は4,268万人と過去最高を記録。また、在留外国人も同様にR7に474万人と過去最多となった。

出所：[訪日外国人旅行者数・出国日本人数 | 観光統計・白書 | 観光庁](#)、[令和7年6月末現在における在留外国人人数について | 出入国在留管理庁](#)

外国人との交流の場の不足

- 出入国在留管理庁による「外国人との共生に関する意識調査」（R5）では、「外国人との付き合いが全くない」と答えた人が41.5%で最も多数を占め、その理由に73.5%の人が「付き合い場やきっかけがないから」と回答している。

出所：[外国人との共生に関する意識調査（日本人対象） | 出入国在留管理庁](#)

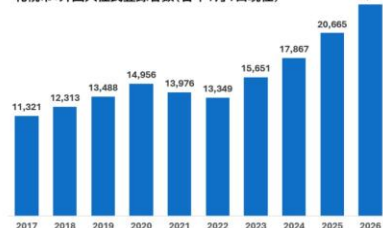
貴市の動向

外国人の受入直近動向・影響

- 在留外国人数は増加し続けており、R7は過去最高を記録した。

出所：[札幌に暮らす外国人住民 | 札幌市の外国人住民概況 | 札幌国際プラザ多文化交流部](#)

札幌市：外国人住民登録者数(各年1月1日現在)



	2022	2023	2024	2025	2026
中国	4,277	4,785	5,160	5,414	5,934
韓国	2,282	2,377	2,513	2,676	2,872
ベトナム	1,607	1,734	2,119	2,483	2,729
インドネシア	189	449	852	1,402	2,297
ミャンマー	466	601	916	1,605	2,026
ネパール	283	553	731	954	1,235
台湾	420	564	659	781	948
フィリピン	464	551	616	753	942
アメリカ合衆国	533	698	724	797	860
タイ	204	273	295	322	338

外国人市民のニーズ

- 貴市調査では、外国人市民が貴市に求めることとして、仕事についての支援に次いで、「（多言語での）情報の発信」が2番目に、「日本人市民との交流の場」が3番目に挙げられた。

出所：[令和6年度（2024年度）札幌市外国人市民意識調査](#)

NO.	カテゴリー名	回答数	%
1	やさしい日本語での情報の発信	73	14.3%
2	市役所、区役所などの施設での通訳支援	148	29.0%
3	多言語での情報の発信	149	29.2%
4	相談できる窓口の運営	28	5.5%
5	日本語学習についての情報発信、日本語教室の実施	120	23.5%
6	災害時の外国人支援、災害の知識や防災に関する情報の発信	120	23.5%
7	医療・福祉の支援	138	27.1%
8	仕事についての支援	153	30.0%
9	子育てや子どもの教育の支援	49	9.6%
10	日本人市民に各国の文化・慣習を知ってもらうための取組	60	11.8%
11	外国人市民と日本人市民が交流する場所を作る	152	29.8%
12	市政に意見を言う機会を作る	33	6.5%
13	特になし	36	7.1%
	全体	1259	

● 3.調査結果の分析 | 基本目標の深堀分析

当該基本目標の主な課題は、基本目標に対する女性や中高年をはじめとする評価の悪化・伸び悩みに加え、目指す姿の「どちらとも言えない・分からない」の多さだが、事業進捗は目安値を上回っていることから、市民評価との連動性を高めるべく、事業成果の可視化や情報発信、共生意識の醸成に向けた交流促進など、広く市民へアプローチすることが求められている。

基本目標⑥深堀分析 | 改善／悪化要因の考察および今後の方向性

改善／悪化要因・課題の考察

課題

関与機会の少なさ、成果の見えづらさ

- 事業の対象者が限定的であることから、貴市の当該分野に関する取組への参加機会や、事業進捗による便益を感じる機会がない人が多く、評価が上がりづらい状況（「どちらとも言えない・分からない」の割合が高い）にある可能性がある。
- 上記の人々にとって、既存事業の成果や進捗が見えづらいと、実情よりも個々人が持つ社会イメージや課題感にもとづく評価になりやすく、特に女性・中高年の評価に影響していることが考えられる。

悪化要因

ジェンダーギャップ課題の影響による女性評価悪化

- 貴市「男女平等に関する意識調査」では、「家事・育児・介護などにおける配偶者等の家族の支援が不十分」という理由が女性の政治・職場への参画阻止に繋がっている現状が確認される。
- ジェンダーギャップが解消されない状況から、特に女性の、過去からギャップを感じ続けている40代以上の評価が低くなっている可能性が示唆される。

悪化要因

「価値観の固定化×関与がない」による中高年の評価停滞／悪化傾向

- 一般的に、男女の役割観や多様性への社会的距離は、特に年齢が上がるほど保守的になりやすい傾向があるため、中高年の評価が停滞（または悪化傾向）している可能性がある。
- その上で上記の「機会がない、便益を感じない」状況にあると、評価が上がりづらい。

今後の方向性

幅広い認知と理解の獲得に向けた事業成果の可視化・発信

- 事業の進捗は目安値を超えていることから、事業の成果を可視化し、より情報発信を強化する。例えば、地域経済や労働力への貢献度を具体的に示し、市民生活への還元状況を見える化、女性や中高年世代に発信力のある人を起用した情報発信など、広く市民の認知・理解を醸成し、事業の進捗と市民評価を連動させるためのコミュニケーション施策を講じる。

家事・育児の継続的な男女分担体制の構築促進

- 家事・育児などにおいて男女が分担できる環境を整えるため、引き続き働き方改革に取り組む市内企業に対する支援を継続する。更に、一時的な休業取得に留まらず継続的に家事・育児に参画できる仕組みを整える。

共生の機会創出、交流促進による関わりの強化

- 外国人市民が日本人市民との交流を求めていたように、当該基本目標の事業のターゲットと、市民との交流を促進することで、市民が直接「共生」を実感できる機会を増やす。
- 地域を共に支えている意識の醸成と強化を図るべく、より幅広い市民に参加してもらえよう、参加導線の設計や心理的負担感に関する工夫を施すことが肝要であると考えられる。

基本目標⑩

強みを生かした産業が北海道の経済をけん引しているまち

● 3.調査結果の分析 | 基本目標の深掘分析

R4から3.2点台を維持し、平均評価点よりも高い評価を受けていた基本目標だったが、R7の評価は悪化（▲0.09）した。「10代」「70代以上」「白石区（居住）」以外の属性はすべてR6と比較して評価が悪化。特に経済活動を牽引する年代（40～50代）や、性別では女性、居住区に関しては東区以外すべての区で評価が落ち込んだ。

基本目標⑩深掘分析 | 基本目標

		R4 (n=3,292)	R5 (n=2,013)	R6 (n=2,494)	R7 (n=6,862)	R7-R6	
全体		3.29	3.23	3.26	3.17	-0.09	これまで3.2点台だった評価がR7は悪化（R6比-0.09点・R4比-0.12点）
年代別	10代	3.75	3.75	3.82	3.82	0.00	
	20代	3.63	3.60	3.54	3.51	-0.03	
	30代	3.26	3.23	3.26	3.25	-0.01	
	40代	3.17	3.18	3.13	3.04	-0.09	
	50代	3.23	3.24	3.12	3.03	-0.09	
	60代	3.07	2.99	2.99	2.96	-0.03	
	70代以上	3.11	3.08	3.08	3.12	0.04	
性別	男性	3.23	3.14	3.17	3.14	-0.03	
	女性	3.37	3.33	3.34	3.17	-0.17	
	その他	3.01	3.07	3.06	2.67	-0.39	
区別	中央区	3.33	3.38	3.37	3.15	-0.22	
	北区	3.35	3.24	3.23	3.12	-0.11	
	東区	3.24	3.24	3.30	3.11	-0.19	
	白石区	3.25	3.12	3.12	3.16	0.04	
	厚別区	3.37	3.24	3.29	3.18	-0.11	
	豊平区	3.30	3.24	3.26	3.20	-0.06	
	清田区	3.31	3.07	3.21	3.05	-0.16	
	南区	3.25	3.36	3.29	3.12	-0.17	
	西区	3.27	3.22	3.27	3.13	-0.14	
	手稲区	3.18	3.27	3.19	3.12	-0.07	
	18歳以下の子ども有無	有	3.32	3.24	3.32	3.17	-0.15
無		3.27	3.23	3.23	3.13	-0.10	

これまで3.2点台だった評価がR7は悪化（R6比-0.09点・R4比-0.12点）

40-50代の評価悪化

女性の評価悪化幅が男性の約6倍

東区を除くすべての区で悪化

● 3.調査結果の分析 | 基本目標の深掘分析

一方で、目指す姿ごとの評価では、5つのうち4つで評価がR6よりも改善。(2)の観光産業のみR6比で-0.01（0.36点→0.35点）で微減したが誤差の範囲とすると、当該基本目標に対する市民評価は、基本目標と目指す姿に対する評価で異なる傾向が見られた。

基本目標⑩深掘分析 | 目指す姿

	サンプル数	札幌市の食分野の産業が、新たな消費を生み出している。	R7-R6	札幌市の観光分野の産業が、新たな消費を生み出している。	R7-R6	札幌市のIT分野の産業が、新たな強みとして成長している。	R7-R6	札幌市のクリエイティブ分野の産業が、新たな強みとして成長している。	R7-R6	札幌市の健康福祉・医療分野の産業が、新たな強みとして成長している。	R7-R6
R4	3,292	0.29		0.33		-0.14		-0.11		-0.10	
R5	2,013	0.27		0.39		-0.11		-0.12		-0.12	
R6	2,494	0.23		0.36		-0.10		-0.07		-0.10	
R7	6,862	0.25	0.02	0.35	-0.01	0.02	0.12	0.03	0.10	-0.03	0.07

● 3.調査結果の分析 | 基本目標の深掘分析

なお、目指す姿ごとの重要度では、市民評価が高い(1)(2)と、(3)(4)(5)で10%以上の差が見られ、「新たな強み」の分野は評価が改善しているものの、市民がより重視しているのは「食」「観光」産業であることが確認された。

基本目標⑩深掘分析 | 目指す姿

重要度に対する回答割合 (R7)

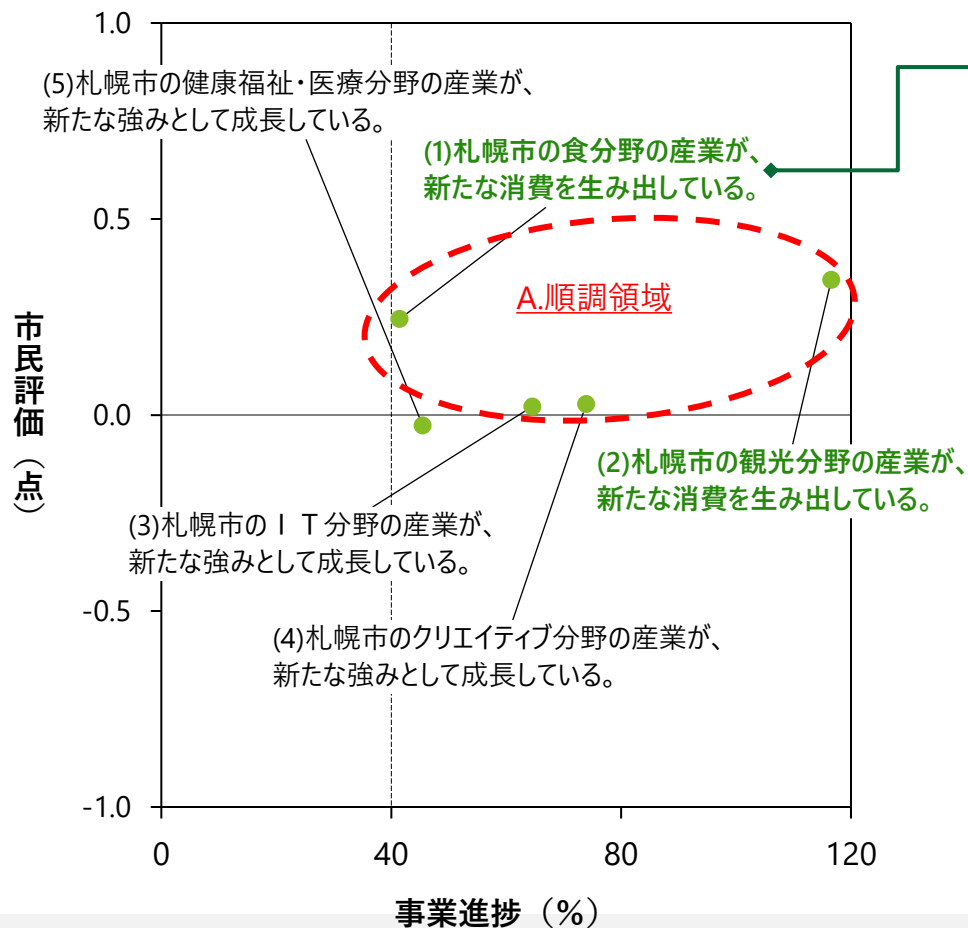
		サンプル数	(1)札幌市の食分野の産業が、新たな消費を生み出している。	(2)札幌市の観光分野の産業が、新たな消費を生み出している。	(3)札幌市のIT分野の産業が、新たな強みとして成長している。	(4)札幌市のクリエイティブ分野の産業が、新たな強みとして成長している。	(5)札幌市の健康福祉・医療分野の産業が、新たな強みとして成長している。
全体		6,862	65.3%	63.9%	49.0%	48.0%	53.0%
年代別	10代	218	72.5%	72.5%	54.6%	52.3%	44.5%
	20代	674	67.7%	64.8%	47.5%	46.7%	45.8%
	30代	1,169	70.8%	65.4%	44.8%	47.3%	47.8%
	40代	1,414	69.0%	64.2%	48.2%	50.4%	52.5%
	50代	1,490	66.0%	63.0%	46.3%	47.8%	52.6%
	60代	1,093	62.1%	62.3%	46.8%	47.7%	53.9%
	70代以上	804	59.7%	63.3%	55.6%	47.9%	60.8%
性別	男性	2,985	62.9%	62.9%	51.1%	47.1%	47.5%
	女性	3,581	69.1%	65.4%	45.4%	48.9%	55.9%
区別	中央区	959	69.9%	59.8%	48.0%	52.0%	51.0%
	北区	925	66.5%	64.3%	48.4%	52.0%	53.2%
	東区	887	66.3%	60.2%	45.8%	46.4%	50.5%
	白石区	659	64.8%	64.7%	46.8%	47.7%	52.5%
	厚別区	425	64.6%	61.6%	45.5%	44.3%	48.4%
	豊平区	817	65.4%	64.9%	49.2%	49.6%	48.5%
	清田区	401	64.5%	63.3%	47.9%	47.4%	47.6%
	南区	536	67.6%	67.6%	49.9%	49.1%	54.1%
	西区	803	69.2%	67.4%	51.5%	51.5%	56.5%
	手稲区	450	68.1%	66.4%	48.9%	47.1%	55.7%
	18歳以下の子供	有	2,172	67.9%	65.9%	47.1%	48.8%
無		4,690	65.8%	63.2%	48.4%	48.0%	53.0%

● 3.調査結果の分析 | 基本目標の深掘分析

5つ中4つの目指す姿が順調領域内。(1)はB.期待先行/外部要因恩恵領域に近いが、一般的に「食」を札幌・北海道の強みと認識する人が多く、事業進捗だけでなく市民の期待やイメージにも下支えされたと考えられる。(2)は評価・事業進捗ともに順調であるが、事業面では、目標や予算の再点検や評価が悪化している個別属性（中央区など観光の中心部）への対応が求められる。

基本目標⑩深掘分析 | 事業進捗

n=6,862



目指す姿(1)は、市民評価も高く、かつ事業進捗も目安値通りに推移中。一方、ややB.期待先行/外部要因恩恵領域に近い。現在の事業進捗を踏まえると、市民の期待やイメージが先行している可能性が示唆される。また、下記赤字は進捗が目安値未達事業であるが、輸出強化やブランド推進事業等、「ブランディング」や「魅力・付加価値創出」に関するものが多い傾向にあり、共通した課題を抱えている可能性がある。

事業名 (予算額の大きい順)	事業進捗
札幌市農業経営安定強化事業	85.7%
食の輸出力強化支援事業	6.7%
札幌未来牽引企業創出事業	7.7%
食の輸出拡大支援事業	58.8%
さとらんど魅力アップ事業	69.9%
美食のまち・さっぽろブランド推進事業	30.1%
鳥獣被害防止対策事業	95.0%
(仮称) さっぽろ都市農業振興基本計画策定	-22.2%

目指す姿(2)は、進捗116.6%と目標値を既に達成。市民評価も当該基本目標の目指す姿の中で最高の0.35点であり、順調領域。一方、200%以上の進捗の事業も多く、目標や予算設定の適切性は点検の余地がある。また、中央区などの評価悪化を踏まえ、「共生」の観点での市民理解醸成や、観光へのイメージ改善に向けた事業が不足している可能性がある。

事業名 (進捗順に一部抜粋)	事業進捗
円山動物園おもてなし事業	478.0%
さっぽろ雪まつり事業	442.0%
付加価値の高い観光コンテンツ創出事業	330.8%
アドベンチャーツーリズム推進事業	330.8%
さっぽろホワイトイルミネーション事業	309.4%
観光客受入環境整備事業	212.2%

(再掲) 目指す姿の概況

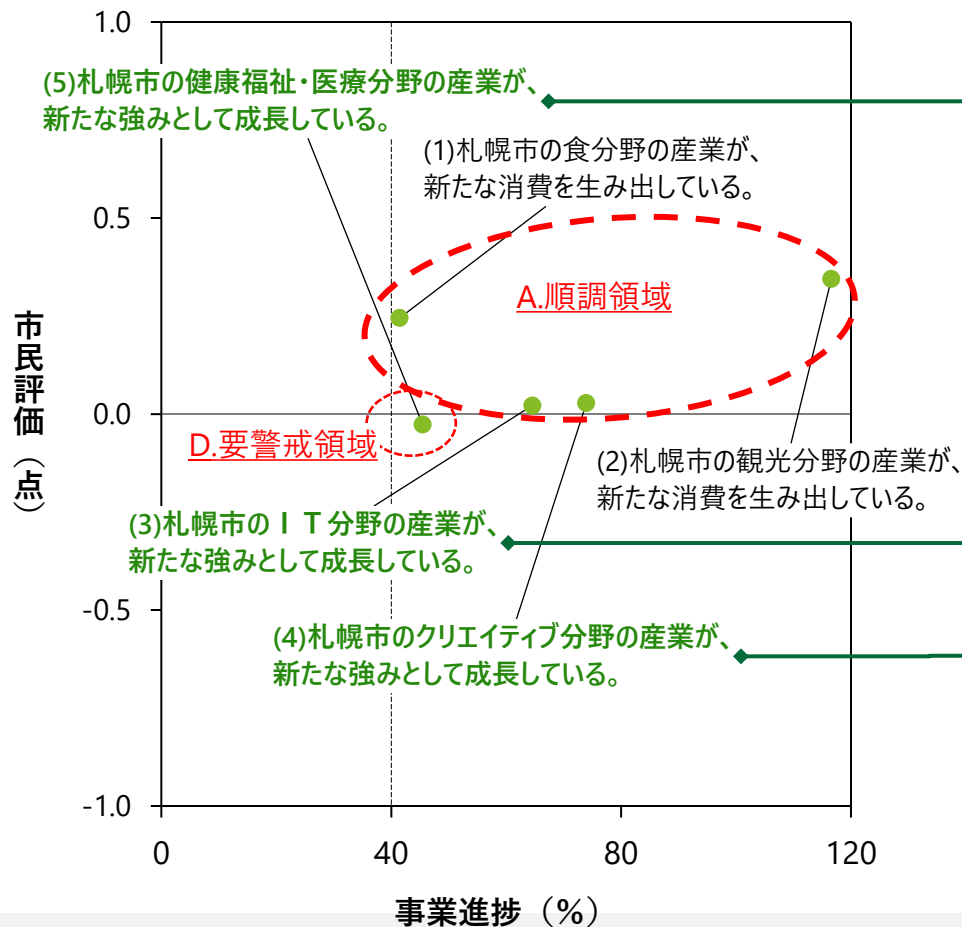
- 前回調査よりも微減 (-0.01点) した目指す姿(2)以外は、すべて前回調査よりも評価が改善した。特に(3)(4)(5)は、+0.07~0.12点と改善した。

● 3.調査結果の分析 | 基本目標の深掘分析

(3)(4)は、今回市民評価がR6のマイナスからプラス評価に改善し順調領域に。全国的なトレンド領域でもあるため、貴市の強みとして市民評価を確立させることが望ましいと考えられる。一方(5)は、わずかに要警戒領域に入っており、市民評価はR6から改善しているものの、事業の進捗が市民評価につながらない可能性に留意が必要である。

基本目標⑩深掘分析 | 事業進捗

n=6,862



目指す姿(3)(4)は、今回市民評価がR6のマイナスからプラス評価に改善。事業進捗も目安値を上回り順調領域に入った。事業でもカバーしているような半導体やDXをはじめ、AI、量子コンピューティング、コンテンツ産業など全国的なトレンド領域でもあるため、継続的に事業推進を図りながら、貴市の強みとして市民評価の確立を目指すことが望ましいと考えられる。

事業名 (予算額の大きい順から一部抜粋)	事業進捗
半導体関連産業集積促進事業	110.0%
ITイノベーション推進事業	110.0%
札幌未来牽引企業創出事業	7.7%
新製品開発・販路開拓支援事業	111.3%
海外展開支援事業	51.0%
中小企業DX推進事業	2.7%
IT人材確保育成事業	48.7%
スマートシティ推進事業	75.0%

事業名 (全4事業)	事業進捗
首都圏シテプロモート推進事業	96.2%
札幌未来牽引企業創出事業	7.7%
デザイン産業振興事業	96.0%
コンテンツ産業振興事業	96.0%

目指す姿(5)は、わずかに要警戒領域に入っており、市民評価はR6から改善しているものの、事業の進捗が市民評価につながらない可能性に留意が必要である。

事業名 (全2事業)	事業進捗
バイオ企業等育成支援事業	45.5%
バイオ産業成長促進事業	45.5%

(再掲) 目指す姿の概況

- ・ 前回調査よりも微減 (-0.01点) した目指す姿(2)以外は、すべて前回調査よりも評価が改善した。特に(3)(4)(5)は、+0.07~0.12点と改善した。

● 3.調査結果の分析 | 基本目標の深掘分析

目指す姿ごとの評価は概ね順調領域に入っていることから、基本目標の評価悪化に焦点を当てて外部環境を整理した。全国・他都市においても経済不安や物価高に対する不満は拡大しているほか、目指す姿(2)の観光分野における市民の生活の質の確保が本格議論されるなど、当該基本目標における市民評価は全国的な傾向やトレンドが反映されたものであることが示唆された。

基本目標⑩深掘分析 | 外部環境（経済・産業および地域の受け止め）

全国の動向

全国的な経済不安の拡大

- R7の「社会意識に関する世論調査」（内閣府）では、現在の社会の満足していない点への回答*で、「経済的なゆとりと見通しが持てない」を挙げた人の割合が63.2%と、R6から引き続き最も高く2番目に高かった項目（子育てしにくい、27.5%）と2倍以上の差をつけた。*複数回答質問
- 都市規模別に見ると、「経済的なゆとりと見通しが持てない」、「子育てしにくい」を挙げた人の割合は大都市で高くなった。
出所：[社会意識に関する世論調査（令和7年10月調査） | 世論調査 | 内閣府](#)

地域経済に対する他都市市民の評価傾向

- 福岡市の調査では、都市環境への不満点の1番（全18項目）に「物価」を挙げ、女性は全項目中1位（男性は2位）だった。
出所：[福岡市 市政に関する意識調査\(P25\)](#)
- 仙台市の調査では、基本計画で掲げている「経済や観光の魅力があるまちである。」への現状評価が令和5年度から年々悪化している。
出所：[令和7年度「仙台市市民意識調査」\(P15\)](#)

観光と市民生活の両立の課題深刻化

- R8年1月に行われた国交省の政策審議会では、観光客の受入れと住民生活の質の確保との両立のための施策により重点が置かれる考え方が強調されたほか、オーバーツーリズム対策の徹底に向けた国際観光旅客税の引上げ・財源確保が行われることとなった。
出所：[交通政策審議会 第54回観光分科会](#)

貴市の動向

「新たな強み」産業の支持・機運醸成

- 札幌市では2016年より開催されているNoMaps（テック・エンタメ・クリエイティブイベント）が年々規模を拡大し、市外でも活動を展開。2024年には7.5万人以上が来場するなど産業振興に寄与している。
出所：[NoMaps](#)
- IT・クリエイティブ分野では、大和ハウスプレミストームにて世界的なeスポーツの国際大会である「ALGS Championship」の3年連続開催が決定。1年目（R7）は延べ3万4千人が来場し、13億円の経済効果を創出した。
出所：[Apex世界大会、3年連続で札幌開催へ 市長「eスポーツ聖地に」](#)
[\[北海道\]：朝日新聞](#)

近年の経済動向を踏まえた貴市取組

- 札幌市のR8年度当初予算案は、一般会計の総額が過去最高を更新する1兆3185億円となった。物価高や人件費高騰などを受けて歳出が膨らんでいる。
出所：[読売新聞](#)
- 札幌市では、R8年4月より宿泊税の導入が決定した。観光振興をはじめとする各種施策に充当される予定である。
出所：[宿泊税の導入 / 札幌市](#)

● 3.調査結果の分析 | 基本目標の深掘分析

基本目標10は、基本目標に対する評価は悪化したものの、それぞれの目指す姿に対する評価は改善傾向にある。特にIT、クリエイティブ、スタートアップなどの分野における評価は改善した。一方で観光分野の評価は微減したことから、観光産業の振興と市民生活の両立が求められている。改善傾向にある産業は、今後も札幌市の強みとして定着させるための取組が求められる。

基本目標⑩深掘分析 | 改善／悪化要因の考察および今後の方向性

改善／悪化要因・課題の考察

悪化要因

全国的な経済不安による基本目標の評価悪化

- ・ 目指す姿の個々の産業への評価と、基本目標の経済全体に対する評価のズレは、幅広い属性で起きていたことや、特に女性や40-50代の評価悪化が際立ったことなどから、全国・他都市と同様、日常生活全般における先行きが見通しづらい経済不安や不満感によるものと考えられる。

課題

食＝期待・イメージの下支え／観光＝共生への対応不足

- ・ 重要度・市民評価点が高い食・観光分野は、事業の面から、食は市民の期待やイメージによる下支えからの脱却、観光は中央区など中心部の評価改善および目標などの再点検が今後の課題だと示唆された。

改善要因

市内の「新たな強み」産業の盛り上がり

- ・ R6より評価が改善した市内のITやクリエイティブ産業などは、全国的なトレンド・追い風も受けつつ、市民に影響力のあるイベントの開催や様々な官民一体での施策推進を通じ、着実に「新たな強み」として認知され始めていると考えられる。

今後の方向性

事業成果の発信と家計への還元の見える化

- ・ 経済不安や不満を少しでも緩和し、市民評価改善につなげていくためには、最終的に貴市事業（予算・税金）がどのように家計に還元されているのかを可視化し、市民に「伝える」コミュニケーションを強化することが求められる。
- ・ 特に産業全体や企業向けの事業は、その成果やメリットを市民が直接感じづらいため、それらの情報を生活者目線で丁寧に発信し、市民の理解醸成を図りながら事業を進めることが肝要である。
- ・ 成果発信は、個々の事業を「点」ではなく、基本目標のメッセージやストーリーにつながるよう「面」で発信するのが望ましい。

食・観光関連事業の強化と新たな強み産業の定着

- ・ 重要度・市民評価ともに高い食・観光分野は、食は事業の進捗を通じた「順調領域内での安定化」を、観光は市民理解や観光客と市民の共生に向けた「事業の整理・再構築」により、市民の理解を得ていくことが求められる。
- ・ 「新たな強み」として市民評価が改善傾向にあるIT、クリエイティブ、健康福祉・医療分野は、今後もプラスの評価を得られるよう、市民向けの施策実施などを通じ、その認知を強化していくことが重要だと考えられる。

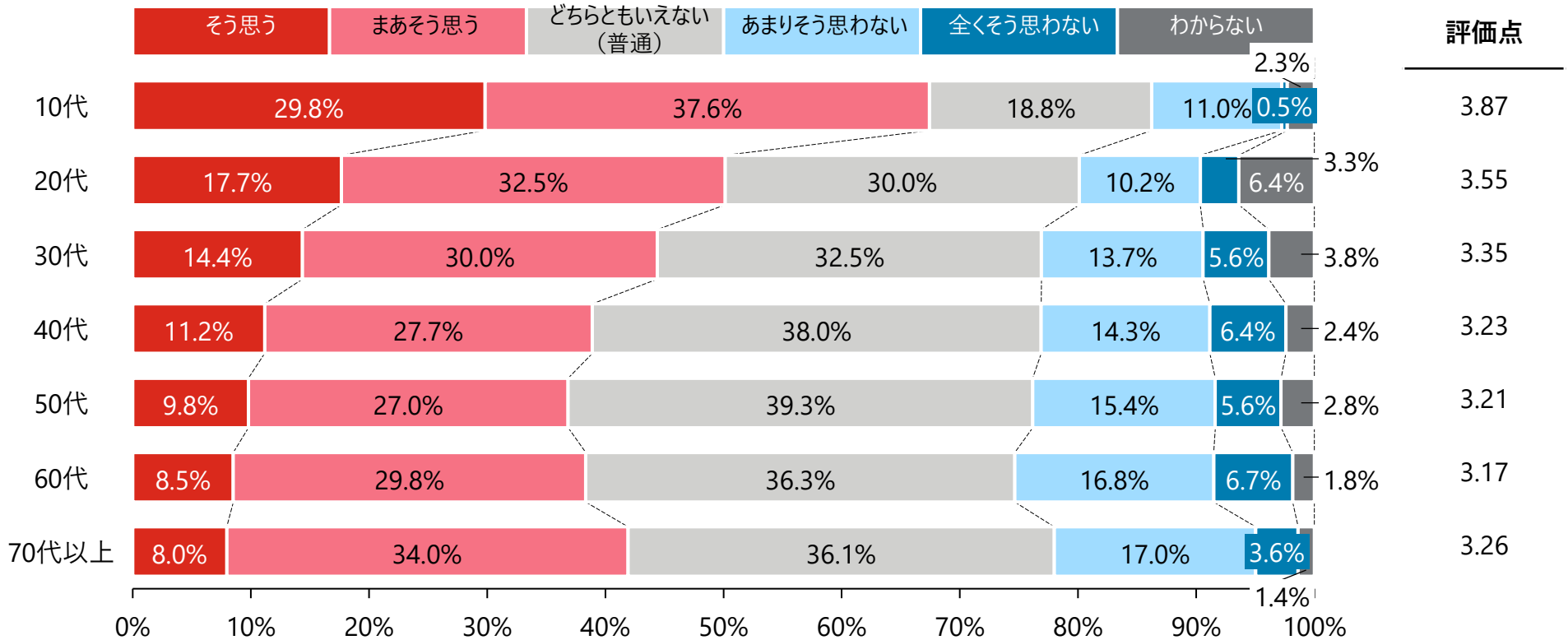
基本目標⑭

四季を通じて誰もがスポーツを楽しむことができるまち

● 3.調査結果の分析 | 基本目標の深掘分析

基本目標⑭の実現度合いに関して、回答者の年代が上がるにつれて「実現していると思う」「まあ実現していると思う」と答える割合は下がり、50代で最も落ち込み60代以降で再度高まっている。仕事や育児の現役世代である30代～50代で評価が低い状況にあると言える。

基本目標⑭深掘分析 | 基本目標



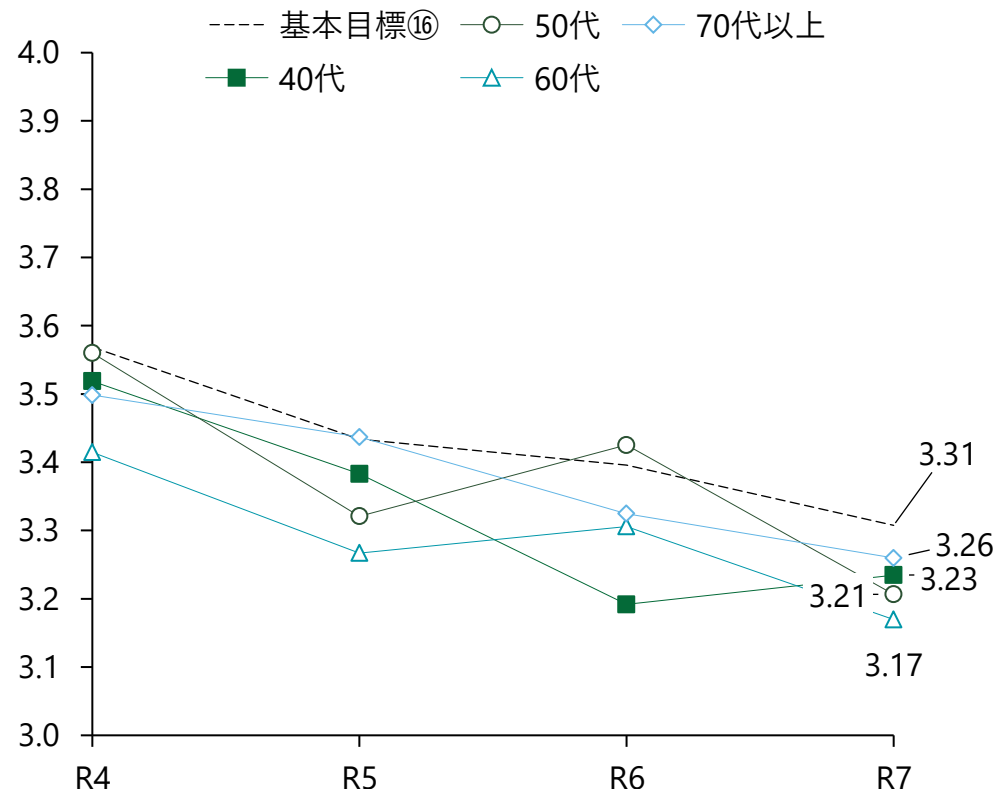
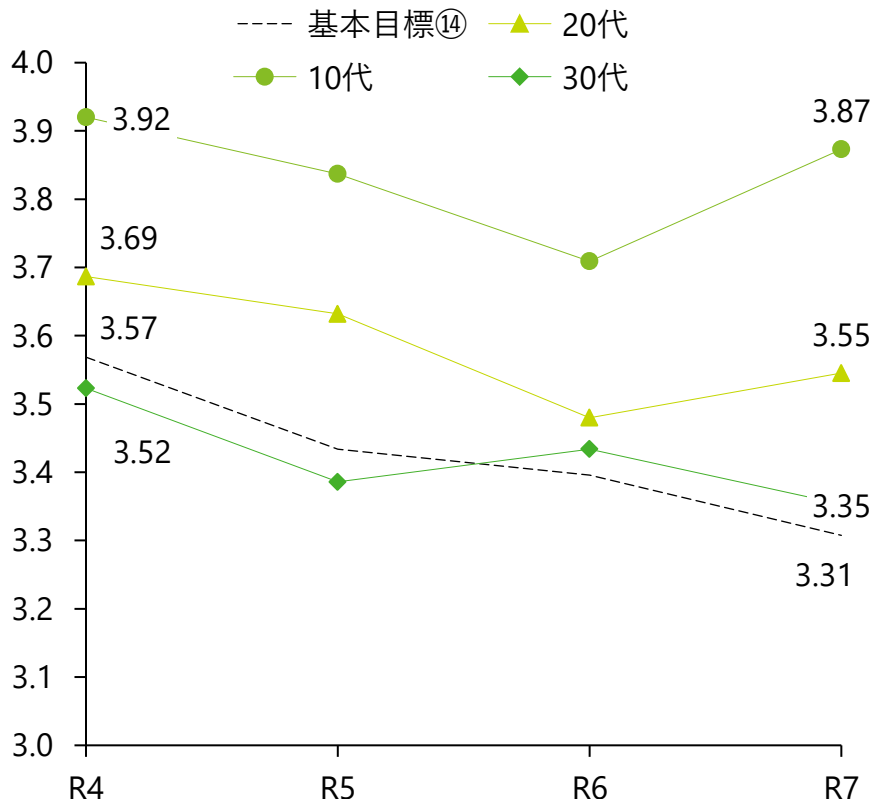
(再掲) 基本目標の概況

- R5で悪化し、その後は横ばいとなり、R7で再度悪化（前年比▲0.09）
- 年代別では、10代(3.87)・20代(3.55)が高く、60代(3.17)が低い。経年変化を見ると、50代は前年比▲0.22（R4比でも▲0.35）、60代は前年比▲0.14（R4比でも▲0.24）と悪化
- 区別では、豊平区（3.39）が高いものの、他区同士の差は小さい。経年変化を見ると、南区は前年比▲0.24（R4比でも▲0.40）と悪化が顕著
- 性別では、差は小さい。経年変化を見ると、R4比・前年比で男女ともに悪化。特に、男性はR4比で▲0.3と悪化が原著
- 18歳以下の子どもの有無別では、有がやや高い。経年変化を見ると、R4比・前年比で有・無ともに悪化

3.調査結果の分析 | 基本目標の深掘分析

基本目標⑭の実現度合いの経年変化を見ると、10代・20代は平均の市民評価よりも高く推移しR7では評価が改善している。一方、30代以上では平均の市民評価を下回る年があり、40代を除きR7は前年比で評価が悪化している。特に50代はR6から急激に評価が下がっている。

基本目標⑭深掘分析 | 基本目標



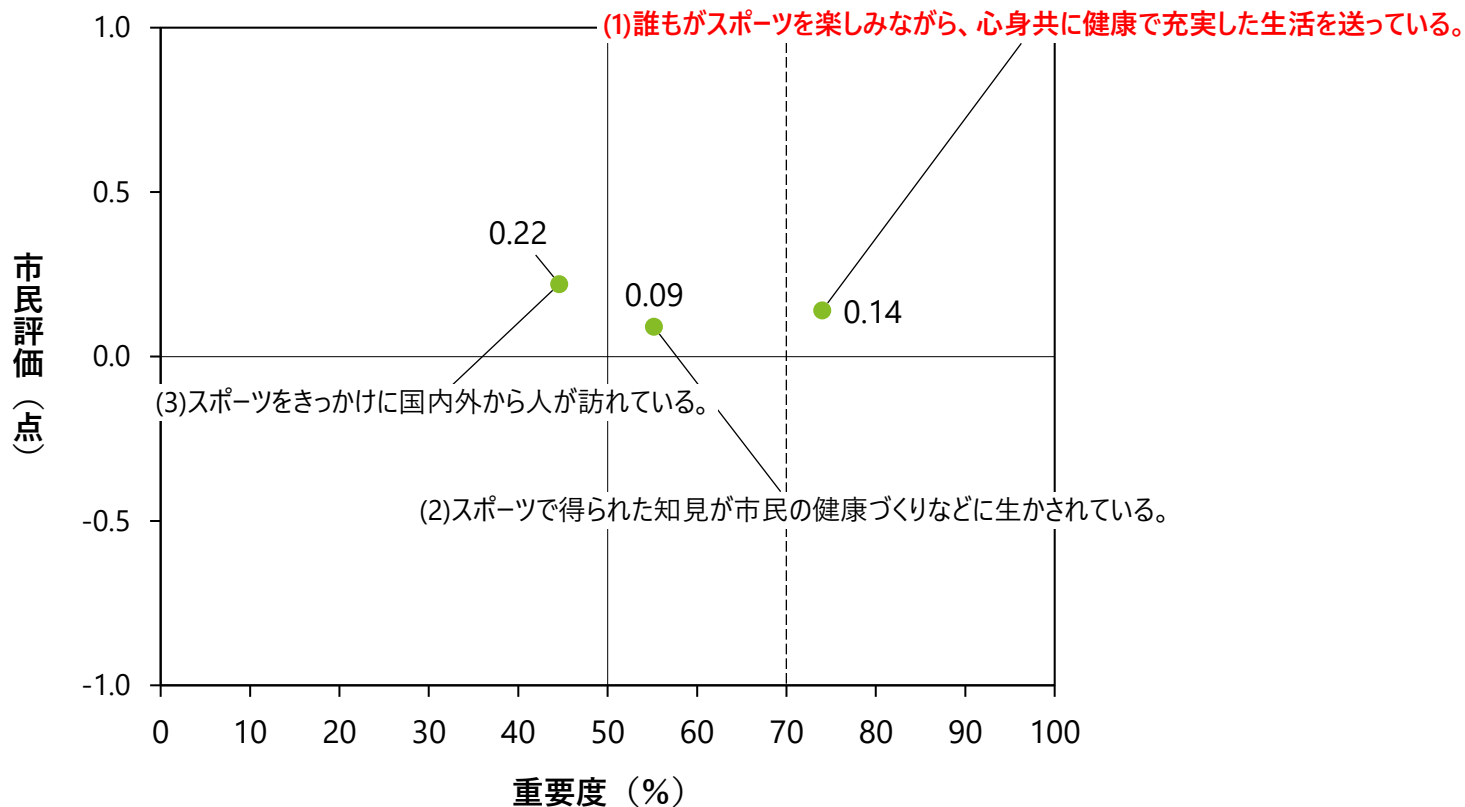
(再掲) 基本目標の概況

- R5で悪化し、その後は横ばいとなり、R7で再度悪化（前年比▲0.09）
- 年代別では、10代(3.87)・20代(3.55)が高く、60代(3.17)が低い。経年変化を見ると、50代は前年比▲0.22（R4比でも▲0.35）、60代は前年比▲0.14（R4比でも▲0.24）と悪化
- 区別では、豊平区（3.39）が高いものの、他区同士の差は小さい。経年変化を見ると、南区は前年比▲0.24（R4比でも▲0.40）と悪化が顕著
- 性別では、差は小さい。経年変化を見ると、R4比・前年比で男女ともに悪化。特に、男性はR4比で▲0.3と悪化が原著
- 18歳以下の子どもの有無別では、有がやや高い。経年変化を見ると、R4比・前年比で有・無ともに悪化

3.調査結果の分析 | 基本目標の深掘分析

各目指す姿の重要度は、(1)が最も高く70%以上が重要と答え、(3)は50%未満の重要度となった。市民の関心は、スポーツによる観光客の誘致や経済活性化よりも自身の健康に直結する目指す姿でより高い傾向にあることが伺える。一方、市民評価は(1)(2)が(3)と比較して低くなっており、重要度に応じた市民評価改善が必要とされる。

基本目標⑭深掘分析 | 目指す姿



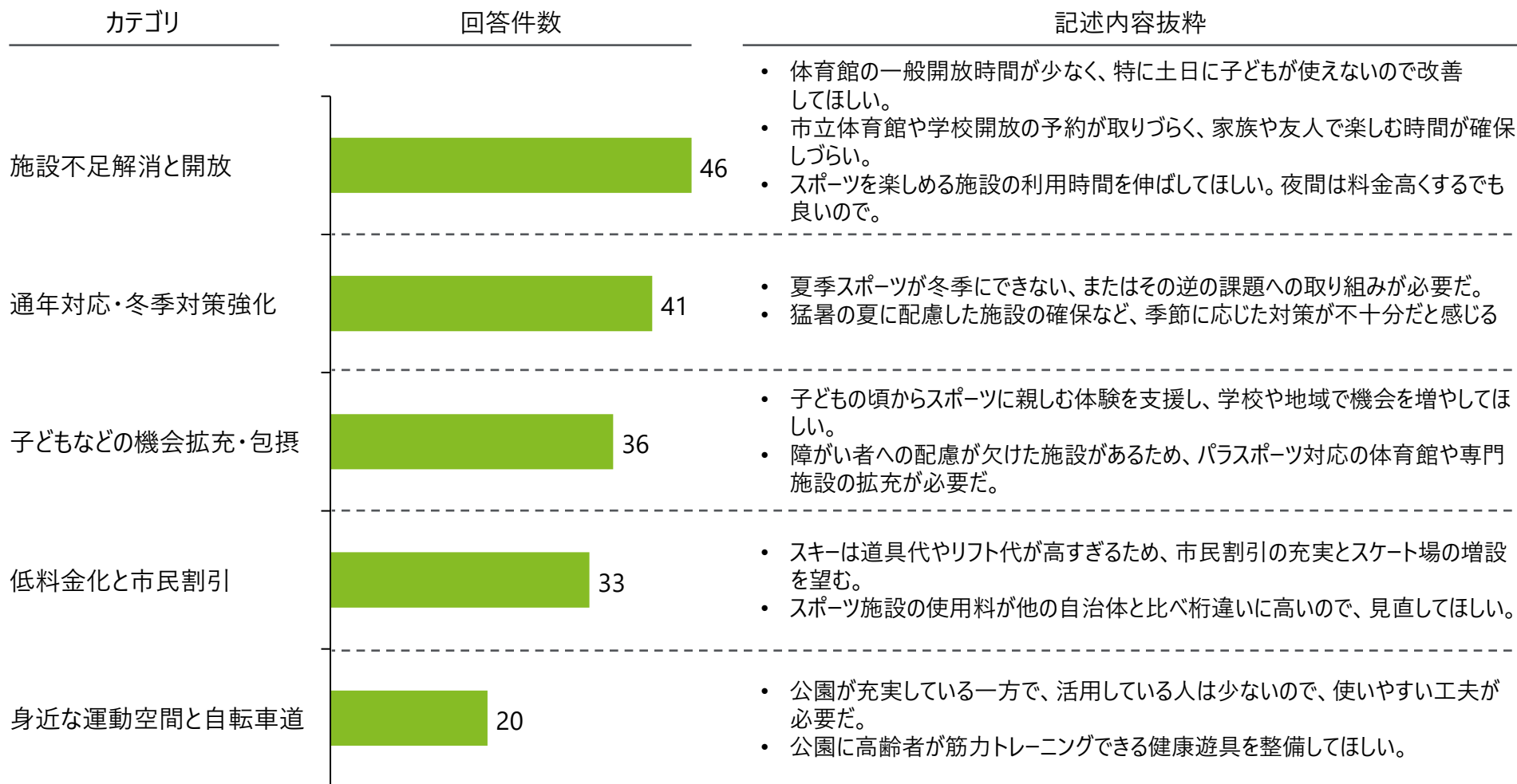
(再掲) 目指す姿の概況

- (3)は高評価を維持 (R7は+0.22)、それ以外の目指すは中立的な評価が継続
- いずれの目指す姿も、10代がより改善
- 重要度は(1)が74.0%と最も高く、(3)が44.6%と最低。差は約30%。属性別では、(3)は10代が全体より10%以上の上振れ
- 事業進捗平均は91.1%と目安値 (40%) を上回る水準
- 目指す姿別の事業進捗平均は、全て目安値 (40%) を上回る水準

3.調査結果の分析 | 基本目標の深掘分析

また、その中でも施設不足解消や施設開放時間の是正、季節に関わらずスポーツ可能な環境の強化、子ども・障がい者へのスポーツ機会拡充、スポーツにかかる料金是正、身近な運動空間の強化などに関心があることが分かる

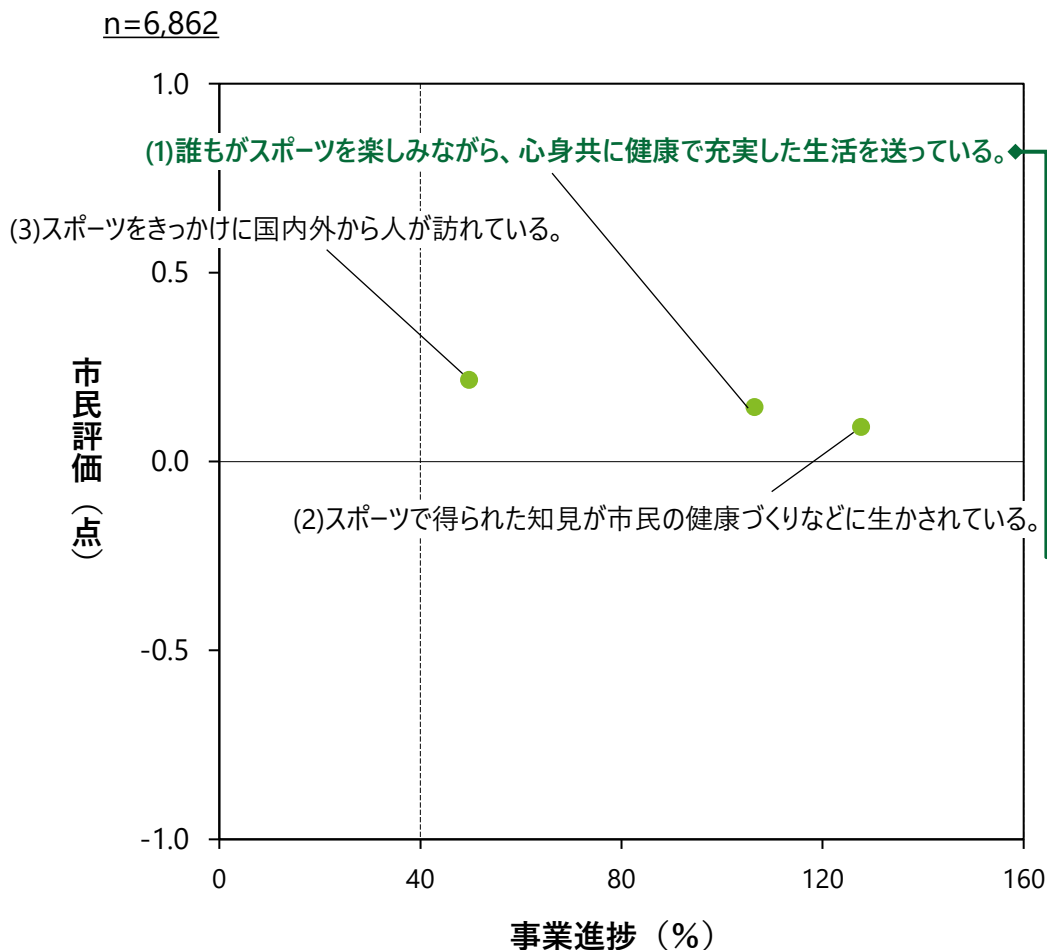
基本目標⑭深掘分析 | 市民の自由記述回答



● 3.調査結果の分析 | 基本目標の深掘分析

総じて事業進捗・市民評価ともにどの目指す姿も良好であるが、市民の関心事だと考えられる「日常的な運動機会・健康維持・(スポーツへの)モチベーション維持」に必要な施設の整備やスポーツの魅力向上に関連する事業の進捗が遅れており、基本目標への市民評価に影響を与えた可能性が示唆される。

基本目標⑭深掘分析 | 目指す姿



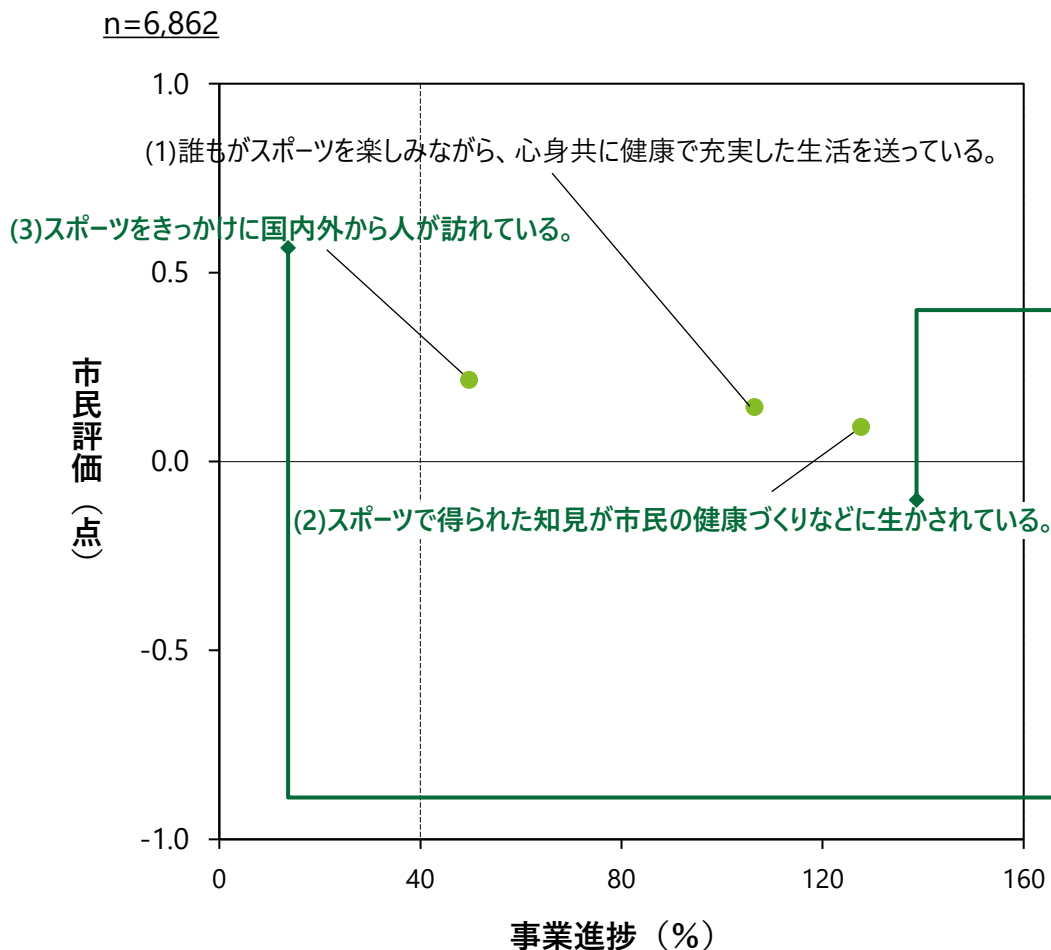
- 目指す姿(1)(2)(3)すべてで事業進捗は目安値を上回っているが、事業進捗が良いほど市民評価が低くなっている
- スポーツ施設整備費補助事業等スポーツ施設数増加・整備にかかる事業は進捗が目安値を下回り、事業進捗の改善が必要とされる
- 学校施設等開故事業では、市内小中学校の体育館を開放してスポーツの場を確保しているものの、開放時間が平日に限られるなど、特に社会人のライフスタイルに合っていない可能性がある。

事業名	事業進捗
障がい者スポーツセンター調査検討事業	0.0%
アスリート発掘・育成・活用事業	330.0%
みるスポーツ推進事業	96.0%
冬季における子どもの運動機会増進事業	45.7%
さっぽろアスリートサポート事業	326.9%
学校施設等開故事業	59.0%
障がい者スポーツ普及促進事業	52.9%
スポーツ施設の戦略的活用促進事業	100.0%
札幌ドームアマチュア大会促進事業	206.7%
スポーツ施設リフレッシュ事業	48.0%
厚別公園競技場保全事業	100.0%
スポーツによる新たな健康増進推進事業	100.0%
スポーツ施設整備費補助事業	20.0%
体育施設感染症対策事業	100.0%
札幌ドーム活用促進事業	17.7%
とよひらスポーツ応援プロジェクト	100.0%
部活動改革推進事業	107.9%

● 3.調査結果の分析 | 基本目標の深掘分析

総じて事業進捗・市民評価ともにどの目指す姿も良好であるが、市民の関心事だと考えられる「日常的な運動機会・健康維持・(スポーツへの)モチベーション維持」に必要な施設の整備やスポーツの魅力向上に関連する事業の進捗が遅れており、基本目標への市民評価に影響を与えた可能性が示唆される。

基本目標⑭深掘分析 | 目指す姿



- 事業進捗平均は目指す姿の中で最も高いが、市民評価が最も低い
- スポーツによる新たな健康増進推進事業は、スポーツで得られた医科学的知見等により市民の健康増進を図る取組の検討を行う業務であるが、事業の進捗・成果を市民が体感しにくい事業となっており、実行に移した際に効果が見込まれる

事業名	事業進捗
みるスポーツ推進事業	96.0%
札幌ドームアマチュア大会促進事業	206.7%
スポーツによる新たな健康増進推進事業	100.0%
部活動改革推進事業	107.9%

- 事業進捗平均が目指す姿の中で最も悪いが、市民評価が最も高い
- 事業の多くが観光客向けであるため、進捗の悪さが市民評価に直接影響しにくいと考えられる

事業名	事業進捗
みるスポーツ推進事業	96.0%
地域スポーツコミッション事業	39.0%
国際スポーツ大会等誘致促進事業	34.8%
スノーベースタウンSAPPORO促進事業	38.1%
札幌ドーム活用促進事業	17.7%
オリンピックミュージアム魅力アップ事業	0.0%
スノーリゾート推進事業	30.0%
健康・スポーツを生かした地域活性化事業	142.2%

● 3.調査結果の分析 | 基本目標の深掘分析

基本目標の市民評価改善にはスポーツを「する・観る・支える」の視点が重要になると考えられるが、「する」に着目して外部環境を整理すると、全国・他都市でも仕事の忙しさにより30代～50代で実施率が低い傾向にあり、貴市と同傾向であった。一方、貴市は施設数が他都市と比較して十分であり、今後は施設でのスポーツ実施に限らず日常の中で運動可能な環境構築が課題である。

基本目標⑭深掘分析 | 外部環境（スポーツをする）

全国・他都市の動向

働く世代・子育て世代でのスポーツ環境

- ・ R7年スポーツの実施状況等に関する世論調査では、スポーツの実施時間が男女ともに30代～50代の子育て・働き盛り世代で減少し、他世代と比較して差がある。

出所：[令和7年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」](#)

- ・ 横浜DeNAベイスターズをはじめ、多くのプロスポーツチームのホームタウンである横浜市においても、R7市民アンケート調査にて、30歳～40歳（働く世代・子育て世代）の運動・スポーツ実施率で「週に1回以上」と答えた割合は42.6%であり、全年代の平均50.2%を下回った。また、R6の結果と比較すると48.4%から5.8%減少した。

出所：[令和7年度 横浜市民スポーツ意識調査報告書](#)

運動継続の課題

- ・ R7スポーツ庁調査によると「1年前に比べて運動・スポーツの実施頻度が減った・または増やせない理由」に「仕事が忙しいから」と答えた人は、26.5%と最も多くの割合を占めた。R6は32.6%と、改善傾向にはあるものの最大要因は依然として「仕事」であった。

出所：[スポーツ庁（2026）令和7年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」（令和8年3月31日時点）](#)

ライフスタイルに合わせたスポーツの取組動向

- ・ R7スポーツ庁調査では成人のスポーツ実施率の割合がR1からR7にかけて53.6%から51.7%へと微減しているが、福岡市で同項目は、52.7%と全国を下回る割合から63.0%と向上している。福岡市は運動不足を解消するため、オフィスワーカーが集まる博多駅周辺で体を動かす仕組み構築や、ふくお散歩アプリでの日常での運動促進に取り組んでいる。

出所：[令和7年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」](#)、[令和6年「福岡市民の健康づくりに関するアンケート調査」](#)、[令和元年「福岡市民の健康づくりに関するアンケート調査」](#)、[健康ポイントでウォーキング促進 | 福岡100](#)

貴市の動向

貴市における運動継続の課題

- ・ R7年貴市市民意識調査では、運動習慣継続上の課題に「時間がない」を挙げた人が31.6%で最多となり、特に30歳～50歳では57.5%、55.6%、44%と全体よりも10%以上高かった。

出所：[令和7年度札幌市第2回市民意識調査](#)

施設利用料金の改定

- ・ R7年4月1日より札幌市スポーツ施設使用料の改定が行われた。

出所：[お知らせ詳細「スポーツ施設における使用料の改定について」 | 札幌市公共施設予約情報システム](#)
・ 老朽化した施設の更新・燃料費や人件費の高騰・インバウンド増加などの影響により、R5年度には札幌市内6スキー場中5スキー場でリフト券を値上げ。

出所：[札幌のスキー場 今季もリフト券相次ぎ値上げ 1日券、ティネは9400円、藻岩山は7000円に | 道民割やウェブ割で地元客引き留め：北海道新聞デジタル](#)

スポーツ施設状況

- ・ 文部科学省社会教育調査によると貴市におけるスポーツ施設数（社会体育施設数＋民間体育施設数）は政令都市のうち横浜に次いで2番目に多い。1施設あたりの利用者数も他政令都市と比較して少なく、施設数は他都市と比較して十分といえる環境。
- ・ 貴市ではR8年度より札幌健康アプリ「アルカサル」を始動し日常の中にスポーツを無意識に取り入れる環境向上に取り組んでいる。今後アルカサルの取組発信やアルカサルと連携するスポーツイベントの充実を行うことで40代以上の評価向上に資するものと思われる。また、アルカサルの対象である40代以上だけでなく、20～30代や子ども等も参加可能なイベントの実施などを行うことで、あらゆる世代の環境向上につなげていくことが一つの課題である。 出所：[社会教育調査 令和6年度 参考 | ファイル | 統計データを探す | 政府統計の総合窓口](#)、[イベント開催者募集 | 札幌健康アプリ | 札幌市](#)

● 3.調査結果の分析 | 基本目標の深掘分析

スポーツを「観る」「支える」に着目すると、スポーツ観戦率は年代が上がるとともに高まり、プロスポーツチームの流出などにより特に40代以上の市民評価に影響を与えた可能性がある。また、貴市では貸切バスの確保や価格高騰により子どものスキー授業続行が困難であるなど、子どものスポーツ環境を「支える」状態が十分でなく、市民評価の低下につながっていると示唆される。

基本目標⑭深掘分析 | 外部環境（スポーツを観る／支える）

全国・他都市の動向

年代別スポーツ観戦経験

- 株式会社クロス・マーケティングの調査によると、最近1～2年間のスポーツ観戦経験は全体で60%であり、特に男性40～60代で70%～80%代と観戦率が高まる傾向にある。また、男女共に年代が上がると観戦率が高まる。貴市の評価低下世代と重複しており、観戦対象のチームが流出していることが評価に影響を与えている可能性がある。

出所：[クロス・マーケティングスポーツに関する調査（2024年）観戦編](#)

プロスポーツチームがスポーツ環境に与える影響

- 川崎市では「好きなチームや選手の応援」が、スポーツを支える活動のモチベーションとして上位3項目内にあげられており、プロスポーツチームの発展がスポーツ環境に好影響を与えることが分かる。

出所：[川崎市「運動・スポーツに関するアンケート調査」報告書](#)

部活の地域移行によるスポーツを支える環境の変化・課題

- 全国的に学校部活動の地域移行が進んでいる状況（3/4以上の自治体でR6年までに協議会を設置済みもしくは設置予定）であるが、地域の指導者確保が課題とされている。指導者確保の可否が、今後の子どもを中心としたスポーツに対するモチベーションや運動機会、スポーツとの出会いのきっかけにマイナスにはたらく可能性がある。

出所：[文部科学省 学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドラインに係るフォローアップ調査結果（確定値）](#)

貴市の動向

札幌ドームのイメージ悪化

- 札幌ドームは、R5年北海道日本ハムファイターズが撤収、更にはR7年4月にコンサドーレの石水創代表取締役社長によるホームスタジアム移転発言が話題となった。

出所：[コンサドーレ石水社長の発言で...札幌ドーム解体論再び。移転なら巨額赤字か | Football Tribe Japan](#)

北海道・札幌2030オリンピック・パラリンピック招致活動動向

- 2014年以降、札幌への冬季オリンピック・パラリンピック招致に向けた活動を行っていたが2023年に活動を停止。2022年に実施した意向調査では、「賛成」「どちらかといえば賛成」と回答した人は52.2%と過半数を占めており、その理由を「子どもたちに夢と希望を与えるから」と回答した人が24.1%と最も高くなった。

出所：[冬季オリンピック・パラリンピック招致に関する意向調査報告書](#)

子どものスポーツ環境動向

- 10年前まで札幌市立小中学校の9割が実施していたスキー授業が、R7冬は5割弱の実施にとどまった。貸切バスの確保の難しさや、スキー用具・リフト高騰による保護者負担増が理由とされる。

出所：[札幌のスキー授業、中学の実施校が半数割る 10年前は9割実施バス確保困難 家計配慮も：北海道新聞デジタル](#)

部活動の地域移行の取組

- 公立中学校の部活動の運営を地域のスポーツ団体や文化団体などに委ねる「地域移行（地域展開）」に向けて、実証実験を複数校で実施。全国傾向同様、指導者確保を課題としている。

出所：[部活動／札幌市](#)

● 3.調査結果の分析 | 基本目標の深掘り分析

生活における時間的・経済的余裕のなさ、プロスポーツの本拠地移転をはじめとするスポーツの街としての機運低下が、複合的に市民評価に影響していると考えられる。手軽に運動・スポーツを楽しめる環境整備や、プロクラブや企業などとの連携を通じた、プロスポーツとのタッチポイント構築や好きなスポーツ選びができる環境づくりが求められている。

基本目標⑭深掘り分析 | 改善／悪化要因の考察および今後の方向性

改善／悪化要因・課題の考察

課題

日々の生活における時間的・経済的余裕のなさ

- 全国的に、特に30～50代は、他世代と比べ育児や仕事などで忙しく、運動・スポーツの時間を取る余裕がない人が多い。
- 貴市別調査でも、運動習慣継続上の課題に「時間がない」を挙げた人の割合が30歳～50歳で特に高かった。
- さらに、上昇する光熱費や物価などの生活負担が、30代以上の当該基本目標への評価を押し下げていると考えられる。

悪化要因

運動・スポーツを「する」環境の悪化

- 市内の施設の利用時間に対する市民の不満足や、施設に積極的に通う時間のない層が、運動・スポーツをしたいという気持ちがあっても、気軽に実施するための環境が整っておらず、評価に影響した可能性がある。
- 上記に加え、施設の利用料も改定が行われており、市民負担が増加している点も評価悪化に作用した可能性が高い。

悪化要因

スポーツを「観る／支える」機運の低下

- 北海道日本ハムファイターズの本拠地移転後の札幌ドームに対する市民の印象や、五輪招致活動の停止など、スポーツを観たり、支える機運が低下傾向にあると推察される。
- 公立中学校の部活動の地域移行に向けて、実証実験が市内の複数校で進んでいるが、まだ影響・効果が限定的である可能性がある。

今後の方向性

育児・働き盛り世代をはじめとする幅広い世代が 手軽に楽しめる運動・スポーツ環境づくり

- 育児や仕事でスポーツをする時間がない世代も隙間時間などを活用して運動・スポーツができる環境整備が求められる。
- 市内のスポーツ施設の団体利用や限られた時間内での利用などの制限を緩和し、短時間利用・個人利用を可能にする。
- また、既存のアプリ「アルカサル」を活用し、スポーツ施設に限らず日常の導線上でスポーツが可能な環境構築が重要であると考えられる。
- インバウンド増加により得た観光資源を活用するなど、現在貴市で実施しているスキー用具やリフト券・施設価格の低料金を他スポーツ施設にも拡充するのも一案だと考えられる。

「プロを身近に感じる」「好きなスポーツができる」環境づくり

- 市民の機運醸成やスポーツを「支える」の観点では、大規模スポーツイベントの誘致だけでなく、例えばプロクラブ・行政・教育委員会・企業がより緊密に連携し、貴市が進める部活の地域移行や職場での運動指導などへのプロクラブ関係者の関与を強化することで、プロスポーツに接することのできる環境づくりを進めるのが方向性のひとつだと考えられる。
- 部活動の地域移行は、生徒が自分のやりたいスポーツをするための環境づくりにもつながるため、貴市の本取組は引き続き積極推進していくことが肝要である。

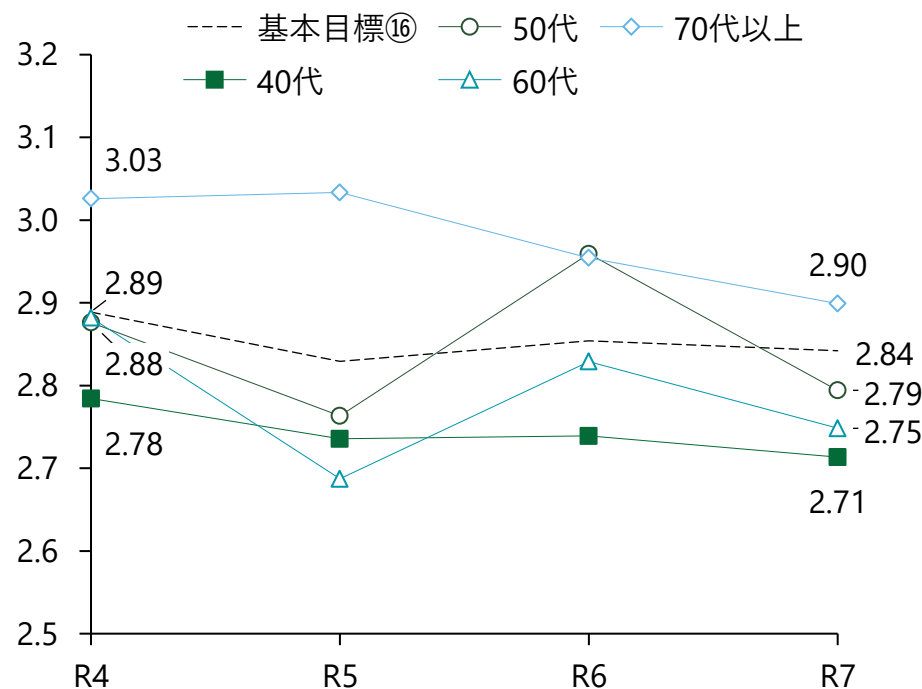
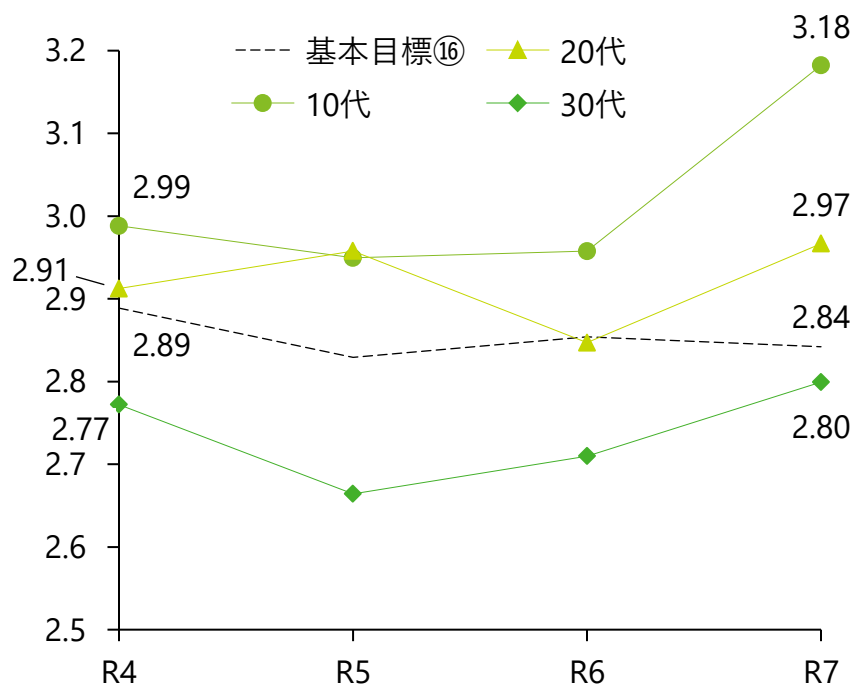
基本目標①⑥

世界に冠たる環境都市

3.調査結果の分析 | 基本目標の深掘分析

基本目標の評価点は2.8点台で横ばいが続く。10～30代で当初値以上に改善している一方、40代以上は当初値より悪化しており、評価が相殺されている。そのため、基本目標の評価点を改善には、低評価が続く40代や、前年比で悪化した50代以上の評価の底上げが必要である。

基本目標⑩深掘分析 | 基本目標



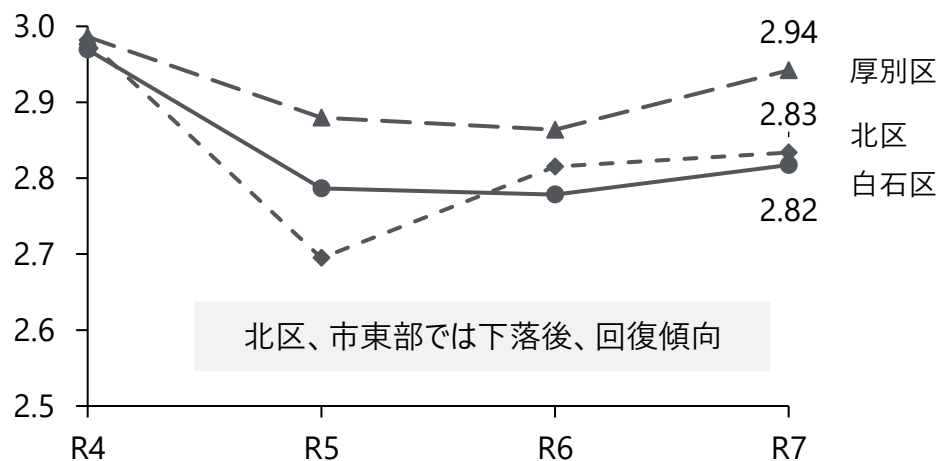
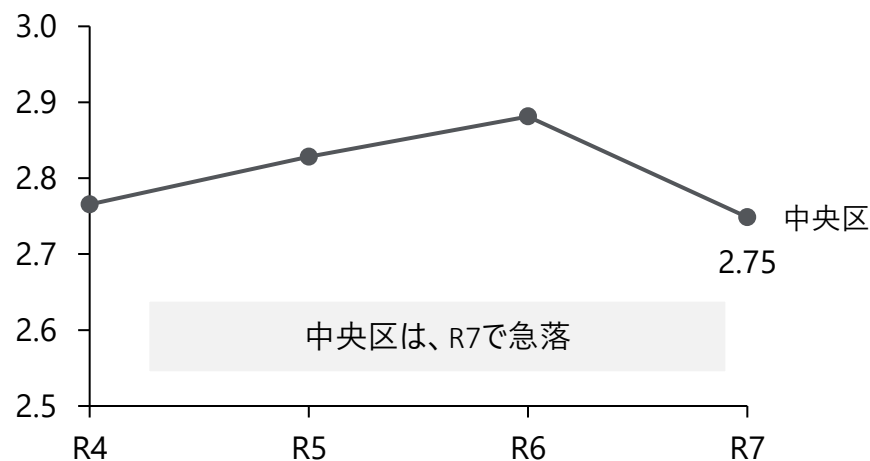
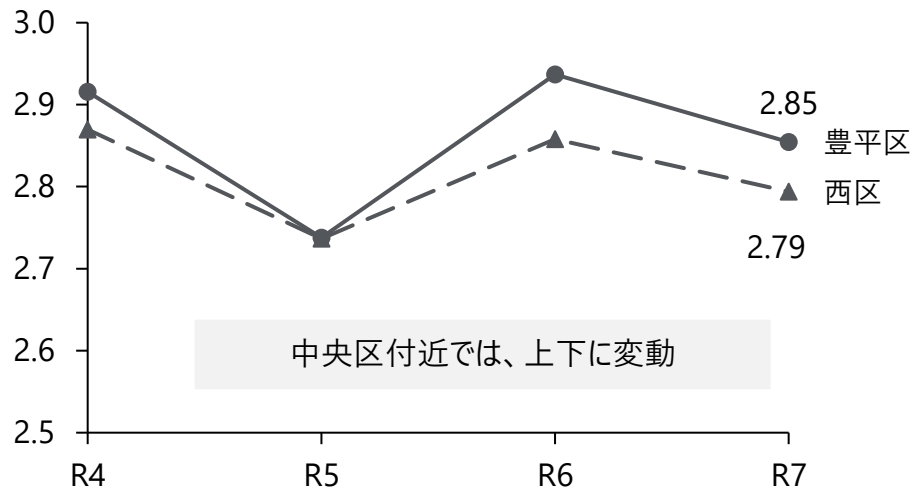
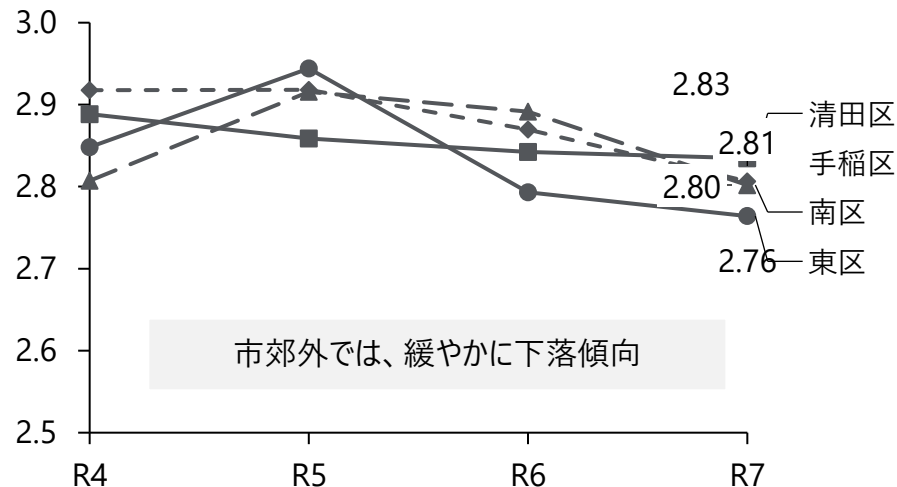
(再掲) 基本目標の概況

• XXXX

● 3.調査結果の分析 | 基本目標の深掘分析

【参考】白石区・厚別区以外の全区で前年比悪化しており、中央区では特に悪化。中央区には、水素ステーションや2028年に完成予定の集客交流施設が整備される水素モデル地区があるが、実際の利活用は進んでおらず評価を支えていた期待感が減退した可能性がある。

基本目標⑩深掘分析 | 基本目標



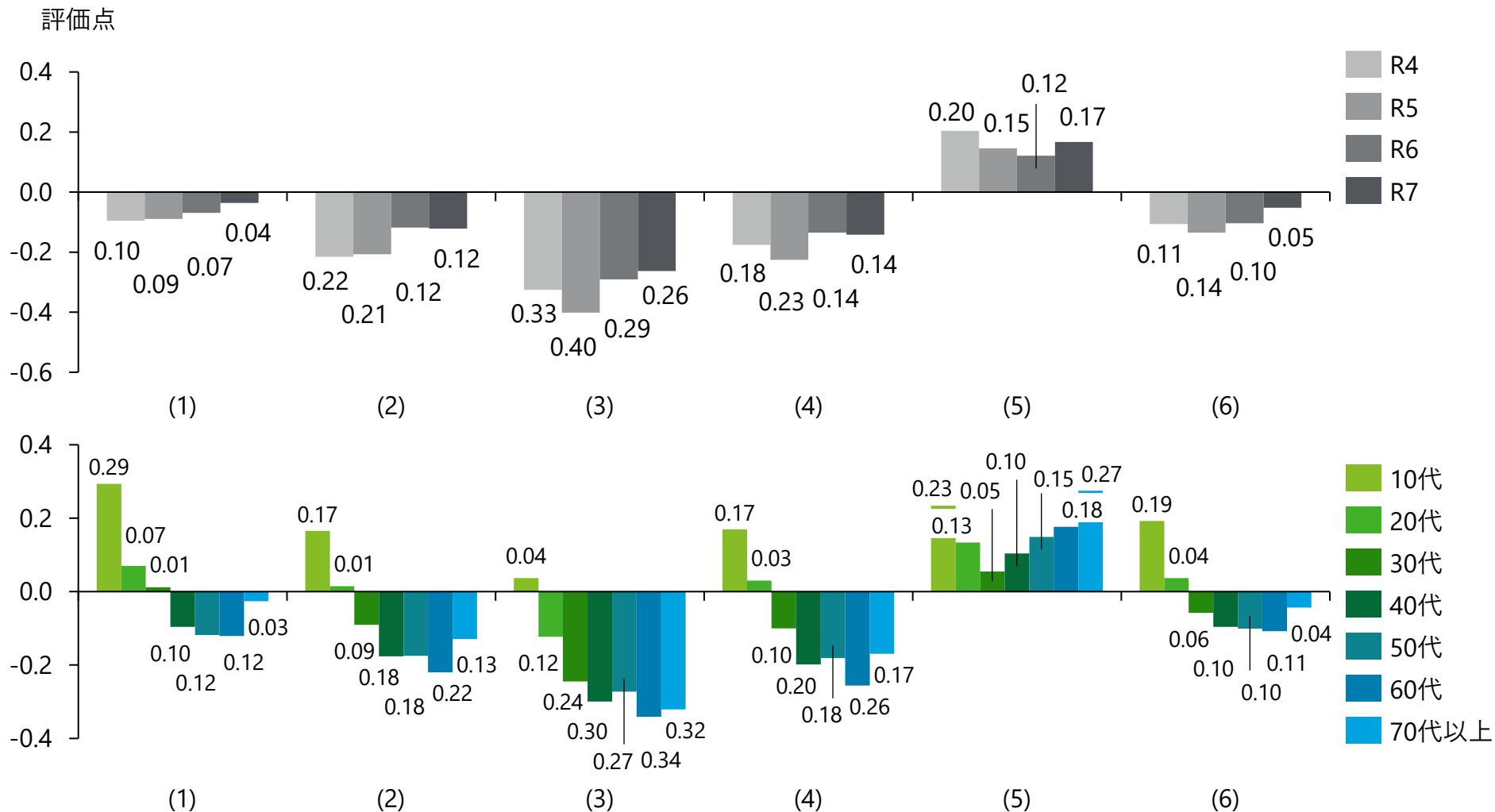
(再掲) 基本目標の概況

- 全年代でR6以降評価点が向上しており、特に基本目標の対象である10代から20代において顕著な改善 (+0.4以上)

● 3.調査結果の分析 | 基本目標の深掘分析

目指す姿の評価点は、いずれも横ばい、または改善傾向にある。ただし、R7の評価を年代別で見ると、(5)「ごみの減量・再利用・リサイクル」以外は、中高年でいずれもマイナス評価となっている。特に、目指す姿(2)から(4)の再エネ導入等のGX関連での評価が低い。

基本目標⑩深掘分析 | 目指す姿

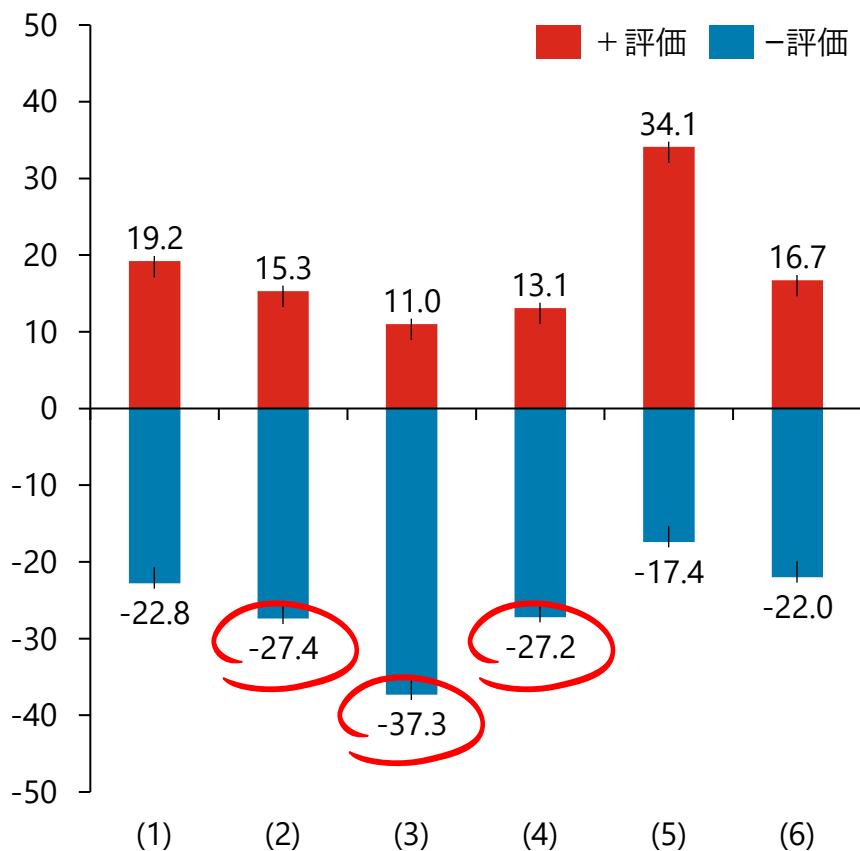


● 3.調査結果の分析 | 基本目標の深掘分析

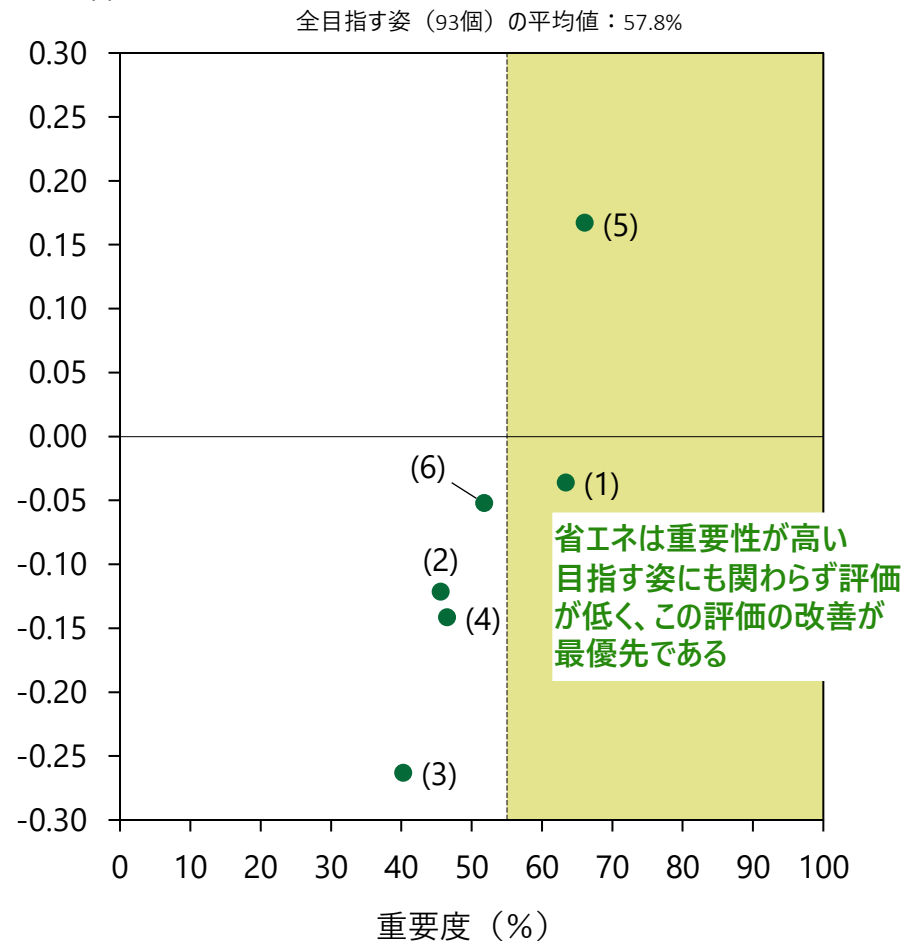
目指す姿(2)から(4)の低評価は、評価する割合が少ない上に評価しない割合が高い状況にある。しかし、この状況においても、基本目標の評価が横ばいであるのは、市民にとってGX関連の目指す姿の重要性が相対的に低く、基本目標に寄与できないためと考えられる。基本目標の評価の改善には、(1)の改善に加え、GX関連への市民の重要性認識を高めることが必要である。

基本目標⑩深掘分析 | 目指す姿

+評価と-評価の選択割合 (%)



評価点



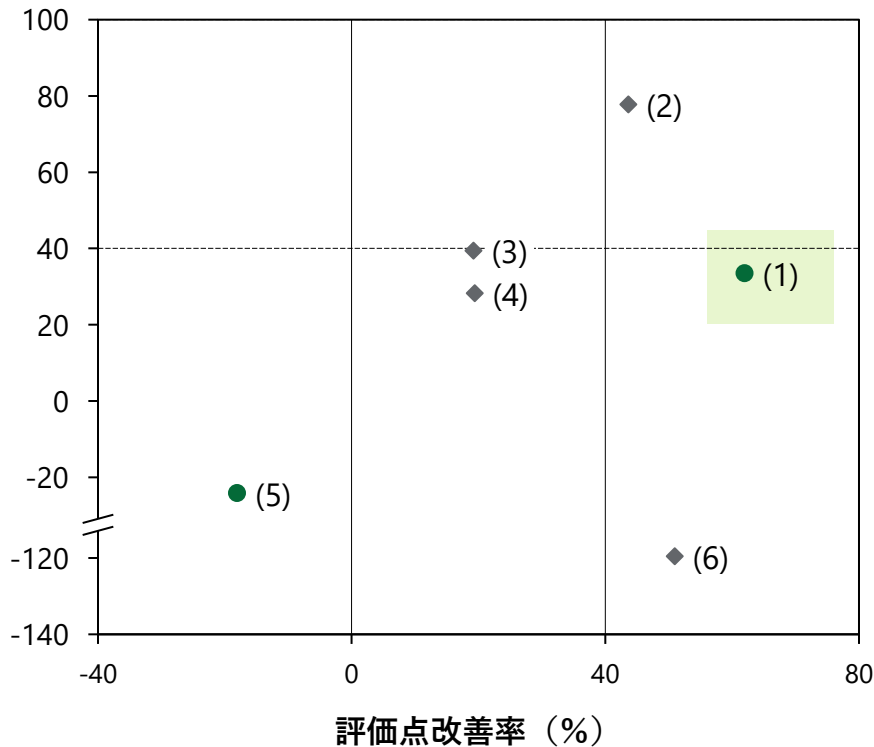
● 3.調査結果の分析 | 基本目標の深掘分析

省エネ事業は概ね順調で評価も改善する一方、評価点は▲0.04と低迷したままである。省エネ機器の導入費の経済負担増や再エネ賦課金上昇・電気代高騰などの外部環境の悪化が要因の可能性もある。これら要因は、市単独の事業で解決することは難しいため、行政主導による、まちの省エネ化を最優先で進めていくべきだと考えられる。

基本目標⑯深掘分析 | 事業進捗

目指す姿に対する市民評価と事業進捗

事業進捗の平均



分析

- 重要性が高い目指す姿(1)「節電やエネルギー効率の良い機器導入などにより省エネルギー化が進んでいる。」に関連する事業は、進捗が概ね順調であり、評価点も改善しているが、評価点▲0.04点と低水準が続いている。
- 事業者向けの支援や公共施設や街灯など、まちの省エネ化が進んでいるが、市民による省エネ化事業が進んでいない。
- その背景には、省エネ機器導入における経済的な負担や建築費の高騰などによって導入を見送っている可能性や、再エネ賦課金の上昇や近年の電気代の高騰など、省エネ効果以上の外部環境の悪化も要因の一つだと考えられる。
- この状況を市単独の事業で解決することは難しく、まずは、行政主導の、まちの省エネ化を優先するべきだと考えられる。

No	事業名	事業進捗
1	製造業省エネ・カーボンニュートラル促進支援事業	48.1%
2	構内運搬車電動化に向けた調査検討事業	100.0%
3	構内運搬車電動化に伴う施設整備事業	25.0%
4	清掃車両等購入事業	29.4%
5	札幌市気候変動対策行動計画推進事業	50.0%
6	住宅・建築物のゼロエネルギー化普及推進事業	-20.0%
7	事業者の脱炭素活動促進事業	-46.7%
8	市有施設の省エネ等推進事業	11.5%
9	市有施設のゼロエネルギー化計画策定	11.5%
10	市民向け再エネ省エネ機器導入支援事業	7.2%
11	L E D街路灯推進事業	45.0%
12	私設街路灯助成事業	48.1%
13	道路施設等維持更新事業	45.0%
14	高断熱・高气密住宅普及促進事業	123.1%
15	住宅エコリフォーム補助事業	7.8%
16	地下鉄施設省エネルギー化推進事業	35.3%
17	学校施設照明器具L E D化改修事業	49.1%

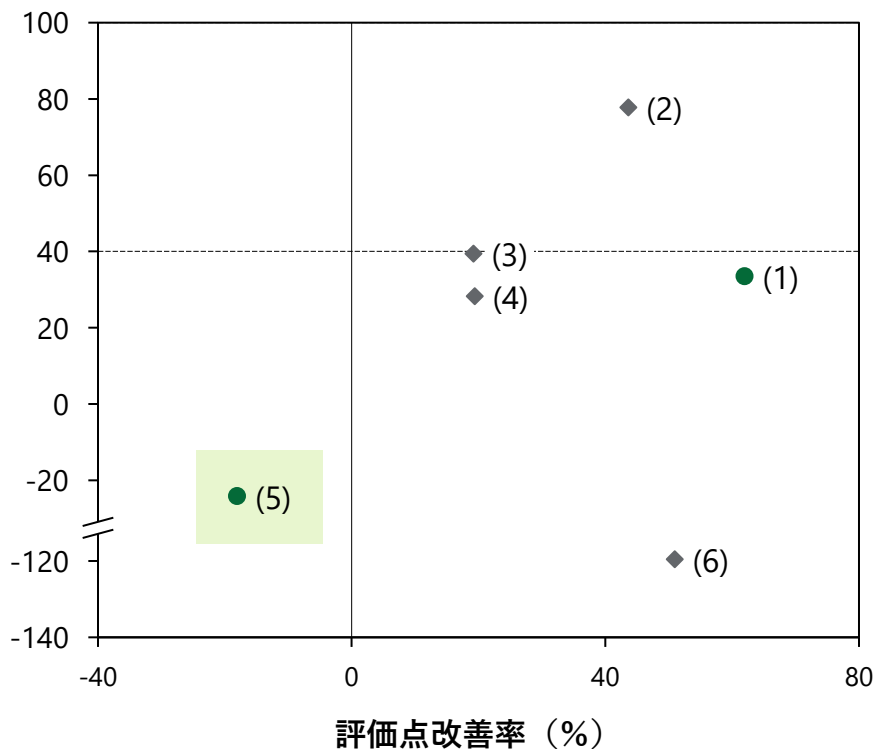
● 3.調査結果の分析 | 基本目標の深掘分析

ごみの減量等の事業は、一部事業を除けば概ね順調であるが、事業が清掃工場の更新・解体など、市民の行動変容に関係のない事業であるため評価にはつながっていない。現状のプラス評価は、市民の自律的なごみ削減・分別行動による部分が大きいと考えら、目指す姿の実現に直結すると考えられる「家庭の生ごみ減量・リサイクル推進事業」などの進捗改善が必要である。

基本目標⑩深掘分析 | 事業進捗

目指す姿に対する市民評価と事業進捗

事業進捗の平均



分析

- 重要性が高い目指す姿「誰もがごみの減量・再利用・リサイクルなどに積極的に取り組んでいる。」の事業進捗の平均の悪さは、産業廃棄物処理指導計画推進事業が原因であり、それ以外の事業の進捗は概ね順調である。評価点はR4比では悪化しているものの、唯一プラスである。
- しかし、事業内容の多くは、設備更新や解体などであり、ごみの減量・再利用・リサイクルに対する市民の行動変容の状況とは関係のない事業が多い。プラス評価を維持しているのは、市民の自律的なごみ削減・分別行動による部分が大きいと考えられる。
- 目指す姿の実現に直結すると考えられる、家庭の生ごみ減量・リサイクル推進事業や集団資源回収奨励事業などの進捗改善が必要である。

No	事業名	事業進捗
1	ごみ減量推進事業	50.0%
2	家庭の生ごみ減量・リサイクル推進事業	-23.9%
3	集団資源回収奨励事業	-72.1%
4	ごみステーション管理器材等助成事業	38.0%
5	清掃事務所更新事業	29.4%
6	産業廃棄物処理指導計画推進事業	-1015.6%
7	駒岡清掃工場更新事業	100.0%
8	駒岡清掃工場解体事業	40.0%
9	発寒清掃工場更新事業	40.0%
10	篠路清掃工場解体事業	40.0%
11	白石破碎工場更新事業	40.0%
12	焼却灰リサイクル事業	12.5%
13	枝・葉・草リサイクル調査事業	100.0%
14	(仮称) 北部事業予定地一般廃棄物最終処分場造成事業	40.0%
15	東米里西処理場造成事業	40.0%
16	白石清掃工場延命化調査事業	100.0%
17	多面的機能を発揮する森づくり事業	31.2%

● 3.調査結果の分析 | 基本目標の深掘分析

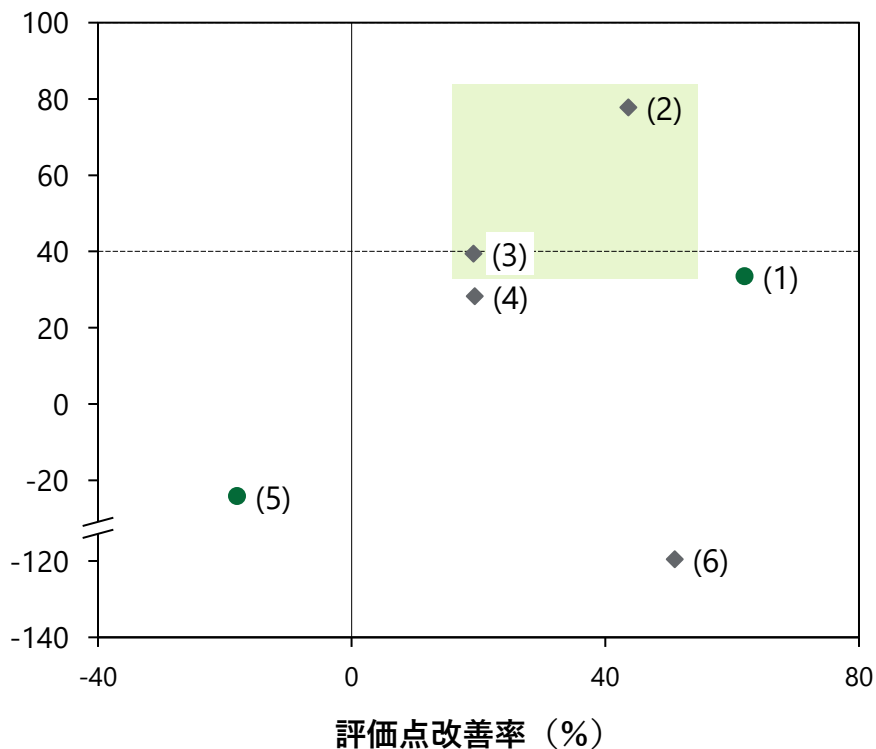
GX関連事業は、個人レベルではGXへの取組が難しい外部環境に加え、目指す姿の実現に向けた根幹的な事業が進捗していないことが、R4以来、マイナス評価である要因であると考えられる。ただし、そもそも、市民はGX関連の目指す姿に対する重要性認識が低いため、評価をあげるためにはGX推進の関心を高め、共感してもらうための事業が必要だと思われる。

基本目標⑩深掘分析 | 事業進捗

目指す姿に対する市民評価と事業進捗

分析

事業進捗の平均



- GX関連の目指す姿に関連する事業は、行政内で完結する事業は順調だが、目指す姿の実現に向けた根幹的な事業（水素利活用促進事業、市民向け再エネ省エネ機器導入支援事業、電気自動車普及促進事業、公用車のゼロエミッション化推進事業、都心エネルギープラン推進事業）が全て進捗していない。
- 事業が進まない限り、市民は評価できないため、R4以降、マイナス評価である要因である。
- さらに、これらGX関連の目指す姿は、重要と認識している市民は少ない。市民が高いコストを払い、再エネ導入や水素の利活用、ゼロエミッション自動車の購入を進めることに対して関心をもち、さらには共感してもらうための事業が必要だと思われる。

No	事業名	事業進捗
1	水素利活用促進事業	0.0%
2	(仮称) 南区複合庁舎整備事業	40.0%
3	札幌市気候変動対策行動計画推進事業	50.0%
4	市民向け再エネ省エネ機器導入支援事業	7.2%
5	市有施設・未利用地への太陽光発電設備導入事業	37.5%
6	中小水力発電導入推進事業	100.0%
7	下水道エネルギー・資源有効利用事業	248.7%
8	水道施設への水力発電設備導入事業	60.6%
9	(仮称) 南区複合庁舎整備事業	40.0%
10	構内運搬車電動化に向けた調査検討事業	100.0%
11	清掃車両等購入事業	29.4%
12	札幌市気候変動対策行動計画推進事業	50.0%
13	電気自動車普及促進事業	5.8%
14	公用車のゼロエミッション化推進事業	11.5%
15	都心エネルギープラン推進事業	0.0%

● 3.調査結果の分析 | 基本目標の深掘分析

国の省エネ法改正や電気代の継続的な高騰を背景に、節電意識は高まりつつある。しかし、「初期費用の高さ」が省エネ機器導入の障壁であることが示されている。特に、北海道は積雪寒冷地という特性から冬季の暖房エネルギー消費が全国平均より高く、省エネ化の効果も費用負担感も他都市より大きいと考えられる。市民が行動に踏み切れるかがカギとなる。

基本目標⑩深掘分析 | 外部環境（省エネ）

全国の動向

電力需要の増加と節電意識の高まり

- DXやGXの進展に伴うデータセンター・半導体工場の新增設等により、省エネを進めても日本の電力需要はなお増加に転じる見通し。需給ひっ迫への危機感が市民・企業の節電意識を高める背景となっている。（出所：経済産業省 資源エネルギー「エネルギー白書2025（令和6年度エネルギーに関する年次報告）」）

省エネ法改正による事業者への義務強化（2026年度施行）

- 2026年度から年間エネルギー使用量1,500kI以上の「特定事業者」に対し、屋根置き太陽光発電設備の導入目標策定が義務化される。（出所：経済産業省 資源エネルギー庁「令和7年度 第1回工場等判断基準WG省エネ法に関する措置について」）

国の節電プログラム（インセンティブ型デマンドレスポンス）

- 経済産業省 資源エネルギー庁が「節電プログラム」（電気利用効率化促進対策事業）を推進。プログラムに参加した家庭・法人に対し、電力会社からのポイント付与に加え、国の補助金による特典を上乗せする仕組み。約280社の電力会社が参加している。（出所：経済産業省 資源エネルギー庁「節電プログラム（電気利用効率化促進対策事業）について」）

横浜市民は、再エネ活用より節電

- 横浜市では、再エネ活用を実施している割合は10%未満で、LED利用などの節電を通じたコスト削減を目的とした省エネ行動をとる市民の割合が多い。（出所：横浜市地球温暖化対策推進協議会「家庭でできる脱炭素行動アンケート集計結果報告」）

市内の動向

電気代高騰が市民の節電意識を直撃

- 北海道は全国でも電気代の季節変動が大きく、暖房需要が集中する冬季の負担が特に重い。冬季に電気代が急騰するのは暖房需要が原因で、2024年1月は月15,967円と全国平均（12,376円）を上回っている。（出所：総務省「家計調査 家計収支編（二人以上の世帯）」2024年）
- 2025年10月から北海道電力は託送料金見直しに伴い電気料金を改定。（出所：北海道電力「[電気料金改定情報 - 北海道電力](#)」）

「導入コストの高さ」が市内での省エネ機器普及を阻む壁

- 電気やガスを使用する暖房・給湯機器を新しく導入するにあたっての懸念点として「導入コストが高い」という声が多数を占めた。（出所：札幌市「さっぽろ 省エネ家電で家計を応援キャンペーン事業 アンケート結果」）

● 3.調査結果の分析 | 基本目標の深掘分析

国が循環経済を国家戦略に位置づけ、3R+Renewableへの転換を加速する中、全国的にごみ排出量は減少傾向にあるものの、リサイクル率は横ばいで推移している。市民の分別行動は定着しつつある一方、リデュース・リユースの実践は2割以下にとどまる。フリマ・リユース行動が広がるZ世代の動向を取り込みながら、「捨てる前の行動変容」を促す仕組みの強化が求められる。

基本目標⑩深掘分析 | 外部環境（ごみ削減・再利用・リサイクル）

全国の動向

国内のごみ総排出量は減少

- 令和5年度のごみ総排出量は3,897万トンと前年度4,034万トンから3.4%減。1人1日当たりのごみ排出量は851グラムと前年度880グラムから3.2%減と、ごみ総排出量は減少している。（出所：環境省「一般廃棄物の排出及び処理状況等（令和5年度）について」）

国内のリサイクル率は伸び悩み

- 日本のリサイクル率は令和5年度は19.5%で、過去10年間20%前後の横ばいが続いている。（出所：環境省「一般廃棄物の排出及び処理状況等（令和5年度）について」）

3R行動の実施率に関する政府調査

- ごみの分別・詰め替え製品の使用・マイバッグの持参など7割を超える市民が行う3R行動がある一方、使い捨て製品を買わない・マイ箸の携帯・リユース品の購入などを行う市民は2割以下にとどまっている。（出所：環境省「第五次循環型社会形成推進基本計画（案）」）

Z世代でフリマ・リユースの活用が顕著

- メルカリの「2024年度サステナビリティ関連の意識・行動変容に関する調査」によると、まだ使えるが不要になったモノについて「ごみとして処分している」が全体で73.6%と依然最多である。
- 一方Z世代は「フリマアプリやインターネットオークション、リユースショップ等で販売している」が54.8%と全体より10ポイント以上高く、リユース行動が若い世代を中心に広がっている。（出所：株式会社メルカリ「2024年度サステナビリティ関連の意識・行動変容に関する調査」）

市内の動向

人口減少に伴い市内のごみ総排出量が減少

- 令和6年度のごみ総排出量は、551,297トン（家庭ごみ358,005トン、事業ごみ193,292トン）と、令和4年度以降、減少している。ただし、人口減少の要因の可能性が高い。（出所：札幌市「[令和6年度のごみ量（年ごとのごみ量）／札幌市](#)」）

市民・事業者・行政の連携「さっぽろスリムネット」

- 市内には、市民・事業者・行政が一体となつてごみ減量活動を推進する枠組み「さっぽろスリムネット」があり、2026年3月に設立20周年を迎えた。（出所：札幌市「さっぽろスリムネット（札幌ごみ減量実践活動ネットワーク）」）

市内事業者の7割が食品ロスに向けた取組を実施

- 札幌市内で排出されている年間約6万トンの事業系生ごみのうち食品ロス分は約3割を占めると推計されており、令和元年度の飲食店アンケート調査では7割以上の事業者が削減のための取組を行っていることが判明している。（出所：札幌市「[事業系生ごみの削減／札幌市](#)」）

● 3.調査結果の分析 | 基本目標の深掘分析

国がGX2040ビジョンで官民150兆円投資を宣言し、再エネ・EV・水素の三本柱での転換を加速している。札幌市内でも水素モデル街区の整備や公共施設での再エネ導入が進んでいる。一方で、市民目線では再エネはコスト高の実感が伴うものであり、グリーンエネルギーの利活用を進めるには、行政が率先して進める必要がある。

基本目標⑩深掘分析 | 外部環境 (GX・気候変動)

全国の動向

気候変動「適応」の低い認知度

- 気候変動「適応」の認知度は12.7% (R2: 11.9%) と気候変動「影響」の認知度 (87.6%) と比較すると依然として低い。
- 気候変動適応における課題として「経済的なコストが掛かること」を挙げた割合は令和2年調査の37.4%から47.4%へと上昇している。
(出所: 内閣府「気候変動に関する世論調査」)
- 脱炭素先行地域を抱えGX施策が充実している横浜市でも、市の脱炭素ビジョンの認知は、30.7%程度 (出所: 横浜市地球温暖化対策推進協議会「家庭でできる脱炭素行動アンケート集計結果報告」)

GX2040ビジョン策定とGX-ETS (排出量取引制度) の稼働

- GX実現に向けて「GX2040ビジョン」が閣議決定された。
- 令和8年度よりCO2多排出事業者を対象としたGX-ETSの義務化予定。
(出所: 経済産業省「脱炭素成長型経済構造への円滑な移行の推進に関する法律及び資源の有効な利用の促進に関する法律の一部を改正する法律」)

上昇し続ける再エネ賦課金と家計負担増

- 再エネ賦課金は2022年度から一貫して上昇しており、月400kWhの標準家庭では年間約2万円の負担増となると見込まれている。
(出所: 経済産業省「再生可能エネルギーのFIT制度・FIP制度における2026年度以降の買取価格等と2026年度の賦課金単価を設定します (METI/経済産業省)」)

伸び悩むEV等自動車の販売台数

- 国内のEV・PHEV・FCVの販売台数は、2023年が過去最高で、2024年は減少した。EV普及率も世界から (出所: 一般社団法人次世代自動車振興センター「EV等販売台数統計」)

市内の動向

北海道・札幌のGX特区と再エネポテンシャル

- 北海道は、再生可能エネルギーの導入ポテンシャルは国内随一となっている。Hokkaido Prefectureさらに2024年8月には北海道・札幌が「GX金融・資産運用特区」に指定され、国内外のGX投資を呼び込む拠点として位置づけられている。

札幌市再生可能エネルギーの取り組み

- 2022年10月、市役所本庁舎の使用電力を再エネ100%に切り替え、年間約1,450トンのCO2削減を実現。市内小中学校の約半数に太陽光発電設備を設置している。
- 2025年には「気候市民会議さっぽろ2025」を開催し、市民参加型で脱炭素社会の実現に向けた議論を推進している。

国内初の地域特化型 官民連携GX ファンド

- 札幌市を含む14機関の出資のもと、スパークス札幌・北海道GXファンド」が設立された

水素モデル地区

- 北海道初となる大規模商用水素ステーション「エア・ウォーター水素ステーション札幌大通東」が開設され、今後、水素エネルギーを利用する集客交流施設の整備が予定されている。

GX利活用に着手

- ジャパンモビリティショー札幌2026の期間中、水素バスがシャトルバスの一部として運行された。

● 3.調査結果の分析 | 基本目標の深掘り分析

基本目標・目指す姿の評価の改善するには、事業進捗・市民評価ともに低いGX関連事業を行政が率先して推進し、水素モデル街区や公共施設への再エネ導入など市内の先行事例を作ることが最優先である。評価の全体的な底上げには、省エネ化を後押しする初期費用の障壁を軽減する支援の強化と、GXを生活に結びつけて発信することで重要性認識を高めることが不可欠である。

基本目標⑩深掘り分析 | 改善／悪化要因の考察および今後の方向性

改善／悪化要因・課題の考察

今後の方向性

課題

意識はあるが省エネ行動に踏み切れない

電気代高騰や再エネ賦課金の上昇という外部環境の悪化が、市民の省エネ努力の実感を打ち消している可能性がある。また、積雪寒冷地特性から冬季の暖房エネルギー消費が他都市より大きく、初期費用の負担感も強い。そのため、「重要だと思っているが踏み切れない」市民が多いと考えられる。

課題

ごみの分別定着の先へ進めていない可能性

ごみ関連は重要度が最も高いにもかかわらず、事業進捗が悪く、今の高評価は市民の自律的な分別行動に支えられている可能性がある。また、リデュース・リユースの実践は全国でも2割以下にとどまり、「分別して捨てる」段階から先に進めていない可能性もある。

課題

事業進捗が評価改善につながらない可能性

GX関連の3つの目指す姿は「評価が毎年低く、さらに重要とも思われていない」ため、事業が進捗するだけでは評価改善につながりにくい。また、事業の根幹の遅れや、電気代高騰でグリーンエネルギーはコスト高となっていることが、さらに評価を下げている可能性がある。

行政の率先的な行動で「まちの変化」を可視化

- 行政が公共施設のZEB化・断熱改修等を先行させ、省エネが進んでいる実感を市民に届ける。
- 市民向けには補助金による初期費用の実質ゼロ化と、光熱費削減効果の提示で行動変容のハードルを下げる。
- 積雪寒冷地特性を踏まえた暖房・断熱支援の重点化は、他都市との差別化にもなる。

「捨てる前の一步」を後押しする仕組みの整備

- Z世代に広がるフリマ・リユース行動を全世代に波及させるため、ジモティーやフードシェアリング等との連携を強化する。
- 行政としては家庭の生ごみ減量など市民の行動変容に直結する事業の進捗を改善し、リサイクルステーションや回収拠点の拡充で「分別しやすい環境」を整備する。

生活実感に結びつけた発信と先行事例の体験機会づくり

- GXを「電気代削減」「停電時のエネルギー自立」「地域の雇用創出」など市民の生活・経済と直結する便益として発信し、重要性認識を先に高める。
- 水素モデル街区や公共施設の再エネ導入など市内で進む先行事例を体感できる機会や、寒冷地でのEV冬季利用の実証・体験機会の提供により、市民の不安を払拭する。

基本目標⑱

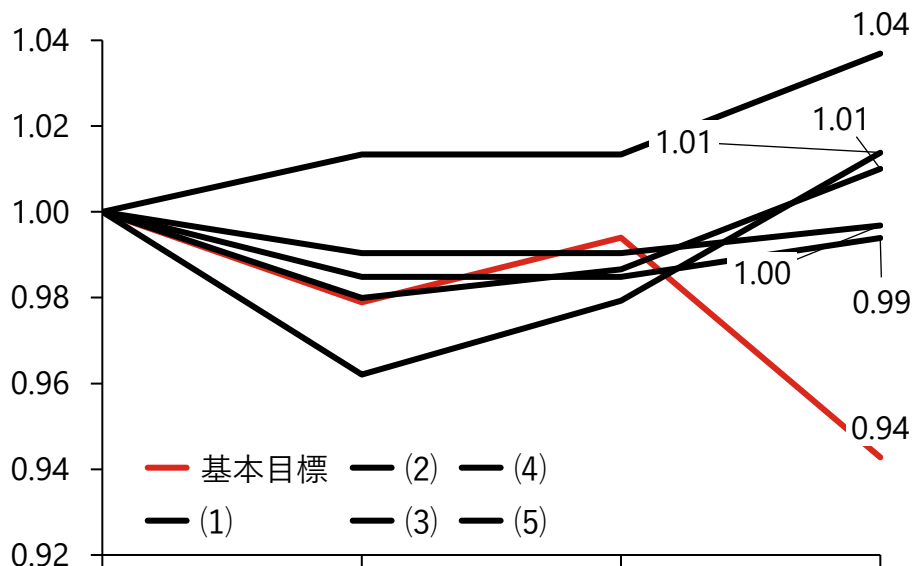
「世界を引き付ける魅力と活力あふれるまち」

● 3.調査結果の分析 | 基本目標の深掘分析

R4の評価点を1とし、基本目標・目指す姿のR7までの評価点推移を見ると、R4～R6までは基本目標と目指す姿が概ね同じ傾向で推移。一方、R7調査のみ基本目標と目指す姿の評価の乖離が起きており、この傾向はR7特有のものであることが分かる。基本目標実現のために重要なこと（自由記述）からは「世界を引き付ける」以前の市民生活の質担保を求めていることが読み取れる

基本目標⑱深掘分析 | 基本目標・目指す姿

基本目標・目指す姿のR4評価を1としたときのR7の差分



- (1)都心では高次の都市機能の集積が進むとともに、快適な交流・滞留空間やみどりの創出などにより、魅力的でうおいのある歩きたくなる都心が形成されている。
- (2)都心ではデータや先端技術の活用などにより、イノベーションが創出、新しい価値が生まれ続けている。
- (3)高次機能交流拠点※では、国際的・広域的な産業や観光等の都市機能の高度化と集積が進んでいる。
- (4)工業地・流通業務地では、老朽化した施設の更新や機能の高度化等が進んでいる。
- (5)広域交通ネットワークの充実・強化により、道内の都市をはじめ、国内外との地域とのつながりが深まり、北海道全体の社会経済活動の活発化が進んでいる。

実現に向けて重要なこと（自由記述）で多数挙がったもの

カテゴリ	概要	件数
市民生活優先のまちづくり	「世界」を志向する前に、まずは市民が暮らしやすい、満足できる街にすべきだという意見。「地元住民ファースト」を求める声が多数。	19
交通網の拡充とアクセス改善	地下鉄や新幹線といった基幹交通の延伸、空港アクセスの強化、広域ネットワークの構築などを求める意見。	19
インバウンド・外国人への対応	外国人観光客のマナー問題（ゴミ、騒音等）への対策強化や、無秩序な受け入れに対する懸念、生活保護など特定の課題に関する意見。	18
インフラ・施設の老朽化対策	穴や凹凸の多い道路の補修、冬期の徹底した除排雪、公共施設や集合住宅の老朽化対策など、基本的なインフラ整備・更新を求める声。	16
運行の安定性と利便性の向上	バスの減便やJRの運休・遅延への対策、運行本数の増加、乗り換えの不便さや料金体系の見直し、駅施設の改善など、既存の公共交通サービスの質的な改善を求める意見。	15
全般・複合的な交通課題	特定の交通手段に限定されない交通システム全体の課題、運営体制（公有化など）への言及、複数の課題を指摘する複合的な意見、および特定の地域や施設へのアクセスに関する意見。	9

（再掲）目指す姿の概況

- ・ 目指す姿(4)以外は評価する割合が高い結果であり（プラス評価）、全て前年比では改善傾向。
- ・ 目指す姿(2),(4),(5)は、それぞれR4から大幅改善（+0.07、+0.10、+0.07）。特に、5はマイナス評価からプラス評価に転じた。
- ・ 目指す姿(1)は基本目標⑱の中で最も高い評価を維持（0.25~0.30）しており、R4からR5,6に落ち込んだが、R7では回復傾向。

● 3.調査結果の分析 | 基本目標の深掘分析

観光と市民生活の重要性は全国的に広まっており、今後はますます魅力や活力のあるまちづくりの推進に「市民生活への配慮」は不可欠である。京都市の観光に関する調査では、持続可能な観光の実現のために実施してほしい施策の結果からもこれらの傾向が表れていると言える。貴市におかれては観光やビジネス目的の再開発が着々と進んでいる状況である

基本目標⑱深掘分析 | 外部環境（観光・まちづくり）

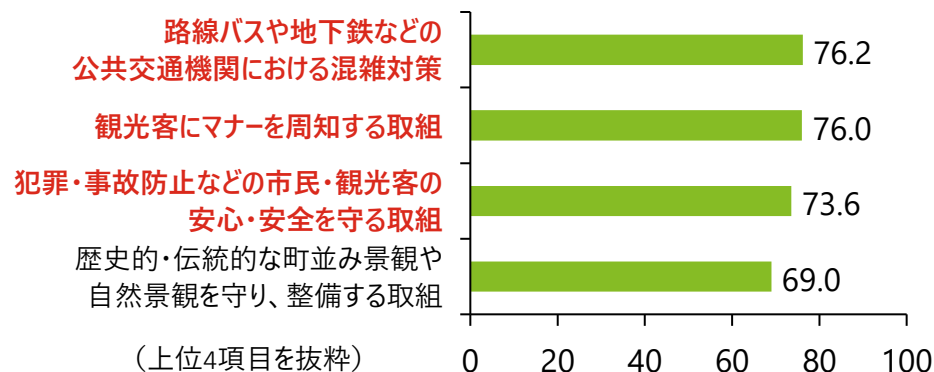
全国の動向

観光まちづくりによる市民生活の質の低下

- 市民にとっての便益のある再開発は観光客誘致にも有効で、まちづくりと観光は密接な関係にあるが、全国的には、訪日観光客が増加しており、市民の生活への影響が出ている実情がある。
- 観光庁の第5次観光立国推進基本方針（素案）では「インバウンドの受入れと住民生活の質の確保との両立」を新たに追加しており、国としても観光客増加による市民への影響を課題視している。

持続可能な観光の実現のために実施してほしい施策（京都市）

- 令和7年京都観光に関する市民意識調査によると、市民が持続可能な観光の実現のために市に実施してほしい施策は下記のようになっており、上位3施策は「観光のため」ではなく、「市民生活のため」の施策となっている。



出所：観光庁「[新たな観光立国推進基本計画の素案（概要）](#)」、京都市「[令和7年京都観光に関する市民意識調査](#)」

貴市の動向

続々と進むホテル・オフィスビル等の再開発

- 札幌市都心部では近年、ホテルやオフィスビルなど施設が開業し、再開発が進む
- 2026年も3月には「ヒューリックスクエア札幌」、6月にはオフィス・商業施設・外資系ホテル一体型の「アーバンネット札幌リンクタワー」も開業



中島公園周辺への新MICE施設整備計画

- 札幌市は2025年9月8日、「（仮称）新MICE施設整備基本計画」を正式に公表。
- 事業費は592億円を見込んでおり、大規模学会などの需要に対応するため、会議と展示を同時に開催できる施設を目指す。



一般社団法人札幌観光協会のDMOへの登録

- 一般社団法人札幌観光協会が、令和7年10月1日付けで観光庁より「登録観光地域づくり法人（登録DMO）」として登録され、令和8年4月に稼働開始を目指して動いている。

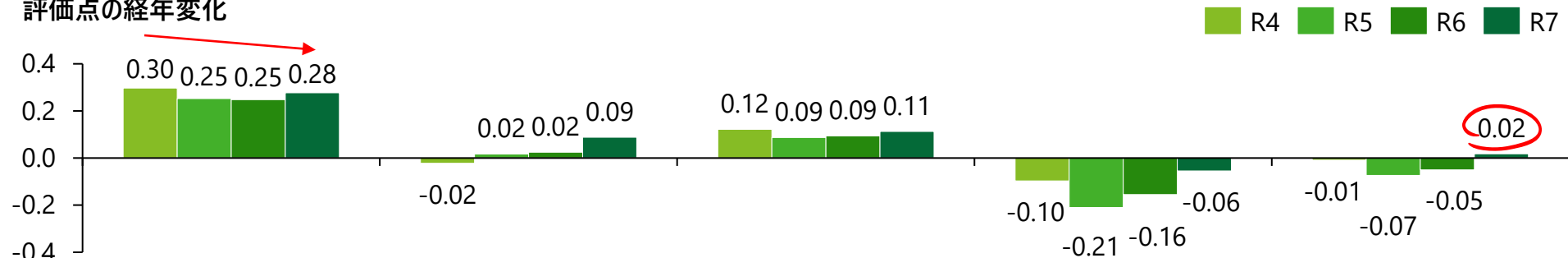
出所：北海道新聞「[札幌再開発マップ](#)」、

3.調査結果の分析 | 基本目標の深掘分析

基本目標改善のためには、重要度が高く、かつ5つの目指す姿のうち最も高評価にもかかわらずR4から評価が悪化している(1)、重要度が高いが評価が低い(5)の改善優先度が高い

基本目標⑱深掘分析 | 目指す姿

評価点の経年変化



都心では高次の都市機能の集積が進むとともに、快適な交流・滞留空間やみどりの創出などにより、魅力的でうおいのある歩きたくなる都心が形成されている。

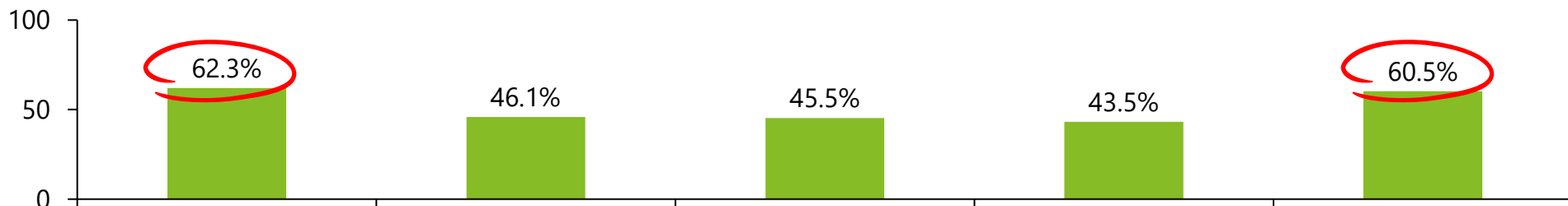
都心ではデータや先端技術の活用などにより、イノベーションが創出、新しい価値が生まれ続けている。

高次機能交流拠点※では、国際的・広域的な産業や観光等の都市機能の高度化と集積が進んでいる。

工業地・流通業務地では、老朽化した施設の更新や機能の高度化等が進んでいる。

広域交通ネットワークの充実・強化により、道内の都市をはじめ、国内外との地域とのつながりが深まり、北海道全体の社会経済活動の活発化が進んでいる。

重要だと思う目指す姿だと回答した割合 (%)



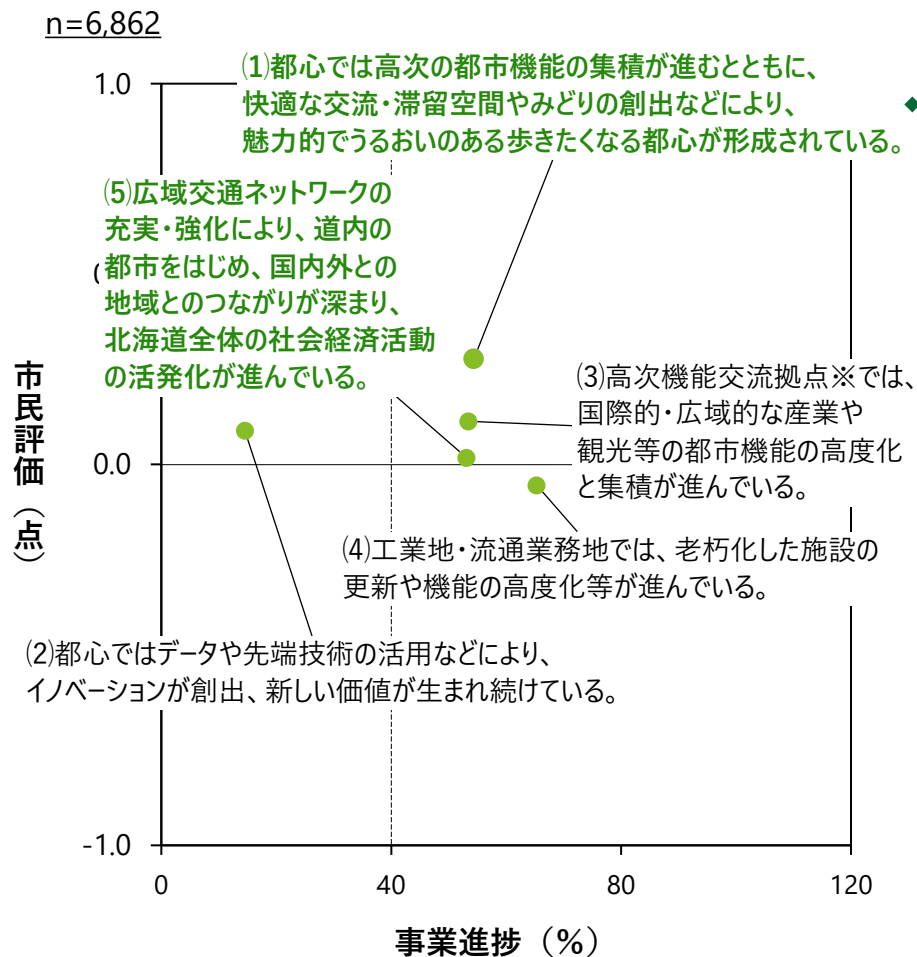
(再掲) 目指す姿の概況

- 目指す姿(4)以外は評価する割合が高い結果であり（プラス評価）、全て前年比では改善傾向。
- 目指す姿(2),(4),(5)は、それぞれR4から大幅改善（+0.07、+0.10、+0.07）。特に、5はマイナス評価からプラス評価に転じた。
- 目指す姿(1)は基本目標⑱の中で最も高い評価を維持（0.25~0.30）しており、R4からR5,6に落ち込んだが、R7では回復傾向。

3.調査結果の分析 | 基本目標の深掘分析

重要度の高い目指す姿(1)は、事業進捗にばらつきはあるものの順調。市民評価も順調に回復傾向で、再開発などの目に見えやすい事業の進捗が功を奏したとみられる。一方、老朽化対策や交通環境における日常生活で不満なり得る事象への対処が今後求められていることが窺える。同様に重要度の高い(5)は進捗平均も目安値（40%）を超え、市民評価も順調に改善している

基本目標⑯深掘分析 | 事業進捗



赤字のような再開発（による魅力創出）等が順調に進行し、目指す姿(1)都心では高次の都市機能の集積が進むとともに、快適な交流・滞留空間やみどりの創出などにより、魅力的でうおいのある歩きたくなる都心が形成されている。は前年比で向上し、R4水準に近づいている状況。

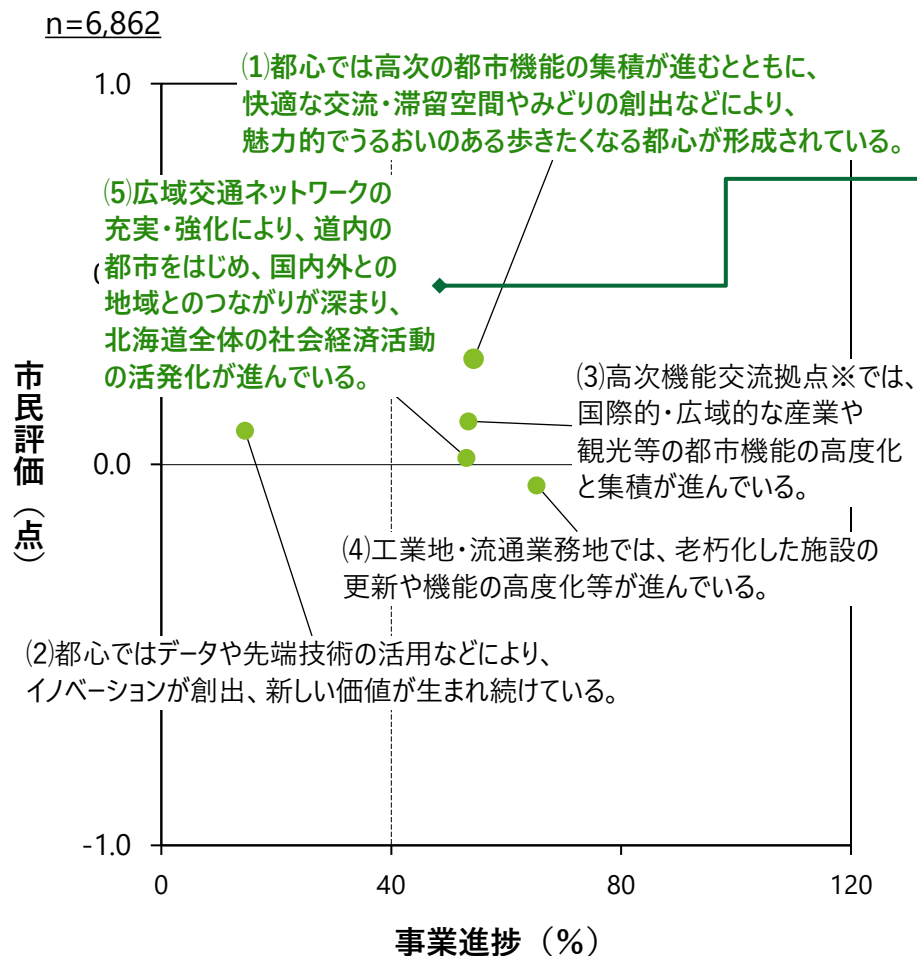
一方で、青字のような交通混雑の緩和や、自転車と歩行者の交通ルールに関する事業の進捗が悪い。また自由記述で車道・歩道や建物の老朽化対策・交通混雑緩和対策などへの声が多数寄せられたことを踏まえると、日常的な行動範囲でのインフラ等への不満への対処が求められていると考えられる。

事業名	事業進捗
まちづくり基礎調査・研究事業	40.0%
都心エリアマネジメント推進事業	50.0%
中島公園駅周辺地区まちづくり推進事業	0.0%
大通・創世交流拠点まちづくり推進事業	75.0%
都心エネルギープラン推進事業	0.0%
大通公園西周辺エリア土地利用検討事業	33.0%
居心地が良く歩きたくなる都心まちづくり推進事業	180.0%
都心機能強化検討事業	70.0%
札幌駅交流拠点まちづくり推進事業	40.0%
新幹線札幌駅東改札口関連整備事業	40.0%
創成東地区まちづくり推進事業	100.0%
市街地整備等の初動期支援事業	50.0%
北8西1地区市街地再開発事業	100.0%
民間投資を活用した市街地再開発事業等推進事業	0.0%
北5西1・西2地区市街地再開発事業	0.0%
北4西3地区市街地再開発事業	40.0%
大通西4南地区市街地再開発事業	40.0%
公共交通システム検討事業	0.0%
交通施設計画推進事業	0.0%
自転車の通行空間整備事業	16.7%
放置自転車対策推進事業	136.7%
都心のみどり推進事業	100.0%
都心部公園機能向上事業	100.0%
地下鉄南北線さっぽろ駅改良事業	40.0%

● 3.調査結果の分析 | 基本目標の深掘分析

重要度の高い目指す姿(1)は、事業進捗にはばつきはあるものの順調。市民評価も順調に回復傾向で、再開発などの目に見えやすい事業の進捗が功を奏したとみられる。一方、老朽化対策や交通環境における日常生活で不満なり得る事象への対処が今後求められていることが窺える。同様に重要度の高い(5)は進捗平均も目安値（40%）を超え、市民評価も順調に改善している

基本目標⑱深掘分析 | 事業進捗



(5) 広域交通ネットワークの充実・強化により、道内の都市をはじめ、国内外との地域とのつながりが深まり、北海道全体の社会経済活動の活発化が進んでいる。に紐づく事業は概ね順調であり、市民評価もR4からR7にかけて改善傾向で良好な状況といえる。

紐づく事業のうち、「骨格道路網等整備事業」は進捗0%と、着実な事業推進が求められる。

事業名	事業進捗
まちづくり基礎調査・研究事業	40.0%
創成川通機能強化検討調査事業	40.0%
丘珠空港利活用推進事業	141.7%
北海道新幹線推進事業	43.8%
骨格道路網等整備事業	0.0%

3.調査結果の分析 | 基本目標の深堀分析

基本目標の改善には、貴市のまちづくりの目的＝「市民」>「観光・ビジネス」という認識を市民に持ってもらうことが重要。そのため、「観光・ビジネス」に関する事業成果がまちづくりや市民生活に還元されていることの戦略的な情報発信・可視化、そして計画策定段階における市民の市政参画を強化するための体制・仕組みの構築が求められている

基本目標⑱深堀分析 | 改善／悪化要因の考察および今後の方向性

改善／悪化要因・課題の考察

悪化要因

観光・ビジネスに重きを置いた再開発への不満

- ・ 目指す姿(1)「都心では高次の都市機能の集積が進むとともに、快適な交流・滞留空間やみどりの創出などにより、魅力的でおいしいのある歩きたくなる都心が形成されている。」の評価が改善する一方で、実際にはMICE誘致や高級外資ホテル、オフィスの開発なども多く、市民生活よりも「観光客・ビジネス客」向けの再開発が目立っている。
- ・ そのため、市民からすると市民のためのまちづくりではなく、観光客・ビジネス客のためのまちづくりという認識を生んでおり、基本目標である総合的な札幌市のまちの魅力と活力における評価が悪化したと推察される。

課題

再開発計画への市民ニーズの反映

- ・ 上述の通り、目覚ましい再開発が進む他方、多くが観光やビジネスに重きの置かれた再開発（商業施設・ホテル・オフィス）であると市民に映っていると考えられる。
- ・ 自由記述からも、市民のニーズは「観光・ビジネス（≒世界）」ではなく、「市民」のために、道路や建物の老朽化対策や交通網の整備、冬季の交通混雑の解消など、札幌市民の日常生活の質の向上にあると言える。

今後の方向性

市民生活への還元の可視化と戦略的な情報発信

- ・ 基本目標の向上には、市民が札幌市が「まちづくりの目的＝市民>観光・ビジネス」という前提のもと、各事業を進めていることを認識・理解してもらうことが必要である。
- ・ そのため、事業成果を国内外へ広く発信することに加え、市民に対して本目標に紐づく事業が「どう市民生活に還元されているか」を戦略的に発信し、事業への理解醸成や認識のずれの解消を図ることが求められる。
- ・ 事業の目的や市民還元までのストーリー、市民メリットなどを、開発計画に基づき、適切なタイミングで発信・周知していくことが求められる。

市民のQOLと来訪者体験の共存に向けた庁内体制づくり

- ・ 貴市の都市再開発方針のテーマにもあるように、市民の豊かな暮らしを支えることを達成し、早期の市民理解醸成に向けて、計画策定段階における市民の市政参画を強化する。
- ・ 取組の方向性として、計画・事業策定時における市民向けワークショップやアンケート実施などの取組を強化し、市民参加を促しつつ、リアルな市民ニーズの把握ができる庁内体制・仕組みを整備すること。庁内の部局横断で開発と市民還元の検証を行うなど、多角的な検討・実装体制を構築することが肝要であると考えられる。

4. 今後のまちづくり戦略ビジョンや 施策の方向性に関する提言

● 4. 今後のまちづくり戦略ビジョンや施策の方向性に関する提言

ここまでの各分析を踏まえ、調査結果の特徴を整理すると、「事業進捗と市民評価の非連動」、「札幌のらしさや強みに対する評価落ち込み」、「外部環境による評価押し下げ」、「特定属性の評価の落ち込み」という目標横断的な4つの特徴が見られた。

調査結果の特徴サマリ

基本目標・目指す姿・事業進捗の評価非連動

「目指す姿ごとの評価は改善傾向にあるが、基本目標に対する評価は悪化している」「事業は進んでいるが、市民評価が上がらない」等、評価が連動していない目標が複数確認された。

参考

*○内の数字は基本目標の番号

- ②：虐待・いじめ対策は「うまくいけば表に出ない」性質ゆえ、評価されにくい
- ⑥：事業の対象者が限定的なため、市民が進捗を感じる機会が少ない
- ⑩：産業振興の恩恵が、家計まで届いていないと感じにくい
- ⑪：事業進捗278.5%だが市民評価は横ばい

札幌らしさや強み分野の評価下落／伸び悩み

札幌の「らしさ」を象徴する分野や「強み」分野において、事業進捗は概ね目安値以上を維持しているものの、R4から市民評価が下落している／伸び悩んでいる傾向が見られた。

参考

- ⑩：R4から3.2点台を維持していたが、R7は3.1点台へ評価下落
- ⑬：R7はR4比で評価が下落
- ⑮：R7はR4比で評価が下落
- ⑰：全基本目標中で最も評価が高いが、R4からR7にかけて評価下落

外部環境変化の影響による評価の押し下げ

経済不安、生活コスト増加、快適な生活インフラの構築負担の高まり等の外的環境変化が、個々の基本目標を超えて市民の生活全般に影響し、評価悪化に寄与した可能性が高い。

参考

- ⑤：路線バス減便・敬老パス見直しによる郊外区等の負担が増加
- ⑩：（全国的な）経済不安が評価を押し下げている可能性が高い
- ⑭：施設利用料改定と時間・経済的余裕の無さがボトルネック
- ⑯：省エネ機器の初期費用や再エネ賦課金が上昇

中高年層および女性からの評価の落ち込み

多くの基本目標で若年層・当事者層が評価を改善させる一方、50代以上の評価悪化が一貫して見られた。性別では、男性よりも女性の評価の下落幅が大きい傾向が見られた。

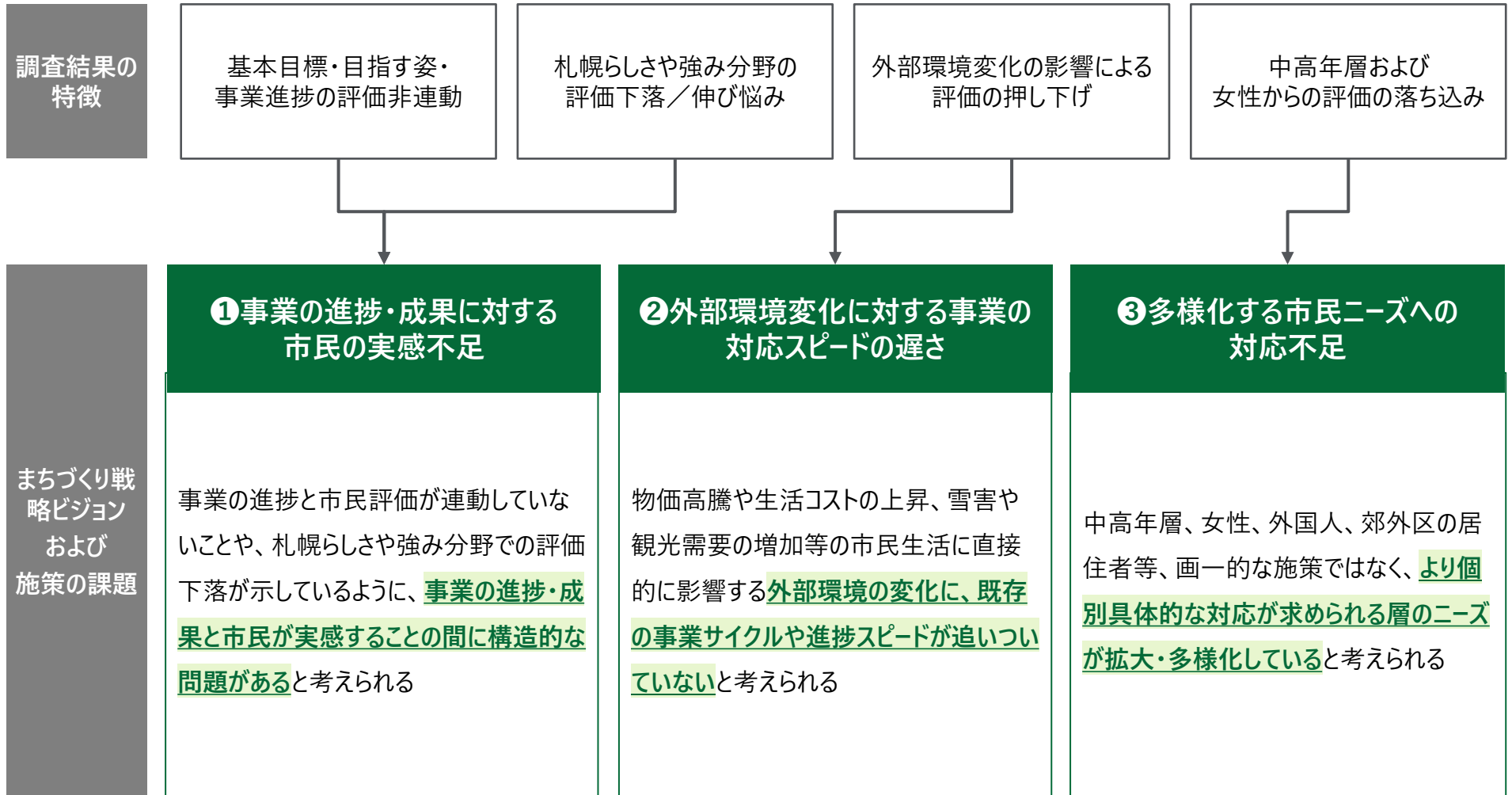
参考

- ②：非当事者の30代以上で「どちらとも言えない・分からない」を占める割合が高く、事業の成果が当事者以外へ波及していない可能性が高い
- ⑩：基本目標への市民評価差異（R7-R6）が、男性▲0.03に対し、女性▲0.17

● 4. 今後のまちづくり戦略ビジョンや施策の方向性に関する提言

調査結果の特徴から、事業の成果に対する市民の実感が足りていないこと、外部環境変化への事業の対応スピードが遅いこと、そして市民の多様化するニーズに対応できていないことが、今後対応していくべき貴市まちづくり戦略ビジョンおよび施策の本質的な課題として挙げられると考えた。

調査結果の特徴を踏まえた課題の考察

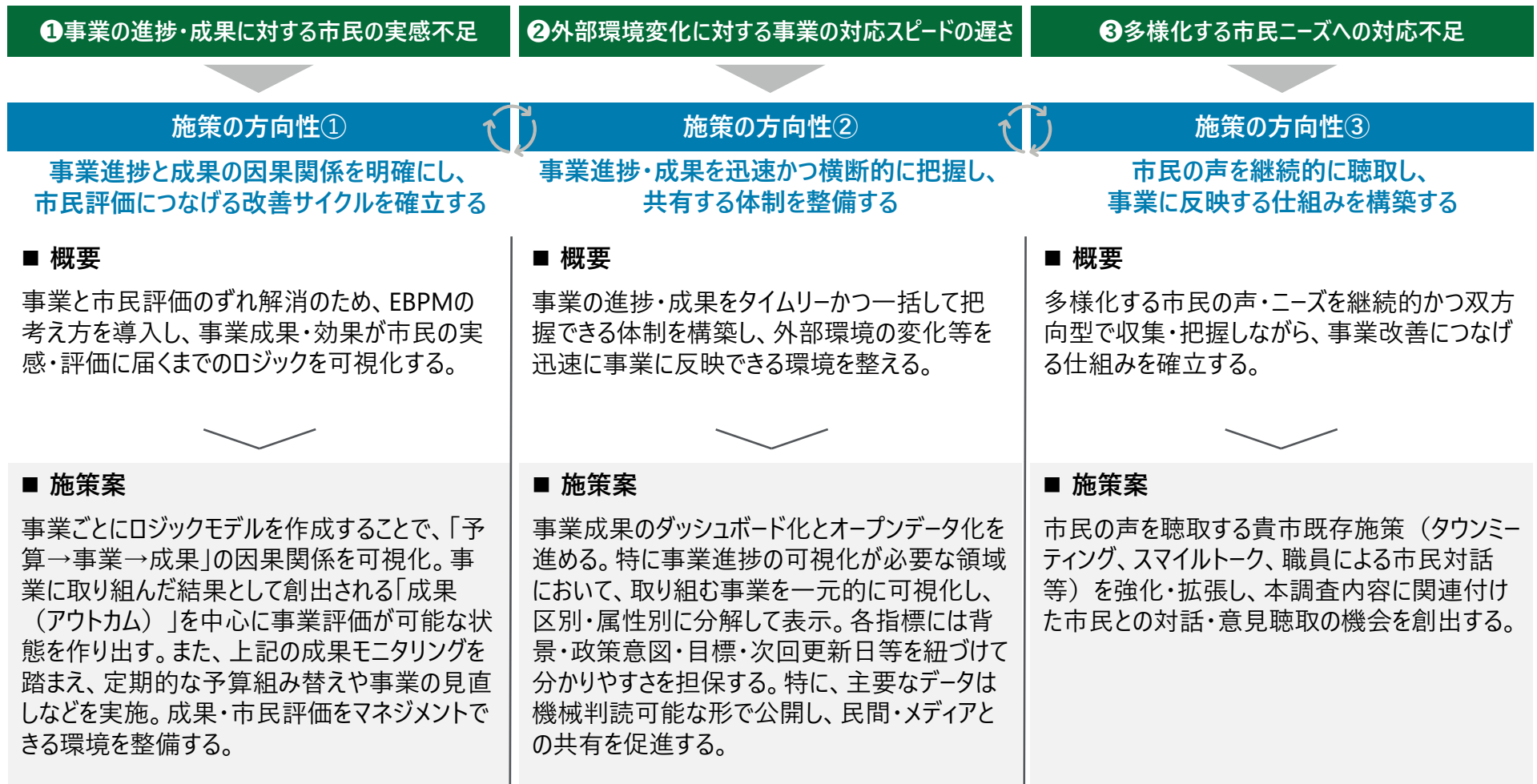


● 4. 今後のまちづくり戦略ビジョンや施策の方向性に関する提言

3つの課題の解決には、「事業進捗と成果の因果関係を明確にし、市民評価につなげる改善サイクルを確立すること」、「事業進捗・成果を迅速かつ横断的に把握し、共有する体制を整備すること」、「市民の声を継続的に聴取し、事業に反映する仕組みを構築すること」を相互的に機能させることを目指し、市民評価に結び付けていくことが重要だと考えられる。

課題への対応方向性（施策の方向性）

まちづくり戦略ビジョンおよび施策の課題



施策の方向性に関連する他都市の参考取組事例は以下のとおりである。

【参考】施策方向性①事業進捗と成果の因果関係を明確にし、市民評価につなげる改善サイクルを確立する

横浜市データドリブンプロジェクト

概要

- 全庁的なプロジェクトを立ち上げ、EBPMの考え方に基づき、施策ごとに「ロジックモデル」を作成し「目的」と「事業」の因果関係を可視化している。横浜市は全国的にも早くEBPMの導入に着手しており、取組過程も行政職員がnote等のオンラインプラットフォーム上で情報発信をおこなっている。



成果

「投資効果の低い」施策を特定し、予算の組み替えや事業統合を実行。エビデンスに基づく対話により、納得感のあるスクラップ・アンド・ビルドを実現している。
→17事業(7億円)の抜本的な見直しを行い、**各事業が本来あるべき事業となった結果生じた余剰予算であり、これらは次なる成長分野への投資原資として活用されるものと思われる。**

示唆

データは所管課と財政部局が共通言語で議論し、全体最適を図るための「対話ツール」としても機能している。

出所：[データドリブンプロジェクト（#施策評価5）](#) | [横浜市政策経営局データ経営部](#)

神戸市：神戸データラボ

概要

- EBPMの推進を目的に、行政・統計データを横断的に連携・可視化できる「神戸データラウンジ」を整備している。約90種類のダッシュボードによって人口動態や政策関連指標等を可視化しており、職員の政策検討に活用するとともに、一部データを外部公開することで、庁外でのデータ利活用も図っている。オンライン上での行政の取組とその成果の見える化にも寄与している。



成果

職員のデータ収集や整備・分析、資料作成にかかるコストを大幅に圧縮させ、政策議論に係る時間資源の拡大を実現している。また、データエキスパート、データアナリストなどの人材育成や、税務部での滞納管理、給与課では時間外勤務管理にも活用している。なお、この取組は、2022年には総務省主催の「Data StaRt Award」にて総務大臣賞を受賞している。

示唆

EBPMの導入にあたっては、データ整備をはじめとするDX・デジタル化業務が発生するため、最終的な職員の業務効率化や庁内の人材育成にも効果が見込まれる。

出所：[Data StaRtデータ・スタート | データ分析をDIY ～神戸データラウンジ～](#)、[ASCII.jp](#)：「[庁内の全局室が自らダッシュボード作成](#)」[神戸市のデータ活用と人材育成](#)

施策の方向性に関連する他都市の参考取組事例は以下のとおりである。

【参考】施策の方向性②事業進捗・成果を迅速かつ横断的に把握し、共有する体制を整備する

大阪市：大阪市オープンデータポータルサイト

概要

- 積極的なオープンデータ公開による行政サービス向上やイノベーション創出、官民協働の推進を目的に、行政・統計データを横断的に連携・可視化できる「大阪市オープンデータポータルサイト」を整備している。
 - 約300種類の幅広い統計データを公開し、ダッシュボードとして分かりやすくまとめることで、政策進捗の可視化を実現している。
- 大阪市は、オープンデータの推進による期待効果として市民の行政参画の推進を挙げており、公共データを容易に入手・利用できる環境整備によって市民の行政参画を促進し、市民との連携を強化することで、新しい視点から要望や課題等のフィードバックを獲得することを推進している。



示唆

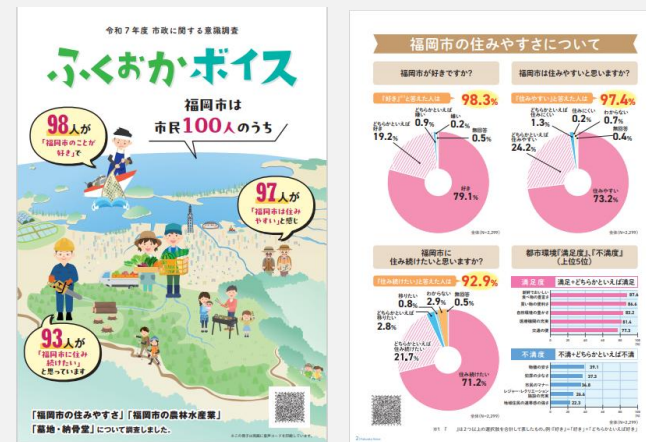
他都市のオープンデータと比較し、より個別具体的な事業成果まで可視化されており、行政としてのまちづくりの注力領域が把握しやすい。

出所：大阪市オープンデータポータルサイト、プロフィール - .ict.6634 | Tableau Public

福岡市：ふくおかボイス

概要

- 福岡市の市民意識調査「ふくおかボイス」は、行政の事業そのものの成長を直接可視化する仕組みではないものの、「福岡市は市民100人のうち」という直感的な表現を用いて調査結果を分かりやすく提示している点に特徴がある。
- この特徴により、統計データが市民にとって理解しやすい形に翻訳され、一般的にイメージすることが困難な、政策によって生じた変化や市民の評価を把握できる。結果として、アウトカムに係る情報を広く共有し、政策効果の理解を促進するという意味で、成果の共有に寄与する取り組みであると位置づけられる。



示唆

データを単にウェブ上に公開するだけでなく、内容を分かりやすいかたちで共有・発信しており、(市民を含め広く)「伝える」ことにも重点が置かれた取組である。

出所：r7fukuokavoice.pdf

施策の方向性に関連する他都市の参考取組事例は以下のとおりである。

【参考】施策方向性③市民の声を継続的に聴取し、事業に反映する仕組みを構築する

参考事例「横浜市：こども、みんなが主役！よこはまわくわくプラン」

概要

- 横浜市のこども・子育て支援施策の総合計画となる「こども、みんなが主役！よこはまわくわくプラン」の策定に向けて、アンケート調査によって子育て世帯全体のニーズを把握するとともに、当事者を対象としたヒアリング調査やグループトークを実施している。これらの対話では、参加者を少人数グループに分け、ファシリテーターの進行のもと意見交換を行い、子育て支援に係る利用実態やニーズの背景について把握している。こうした定量調査と対話型の意見収集を組み合わせ、政策検討の参考としている点に特徴がある。

【参考】横浜市では、「こども、みんなが主役！よこはまわくわくプラン」以外にも、こどもの意見反映の取組が複数取り組まれており、施策・事業の実現に向けて、対象属性の市民の意見を積極的に取り入れる姿勢が読み取れる。



示唆

特定属性の市民に対するヒアリング（より定性的な情報の把握）を通して、アンケート調査結果を補完する仕組みが機能している。

出所：[こども、みんなが主役！よこはまわくわくプラン2025～2029（令和7年度～11年度）](#) 横浜市、こどもの意見反映の取組事例集、0006_20240325.pdf

参考事例②「加古川市：まちづくりへの市民参加促進（Decidim）」

概要

- 新しい複合施設の愛称決定や加古川の河川敷を活用したイベント実施、駅再整備、観光まちづくり策定プランなどの都市開発の検討にあたり、市民の意見を聞き、議論するためのオンラインツール「Decidim」を導入している。市が設定した各テーマに対し市民がオンライン上で気軽に意見交換や議論参加ができる仕組みである。
- パブリックコメント等と異なり、意見を出した人に対するフィードバックを行うことができ、行政にとっては市民の生の声の収集機会でありながら、市民にとっては、意見が市に届いている実感を得る機会にもなっていると考えられる。



示唆

書き込みがどのように政策に反映されたかまでが当オンラインツールで発信されるため、市民の市政参画に対する継続的な興味関心の醸成も図ることができる。

出所：[加古川市の自治体DX事例：市民参加プラットフォーム「Decidim」で実現する合意形成](#) | 経革広場、加古川市版Decidim（デジディム）で意見募集中 / 加古川市

Appendix

目指す姿別の予算額および事業進捗平均 (1/4)

基本目標	目指す姿	予算額	事業進捗平均	評価点
基本目標①「安心して子どもを生み育てることができる、子育てに優しいまち」	社会全体が、妊娠期を含めて子どもと子育てを支えている。	14,924,163	74.7%	0.04
	子育てする人同士の交流が進んでいる。	353,600	-31.4%	0.04
	多様なニーズに応じた保育サービスが充実している。	9,897,618	126.4%	▲0.01
	児童が放課後に過ごす安全で心地よい居場所が整っている。	300,000	82.1%	0.11
	ワーク・ライフ・バランスが広く定着し、性別を問わず、働きながら安心して子育てができる環境が整っている。	256,500	76.1%	▲0.10
基本目標②「誰一人取り残されずに、子どもが伸び伸びと成長し、若者が希望を持って暮らすまち」	子どもの権利の保障が進み、子ども一人一人が自分らしく伸び伸びと過ごしている。	2,245,800	92.2%	0.07
	虐待やいじめなど、権利が侵害される事態が未然に防がれ、事態が起きても迅速かつ適切な対応が行われている。	2,431,000	13.2%	▲0.25
	支援や配慮が必要となる子どもや家庭が、困難な状況に応じた適切なサポートを受け、安心して過ごしている。	5,319,593	54.3%	▲0.07
	若者が、質の高い教育などを通して成長している。	10,841,271	108.7%	▲0.01
	若者が安心して過ごせる居場所（家庭・学校・その他の場所）をよりどころに社会とつながっている。	22,100	40.0%	▲0.02
基本目標③「一人一人の良さや可能性を大切に育て、子どもが健やかに育つまち」	多様性が尊重された環境で、子どもが各々の関心に応じた学びと協働的な学びを通して成長している。	21,746,000	25.0%	0.08
	子どもは、生涯にわたって心身の健康の保持増進を図る資質や能力を身に付けている。	352,475	51.4%	0.04
	地域社会での体験活動など、多様な学びの機会が提供され、学校、家庭、地域、企業等が連携して子どもの成長を支えている。	9,100	-29.5%	0.07
基本目標④「誰もが健康的に暮らし、生涯活躍できるまち」	市民や企業の健康への意識が高まっている。	2,942,998	16.9%	0.25
	健康づくりや介護予防の取組などに積極的に参加することで、誰もが生涯元気に過ごしている。	3,156,698	56.4%	0.05
	誰もが生涯にわたって学び、また、学び直しをすることができ、その成果が日々の生活はもとより、まちづくり活動や仕事、ボランティア活動などに生かされている。	562,800	63.0%	0.03
基本目標⑤「生活しやすく住みよいまち」	多様なニーズに応じた住まいが確保されている。	2,671,495	37.6%	0.04
	在宅医療や身近なかかりつけ医が普及しているなど、医療体制が整っている。	6,595,531	55.4%	0.13
	建物や道路などのバリアフリー化やユニバーサルデザインの導入が進んでいる。	10,089,988	42.8%	0.02
	申請や相談等の手続きをオンラインで完結することができるなど、官民によるサービスの利便性が高まっている。	8,418,217	62.6%	0.14
	市民の多様な暮らしを支える交通環境が確保されている。	24,850,545	27.7%	▲0.15
	冬期の道路環境が確保されている。	25,603,795	20.1%	▲0.32

目指す姿別の予算額および事業進捗平均 (2/4)

基本目標	目指す姿	予算額	事業進捗平均	評価点
基本目標⑥「互いに認め合い、支え合うまち」	年齢・性別・障がいの有無・国籍・民族・宗教・文化などの違いを互いに認め合い、尊重し合う、平和で包摂的な社会となっている。	1,654,500	73.2%	0.00
	世代や国籍を超えた交流や趣味を通じた交流などにより、市民のつながりが深まり、相互の信頼や協力が得られる社会が形成されている。	62,000	72.8%	▲ 0.04
基本目標⑦「誰もがまちづくり活動に参加でき、コミュニティを育むまち」	誰もが自身のライフスタイルに合わせながらまちづくり活動に参加し、支え合いながら地域の課題を解決している。	889,371	67.0%	▲ 0.08
	区役所やまちづくりセンターが拠点となり、様々な活動が推進されている。	328,275	92.9%	0.13
	誰もが市政を身近なものと感じ、計画の立案段階などから積極的に参加している。	229,700	41.7%	▲ 0.27
	良好な生活環境の維持につながる地域コミュニティの中核として、地縁による団体（町内会・自治会）が生き生きと活動している。	511,200	36.5%	▲ 0.10
	地縁による団体（町内会・自治会）、福祉のまち推進センター、NPO、商店街、企業などの多様な主体が参画し、地域に密着したまちづくり活動が進んでいる。	1,467,775	69.0%	▲ 0.07
基本目標⑧「誰もが災害に備え、迅速に回復し、復興できるまち」	地震災害や風水害・雪害といった自然災害や感染症の感染拡大などが起きても、生活や経済への影響が最小化されている。	65,437,571	34.8%	0.07
	感染症の感染拡大を早期に抑えることができている。	65,497,772	36.4%	0.09
	災害時や感染症の感染拡大時においても、誰もが安心して医療や介護を受けることができている。	1,156,996	48.1%	0.07
	一人で避難することが難しい方への細かな配慮がなされているなど、被災者の安全が確保されている。	590,000	47.5%	▲ 0.15
	復旧復興に向けて誰一人取り残さずに市民に寄り添った支援が行われている。	20,000	-228.5%	▲ 0.10
	防災への意識が向上し、誰もが冬季の災害も想定した備えを行っている。	67,101	70.2%	▲ 0.09
	有事の際には一人一人が主体的に行動し、協力し合うなど、地域の防災力が高まっている。	76,400	61.8%	▲ 0.09
	犯罪や消費生活に関するトラブルの発生が未然に防止されている。	96,473	41.2%	▲ 0.07
基本目標⑨「日常の安全が保たれたまち」	強じんな消防・救急体制が構築され、市民の安全・安心が守られている。	9,570,900	18.6%	0.24
	交通ルールや自転車マナーが遵守され、事故の少ない安全な交通環境が実現している。	699,300	58.4%	▲ 0.18
	食の安全が守られ、誰もが健やかで豊かな食生活を送っている。	127,000	132.5%	0.24

目指す姿別の予算額および事業進捗平均 (3/4)

基本目標	目指す姿	予算額	事業進捗平均	評価点
基本目標⑩「強みを生かした産業が北海道の経済をけん引しているまち」	札幌市の食分野の産業が、新たな消費を生み出している。	440,800	41.5%	0.25
	札幌市の観光分野の産業が、新たな消費を生み出している。	4,367,200	116.6%	0.35
	札幌市のIT分野の産業が、新たな強みとして成長している。	625,000	64.6%	0.02
	札幌市のクリエイティブ分野の産業が、新たな強みとして成長している。	230,000	74.0%	0.03
	札幌市の健康福祉・医療分野の産業が、新たな強みとして成長している。	115,000	45.5%	▲ 0.03
基本目標⑪「多様な主体と高い生産性、チャレンジできる文化が経済成長を支えるまち」	中小企業・小規模企業や商店街などが、地域のにぎわいや経済を支えている。	93,714,020	424.8%	▲ 0.00
	データや先端技術の活用などにより生産性が向上している。	581,000	14.6%	0.00
	行政、大学、民間組織などの関係機関が一体となり、起業家を育成・支援する体制や環境が充実している。	525,000	-35.7%	0.02
	誰もがチャレンジできる文化が根付き、多くのスタートアップが生まれている。	525,000	-35.7%	▲ 0.09
	様々な企業の立地や創業が進んでいる。	1,957,000	68.2%	▲ 0.02
	海外の企業との交流が活発に行われている。	195,600	90.7%	▲ 0.09
	ビジネスチャンスや新たな価値が創出されている。	1,996,600	69.2%	▲ 0.07
基本目標⑫「雇用が安定的に確保され、多様な働き方ができるまち」	安心して働くことができる魅力的な雇用が安定的に確保されている。	915,000	171.3%	▲ 0.07
	企業が必要とする人材を確保できている。	121,100	179.3%	▲ 0.21
	自身の能力を発揮し、やりがいや充実感を得ながら働くことができている。	449,100	11.8%	▲ 0.06
	高い専門性を生かすことができる職場がある。	80,000	12.9%	0.04
	幅広い年代の人材が活躍できている。	56,000	-6.8%	0.05
	働きやすい職場環境が整備され、多様で柔軟な働き方が実現している。	372,000	35.9%	▲ 0.07
	身近なところでウィンタースポーツを楽しむことのできる環境が充実している。	537,000	85.2%	0.39
基本目標⑬「世界屈指のウィンタースポーツシティ」	札幌市で育ったウィンタースポーツのアスリートが国内外で活躍している。	76,500	137.0%	0.46
	大規模なウィンタースポーツ大会が誘致・開催されている。	139,700	38.3%	0.27
	誰もがスポーツを楽しむながら、心身共に健康で充実した生活を送っている。	1,899,815	106.5%	0.14
基本目標⑭「四季を通じて誰もがスポーツを楽しむことができるまち」	スポーツで得られた知見が市民の健康づくりなどに生かされている。	533,000	127.7%	0.09
	スポーツをきっかけに国内外から人が訪れている。	715,557	49.7%	0.22
	誰もが文化芸術に親しみ、創作や表現ができる環境が整い、多様な価値観が受け入れられている。	673,100	23.4%	0.20
基本目標⑮「文化芸術が心の豊かさや創造性を育み、世界とつながるまち」	札幌市ならではの文化が生まれ、世界に発信され、多くの人が集まっている。	773,042	80.5%	0.09
	札幌市ならではの文化と様々な分野との連携によって新たな価値が創出されている。	65,658	52.6%	0.05
	文化・文化財が適切に保存され様々な形で生かされているとともに、札幌市への愛着が深まり、札幌市の自然・歴史・文化が継承されている。	393,000	127.3%	0.19
基本目標⑯「世界に冠たる環境都市」	節電やエネルギー効率の良い機器導入などにより省エネルギー化が進んでいる。	6,782,008	33.5%	▲ 0.04
	太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入拡大や、水素エネルギーの活用が進んでいる。	1,193,279	77.7%	▲ 0.12
	走行中に二酸化炭素を排出しない電気自動車などのゼロエミッション自動車の普及が進んでいる。	247,400	39.4%	▲ 0.26
	都心では、エネルギーネットワークが整備されるなど、高い環境性能と強じん性が兼ね備えられている。	591,000	28.2%	▲ 0.14
	誰もがごみの減量・再利用・リサイクルなどに積極的に取り組んでいる。	12,445,000	-24.1%	0.17
	環境保全や気候変動対策などを意識し、行動変容（ライフスタイルの変革）や技術革新が進んでいる。	265,000	-119.6%	▲ 0.05

目指す姿別の予算額および事業進捗平均 (4/4)

基本目標	目指す姿	予算額	事業進捗平均	評価点
基本目標⑩「身近なみどりを守り、育て、自然と共に暮らすまち」	森林、農地、公園や河川などが保全・創出・整備されている。	2,775,100	63.4%	0.49
	豊かなみどりがあるまちの中で、健康的で幸福感のある生活を送っている。	691,100	59.3%	0.41
	森林や公園などの身近なみどりが、自然との触れ合いや人々との交流の場に活用されている。	406,000	69.2%	0.48
	みどりが持つ防災、経済活動、水源かん養、二酸化炭素の吸収など多面的な機能を発揮している。	203,000	107.4%	0.23
	生物多様性が広く理解され、地域本来の生態系が維持された中で自然と人が共生している。	217,000	85.3%	0.16
基本目標⑪「コンパクトで人にやさしい快適なまち」	都心、地域交流拠点※1、住宅市街地※2などの種別に応じた土地利用が行われている。	12,258,680	88.6%	0.19
	四季の変化が感じられる良好な景観が形成されている。	37,000	-50.0%	0.37
	地域交流拠点※1では、商業・サービス機能などの多様な都市機能の集積が進み、快適な交流・滞留空間、歩きたくなる空間などが形成されている。	13,806,310	77.9%	0.21
	地下鉄沿線などの複合型高度利用市街地では、集合型の居住機能と多様な生活利便機能が集積し、郊外住宅地ではゆとりある良好な住環境が維持されている。	61,500	220.8%	0.26
	誰もが快適に利用でき、環境にもやさしい移動環境・手段が整備され、公共交通を軸としたシームレスな交通ネットワークが確立されている。	31,573,716	35.1%	0.01
基本目標⑫「世界を引き付ける魅力と活力あふれるまち」	都心では高次の都市機能の集積が進むとともに、快適な交流・滞留空間やみどりの創出などにより、魅力的でうおいのある歩きたくなる都心が形成されている。	21,831,348	54.4%	0.28
	都心ではデータや先端技術の活用などにより、イノベーションが創出、新しい価値が生まれ続けている。	581,000	14.6%	0.09
	高次機能交流拠点※では、国際的・広域的な産業や観光等の都市機能の高度化と集積が進んでいる。	1,488,000	53.4%	0.11
	工業地・流通業務地では、老朽化した施設の更新や機能の高度化等が進んでいる。	2,579,000	65.3%	▲ 0.06
	広域交通ネットワークの充実・強化により、道内の都市をはじめ、国内外との地域とのつながりが深まり、北海道全体の社会経済活動の活発化が進んでいる。	14,529,115	53.1%	0.02
基本目標⑬「都市基盤を適切に維持・更新し、最大限活用するまち」	道路、交通施設、上下水道などのインフラや住宅、区役所、学校、スポーツ施設などの建築物は、計画的な維持・保全・更新・再配置・複合化が行われている。	117,694,027	63.7%	0.17
	I C Tや先端技術の活用等により、インフラや建築物は効率的な維持・保全や施設規模の適正化などが行われている。	9,188,632	55.1%	0.03
	公共施設では、整備や運営・維持管理などに関する積極的な官民連携が進んでおり、市民ニーズ等を捉えた多様で柔軟なサービスの提供が行われている。	1,202,000	61.5%	0.08
	道路や広場などの空間が有効に活用され、まちにゆとりやにぎわいが生まれている。	896,430	85.2%	0.05

デロイト トーマツ グループは、日本におけるデロイト アジア パシフィック リミテッドおよびデロイトネットワークのメンバーである合同会社デロイト トーマツ グループならびにそのグループ法人（有限責任監査法人トーマツ、合同会社デロイト トーマツ、デロイト トーマツ 税理士法人およびDT弁護士法人を含む）の総称です。デロイト トーマツ グループは、日本で最大級のプロフェッショナルグループのひとつであり、各法人がそれぞれの適用法令に従いプロフェッショナルサービスを提供しています。また、国内30都市以上に2万人超の専門家を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はデロイト トーマツ グループWebサイト、www.deloitte.com/jpをご覧ください。

Deloitte（デロイト）とは、Deloitte Touche Tohmatsu Limited（“Deloitte Global”）、そのグローバルネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびそれらの関係法人（総称して“デロイトネットワーク”）のひとつまたは複数を指します。Deloitte Globalならびに各メンバーファームおよび関係法人はそれぞれ法的に独立した別個の組織体であり、第三者に関して相互に義務を課しまたは拘束させることはありません。Deloitte Globalおよびその各メンバーファームならびに関係法人は、自らの作為および不作為についてのみ責任を負い、互いに他のファームまたは関係法人の作為および不作為について責任を負うものではありません。Deloitte Globalはクライアントへのサービス提供を行いません。詳細はwww.deloitte.com/jp/aboutをご覧ください。

デロイト アジア パシフィック リミテッドは保証有限責任会社であり、Deloitte Globalのメンバーファームです。デロイト アジア パシフィック リミテッドのメンバーおよびそれらの関係法人は、それぞれ法的に独立した別個の組織体であり、アジア パシフィックにおける100を超える都市（オークランド、バンコク、北京、ベンガルール、ハノイ、香港、ジャカルタ、クアラルンプール、マニラ、メルボルン、ムンバイ、ニューデリー、大阪、ソウル、上海、シンガポール、シドニー、台北、東京を含む）にてサービスを提供しています。

Deloitte（デロイト）は、最先端のプロフェッショナルサービスを、Fortune Global 500®の約9割の企業や多数のプライベート（非公開）企業を含むクライアントに提供しています。デロイトは、資本市場に対する社会的な信頼を高め、クライアントの変革と繁栄を促進することで、計測可能で継続性のある成果をもたらすプロフェッショナルの集団です。デロイトは、創設以来180年の歴史を有し、150を超える国・地域にわたって活動を展開しています。“Making an impact that matters”をパーパス（存在理由）として標榜するデロイトの約46万人の人材の活動の詳細については、www.deloitte.comをご覧ください。



ISO 6594:26 / ISO 27001

ISO 9001:2015の認証取得はこちらをご覧ください
<https://www.bsigroup.com/client/Directories>



BCMS 764479 / ISO 22301